

令和 6 年度

普天間飛行場代替施設建設事業に係る

# 環境監視調査報告書

令和 7 年 9 月

沖 縄 防 衛 局



# 目次

<b>第 1 章 環境監視調査の項目及び調査の手法</b> .....	1-1
1.1 調査項目及び調査時期 .....	1-1
1.2 調査手法 .....	1-4
1.2.1 大気質 .....	1-4
1.2.2 騒音 .....	1-9
1.2.3 振動 .....	1-17
1.2.4 低周波音 .....	1-23
1.2.5 底生動物等（移動後の状況監視） .....	1-28
1.2.6 サンゴ類（全域の状況監視） .....	1-36
1.2.7 海藻草類（全域の状況監視） .....	1-38
<b>第 2 章 環境監視調査の結果</b> .....	2-1
2.1 大気質 .....	2-1
2.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質 .....	2-1
2.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質 .....	2-15
2.2 騒音 .....	2-28
2.2.1 道路交通騒音 .....	2-28
2.2.2 交通量 .....	2-42
2.2.3 建設作業騒音 .....	2-45
2.3 振動 .....	2-53
2.3.1 道路交通振動 .....	2-53
2.3.2 建設作業振動 .....	2-67
2.4 低周波音 .....	2-72
2.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音 .....	2-72
2.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音 .....	2-81
2.5 底生動物等（移動後の状況監視） .....	2-94
2.5.1 追跡調査 .....	2-94
2.5.2 生物相調査 .....	2-104
2.6 サンゴ類（全域の状況監視） .....	2-132
2.6.1 サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等 .....	2-132
2.7 海藻草類（全域の状況監視） .....	2-137
2.7.1 海藻草類の生育被度、生育状況 .....	2-137
2.7.2 クビレミドロ生育状況等 .....	2-143

第 3 章 環境監視調査結果のまとめ	3-1
3.1 大気質	3-1
3.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質	3-1
3.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質	3-2
3.2 騒音	3-3
3.2.1 道路交通騒音	3-3
3.2.2 建設作業騒音	3-3
3.3 振動	3-4
3.3.1 道路交通振動	3-4
3.3.2 建設作業振動	3-4
3.4 低周波音	3-5
3.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音	3-5
3.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音	3-6
3.5 底生動物等（移動後の状況監視）	3-7
3.5.1 追跡調査	3-7
3.5.2 生物相調査	3-9

本書に掲載した地図は、国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図及び 2 万 5 千分の 1 地形図を基に作成したものです。

# 第 1 章 環境監視調査の項目及び調査の手法

## 1.1 調査項目及び調査時期

令和 6 年度に実施した環境監視調査の調査項目及び調査時期を表-1.1.1 に、調査工程を表-1.1.2 に示します。

表-1.1.1 令和 6 年度に実施した環境監視調査の調査項目及び調査時期

調査項目		調査時期
大気質	建設機械の稼働に伴う大気汚染物質	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、各季とも連続 1 週間の測定
	資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、各季とも連続 1 週間の測定
騒音	道路交通騒音	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、24 時間測定
	建設作業騒音	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、昼夜測定(工事時間中)
振動	道路交通振動	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、24 時間測定
	建設作業振動	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、昼夜測定(工事時間中)
低周波音	建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、昼夜測定(工事時間中)
	資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音	・工事期間中、年毎の工事工程を考慮して年 4 回、24 時間測定
底生動物等 (移動後の 状況監視)	移動個体の生息・生育状況(追跡調査)、底生動物の生息状況、海藻草類の生育状況、浮遊生物の分布状況(生物相調査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追跡調査は、移動後 1 年目は移動直後、約 1 ヶ月後、3 ヶ月後及び 6 ヶ月後の頻度、2 年目以降は年 4 回(四季)の頻度</li> <li>・ウミボッス<sup>注)</sup>の追跡調査については、ウミボッスの繁茂期を含む 2 月から 5 月まで毎月 1 回調査を実施</li> <li>・生物相調査は、年 4 回(四季)の頻度</li> </ul>
サンゴ類 (全域の 状況監視)	サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等	・夏季～秋季及び冬季～春季の年 2 回
海藻草類 (全域の 状況監視)	海藻草類(クビレミドロを含む)の生育被度、生育状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繁茂期と衰退期にあたる夏季及び冬季の年 2 回</li> <li>・クビレミドロは繁茂期である春季に 2 回</li> </ul>

注) ウミボッスは褐藻綱ケヤリモ目ケヤリモ科に属する海藻類ですが、ここでは「底生動物等」の項目の一つとして記載しています。

表-1.1.1.2 令和6年度に実施した環境監視調査の調査項目及び調査工程

調査項目	令和6年												令和7年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
大気質	建設機械の稼働に伴う大気汚染物質	■			■			■					■		
	資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質	■			■			■					■		
騒音	道路交通騒音	┆			┆			┆					┆		
	建設作業騒音	┆			┆			┆					┆		
振動	道路交通振動	┆			┆			┆					┆		
	建設作業振動	┆			┆			┆					┆		
低周波音	建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音	┆			┆			┆					┆		
	資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音	┆			┆			┆					┆		
底生動物等 (移動後の状況監視)	移動個体の生息・生育状況(追跡調査)、底生動物の生息状況、海藻草類の生育状況、浮遊生物の分布状況(生物相調査)	■ ■ ■	■		┆		■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	■	■ ■ ■ ■ ■	■	■		
サンゴ類 (全域の状況監視)	サンゴ類の生息被度、生息状況、有害生物の出現状況等							■	■				■ ■		
海藻草類 (全域の状況監視)	海藻草類(クビレミドロを含む)の生育被度、生育状況等	■					■	■					■ ■		

(参考 工事工程)

工事の区分		令和6年										令和7年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
代替施設本体の 護岸工事	傾斜堤護岸K-5	████████████████████										██████████		
	傾斜堤護岸K-6	████████████████████										██████████		
	傾斜堤護岸K-7	████████████████████										██████████		
	中仕切護岸N-1					██████████	██████████	██████████	██████████	██████████	██████████			
	中仕切護岸N-2					██████████	██████████	██████████	██████████	██████████	██████████			
	二重鋼管矢板式護岸 (A護岸)					██████████	██████████	██████████	██████████	██████████	██████████			
	ケーソン式護岸C-1											地盤改良 (SCP工法)	██████████	
	ケーソン式護岸C-2											地盤改良 (SCP工法)	██████████	
	ケーソン式護岸C-3											地盤改良 (SCP工法)	██████████	
	護岸 (係船機能付)											地盤改良 (SCP工法)	██████████	
代替施設本体の浚渫工事													██████████	
代替施設本体の 埋立工事	埋立区域②-1	████████████████████										██████████		
	埋立区域②	████████████████████										██████████		
	埋立区域③-1												██████████	
	埋立区域③-5											地盤改良 (SD工法)	██████████	
海上ヤードの工事		████████████████████										██████████		
埋立土砂発生区域における工事													██████████	
工事前仮設道路工事	仮設道路②-2												██████████	
	仮設道路②-3												██████████	
美謝川水路整備		████████████████████										██████████		

## 1.2 調査手法

### 1.2.1 大気質

工事の実施に伴う影響を把握するために、建設機械の稼働に伴う大気汚染物質及び資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の調査を実施しました。

#### (1) 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質

##### 1) 調査項目及び調査地点

建設機械の稼働に伴う大気汚染物質について、調査項目及び調査地点は表-1.2.1.1 に示すとおりです。

表-1.2.1.1 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・ 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> ) ・ 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) ・ 浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8) の計4地点

##### 2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.1.2 に示すとおりです。

表-1.2.1.2 調査実施日

調査項目	調査実施日
・ 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> ) ・ 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) ・ 浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	令和6年度春季：令和6年4月4～10日 令和6年度夏季：令和6年7月12～18日 令和6年度秋季：令和6年10月26～11月1日 令和6年度冬季：令和7年2月5～11日 ※調査は各季7日間の連続測定

##### 3) 調査地点

調査地点は図-1.2.1.1 に示すとおりです。

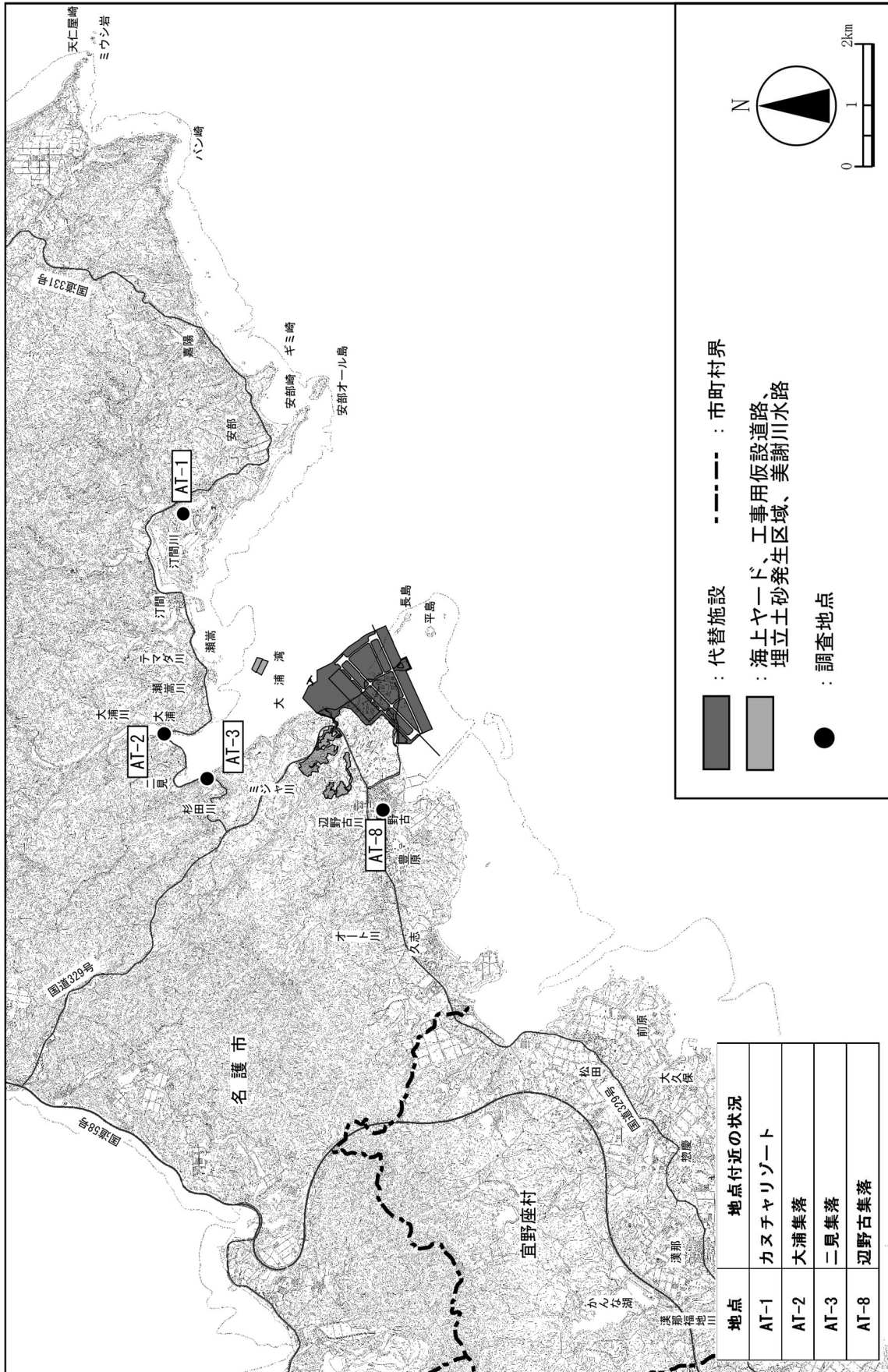


図-1.2.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質の調査地点

#### 4) 調査方法

各調査地点において測定機器を設置し、表-1.2.1.3 に示す方法により、7日間の連続測定を実施しました。

表-1.2.1.3 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の調査方法

調査項目	調査方法等
・二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )	JIS B 7953 に基づくオゾンを用いる化学発光法
・二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )	JIS B 7952 に基づく紫外線蛍光法
・浮遊粒子状物質(SPM)	JIS B 7954 に基づくベータ線吸収法



大気環境測定装置



風向風速計



大気環境測定装置  
(サンプリングホース)



温湿度センサー

## (2) 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質

### 1) 調査項目及び調査地点

資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質について、調査項目及び調査地点は表-1.2.1.4 に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.1.4 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・ 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> ) ・ 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) ・ 浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の計3地点

### 2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.1.5 に示すとおりです。

表-1.2.1.5 調査実施日

調査項目	調査実施日
・ 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> ) ・ 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) ・ 浮遊粒子状物質(SPM) ※風向・風速、気温・湿度も合わせて実施	令和6年度春季：令和6年4月12～18日 令和6年度夏季：令和6年7月4～10日 令和6年度秋季：令和6年10月18～24日 令和6年度冬季：令和7年1月28日～2月3日 ※調査は各季7日間の連続測定

### 3) 調査地点

調査地点等は図-1.2.1.2 に示すとおりです。

### 4) 調査方法

資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の調査方法については、先述の「建設機械の稼働に伴う大気汚染物質」と同様の方法としました。

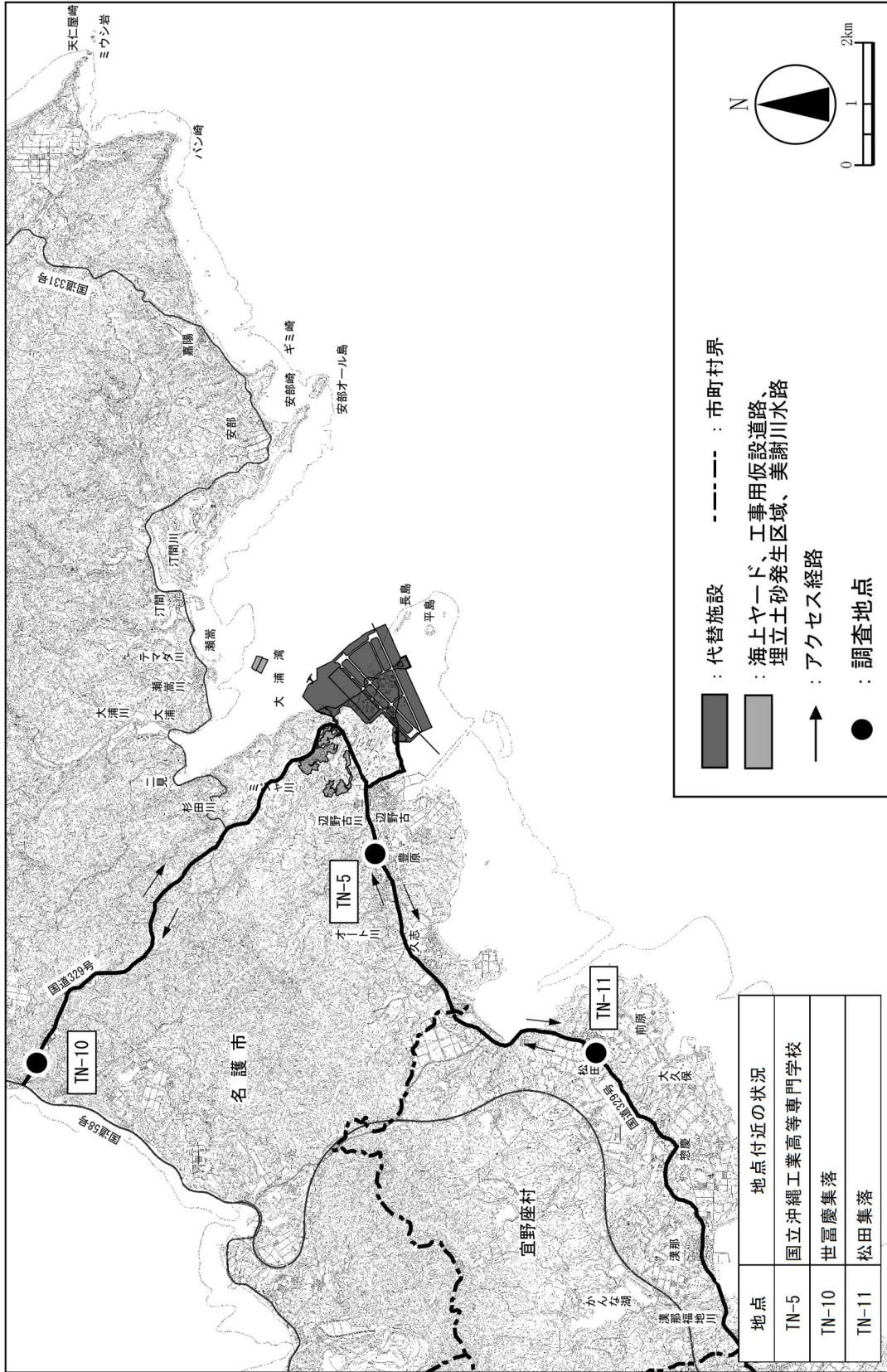


図-1.2.1.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の調査地点

## 1.2.2 騒音

工事の実施に伴う影響を把握するために、資機材運搬車両等の運行に伴う道路交通騒音、建設機械の稼働に伴う建設作業騒音の調査を実施しました。

### (1) 道路交通騒音

#### 1) 調査項目及び調査地点

道路交通騒音の調査項目及び調査地点は表-1.2.2.1 に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.2.1 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・ 道路交通騒音 ・ 交通量	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の計3地点

#### 2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.2.2 に示すとおりです。

表-1.2.2.2 調査実施日

調査項目	調査実施日
・ 道路交通騒音 ・ 交通量	令和6年度春季：令和6年4月16日 令和6年度夏季：令和6年7月9日 令和6年度秋季：令和6年10月22日 令和6年度冬季：令和7年1月29日 ※調査は各調査日の24時間測定

#### 3) 調査地点

調査地点等は図-1.2.2.1 に示すとおりです。

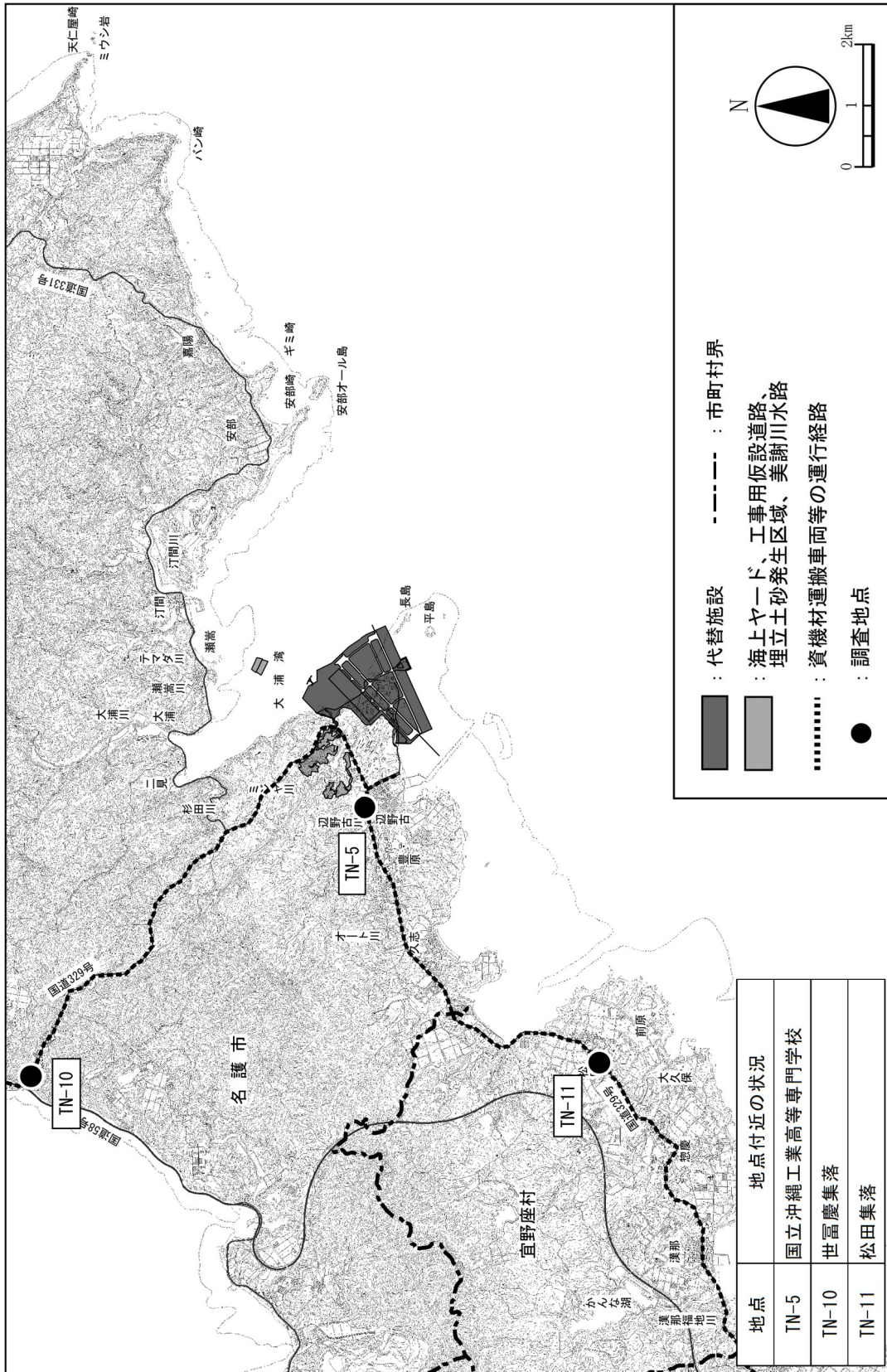


図-1.2.2.1 道路交通騒音の調査地点

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の沿道における道路交通騒音の調査地点の詳細は図-1.2.2.2 に、道路断面図は図-1.2.2.3 に示すとおりであり、3 地点とも国道 329 号の沿線上にあります。

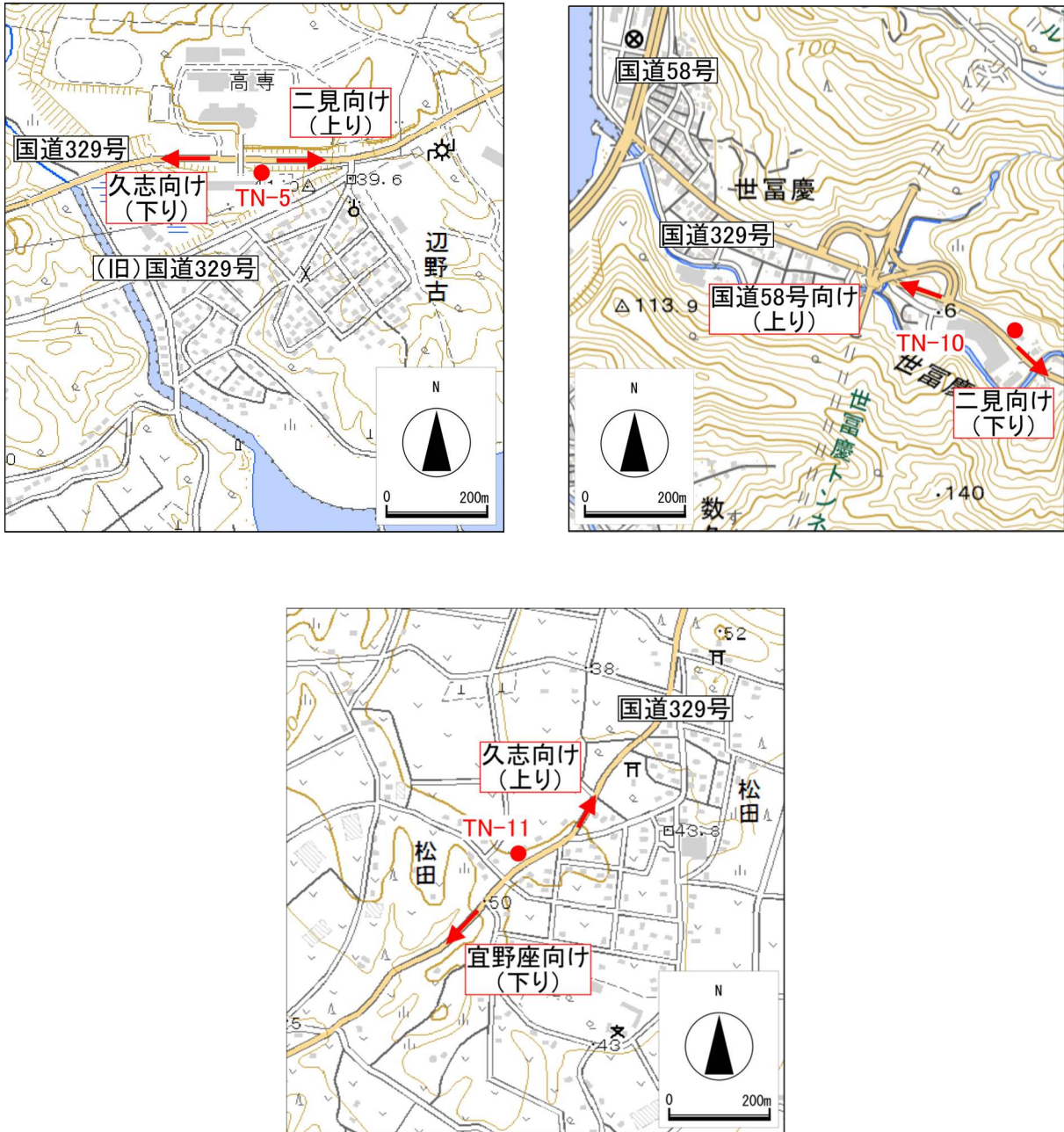


図-1.2.2.2 調査地点の詳細図

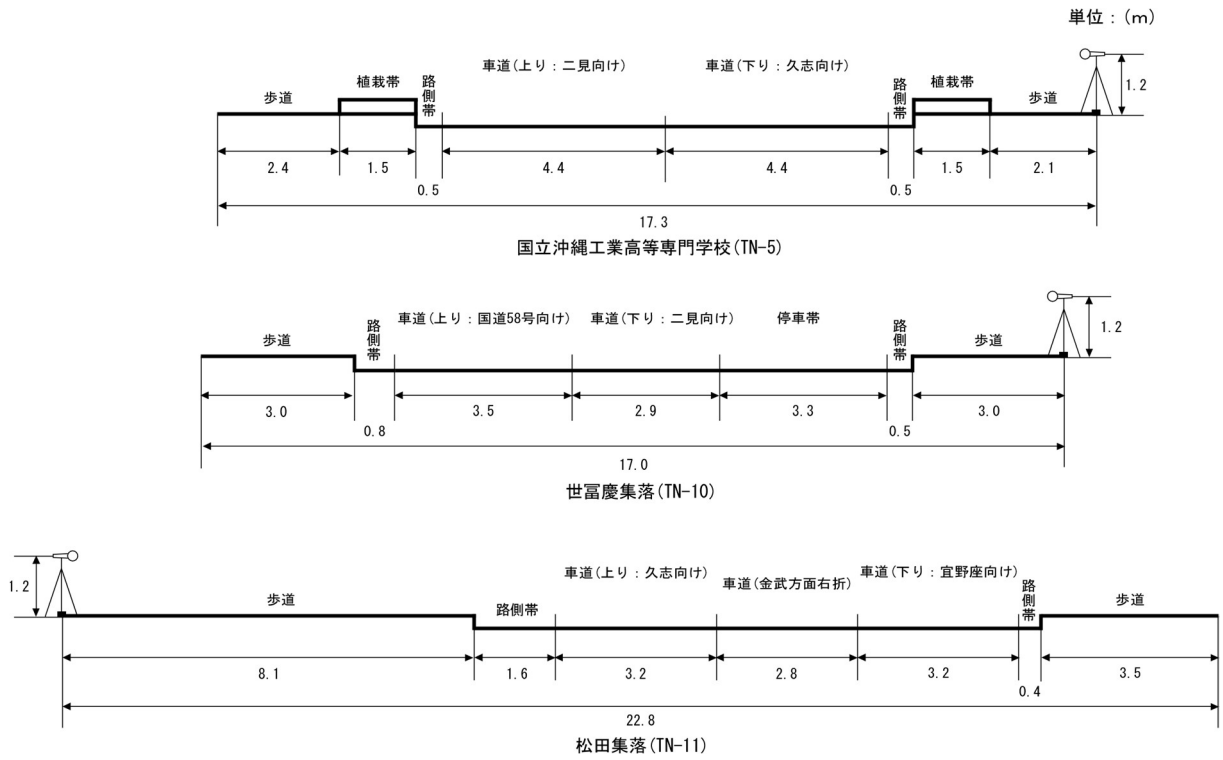


図-1.2.2.3 調査地点の道路断面図

#### 4) 調査方法

道路交通騒音、交通量の調査は、調査地点の道路端において、測定機器を設置し24時間の測定を実施しました。各調査項目の方法は表-1.2.2.3に示すとおりです。騒音計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.2.3 道路交通騒音、交通量の調査方法

調査項目	調査方法等
・ 道路交通騒音	「JIS Z 8731 : 2019 “環境騒音の表示・測定方法”」に基づき、調査地点の道路端 1.2m の高さに騒音計を設置して測定を行いました。
・ 交通量	同地点で大型車、小型車、二輪車の車種別、上下方向別にカウンターを用いて交通量を記録しました。



騒音計



測定状況

## (2) 建設作業騒音

### 1) 調査項目及び調査地点

建設作業騒音の調査項目及び調査地点は表-1.2.2.4 に示すとおりです。

表-1.2.2.4 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・建設作業騒音	国立沖縄工業高等専門学校(EN-10)、辺野古集落(EN-13)の2地点

### 2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.2.5 に示すとおりです。

表-1.2.2.5 調査実施日

調査項目	調査実施日
・建設作業騒音	令和6年度春季：令和6年4月5日 令和6年度夏季：令和6年7月17日 令和6年度秋季：令和6年11月1日 令和6年度冬季：令和7年2月5日 ※調査は各調査日の16時間測定

### 3) 調査地点

調査地点等は図-1.2.2.4 に示すとおりです。

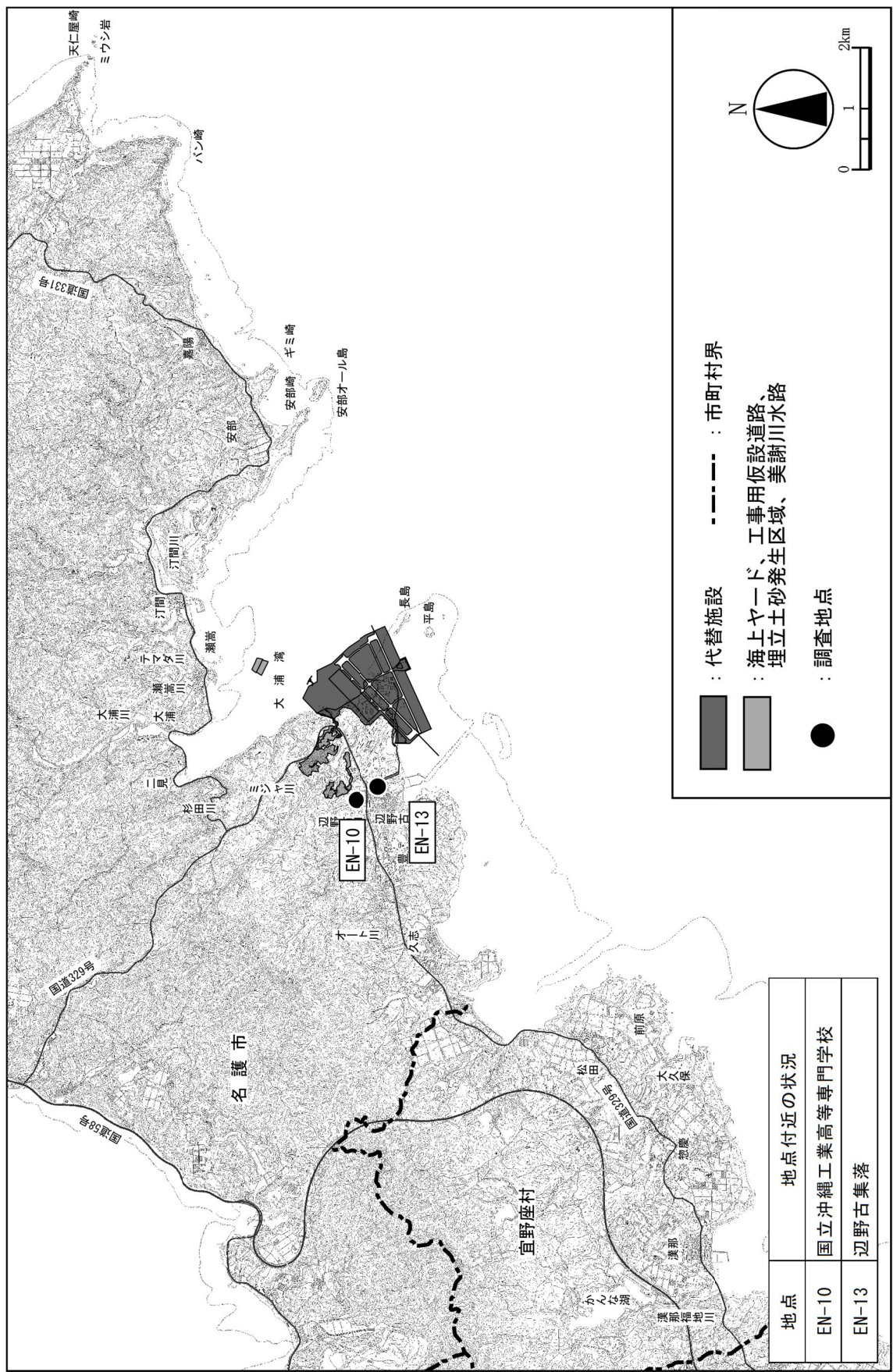


図-1.2.2.4 建設作業騒音の調査地点

#### 4) 調査方法

工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点において測定機器を設置し、工事中の時間帯に測定を行いました。建設作業騒音の調査方法は表-1.2.2.6 に示すとおりです。騒音計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.2.6 建設作業騒音の調査方法

調査項目	調査方法等
・建設作業騒音	「JIS Z 8731 : 2019 “環境騒音の表示・測定方法”」に基づき、工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点で、1.2m の高さに騒音計を設置して測定を行いました。



騒音計



測定状況

### 1.2.3 振動

工事の実施に伴う影響を把握するために、資機材運搬車両等の運行に伴う道路交通振動及び建設機械の稼働に伴う建設作業振動の調査を実施しました。

#### (1) 道路交通振動

##### 1) 調査項目及び調査地点

道路交通振動の調査項目及び調査地点は表-1.2.3.1 に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.3.1 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・ 道路交通振動	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)、世富慶集落(TV-10)、松田集落(TV-11)の計3地点

##### 2) 調査実施日

調査実施日は先述の「道路交通騒音」と同様の実施日としました。

##### 3) 調査地点

調査地点は図-1.2.3.1 に示すとおりです。

なお、先述の「道路交通騒音」と同様の地点としました。

##### 4) 調査方法

調査地点の道路端において測定機器を設置し、24時間の測定を実施しました。

道路交通振動の方法は表-1.2.3.2 に示すとおりです。振動レベル計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.3.2 道路交通振動の調査方法

調査項目	調査方法等
・ 道路交通振動	「JIS Z 8735 : 1981 “振動レベル測定方法”」に基づき、調査地点の道路端の平坦な地面に振動レベル計を設置して測定を行いました。



振動レベル計



測定状況

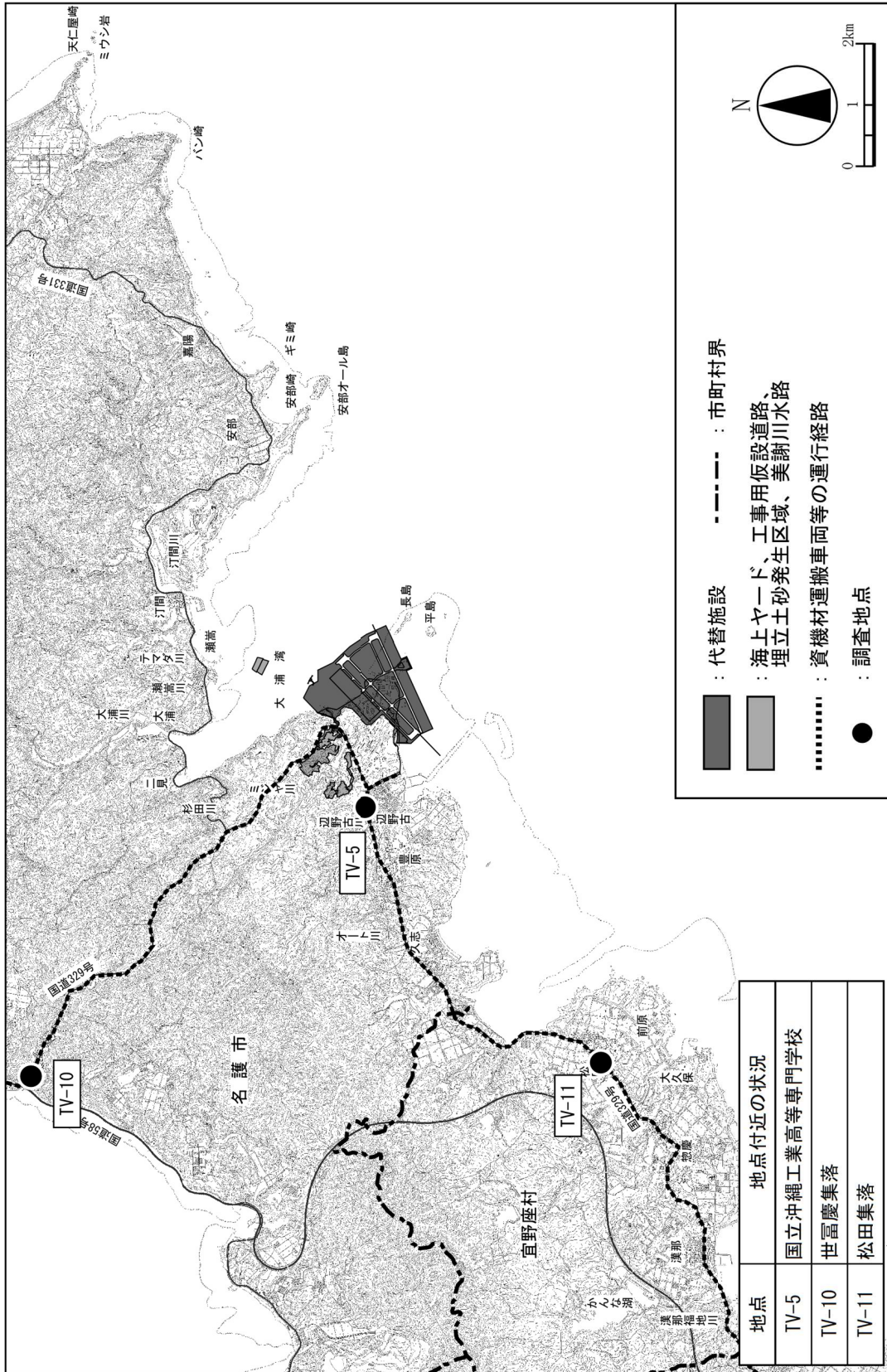


図-1.2.3.1 道路交通振動の調査地点

## (2) 建設作業振動

### 1) 調査項目及び調査地点

建設作業振動の調査項目及び調査地点は表-1.2.3.3 に示すとおりです。

表-1.2.3.3 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・建設作業振動	国立沖縄工業高等専門学校(EV-10)、辺野古集落(EV-13)の2地点

### 2) 調査実施日

調査実施日は先述の「建設作業騒音」と同様の実施日としました。

### 3) 調査地点

調査地点は図-1.2.3.2 に示すとおりです。

なお、先述の「建設作業騒音」と同様の地点としました。

### 4) 調査方法

建設作業振動の調査は、工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点において、測定機器を設置し工事中の時間帯に測定を行いました。建設作業振動の測定方法は表-1.2.3.4 に示すとおりです。振動レベル計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.3.4 建設作業振動の調査方法

調査項目	調査方法等
・建設作業振動	「JIS Z 8735 : 1981 “振動レベル測定方法”」に基づき、工事区域の学校側及び集落側の敷地境界線に設定した調査地点に振動レベル計を設置して測定を行いました。



振動レベル計



測定状況

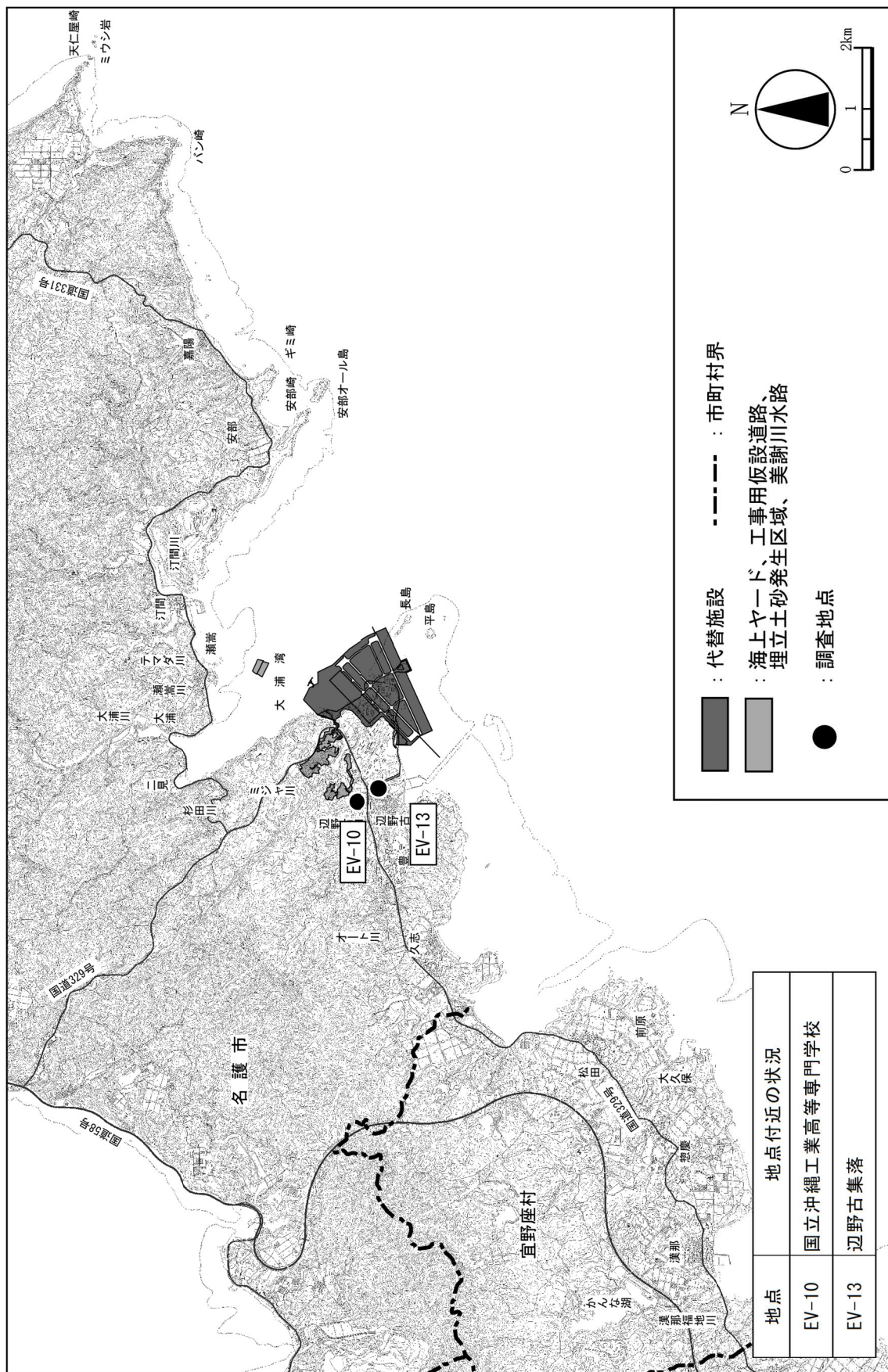


図-1.2.3.2 建設作業振動の調査地点

#### 1.2.4 低周波音

工事の実施に伴う影響を把握するために、建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音及び資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査を実施しました。

##### (1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音

###### 1) 調査項目及び調査地点

建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査項目及び調査地点は表-1.2.4.1に示すとおりです。

表-1.2.4.1 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音 ・風向・風速	国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、 辺野古集落(LF-13)の2地点

###### 2) 調査実施日

調査実施日は先述の「建設作業騒音」と同様の実施日としました。

###### 3) 調査地点

調査地点は図-1.2.4.1に示すとおりです。

なお、先述の「建設作業騒音」と同様の地点としました。

###### 4) 調査方法

工事区域の敷地境界線に、測定機器を設置し、工事時間中の測定を実施しました。低周波音及び風向・風速の調査方法は表-1.2.4.2に示すとおりです。低周波音計、超音波型風向風速計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。

表-1.2.4.2 低周波音及び風向・風速の調査方法

調査項目	調査方法等
・低周波音	低周波音測定マニュアル(環境省)に基づき、実時間周波数分析器を用いて1/3オクターブバンド中心周波数1~80Hzの1/3オクターブ音圧レベルを測定しました。
・風向・風速	超音波型風向風速計を用いて観測しました。



低周波音計



測定状況



超音波型風向風速計

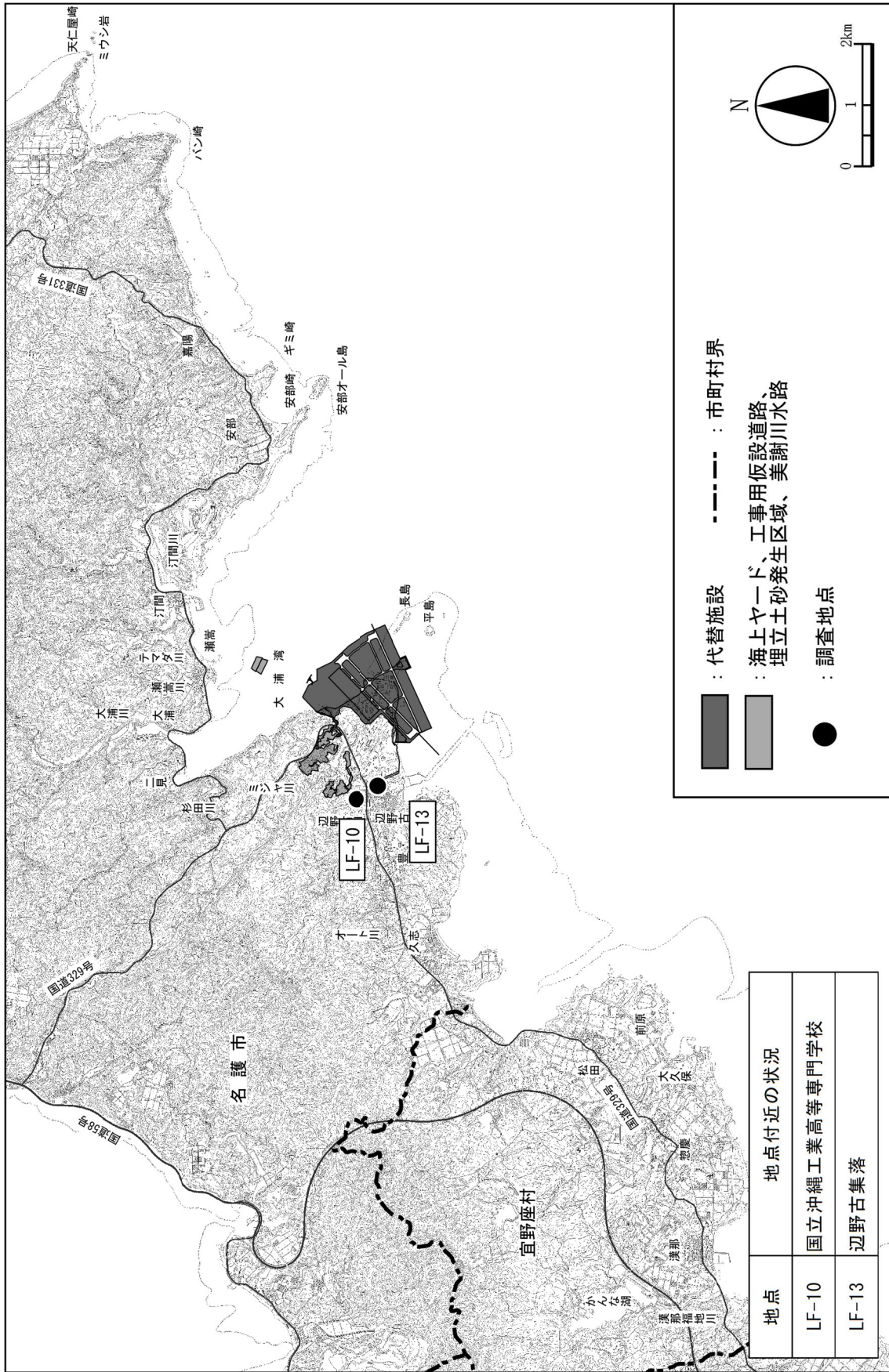


図-1.2.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査地点

## (2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音

### 1) 調査項目及び調査地点

資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査項目及び調査地点は表-1.2.4.3に示すとおりです。

なお、辺野古集落の工事用仮設道路沿道の調査地点については、工事用仮設道路が設置されていないことから、調査を実施しませんでした。

表-1.2.4.3 調査項目及び調査地点

調査項目	調査地点
・資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音 ・風向・風速	資機材運搬車両の運行経路上の国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の計3地点

### 2) 調査実施日

調査実施日は先述の「道路交通騒音」と同様の実施日としました。

### 3) 調査地点

調査地点は先述の「道路交通騒音」と同様の地点としました。

#### 4) 調査方法

資機材運搬車両の運行に伴う低周波音については、調査地点の道路端に、測定機器を地面に設置し、24時間の測定を実施しました。

なお、低周波音及び風向・風速の調査方法は先述の「建設機械の稼働に伴う低周波音」と同様としました。

低周波音計、超音波型風向風速計及び測定位置の状況は写真に示すとおりです。



低周波音計



測定状況



超音波型風向風速計

### 1.2.5 底生動物等（移動後の状況監視）

#### (1) 調査項目

調査項目は移動個体の生息・生育状況（追跡調査）、底生動物の生息状況、海藻草類の生育状況及び浮遊生物の分布状況（生物相調査）としました。

#### (2) 調査実施日等

調査実施日等は表-1.2.5.1 に示すとおりです。調査時期及び調査地点数は、環境保全措置として実施した底生動物等の移動実績を勘案して設定しました。

表-1.2.5.1(1) 調査項目及び調査地点

調査項目	調査実施日及び調査地点数	備考
追跡調査	<p>【令和元～2年度移植分（移植後5年目）】                      令和6年繁茂期③（令和6年4月17日）                      令和6年繁茂期④（令和6年5月22日）                      令和7年繁茂期①（令和7年2月25日）                      令和7年繁茂期②（令和7年3月27日）</p> <p>【令和2～3年度移植分（移植後4年目）】                      令和6年繁茂期③（令和6年4月17日）                      令和6年繁茂期④（令和6年5月22日）                      令和7年繁茂期①（令和7年2月25日）                      令和7年繁茂期②（令和7年3月27日）</p> <p>【令和3～4年度移植分（移植後3年目）】                      令和6年繁茂期③（令和6年4月17日）                      令和6年繁茂期④（令和6年5月22日）                      令和7年繁茂期①（令和7年2月25日）                      令和7年繁茂期②（令和7年3月27日）</p> <p>【令和4～5年度移植分（移植後2年目）】                      令和6年繁茂期③（令和6年4月17日）                      令和6年繁茂期④（令和6年5月22日）                      令和7年繁茂期①（令和7年2月25日）                      令和7年繁茂期②（令和7年3月27日）</p> <p>【令和5～6年度移植分（移植後1年目）】                      移植直後（令和6年4月12、23日）                      移植1ヶ月後（令和6年5月21日）                      移植3ヶ月後（令和6年7月29日）                      移植6ヶ月後（令和6年10月28日）                      令和7年繁茂期①（令和7年2月25日）                      令和7年繁茂期②（令和7年3月27日）</p>	ウミボッサを 対象

注) ウミボッサは褐藻綱ケヤリモ目ケヤリモ科に属する海藻類ですが、ここでは「底生動物等」の項目の一つとして記載しています。

表-1. 2. 5. 1(2) 調査項目及び調査地点

調査項目		調査実施日及び調査地点数	備考
生物相調査			
定性的調査	インベントリー調査（海岸部）	春季（令和6年4月23～26日）：17地点 夏季（令和6年8月20～23日）：17地点 台風後（令和6年9月30日、10月1～3日）：17地点 秋季（令和6年10月30、31日、 11月1、2、13日）：17地点 冬季（令和7年1月18～22日）：17地点	
	インベントリー調査（海上部）	春季（令和6年5月8～10日）：8地点 夏季（令和6年8月28～30日）：8地点 台風後（令和6年9月26～28日）：8地点 秋季（令和6年11月5～7日）：8地点 冬季（令和7年2月5～7日）：8地点	
定量的調査	底生動物調査	春季（令和6年5月8、9日）：4地点 夏季（令和6年8月26、27日）：4地点 台風後（令和6年9月24、25日）：4地点 秋季（令和6年10月21、22日）：4地点 冬季（令和7年2月12、13日）：4地点	現地調査はインベントリー調査(海上部)実施時に兼ねて実施
	潮間帯生物調査	春季（令和6年4月25日）：1地点 夏季（令和6年8月23日）：1地点 台風後（令和6年10月4日）：1地点 秋季（令和6年10月29日）：1地点 冬季（令和7年2月17日）：1地点	
	干潟生物分布調査	実施なし	対象種の移動を実施していないため
	浮遊生物調査 （動物プランクトン、植物プランクトン）	春季（令和6年5月8、9日）：4地点 夏季（令和6年8月26、27日）：4地点 台風後（令和6年9月24、25日）：4地点 秋季（令和6年10月21、22日）：4地点 冬季（令和7年2月12、13日）：4地点	現地調査はインベントリー調査(海上部)実施時に兼ねて実施

注) 1. 生物相調査は年4回（四季）の頻度で実施していますが、令和6年度は9月上旬の台風第13号及び台風第14号通過後にも追加で調査を実施しています。

2. 干潟生物分布調査は、干潟域の底生動物を移動していないため実施していません。

### (3) 調査方法及び調査地点・範囲

#### 1) 追跡調査

##### (a) ウミボッサ

追跡調査の調査地点は図-1.2.5.1 に示すとおりです。

ウミボッサの移植先及びその周辺において、ウミボッサの生育状況を確認しました。併せて、その他の海藻類の出現種の概略についても把握しました。

なお、ウミボッサは褐藻綱ケヤリモ目ケヤリモ科に属する海藻類ですが、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価書」第7章及び「普天間飛行場代替施設建設事業に係る事後調査報告書」第4章・第8章に記載のとおり、改変区域内に生息する底生動物に関する環境保全措置の一環としてウミボッサの移動も行っているため、「底生動物等」の項目の一つとして記載しています。

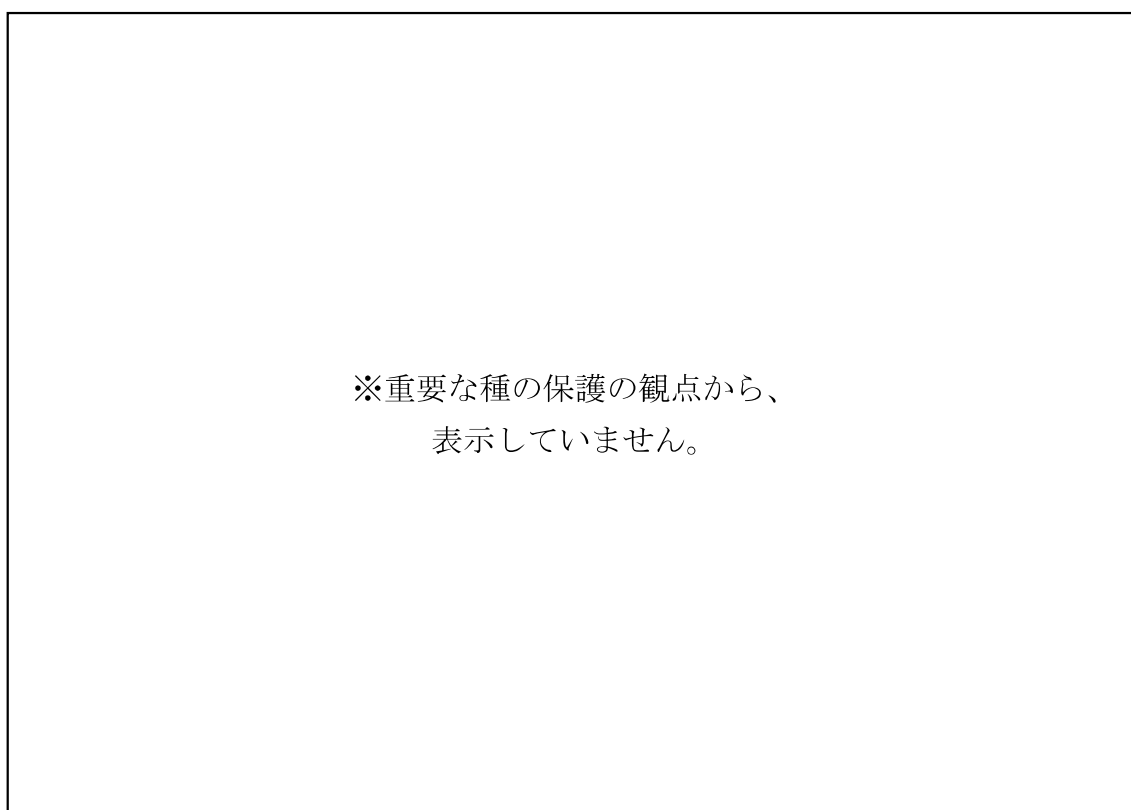


図-1.2.5.1 底生動物等の移動先の状況監視 追跡調査 調査地点（ウミボッサ）

## 2) 生物相調査

### (a) インベントリー調査（定性的調査）

インベントリー調査の調査地点は図-1.2.5.2 に示すとおりです。

移動・放流場所と近傍の「普天間飛行場代替施設建設に係る環境影響評価書」に示された調査地点（以下、「既往調査地点」とします。）が同様の環境である場合には、大型底生動物（貝類、甲殻類、棘皮類等）及び海藻草類を対象として生物種の目録作成を行いました。

各地点に存在する種々の環境に着目し、対象とする項目に応じて複数の調査員により目視観察及び生物採取を一定時間行った後、各調査員の目視観察記録及び採取生物を持ち寄り、確認種の記録、写真撮影等を行った後、各地点において放流しました。なお、採取生物のうち詳細検討が必要な個体は、沖縄県漁業調整規則を遵守する範囲で最小限の試料を持ち帰り、室内にて種の同定を行いました。

※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

図-1.2.5.2 底生動物等の移動先の状況監視 生物相調査 調査地点  
(インベントリー調査)

(b) 底生動物調査（定量的調査）

底生動物調査の調査地点は図-1.2.5.3 に示すとおりです。

移動・放流場所が潮下帯等の海底の場合に、近傍の既往調査地点が同様の環境である場合には、マクロベントスを対象として行いました。船上よりスミス・マッキンタイヤー型採泥器（採泥面積 0.05m<sup>2</sup>）を用いて表層堆積物を 2 回採取し、ふるい（目合い 1mm）に残った試料を固定した後、同定、個体数の計数及び湿重量の測定を行いました。

※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

図-1.2.5.3 底生動物等の移動先の状況監視 生物相調査 調査地点  
(底生動物調査)

(c) 潮間帯生物調査（定量的調査）

潮間帯生物調査の調査地点は図-1.2.5.4 に示すとおりです。

移動・放流場所が潮間帯の場合に、近傍の既往調査地点が同様の環境である場合には、表在性の大型底生動物及び海藻草類を対象として行いました。

潮上帯から潮下帯にかけてベルトトランセクト法による目視観察（測線に沿って30cm×30cmの方形枠を連続して移動させながら、枠内に生息する動物及び植物を記録）により、地形・底質の状況、出現種、大型底生動物の個体数の概数、植物の被度（枠内の面積比）を記録しました。

目視観察後、各測線の代表地点2箇所（上層：潮上帯と平均水面の間、下層：平均水面と潮下帯の間）に30cm×30cmの方形枠を設置し、岩盤の場合は付着生物の刈り取り、砂礫・転石地の場合は表層堆積物の採取（深さ約5cm）を行い、目合い1mmのふるいに残った試料を固定した後、同定、個体数の計数及び湿重量の測定を行いました。

※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

図-1.2.5.4 底生動物等の移動先の状況監視 生物相調査 調査地点  
(潮間帯生物調査)

(d) 浮遊生物調査（定量的調査）

浮遊生物調査の調査地点は図-1.2.5.5 に示すとおりです。

移動・放流場所が潮下帯等の海底の場合に、近傍の既往調査地点が同様の環境である場合には、海水中の浮遊生物（植物プランクトン、動物プランクトン）を対象として行いました。

植物プランクトンについては、満潮時前後にバンドーン採水器を用いて海面下 0.5m 層で 5L 程度採水し、試料を固定した後、沈澱濃縮もしくは分離濃縮し、同定及び細胞数の計数を行いました。

動物プランクトンについては、満潮時前後に北原定量ネット（NXX13、網目幅 0.1mm）で鉛直曳き（リーフ内：底上～表層、リーフ外：底上～海面下 10m 及び海面下 10m ～表層の 2 層、水深が 10m 未満の場合は底上～表層までの 1 層）を行い、試料を固定した後、同定及び個体数の計数を行いました。なお、移動先の水深が 10m 未満であり、近傍の既往調査地点の水深が 10m 以上の場合には、移動先の生息環境として対象とする層は 10m 以浅の部分であることから、2 層での採取ではなく「海面下 10m ～表層」の 1 層を採取しました。

※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

図-1.2.5.5 底生動物等の移動先の状況監視 生物相調査 調査地点  
(浮遊生物調査)

## 1.2.6 サンゴ類（全域の状況監視）

### (1) 調査項目

調査項目はサンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等としました。

### (2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.6.1 に示すとおりです。調査は年2回（夏季及び冬季）実施しました。

表-1.2.6.1 調査実施日

調査項目	調査実施日
サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等	夏季：令和6年9月2～7、24日 冬季：令和7年2月8～10、12～15日

### (3) 調査地点・範囲

事後調査として実施するライン調査及びスポット調査を補完するため、図-1.2.6.1 に示す範囲で調査を実施しました。

### (4) 調査方法

マンタ法により調査船に曳航された潜水調査員が海底を目視観察し、サンゴ類の生息被度、食害生物の出現状況、白化の状況、土砂の堆積状況等を記録しました。



## 1.2.7 海藻草類（全域の状況監視）

### (1) 調査項目

調査項目は海藻草類の生育被度、生育状況等及びクビレミドロの生育状況等としました。

### (2) 調査実施日

調査実施日は表-1.2.7.1 に示すとおりです。海藻草類は図-1.2.7.1 に示す範囲において、繁茂期及び衰退期の年2回実施しました。クビレミドロは繁茂期である春季とし、干潟上の生育状況の把握に適した大潮期に2回実施しました。

表-1.2.7.1 調査実施日

調査項目	調査実施日
海藻草類の生育被度、 生育状況等	夏季：令和6年9月2～7、24日 冬季：令和7年2月8～10、12～15日
クビレミドロ生育状況等	春季：令和6年4月10、12、24日

### (3) 調査地点・範囲

事後調査として実施するライン調査及びスポット調査を補完するため、図-1.2.7.1 に示す範囲で調査を実施しました。

### (4) 調査方法

#### 1) 海藻草類の生育被度、生育状況等

マンタ法により調査船に曳航された潜水調査員が海底を目視観察し、海藻草類の生育被度、生育状況等を記録しました。

#### 2) クビレミドロ生育状況等

既往調査においてクビレミドロが生育しているとされている範囲を踏査により目視観察し、クビレミドロの生育範囲、生育被度を記録しました。

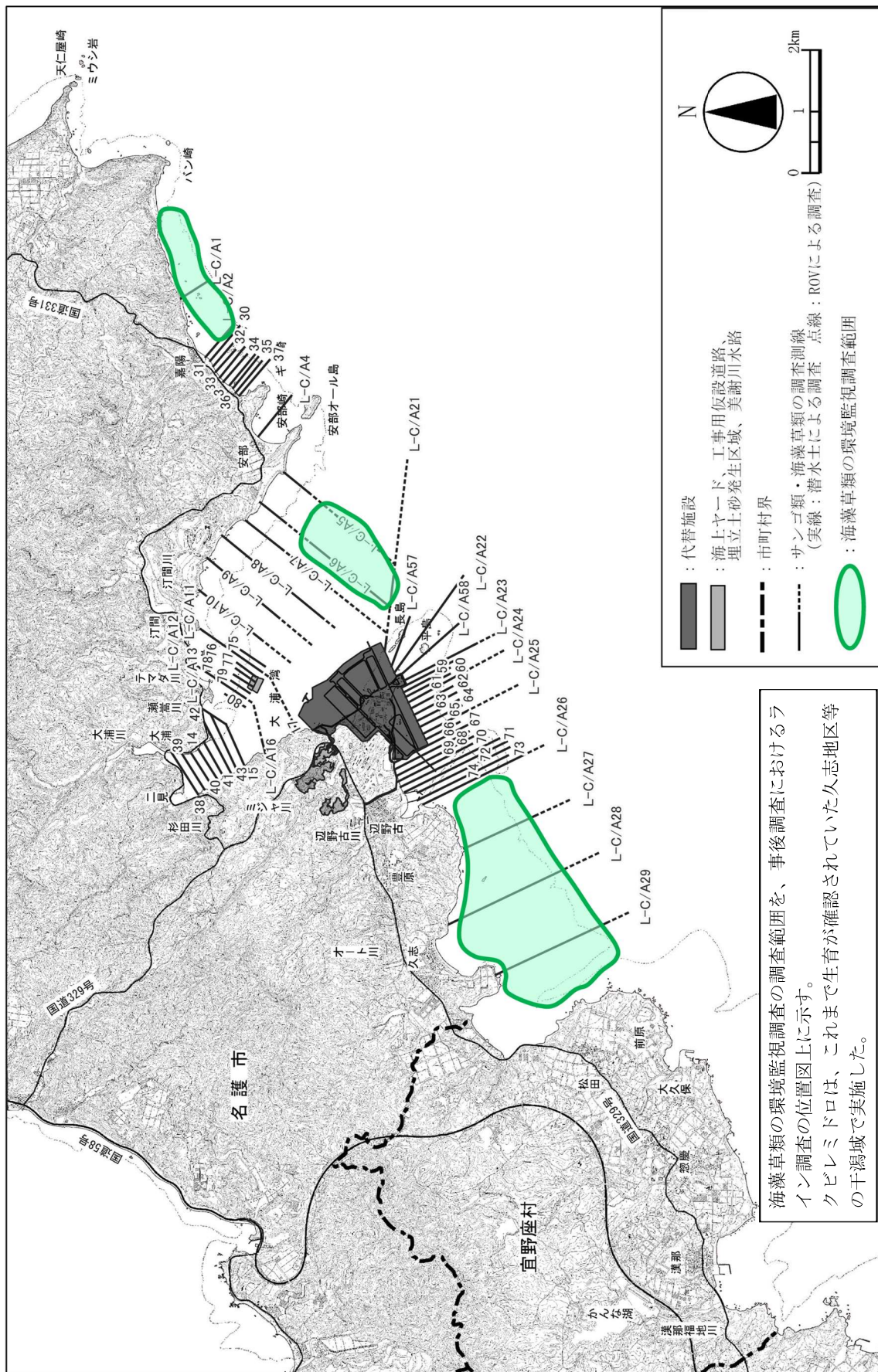


図-1.2.7.1 海藻類の環境監視調査範囲

## 第 2 章 環境監視調査の結果

### 2.1 大気質

#### 2.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質

##### (1) 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度の状況

カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)における令和6年度春季から冬季の二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度は、表-2.1.1.1～表-2.1.1.4に示すとおりです。

二酸化窒素の日平均値は0.000～0.004ppm、二酸化硫黄の日平均値は0.000～0.002ppm、1時間値は0.000～0.003ppm、浮遊粒子状物質の日平均値は0.003～0.030mg/m<sup>3</sup>、1時間値は0.006～0.062mg/m<sup>3</sup>の範囲で推移していました。

また、二酸化窒素及び二酸化硫黄の濃度は、環境監視基準と比較して低濃度であり、地点別ともに大きな変動はみられませんでした。

浮遊粒子状物質の濃度は、環境監視基準（1日平均値は0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値は0.20mg/m<sup>3</sup>以下）の約1/3の濃度でした。

表-2.1.1.1 建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和6年度春季）

物質	地点名	区分	令和6年度春季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日			
二酸化窒素 NO <sub>2</sub> (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	1日平均値が 0.04～ 0.06ppmの ゾーン内又は それ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO <sub>2</sub> (ppm)	AT-1	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	1日平均値が 0.04ppm以下、かつ 1時間値が 0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.003	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
浮遊 粒子状 物質 SPM (mg/m <sup>3</sup> )	AT-1	日平均値	0.020	0.010	0.009	0.009	0.009	0.014	0.020	0.013	1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下、かつ 1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	100
		1時間値	0.044	0.024	0.018	0.016	0.018	0.024	0.039	0.026		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.012	0.006	0.016	0.009	0.011	0.014	0.020	0.013		100
		1時間値	0.040	0.018	0.038	0.029	0.031	0.024	0.039	0.031		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.012	0.013	0.012	0.012	0.007	0.014	0.015	0.012		100
		1時間値	0.039	0.033	0.028	0.032	0.020	0.032	0.037	0.032		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.014	0.010	0.009	0.009	0.008	0.014	0.017	0.012		100
		1時間値	0.022	0.019	0.017	0.014	0.018	0.024	0.023	0.020		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。  
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.1.2 建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和6年度夏季）

物質	地点名	区分	令和6年度夏季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日			
二酸化窒素 NO <sub>2</sub> (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	1日平均値が 0.04～ 0.06ppmの ゾーン内又は それ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.003	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO <sub>2</sub> (ppm)	AT-1	日平均値	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	1日平均値が 0.04ppm以 下、かつ 1時間値が 0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.000		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.002	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
浮遊 粒子状 物質 SPM (mg/m <sup>3</sup> )	AT-1	日平均値	0.020	0.012	0.016	0.012	0.018	0.016	0.016	0.016	1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下、かつ 1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	100
		1時間値	0.041	0.022	0.034	0.037	0.031	0.040	0.033	0.034		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.009	0.006	0.007	0.008	0.008	0.016	0.016	0.010		100
		1時間値	0.013	0.011	0.012	0.011	0.012	0.040	0.033	0.019		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.008	0.006	0.006	0.006	0.008	0.007	0.008	0.007		100
		1時間値	0.013	0.011	0.009	0.009	0.009	0.011	0.012	0.011		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.012	0.008	0.009	0.009	0.012	0.013	0.011	0.011		100
		1時間値	0.028	0.021	0.030	0.022	0.028	0.062	0.027	0.031		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。  
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2. 1. 1. 3 建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和6年度秋季）

物質	地点名	区分	令和6年度秋季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日	11月1日			
二酸化窒素 NO <sub>2</sub> (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	1日平均値が 0.04～ 0.06ppmの ゾーン内又は それ以下	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.002	0.002	0.002	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
二酸化硫黄 SO <sub>2</sub> (ppm)	AT-1	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1日平均値が 0.04ppm以下、かつ 1時間値が 0.1ppm以下	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
浮遊 粒子状 物質 SPM (mg/m <sup>3</sup> )	AT-1	日平均値	0.025	0.020	0.017	0.011	0.022	0.030	0.026	0.021	1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下、かつ 1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	100
		1時間値	0.040	0.037	0.034	0.028	0.043	0.042	0.047	0.039		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.015	0.013	0.012	0.013	0.014	0.030	0.026	0.018		100
		1時間値	0.022	0.019	0.021	0.020	0.025	0.042	0.047	0.028		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-3	日平均値	0.017	0.012	0.013	0.016	0.019	0.029	0.022	0.018		100
		1時間値	0.027	0.030	0.020	0.039	0.034	0.044	0.029	0.032		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-8	日平均値	0.021	0.015	0.012	0.013	0.024	0.029	0.026	0.020		100
		1時間値	0.045	0.038	0.037	0.036	0.043	0.048	0.041	0.041		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。  
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.1.4 建設機械の稼働に係る大気質の調査結果一覧（令和6年度冬季）

物質	地点名	区分	令和6年度冬季							平均	環境監視基準	達成率 (%)
			2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日			
二酸化窒素 NO <sub>2</sub> (ppm)	AT-1	日平均値	0.002	0.003	0.002	0.001	0.002	0.003	0.002	0.002	1日平均値が 0.04～ 0.06ppmの ゾーン内又 はそれ以下 であること	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	AT-3	日平均値	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	AT-8	日平均値	0.002	0.003	0.002	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002		100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
二酸化硫黄 SO <sub>2</sub> (ppm)	AT-1	日平均値	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1日平均値が 0.04ppm以 下、かつ 1時間値が 0.1ppm以下	100
		1時間値	0.002	0.001	0.003	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		—
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	AT-3	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		—
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	AT-8	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000		—
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
浮遊 粒子状 物質 SPM (mg/m <sup>3</sup> )	AT-1	日平均値	0.015	0.017	0.009	0.012	0.011	0.009	0.009	0.012	1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下、かつ 1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	100
		1時間値	0.035	0.033	0.024	0.030	0.028	0.025	0.029	0.029		
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		
	AT-2	日平均値	0.021	0.020	0.011	0.008	0.004	0.009	0.009	0.012		100
		1時間値	0.026	0.028	0.022	0.022	0.007	0.025	0.029	0.023		—
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	AT-3	日平均値	0.019	0.015	0.012	0.011	0.008	0.009	0.011	0.012		100
		1時間値	0.036	0.038	0.034	0.038	0.017	0.024	0.029	0.031		—
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—
	AT-8	日平均値	0.018	0.019	0.011	0.006	0.003	0.004	0.007	0.010		100
		1時間値	0.025	0.032	0.019	0.022	0.006	0.008	0.018	0.018		—
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。  
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

## (2) 気象の状況

### 1) 風向・風速

大気質調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)における令和6年度春季から冬季の風向別平均風速、風向別出現頻度は表-2.1.1.5及び図-2.1.1.1～図-2.1.1.4に示すとおりです。

令和6年度春季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)で東寄り、大浦集落(AT-2)、辺野古集落(AT-8)で北北西寄り、二見集落(AT-3)で北寄りの風が卓越し、二見集落(AT-3)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。風速については、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和6年度夏季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、辺野古集落(AT-8)で南南東寄り、二見集落(AT-3)で南寄りの風が卓越していました。風速については、カヌチャリゾート(AT-1)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和6年度秋季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)で東寄り、大浦集落(AT-2)で北寄り、二見集落(AT-3)で南寄り、辺野古集落(AT-8)で南東寄りの風が卓越していました。風速については、大浦集落(AT-2)が他の地点と比較して速くなっていました。

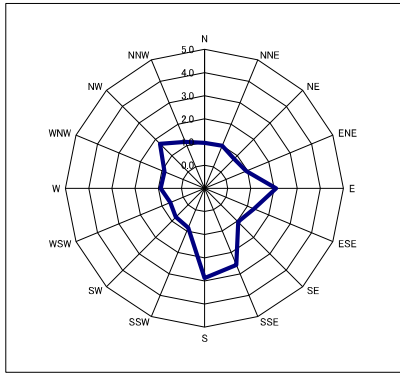
令和6年度冬季の風向は、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)で北北西寄り、二見集落(AT-3)で北北東寄り、辺野古集落(AT-8)で北寄りの風が卓越し、二見集落(AT-3)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。風速については、カヌチャリゾート(AT-1)が他の地点と比較して速くなっていました。

表-2.1.1.5 風向・風速の調査結果一覧

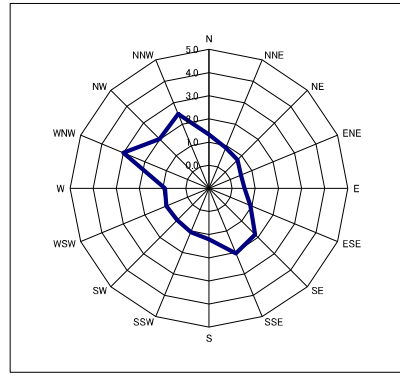
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	AT-1	AT-2	AT-3	AT-8
R6年度春季	最多風向	E	NNW	N	NNW
	平均風速	1.5	1.5	1.1	0.9
R6年度夏季	最多風向	SSE	SSE	S	SSE
	平均風速	1.7	1.3	1.2	1.2
R6年度秋季	最多風向	E	N	S	SE
	平均風速	1.9	2.0	1.6	1.5
R6年度冬季	最多風向	NNW	NNW	NNE	N
	平均風速	1.5	1.4	1.1	1.2

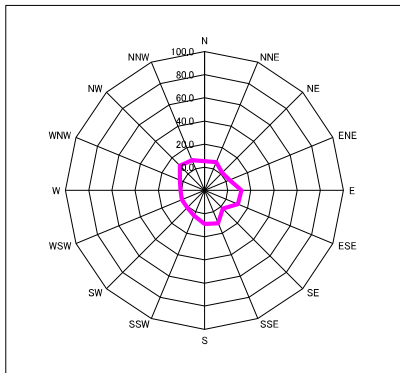
注) 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。



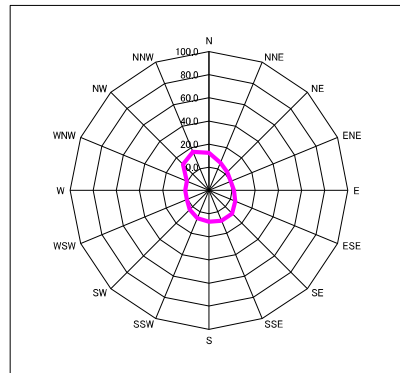
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	1.0
NE	0.8
ENE	1.0
E	2.1
ESE	1.3
SE	1.1
SSE	2.6
S	2.9
SSW	0.9
SW	0.8
WSW	0.6
W	0.9
WNW	0.9
NW	1.7
NNW	1.2



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.3
NNE	0.9
NE	0.8
ENE	0.5
E	0.5
ESE	0.9
SE	1.8
SSE	2.0
S	1.2
SSW	1.1
SW	0.9
WSW	1.0
W	0.9
WNW	3.0
NW	2.0
NNW	2.5



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	5.4
NNE	6.5
NE	1.8
ENE	3.6
E	11.9
ESE	11.3
SE	2.4
SSE	10.7
S	8.9
SSW	3.6
SW	1.2
WSW	1.2
W	0.6
WNW	3.0
NW	10.1
NNW	8.3
calm	9.5



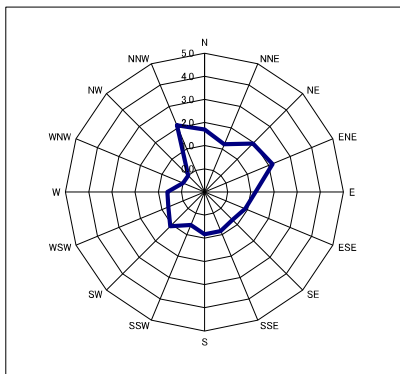
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	12.5
NNE	6.0
NE	2.4
ENE	0.6
E	1.8
ESE	4.8
SE	8.3
SSE	8.3
S	7.1
SSW	6.0
SW	3.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.6
NW	11.9
NNW	16.1
calm	8.9

観測期間：令和6年4月4日～4月10日

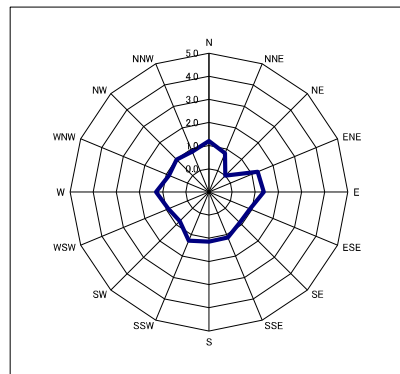
カヌチャリゾート(AT-1)

観測期間：令和6年4月4日～4月10日

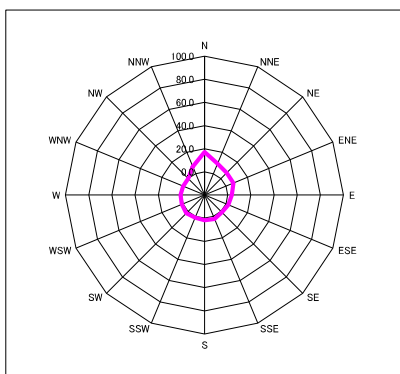
大浦集落(AT-2)



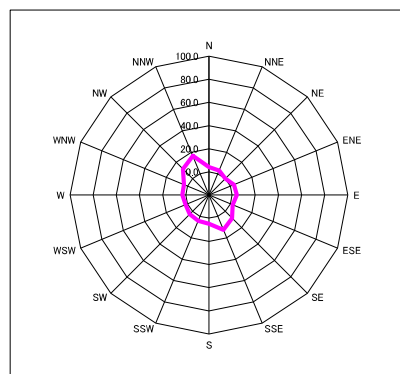
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.7
NNE	1.2
NE	2.0
ENE	2.2
E	1.2
ESE	0.9
SE	0.7
SSE	0.8
S	0.8
SSW	0.6
SW	1.1
WSW	0.7
W	0.6
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	2.1



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.2
NNE	0.8
NE	0.0
ENE	1.3
E	1.4
ESE	0.9
SE	0.9
SSE	1.1
S	1.2
SSW	1.3
SW	0.8
WSW	0.9
W	1.3
WNW	0.9
NW	1.0
NNW	0.9



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	17.3
NNE	9.5
NE	7.1
ENE	7.1
E	3.6
ESE	2.4
SE	1.2
SSE	2.4
S	1.8
SSW	1.2
SW	2.4
WSW	1.2
W	0.6
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	6.5
calm	35.7



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	4.2
NNE	3.0
NE	0.0
ENE	3.6
E	4.2
ESE	2.4
SE	8.3
SSE	12.5
S	4.8
SSW	4.2
SW	3.6
WSW	1.8
W	3.0
WNW	3.6
NW	11.9
NNW	16.7
calm	12.5

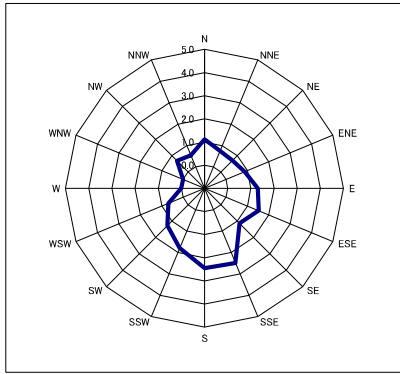
観測期間：令和6年4月4日～4月10日

二見集落(AT-3)

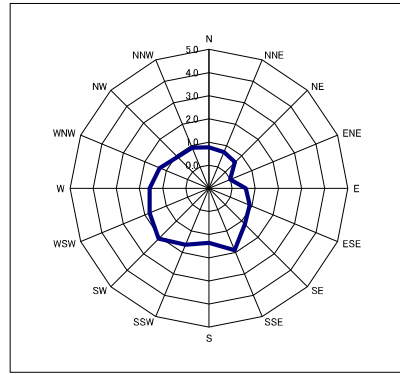
観測期間：令和6年4月4日～4月10日

辺野古集落(AT-8)

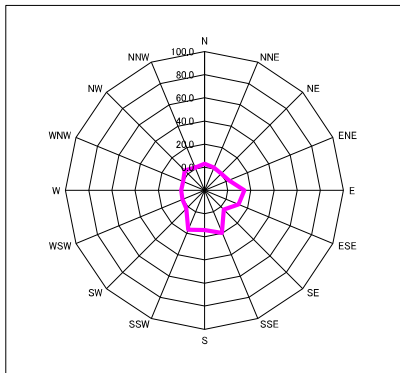
図-2.1.1.1 風向別平均風速、風向別出現頻度（令和6年度春季）



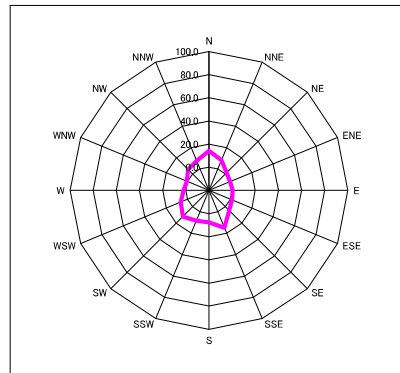
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.1
NNE	0.8
NE	0.7
ENE	0.9
E	1.3
ESE	1.5
SE	1.1
SSE	2.5
S	2.4
SSW	1.8
SW	1.3
WSW	0.7
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.7
NNW	0.6



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.8
NNE	0.7
NE	0.6
ENE	0.0
E	0.6
ESE	0.9
SE	1.2
SSE	1.9
S	1.4
SSW	1.6
SW	2.1
WSW	1.8
W	1.6
WNW	1.3
NW	0.9
NNW	0.9



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	3.0
NNE	1.2
NE	0.6
ENE	3.0
E	14.3
ESE	11.9
SE	3.6
SSE	19.6
S	14.3
SSW	16.7
SW	2.4
WSW	0.6
W	0.0
WNW	0.0
NW	4.2
NNW	1.2
calm	3.6



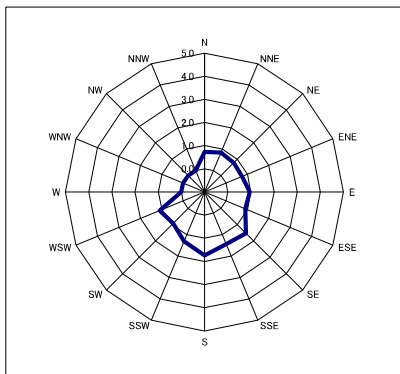
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	14.3
NNE	8.3
NE	1.8
ENE	0.0
E	0.6
ESE	1.8
SE	4.8
SSE	14.9
S	7.7
SSW	8.3
SW	11.9
WSW	6.5
W	1.8
WNW	0.6
NW	5.4
NNW	7.7
calm	3.6

観測期間：令和6年7月12日～7月18日

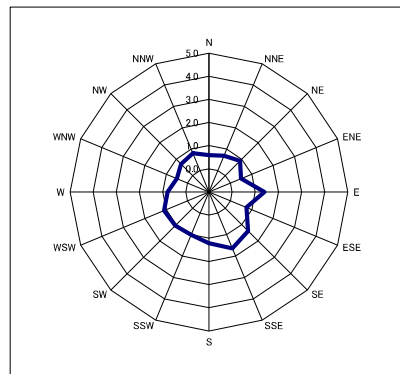
カヌチャリゾート(AT-1)

観測期間：令和6年7月12日～7月18日

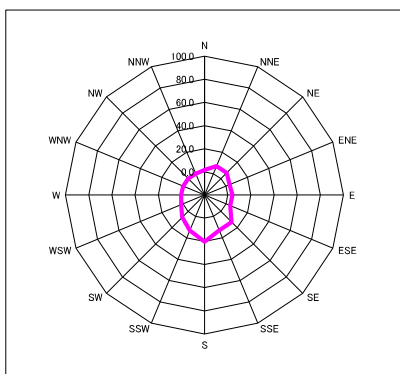
大浦集落(AT-2)



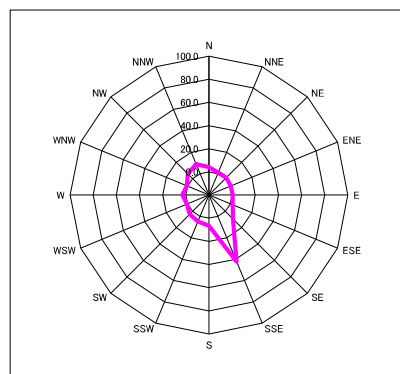
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.8
NE	0.8
ENE	0.8
E	1.0
ESE	0.9
SE	1.5
SSE	1.4
S	1.7
SSW	1.3
SW	0.9
WSW	1.1
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.0



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.7
NE	0.9
ENE	0.5
E	1.4
ESE	0.8
SE	1.4
SSE	1.6
S	1.2
SSW	1.0
SW	1.1
WSW	1.1
W	0.8
WNW	0.5
NW	0.7
NNW	0.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.8
NNE	7.1
NE	7.1
ENE	3.6
E	4.2
ESE	4.2
SE	13.1
SSE	13.1
S	20.2
SSW	13.1
SW	7.1
WSW	1.8
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.0
calm	3.6



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	4.2
NNE	1.2
NE	1.2
ENE	0.6
E	0.6
ESE	2.4
SE	9.5
SSE	42.3
S	6.5
SSW	4.8
SW	3.6
WSW	0.6
W	3.0
WNW	0.6
NW	6.0
NNW	8.9
calm	4.2

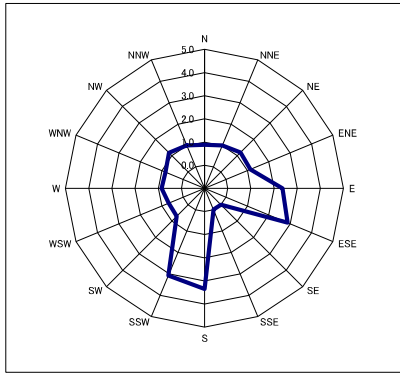
観測期間：令和6年7月12日～7月18日

二見集落(AT-3)

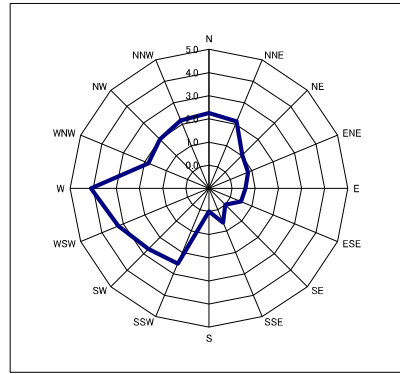
観測期間：令和6年7月12日～7月18日

辺野古集落(AT-8)

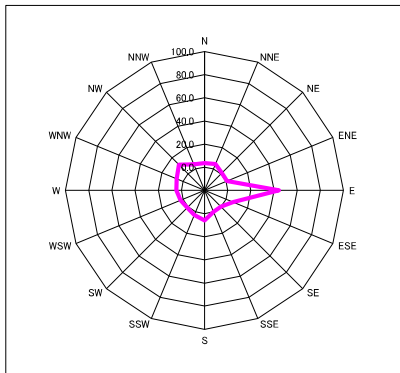
図-2.1.1.2 風向別平均風速、風向別出現頻度（令和6年度夏季）



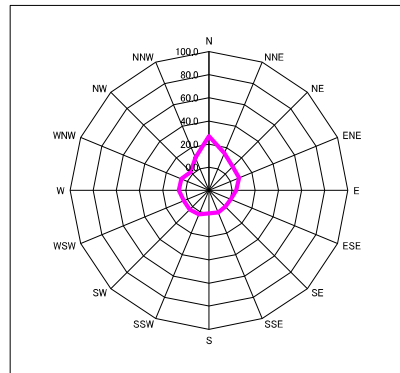
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	1.0
NE	1.2
ENE	1.2
E	2.4
ESE	2.9
SE	0.0
SSE	0.0
S	3.3
SSW	3.1
SW	0.7
WSW	0.7
W	0.9
WNW	0.8
NW	1.2
NNW	1.0



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	2.3
NNE	2.1
NE	1.0
ENE	0.8
E	0.6
ESE	0.5
SE	0.0
SSE	0.6
S	0.0
SSW	2.5
SW	2.7
WSW	3.2
W	4.1
WNW	1.8
NW	2.0
NNW	2.2



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	3.6
NNE	4.8
NE	1.2
ENE	1.2
E	44.0
ESE	6.5
SE	0.0
SSE	0.0
S	6.0
SSW	3.0
SW	1.2
WSW	2.4
W	4.2
WNW	6.0
NW	11.3
NNW	4.2
calm	0.6



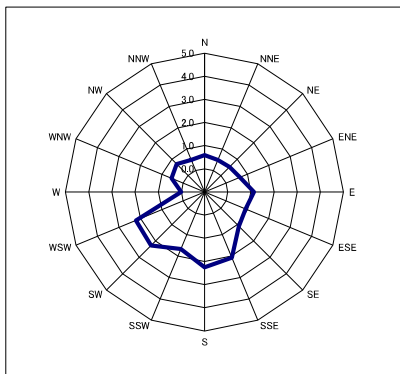
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	26.8
NNE	14.9
NE	8.9
ENE	8.3
E	3.6
ESE	0.6
SE	0.0
SSE	0.6
S	0.0
SSW	2.4
SW	3.6
WSW	3.6
W	6.0
WNW	6.0
NW	2.4
NNW	10.7
calm	1.8

観測期間：令和6年10月26日～11月1日

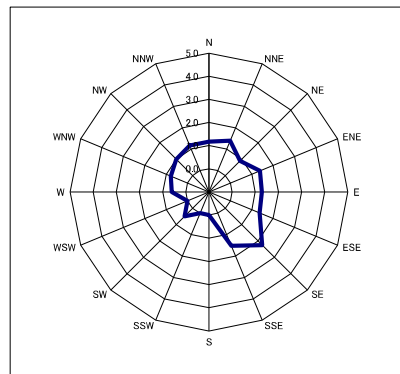
カヌチャリゾート(AT-1)

観測期間：令和6年10月26日～11月1日

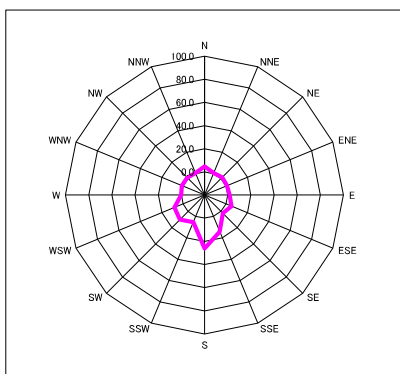
大浦集落(AT-2)



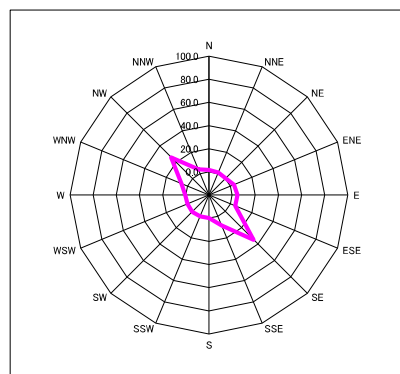
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.5
NE	0.5
ENE	0.7
E	1.1
ESE	0.9
SE	1.1
SSE	2.1
S	2.3
SSW	1.7
SW	2.3
WSW	2.2
W	0.0
WNW	0.6
NW	0.7
NNW	0.5



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.2
NNE	1.4
NE	0.9
ENE	1.4
E	1.3
ESE	1.4
SE	2.3
SSE	1.5
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.5
WSW	0.0
W	0.6
WNW	0.8
NW	1.0
NNW	1.2



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	4.8
NNE	0.6
NE	1.8
ENE	1.2
E	1.8
ESE	5.4
SE	2.4
SSE	14.3
S	26.2
SSW	5.4
SW	10.1
WSW	8.3
W	0.0
WNW	1.2
NW	1.2
NNW	0.6
calm	14.9



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.8
NNE	1.2
NE	0.6
ENE	3.6
E	4.8
ESE	4.8
SE	34.5
SSE	8.3
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.6
WSW	0.0
W	0.6
WNW	6.0
NW	26.2
NNW	4.2
calm	3.0

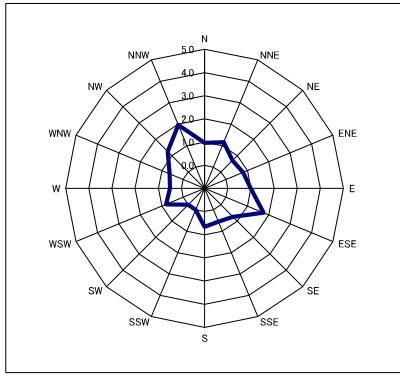
観測期間：令和6年10月26日～11月1日

二見集落(AT-3)

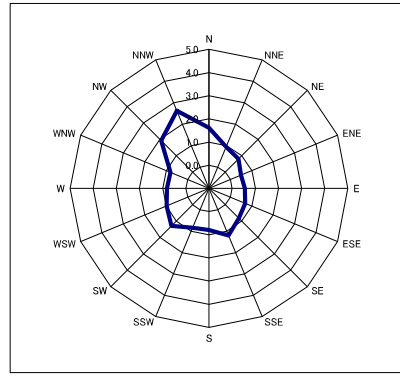
観測期間：令和6年10月26日～11月1日

辺野古集落(AT-8)

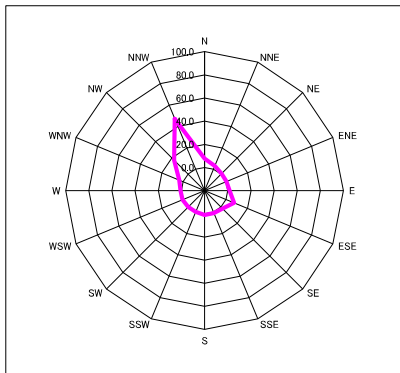
図-2.1.1.3 風向別平均風速、風向別出現頻度（令和6年度秋季）



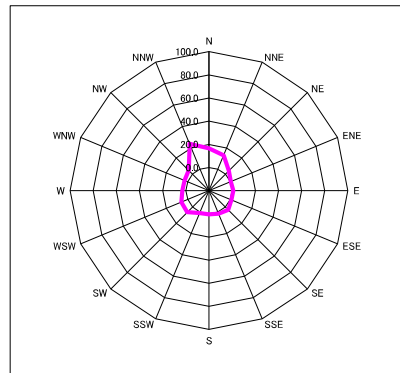
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	1.2
NE	0.7
ENE	0.6
E	1.0
ESE	1.8
SE	0.7
SSE	0.6
S	0.7
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.8
W	0.5
WNW	0.6
NW	1.2
NNW	2.0



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.6
NNE	0.8
NE	0.8
ENE	0.5
E	0.6
ESE	0.7
SE	0.6
SSE	1.2
S	0.8
SSW	0.9
SW	1.3
WSW	1.0
W	0.8
WNW	0.8
NW	1.9
NNW	2.6



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	7.7
NNE	3.0
NE	0.6
ENE	0.6
E	1.8
ESE	7.7
SE	1.8
SSE	1.2
S	1.2
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.6
W	0.6
WNW	3.6
NW	17.3
NNW	47.0
calm	5.4



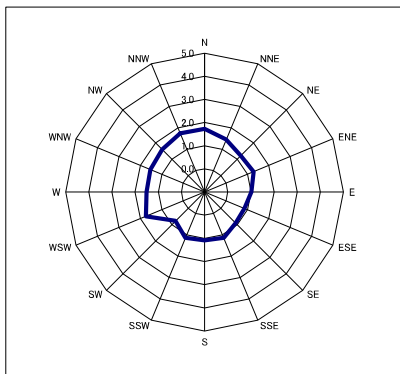
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	16.7
NNE	13.1
NE	4.2
ENE	0.6
E	1.2
ESE	1.2
SE	3.6
SSE	1.8
S	0.6
SSW	1.2
SW	6.5
WSW	6.0
W	3.0
WNW	3.0
NW	4.8
NNW	23.8
calm	8.9

観測期間：令和7年2月5日～2月11日

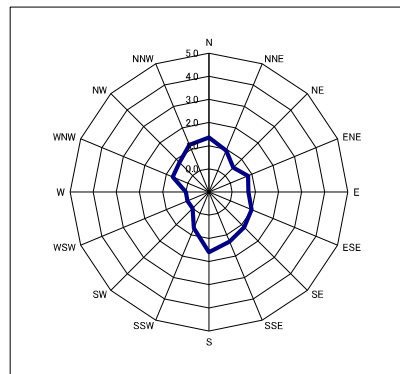
カヌチャリゾート(AT-1)

観測期間：令和7年2月5日～2月11日

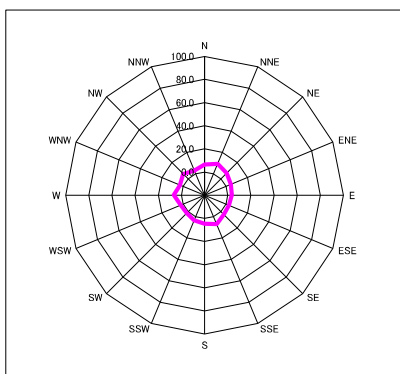
大浦集落(AT-2)



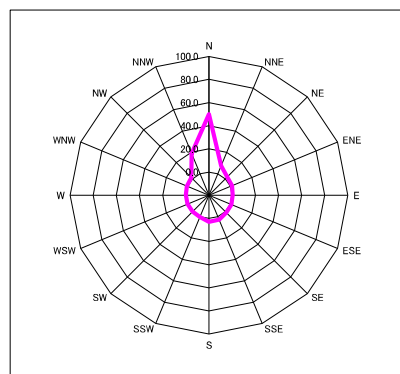
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.7
NNE	1.5
NE	1.2
ENE	1.3
E	1.0
ESE	0.9
SE	0.9
SSE	1.2
S	1.1
SSW	1.2
SW	0.8
WSW	1.8
W	1.5
WNW	1.5
NW	1.6
NNW	1.7



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.4
NNE	0.9
NE	0.5
ENE	0.8
E	0.7
ESE	1.0
SE	1.2
SSE	1.3
S	1.6
SSW	0.7
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.7
NW	0.6
NNW	1.2



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	6.5
NNE	9.5
NE	7.1
ENE	4.8
E	3.6
ESE	3.0
SE	3.6
SSE	7.1
S	4.8
SSW	3.6
SW	1.8
WSW	2.4
W	6.5
WNW	3.0
NW	6.0
NNW	3.0
calm	23.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	50.0
NNE	7.7
NE	2.4
ENE	1.8
E	0.6
ESE	1.2
SE	1.2
SSE	3.0
S	3.0
SSW	0.6
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.6
NW	1.8
NNW	19.0
calm	7.1

観測期間：令和7年2月5日～2月11日

二見集落(AT-3)

観測期間：令和7年2月5日～2月11日

辺野古集落(AT-8)

図-2.1.1.4 風向別平均風速、風向別出現頻度（令和6年度冬季）

## 2) 気温・湿度

大気質調査と並行して、気温・湿度の観測を行っており、カヌチャリゾート(AT-1)、大浦集落(AT-2)、二見集落(AT-3)、辺野古集落(AT-8)における令和6年度春季から冬季の気温調査結果一覧は表-2.1.1.6に、湿度調査結果一覧は表-2.1.1.7に示すとおりです。

令和6年度春季の平均気温は20.5～26.0℃、夏季は28.5～32.1℃、秋季は24.8～29.1℃、冬季は10.6～17.0℃の範囲となっており、夏季と冬季との平均気温差は約18℃でした。

令和6年度春季の平均湿度は63～99%、夏季は71～90%、秋季は71～98%、冬季は54～85%の範囲となっており、春季、秋季に湿度が高くなる傾向がみられました。

表-2.1.1.6 気温の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和6年度春季							期間
			4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	
気温 (°C)	AT-1	日平均値	25.0	22.4	21.4	21.6	21.5	20.5	21.0	21.9
		日最高値	29.0	24.2	23.1	22.7	22.9	23.4	24.7	29.0
		日最低値	23.0	20.3	19.7	20.7	20.4	18.0	17.2	17.2
	AT-2	日平均値	25.4	22.9	21.5	21.8	21.7	21.1	20.8	22.2
		日最高値	28.1	25.4	23.3	22.8	23.2	23.3	24.5	28.1
		日最低値	23.4	20.7	19.6	20.9	20.8	19.0	17.2	17.2
	AT-3	日平均値	25.3	22.8	21.2	21.6	21.6	20.7	20.9	22.0
		日最高値	28.9	24.7	23.0	22.7	23.1	22.4	23.6	28.9
		日最低値	23.1	20.4	19.5	20.8	20.6	18.8	17.2	17.2
	AT-8	日平均値	26.0	23.3	21.6	22.0	21.9	20.7	20.9	22.4
		日最高値	29.7	25.8	24.5	23.7	23.6	22.4	23.6	29.7
		日最低値	23.8	20.1	19.4	20.8	20.7	18.8	17.2	17.2

項目	地点名	区分	令和6年度夏季							期間
			7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	
気温 (°C)	AT-1	日平均値	30.2	30.3	29.5	30.1	30.4	29.4	29.3	29.9
		日最高値	32.0	32.3	32.3	32.8	33.6	31.8	32.4	33.6
		日最低値	28.7	28.6	25.5	28.4	28.4	27.4	27.5	25.5
	AT-2	日平均値	30.5	30.5	30.2	29.9	29.8	28.7	28.5	29.7
		日最高値	33.0	33.2	33.2	33.7	33.7	31.2	32.9	33.7
		日最低値	28.7	27.3	27.0	27.1	26.6	27.0	26.5	26.5
	AT-3	日平均値	30.3	30.3	30.1	29.6	29.7	29.1	28.9	29.7
		日最高値	33.4	33.2	33.2	31.9	31.9	32.3	33.6	33.6
		日最低値	28.0	27.2	27.0	27.3	26.6	27.4	26.6	26.6
	AT-8	日平均値	31.6	32.1	31.7	32.1	31.9	29.1	28.9	31.0
		日最高値	34.9	35.5	35.3	35.7	35.7	32.3	33.6	35.7
		日最低値	29.4	28.4	27.6	28.5	27.8	27.4	26.6	26.6

項目	地点名	区分	令和6年度秋季							期間
			10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日	11月1日	
気温 (°C)	AT-1	日平均値	28.2	26.8	26.7	24.8	27.1	28.5	28.6	27.2
		日最高値	30.1	30.2	30.8	26.0	29.9	30.4	30.0	30.8
		日最低値	27.0	24.3	23.8	23.9	24.8	26.8	27.7	23.8
	AT-2	日平均値	27.8	26.5	26.3	25.3	26.9	28.4	28.7	27.1
		日最高値	29.4	29.7	29.2	26.2	29.3	29.8	29.7	29.8
		日最低値	26.3	24.4	23.4	24.5	24.7	26.9	28.3	23.4
	AT-3	日平均値	28.1	26.4	26.2	25.2	26.9	28.4	28.7	27.1
		日最高値	30.2	30.3	29.8	26.0	29.5	29.5	30.9	30.9
		日最低値	26.7	23.7	22.7	24.2	24.5	27.2	27.4	22.7
	AT-8	日平均値	29.1	27.5	27.2	25.5	27.8	28.4	28.7	27.7
		日最高値	32.6	32.8	31.7	26.7	30.7	29.5	30.9	32.8
		日最低値	27.2	24.1	23.3	24.6	25.1	27.2	27.4	23.3

項目	地点名	区分	令和6年度冬季							期間
			2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	
気温 (°C)	AT-1	日平均値	12.0	12.6	11.1	10.6	11.4	13.5	17.0	12.6
		日最高値	15.7	17.0	13.2	14.3	15.5	18.6	21.8	21.8
		日最低値	10.0	9.8	9.8	8.7	9.0	9.0	12.2	8.7
	AT-2	日平均値	11.7	11.6	11.3	10.6	11.7	12.4	14.7	12.0
		日最高値	14.3	15.7	12.9	12.5	14.8	16.8	20.3	20.3
		日最低値	7.9	7.7	10.4	9.4	9.3	7.1	10.5	7.1
	AT-3	日平均値	12.1	11.6	11.2	10.6	11.8	12.5	14.7	12.1
		日最高値	16.1	15.9	13.3	13.5	15.2	17.7	20.3	20.3
		日最低値	8.2	7.8	10.2	8.9	8.8	7.0	9.5	7.0
	AT-8	日平均値	11.4	11.7	11.3	10.7	11.7	12.5	14.7	12.0
		日最高値	15.1	16.4	13.1	13.2	16.0	17.7	20.3	20.3
		日最低値	7.2	7.1	10.1	8.7	8.0	7.0	9.5	7.0

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。  
 2. 期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

表-2. 1. 1. 7 湿度の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和6年度春季						期間	
			4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日		4月10日
湿度 (%)	AT-1	日平均値	86	95	96	97	99	81	65	88
		日最高値	96	99	99	99	99	99	83	99
		日最低値	67	88	91	93	96	58	50	50
	AT-2	日平均値	85	94	98	98	99	79	69	89
		日最高値	93	97	99	99	99	99	85	99
		日最低値	71	85	94	94	99	58	54	54
	AT-3	日平均値	84	92	97	97	99	80	68	88
		日最高値	95	96	99	99	99	99	84	99
		日最低値	66	87	93	92	99	60	52	52
	AT-8	日平均値	82	90	95	94	98	76	63	85
		日最高値	93	96	98	99	99	99	84	99
		日最低値	63	81	86	86	94	54	47	47

項目	地点名	区分	令和6年度夏季						期間	
			7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日		7月18日
湿度 (%)	AT-1	日平均値	82	82	87	79	75	84	84	82
		日最高値	91	91	99	92	84	94	95	99
		日最低値	66	72	73	67	60	71	73	60
	AT-2	日平均値	78	80	82	81	80	90	90	83
		日最高値	89	95	94	97	96	99	99	99
		日最低値	62	67	65	65	63	76	71	62
	AT-3	日平均値	79	80	81	80	78	85	87	81
		日最高値	91	92	91	93	92	93	96	96
		日最低値	59	63	65	67	66	69	67	59
	AT-8	日平均値	76	76	76	71	71	84	86	77
		日最高値	88	88	92	88	89	96	97	97
		日最低値	55	63	59	57	55	66	65	55

項目	地点名	区分	令和6年度秋季						期間	
			10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日		11月1日
湿度 (%)	AT-1	日平均値	77	83	81	98	94	88	88	87
		日最高値	82	99	98	99	99	96	91	99
		日最低値	69	65	63	93	84	77	82	63
	AT-2	日平均値	77	82	82	94	92	86	84	85
		日最高値	85	96	94	99	99	92	88	99
		日最低値	66	58	65	88	82	79	80	58
	AT-3	日平均値	77	84	83	94	93	88	86	86
		日最高値	82	96	97	99	99	92	94	99
		日最低値	70	61	64	87	81	81	75	61
	AT-8	日平均値	71	77	76	91	87	82	81	81
		日最高値	81	93	93	97	97	89	87	97
		日最低値	57	54	53	81	73	70	71	53

項目	地点名	区分	令和6年度冬季						期間	
			2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日		2月11日
湿度 (%)	AT-1	日平均値	56	70	84	69	85	65	62	70
		日最高値	65	96	99	84	99	81	73	99
		日最低値	43	50	69	50	62	48	48	43
	AT-2	日平均値	58	82	83	67	82	72	76	74
		日最高値	91	97	96	82	98	96	93	98
		日最低値	44	50	63	53	63	49	53	44
	AT-3	日平均値	54	81	82	66	79	71	76	73
		日最高値	84	96	95	80	97	95	94	97
		日最低値	41	50	65	52	60	46	50	41
	AT-8	日平均値	57	77	80	64	78	70	67	70
		日最高値	87	94	92	77	97	93	90	97
		日最低値	38	45	61	47	53	43	46	38

注) 1. 地点名のAT-1はカヌチャリゾート、AT-2は大浦集落、AT-3は二見集落、AT-8は辺野古集落を示します。  
 2. 期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

## 2.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質

### (1) 二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度の状況

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和6年度春季から冬季の二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の濃度は、表-2.1.2.1～表-2.1.2.4に示すとおりです。

二酸化窒素の日平均値は0.000～0.008ppm、二酸化硫黄の日平均値は0.000～0.001ppm、1時間値は0.000～0.002ppm、浮遊粒子状物質の日平均値は0.008～0.028mg/m<sup>3</sup>、1時間値は0.014～0.054mg/m<sup>3</sup>の範囲で推移していました。

また、二酸化窒素及び二酸化硫黄の濃度は、環境監視基準と比較して低濃度であり、季節別と地点別ともに大きな変動はみられませんでした。

浮遊粒子状物質の濃度は、環境監視基準(1日平均値は0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値は0.20mg/m<sup>3</sup>以下)の約1/4の濃度でした。

表-2.1.2.1 資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧  
(令和6年度春季)

物質	地点名	区分	令和6年度春季							平均	環境監視基準	達成率(%)	
			4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日				
二酸化窒素 NO <sub>2</sub> (ppm)	TN-5	日平均値	0.002	0.002	0.001	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	1日平均値が 0.04～ 0.06ppmの ゾーン内又 はそれ以下	100	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.002	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003		0.002	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—	
	TN-11	日平均値	0.003	0.002	0.001	0.003	0.003	0.004	0.002	0.003		0.003	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—	
二酸化硫黄 SO <sub>2</sub> (ppm)	TN-5	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1日平均値が 0.04ppm以 下、かつ 1時間値が 0.1ppm以下	100	
		1時間値	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001			0.000
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001		0.000	100
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		0.001	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—	
	TN-11	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		0.001	100
		1時間値	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001		0.001	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—	
浮遊 粒子状 物質 SPM (mg/m <sup>3</sup> )	TN-5	日平均値	0.016	0.016	0.018	0.017	0.016	0.017	0.021	0.017	1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下、かつ 1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	100	
		1時間値	0.022	0.024	0.032	0.029	0.040	0.030	0.035	0.030			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.019	0.016	0.015	0.014	0.013	0.017	0.022	0.017		100	
		1時間値	0.041	0.029	0.039	0.044	0.036	0.034	0.047	0.038			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-11	日平均値	0.019	0.021	0.022	0.023	0.018	0.022	0.028	0.022		100	
		1時間値	0.049	0.043	0.044	0.039	0.036	0.045	0.045	0.043			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。  
2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2. 1. 2. 2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧  
(令和6年度夏季)

物質	地点名	区分	令和6年度夏季							平均	環境監視基準	達成率 (%)	
			7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日				
二酸化窒素 NO <sub>2</sub> (ppm)	TN-5	日平均値	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	1日平均値が 0.04~ 0.06ppmの ゾーン内又 はそれ以下	100	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.002		0.001	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—	
	TN-11	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002		0.001	100
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—	
二酸化硫黄 SO <sub>2</sub> (ppm)	TN-5	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1日平均値が 0.04ppm以 下、かつ 1時間値が 0.1ppm以下	100	
		1時間値	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	—			
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		0.001	100
		1時間値	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		0.001	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—	
	TN-11	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0.000	100
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001		0.000	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○		—	
浮遊 粒子状 物質 SPM (mg/m <sup>3</sup> )	TN-5	日平均値	0.009	0.012	0.012	0.012	0.011	0.012	0.010	0.011	1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下、かつ 1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	100	
		1時間値	0.032	0.027	0.030	0.031	0.030	0.035	0.033	0.031			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.019	0.016	0.016	0.018	0.016	0.019	0.017	0.017		100	
		1時間値	0.054	0.040	0.045	0.050	0.038	0.045	0.040	0.045			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	—			
	TN-11	日平均値	0.008	0.008	0.008	0.008	0.008	0.011	0.013	0.009		100	
		1時間値	0.017	0.024	0.014	0.040	0.017	0.030	0.021	0.023			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	—			

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。  
2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としてあります。

表-2. 1. 2. 3 資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧  
(令和6年度秋季)

物質	地点名	区分	令和6年度秋季							平均	環境監視基準	達成率 (%)	
			10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日				
二酸化窒素 NO <sub>2</sub> (ppm)	TN-5	日平均値	0.004	0.005	0.004	0.005	0.005	0.006	0.008	0.005	1日平均値が 0.04~ 0.06ppmの ゾーン内又 はそれ以下	100	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.003	0.001	0.001	0.002	0.003	0.004	0.004	0.003		100	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-11	日平均値	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002		100	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
二酸化硫黄 SO <sub>2</sub> (ppm)	TN-5	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	1日平均値が 0.04ppm以 下、かつ 1時間値が 0.1ppm以下	100	
		1時間値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001			0.001
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.000	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001		100	
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001			0.001
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-11	日平均値	0.000	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001		100	
		1時間値	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001			0.001
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
浮遊 粒子状 物質 SPM (mg/m <sup>3</sup> )	TN-5	日平均値	0.016	0.012	0.015	0.015	0.014	0.013	0.013	0.014	1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下、かつ 1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	100	
		1時間値	0.033	0.031	0.039	0.041	0.034	0.037	0.039	0.036			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.021	0.019	0.019	0.022	0.019	0.022	0.014	0.019		100	
		1時間値	0.040	0.040	0.048	0.040	0.048	0.048	0.030	0.042			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-11	日平均値	0.018	0.012	0.016	0.016	0.017	0.016	0.013	0.016		100	
		1時間値	0.027	0.023	0.042	0.030	0.040	0.035	0.037	0.033			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。  
2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

表-2.1.2.4 資機材運搬車両等の運行に伴う大気質の調査結果一覧  
(令和6年度冬季)

物質	地点名	区分	令和6年度冬季						平均	環境監視基準	達成率 (%)		
			1月28日	1月29日	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日				2月3日	
二酸化窒素 NO <sub>2</sub> (ppm)	TN-5	日平均値	0.002	0.004	0.004	0.004	0.002	0.002	0.002	0.003	1日平均値が 0.04~ 0.06ppmの ゾーン内又 はそれ以下	100	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.005	0.008	0.007	0.006	0.003	0.002	0.007	0.005		100	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-11	日平均値	0.002	0.004	0.004	0.001	0.002	0.001	0.002	0.002		100	
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
二酸化硫黄 SO <sub>2</sub> (ppm)	TN-5	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	1日平均値が 0.04ppm以 下、かつ 1時間値が 0.1ppm以下	100	
		1時間値	0.000	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.000	0.000	0.001	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000		100	
		1時間値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001			0.001
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-11	日平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		100	
		1時間値	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000			0.000
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
浮遊 粒子状 物質 SPM (mg/m <sup>3</sup> )	TN-5	日平均値	0.011	0.014	0.012	0.011	0.012	0.009	0.015	0.012	1日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下、かつ 1時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	100	
		1時間値	0.021	0.019	0.020	0.017	0.023	0.018	0.034	0.022			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-10	日平均値	0.016	0.012	0.018	0.014	0.010	0.013	0.022	0.015		100	
		1時間値	0.054	0.026	0.049	0.029	0.026	0.039	0.050	0.039			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—
	TN-11	日平均値	0.013	0.017	0.011	0.014	0.013	0.010	0.018	0.014		100	
		1時間値	0.031	0.034	0.035	0.031	0.048	0.026	0.048	0.036			
		適否	○	○	○	○	○	○	○	○			—

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。  
2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としてしています。

## (2) 気象の状況

### 1) 風向・風速

大気質調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和6年度春季から冬季の風向別平均風速、風向別出現頻度は表-2.1.2.5 及び図-2.1.2.1～図-2.1.2.4に示すとおりです。

令和6年度春季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で北北東、東寄り、世富慶集落(TN-10)で南南西寄り、松田集落(TN-11)で東寄りの風が卓越していました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和6年度夏季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で南寄り、世富慶集落(TN-10)で東寄り、松田集落(TN-11)で南東寄りの風が卓越し、世富慶集落(TN-10)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)が他の地点と比較して速くなっていました。

令和6年度秋季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、松田集落(TN-11)で東北東寄り、世富慶集落(TN-10)で南東寄りの風が卓越し、世富慶集落(TN-10)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。風速については、松田集落(TN-11)が他の地点と比較して速くなっていました。

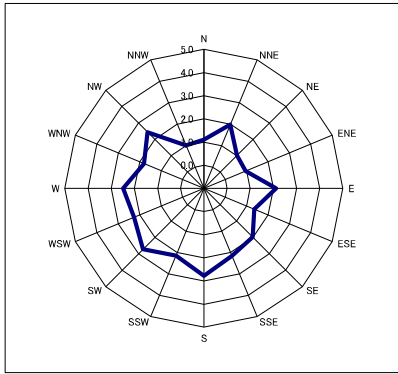
令和6年度冬季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で北北東寄り、世富慶集落(TN-10)で南東寄り、松田集落(TN-11)で北西寄りの風が卓越していました。風速については、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)が他の地点と比較して速くなっていました。

表-2.1.2.5 風向・風速の調査結果一覧

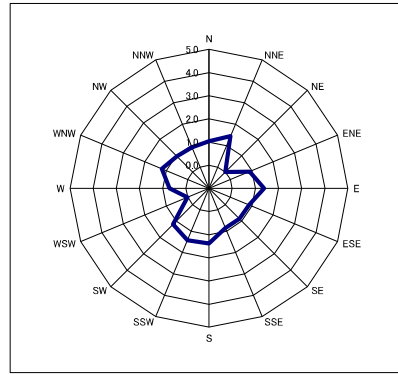
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	TN-5	TN-10	TN-11
R6年度春季	最多風向	NNE, E	SSW	E
	平均風速	1.8	1.0	1.5
R6年度夏季	最多風向	S	E	SE
	平均風速	2.4	0.9	1.2
R6年度秋季	最多風向	ENE	SE	ENE
	平均風速	1.7	0.7	2.3
R6年度冬季	最多風向	NNE	SE	NW
	平均風速	2.4	1.9	1.8

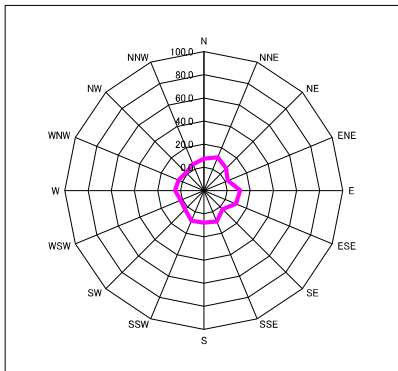
注) 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。



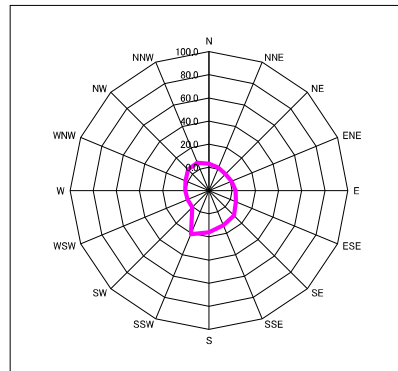
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.1
NNE	2.0
NE	1.0
ENE	1.0
E	2.1
ESE	1.3
SE	2.0
SSE	2.2
S	2.8
SSW	2.1
SW	2.7
WSW	2.3
W	2.5
WNW	1.8
NW	2.4
NNW	1.0



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	1.5
NE	0.0
ENE	0.9
E	1.4
ESE	0.9
SE	0.9
SSE	0.9
S	1.4
SSW	1.4
SW	1.2
WSW	0.0
W	0.7
WNW	1.2
NW	1.0
NNW	0.9



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	7.7
NNE	11.3
NE	7.1
ENE	2.4
E	11.3
ESE	10.1
SE	3.0
SSE	8.9
S	7.7
SSW	8.3
SW	3.0
WSW	1.8
W	4.8
WNW	3.6
NW	1.8
NNW	4.2
calm	3.0



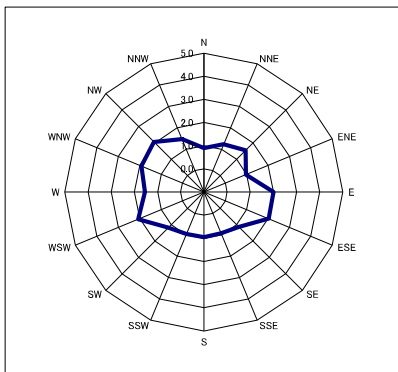
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	3.0
NNE	1.2
NE	0.0
ENE	1.2
E	3.0
ESE	5.4
SE	10.7
SSE	12.5
S	16.1
SSW	20.8
SW	0.6
WSW	0.0
W	0.6
WNW	1.8
NW	5.4
NNW	6.0
calm	11.9

観測期間：令和6年4月12日～4月18日

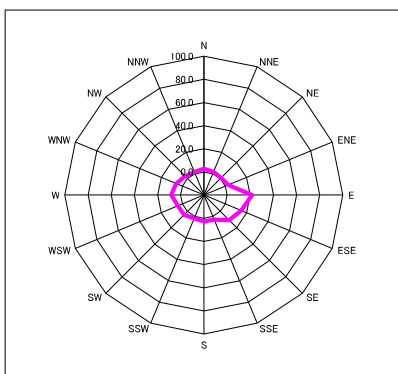
国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)

観測期間：令和6年4月12日～4月18日

世富慶集落(TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	1.2
NE	1.6
ENE	1.0
E	2.0
ESE	2.0
SE	1.1
SSE	0.9
S	1.0
SSW	1.0
SW	1.2
WSW	2.1
W	1.5
WNW	1.9
NW	2.1
NNW	1.5

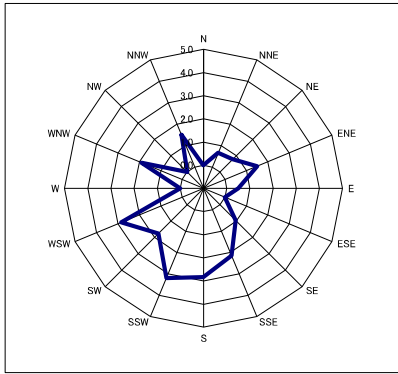


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	3.0
NNE	1.8
NE	1.2
ENE	3.0
E	21.4
ESE	14.9
SE	10.7
SSE	3.0
S	3.0
SSW	1.8
SW	4.2
WSW	4.2
W	8.3
WNW	6.0
NW	3.0
NNW	1.8
calm	8.9

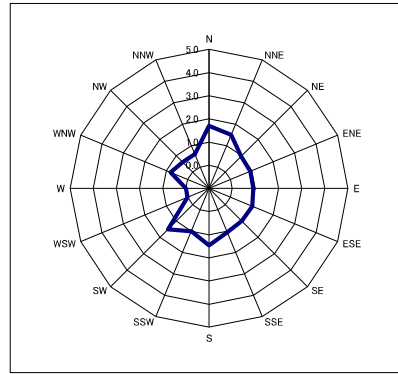
観測期間：令和6年4月12日～4月18日

松田集落(TN-11)

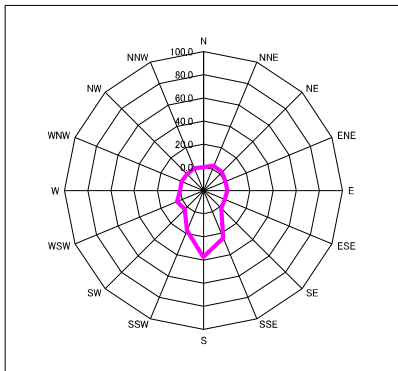
図-2.1.2.1 風向別平均風速、風向別出現頻度（令和6年度春季）



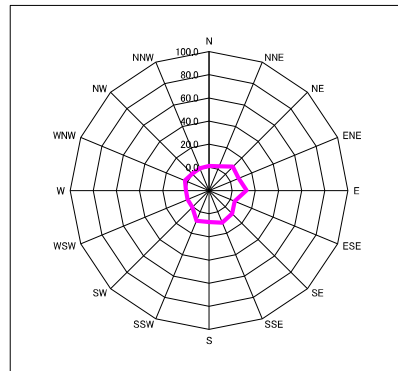
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.0
NNE	0.7
NE	0.8
ENE	1.5
E	0.5
ESE	0.0
SE	1.0
SSE	2.1
S	2.8
SSW	3.2
SW	1.8
WSW	2.9
W	0.0
WNW	1.9
NW	0.0
NNW	1.5



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.7
NNE	1.5
NE	1.0
ENE	0.9
E	0.9
ESE	1.0
SE	1.0
SSE	1.1
S	1.5
SSW	1.0
SW	1.5
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.8
NW	0.6
NNW	0.6



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.0
NNE	3.0
NE	2.4
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.0
SE	1.8
SSE	24.4
S	37.5
SSW	17.3
SW	3.0
WSW	4.8
W	0.0
WNW	0.6
NW	0.0
NNW	0.6
calm	3.6



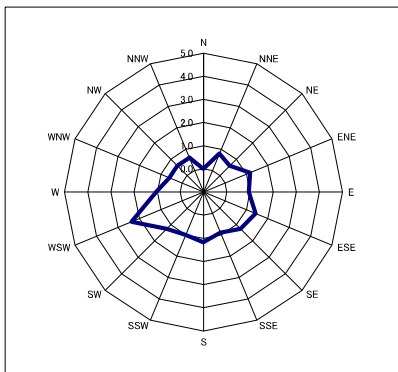
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.2
NNE	2.4
NE	8.9
ENE	7.7
E	12.5
ESE	4.2
SE	8.3
SSE	10.1
S	7.1
SSW	8.3
SW	0.6
WSW	0.0
W	0.0
WNW	2.4
NW	0.6
NNW	0.6
calm	25.0

観測期間：令和6年7月4日～7月10日

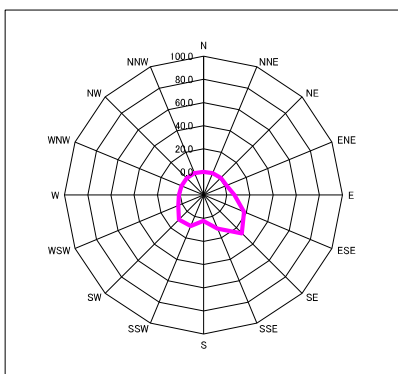
国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)

観測期間：令和6年7月4日～7月10日

世富慶集落(TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.0
NNE	0.8
NE	0.6
ENE	1.2
E	1.0
ESE	1.4
SE	1.3
SSE	0.9
S	1.2
SSW	1.0
SW	1.2
WSW	2.4
W	1.1
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6

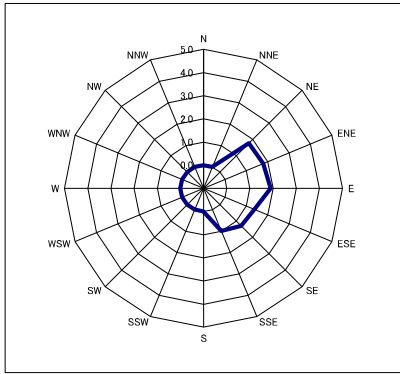


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.0
NNE	0.6
NE	1.2
ENE	1.8
E	6.5
ESE	17.9
SE	26.8
SSE	11.3
S	2.4
SSW	8.9
SW	10.1
WSW	3.6
W	1.2
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6
calm	6.0

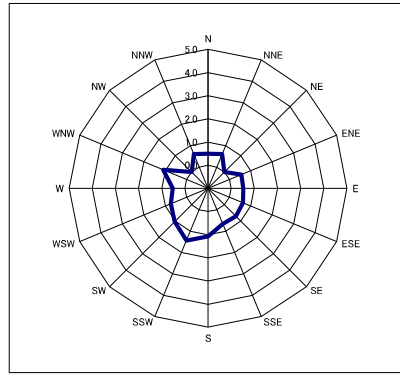
観測期間：令和6年7月4日～7月10日

松田集落(TN-11)

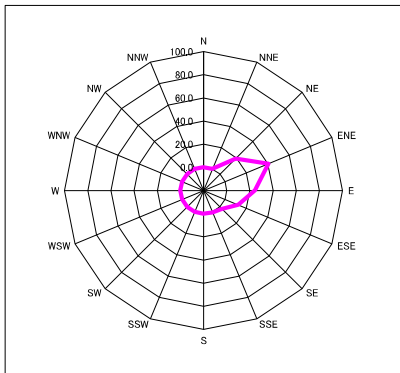
図-2.1.2.2 風向別平均風速、風向別出現頻度（令和6年度夏季）



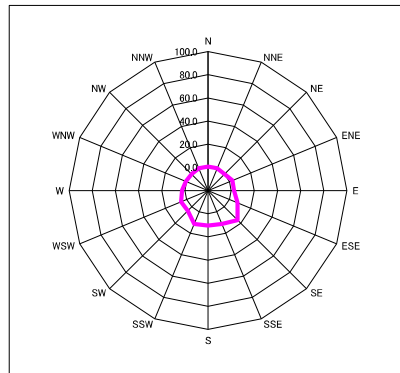
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.0
NNE	0.0
NE	1.8
ENE	1.8
E	1.9
ESE	1.4
SE	1.3
SSE	1.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.0



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.5
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.5
ESE	0.6
SE	0.7
SSE	0.7
S	1.1
SSW	1.4
SW	1.0
WSW	0.7
W	0.5
WNW	1.1
NW	0.0
NNW	0.6



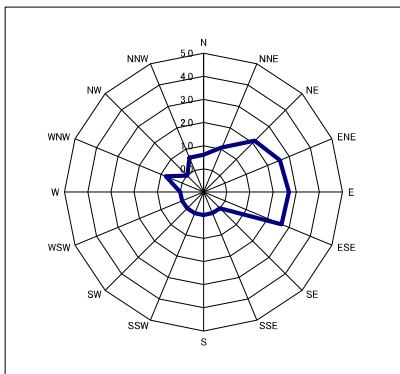
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.0
NNE	0.0
NE	19.0
ENE	40.5
E	24.4
ESE	12.5
SE	2.4
SSE	0.6
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.0
calm	0.6



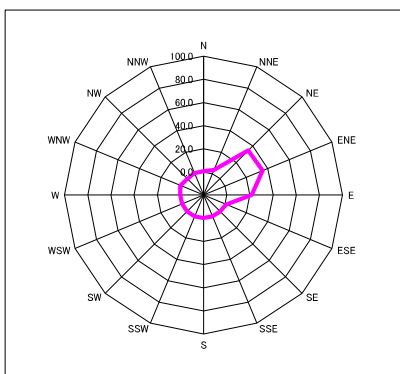
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.0
ENE	3.0
E	2.4
ESE	7.7
SE	16.1
SSE	11.3
S	10.1
SSW	11.3
SW	4.8
WSW	5.4
W	2.4
WNW	0.6
NW	0.0
NNW	0.6
calm	23.2

観測期間：令和6年10月18日～10月24日  
国立沖繩工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和6年10月18日～10月24日  
世富慶集落 (TN-10)



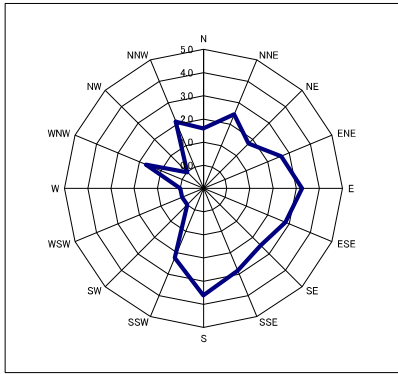
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	1.1
NE	2.1
ENE	2.6
E	2.7
ESE	2.7
SE	0.0
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.8
NW	0.0
NNW	0.6



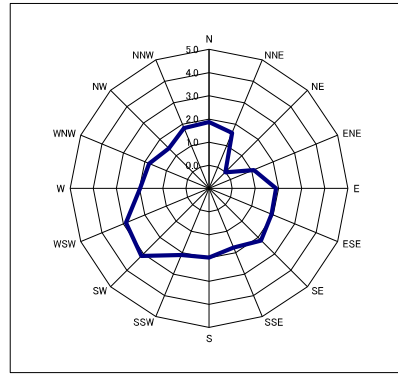
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.6
NNE	3.6
NE	34.5
ENE	35.1
E	21.4
ESE	1.2
SE	0.0
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	1.8
NW	0.0
NNW	0.6
calm	1.2

観測期間：令和6年10月18日～10月24日  
松田集落 (TN-11)

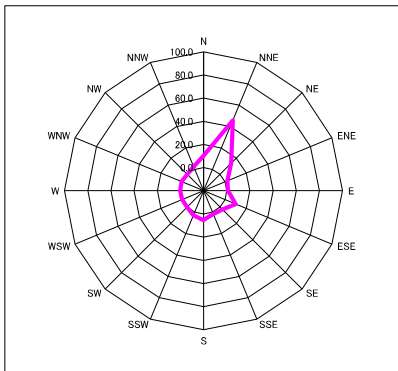
図-2.1.2.3 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度秋季)



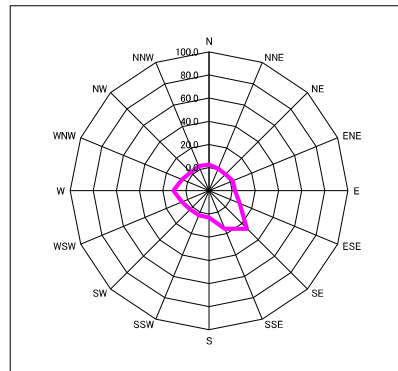
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.6
NNE	2.5
NE	1.7
ENE	2.6
E	3.3
ESE	2.8
SE	2.5
SSE	2.8
S	3.6
SSW	2.2
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	1.7
NW	0.0
NNW	2.1



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.9
NNE	1.6
NE	0.0
ENE	1.1
E	1.9
ESE	1.9
SE	2.2
SSE	1.8
S	2.0
SSW	2.1
SW	3.1
WSW	2.9
W	2.0
WNW	1.8
NW	1.5
NNW	1.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	10.1
NNE	45.8
NE	13.7
ENE	2.4
E	1.2
ESE	10.1
SE	3.0
SSE	1.8
S	5.4
SSW	3.0
SW	0.0
WSW	0.0
W	0.0
WNW	0.6
NW	0.0
NNW	2.4
calm	0.6



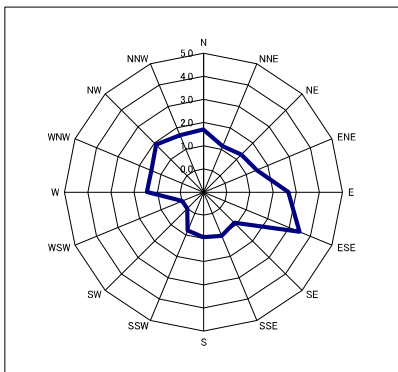
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	2.4
NNE	0.6
NE	0.0
ENE	2.4
E	2.4
ESE	8.9
SE	26.2
SSE	15.5
S	3.0
SSW	3.0
SW	3.0
WSW	5.4
W	10.7
WNW	5.4
NW	2.4
NNW	3.0
calm	6.0

観測期間：令和7年1月28日～2月3日

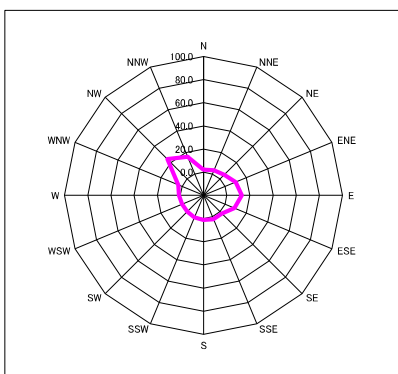
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和7年1月28日～2月3日

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.7
NNE	1.2
NE	1.3
ENE	1.5
E	2.7
ESE	3.5
SE	0.9
SSE	1.1
S	1.0
SSW	0.8
SW	0.0
WSW	0.0
W	1.5
WNW	1.4
NW	1.9
NNW	1.7



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	2.4
NNE	3.6
NE	5.4
ENE	10.1
E	13.1
ESE	8.9
SE	2.4
SSE	2.4
S	1.2
SSW	0.6
SW	0.0
WSW	0.0
W	1.2
WNW	3.6
NW	24.4
NNW	16.1
calm	4.8

観測期間：令和7年1月28日～2月3日

松田集落 (TN-11)

図-2.1.2.4 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度冬季)

## 2) 気温・湿度

大気質調査と並行して、気温・湿度の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和6年度春季から冬季の気温調査結果一覧は表-2.1.2.6に、湿度調査結果一覧は表-2.1.2.7に示すとおりです。

令和6年度春季の平均気温は21.9～24.8℃、夏季は29.3～31.4℃、秋季は25.0～28.3℃、冬季は11.8～19.2℃の範囲となっており、夏季と冬季との平均気温差は約16℃でした。

令和6年度春季の平均湿度は61～97%、夏季は73～82%、秋季は78～99%、冬季は52～90%の範囲となっており、春季、秋季に湿度が高くなる傾向がみられました。

表-2.1.2.6 気温の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和6年度春季						期間	
			4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日		4月18日
気温 (°C)	TN-5	日平均値	22.7	23.4	22.6	22.9	24.8	22.4	23.0	23.1
		日最高値	25.1	25.3	24.8	25.6	28.1	24.9	29.4	29.4
		日最低値	19.8	22.5	21.0	20.4	21.5	18.4	16.3	16.3
	TN-10	日平均値	22.9	23.5	22.1	22.5	24.4	22.2	21.9	22.8
		日最高値	27.9	25.3	23.4	26.4	28.4	26.1	30.1	30.1
		日最低値	19.1	22.0	20.0	19.5	20.6	16.7	14.6	14.6
	TN-11	日平均値	22.6	23.4	22.7	22.9	24.5	22.6	23.2	23.1
		日最高値	24.1	25.2	24.6	25.2	27.1	24.8	30.1	30.1
		日最低値	20.1	22.7	21.3	20.9	22.1	19.7	17.9	17.9

項目	地点名	区分	令和6年度夏季						期間	
			7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日		7月10日
気温 (°C)	TN-5	日平均値	30.6	31.0	31.4	30.7	31.1	30.0	30.8	30.8
		日最高値	34.1	34.8	35.4	35.4	34.6	32.7	33.8	35.4
		日最低値	27.5	27.6	28.2	28.5	28.5	28.3	28.5	27.5
	TN-10	日平均値	29.6	29.6	29.6	29.3	29.5	29.5	30.7	29.7
		日最高値	30.3	30.8	30.3	29.9	30.4	30.3	33.6	33.6
		日最低値	28.7	28.3	28.7	28.6	28.4	29.0	28.6	28.3
	TN-11	日平均値	30.3	30.6	31.1	30.3	30.8	29.6	30.5	30.5
		日最高値	33.0	33.5	34.2	34.0	33.8	31.5	33.0	34.2
		日最低値	27.6	28.1	28.8	28.8	28.6	28.5	28.4	27.6

項目	地点名	区分	令和6年度秋季						期間	
			10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日		10月24日
気温 (°C)	TN-5	日平均値	28.3	27.5	27.0	27.3	27.6	26.5	25.0	27.0
		日最高値	30.4	30.1	29.6	30.0	29.9	29.4	26.0	30.4
		日最低値	27.1	25.4	25.2	25.1	26.0	24.7	24.0	24.0
	TN-10	日平均値	27.2	27.0	26.6	26.8	27.0	26.1	25.1	26.5
		日最高値	30.0	30.6	30.0	31.6	31.8	28.8	26.1	31.8
		日最低値	25.1	23.8	24.3	24.0	24.3	23.6	24.3	23.6
	TN-11	日平均値	28.3	27.8	27.2	27.6	27.9	26.6	25.0	27.2
		日最高値	30.3	29.7	29.1	29.8	29.9	29.1	25.7	30.3
		日最低値	27.1	26.1	25.7	25.4	26.3	24.7	24.0	24.0

項目	地点名	区分	令和6年度冬季						期間	
			1月28日	1月29日	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日		2月3日
気温 (°C)	TN-5	日平均値	12.2	12.0	12.4	16.5	19.0	17.2	14.2	14.8
		日最高値	14.8	14.2	16.0	19.4	21.4	19.6	15.8	21.4
		日最低値	10.5	10.0	8.6	10.9	17.7	15.0	11.3	8.6
	TN-10	日平均値	12.8	12.2	11.8	14.9	19.1	17.4	14.1	14.6
		日最高値	15.3	15.9	18.6	19.8	21.3	21.3	16.5	21.3
		日最低値	11.1	8.6	6.8	8.5	17.9	14.4	11.5	6.8
	TN-11	日平均値	12.3	12.4	13.1	17.0	19.2	17.1	14.3	15.1
		日最高値	14.4	14.0	16.2	19.4	21.0	19.1	15.8	21.0
		日最低値	11.2	11.0	10.3	12.5	17.8	15.7	11.3	10.3

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。  
 2. 期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

表-2. 1. 2. 7 湿度の調査結果一覧

項目	地点名	区分	令和6年度春季						期間	
			4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日		4月18日
湿度 (%)	TN-5	日平均値	89	95	97	90	86	80	61	85
		日最高値	94	99	99	99	97	99	84	99
		日最低値	85	86	85	76	73	62	45	45
	TN-10	日平均値	89	94	97	92	88	83	69	87
		日最高値	95	99	99	99	99	99	99	99
		日最低値	73	83	91	76	68	59	42	42
	TN-11	日平均値	93	97	97	93	90	80	62	88
		日最高値	99	99	99	99	98	98	83	99
		日最低値	85	90	87	81	79	64	43	43

項目	地点名	区分	令和6年度夏季						期間	
			7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日		7月10日
湿度 (%)	TN-5	日平均値	76	76	74	80	76	82	79	78
		日最高値	93	91	88	90	91	93	91	93
		日最低値	58	61	59	61	60	70	63	58
	TN-10	日平均値	77	78	79	79	77	80	80	79
		日最高値	84	85	84	86	85	85	87	87
		日最低値	68	69	71	73	70	73	66	66
	TN-11	日平均値	76	75	73	78	74	81	78	77
		日最高値	90	87	84	91	87	96	89	96
		日最低値	61	64	59	63	59	72	62	59

項目	地点名	区分	令和6年度秋季						期間	
			10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日		10月24日
湿度 (%)	TN-5	日平均値	79	80	80	82	81	84	98	83
		日最高値	86	90	90	93	92	96	99	99
		日最低値	70	65	67	69	70	70	93	65
	TN-10	日平均値	87	88	88	87	86	89	99	89
		日最高値	97	99	99	99	99	99	99	99
		日最低値	74	69	71	61	61	76	97	61
	TN-11	日平均値	78	78	78	79	78	82	98	82
		日最高値	85	85	85	89	84	97	99	99
		日最低値	71	67	68	70	70	72	94	67

項目	地点名	区分	令和6年度冬季						期間	
			1月28日	1月29日	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日		2月3日
湿度 (%)	TN-5	日平均値	54	58	63	64	87	85	82	70
		日最高値	60	70	81	77	99	99	94	99
		日最低値	45	45	48	56	72	67	67	45
	TN-10	日平均値	52	63	76	78	86	90	88	76
		日最高値	58	89	98	99	99	99	99	99
		日最低値	44	42	44	57	69	71	69	42
	TN-11	日平均値	52	54	57	61	83	85	80	67
		日最高値	57	60	67	70	98	99	92	99
		日最低値	46	41	46	55	71	68	66	41

注) 1. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。  
 2. 期間の日平均値の数値は平均値、日最高値は最高値、日最低値は最低値を示します。

## 2.2 騒音

### 2.2.1 道路交通騒音

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和6年度春季から冬季の道路交通騒音の調査結果一覧は表-2.2.1.1及び図-2.2.1.1に、測定時間帯毎の調査結果は表-2.2.1.2～表-2.2.1.5に示すとおりです。

昼間の時間帯における騒音レベルは64～67dBの範囲で推移し、各調査地点の騒音レベルは同程度であり、いずれも環境監視基準(70dB以下)を満足する結果となりました。

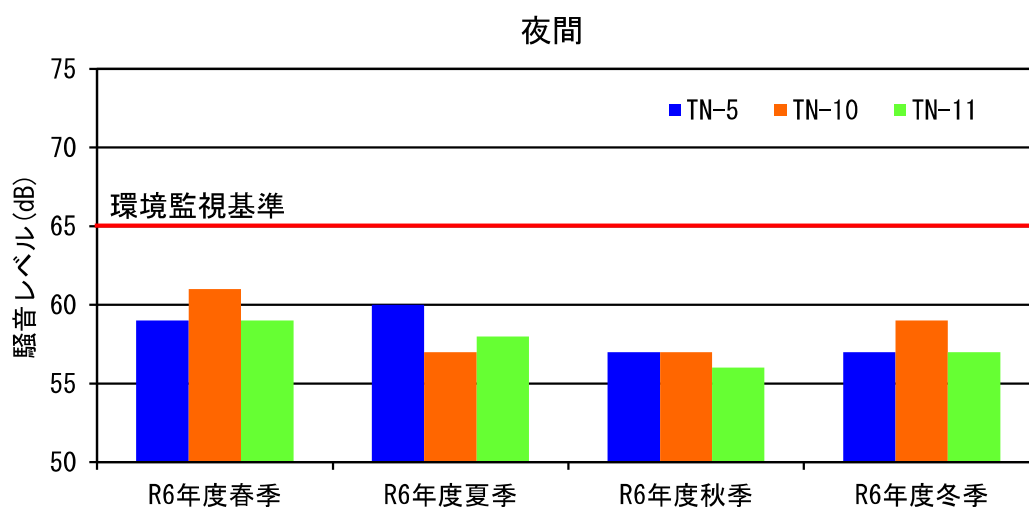
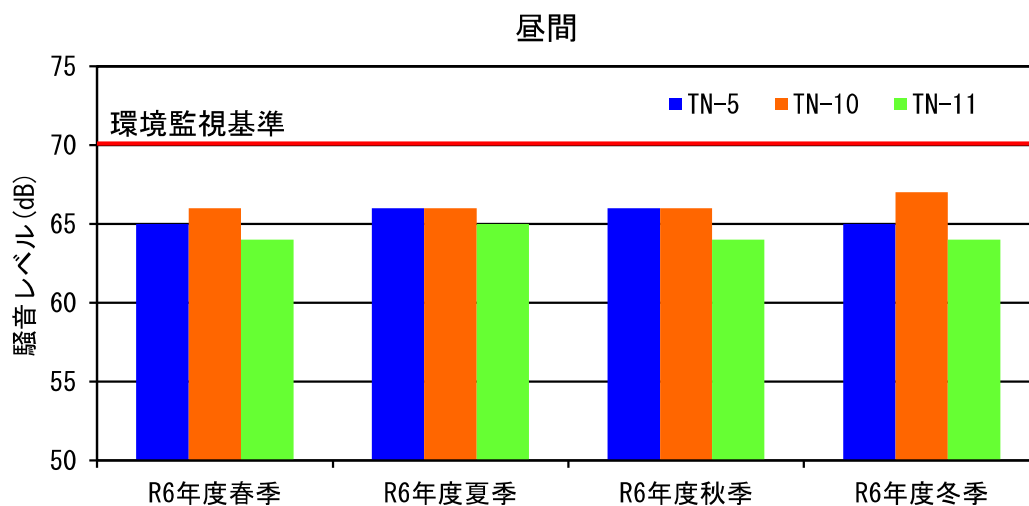
夜間の時間帯における騒音レベルは56～61dBの範囲で推移し、世富慶集落(TN-10)の騒音レベルは国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)及び松田集落(TN-11)と比較すると高い傾向にありますが、環境監視基準(65dB以下)を満足する結果となりました。

表-2.2.1.1 道路交通騒音の調査結果一覧

単位：dB

時間区分	季節	TN-5	TN-10	TN-11	環境監視基準
昼間	R6年度春季	65	66	64	70dB以下
	R6年度夏季	66	66	65	
	R6年度秋季	66	66	64	
	R6年度冬季	65	67	64	
夜間	R6年度春季	59	61	59	65dB以下
	R6年度夏季	60	57	58	
	R6年度秋季	57	57	56	
	R6年度冬季	57	59	57	

- 注) 1. 時間区分の昼間は6時～22時、夜間は22時～6時です。  
2. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。  
3. 環境監視基準は環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値としています。



注) 環境監視基準は環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値としています。

図-2.2.1.1 道路交通騒音の調査結果

表-2.2.1.2(1) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度春季）

調査期日：令和6年4月16日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	71	70	58	45	42	65.2	83	36	L <sub>Aeq</sub> = 65
	7:00	72	70	62	51	48	65.8	82	38	
	8:00	72	70	64	48	45	66.6	84	38	
	9:00	71	69	57	44	41	64.7	85	37	
	10:00	73	70	58	45	43	66.1	84	38	
	11:00	71	69	55	45	43	64.3	81	39	
	12:00	71	69	57	44	42	65.6	88	35	
	13:00	71	69	56	44	42	65.2	85	38	
	14:00	71	69	57	45	43	65.0	85	38	
	15:00	71	70	58	43	41	65.2	81	37	
	16:00	71	70	60	46	44	65.9	87	37	
	17:00	71	69	61	49	46	65.3	87	37	
	18:00	70	68	59	47	45	63.8	78	38	
	19:00	69	67	54	43	42	62.8	84	35	
20:00	68	65	49	40	39	60.7	84	35		
21:00	68	64	46	38	37	61.9	90	33		
平均/最大/最小		<b>71</b>	<b>69</b>	<b>57</b>	<b>45</b>	<b>43</b>	<b>65</b>	<b>90</b>	<b>33</b>	
夜間	22:00	67	61	43	36	35	59.8	83	32	L <sub>Aeq</sub> = 59
	23:00	63	56	38	33	32	56.8	83	30	
	0:00	61	55	43	38	37	55.6	81	35	
	1:00	59	52	42	38	37	56.0	86	34	
	2:00	55	50	45	38	37	53.5	77	34	
	3:00	55	48	37	33	33	54.6	80	30	
	4:00	67	61	39	34	33	62.2	84	31	
5:00	70	66	50	36	34	63.9	88	31		
平均/最大/最小		<b>62</b>	<b>56</b>	<b>42</b>	<b>36</b>	<b>35</b>	<b>59</b>	<b>88</b>	<b>30</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.2(2) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度春季）

調査期日：令和6年4月16日

単位：dB

調査地点		世富慶集落（TN-10）								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	73	71	59	48	47	66.3	84	45	L <sub>Aeq</sub> = 66
	7:00	73	72	65	50	49	68.0	87	45	
	8:00	74	73	66	54	52	69.0	83	47	
	9:00	72	70	60	54	53	65.8	82	52	
	10:00	71	69	58	52	51	64.5	80	50	
	11:00	71	69	59	53	53	65.3	89	51	
	12:00	71	68	56	51	51	64.3	82	49	
	13:00	71	69	57	50	49	64.1	81	45	
	14:00	72	69	58	49	48	65.6	89	46	
	15:00	71	69	60	48	47	65.5	83	44	
	16:00	71	69	61	48	46	65.6	87	44	
	17:00	72	70	63	50	48	67.4	93	43	
	18:00	71	69	61	48	45	65.5	85	43	
	19:00	70	68	58	47	45	63.7	80	42	
20:00	70	67	56	48	48	63.0	81	45		
21:00	69	66	52	47	47	61.7	81	44		
平均/最大/最小		<b>71</b>	<b>69</b>	<b>59</b>	<b>50</b>	<b>49</b>	<b>66</b>	<b>93</b>	<b>42</b>	
夜間	22:00	68	65	51	48	47	60.6	78	44	L <sub>Aeq</sub> = 61
	23:00	65	64	50	47	46	59.0	76	44	
	0:00	66	65	58	54	54	61.4	78	53	
	1:00	66	65	58	54	54	62.0	84	52	
	2:00	67	66	61	54	54	62.3	77	52	
	3:00	67	66	63	55	54	63.3	77	50	
	4:00	65	63	53	48	47	60.1	79	45	
	5:00	69	65	48	46	45	61.1	81	44	
平均/最大/最小		<b>66</b>	<b>65</b>	<b>55</b>	<b>51</b>	<b>50</b>	<b>61</b>	<b>84</b>	<b>44</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.2(3) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度春季）

調査期日：令和6年4月16日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	71	69	63	48	44	65.5	86	36	L <sub>Aeq</sub> = 64
	7:00	70	69	64	54	52	65.6	78	44	
	8:00	70	68	64	53	49	65.2	79	39	
	9:00	70	68	62	49	46	65.2	91	34	
	10:00	70	68	62	49	45	64.7	82	36	
	11:00	70	68	61	47	44	64.2	84	34	
	12:00	69	67	60	46	42	63.5	86	36	
	13:00	69	67	60	48	44	63.5	83	33	
	14:00	69	67	61	47	44	64.0	85	35	
	15:00	69	67	61	49	46	63.6	79	36	
	16:00	69	67	62	49	46	64.1	85	31	
	17:00	69	67	63	52	48	64.8	87	38	
	18:00	68	66	61	49	46	63.4	85	36	
	19:00	66	65	58	46	44	62.0	87	39	
20:00	66	64	54	42	41	60.1	79	37		
21:00	66	64	50	39	38	61.1	87	37		
平均/最大/最小		<b>69</b>	<b>67</b>	<b>60</b>	<b>48</b>	<b>45</b>	<b>64</b>	<b>91</b>	<b>31</b>	
夜間	22:00	65	63	50	40	39	58.4	80	36	L <sub>Aeq</sub> = 59
	23:00	64	61	44	36	36	62.5	96	34	
	0:00	61	57	38	36	35	53.3	73	33	
	1:00	60	52	36	35	34	53.9	79	32	
	2:00	56	49	36	35	35	52.9	76	33	
	3:00	57	49	38	37	36	51.8	76	34	
	4:00	66	63	44	40	39	61.0	81	38	
5:00	68	66	50	40	38	63.9	92	36		
平均/最大/最小		<b>62</b>	<b>57</b>	<b>42</b>	<b>37</b>	<b>37</b>	<b>59</b>	<b>96</b>	<b>32</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.3(1) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度夏季）

調査期日：令和6年7月9日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	71	70	66	61	60	67.3	82	57	L <sub>Aeq</sub> = 66
	7:00	72	70	66	61	58	67.6	84	53	
	8:00	73	72	69	67	66	69.5	81	61	
	9:00	73	71	67	56	53	68.2	85	49	
	10:00	72	71	67	64	63	68.7	85	61	
	11:00	71	69	61	53	52	66.1	86	45	
	12:00	74	71	62	53	52	67.8	88	45	
	13:00	71	69	57	52	50	64.8	84	45	
	14:00	73	71	60	54	53	66.6	83	50	
	15:00	71	69	58	54	52	64.7	84	47	
	16:00	71	70	61	54	53	65.8	83	49	
	17:00	71	69	61	54	52	65.1	80	47	
	18:00	70	68	59	50	49	64.0	81	46	
	19:00	69	66	55	49	47	62.4	83	43	
20:00	70	67	51	45	45	63.7	86	42		
21:00	67	63	49	43	42	59.4	82	37		
平均/最大/最小		<b>71</b>	<b>69</b>	<b>60</b>	<b>54</b>	<b>53</b>	<b>66</b>	<b>88</b>	<b>37</b>	
夜間	22:00	66	60	43	38	38	57.8	76	36	L <sub>Aeq</sub> = 60
	23:00	62	55	43	39	39	55.9	77	36	
	0:00	59	51	39	37	36	58.3	84	34	
	1:00	52	45	37	35	35	56.0	87	33	
	2:00	52	48	37	35	34	50.9	75	33	
	3:00	57	47	36	34	34	61.2	92	33	
	4:00	68	63	42	36	36	62.1	84	33	
	5:00	69	66	54	43	41	63.1	83	39	
平均/最大/最小		<b>61</b>	<b>54</b>	<b>41</b>	<b>37</b>	<b>37</b>	<b>60</b>	<b>92</b>	<b>33</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.3(2) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度夏季）

調査期日：令和6年7月9日

単位：dB

調査地点		世富慶集落（TN-10）								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	72	70	59	46	44	65.8	87	42	L <sub>Aeq</sub> = 66
	7:00	72	71	64	50	49	67.0	82	45	
	8:00	73	72	66	54	53	68.1	84	48	
	9:00	75	73	61	54	53	69.0	94	51	
	10:00	72	71	62	54	53	68.6	95	48	
	11:00	73	70	59	53	53	66.4	84	51	
	12:00	72	70	57	47	46	65.8	84	45	
	13:00	71	69	58	48	47	64.8	82	45	
	14:00	72	70	59	49	48	65.4	84	45	
	15:00	74	72	61	49	47	68.7	97	44	
	16:00	71	69	61	48	47	65.3	81	44	
	17:00	71	69	62	47	46	65.1	80	43	
	18:00	71	69	61	47	45	65.0	81	43	
	19:00	70	68	55	43	43	63.5	79	41	
20:00	69	67	50	45	44	62.2	87	41		
21:00	68	65	47	45	44	60.5	83	42		
平均/最大/最小		<b>72</b>	<b>70</b>	<b>59</b>	<b>49</b>	<b>48</b>	<b>66</b>	<b>97</b>	<b>41</b>	
夜間	22:00	67	63	46	45	44	59.2	83	43	L <sub>Aeq</sub> = 57
	23:00	65	62	46	44	44	58.1	77	43	
	0:00	61	56	45	44	43	55.1	79	43	
	1:00	59	55	46	44	44	53.8	78	43	
	2:00	58	55	46	44	44	53.2	77	43	
	3:00	56	51	45	43	43	52.9	77	42	
	4:00	63	54	43	42	42	57.3	79	41	
	5:00	69	66	48	44	44	61.3	79	42	
平均/最大/最小		<b>62</b>	<b>58</b>	<b>46</b>	<b>44</b>	<b>43</b>	<b>57</b>	<b>83</b>	<b>41</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.3(3) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度夏季）

調査期日：令和6年7月9日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	69	68	63	54	52	64.8	79	46	L <sub>Aeq</sub> = 65
	7:00	70	68	64	57	55	65.6	81	42	
	8:00	71	69	64	57	56	66.2	80	49	
	9:00	72	70	63	54	51	66.2	88	42	
	10:00	71	69	62	56	55	66.0	87	51	
	11:00	73	71	62	50	46	66.9	83	39	
	12:00	75	73	66	53	49	69.1	86	41	
	13:00	69	67	60	48	46	63.8	82	41	
	14:00	68	67	61	48	45	63.5	81	40	
	15:00	68	67	60	48	45	63.5	87	40	
	16:00	69	67	62	51	49	63.7	80	43	
	17:00	68	67	62	52	49	63.8	82	41	
	18:00	67	66	61	50	47	63.1	86	41	
	19:00	67	65	58	48	46	62.3	91	41	
20:00	67	65	56	46	45	61.9	83	43		
21:00	64	63	50	44	43	57.8	73	41		
平均/最大/最小		<b>69</b>	<b>68</b>	<b>61</b>	<b>51</b>	<b>49</b>	<b>65</b>	<b>91</b>	<b>39</b>	
夜間	22:00	64	62	48	43	42	58.3	86	41	L <sub>Aeq</sub> = 58
	23:00	63	60	43	37	37	57.4	87	35	
	0:00	62	57	39	37	37	57.3	82	35	
	1:00	59	52	38	35	35	55.2	82	34	
	2:00	55	48	37	35	35	49.5	70	34	
	3:00	60	52	37	35	34	56.9	82	32	
	4:00	68	64	43	35	34	61.5	81	33	
5:00	68	66	52	43	41	61.9	83	37		
平均/最大/最小		<b>62</b>	<b>57</b>	<b>42</b>	<b>38</b>	<b>37</b>	<b>58</b>	<b>87</b>	<b>32</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.4(1) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度秋季）

調査期日：令和6年10月22日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	70	69	64	50	47	65.6	80	39	L <sub>Aeq</sub> = 66
	7:00	72	70	66	64	63	67.6	83	61	
	8:00	72	71	68	65	64	68.9	84	62	
	9:00	72	71	66	64	64	68.3	83	62	
	10:00	73	71	67	64	63	68.5	85	61	
	11:00	72	70	66	63	62	67.6	86	56	
	12:00	71	69	65	63	62	66.8	82	60	
	13:00	72	70	64	61	60	68.2	85	58	
	14:00	71	69	62	58	56	66.0	84	46	
	15:00	71	70	61	53	51	66.0	87	44	
	16:00	71	70	63	55	53	66.1	82	49	
	17:00	71	69	60	52	50	64.9	83	42	
	18:00	70	68	58	45	42	63.5	81	39	
	19:00	68	66	52	41	40	61.3	80	37	
20:00	67	64	47	40	40	60.3	81	37		
21:00	67	64	47	40	39	61.5	88	36		
平均/最大/最小		<b>71</b>	<b>69</b>	<b>61</b>	<b>55</b>	<b>53</b>	<b>66</b>	<b>88</b>	<b>36</b>	
夜間	22:00	66	61	43	39	38	58.7	80	36	L <sub>Aeq</sub> = 57
	23:00	63	57	42	38	38	57.1	85	35	
	0:00	61	53	41	37	37	58.8	87	34	
	1:00	55	49	40	38	37	52.4	79	35	
	2:00	49	44	39	37	36	51.2	79	34	
	3:00	57	51	39	37	36	55.0	81	34	
	4:00	64	57	39	35	35	58.2	83	32	
5:00	68	64	45	35	34	60.1	81	32		
平均/最大/最小		<b>60</b>	<b>54</b>	<b>41</b>	<b>37</b>	<b>36</b>	<b>57</b>	<b>87</b>	<b>32</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.4(2) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度秋季）

調査期日：令和6年10月22日

単位：dB

調査地点		世富慶集落（TN-10）								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	72	71	59	47	46	66.1	87	44	L <sub>Aeq</sub> = 66
	7:00	72	71	64	49	48	67.2	82	44	
	8:00	73	72	67	54	52	68.3	81	49	
	9:00	71	69	59	55	54	64.9	83	52	
	10:00	72	70	63	54	54	66.3	79	51	
	11:00	71	69	60	54	54	65.4	80	53	
	12:00	74	71	59	53	53	66.8	84	52	
	13:00	71	69	57	52	52	64.8	80	49	
	14:00	72	69	57	50	50	65.2	83	48	
	15:00	74	72	62	51	50	67.7	85	48	
	16:00	72	70	62	50	50	66.0	83	48	
	17:00	71	69	61	51	50	65.2	83	47	
	18:00	71	69	60	46	45	64.7	82	43	
	19:00	70	68	56	46	45	63.2	79	43	
20:00	68	66	49	45	44	61.6	83	43		
21:00	68	66	49	46	45	60.9	80	43		
平均/最大/最小		<b>71</b>	<b>69</b>	<b>59</b>	<b>50</b>	<b>49</b>	<b>66</b>	<b>87</b>	<b>43</b>	
夜間	22:00	67	64	49	47	46	60.5	86	43	L <sub>Aeq</sub> = 57
	23:00	63	56	47	45	45	56.0	75	44	
	0:00	62	54	46	45	45	56.4	80	43	
	1:00	61	54	46	44	44	55.6	78	42	
	2:00	55	49	46	45	45	53.2	76	43	
	3:00	49	47	46	44	44	50.0	71	42	
	4:00	61	52	46	45	44	56.9	82	43	
	5:00	69	66	48	45	45	61.2	81	44	
平均/最大/最小		<b>61</b>	<b>55</b>	<b>47</b>	<b>45</b>	<b>45</b>	<b>57</b>	<b>86</b>	<b>42</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.4(3) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度秋季）

調査期日：令和6年10月22日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	69	68	62	50	46	64.2	79	37	L <sub>Aeq</sub> = 64
	7:00	70	68	64	54	51	65.1	82	45	
	8:00	70	69	64	54	52	65.5	83	48	
	9:00	70	68	61	52	51	65.1	90	47	
	10:00	71	69	62	51	50	66.0	88	44	
	11:00	70	67	60	49	48	64.3	83	44	
	12:00	68	66	60	48	47	63.2	84	44	
	13:00	69	67	60	49	47	63.3	78	43	
	14:00	70	68	61	49	47	64.4	89	42	
	15:00	68	66	60	49	48	62.8	79	43	
	16:00	69	67	62	53	50	64.1	83	41	
	17:00	68	67	62	53	50	63.9	81	42	
	18:00	67	66	61	50	47	62.4	82	39	
	19:00	66	64	57	45	43	62.2	91	38	
20:00	67	65	55	45	44	61.8	84	40		
21:00	66	64	51	45	43	63.3	89	39		
平均/最大/最小		<b>69</b>	<b>67</b>	<b>60</b>	<b>50</b>	<b>48</b>	<b>64</b>	<b>91</b>	<b>37</b>	
夜間	22:00	65	63	47	42	41	58.0	82	39	L <sub>Aeq</sub> = 56
	23:00	62	59	43	41	41	54.7	77	40	
	0:00	61	56	39	37	36	56.7	84	35	
	1:00	58	51	38	36	36	51.1	75	34	
	2:00	56	47	38	36	35	52.1	76	33	
	3:00	59	53	38	36	35	53.0	77	32	
	4:00	64	60	40	36	36	56.1	74	34	
	5:00	67	64	47	37	37	59.6	81	35	
平均/最大/最小		<b>61</b>	<b>57</b>	<b>41</b>	<b>38</b>	<b>37</b>	<b>56</b>	<b>84</b>	<b>32</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.5(1) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度冬季）

調査期日：令和7年1月29日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	71	69	58	42	38	64.9	84	32	L <sub>Aeq</sub> = 65
	7:00	73	71	63	51	48	66.9	86	41	
	8:00	72	71	64	51	49	66.8	83	37	
	9:00	72	70	57	44	41	65.3	88	36	
	10:00	72	70	59	46	43	65.6	85	38	
	11:00	71	70	57	45	43	64.9	83	38	
	12:00	71	69	58	44	41	65.0	82	34	
	13:00	72	70	58	43	41	65.2	84	35	
	14:00	71	69	57	44	41	64.9	82	37	
	15:00	72	70	61	49	46	66.9	94	39	
	16:00	73	71	63	48	45	67.2	88	39	
	17:00	72	71	62	48	44	66.2	82	38	
	18:00	71	69	59	44	41	64.9	88	35	
	19:00	70	68	52	40	39	63.0	80	35	
20:00	68	65	48	38	37	61.4	85	33		
21:00	70	67	47	37	35	64.3	89	32		
平均/最大/最小		<b>71</b>	<b>69</b>	<b>58</b>	<b>45</b>	<b>42</b>	<b>65</b>	<b>94</b>	<b>32</b>	
夜間	22:00	67	62	42	36	35	60.1	82	33	L <sub>Aeq</sub> = 57
	23:00	63	57	39	35	34	57.3	84	32	
	0:00	56	48	34	32	32	54.2	79	31	
	1:00	47	39	33	31	31	51.4	78	30	
	2:00	51	44	33	31	31	50.9	75	30	
	3:00	52	44	33	31	31	51.8	78	29	
	4:00	60	52	33	31	31	55.8	78	30	
	5:00	69	64	45	33	32	61.6	83	30	
平均/最大/最小		<b>58</b>	<b>51</b>	<b>36</b>	<b>33</b>	<b>32</b>	<b>57</b>	<b>84</b>	<b>29</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.5(2) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度冬季）

調査期日：令和7年1月29日

単位：dB

調査地点		世富慶集落 (TN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	73	71	59	45	44	66.5	79	42	L <sub>Aeq</sub> = 67
	7:00	74	72	65	49	48	68.3	83	44	
	8:00	73	72	66	54	53	68.9	92	51	
	9:00	76	74	64	55	54	69.1	85	52	
	10:00	72	71	63	55	54	66.6	83	51	
	11:00	72	70	61	54	53	66.3	83	51	
	12:00	74	72	60	53	52	67.4	81	48	
	13:00	72	70	61	54	53	66.0	83	50	
	14:00	72	70	60	52	50	65.9	82	47	
	15:00	75	73	63	51	49	68.8	86	44	
	16:00	72	70	62	48	47	66.0	82	44	
	17:00	71	70	62	50	48	65.5	79	44	
	18:00	71	69	61	48	46	65.0	82	42	
	19:00	70	68	52	44	43	62.9	79	42	
20:00	70	68	49	44	43	62.4	79	42		
21:00	68	66	51	45	44	61.4	85	43		
平均/最大/最小		<b>72</b>	<b>70</b>	<b>60</b>	<b>50</b>	<b>49</b>	<b>67</b>	<b>92</b>	<b>42</b>	
夜間	22:00	69	66	52	47	46	61.2	84	43	L <sub>Aeq</sub> = 59
	23:00	67	63	47	45	45	60.1	82	43	
	0:00	63	58	50	47	46	57.6	79	43	
	1:00	60	53	47	43	42	56.9	80	40	
	2:00	58	50	45	44	42	56.1	82	40	
	3:00	62	57	45	44	44	57.0	81	41	
	4:00	60	52	47	43	42	56.5	80	40	
	5:00	69	65	46	43	43	61.1	79	42	
平均/最大/最小		<b>63</b>	<b>58</b>	<b>48</b>	<b>44</b>	<b>44</b>	<b>59</b>	<b>84</b>	<b>40</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分における L<sub>max</sub> の最大値、L<sub>min</sub> の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub> は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.1.5(3) 道路交通騒音の調査結果（令和6年度冬季）

調査期日：令和7年1月29日

単位：dB

調査地点		松田集落(TN-11)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	70	69	63	47	43	65.0	78	36	L <sub>Aeq</sub> = 64
	7:00	71	69	65	55	52	66.3	82	40	
	8:00	70	69	64	53	49	65.5	79	37	
	9:00	70	68	62	49	46	64.9	81	34	
	10:00	70	68	62	47	44	64.6	79	37	
	11:00	69	67	60	45	41	63.8	81	35	
	12:00	68	67	60	45	42	63.2	79	35	
	13:00	69	67	61	46	42	64.0	80	36	
	14:00	69	67	61	46	43	63.7	79	35	
	15:00	69	68	62	49	46	64.2	82	36	
	16:00	70	68	63	52	49	65.0	79	39	
	17:00	69	68	64	54	51	64.9	83	41	
	18:00	68	66	61	51	48	64.3	87	42	
	19:00	68	67	59	48	45	65.3	89	38	
20:00	66	65	54	44	42	60.2	79	37		
21:00	68	65	52	39	37	64.0	89	33		
平均/最大/最小		<b>69</b>	<b>67</b>	<b>61</b>	<b>48</b>	<b>45</b>	<b>64</b>	<b>89</b>	<b>33</b>	
夜間	22:00	66	64	49	36	35	59.0	80	32	L <sub>Aeq</sub> = 57
	23:00	64	61	40	32	32	57.4	82	30	
	0:00	61	55	36	32	32	53.4	76	30	
	1:00	54	45	32	30	27	50.5	72	24	
	2:00	56	48	33	31	31	49.8	70	30	
	3:00	58	50	33	31	29	59.4	89	25	
	4:00	63	56	34	31	31	55.3	74	30	
	5:00	67	65	47	34	33	60.3	81	31	
平均/最大/最小		<b>61</b>	<b>56</b>	<b>38</b>	<b>32</b>	<b>31</b>	<b>57</b>	<b>89</b>	<b>24</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の6時から22時までの16時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の22時から6時までの8時間）における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間及び夜間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

## 2.2.2 交通量

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和6年度春季から冬季の交通量の調査結果一覧は、表-2.2.2.1、表-2.2.2.2に示すとおりです。

昼間の時間帯における交通量は7,178～13,363台、夜間の時間帯における交通量は363～884台の範囲で推移し、松田集落(TN-11)の交通量が最も多く、次いで世富慶集落(TN-10)、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)の順となりました。

日合計交通量を調査地点別にみると、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)は7,723～8,214台/日、世富慶集落(TN-10)は7,682～9,345台/日、松田集落(TN-11)は13,470～14,109台/日となりました。

日合計交通量を車種別にみると、小型車は6,890～13,064台/日、大型車は530～1,394台/日、二輪車は78～175台/日の範囲で推移し、小型車の割合が最も多く、約90%を占めています。

表-2.2.2.1 交通量の調査結果一覧

単位：台

地点名	時間区分	季節	上り車線			下り車線			合計
			小型車	大型車	二輪車	小型車	大型車	二輪車	
TN-5	昼間	R6年度春季	3,479	223	62	3,421	320	57	7,562
		R6年度夏季	3,163	271	37	3,378	284	45	7,178
		R6年度秋季	3,348	279	72	3,397	279	74	7,449
		R6年度冬季	3,396	225	27	3,858	294	51	7,851
	夜間	R6年度春季	271	26	4	159	13	2	475
		R6年度夏季	275	37	3	138	90	2	545
		R6年度秋季	267	10	2	151	7	0	437
		R6年度冬季	215	10	3	134	1	0	363
TN-10	昼間	R6年度春季	3,383	269	67	3,131	366	51	7,267
		R6年度夏季	3,390	426	36	3,273	450	37	7,612
		R6年度秋季	3,429	589	47	3,108	606	43	7,822
		R6年度冬季	3,699	595	34	3,799	725	38	8,890
	夜間	R6年度春季	160	24	3	216	9	3	415
		R6年度夏季	152	27	7	212	9	3	410
		R6年度秋季	172	21	2	237	9	3	444
		R6年度冬季	172	38	3	203	36	3	455
TN-11	昼間	R6年度春季	6,148	408	92	6,034	440	70	13,192
		R6年度夏季	5,956	444	67	5,786	427	50	12,730
		R6年度秋季	5,842	477	77	5,736	454	74	12,660
		R6年度冬季	6,068	480	34	6,292	441	48	13,363
	夜間	R6年度春季	416	32	8	332	17	5	810
		R6年度夏季	488	35	5	334	21	1	884
		R6年度秋季	453	15	11	318	6	7	810
		R6年度冬季	379	24	7	325	7	4	746

注) 1. 調査期日は、R6年度春季が令和6年4月16日、R6年度夏季が令和6年7月9日、R6年度秋季が令和6年10月22日、R6年度冬季が令和7年1月29日です。

2. 時間区分の昼間は6時～22時、夜間は22時～6時です。

3. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。

表-2.2.2.2 交通量の調査結果一覧

単位：台

地点名	季節	上り車線				下り車線				合計
		小型車	大型車	二輪車	合計	小型車	大型車	二輪車	合計	
TN-5	R6年度春季	3,750	249	66	4,065	3,580	333	59	3,972	8,037
	R6年度夏季	3,438	308	40	3,786	3,516	374	47	3,937	7,723
	R6年度秋季	3,615	289	74	3,978	3,548	286	74	3,908	7,886
	R6年度冬季	3,611	235	30	3,876	3,992	295	51	4,338	8,214
TN-10	R6年度春季	3,543	293	70	3,906	3,347	375	54	3,776	7,682
	R6年度夏季	3,542	453	43	4,038	3,485	459	40	3,984	8,022
	R6年度秋季	3,601	610	49	4,260	3,345	615	46	4,006	8,266
	R6年度冬季	3,871	633	37	4,541	4,002	761	41	4,804	9,345
TN-11	R6年度春季	6,564	440	100	7,104	6,366	457	75	6,898	14,002
	R6年度夏季	6,444	479	72	6,995	6,120	448	51	6,619	13,614
	R6年度秋季	6,295	492	88	6,875	6,054	460	81	6,595	13,470
	R6年度冬季	6,447	504	41	6,992	6,617	448	52	7,117	14,109

単位：台

地点名	季節	上下線			
		小型車	大型車	二輪車	合計
TN-5	R6年度春季	7,330	582	125	8,037
	R6年度夏季	6,954	682	87	7,723
	R6年度秋季	7,163	575	148	7,886
	R6年度冬季	7,603	530	81	8,214
TN-10	R6年度春季	6,890	668	124	7,682
	R6年度夏季	7,027	912	83	8,022
	R6年度秋季	6,946	1,225	95	8,266
	R6年度冬季	7,873	1,394	78	9,345
TN-11	R6年度春季	12,930	897	175	14,002
	R6年度夏季	12,564	927	123	13,614
	R6年度秋季	12,349	952	169	13,470
	R6年度冬季	13,064	952	93	14,109

- 注) 1. 調査期日は、R6年度春季が令和6年4月16日、R6年度夏季が令和6年7月9日、R6年度秋季が令和6年10月22日、R6年度冬季が令和7年1月29日です。  
 2. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。

### 2.2.3 建設作業騒音

国立沖縄工業高等専門学校(EN-10)、辺野古集落(EN-13)における令和6年度春季から冬季の建設作業騒音の調査結果は表-2.2.3.1～表-2.2.3.4に示すとおりです。

昼間の時間帯における騒音レベルの90%レンジ上端値(L<sub>5</sub>)は39～62dBの範囲で推移しています。

なお、参考までに等価騒音レベル(L<sub>Aeq</sub>)は40～54dBとなっています。

当該地域は「騒音規制法に基づく規制地域」に該当していませんが、環境監視基準(85dB以下)を満足する結果となりました。

表-2.2.3.1(1) 建設作業騒音の調査結果(令和6年度春季)

調査期日：令和6年4月5日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(EN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	48	46	36	35	34	41.0	57	33	L <sub>Aeq</sub> = 44
	7:00	44	43	37	35	35	39.9	58	32	
	8:00	48	47	42	38	37	43.6	59	34	
	9:00	51	49	44	40	40	46.2	65	38	
	10:00	52	50	46	42	41	47.4	70	38	
	11:00	53	52	47	42	41	48.4	61	39	
	12:00	51	49	45	41	41	46.4	60	38	
	13:00	48	46	42	38	37	43.9	61	35	
	14:00	51	49	44	39	38	45.7	57	36	
	15:00	46	45	38	35	34	41.0	56	32	
	16:00	46	44	37	34	34	40.4	57	32	
	17:00	45	44	37	35	34	40.2	57	32	
	18:00	44	42	36	34	34	38.8	58	32	
	19:00	43	40	36	35	34	38.0	54	33	
20:00	40	38	36	35	34	36.9	52	33		
21:00	39	37	35	34	34	36.4	52	33		
平均/最大/最小		<b>47</b>	<b>45</b>	<b>40</b>	<b>37</b>	<b>36</b>	<b>44</b>	<b>70</b>	<b>32</b>	

注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。

3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.1(2) 建設作業騒音の調査結果 (令和6年度春季)

調査期日：令和6年4月5日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EN-13)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	48	47	43	40	40	45.0	59	38	L <sub>Aeq</sub> = 51
	7:00	52	49	43	41	40	46.0	65	39	
	8:00	54	50	46	42	41	48.2	61	39	
	9:00	56	54	49	45	44	51.2	68	43	
	10:00	59	58	53	49	48	54.4	66	45	
	11:00	60	59	54	48	47	55.4	67	45	
	12:00	58	56	52	48	47	53.4	69	44	
	13:00	59	57	51	49	48	54.3	68	45	
	14:00	55	54	50	48	47	51.4	69	43	
	15:00	52	51	47	44	44	48.8	66	41	
	16:00	54	52	49	44	43	50.0	67	41	
	17:00	60	58	50	46	46	54.1	73	42	
	18:00	51	50	47	45	44	47.9	58	41	
	19:00	49	48	46	44	43	46.2	58	42	
20:00	49	48	45	43	42	45.5	57	41		
21:00	53	50	47	44	44	48.7	60	42		
平均/最大/最小		<b>54</b>	<b>52</b>	<b>48</b>	<b>45</b>	<b>44</b>	<b>51</b>	<b>73</b>	<b>38</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、各測定時間帯における L<sub>max</sub> の最大値、L<sub>min</sub> の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub> は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.2(1) 建設作業騒音の調査結果 (令和6年度夏季)

調査期日：令和6年7月17日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	53	52	47	43	42	48.6	57	38	L <sub>Aeq</sub> = 49
	7:00	56	55	51	48	47	52.3	58	45	
	8:00	56	56	53	50	49	53.3	58	47	
	9:00	57	56	54	51	50	54.5	67	42	
	10:00	56	55	50	43	42	51.2	60	41	
	11:00	52	52	46	40	40	48.1	62	38	
	12:00	50	49	44	39	39	45.3	58	37	
	13:00	50	48	45	40	39	45.8	62	38	
	14:00	48	47	43	39	39	44.3	65	37	
	15:00	54	53	50	45	44	50.4	59	39	
	16:00	55	53	50	43	42	50.6	65	40	
	17:00	52	49	45	40	40	46.5	59	38	
	18:00	47	45	42	39	39	43.5	59	36	
	19:00	47	46	44	39	39	43.9	57	37	
20:00	46	45	44	41	41	43.6	52	39		
21:00	45	44	42	40	39	42.6	54	38		
平均/最大/最小		<b>51</b>	<b>50</b>	<b>47</b>	<b>43</b>	<b>42</b>	<b>49</b>	<b>67</b>	<b>36</b>	

注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、各測定時間帯における L<sub>max</sub> の最大値、L<sub>min</sub> の最小値です。

3. L<sub>Aeq</sub> は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.2(2) 建設作業騒音の調査結果 (令和6年度夏季)

調査期日：令和6年7月17日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EN-13)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	59	57	48	44	44	53.1	69	41	L <sub>Aeq</sub> = 54
	7:00	53	52	49	47	46	49.6	65	44	
	8:00	55	55	52	48	47	52.4	70	45	
	9:00	62	62	60	58	57	59.9	68	53	
	10:00	61	60	57	52	52	57.5	70	50	
	11:00	61	60	57	53	52	57.3	69	48	
	12:00	56	55	52	50	50	52.9	69	48	
	13:00	58	58	55	51	50	55.6	70	42	
	14:00	58	57	51	46	45	53.6	68	44	
	15:00	54	53	49	45	44	50.3	66	42	
	16:00	58	56	51	47	46	53.1	70	44	
	17:00	57	55	48	44	43	52.4	69	41	
	18:00	52	50	43	39	39	46.3	58	36	
	19:00	49	47	42	40	39	44.1	62	38	
	20:00	44	43	41	40	40	41.6	57	38	
	21:00	44	43	41	40	40	41.8	55	39	
平均/最大/最小		<b>55</b>	<b>54</b>	<b>50</b>	<b>46</b>	<b>46</b>	<b>54</b>	<b>70</b>	<b>36</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時~22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、各測定時間帯における L<sub>max</sub> の最大値、L<sub>min</sub> の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub> は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.3(1) 建設作業騒音の調査結果 (令和6年度秋季)

調査期日：令和6年11月1日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EN-10)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	54	53	50	47	46	50.4	60	43	L <sub>Aeq</sub> = 51
	7:00	54	53	51	49	48	51.3	60	45	
	8:00	56	54	51	49	49	52.1	66	46	
	9:00	55	54	51	48	47	51.9	67	45	
	10:00	55	54	52	50	49	52.2	61	47	
	11:00	54	53	51	48	48	51.2	60	45	
	12:00	54	53	51	48	48	51.2	59	45	
	13:00	54	52	48	46	45	49.6	62	43	
	14:00	55	54	51	47	46	51.4	59	44	
	15:00	56	55	51	49	49	52.2	66	47	
	16:00	55	54	50	47	46	51.3	61	44	
	17:00	54	53	49	46	45	50.1	61	43	
	18:00	52	52	48	46	46	49.1	56	44	
	19:00	53	52	48	46	45	48.8	56	43	
	20:00	51	50	46	44	44	47.5	56	41	
	21:00	54	53	49	45	44	49.7	56	41	
平均/最大/最小		<b>54</b>	<b>53</b>	<b>50</b>	<b>47</b>	<b>47</b>	<b>51</b>	<b>67</b>	<b>41</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、各測定時間帯における L<sub>max</sub> の最大値、L<sub>min</sub> の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub> は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.3(2) 建設作業騒音の調査結果 (令和6年度秋季)

調査期日：令和6年11月1日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EN-13)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	53	52	49	47	46	49.8	61	45	L <sub>Aeq</sub> = 52
	7:00	55	53	51	49	48	51.6	70	47	
	8:00	61	59	54	50	49	56.1	70	48	
	9:00	57	55	51	49	49	52.8	69	47	
	10:00	58	56	51	49	48	53.1	67	47	
	11:00	60	58	52	48	48	55.7	69	46	
	12:00	60	57	53	50	50	54.4	66	47	
	13:00	54	53	49	47	46	50.0	68	44	
	14:00	54	53	50	48	47	50.6	67	45	
	15:00	53	52	49	46	45	49.5	66	43	
	16:00	51	50	47	45	45	48.1	56	43	
	17:00	52	51	47	45	45	48.3	56	43	
	18:00	50	49	47	45	45	47.2	60	43	
	19:00	51	50	47	45	45	47.6	56	43	
20:00	50	49	46	44	44	46.9	55	42		
21:00	51	50	48	46	45	48.3	56	43		
平均/最大/最小		<b>54</b>	<b>53</b>	<b>49</b>	<b>47</b>	<b>47</b>	<b>52</b>	<b>70</b>	<b>42</b>	

注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。

2. 最大/最小は、各測定時間帯における L<sub>max</sub> の最大値、L<sub>min</sub> の最小値です。

3. L<sub>Aeq</sub> は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.4(1) 建設作業騒音の調査結果（令和6年度冬季）

調査期日：令和7年2月5日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校（EN-10）								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	41	39	34	33	32	36.8	52	31	L <sub>Aeq</sub> = 40
	7:00	44	42	36	34	34	38.6	56	31	
	8:00	48	47	40	36	35	42.9	58	33	
	9:00	45	43	37	35	34	39.6	55	32	
	10:00	47	45	40	36	35	42.4	59	34	
	11:00	45	44	40	37	36	41.0	54	34	
	12:00	48	46	40	36	36	42.4	54	34	
	13:00	47	45	41	38	37	42.4	54	35	
	14:00	46	44	39	36	35	41.1	55	33	
	15:00	45	43	38	36	35	40.0	55	33	
	16:00	45	43	37	35	34	40.4	63	32	
	17:00	45	44	36	33	33	39.6	55	31	
	18:00	45	43	36	34	34	39.2	54	32	
	19:00	44	42	35	33	33	38.4	52	32	
	20:00	42	40	33	32	32	36.3	52	30	
	21:00	40	36	32	31	29	34.9	51	28	
平均/最大/最小		<b>45</b>	<b>43</b>	<b>37</b>	<b>35</b>	<b>34</b>	<b>40</b>	<b>63</b>	<b>28</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

表-2.2.3.4(2) 建設作業騒音の調査結果（令和6年度冬季）

調査期日：令和7年2月5日

単位：dB

調査地点		辺野古集落(EN-13)								
時間区分	測定時間帯	時間率騒音レベル					L <sub>Aeq</sub>	L <sub>max</sub>	L <sub>min</sub>	時間区分の平均値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>				
昼間	6:00	52	51	48	45	45	48.8	60	41	L <sub>Aeq</sub> = 52
	7:00	51	51	48	46	46	48.7	57	43	
	8:00	54	53	50	48	48	50.9	60	45	
	9:00	54	54	50	46	45	51.0	65	43	
	10:00	57	56	53	48	47	53.5	65	44	
	11:00	54	53	49	46	45	50.0	64	42	
	12:00	54	53	50	47	46	50.8	68	44	
	13:00	55	54	50	47	46	50.9	66	43	
	14:00	54	53	49	46	46	50.3	62	43	
	15:00	55	54	51	48	47	52.0	62	43	
	16:00	57	57	53	50	49	53.8	62	46	
	17:00	57	56	54	51	50	54.3	60	46	
	18:00	57	56	55	53	52	55.0	60	49	
	19:00	56	56	54	53	53	54.4	57	51	
	20:00	51	50	46	42	41	47.0	58	39	
	21:00	47	46	43	41	40	43.8	54	38	
平均/最大/最小		<b>54</b>	<b>53</b>	<b>50</b>	<b>47</b>	<b>47</b>	<b>52</b>	<b>68</b>	<b>38</b>	

- 注) 1. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の6時～22時までの16時間)における時間率騒音レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 2. 最大/最小は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値、L<sub>min</sub>の最小値です。  
 3. L<sub>Aeq</sub>は、昼間の時間区分における等価騒音レベルを示します。

## 2.3 振動

### 2.3.1 道路交通振動

国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)、世富慶集落(TV-10)、松田集落(TV-11)における令和6年度春季から冬季の道路交通振動の調査結果一覧は表-2.3.1.1及び図-2.3.1.1に、調査結果は表-2.3.1.2～表-2.3.1.5に示すとおりです。

昼間の時間帯における振動レベル(L<sub>10</sub>)は、30未満～41dBの範囲で推移し、松田集落(TV-11)が最も高く、国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)が最も低い結果となりました。また、夜間の時間帯における振動レベル(L<sub>10</sub>)は、30未満～37dBの範囲で推移し、松田集落(TV-11)が最も高く、国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)が最も低い結果となりました。

環境監視基準と比較すると、全ての地点、時間区分において、環境監視基準(昼間：60、65dB以下、夜間：55、60dB以下)を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

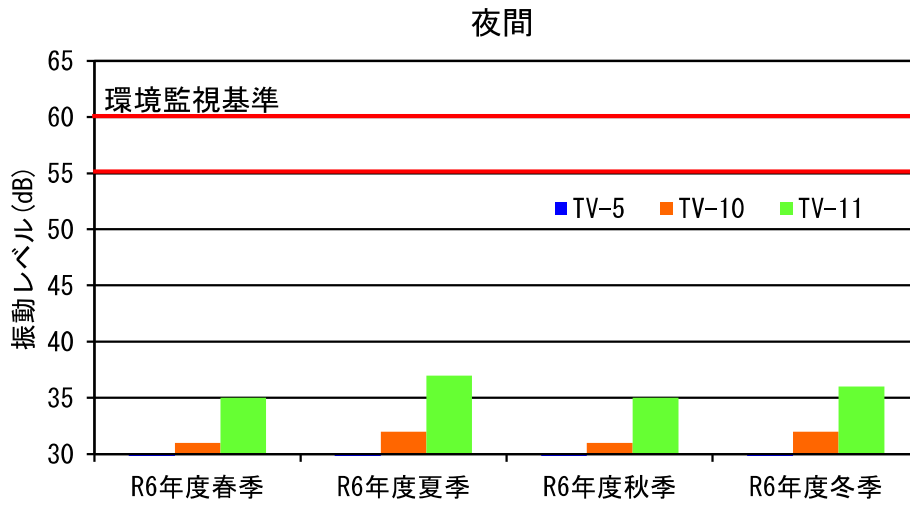
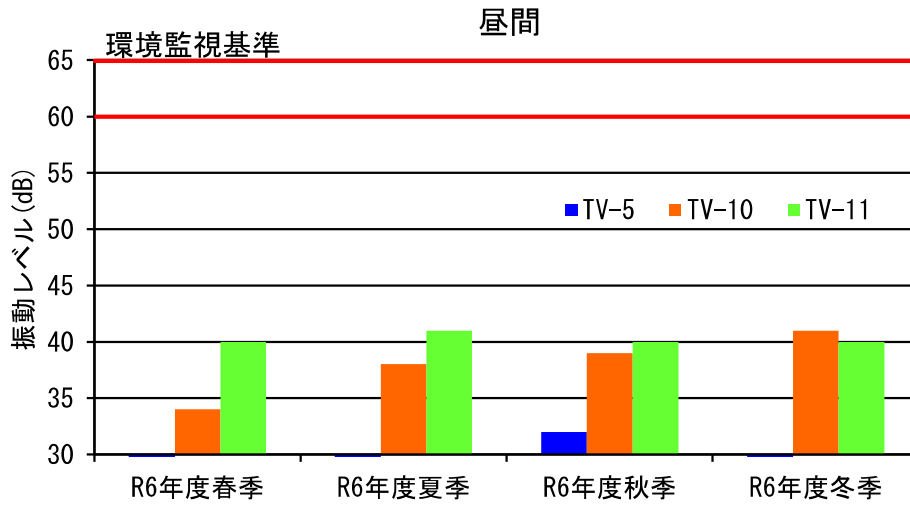
なお、国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)については、環境保全の配慮が必要な教育施設に隣接していることから、振動規制法に基づき「道路交通振動の要請限度」(第1種区域)から5dB減じた値を採用しました。

表-2.3.1.1 道路交通振動の調査結果一覧

単位：dB

時間区分	季節	TV-5	TV-10	TV-11
昼間	R6年度春季	30未満	34	40
	R6年度夏季	30未満	38	41
	R6年度秋季	32	39	40
	R6年度冬季	30未満	41	40
夜間	R6年度春季	30未満	31	35
	R6年度夏季	30未満	32	37
	R6年度秋季	30未満	31	35
	R6年度冬季	30未満	32	36
環境監視基準	昼間	60dB以下	65dB以下	65dB以下
	夜間	55dB以下	60dB以下	60dB以下

- 注) 1. 時間区分の昼間は8時～19時、夜間は19時～8時です。  
 2. 地点名のTV-5は国立沖縄工業高等専門学校、TV-10は世富慶集落、TV-11は松田集落の国道329号沿道を示します。  
 3. 環境監視基準は振動規制法に基づく「道路交通振動の要請限度」の第1種区域相当値としています。



- 注) 1. 環境監視基準は振動規制法に基づく「道路交通振動の要請限度」の第1種区域相当値としています。  
 2. 30dB未満の結果はグラフに表示していません。

図-2.3.1.1 道路交通振動の調査結果

表-2.3.1.2(1) 道路交通振動の調査結果（令和6年度春季）

調査期日：令和6年4月16日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	10:00	32	<30	<30	<30	<30	43	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	39		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	48	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	L <sub>10</sub> < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
7:00	<30	<30	<30	<30	<30	41		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	50	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.2(2) 道路交通振動の調査結果 (令和6年度春季)

調査期日：令和6年4月16日

単位：dB

調査地点		世富慶集落(TV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	39	34	<30	<30	<30	55	L <sub>10</sub> = 34
	9:00	39	33	<30	<30	<30	53	
	10:00	35	31	<30	<30	<30	50	
	11:00	35	32	<30	<30	<30	58	
	12:00	32	<30	<30	<30	<30	59	
	13:00	33	30	<30	<30	<30	53	
	14:00	36	31	<30	<30	<30	53	
	15:00	36	32	<30	<30	<30	53	
	16:00	33	30	<30	<30	<30	54	
	17:00	33	30	<30	<30	<30	51	
18:00	31	<30	<30	<30	<30	51		
平均/最大		35	31	<30	<30	<30	59	
夜間	19:00	30	<30	<30	<30	<30	50	L <sub>10</sub> = 31
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	52	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	6:00	33	30	<30	<30	<30	51	
	7:00	33	31	<30	<30	<30	53	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	53	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の8時から19時までの11時間)及び夜間の時間区分(測定時間帯の19時から8時までの13時間)における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.2(3) 道路交通振動の調査結果（令和6年度春季）

調査期日：令和6年4月16日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	40	36	<30	<30	<30	49	L <sub>10</sub> = 40
	9:00	42	38	<30	<30	<30	55	
	10:00	44	40	<30	<30	<30	53	
	11:00	42	38	<30	<30	<30	56	
	12:00	40	35	<30	<30	<30	51	
	13:00	41	37	<30	<30	<30	54	
	14:00	40	36	<30	<30	<30	55	
	15:00	40	36	<30	<30	<30	51	
	16:00	40	36	<30	<30	<30	51	
	17:00	37	34	<30	<30	<30	47	
18:00	33	32	<30	<30	<30	49		
平均/最大		40	36	<30	<30	<30	56	
夜間	19:00	32	31	<30	<30	<30	50	L <sub>10</sub> = 35
	20:00	31	<30	<30	<30	<30	52	
	21:00	30	<30	<30	<30	<30	50	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	5:00	33	<30	<30	<30	<30	47	
	6:00	39	34	<30	<30	<30	56	
	7:00	38	35	<30	<30	<30	50	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	56	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.3(1) 道路交通振動の調査結果（令和6年度夏季）

調査期日：令和6年7月9日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	34		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	48	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	L <sub>10</sub> < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
7:00	<30	<30	<30	<30	<30	43		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	50	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.3(2) 道路交通振動の調査結果（令和6年度夏季）

調査期日：令和6年7月9日

単位：dB

調査地点		世富慶集落(TV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	38	33	<30	<30	<30	62	L <sub>10</sub> = 38
	9:00	41	35	<30	<30	<30	52	
	10:00	41	38	<30	<30	<30	52	
	11:00	35	32	<30	<30	<30	53	
	12:00	34	<30	<30	<30	<30	52	
	13:00	36	31	<30	<30	<30	53	
	14:00	39	33	<30	<30	<30	51	
	15:00	39	33	<30	<30	<30	53	
	16:00	37	32	<30	<30	<30	51	
	17:00	31	<30	<30	<30	<30	49	
18:00	31	<30	<30	<30	<30	53		
平均/最大		37	32	<30	<30	<30	62	
夜間	19:00	30	<30	<30	<30	<30	51	L <sub>10</sub> = 32
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	54	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	5:00	30	<30	<30	<30	<30	50	
	6:00	32	30	<30	<30	<30	51	
7:00	34	32	<30	<30	<30	50		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	54	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.3(3) 道路交通振動の調査結果（令和6年度夏季）

調査期日：令和6年7月9日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	41	37	<30	<30	<30	52	L <sub>10</sub> = 41
	9:00	43	39	<30	<30	<30	55	
	10:00	44	41	<30	<30	<30	54	
	11:00	43	38	<30	<30	<30	56	
	12:00	41	36	<30	<30	<30	52	
	13:00	40	36	<30	<30	<30	52	
	14:00	41	38	<30	<30	<30	50	
	15:00	41	37	<30	<30	<30	51	
	16:00	40	36	<30	<30	<30	52	
	17:00	37	34	<30	<30	<30	49	
18:00	34	33	<30	<30	<30	50		
平均/最大		40	37	<30	<30	<30	56	
夜間	19:00	33	31	<30	<30	<30	49	L <sub>10</sub> = 37
	20:00	33	31	<30	<30	<30	52	
	21:00	30	<30	<30	<30	<30	46	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	4:00	30	<30	<30	<30	<30	49	
	5:00	33	<30	<30	<30	<30	55	
	6:00	39	35	<30	<30	<30	52	
	7:00	41	37	<30	<30	<30	50	
平均/最大		30	<30	<30	<30	<30	55	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.4(1) 道路交通振動の調査結果（令和6年度秋季）

調査期日：令和6年10月22日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	33	30	<30	<30	<30	50	L <sub>10</sub> = 32
	9:00	33	<30	<30	<30	<30	48	
	10:00	34	30	<30	<30	<30	50	
	11:00	33	<30	<30	<30	<30	48	
	12:00	32	<30	<30	<30	<30	49	
	13:00	33	<30	<30	<30	<30	49	
	14:00	33	<30	<30	<30	<30	51	
	15:00	34	31	<30	<30	<30	48	
	16:00	35	32	<30	<30	<30	52	
	17:00	33	30	<30	<30	<30	48	
18:00	31	<30	<30	<30	<30	46		
平均/最大		33	<30	<30	<30	<30	52	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	L <sub>10</sub> < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	52	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
7:00	31	<30	<30	<30	<30	51		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	52	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.4(2) 道路交通振動の調査結果（令和6年度秋季）

調査期日：令和6年10月22日

単位：dB

調査地点		世富慶集落(TV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	36	32	<30	<30	<30	48	L <sub>10</sub> = 39
	9:00	36	32	<30	<30	<30	51	
	10:00	41	39	<30	<30	<30	49	
	11:00	35	31	<30	<30	<30	48	
	12:00	41	34	<30	<30	<30	53	
	13:00	38	31	<30	<30	<30	52	
	14:00	35	30	<30	<30	<30	52	
	15:00	42	36	<30	<30	<30	53	
	16:00	40	36	<30	<30	<30	49	
	17:00	32	<30	<30	<30	<30	49	
18:00	31	<30	<30	<30	<30	49		
平均/最大		37	32	<30	<30	<30	53	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	L <sub>10</sub> = 31
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	6:00	34	31	<30	<30	<30	49	
	7:00	34	31	<30	<30	<30	51	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	51	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.4(3) 道路交通振動の調査結果（令和6年度秋季）

調査期日：令和6年10月22日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	41	38	<30	<30	<30	50	L <sub>10</sub> = 40
	9:00	42	38	<30	<30	<30	51	
	10:00	43	40	<30	<30	<30	52	
	11:00	41	37	<30	<30	<30	52	
	12:00	39	35	<30	<30	<30	51	
	13:00	41	37	<30	<30	<30	51	
	14:00	42	39	<30	<30	<30	52	
	15:00	43	40	<30	<30	<30	51	
	16:00	41	37	<30	<30	<30	54	
	17:00	39	35	<30	<30	<30	53	
	18:00	33	31	<30	<30	<30	50	
平均/最大		40	37	<30	<30	<30	54	
夜間	19:00	32	30	<30	<30	<30	50	L <sub>10</sub> = 35
	20:00	31	<30	<30	<30	<30	47	
	21:00	30	<30	<30	<30	<30	49	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	5:00	31	<30	<30	<30	<30	49	
	6:00	37	33	<30	<30	<30	51	
	7:00	39	35	<30	<30	<30	50	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	51	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.5(1) 道路交通振動の調査結果（令和6年度冬季）

調査期日：令和7年1月29日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校(TV-5)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	10:00	30	<30	<30	<30	<30	45	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
	16:00	32	<30	<30	<30	<30	47	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	42		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	47	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	L <sub>10</sub> < 30
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	39	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	45	
	6:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	7:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	47	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）及び夜間の時間区分（測定時間帯の19時から8時までの13時間）における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.5(2) 道路交通振動の調査結果 (令和6年度冬季)

調査期日：令和7年1月29日

単位：dB

調査地点		世富慶集落(TV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	37	33	<30	<30	<30	51	L <sub>10</sub> = 41
	9:00	44	41	<30	<30	<30	51	
	10:00	41	39	<30	<30	<30	52	
	11:00	38	33	<30	<30	<30	51	
	12:00	42	37	<30	<30	<30	51	
	13:00	41	38	<30	<30	<30	51	
	14:00	38	31	<30	<30	<30	51	
	15:00	43	40	<30	<30	<30	51	
	16:00	40	36	<30	<30	<30	51	
	17:00	31	<30	<30	<30	<30	49	
18:00	30	<30	<30	<30	<30	49		
平均/最大		38	35	<30	<30	<30	52	
夜間	19:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	L <sub>10</sub> = 32
	20:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	21:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	51	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	47	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	5:00	<30	<30	<30	<30	<30	49	
	6:00	35	32	<30	<30	<30	49	
	7:00	34	32	<30	<30	<30	50	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	51	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の8時から19時までの11時間)及び夜間の時間区分(測定時間帯の19時から8時までの13時間)における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.1.5(3) 道路交通振動の調査結果 (令和6年度冬季)

調査期日：令和7年1月29日

単位：dB

調査地点		松田集落(TV-11)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	41	37	<30	<30	<30	51	L <sub>10</sub> = 40
	9:00	43	40	<30	<30	<30	54	
	10:00	42	39	<30	<30	<30	52	
	11:00	41	37	<30	<30	<30	53	
	12:00	37	33	<30	<30	<30	49	
	13:00	41	37	<30	<30	<30	52	
	14:00	42	39	<30	<30	<30	51	
	15:00	39	36	<30	<30	<30	51	
	16:00	42	38	<30	<30	<30	54	
	17:00	37	34	<30	<30	<30	52	
	18:00	33	31	<30	<30	<30	49	
平均/最大		40	36	<30	<30	<30	54	
夜間	19:00	32	30	<30	<30	<30	42	L <sub>10</sub> = 36
	20:00	30	<30	<30	<30	<30	51	
	21:00	30	<30	<30	<30	<30	46	
	22:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	23:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	0:00	<30	<30	<30	<30	<30	51	
	1:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	2:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	3:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	4:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	5:00	31	<30	<30	<30	<30	47	
	6:00	39	34	<30	<30	<30	53	
	7:00	40	36	<30	<30	<30	52	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	53	

- 注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。  
 2. 平均は、昼間の時間区分(測定時間帯の8時から19時までの11時間)及び夜間の時間区分(測定時間帯の19時から8時までの13時間)における時間率振動レベルのそれぞれの算術平均値です。  
 3. 最大は、昼間及び夜間の時間区分におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

### 2.3.2 建設作業振動

国立沖縄工業高等専門学校(EV-10)、辺野古集落(EV-13)における令和6年度春季から冬季の建設作業振動の調査結果は表-2.3.2.1～表-2.3.2.4に示すとおりです。

国立沖縄工業高等専門学校(EV-10)、辺野古集落(EV-13)の80%レンジ上端値( $L_{10}$ )は全ての季節で30dB未満でした。

環境監視基準(75dB以下)と比較すると、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-2.3.2.1(1) 建設作業振動の調査結果（令和6年度春季）

調査期日：令和6年4月5日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	52	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	53	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	56	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	56	

注) 1. 30dB未滿は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.2.1(2) 建設作業振動の調査結果（令和6年度春季）

調査期日：令和6年4月5日

単位：dB

調査地点		辺野古集落 (EV-13)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	13:00	30	<30	<30	<30	<30	58	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	<30	

注) 1. 30dB未滿は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.2.2(1) 建設作業振動の調査結果（令和6年度夏季）

調査期日：令和6年7月17日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	44	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	38		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	50	

注) 1. 30dB 未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.2.2(2) 建設作業振動の調査結果（令和6年度夏季）

調査期日：令和6年7月17日

単位：dB

調査地点		辺野古集落 (EV-13)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	34	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	38	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	30		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	<30	

注) 1. 30dB 未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.2.3(1) 建設作業振動の調査結果（令和6年度秋季）

調査期日：令和6年11月1日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	42	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	36	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	31		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	42	

注) 1. 30dB 未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.2.3(2) 建設作業振動の調査結果（令和6年度秋季）

調査期日：令和6年11月1日

単位：dB

調査地点		辺野古集落 (EV-13)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	46	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	35	
18:00	<30	<30	<30	<30	<30	35		
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	<30	

注) 1. 30dB 未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.2.4(1) 建設作業振動の調査結果（令和6年度冬季）

調査期日：令和7年2月5日

単位：dB

調査地点		国立沖縄工業高等専門学校 (EV-10)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	33	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	40	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	<30	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	40	

注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

表-2.3.2.4(2) 建設作業振動の調査結果（令和6年度冬季）

調査期日：令和7年2月5日

単位：dB

調査地点		辺野古集落 (EV-13)						
時間区分	測定時間帯	時間率振動レベル					L <sub>max</sub>	時間区分の最大値
		L <sub>5</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>	L <sub>90</sub>	L <sub>95</sub>		
昼間	8:00	<30	<30	<30	<30	<30	32	L <sub>10</sub> < 30
	9:00	<30	<30	<30	<30	<30	30	
	10:00	<30	<30	<30	<30	<30	55	
	11:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	12:00	<30	<30	<30	<30	<30	48	
	13:00	<30	<30	<30	<30	<30	31	
	14:00	<30	<30	<30	<30	<30	37	
	15:00	<30	<30	<30	<30	<30	41	
	16:00	<30	<30	<30	<30	<30	58	
	17:00	<30	<30	<30	<30	<30	50	
	18:00	<30	<30	<30	<30	<30	43	
平均/最大		<30	<30	<30	<30	<30	<30	

注) 1. 30dB未満は「<30」と表示しています。

2. 平均は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における時間率振動レベルの算術平均値です。最大は、各測定時間帯におけるL<sub>max</sub>の最大値です。

## 2.4 低周波音

### 2.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音

#### (1) 低周波音の状況

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、辺野古集落(LF-13)における令和6年度春季から冬季の建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果は表-2.4.1.1及び図-2.4.1.1～図-2.4.1.4に示すとおりです。

1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは 26.8～67.3dB の範囲で推移しており、辺野古集落(LF-13)の低周波数域の音圧レベルが高くなる傾向がみられました。

環境監視基準と比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-2.4.1.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果一覧

調査期日 R6年度春季：令和6年4月5日 R6年度夏季：令和6年7月17日  
R6年度秋季：令和6年11月1日 R6年度冬季：令和7年2月5日

単位：dB

地点名	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル																			
		1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz	10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz
LF-10	R6年度春季	39.1	38.7	38.6	39.3	39.4	39.0	39.3	39.6	42.3	42.8	43.9	44.4	46.0	47.5	51.3	51.9	50.5	50.8	50.7	49.1
	R6年度夏季	50.9	26.8	28.4	29.8	30.9	32.7	34.8	35.9	36.1	37.9	41.5	42.6	49.6	51.3	49.4	51.6	51.4	50.9	51.0	50.1
	R6年度秋季	51.8	50.1	48.5	47.5	46.9	47.1	47.1	46.7	46.0	45.8	46.0	46.8	46.8	52.3	51.2	52.7	53.8	53.2	55.2	53.3
	R6年度冬季	48.6	46.0	44.6	45.0	44.9	44.7	45.7	45.9	43.7	43.3	43.5	45.3	46.0	49.1	50.6	50.4	49.9	50.6	48.7	46.4
LF-13	R6年度春季	67.3	66.4	63.3	60.3	56.8	54.9	52.6	49.5	47.0	46.9	46.1	46.3	47.6	50.0	60.1	63.8	64.1	64.2	58.7	54.3
	R6年度夏季	38.3	37.3	36.6	36.2	36.2	36.0	35.5	36.3	37.4	38.3	42.6	43.7	48.1	52.3	55.1	65.3	59.0	57.8	62.2	62.2
	R6年度秋季	58.4	56.9	54.9	53.5	52.8	52.9	51.5	50.5	50.2	48.6	47.3	47.3	47.2	49.2	51.6	60.1	55.1	54.6	55.4	55.5
	R6年度冬季	61.3	57.8	54.8	51.9	49.9	48.8	47.7	46.7	45.8	43.9	43.8	45.9	47.1	51.1	54.5	64.1	56.5	57.0	56.6	52.5
環境監視基準	心理的	-	-	-	-	-	-	-	115	111	108	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84
	物的	-	-	-	-	-	-	-	70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99	-	-

- 注) 1. 周波数別の音圧レベルは、1時間毎の測定値のエネルギー平均値です。  
2. 地点名のLF-10は国立沖縄工業高等専門学校、LF-13は辺野古集落を示します。  
3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、生理的、物的影響に係る閾値としています。

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10) 令和6年度春季

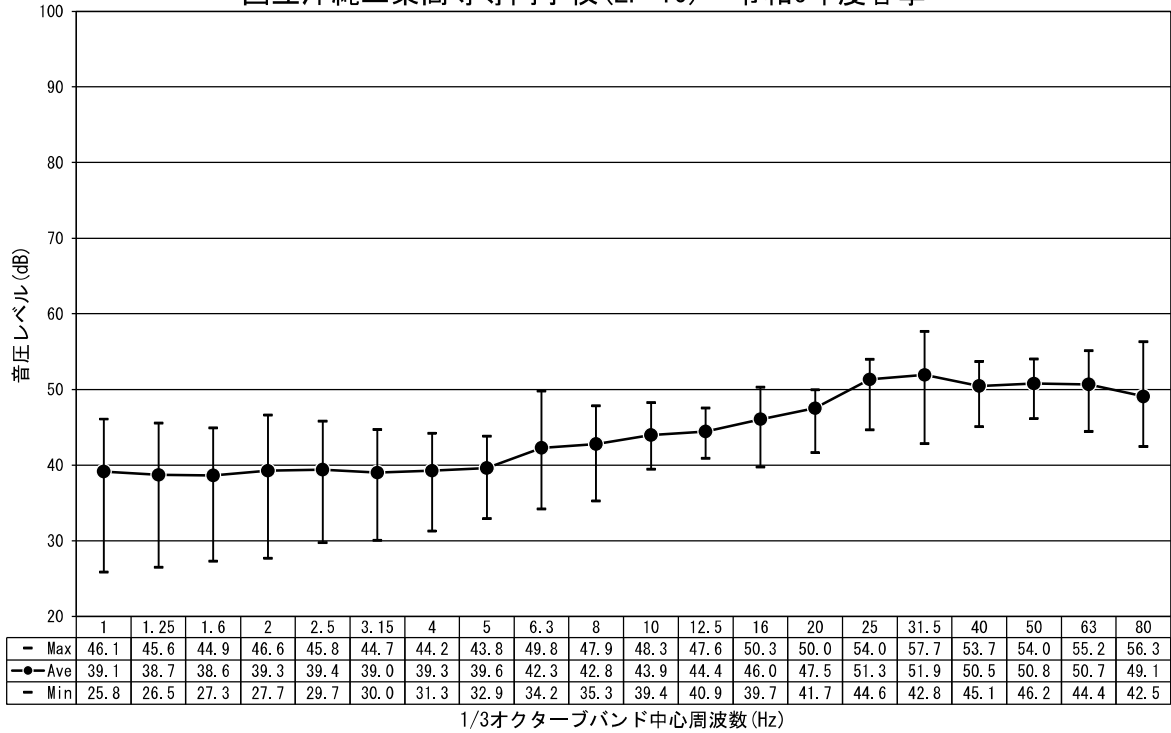


図-2.4.1.1(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度春季)

辺野古集落(LF-13) 令和6年度春季

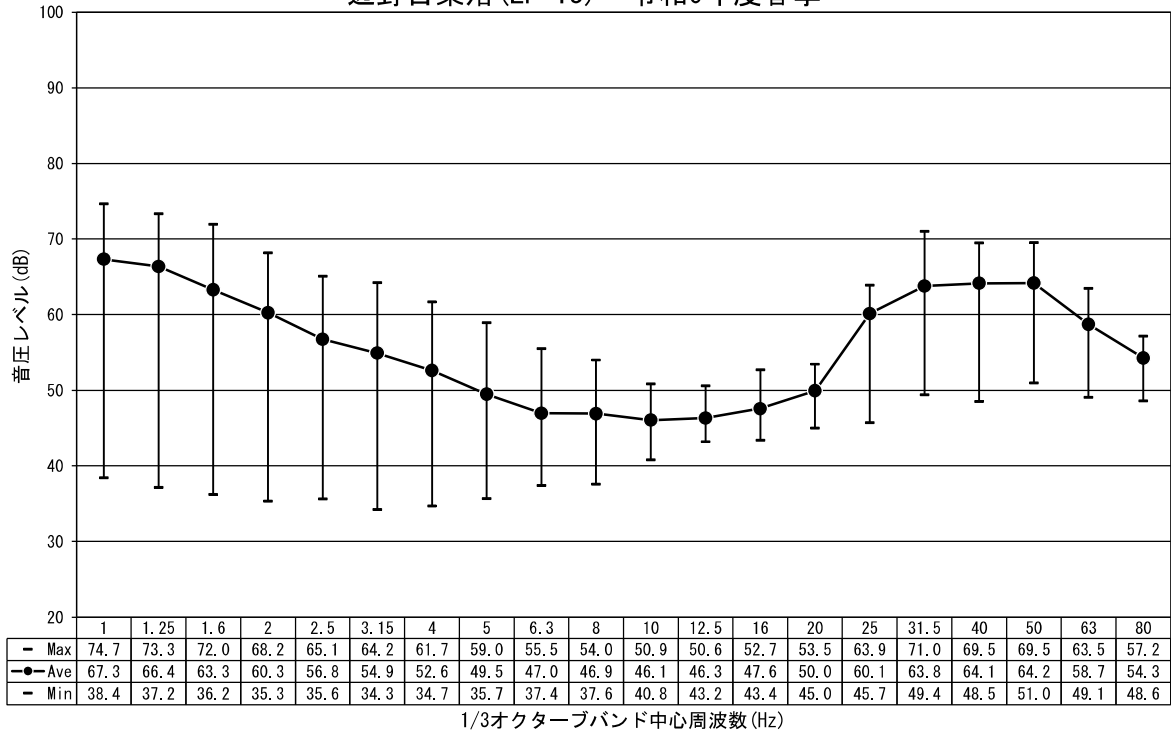


図-2.4.1.1(2) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度春季)

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10) 令和6年度夏季

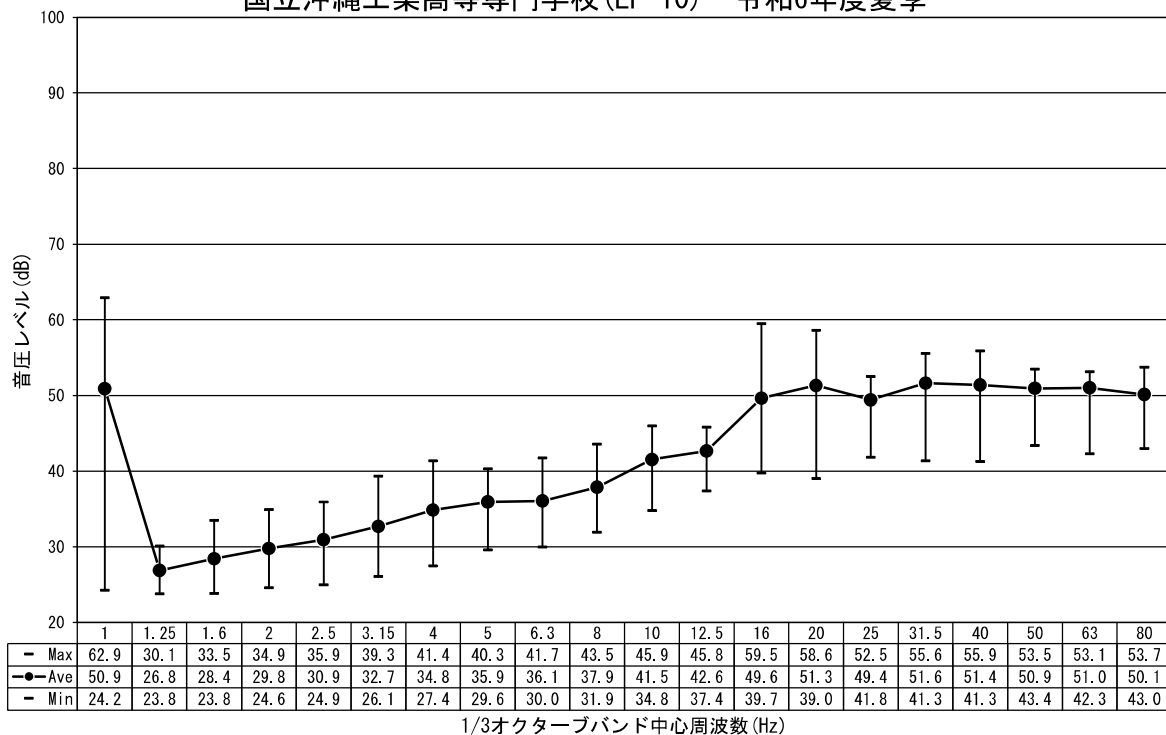


図-2.4.1.2(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度夏季)

辺野古集落(LF-13) 令和6年度夏季

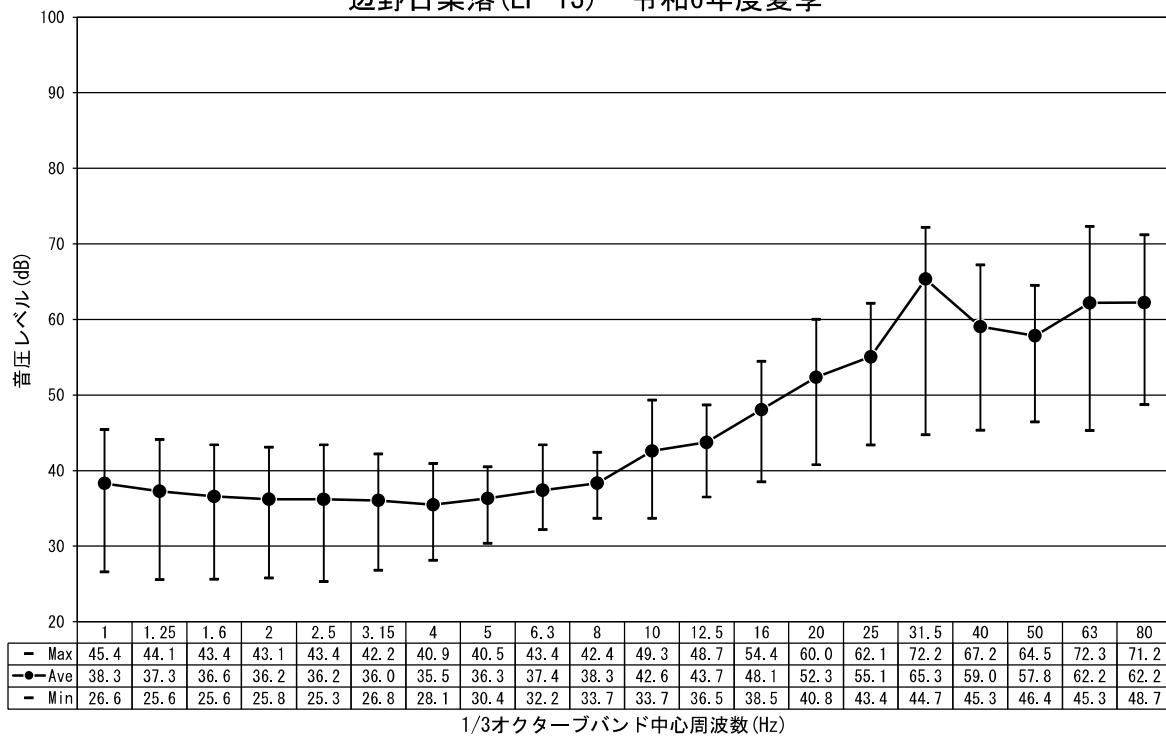


図-2.4.1.2(2) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度夏季)

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10) 令和6年度秋季

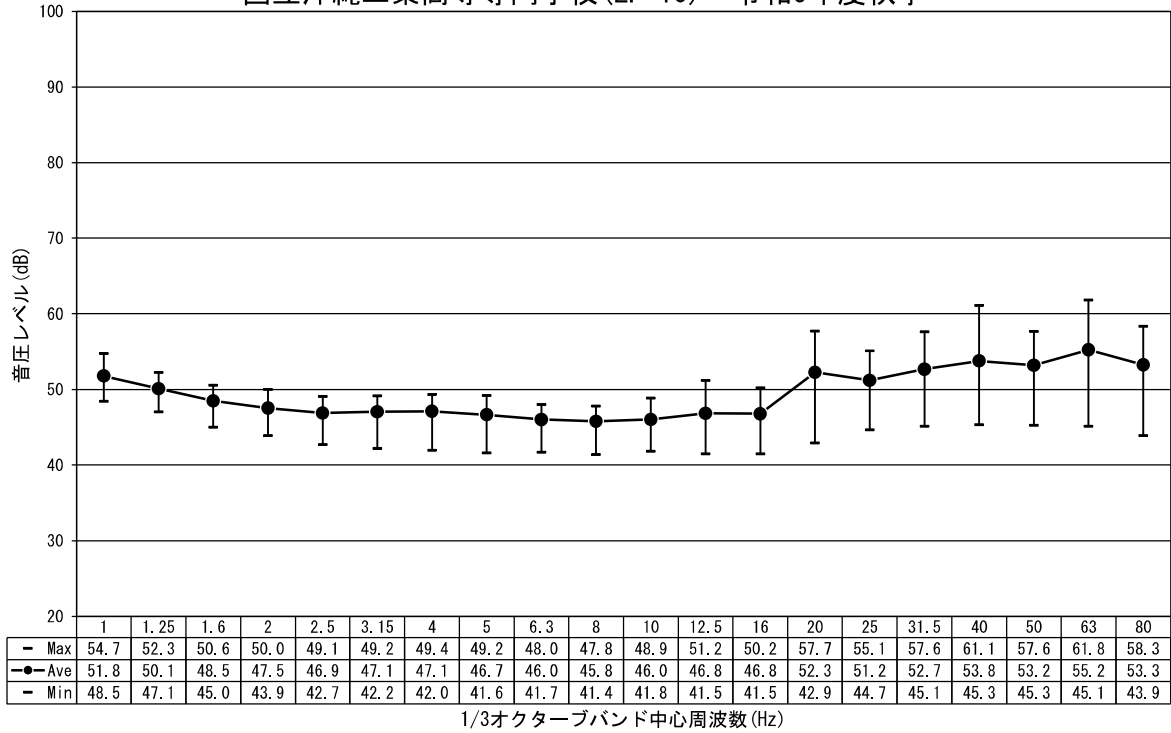


図-2.4.1.3(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度秋季)

辺野古集落(LF-13) 令和6年度秋季

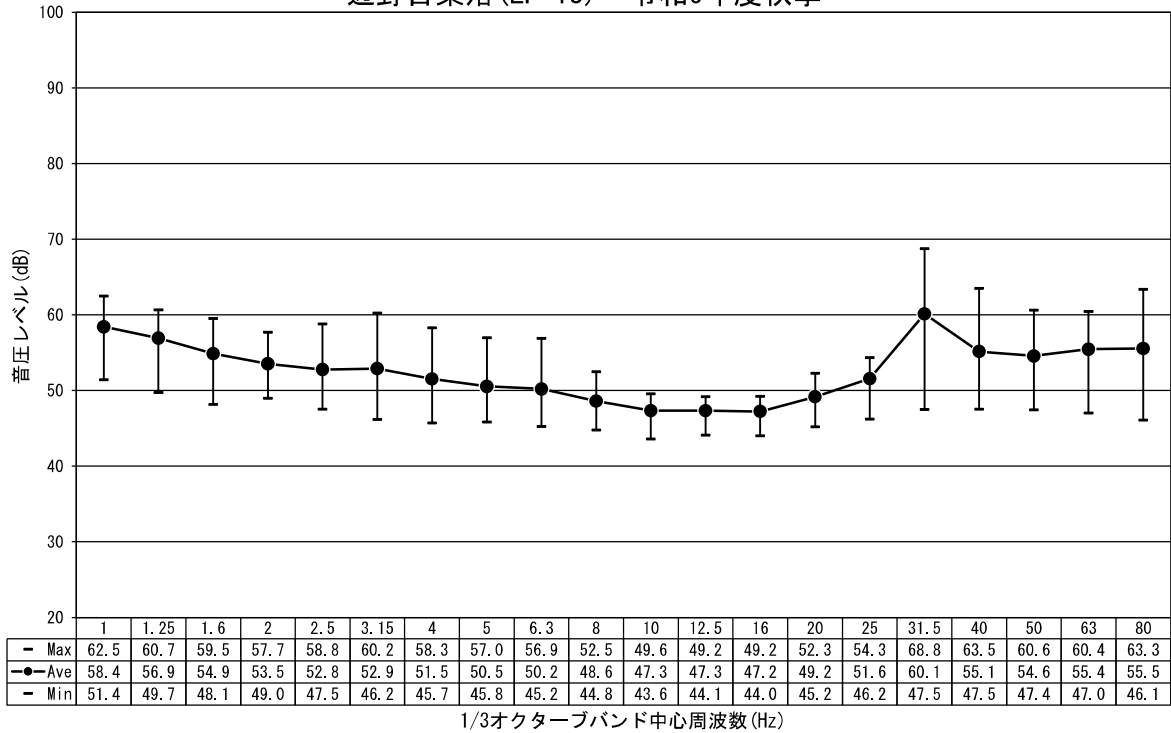


図-2.4.1.3(2) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度秋季)

国立沖縄工業高等専門学校(LF-10) 令和6年度冬季

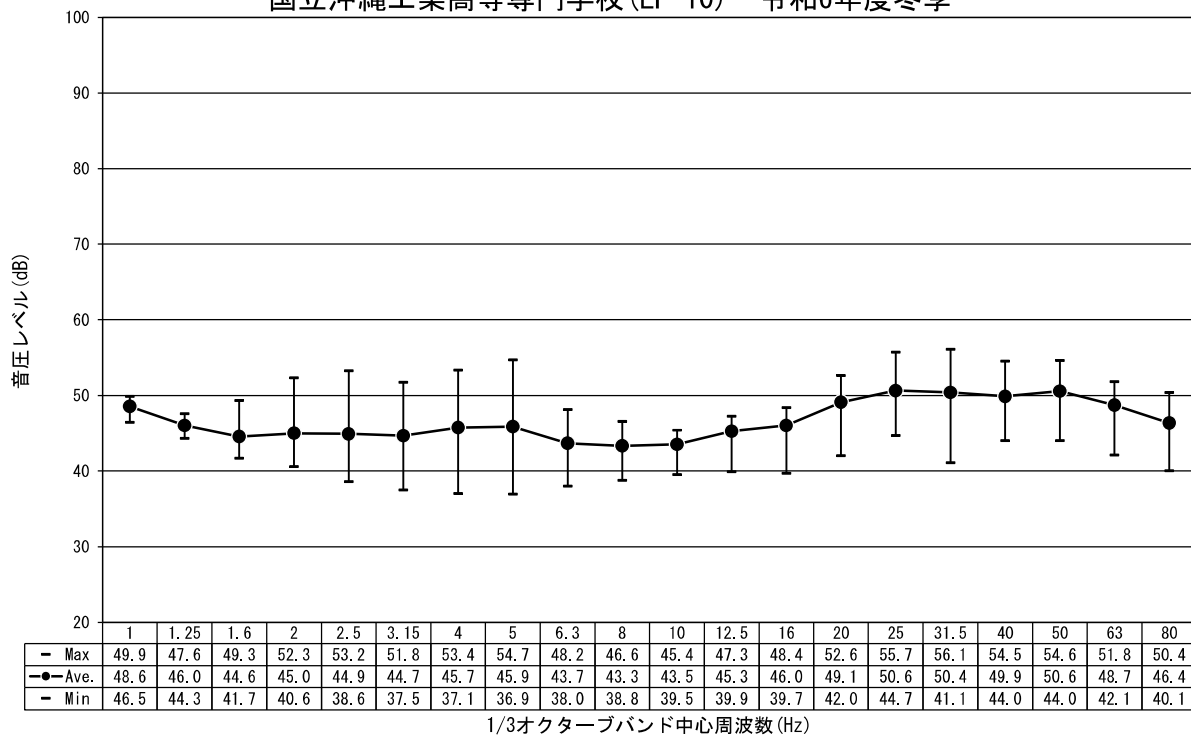


図-2.4.1.4(1) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度冬季)

辺野古集落(LF-13) 令和6年度冬季

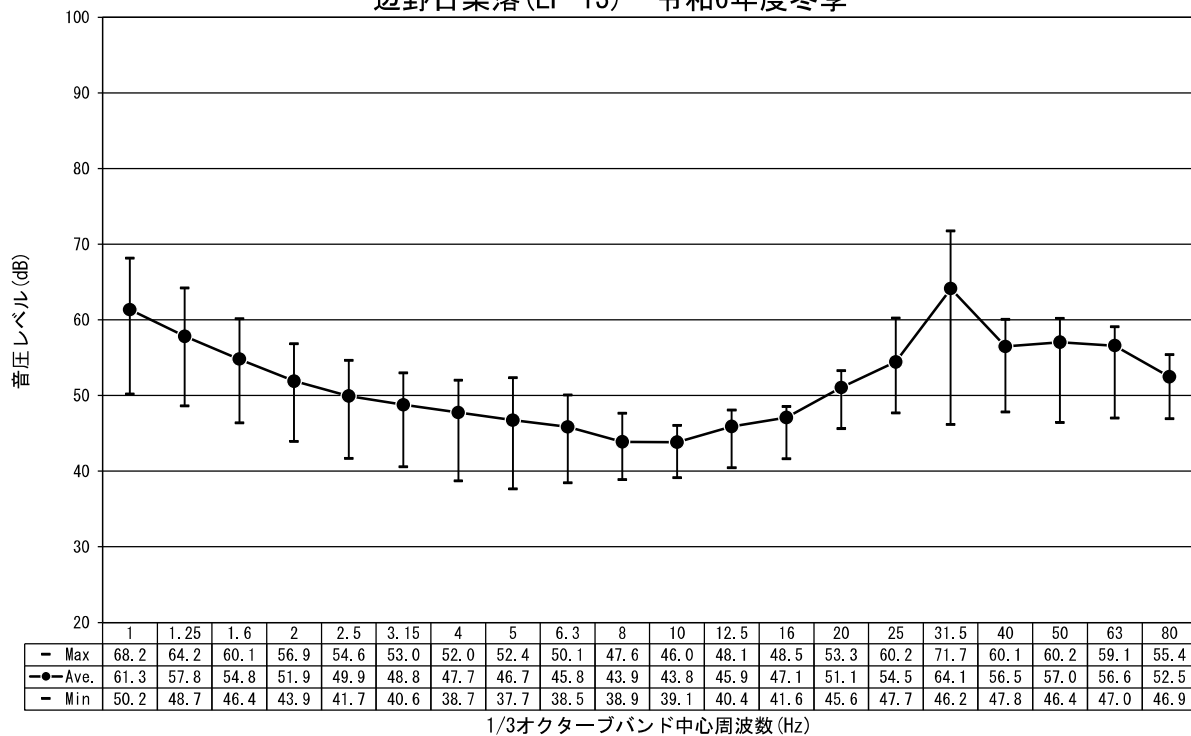


図-2.4.1.4(2) 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度冬季)

## (2) 風向・風速の状況

低周波音調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)、辺野古集落(LF-13)における令和6年度春季から冬季の風向別平均風速、風向別出現頻度は表-2.4.1.2 及び図-2.4.1.5～図-2.4.1.8 に示すとおりです。

令和6年度春季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で西南西寄り、辺野古集落(LF-13)で南南西寄りの風が卓越していました。平均風速は0.5～1.2m/sとなっており、いずれの地点においても、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

令和6年度夏季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で東南東寄り、辺野古集落(LF-13)で南西寄りの風が卓越していました。平均風速は0.5～0.9m/sとなっており、いずれの地点においても、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

令和6年度秋季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で南寄り、辺野古集落(LF-13)で南南東寄りの風が卓越していました。平均風速は0.9～1.6m/sとなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

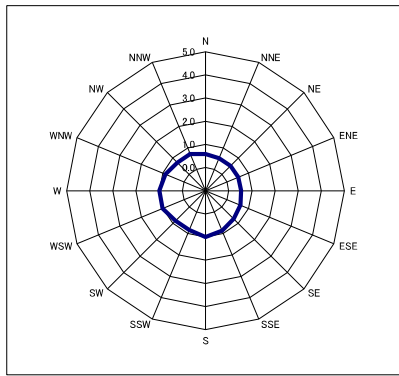
令和6年度冬季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)で北東寄り、辺野古集落(LF-13)で西北西寄りの風が卓越していました。平均風速は0.4～1.4m/sとなっており、国立沖縄工業高等専門学校(LF-10)では、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっており、辺野古集落(LF-13)の方が風速は速くなっていました。

表-2.4.1.2 風向・風速の調査結果一覧

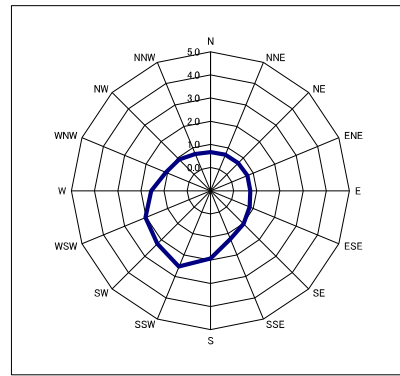
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	LF-10	LF-13
R6年度春季	最多風向	WSW	SSW
	平均風速	0.5	1.2
R6年度夏季	最多風向	ESE	SW
	平均風速	0.5	0.9
R6年度秋季	最多風向	S	SSE
	平均風速	0.9	1.6
R6年度冬季	最多風向	NE	WNW
	平均風速	0.4	1.4

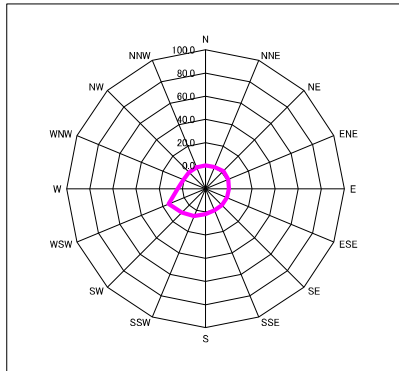
注) 地点名のLF-10は国立沖縄工業高等専門学校、LF-13は辺野古集落を示します。



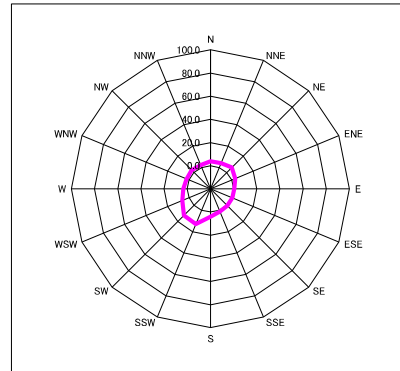
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.5
NE	0.5
ENE	0.5
E	0.5
ESE	0.6
SE	0.7
SSE	0.9
S	1.0
SSW	0.8
SW	0.8
WSW	1.0
W	1.0
WNW	0.9
NW	0.7
NNW	0.7



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.7
NE	0.7
ENE	0.7
E	0.7
ESE	0.8
SE	1.0
SSE	1.3
S	1.9
SSW	2.6
SW	2.2
WSW	2.0
W	1.6
WNW	1.1
NW	0.9
NNW	0.7



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.2
NNE	0.6
NE	1.7
ENE	1.3
E	0.3
ESE	0.1
SE	0.1
SSE	0.3
S	1.9
SSW	5.7
SW	9.0
WSW	14.5
W	4.1
WNW	0.5
NW	0.1
NNW	0.1
calm	59.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	4.0
NNE	4.2
NE	6.2
ENE	3.3
E	0.8
ESE	0.6
SE	0.8
SSE	1.1
S	4.2
SSW	13.2
SW	12.5
WSW	6.4
W	3.4
WNW	2.3
NW	2.9
NNW	2.4
calm	32.1

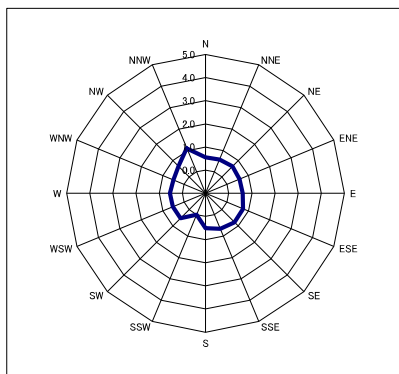
観測期間：令和6年4月5日 6:00-22:00

国立沖繩工業高等専門学校 (LF-10)

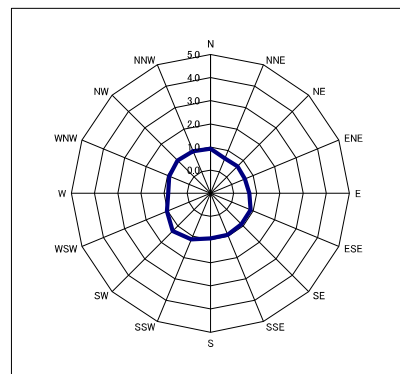
観測期間：令和6年4月5日 6:00-22:00

辺野古集落 (LF-13)

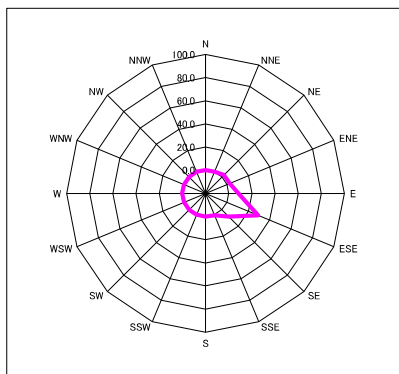
図-2.4.1.5 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度春季)



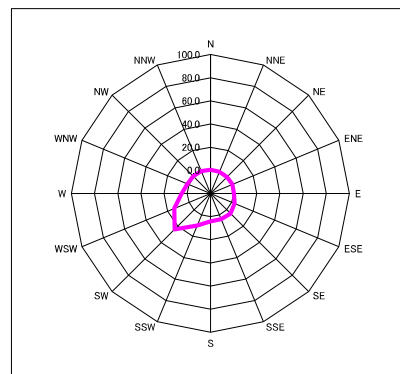
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.6
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	0.7
S	0.5
SSW	0.0
SW	0.5
WSW	0.5
W	0.5
WNW	0.5
NW	0.7
NNW	1.1



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	0.6
NE	0.7
ENE	0.6
E	0.7
ESE	0.9
SE	0.9
SSE	0.9
S	1.0
SSW	1.2
SW	1.3
WSW	1.0
W	0.8
WNW	0.9
NW	1.0
NNW	1.0



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.2
NNE	0.4
NE	2.2
ENE	2.7
E	8.3
ESE	29.2
SE	8.4
SSE	0.4
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.1
WSW	0.1
W	0.1
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.2
calm	47.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.5
NNE	0.2
NE	0.2
ENE	0.5
E	0.5
ESE	2.7
SE	4.7
SSE	4.1
S	4.2
SSW	9.9
SW	23.8
WSW	13.6
W	4.8
WNW	1.4
NW	1.1
NNW	0.8
calm	26.8

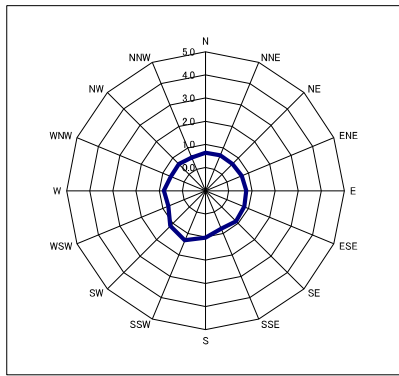
観測期間：令和6年7月17日 6:00-22:00

国立沖繩工業高等専門学校 (LF-10)

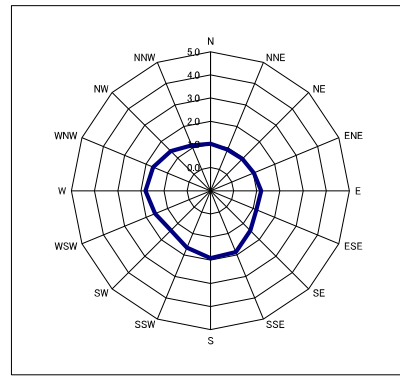
観測期間：令和6年7月17日 6:00-22:00

辺野古集落 (LF-13)

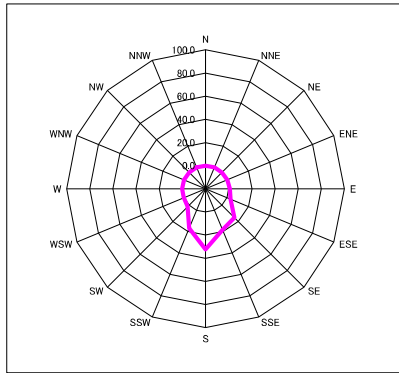
図-2.4.1.6 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度夏季)



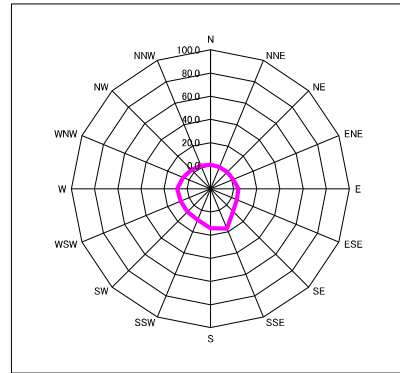
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.7
NE	0.6
ENE	0.7
E	0.8
ESE	0.8
SE	0.9
SSE	0.8
S	1.0
SSW	1.3
SW	1.2
WSW	0.7
W	0.8
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	0.9
NE	0.9
ENE	1.0
E	1.2
ESE	1.1
SE	1.4
SSE	1.9
S	1.9
SSW	1.7
SW	1.4
WSW	1.6
W	1.8
WNW	1.7
NW	1.4
NNW	1.1



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.0
NNE	0.0
NE	0.1
ENE	0.3
E	1.2
ESE	3.4
SE	15.2
SSE	18.5
S	32.4
SSW	17.0
SW	1.7
WSW	0.2
W	0.1
WNW	0.0
NW	0.0
NNW	0.0
calm	9.8



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.8
NNE	0.4
NE	0.5
ENE	1.5
E	4.4
ESE	4.9
SE	7.6
SSE	17.3
S	14.1
SSW	9.0
SW	8.0
WSW	7.8
W	8.7
WNW	5.5
NW	3.3
NNW	1.5
calm	4.5

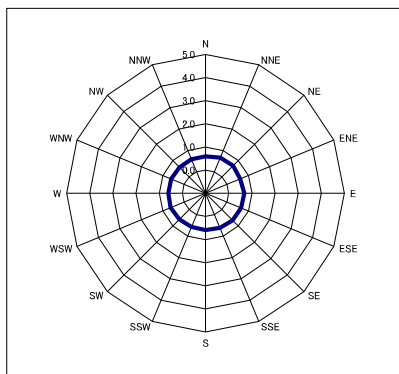
観測期間：令和6年11月1日 6:00-22:00

国立沖繩工業高等専門学校 (LF-10)

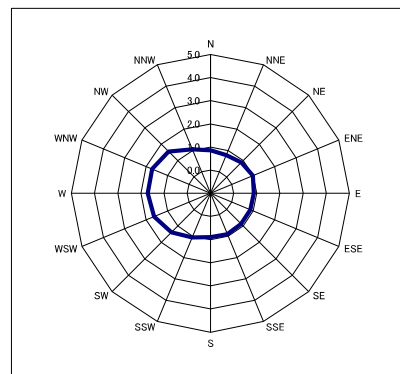
観測期間：令和6年11月1日 6:00-22:00

辺野古集落 (LF-13)

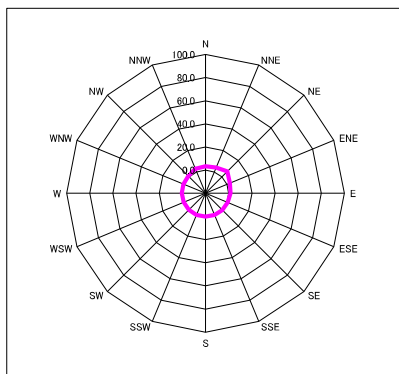
図-2.4.1.7 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度秋季)



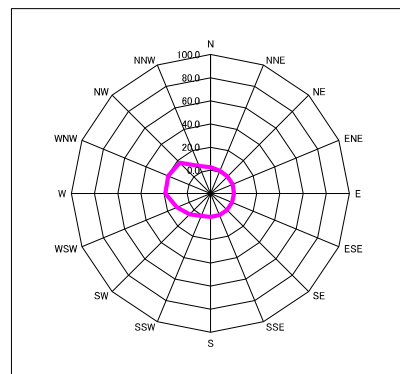
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.7
NE	0.7
ENE	0.6
E	0.7
ESE	0.7
SE	0.7
SSE	0.6
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.6



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	0.8
NE	0.9
ENE	1.0
E	0.9
ESE	0.9
SE	0.9
SSE	0.9
S	0.9
SSW	1.1
SW	1.4
WSW	1.6
W	1.7
WNW	1.7
NW	1.6
NNW	1.1



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	3.2
NNE	4.1
NE	6.6
ENE	2.8
E	1.6
ESE	0.9
SE	0.3
SSE	0.2
S	0.1
SSW	0.1
SW	0.2
WSW	0.2
W	0.3
WNW	0.6
NW	1.0
NNW	2.7
calm	75.0



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	2.7
NNE	1.1
NE	0.9
ENE	0.9
E	0.4
ESE	0.5
SE	0.5
SSE	0.3
S	0.4
SSW	1.2
SW	5.5
WSW	11.4
W	18.9
WNW	19.3
NW	17.5
NNW	5.6
calm	12.9

観測期間：令和7年2月5日 6:00-22:00

国立沖繩工業高等専門学校 (LF-10)

観測期間：令和7年2月5日 6:00-22:00

辺野古集落 (LF-13)

図-2.4.1.8 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度冬季)

## 2.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音

### (1) 低周波音の状況

国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和6年度春季から冬季の資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果一覧は表-2.4.2.1に、調査結果は図-2.4.2.1～図-2.4.2.4に示すとおりです。

1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは 39.3～70.0dB の範囲で推移し、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)の低周波数域の音圧レベルが高くなる傾向がみられました。

環境監視基準と比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-2.4.2.1 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果一覧

調査期日 R6年度春季：令和6年4月16日 R6年度夏季：令和6年7月9日  
R6年度秋季：令和6年10月22日 R6年度冬季：令和7年1月29日

単位：dB

地点名	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル																			
		1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz	10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz
TN-5	R6年度春季	56.7	54.7	51.4	46.8	42.2	39.8	39.3	40.5	41.5	44.2	47.7	51.1	52.6	54.4	56.0	58.3	60.1	62.7	62.6	59.4
	R6年度夏季	65.5	62.5	58.0	52.4	46.5	43.1	42.2	42.5	42.4	44.5	47.7	51.0	51.9	54.8	55.3	57.5	59.2	62.6	63.1	61.0
	R6年度秋季	67.2	63.5	58.6	52.7	47.2	44.1	43.5	43.5	43.8	44.9	48.6	50.9	52.2	58.1	56.2	57.9	60.4	61.4	61.0	59.8
	R6年度冬季	70.0	66.1	60.7	54.1	48.0	45.2	43.7	43.4	43.7	45.4	48.3	51.5	53.1	55.8	58.6	59.1	60.5	62.2	61.8	59.4
TN-10	R6年度春季	65.9	61.9	56.7	51.0	46.8	45.3	45.5	46.1	47.9	49.2	50.2	53.6	54.8	55.4	60.1	59.4	60.6	59.8	61.5	61.7
	R6年度夏季	55.4	52.9	49.0	45.1	42.8	42.6	43.5	44.1	45.8	47.6	49.5	52.8	54.1	55.3	65.0	61.8	61.5	62.0	61.9	61.1
	R6年度秋季	63.0	59.4	54.9	51.1	48.1	46.8	47.0	46.7	48.2	49.9	51.5	53.9	55.9	56.1	60.2	60.3	63.1	62.6	64.5	62.2
	R6年度冬季	67.7	64.8	61.9	59.6	57.2	55.2	53.9	52.3	51.6	52.1	52.5	55.7	56.8	59.0	62.3	63.4	64.5	63.5	64.7	62.6
TN-11	R6年度春季	58.0	52.6	47.7	45.2	43.6	42.4	41.8	41.8	42.3	44.0	46.7	51.2	52.7	56.8	58.1	59.3	63.1	65.4	67.7	64.2
	R6年度夏季	62.4	59.1	55.9	53.4	51.4	49.5	47.3	45.7	44.4	44.1	46.2	50.6	53.3	57.5	57.4	60.0	62.4	65.7	67.7	64.9
	R6年度秋季	63.3	59.5	56.6	53.9	51.5	49.4	48.2	47.7	47.5	46.7	46.5	50.8	56.2	57.7	57.9	60.4	62.9	64.4	66.8	66.4
	R6年度冬季	59.8	55.0	51.2	48.6	46.5	45.6	44.3	43.9	43.6	43.6	45.1	51.1	57.7	57.3	58.4	59.6	62.6	65.5	67.2	64.2
環境監視基準	心理的	-	-	-	-	-	-	-	115	111	108	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84
	物的	-	-	-	-	-	-	-	70	71	72	73	75	77	80	83	87	93	99	-	-

- 注) 1. 周波数別の音圧レベルは、1時間毎の測定値のエネルギー平均値です。  
2. 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。  
3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、生理的、物的影響に係る閾値としています。

国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5) 令和6年度春季

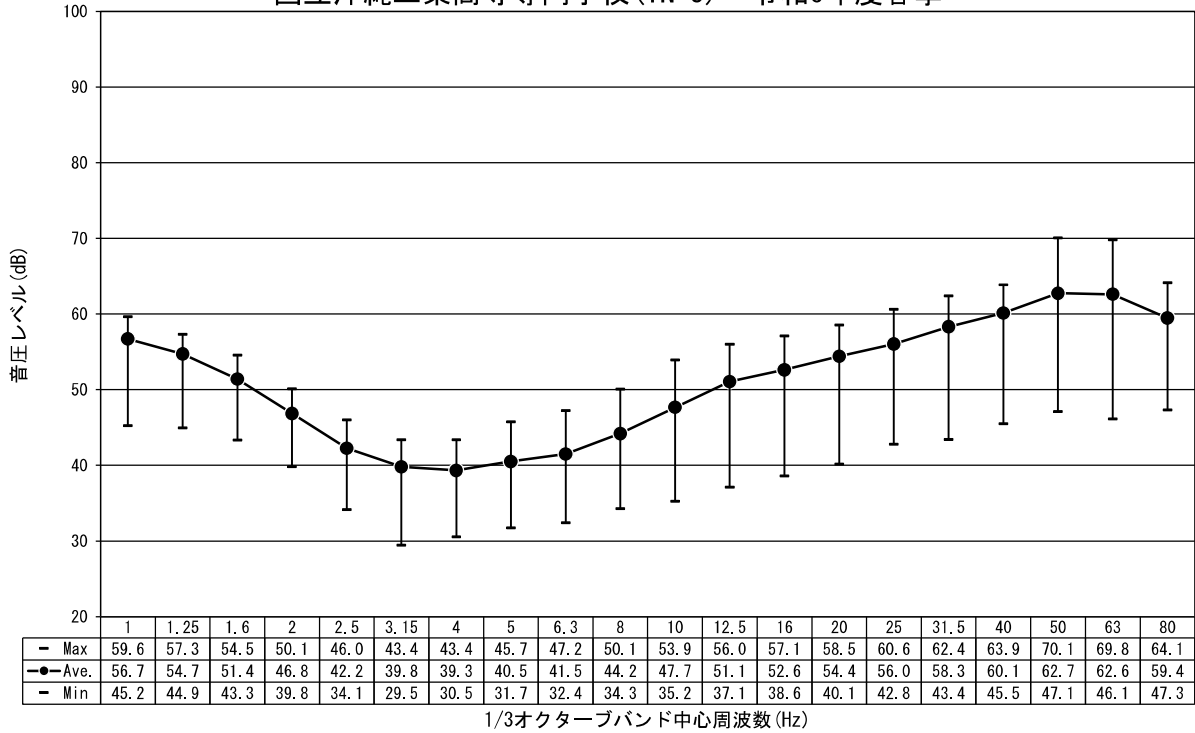


図-2.4.2.1(1) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度春季)

世富慶集落 (TN-10) 令和6年度春季

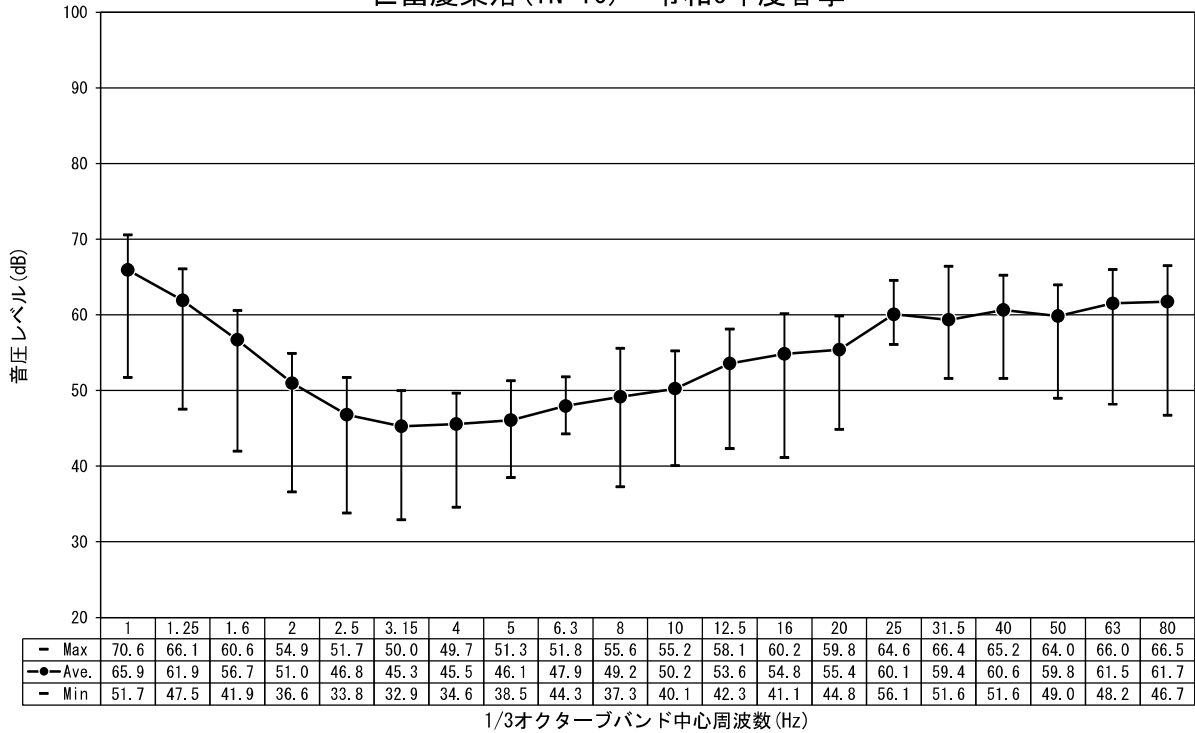


図-2.4.2.1(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度春季)

松田集落 (TN-11) 令和6年度春季

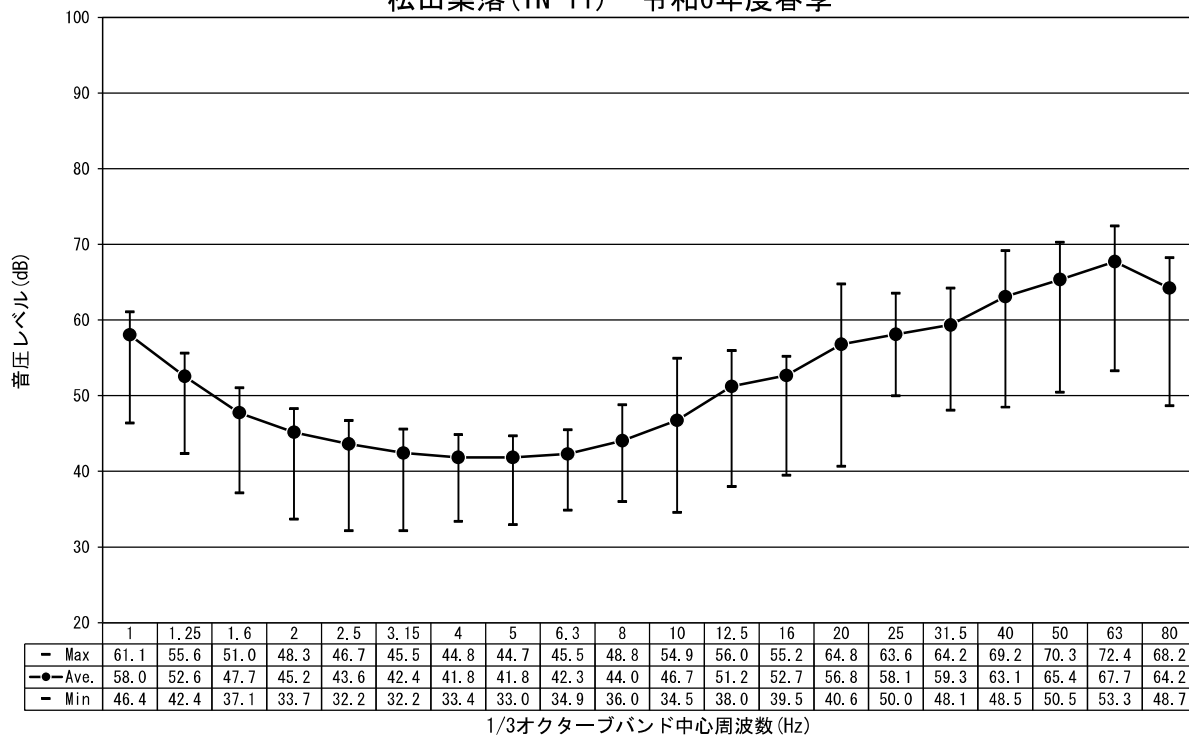


図-2.4.2.1(3) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度春季)

国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5) 令和6年度夏季

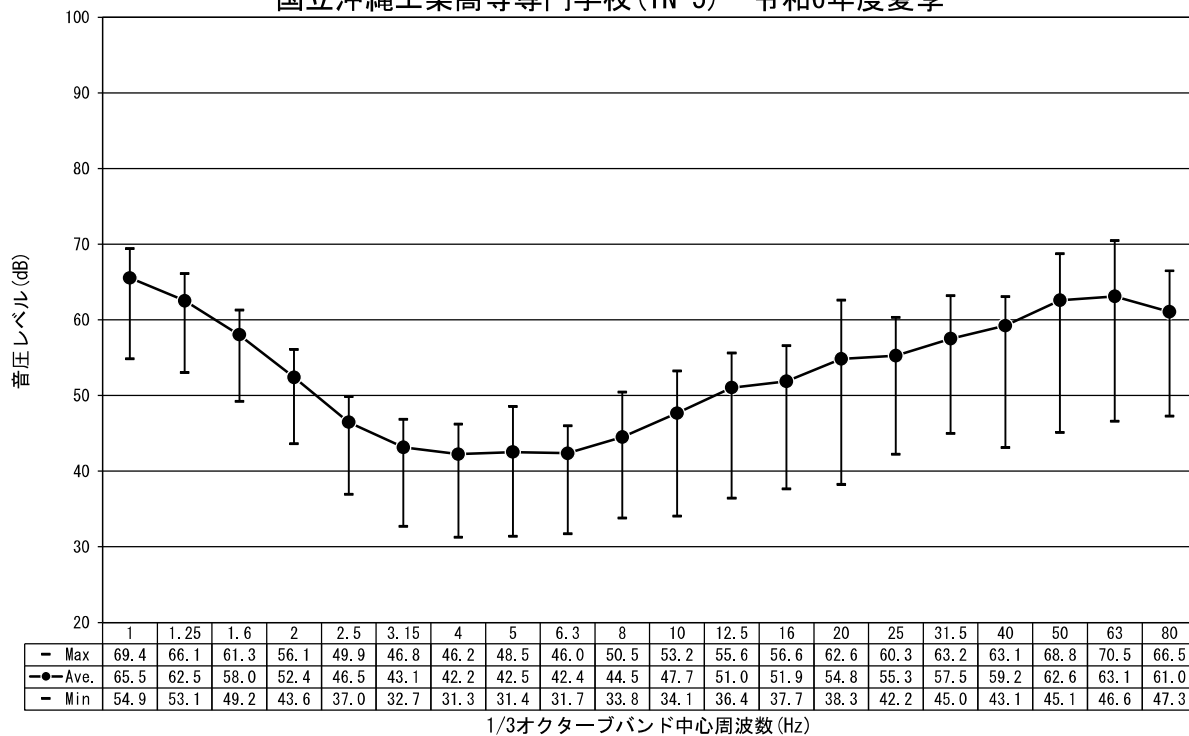


図-2.4.2.2(1) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度夏季)

世富慶集落 (TN-10) 令和6年度夏季

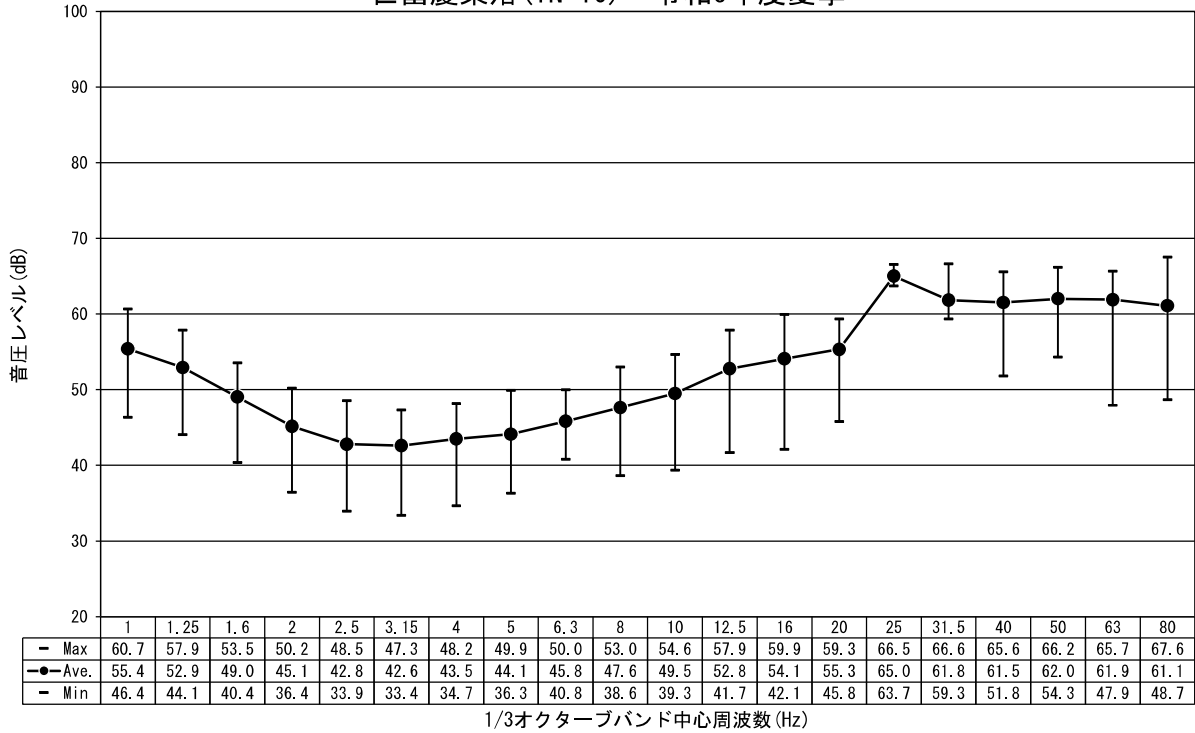


図-2.4.2.2(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度夏季)

松田集落 (TN-11) 令和6年度夏季

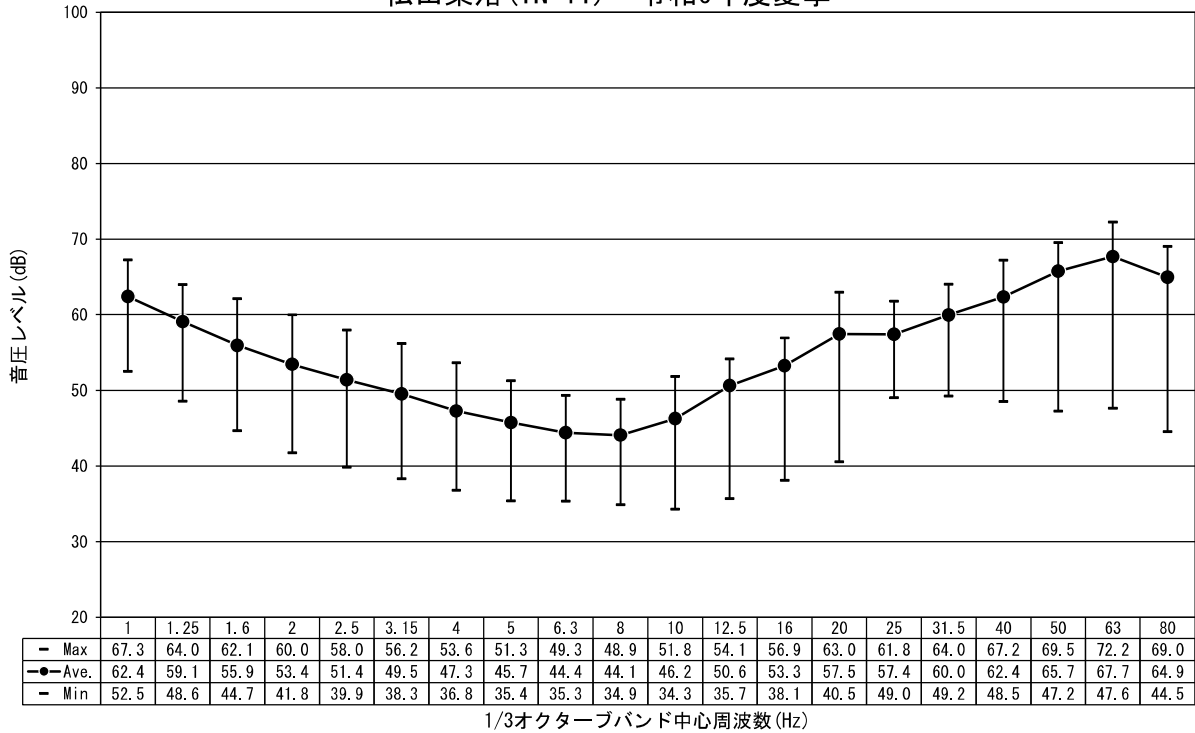


図-2.4.2.2(3) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度夏季)

国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5) 令和6年度秋季

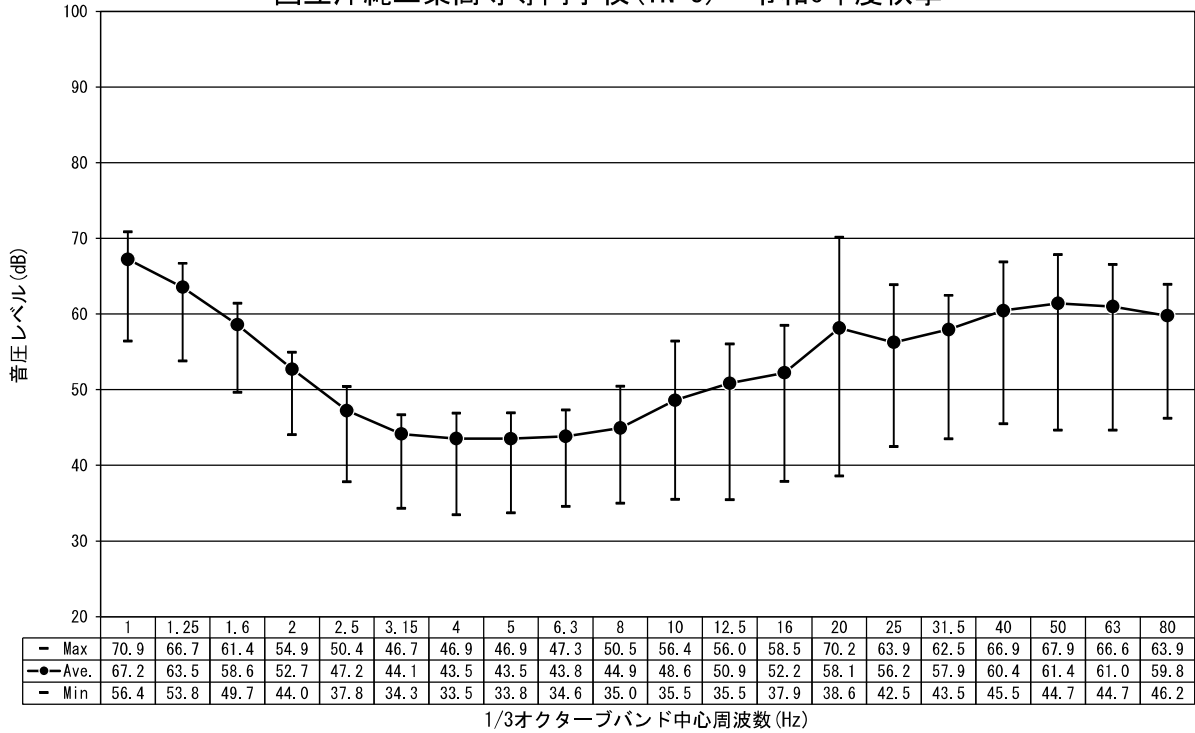


図-2.4.2.3(1) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度秋季)

世富慶集落 (TN-10) 令和6年度秋季

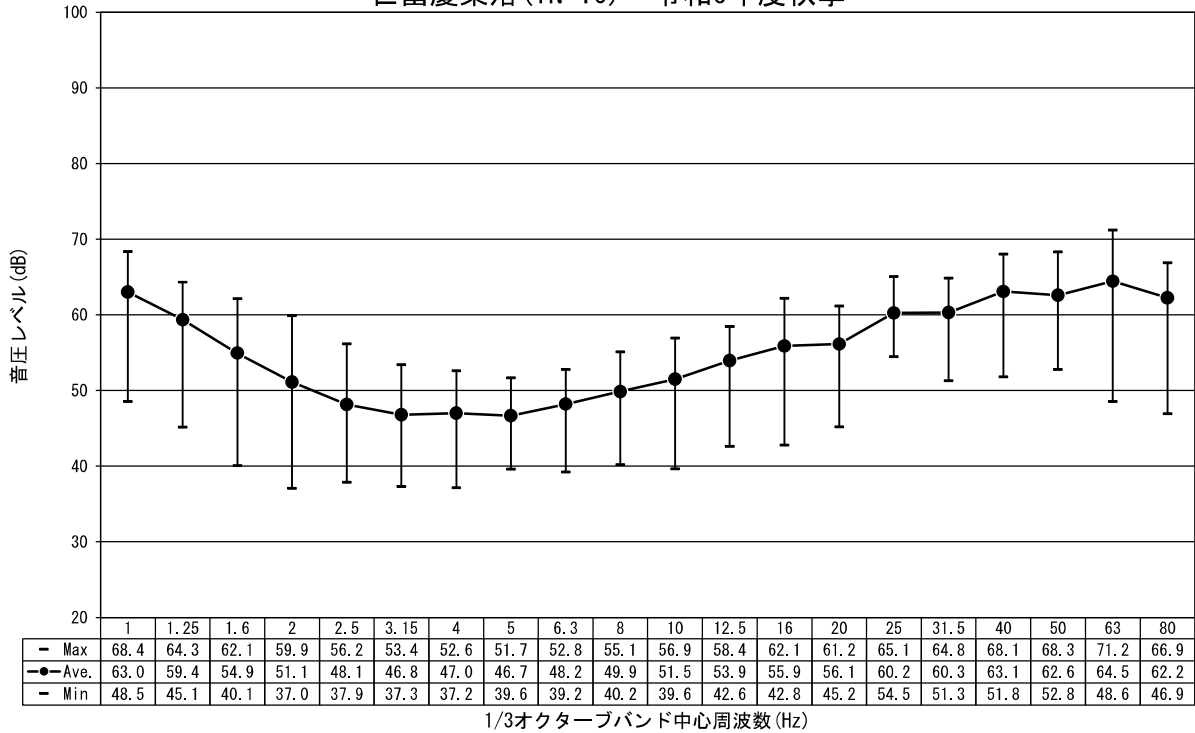


図-2.4.2.3(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度秋季)

松田集落 (TN-11) 令和6年度秋季

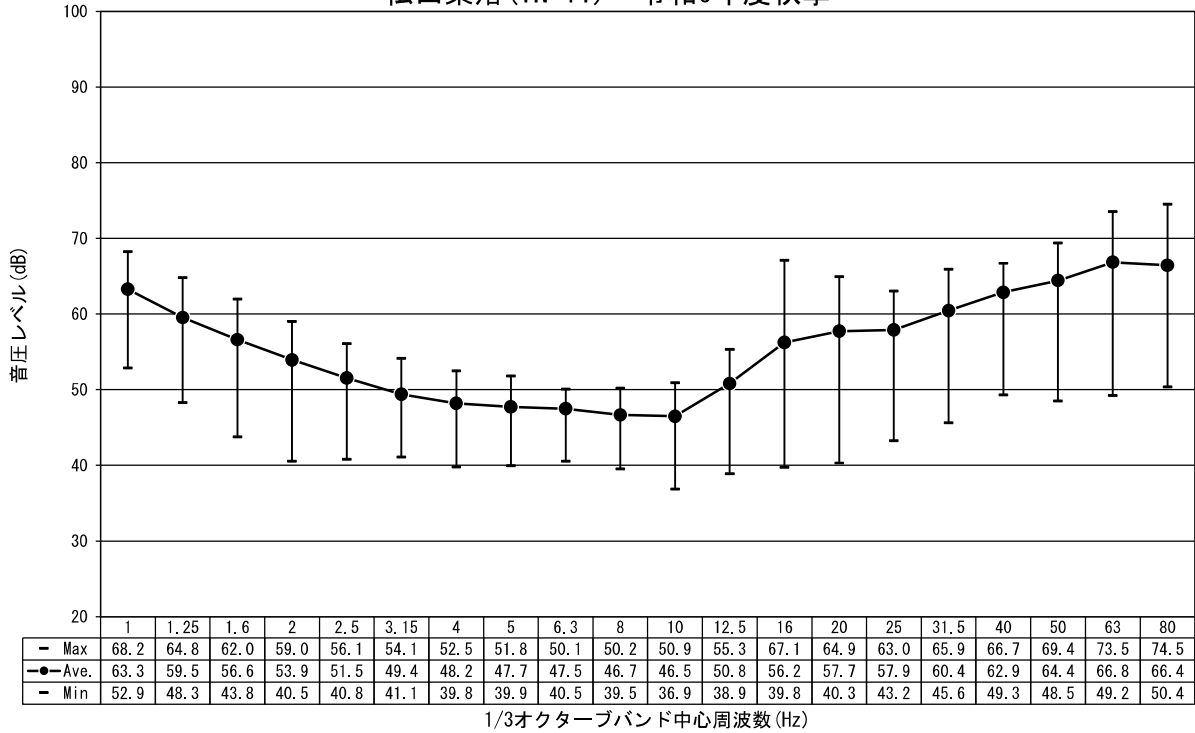


図-2.4.2.3(3) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度秋季)

国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5) 令和6年度冬季

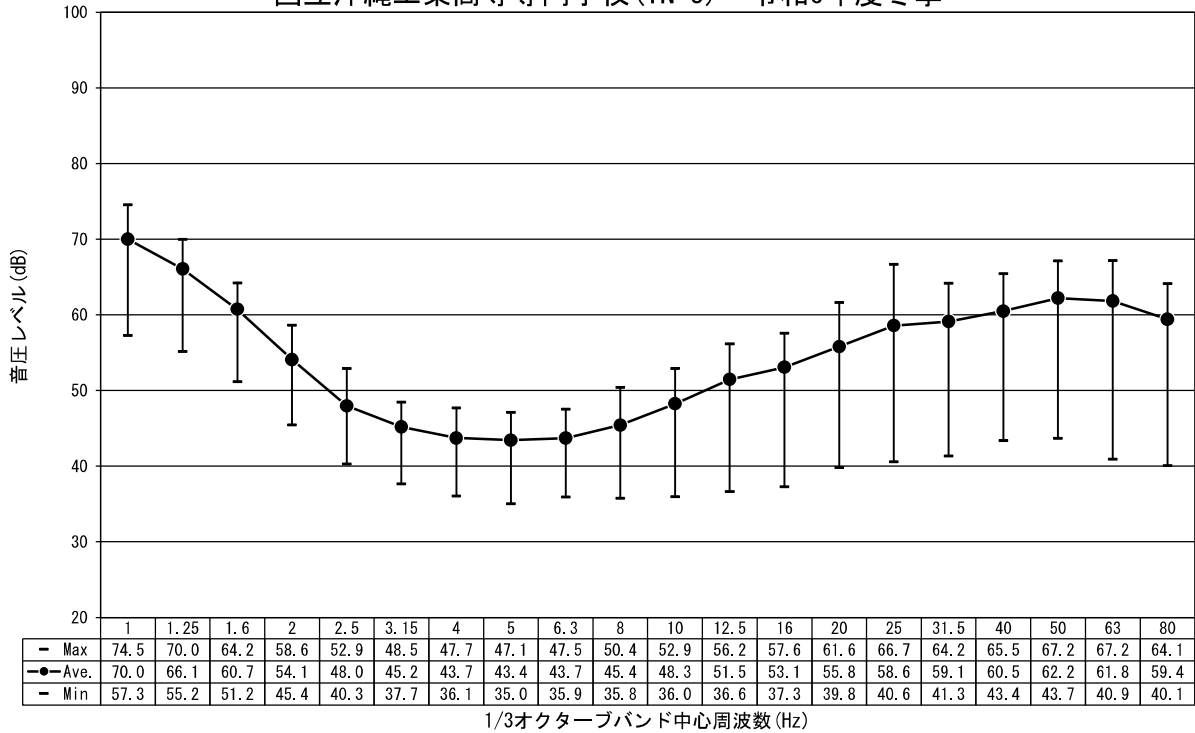


図-2.4.2.4(1) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度冬季)

世富慶集落 (TN-10) 令和6年度冬季

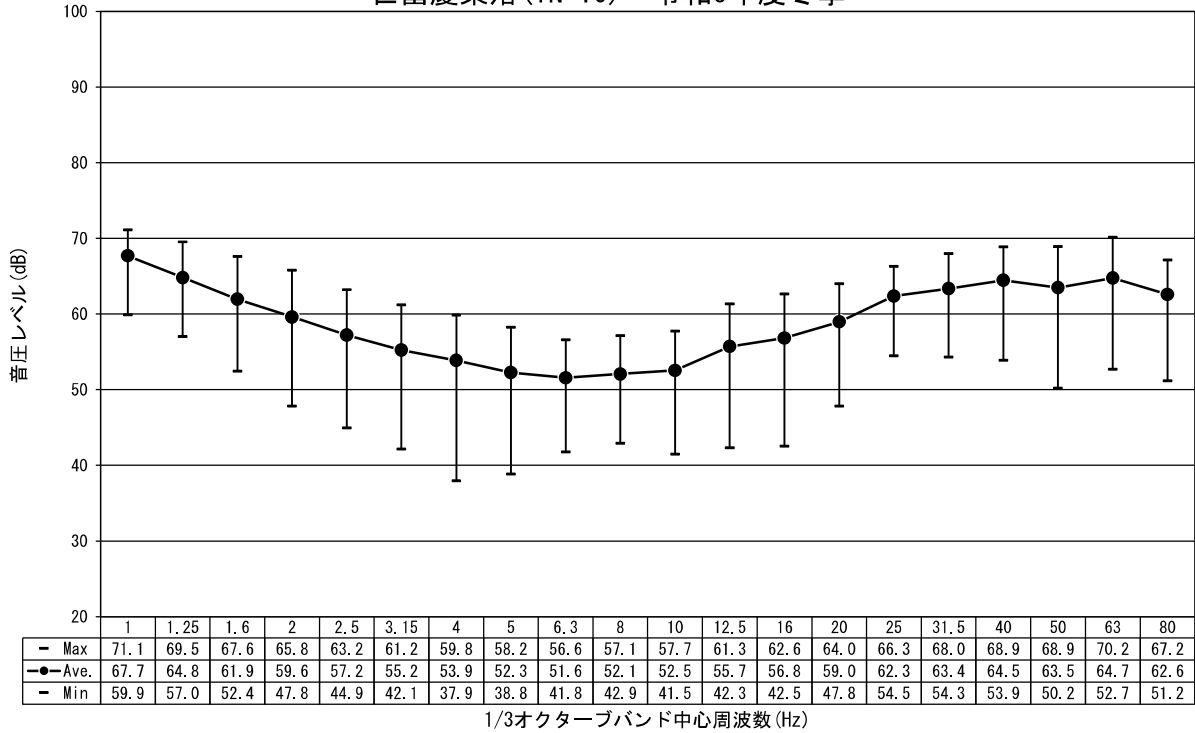


図-2.4.2.4(2) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度冬季)

松田集落 (TN-11) 令和6年度冬季

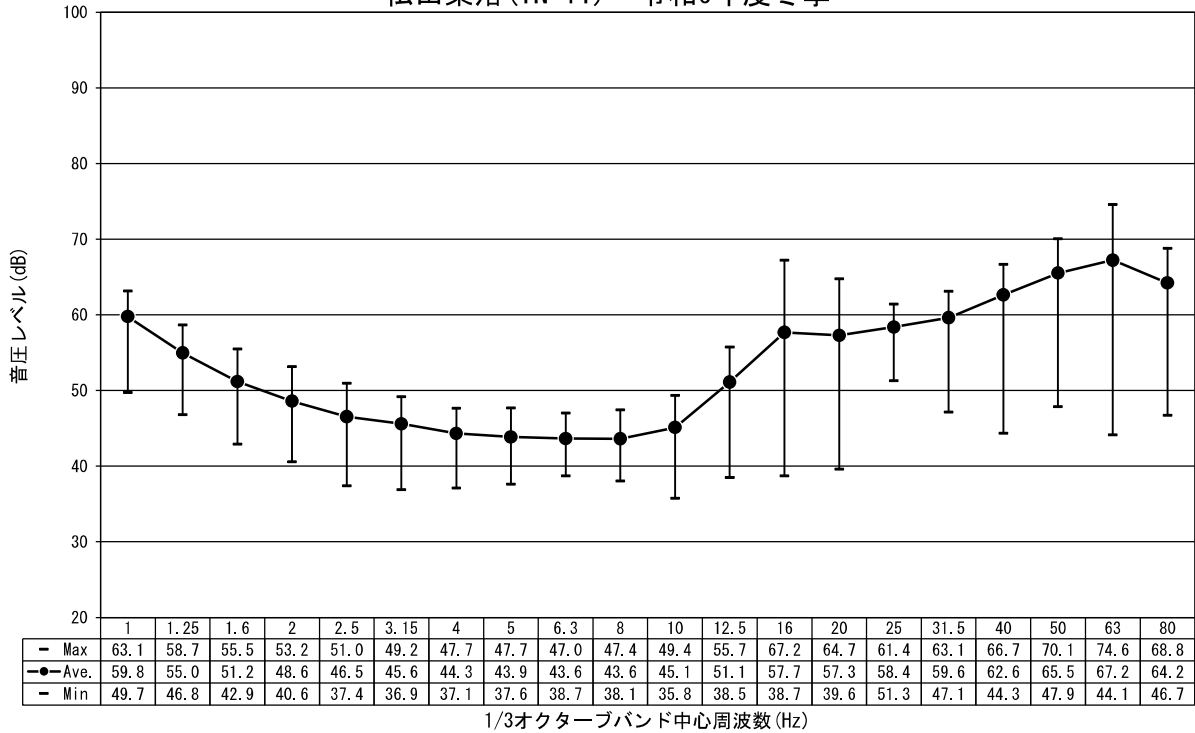


図-2.4.2.4(3) 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の調査結果 (令和6年度冬季)

## (2) 風向・風速の状況

低周波音調査と並行して、風向・風速の観測を行っており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)、松田集落(TN-11)における令和6年度春季から冬季の風向別平均風速は表-2.4.2.2に、風向別出現頻度は図-2.4.2.5～図-2.4.2.8に示すとおりです。

令和6年度春季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、松田集落(TN-11)で北東寄り、世富慶集落(TN-10)で南南東寄りの風が卓越していました。風速については、世富慶集落(TN-10)が他の地点より速くなっており、いずれの地点においても、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。

令和6年度夏季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)で東寄り、世富慶集落(TN-10)で南東寄り、松田集落(TN-11)で南西寄りの風が卓越していました。風速については、松田集落(TN-11)が他の地点より速くなっており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)において、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。

令和6年度秋季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、松田集落(TN-11)で北東寄り、世富慶集落(TN-10)で南南東寄りの風が卓越していました。風速については、松田集落(TN-11)が他の地点より速くなっており、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)、世富慶集落(TN-10)において、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。

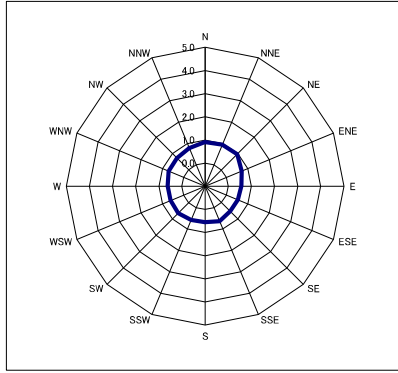
令和6年度冬季の風向は、国立沖縄工業高等専門学校(TN-5)は西寄り、世富慶集落(TN-10)で南寄り、松田集落(TN-11)で東寄りの風が卓越していました。風速については、世富慶集落(TN-10)が他の地点より速くなっており、いずれの地点においても、風向別出現頻度のうち、静穏率(Calm)の割合が最も高くなっていました。

表-2.4.2.2 風向・風速の調査結果一覧

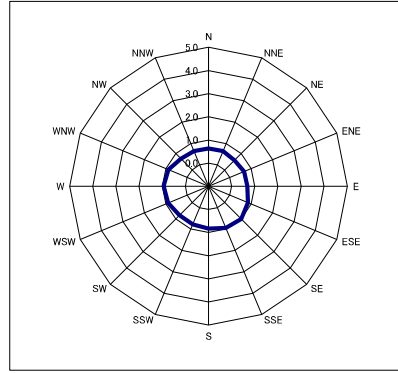
風向：16方位、風速：m/s

季節	項目	TN-5	TN-10	TN-11
R6年度春季	最多風向	NE	SSE	NE
	平均風速	0.4	0.7	0.6
R6年度夏季	最多風向	E	SE	SW
	平均風速	0.4	0.8	1.0
R6年度秋季	最多風向	NE	SSE	NE
	平均風速	0.5	0.8	1.1
R6年度冬季	最多風向	W	S	E
	平均風速	0.5	0.8	0.5

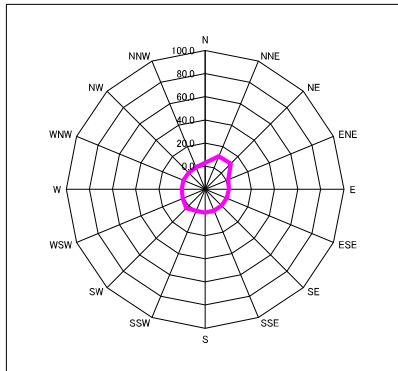
注) 地点名のTN-5は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10は世富慶集落、TN-11は松田集落の国道329号沿道を示します。



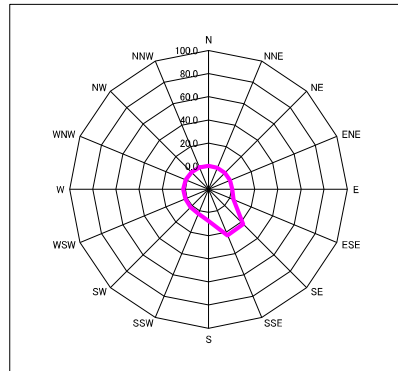
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.9
NNE	0.9
NE	1.0
ENE	0.7
E	0.6
ESE	0.5
SE	0.5
SSE	0.6
S	0.5
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.7
NW	0.7
NNW	0.8



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.7
NE	0.6
ENE	0.7
E	0.7
ESE	0.8
SE	1.0
SSE	0.9
S	0.8
SSW	0.8
SW	0.8
WSW	0.9
W	0.9
WNW	0.9
NW	0.7
NNW	0.6



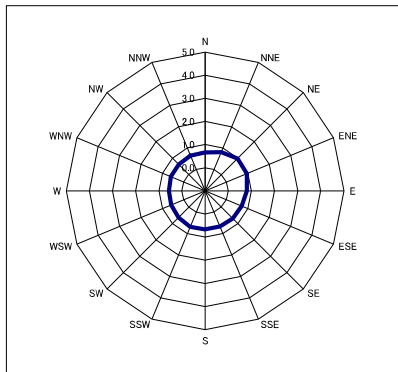
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	2.8
NNE	10.9
NE	11.4
ENE	1.8
E	0.7
ESE	0.2
SE	0.1
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.2
SW	2.9
WSW	1.0
W	0.2
WNW	0.2
NW	0.2
NNW	0.9
calm	66.5



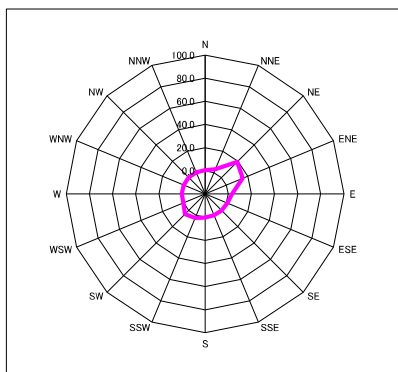
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.3
NNE	0.1
NE	0.1
ENE	0.1
E	0.5
ESE	3.5
SE	22.5
SSE	23.0
S	7.3
SSW	2.8
SW	2.0
WSW	1.5
W	1.9
WNW	1.4
NW	0.7
NNW	0.5
calm	31.7

観測期間：令和6年4月16日 0:00-24:00  
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和6年4月16日 0:00-24:00  
世富慶集落 (TN-10)



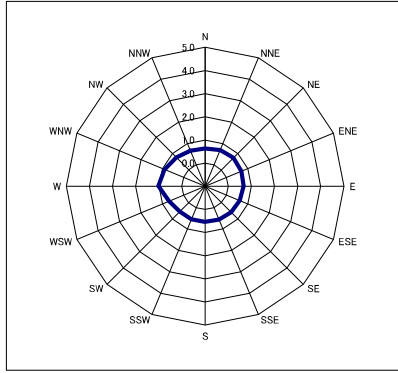
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.8
NE	1.0
ENE	1.0
E	0.8
ESE	0.7
SE	0.7
SSE	0.7
S	0.7
SSW	0.7
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.6
NW	0.6
NNW	0.7



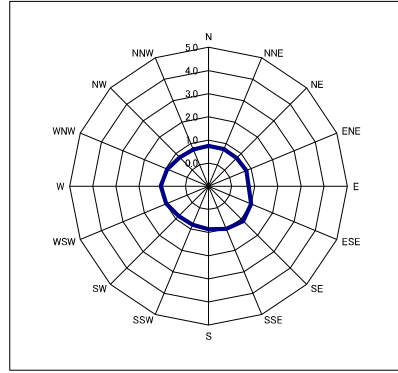
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.5
NNE	3.2
NE	19.2
ENE	15.4
E	3.4
ESE	0.7
SE	0.2
SSE	0.2
S	0.3
SSW	2.6
SW	4.7
WSW	0.2
W	0.0
WNW	0.0
NW	0.1
NNW	0.1
calm	49.2

観測期間：令和6年4月16日 0:00-24:00  
松田集落 (TN-11)

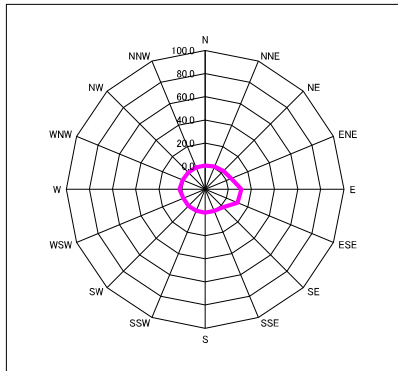
図-2.4.2.5 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度春季)



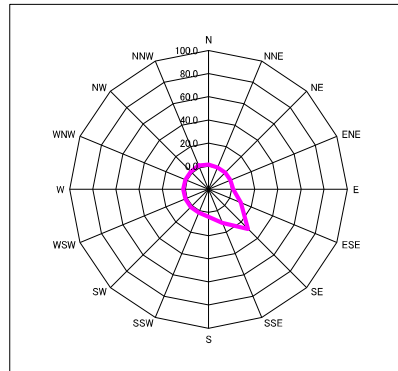
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.7
NE	0.7
ENE	0.7
E	0.7
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.5
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.7
W	1.0
WNW	0.9
NW	0.8
NNW	0.7



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.7
NE	0.7
ENE	0.8
E	0.7
ESE	1.0
SE	1.1
SSE	1.0
S	0.9
SSW	0.8
SW	0.8
WSW	1.0
W	1.1
WNW	0.9
NW	0.8
NNW	0.7



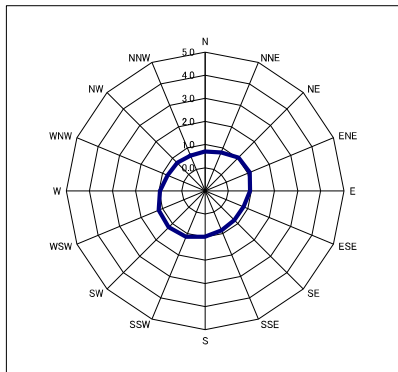
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.6
NNE	1.3
NE	2.3
ENE	4.3
E	11.4
ESE	10.2
SE	1.9
SSE	0.2
S	0.1
SSW	0.1
SW	0.1
WSW	0.4
W	2.2
WNW	1.0
NW	0.6
NNW	0.5
calm	62.5



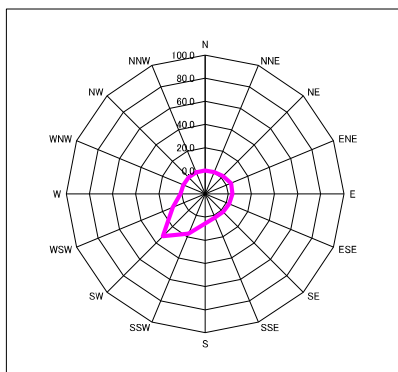
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.3
NNE	0.4
NE	0.5
ENE	0.6
E	1.5
ESE	10.4
SE	28.3
SSE	11.5
S	3.7
SSW	1.9
SW	1.8
WSW	1.7
W	2.0
WNW	1.6
NW	1.6
NNW	2.3
calm	29.1

観測期間：令和6年7月9日 0:00-24:00  
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和6年7月9日 0:00-24:00  
世富慶集落 (TN-10)



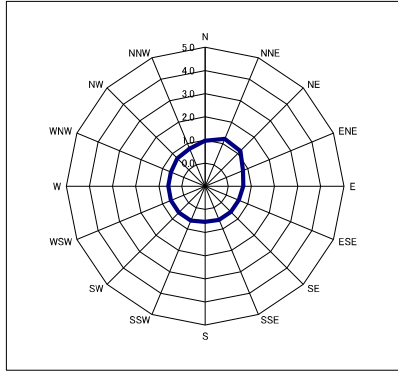
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.8
NE	1.0
ENE	1.1
E	0.9
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	0.9
S	1.0
SSW	1.1
SW	1.2
WSW	1.2
W	0.9
WNW	0.8
NW	0.7
NNW	0.7



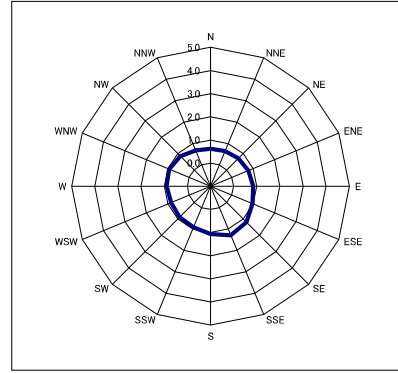
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.3
NNE	0.5
NE	1.8
ENE	4.3
E	3.5
ESE	2.5
SE	2.0
SSE	2.1
S	5.9
SSW	17.2
SW	31.8
WSW	10.3
W	1.3
WNW	0.4
NW	0.2
NNW	0.2
calm	15.6

観測期間：令和6年7月9日 0:00-24:00  
松田集落 (TN-11)

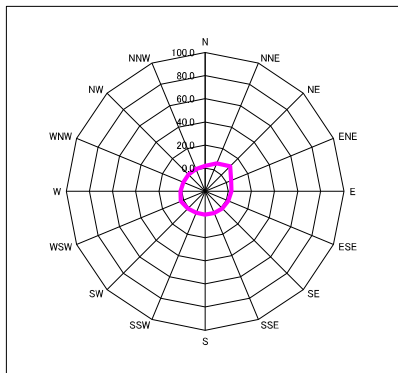
図-2.4.2.6 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度夏季)



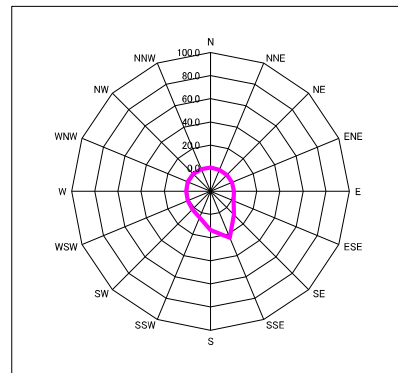
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	1.2
NE	1.2
ENE	0.8
E	0.7
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.5
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.6
W	0.6
WNW	0.6
NW	0.7
NNW	0.8



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.7
ENE	0.8
E	0.9
ESE	1.0
SE	1.2
SSE	1.3
S	1.1
SSW	0.9
SW	0.9
WSW	0.8
W	0.9
WNW	0.9
NW	0.8
NNW	0.7



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	1.8
NNE	6.2
NE	10.6
ENE	4.4
E	2.7
ESE	1.8
SE	0.9
SSE	0.4
S	0.2
SSW	0.1
SW	1.2
WSW	2.7
W	1.3
WNW	0.3
NW	0.3
NNW	0.7
calm	64.4



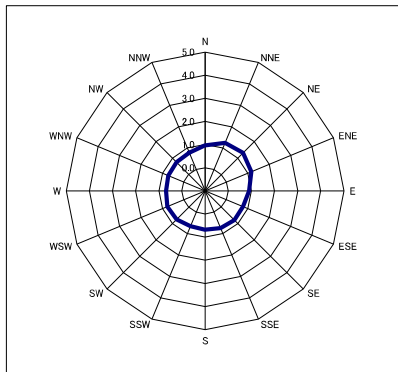
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.6
NNE	0.2
NE	0.1
ENE	0.1
E	0.4
ESE	1.6
SE	8.5
SSE	23.4
S	13.4
SSW	4.5
SW	2.2
WSW	1.2
W	1.0
WNW	1.4
NW	1.1
NNW	0.8
calm	39.5

観測期間：令和6年10月22日 0:00-24:00

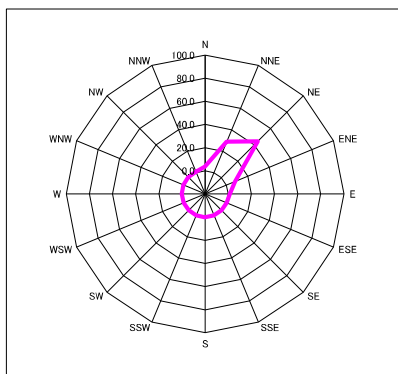
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和6年10月22日 0:00-24:00

世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	1.0
NNE	1.2
NE	1.3
ENE	1.2
E	0.9
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	0.8
S	0.7
SSW	0.7
SW	0.7
WSW	0.8
W	0.7
WNW	0.7
NW	0.7
NNW	0.8

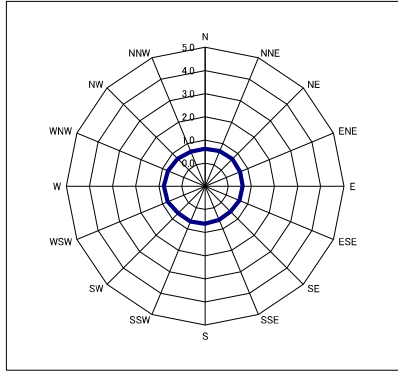


風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	3.4
NNE	29.0
NE	44.3
ENE	7.9
E	1.4
ESE	0.3
SE	0.1
SSE	0.0
S	0.0
SSW	0.0
SW	0.1
WSW	0.0
W	0.1
WNW	0.3
NW	0.6
NNW	0.7
calm	11.7

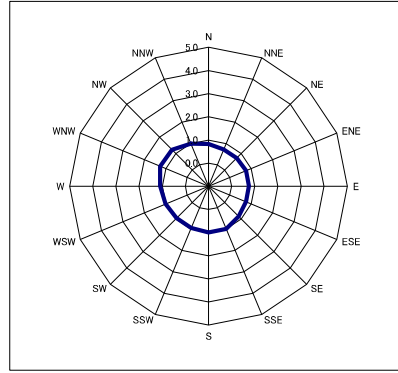
観測期間：令和6年10月22日 0:00-24:00

松田集落 (TN-11)

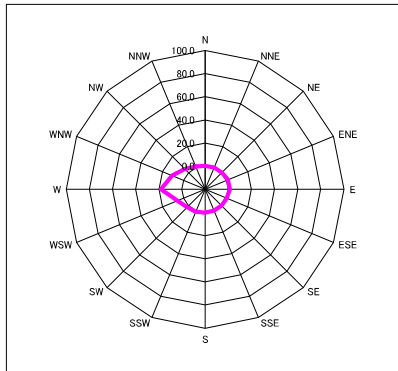
図-2.4.2.7 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度秋季)



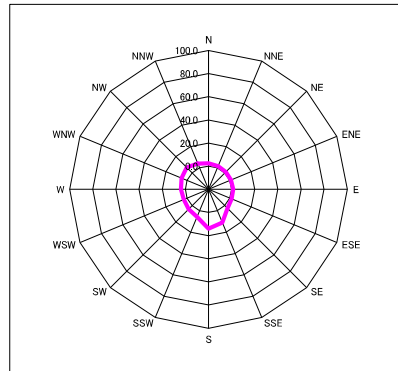
風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.6
NNE	0.6
NE	0.7
ENE	0.6
E	0.6
ESE	0.6
SE	0.6
SSE	0.6
S	0.6
SSW	0.6
SW	0.6
WSW	0.8
W	0.8
WNW	0.7
NW	0.7
NNW	0.6



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.8
NNE	0.7
NE	0.7
ENE	0.8
E	0.7
ESE	0.8
SE	0.8
SSE	1.0
S	1.0
SSW	0.9
SW	1.0
WSW	1.0
W	1.1
WNW	1.3
NW	1.2
NNW	1.0



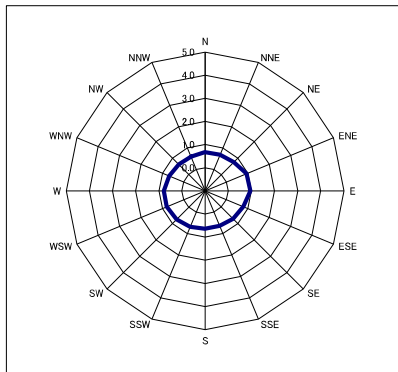
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.4
NNE	0.3
NE	0.5
ENE	1.4
E	1.5
ESE	0.2
SE	0.1
SSE	0.1
S	0.1
SSW	0.9
SW	1.8
WSW	6.0
W	18.2
WNW	10.8
NW	4.9
NNW	1.3
calm	51.5



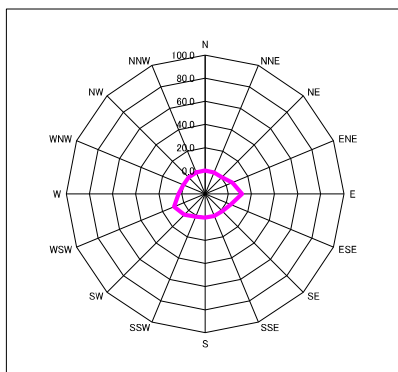
風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	2.6
NNE	1.7
NE	1.2
ENE	1.2
E	1.5
ESE	1.8
SE	3.4
SSE	11.2
S	14.1
SSW	5.8
SW	4.3
WSW	3.1
W	3.9
WNW	5.4
NW	6.8
NNW	4.1
calm	28.1

観測期間：令和7年1月29日 0:00-24:00  
国立沖縄工業高等専門学校 (TN-5)

観測期間：令和7年1月29日 0:00-24:00  
世富慶集落 (TN-10)



風向 (16方位)	平均風速 (m/s)
N	0.7
NNE	0.7
NE	0.8
ENE	0.9
E	1.0
ESE	0.8
SE	0.7
SSE	0.6
S	0.6
SSW	0.7
SW	0.7
WSW	0.8
W	0.8
WNW	0.7
NW	0.6
NNW	0.6



風向 (16方位)	出現頻度 (%)
N	0.1
NNE	0.1
NE	0.6
ENE	5.6
E	12.0
ESE	4.1
SE	1.1
SSE	0.5
S	0.5
SSW	1.3
SW	5.3
WSW	9.1
W	3.0
WNW	0.3
NW	0.1
NNW	0.1
calm	56.1

観測期間：令和7年1月29日 0:00-24:00  
松田集落 (TN-11)

図-2.4.2.8 風向別平均風速、風向別出現頻度 (令和6年度冬季)

## 2.5 底生動物等（移動後の状況監視）

### 2.5.1 追跡調査

#### (1) ウミボッサ

ウミボッサ移植後の追跡調査について、大浦湾西部で令和元～6年度にかけて移植したウミボッサのモニタリングを継続しており、令和6年度は移植後1年目の追跡調査（移植直後～移植6ヶ月後：令和5～6年度移植分）、移植後1年目（令和5～6年度移植分）、2年目（令和4～5年度移植分）、3年目（令和3～4年度移植分）、4年目（令和2～3年度移植分）及び5年目（令和元～2年度移植分）の繁殖期の追跡調査を実施しました。

なお、令和7年3月2、9、16、18～21、24～28、30日に計66個体の移植を実施していますが、令和6年度中は追跡調査を実施していません。

表-2.5.1.1 ウミボッス移植及びモニタリングの実施状況

移植先 (移植時期)	平成30年					平成31年					令和元年					令和2年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前原～久志地先 (平成29年度移植分)			移植	移植 1ヶ月後	移植 3ヶ月後					台風後		秋季			冬季	移植 1ヶ月後	春季			夏季				
(令和元～2年度移植分)																								6ヶ月後
(令和2～3年度移植分)																								
(令和3～4年度移植分)																								
(令和4～5年度移植分)																								
(令和5～6年度移植分)																								
(令和6～7年度移植分)																								

移植先	令和3年					令和4年					令和5年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
前原～久志地先 (平成29年度移植分)		繁茂期 ①	繁茂期 ②	繁茂期 ③	繁茂期 ④									繁茂期 ①	繁茂期 ②	繁茂期 ③	繁茂期 ④							
(令和元～2年度移植分)		繁茂期 ①	繁茂期 ②	繁茂期 ③	繁茂期 ④									繁茂期 ①	繁茂期 ②	繁茂期 ③	繁茂期 ④							
(令和2～3年度移植分)			移植	移植 1ヶ月後						6ヶ月後				繁茂期 ①	繁茂期 ②	繁茂期 ③	繁茂期 ④							
(令和3～4年度移植分)				移植 1ヶ月後						6ヶ月後				繁茂期 ①	繁茂期 ②	繁茂期 ③	繁茂期 ④							
(令和4～5年度移植分)																								
(令和5～6年度移植分)																								
(令和6～7年度移植分)																								

移植先	令和6年					令和7年																		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
前原～久志地先 (平成29年度移植分)																								
(令和元～2年度移植分)																								
(令和2～3年度移植分)																								
(令和3～4年度移植分)																								
(令和4～5年度移植分)																								
(令和5～6年度移植分)																								
(令和6～7年度移植分)																								

注) ウミボッス移植後2年目以降の追跡調査については、ウミボッスの生活史を考慮し、令和2年度より調査時期をウミボッスの繁茂期を含む2月から5月まで毎月1回に変更しています。

大浦湾西部に令和5～6年度（令和6年3～4月）に移植したウミボスの移植後1年目（移植直後～6ヶ月後）の追跡調査について、移植の作業状況を図-2.5.1.1に、移植個体の追跡調査結果を図-2.5.1.2に、移植基部及び周辺の高藻類の種類別生育被度を表-2.5.1.2に示します。また、令和元～6年度に移植したウミボス\*の繁茂期の追跡調査について、移植の作業状況を図-2.5.1.1に、移植個体の追跡調査結果を図-2.5.1.3に、移植先周辺の高藻類の種類別生育被度を表-2.5.1.3に示します。なお、表-2.5.1.3中の令和6年繁茂期①及び②には、令和5～6年度に移植したウミボスのモニタリングも含まれます。

令和6年3月20、24～29日、4月1、2、3、5、7、10、11、14、21日に移植したウミボス603個体については、移植直後の追跡調査を令和6年4月12、23日に、移植1ヶ月後の追跡調査を5月21日に、移植3ヶ月後の追跡調査を7月29日に、移植6ヶ月後の追跡調査を10月28日に実施しました。

移植基部、移植先の岩片及び周辺部において、移植直後及び移植1ヶ月後の追跡調査でウミボスが確認されました。移植3ヶ月後及び6ヶ月後にウミボスが確認されなかった理由として、本種の生活史による季節的な消長が考えられました。

令和元～6年度に移植したウミボスについて、移植先周辺における繁茂期の追跡調査を、令和6年4月17日（令和6年繁茂期③）、5月22日（令和6年繁茂期④）、令和7年2月25日（令和7年繁茂期①）及び3月27日（令和7年繁茂期②）に実施しました。

繁茂期の追跡調査では、移植先の周辺において、全ての調査時期にウミボスが確認されました。

※「令和元～6年度に移植したウミボス」には、令和元～2年度、令和2～3年度、令和3～4年度、令和4～5年度及び令和5～6年度の移植分を含みます。

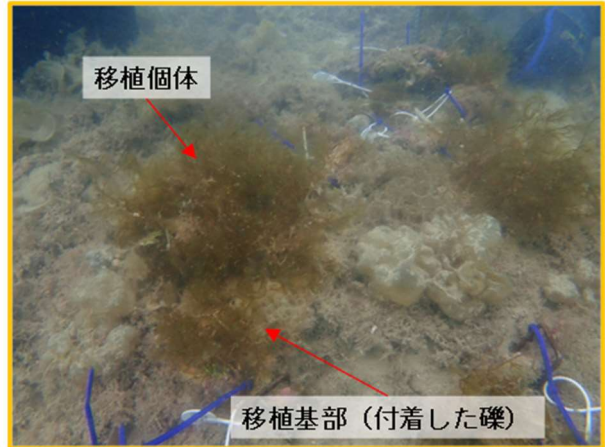
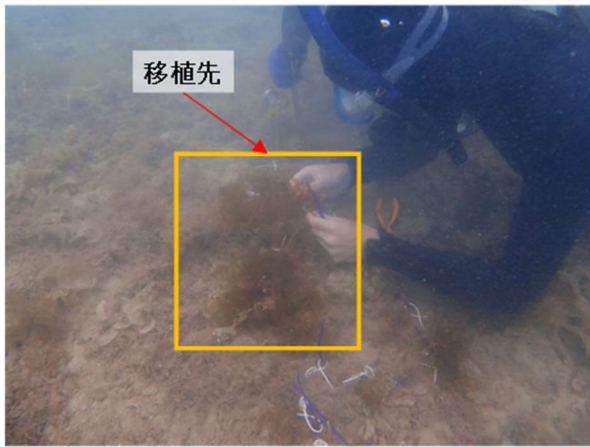


図-2.5.1.1 (1) 令和元～2年度ウミボス移植の作業状況 (令和2年4月4日)

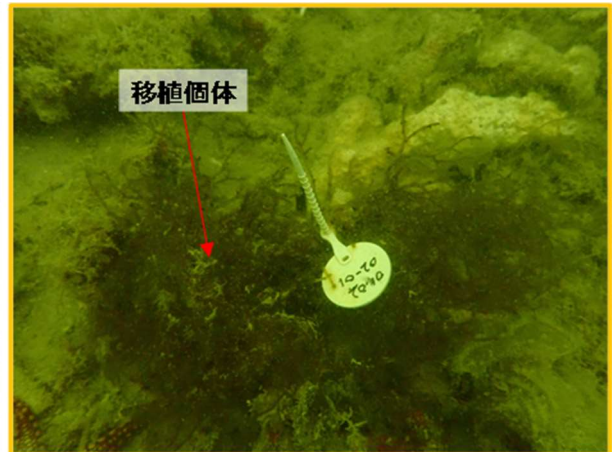
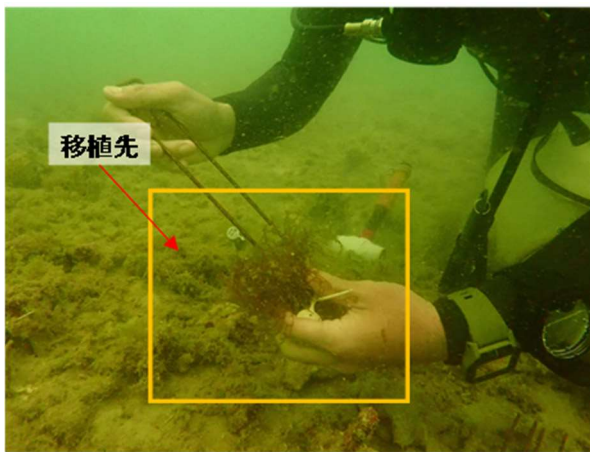


図-2.5.1.1 (2) 令和2～3年度ウミボス移植の作業状況 (令和3年4月2日)

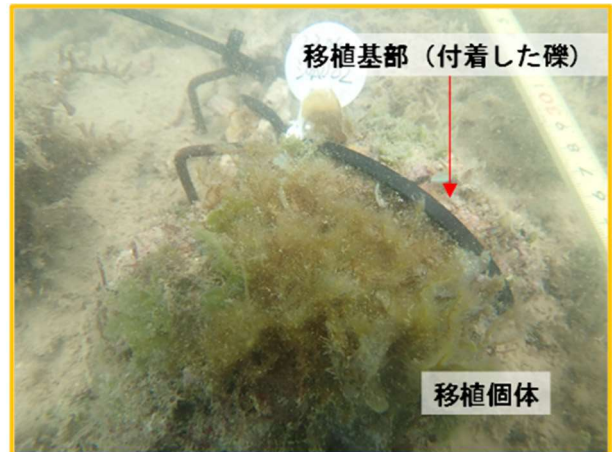
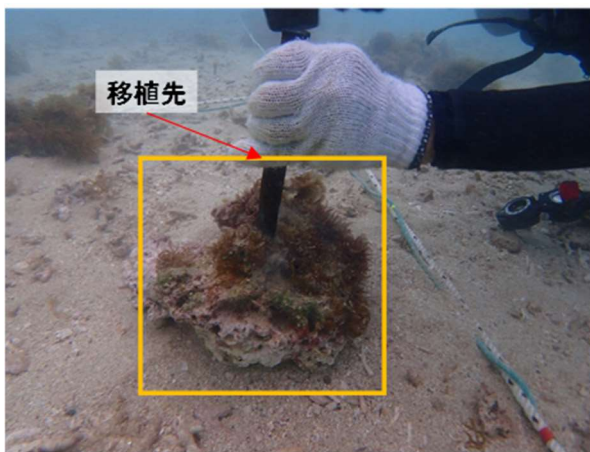


図-2.5.1.1 (3) 令和3～4年度ウミボス移植の作業状況 (令和4年4月11日)

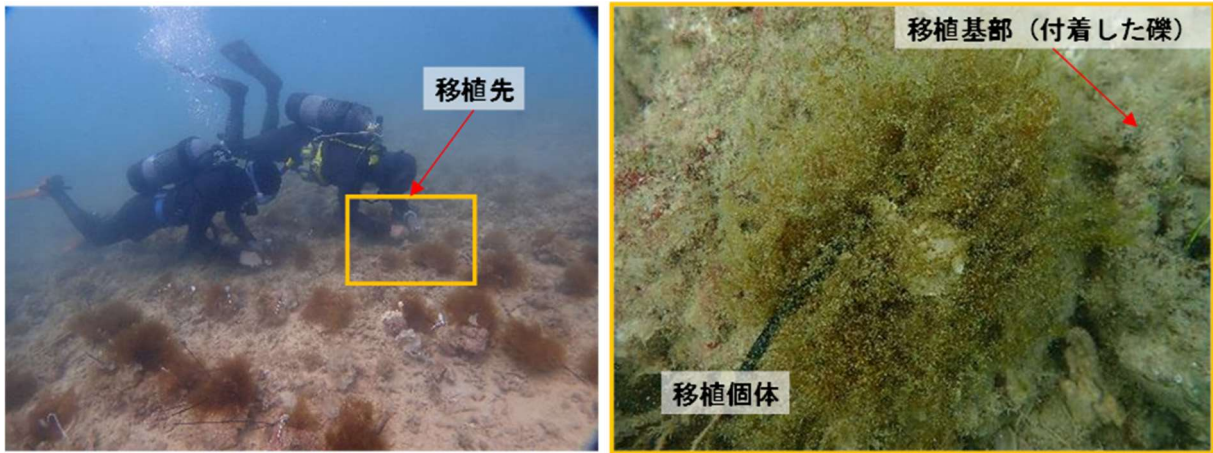


図-2.5.1.1 (4) 令和4～5年度ウミボス移植の作業状況 (令和5年4月24日)

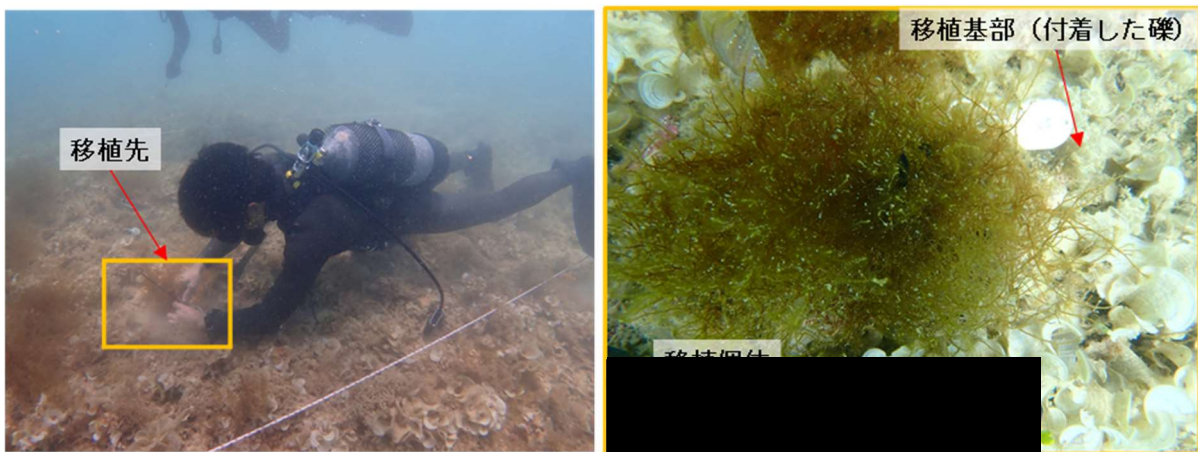






図-2.5.1.1 (5) 令和5～6年度ウミボス移植の作業状況 (令和6年4月21日)

<p>直後 R6. 4. 23</p>		<p>移植基部でウミボ ッスが確認され た。</p>
<p>1ヶ月後 R6. 5. 21</p>		<p>移植基部でウミボ ッスが確認され た。</p>
<p>3ヶ月後 R6. 7. 29</p>		<p>ウミボッスは確認 されなかった。</p>
<p>6ヶ月後 R6. 10. 28</p>		<p>ウミボッスは確認 されなかった。</p>

注) 1年目の追跡調査結果は、移植基部でのウミボッスの確認状況を示します。

図-2. 5. 1. 2 ウミボッス移植個体の追跡調査結果  
(令和 5~6 年度移植分、移植 1 年目)

表-2.5.1.2(1) ウミボッサ移植基部及び周辺の海藻類の種類別生育被度  
(令和5~6年度移植分、移植1年目)

観察範囲	綱	目	科	和名	令和5~6年度移植分(移植1年目)			
					直後	1ヶ月後	3ヶ月後	6ヶ月後
					R6.4.12,23	R6.5.21	R6.7.29	R6.10.28
移植基部	藍藻綱	-	-	藍藻綱	r	r	r	r
	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ガラガラ属	r	r	r	r
			コナハダ科	コナハダ属			r	
		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	r	r	r	r
			ハバリデウム科	サビ亜科(無節サンゴモ類)	+	+	+	r
		テングサ目	テングサ科	テングサ科	r		r	r
		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属	r	r		+
			イワノカワ科	イワノカワ科	+	+	+	r
		マサゴシバリ目	フシツナギ科	テングサモドキ属				r
		イギス目	イギス科	モサヨツノサデ	r	r		r
			フジマツモ科	キクヒオドシ	+	+	r	r
			ソゾ属	r	r	r	r	
			イトグサ属	r				
	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	アミジグサ属	r	r		r
				ハイオオギ	+	+		
				ハイオオギ属	r	r	r	r
				ヨガネウミウチワ			r	
				ウミウチワ属	r	r	r	r
				ジガミグサ	r		r	
		ナガマツモ目	ナガマツモ科	オキナワモズク		r		
	ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッサ	40%	5%			
	ヒバマタ目	ホンダワラ科	タマキレバモク	r		r		
			ホンダワラ属	r		r		
緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ	r		r		
	ミドリゲ目	バロニア科	キッコウグサ				+	
	イワズタ目	ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	r				
	カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ	r	r	r	r	
移植先の岩	藍藻綱	-	-	藍藻綱		r	r	
	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ガラガラ属	r	r	r	r
			コナハダ科	コナハダ属	r	r	r	r
		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	+	r	r	r
			ハバリデウム科	サビ亜科(無節サンゴモ類)	r	r	r	r
		テングサ目	テングサ科	テングサ科	r	r	+	r
		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属	r	r	r	+
			イワノカワ科	イワノカワ科			r	+
		オゴノリ目	オゴノリ科	オゴノリ属	r			
		マサゴシバリ目	フシツナギ科	カイメンソウ		r	r	
				テングサモドキ属				r
	イギス目	イギス科	モサヨツノサデ	r	r		r	
		フジマツモ科	トグノリ	r				
			キクヒオドシ	r	5%	r	+	
			ソゾ属	r	+	r	+	
			イトグサ属	r	r	r	r	
	褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	ウラボシヤハズ	r	r		
				アミジグサ属	r	r	r	r
				ハイオオギ属	r	r	r	r
				ヨガネウミウチワ	r	r	r	r
			ウミウチワ属	5%	5%	r	+	
			ジガミグサ	r	r	r	+	
	ナガマツモ目	ナガマツモ科	オキナワモズク	r	r			
		モズク科	モズク	r				
	カヤモノリ目	カヤモノリ科	フクロノリ	r				
			カゴメノリ	5%	5%			
	ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッサ	5%	5%			
	ヒバマタ目	ホンダワラ科	キバネモク	r	r	r	+	
			タマキレバモク	r	r	r	+	
			ホンダワラ属	r	r	r	+	
緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ	r	r	r	r	
	ミドリゲ目	バロニア科	キッコウグサ			r	r	
	イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ	+				
			ヨレズタ	r				
			タカノハズタ	r	r			
		ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	r	r	r	+	
			フササボテングサ	r		r	r	
	カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ	r	r	r	r	

注)「+」は生育被度5%未満、「r」は生育被度1%未満であることを示します。

表-2.5.1.2(2) ウミボッサ移植基部及び周辺の海藻類の種類別生育被度  
(令和5~6年度移植分、移植1年目)

観察範囲	綱	目	科	和名	令和5~6年年度移植分(移植1年目)					
					直後	1ヶ月後	3ヶ月後	6ヶ月後		
					R6.4.12,23	R6.5.21	R6.7.29	R6.10.28		
周辺部	藍藻綱	-	-	藍藻綱	r	r	r	r		
	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ガラガラ	r					
				ガラガラ属	+	r	r	r		
				コナハダ科	コナハダ属	+	r	r	r	
		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	r	r	r	r		
				モサズキ属	+	5%				
				ハバリデウム科	サビ亜科(無節サンゴモ類)	+	+	r	+	
		テングサ目	テングサ科	ハイテングサ	r	r				
				テングサ科				r		
		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属	5%	5%	5%	+		
				イワノカワ科	イワノカワ科	r	r	r	+	
		マサゴシバリ目	フシツナギ科	カイメンソウ	r					
				テングサモドキ	r	r				
				テングサモドキ属	r	r	r	r		
				モサヨツノサデ	r	r	r	r		
				トゲノリ	r	r				
		イギス目	イギス科	モサヨツノサデ	r	r	r	r		
				フジマツモ科						
				キクヒオドシ	r	+	r	+		
				マクリ	r	r	r	r		
				クロソソ	r	r	r	r		
				ソソ属	r	+	+	+		
				イトクズグサ	r		r	r		
				ウラボシヤハズ	+	r	r	r		
				アマミグサ	r					
				アマミグサ属	r	r	r	r		
			ハイオオギ属	r	r	r	r			
			コガネウミウチワ	r		r	r			
			ウミウチワ属	15%	10%	r	+			
			ジガミグサ	r			+			
	褐藻綱	アマミグサ目	アマミグサ科	オキナワモズク		r				
					モズク科	モズク	r			
					カヤモノリ科	フクロノリ	r	r		
						カゴメノリ	10%	10%		
					ケヤリモ科	ウミボッサ	5%	+		
					ホンダワラ科	ヤバネモク	+	+	r	+
						タマキレバモク	+	+	+	+
			キシユウモク	r	r	r	r			
			ホンダワラ属	+	+	r	+			
			ラッパモク	r	r					
	黄緑藻綱	フシナシミドロ目	フシナシミドロ科	ウミフシナシミドロ	r	r				
	緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ	r	r	r	r		
					ホソバロニア	r	r			
				カビシオグサ	r					
		ミドリゲ目	バロニア科	キッコウグサ		r	r	r		
		イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ	r	r				
				コツブセンナリズタ				r		
センナリズタ				r						
ヒラエズタ							r			
サイハイズタ				r						
ヨレズタ				r						
タカノハズタ				r	r	r	r			
コケイワズタ				r						
				ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	+	+	r	+	
					ミツデサボテングサ	r	r	r	r	
					フササボテングサ	r		r	r	
					ヒメイチョウ	r	r			
カサノリ目		ダジクラズ科	フデノホ	r	r	r	r			

注)「+」は生育被度5%未満、「r」は生育被度1%未満であることを示します。

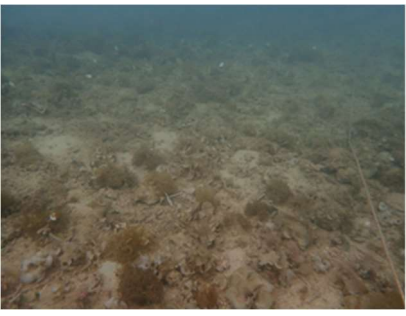
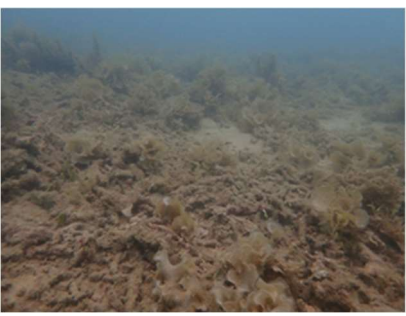


<p>令和6年 繁茂期③ R6.4.17</p>		<p>移植先周辺でウミボッサが確認された。</p>
<p>令和6年 繁茂期④ R6.5.22</p>		<p>移植先周辺でウミボッサが確認された。</p>
<p>令和7年 繁茂期① R7.2.25</p>		<p>移植先周辺でウミボッサが確認された。</p>
<p>令和7年 繁茂期② R7.3.27</p>		<p>移植先周辺でウミボッサが確認された。</p>

図-2.5.1.3 ウミボッサ移植個体の追跡調査結果  
(令和元～6年度移植分※、繁茂期の追跡調査)

※「令和元～6年度移植分」には、令和元～2年度、令和2～3年度、令和3～4年度、令和4～5年度及び令和5～6年度の移植分を含みます。

表-2.5.1.3 ウミボッサ移植先周辺の海藻類の種類別生育被度  
(令和元～6年度移植分※、繁茂期の追跡調査)

No.	綱	目	科	種名	令和6年	令和6年	令和7年	令和7年			
					繁茂期③	繁茂期④	繁茂期①	繁茂期②			
					R6.4.17	R6.5.22	R7.2.25	R7.3.27			
1	藍藻綱	-	-	藍藻綱	r	r		+			
2	紅藻綱	ウミゾウメン目	ガラガラ科	ソデガラミ		r					
3				ピロウドガラガラ			r				
4				ガラガラ属	+	+		+			
5				コナハダ科	コナハダ属	+	r	r	r		
6		サンゴモ目	サンゴモ科	ホソエダカニノテ	r	r	r				
7				モサズキ属	+	+	+				
8				ハバリデウム科	サビ亜科(無節サンゴモ類)	5%	+	+	+		
9		テングサ目	テングサ科	ハイテングサ	r	r	r	r			
10				テングサ属	r	r	r	r			
11		カギケノリ目	カギケノリ科	カギケノリ	r		r	+			
12		スギノリ目	イバラノリ科	イバラノリ属	5%	+	+	+			
13			イワノカワ科	イワノカワ科	+	+	+	+			
14		マサゴシパリ目	フシツナギ科	カイメンソウ	r	r	r	r			
15				テングサモドキ属	r	r	r	r			
16				イギス目	イギス科	モサヨツノサデ	+	+	+	5%	
17						フジマツモ科	トゲノリ	r		+	+
18						キクヒオドシ	r	+	+	r	
19						マクリ	r	r	r	r	
20						クロソゾ		r	r	r	r
21						ミツデソゾ		r	r		
22						ソゾ属	+	+		r	
23						ジャバラノリ				r	
24		イトグサ属	r			r	r	r			
25		イトクズグサ	r								
26		褐藻綱	アミジグサ目	アミジグサ科	ウラボシヤハズ	r	+	r	r		
27	アミジグサ属				r	r	+	r			
28	ハイオオギ属				r	r		r			
29	コガネウミウチワ				r	r	r	r			
30	ウスユキウチワ				r	r	r	r			
31	ウミウチワ属				15%	10%	15%	+			
32	ジガミグサ				r	+	r				
33	ナガマツモ目				ナガマツモ科	オキナワモズク		r		r	
34			モズク科	モズク	r	r					
35	カヤモノリ目		カヤモノリ科	フクロノリ	r		+	r			
36				カゴメノリ	5%	5%	+	+			
37				ウミボッサ	5%	+	r	+			
38	ヒバマタ目		ホンダワラ科	ヤバネモク	+	+	r	+			
39				タマキレバモク	+	+	r	+			
40				キシユモク	r	+		+			
41				ホンダワラ属	r	r	r	r			
42				ラッパモク		r	r				
43				ウミフシナシドロ	r						
44	緑藻綱	シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ	r	r	r	r			
45				ホソバロニア	r	r	r	r			
46				カビシオグサ	+						
47		ミドリゲ目	バロニア科	キッコウグサ		r		r			
48		イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ	+	r	+	r			
49				センナリズタ	r			r			
50				サイハイズタ	r						
51				タカノハズタ	r	r		r			
52				コケイワズタ	r						
53				ハゴロモ科	ウチワサボテングサ	r	+	+	+		
54					ミツデサボテングサ	r	r	r	r		
55		フササボテングサ	r		r	r	r				
56		カサノリ目	ダジクラズス科	フデノホ	r	r	r	r			
57	カサノリ科		リュウキュウガサ		r						
総出現種類数					48	46	39	42			

注)「+」は生育被度5%未満、「r」は生育被度1%未満であることを示します。

※「令和元～6年度移植分」には、令和元～2年度、令和2～3年度、令和3～4年度、令和4～5年度及び令和5～6年度の移植分を含みます。

## 2.5.2 生物相調査

### (1) インベントリー調査（定性的調査）

#### 1) 調査結果の概要

令和6年度に実施した調査結果の概要として、記録された分類群数を表-2.5.2.1に、季別の記録された種数を表-2.5.2.2に示します。

各分類群における出現種数は、海藻類<sup>\*1</sup>が140種類、海草類<sup>\*2</sup>が10種類、底生動物が671種類であり、全分類群合計では821種類でした。また、季別の種数は430～527種類でした。

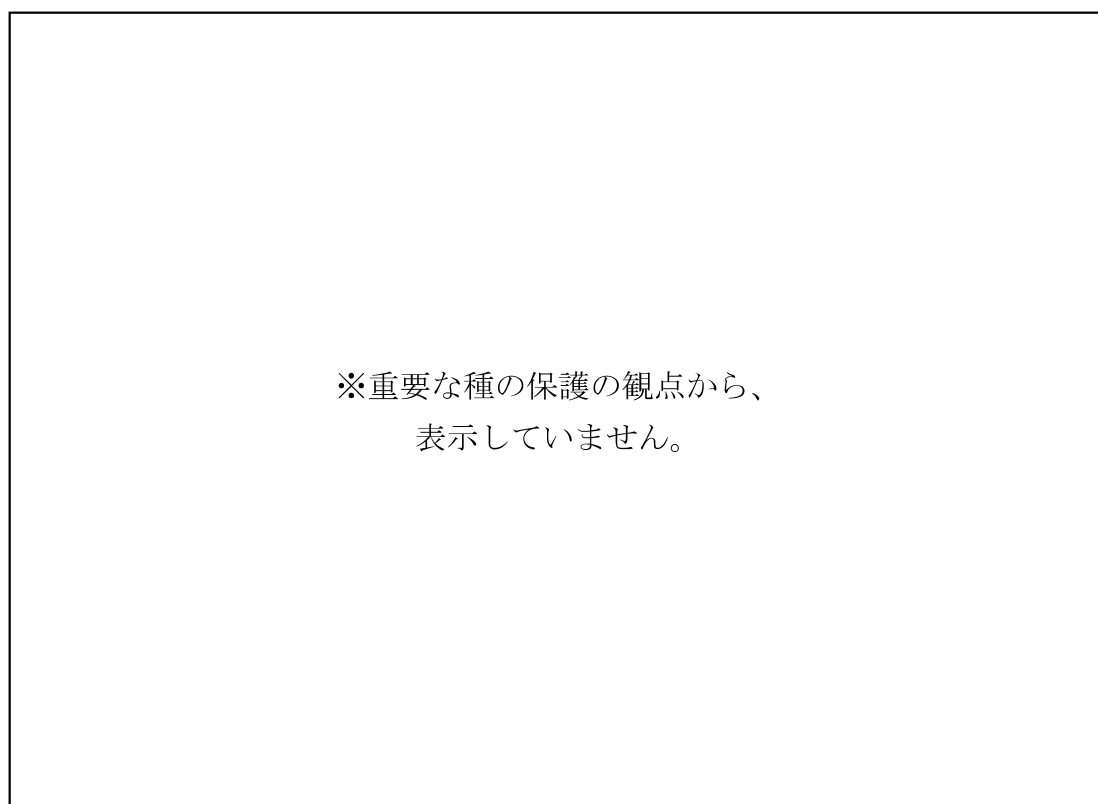


図-2.5.2.1 インベントリー調査の調査地点

<sup>\*1</sup> 海藻類：藍藻綱、紅藻綱、褐藻綱、黄緑藻綱、緑藻綱に属する海藻草類。

<sup>\*2</sup> 海草類：単子葉植物綱に属する海藻草類。

表-2.5.2.1 インベントリー調査 記録された分類群数

項目		分類群数				
植物	海藻類	4 門	5 綱	24 目	42 科	140 種類
	海草類	1 門	1 綱	1 目	2 科	10 種類
動物	底生動物	10 門	19 綱	43 目	186 科	671 種類
分類群合計		15 門	25 綱	68 目	230 科	821 種類

表-2.5.2.2 インベントリー調査 記録された種数

項目		令和6年度				
		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
調査地点数		25 地点	25 地点	25 地点	25 地点	25 地点
植物	海藻類	114 種類	88 種類	88 種類	93 種類	107 種類
	海草類	8 種類	9 種類	8 種類	9 種類	7 種類
動物	底生動物	405 種類	398 種類	353 種類	328 種類	352 種類
分類群合計		527 種類	495 種類	449 種類	430 種類	466 種類

2) 出現種

総出現種リストを表-2.5.2.3 に示します。

表-2.5.2.3(1) インベントリー調査 総出現種リスト (植物)

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種				
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季						
1	藍色植物門	藍藻綱	ネンジュモ目	ヒゲモ科	オオヒゲソウ	○	○	○								
2					イワソメアイモ	○	○	○	○	○						
3			ユレモ目	ユレモ科	スチゴネマ科	オオツブリブラリア	○	○	○	○	○					
4						<i>Iyngba polychroa</i>	○	○	○	○	○					
5						アイミドリ	○	○	○	○	○					
6	紅色植物門	紅藻綱	ウミゾウメン目	カサマツ科	カモガシラノリ	○					●					
7					ハイコナハダ	○						●				
8					ソデガラミ	○	○	○	○	○						
9			ガラガラ	○	○											
10			サンゴモ目	サンゴモ科	ハバリデウム科	ホソエダカニノテ				○	○					
11						ヒメモサズキ	○	○	○	○	○					
12						ケヒメモサズキ	○	○	○	○	○					
13			テングサ目	テングサ科	シマテングサ	サビ亜科 (無節サンゴモ類)	○	○	○	○	○					
14						シマテングサ	○	○	○	○	○					
15						ヒメテングサ	○	○	○	○	○					
16			ペニマダラ目	ペニマダラ科	カギケノリ目	カギケノリ科	ハイテングサ	○	○	○	○	○				
17							ペニマダラ	○	○	○	○	○				
18							カギケノリ	○								
19			スギノリ目	イソモッカ科	リュウモンソウ科	イソモッカ	○	○	○	○	○					
20						ヒピロウド										
21						フノリ科	ハナフノリ	○								
22			スギノリ科	カキノリ	イバラノリ科	カキノリ	○	○	○	○	○					
23						イバラノリ	○	○	○	○	○					
24						アツバノリ科	ミアナグサ	○		○						
25			オゴノリ目	オゴノリ科	ユミカタオゴノリ	ユミカタオゴノリ	○		○		○					
26						ナンカイオゴノリ				○			●			
27						フシクレノリ	○	○	○	○	○					
28			マサゴシバリ目	ワツナギソウ科	フシツナギ科	ワツナギソウ	○									
29						カイメンソウ	○	○	○	○	○					
30						モツレテングサモドキ	○	○	○	○	○					
31			マサゴシバリ科	ニセイバラノリ	トゲイギス	ニセイバラノリ	○	○	○	○	○					
32						トゲイギス	○	○	○	○	○					
33						ゴノメグサ	○	○	○	○	○					
34			ヨツノサデ	モサヨツノサデ	ウブゲグサ	ヨツノサデ	○									
35						モサヨツノサデ	○	○								
36						ウブゲグサ	○	○	○	○	○					
37			ランギリア	ホソアヤギス	ササバアヤギス	ランギリア			○	○	○					
38						ホソアヤギス							●			
39						ササバアヤギス	○	○	○	○	○			●		
40			フジマツモ科	トゲノリ	ツクシホウズキ	ヒメズタ										
41						トゲノリ	○	○	○	○	○					
42						ツクシホウズキ	○	○	○	○	○			●		
43			キクヒオドシ	ヒメコケモドキ	コケモドキ	キクヒオドシ	○	○	○	○	○					
44						ヒメコケモドキ	○	○	○	○	○					
45						コケモドキ	○	○	○	○	○					
46			マクリ	クモノスヒメゴケ	アカツ	マクリ	○	○	○	○	○					
47						クモノスヒメゴケ	○									
48						アカツ	○		○	○	○					
49			ミナミソソ	ナンカイソソ	ジャバラノリ	ミナミソソ				○						
50						ナンカイソソ	○	○	○	○	○					
51	ジャバラノリ	○				○	○	○	○							
52	ヨレミグサ	ナガミグサ	フタマタコケモドキ	ヨレミグサ	○											
53				ナガミグサ	○	○	○	○	○							
54				フタマタコケモドキ	○	○	○	○	○							
55	イトクスグサ	スジヤハズ	ウラボシヤハズ	イトクスグサ	○	○	○	○	○							
56				スジヤハズ	○											
57				ウラボシヤハズ	○	○	○	○	○							
58	ヒメヤハズ	オオマタアミジ	トゲアミジ	ヒメヤハズ							●					
59				オオマタアミジ	○	○	○	○	○							
60				トゲアミジ	○											
61	アミジグサ	ハイアミジグサ	イトアミジ	アミジグサ				○								
62				ハイアミジグサ	○	○	○	○	○							
63				イトアミジ	○	○	○	○	○							
64	コガネウミウチワ	ジガミグサ	オキナワモズク	コガネウミウチワ	○											
65				ジガミグサ	○	○	○	○	○							
66				オキナワモズク	○											
67	モズク科	フクロノリ	カゴメノリ	モズク	○						●					
68				フクロノリ	○											
69				カゴメノリ	○											
70	ホソカゴメノリ	セイヨウハバノリ	モサクダフクロ	ホソカゴメノリ	○											
71				セイヨウハバノリ	○											
72				モサクダフクロ							○					
73	ケヤリモ目	ケヤリモ科	ウミボッス	ケヤリモ目	○						●	●				
74				ウミボッス	○	○	○	○	○			●				
75				ヤバネモク	○	○	○	○	○							
76	アツバモク	ヒイラギモク	ヒメハモク	アツバモク	○	○	○	○	○							
77				ヒイラギモク	○	○	○	○	○							
78				ヒメハモク	○	○	○	○	○							
79	カラクサモク	タマキレバモク	キシウモク	カラクサモク	○						●					
80				タマキレバモク	○	○	○	○	○				●			

表-2.5.2.3(2) インベントリー調査 総出現種リスト (植物)

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種				
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季						
81	不等毛植物門	褐藻綱	ヒバマタ目	ホンダワラ科	チュウシシマモク	○						●				
82					カサモク	○	○	○	○	○						
83						ラップモク	○	○	○	○	○					
84			黄緑藻綱	フシナシミドロ目	フシナシミドロ科	ウミフシナシミドロ	○			○	○		●			
85		緑色植物門				緑藻綱	アオサ目	ヒトエグサ科	ヒトエグサ	○			○	○		
86			シオグサ目	ウキオリソウ科	ウキオリソウ				○	○	○	○	○	○		
87							タノモグサ	○	○	○	○	○	○			
88				シオグサ科	ホソジュズモ							○				
89					ボウジュズモ				○							
90				カビシオグサ				○				○				
91				オキナワネダシグサ				○	○							
92				オオネダシグサ				○	○	○	○	○		●		
93				ミドリゲ目	アオモグサ科		アオモグサ	○	○	○	○	○				
94							ハネアオモグサ			○	○	○	○			
95			マダタマモ科	マダタマモ	○			○					●			
96				ミドリゲ	○		○	○	○	○	○					
97				ヒメミドリゲ				○	○	○	○		●			
98			パロニア科	キッコウグサ	○		○	○	○	○	○					
99		ムクキッコウグサ		○	○	○	○	○	○							
100		タマパロニア	○													
101		パロニア	○	○	○	○	○	○	○							
102		オオパロニア	○	○	○	○	○	○	○							
103		イワズタ目	イワズタ科	ヘライワズタ	○	○	○	○	○							
104				ビュクシズタ	○	○	○	○	○	○						
105				クビレズタ	○	○	○	○	○	○		●				
106				スズカケズタ			○									
107				センナリズタ	○	○	○	○	○	○						
108				エツキズタ	○											
109				タカツキズタ						○	○					
110				ヨレズタ	○	○	○	○	○	○						
111				タカノハズタ	○	○	○	○	○	○						
112				イチイズタ	○	○							●			
113				コケイワズタ	○						○					
114				リュウキュウズタ	○								●			
115				ヒメイワズタ			○	○	○	○	○					
116				ハゴロモ科	クサビガタハウチワ	○	○	○	○	○	○					
117		コテングノハウチワ	○		○	○	○	○	○			●				
118		マルバハウチワ	○							○						
119		モツレチヨウチン	○							○		●				
120		マユハキモ	○		○	○	○	○	○							
121		ウチワサボテングサ	○		○	○	○	○	○							
122		ミツサボテングサ	○		○	○	○	○	○							
123		フササボテングサ	○		○	○	○	○	○			●				
124		ニセハウチワ							○			●				
125		ヒメイチョウ	○		○	○	○	○	○							
126		ハゴロモ	○		○	○	○	○	○							
127		ミル目	ミル科		ナンバンハイミル	○		○								
128					モツレミル	○						○				
129			ヤセガタモツレミル		○	○					○					
130		ハネモ目	ハネモ科	カタハノハネモ			○									
131		カサノリ目	ダジクラズ科	ナガミズタマ	○	○		○				●				
132				ミズタマ	○	○	○	○	○	○						
133			ウスガサネ	○	○	○	○	○	○			●				
134			フデノホ	○	○	○	○	○	○							
135			カサノリ科	ホソエガサ	○				○	○		●				
136				リュウキュウガサ	○	○	○	○	○	○						
137			カサノリ	○			○	○	○			●				
138			ハナレガサ	○			○									
139			ヒナカサノリ	○	○	○	○	○								
140			イソソギナ	○	○	○	○	○	○							
141	種子植物門		単子葉植物綱	オモダカ目	トチカガミ科	リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○		●			
142						ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○			●	
143						オオウミヒルモ	○	○	○	○	○		●			
144						ヒメウミヒルモ	○	○	○	○	○		●			
145				ベニアマモ科	ニラウミジグサ	○	○	○	○	○			●			
146					ホソバウミジグサ	○	○	○	○	○			●			
147					マツバウミジグサ					○			●			
148					ベニアマモ			○	○				●			
149					リュウキュウアマモ	○	○	○	○	○	○		●			
150					ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○		●			
出現種数						122	97	96	102	114	38	1				

表-2.5.2.3(3) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季		
1	有孔虫門	有孔虫綱	有孔虫目	アカスナゴ科	モミジスナゴ	○	○	○	○	○		
2	刺胞動物門	ヒドロ虫綱	ハナクラゲ目	ハネガヤ科	シロガヤ							
3		花虫綱	スナギンチャク目	スナギンチャク科	イワスナギンチャク	○	○	○	○	○		
4					キクメマメスナギンチャク	○						
5			イソギンチャク目	クビカザリイソギンチャク科	ベニヒモイソギンチャク	○						
6				ナゲナワイソギンチャク科	カニイソギンチャク			○				
7				ウメボシイソギンチャク科	タマイタダキイソギンチャク				○			
8				ハタゴイソギンチャク科	ハタゴイソギンチャク					○		
9				ハナブサイソギンチャク科	ハナブサイソギンチャク				○			
10	紐形動物門	無針綱	異紐虫目	バセオデイスクス科	サナダヒモムシ	○						
11	軟体動物門	多板綱	クサズリガイ目	ウスヒザラガイ科	ウスヒザラガイ		○	○		○		
12					オオセシジバラガイ	○			○			
13				クサズリガイ科	コザネヒザラガイ		○			○		
14					リュウキュウヒザラガイ	○		○		○		
15					オニヒザラガイ	○	○	○	○	○		
16					キクノハナヒザラガイ				○			
17				ケハダヒザラガイ科	ヒメケハダヒザラガイ		○				●	●
18		腹足綱	カサガイ目	ツタノハガイ科	ツタノハガイ			○				
19				ヨメガカサ科	ヨメガカサ	○	○	○	○	○		
20					オオベッコウガサ	○	○	○	○	○		
21					ベッコウガサ	○	○	○	○	○		
22				ユキノカサガイ科	リュウキュウウノアシ	○	○	○	○	○		
23					リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○		
24					リュウキュウシボリガイ	○	○	○	○	○		
25				古腹足目	サラサバイ科	サラサバイ	○					
26					サンショウスガイ科	サンショウスガイ	○					
27					ニシキウズ科	ニシキウズ	○	○	○	○		
28					ギンダカハマ	○				○		
29					カルマチグサ	○	○	○	○	○		
30					オキナワイシダミ	○	○	○	○	○		
31					ハナダタミ	○	○	○	○	○		
32					ヒメアワビ	○				○		
33					アシヤガマ		○					
34					クレナイアシヤガマ			○	○			
35					イロアセアシヤガマ		○					
36				サザエ科	コシダカサザエ			○				
37					カンギク	○	○	○	○			
38				ヒメカタバ科	リュウキュウヒメカタバ			○				
39				サンショウガイモドキ科	ヘソアキアシヤエビス				○			
40				ミミガイ科	イボアナゴウ	○			○			
41				スカシガイ科	スソキレガイ	○						
42					リュウキュウオトメガサ			○				
43					スソカケガイ	○						
44				アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	○	○	○	○	○		
45					コシダカアマガイ	○	○	○	○	○		
46					キバアマガイ	○	○	○	○	○		
47					フトスジアマガイ	○	○	○	○	○		
48					マルアマオブネ	○	○	○	○	○		
49					オオアマガイ	○			○	○		●
50					オオマルアマオブネ					○		
51					アマオブネガイ	○	○	○	○	○		
52					リュウキュウアマガイ	○	○	○	○	○		
53					ニシキアマオブネ	○	○	○	○	○		
54					スリツキアマガイ	○	○	○	○	○		
55					ウスベニツバサカノコ		○				●	●
56					ウコンアマガイ			○				
57					カノコガイ	○	○	○	○	○		
58					イシマキガイ			○				
59					レモンカノコ		○	○	○	○	●	●
60					ハナガスマカノコ	○	○	○	○	○		
61					クサイロカノコ	○	○	○	○	○	●	●
62					キンランカノコ	○				○	●	●
63					ウミヒメカノコ				○	○	●	●
64				フネアマガイ科	フネアマガイ			○	○	○		
65				チチカケガイ科	ハチジョウチチカケガイ	○	○	○	○	○		
66				オニノツノガイ科	オニノツノガイ				○			
67					コオニノツノガイ			○				
68					メオニノツノガイ				○			
69					キイロカニモリ		○					
70					ハシナガツノフエ	○	○	○	○	○		
71					コゲツノフエ	○	○	○	○	○	●	●
72					ヒメクワノミカニモリ			○				●
73					クリムシカニモリ	○	○	○	○			
74					ゴマフカニモリ	○	○	○	○	○		
75					クリフカニモリ							
76					カキノミカニモリ	○	○	○	○	○	●	●
77					ウミミナカニモリ							
78					クワノミカニモリ	○	○	○	○	○		
79					ヨコワカニモリ	○	○	○	○	○		
80					ノミカニモリ		○					
81				ウミニナ科	リュウキュウウミニナ	○	○	○	○	○		
82				ゴマフニナ科	ゴマフニナ	○	○	○	○	○		
83					ヨコスジタマキビモドキ	○				○		
84					トリデニナ	○						
85				キバウミニナ科	フトヘナタリ		○	○		○	●	●
86				タマキビ科	コビトウラウズガイ	○	○	○	○	○		
87					ホソスジウズラタマキビ	○	○	○	○	○		
88					コウダカタマキビ	○	○	○	○	○		
89					ウズラタマキビ	○	○	○	○	○		
90					ヒメウズラタマキビ	○	○	○	○	○		
91					タイワンタマキビ	○	○	○	○	○		
92					イボタマキビ	○	○	○	○	○		
93				イソコハクガイ科	ガタチンナン					○	●	●
94				シロネズミガイ科	マルシロネズミ	○					●	●
95				スズメガイ科	チリメンフウリンチドリ	○				○		
96				トンボガイ科	トンボガイ		○					
97				ソデボラ科	フトスジムカシタモト	○					●	●
98					ムカシタモト	○	○	○	○	○		
99					マカシタモト	○	○	○	○	○		
100				タカラガイ科	ハチジョウダカラ	○						

表-2.5.2.3(4) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種			
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
101	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	タカラガイ科	ヤクシマダカラ		○								
102					クチムラサキダカラ			○							
103					ホシキスタ		○								
104					ヤナギシボリダカラ			○							
105					ナツメモドキ		○	○	○		○	○			
106					ツマムラサキメダカラ							○			
107					カミスジダカラ							○			
108					スソヨツメダカラ		○								
109					コモシダカラ		○					○	○		
110					ハナヒラダカラ		○	○	○		○	○			
111					キイロダカラ		○	○			○	○			
112					ハナマルユキ		○								
113				タマガイ科	トミガイ							○			
114					ヘソアキトミガイ		○	○							
115					リスガイ								○		
116					ホウシュノタマ		○	○	○		○	○			
117					クチグロタマガイ			○	○						
118					アラゴマフダマ								○	●	
119					モクメダマ								○	●	
120				オキニシ科	イワカワウネボラ			○			○				
121				フジツガイ科	ミツカドボラ				○						
122					サツマボラ		○	○	○		○				
123					シロシノマキ			○	○		○	○			
124					シオボラ							○			
125					ホラガイ				○					●	
126				フトコロガイ科	フトコロガイ		○	○	○		○	○			
127					ムシエビ		○	○	○		○	○			
128					スイシマツムシ		○								
129				ムシロガイ科	イボヨフバイ							○			
130					マルカニノデムシロ			○	○						
131					アワムシロ		○				○	○			
132					アツムシロ		○	○	○		○	○			
133					ヒメヨフバイ				○						
134					シノミヨフバイ						○	○			
135					ミスジヨフバイ				○						
136					ヨフバイモドキ			○							
137					エソバイ科	ノシガイ		○	○	○		○	○		
138						スジグロホラダマシ		○							
139				ホラダマシ			○		○		○	○			
140				シマベッコウバイ			○	○	○		○	○			
141				イトマキボラ科	イトマキボラ		○					○			
142					ヒメイトマキボラ							○			
143					ベニマキガイ							○			
144				アッキガイ科	ガンゼキボラ						○	○			
145					ハブタエモロハボラ							○			
146					キナフレイシダマシ					○					
147					ウネレイシダマシ		○	○	○		○	○			
148					ゴマフヌカボラ		○	○			○				
149					コウシレイシダマシ								○		
150					コマドボラ				○						
151					レイシダマシ		○	○	○		○	○			
152					カタハリレイシダマシ		○								
153					ウネシロレイシダマシ		○	○	○		○	○			
154					ニッポンレイシダマシ										
155					クチムラサキレイシダマシ								○		
156					ハチジョウレイシダマシ								○		
157					キマダライガレイシ				○						
158					アカイガレイシ				○						
159					キイロイガレイシ				○	○					
160					ツノテツレイシ		○	○	○		○	○			
161					テツレイシ		○	○	○		○	○			
162					ハナワレイシ		○	○							
163					テツボラ				○				○		
164				ホソスジテツボラ				○							
165				ヨグレレイシダマシ		○				○	○				
166				チリメンカスレイシ		○	○	○		○	○				
167				クチムラサキサシゴヤドリ								○			
168				ヒトハサンゴヤドリ				○	○	○					
169				フデガイ科	チョウセンフデ			○							
170					オニキバフデ		○								
171					ベッコウフデ			○							
172					キバフデ		○								
173					ベニフデ		○								
174					ナガシマヤタテ		○	○	○		○	○			
175					ミダレシマヤタテ		○	○			○	○			
176					ロウイロヤタテ		○	○							
177					ツノイロチョウチンフデ		○	○	○						
178					イモフデガイ				○				○		
179				ミノムシガイ科	タケノコツクシ		○	○							
180					コンツクシ			○							
181					カバスジツクシ								○		
182					イトカケツクシ				○			○			
183					カンムリツクシ								○		
184					ハマヅト		○	○	○		○	○			
185					チヂミハマヅト			○							
186				トゲハマヅト		○		○		○	○				
187				クロオトメフデ											
188				ホタルガイ科	オオシマボタル類似種		○	○	○		○	○			
189				マクラガイ科	サツマビナ		○	○	○		○				
190					ジュドウマクラ						○				
191				イモガイ科	ナガサササミナシ						○				
192					アカシマミナシ				○				○		
193					ヒラマキイモ		○	○	○		○	○			
194					ヤナギシボリイモ		○	○							
195					コモシイモ		○	○	○		○	○			
196					ゴマフイモ		○	○	○		○	○			
197					ニシキミナシ		○								
198					サヤガタイモ		○		○						
199					ジュズカケサヤガタイモ		○				○				
200						マダライモ		○	○	○		○	○		

表-2.5.2.3(5) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種			
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
201	軟体動物門	腹足綱	新生腹足目	イモガイ科	ガクワイモ	○	○	○		○					
202					シロセイロンイモ	○	○		○						
203					ハルシヤガイ	○									
204					クロザメモドキ	○	○	○	○						
205					クロミナシ	○			○						
206					タガヤサンミナシ				○						
207					アンボンクロザメ	○		○	○	○					
208					クロフモドキ	○		○	○	○					
209					ロウソクガイ										
210					ナガシマイモ	○	○	○	○						
211					ニセイボシマイモ	○									
212					キヌカツギイモ	○			○						
213					マンジガイ科					○					
214					カゴコトツブ					○					
215					ツノクダマキ科								●	●	
216					クダマキガイ科								○		
217					クダボラ					○				●	
218					タケノコガイ科					○					
219					ホソシチクモドキ					○					
220					シチクガイ							○	○	●	●
221					シマタケ					○					
222				ゴバンタケ						○					
223				コアラトクサ					○	○	○	○			
224				カニモリタケ					○						
225				シュマダラギリ					○						
226				ムシロタケ					○	○	○				
227				オボロフタケ					○						
228				リュウキュウタケ							○				
229				キバタケ						○					
230				タケノコガイ							○				
231	キヌジニクタケ					○									
232	マキザサ						○								
233	低位異鰓目					○		○	○		●	●			
234	イボウミウシ科							○							
235	タテヒタイイボウミウシ							○							
236	キイロイボウミウシ					○									
237	コイボウミウシ								○						
238	タマゴイロイボウミウシ						○								
239	フジタウミウシ科					○									
240	リュウグウウミウシ														
241	ヨツスジミノウミウシ科								○						
242	ムカデミノウミウシ														
243	汎有肺目					○	○	○	○						
244	カラマツガイ科					○									
245	クロカラマツガイ					○									
246	チドリミドリガイ科					○	○								
247	ネコノミクチキレ					○									
248	アンバルクチキレ							○	○		●	●			
249	オカミガイ科					○	○	○	○		●	●			
250	クロヒラシイノミガイ					○									
251	ヘソアキコミガイ					○					●	●			
252	ツヤハマシイノミガイ					○		○	○						
253	スジハマシイノミガイ					○	○	○	○						
254	ホソハマシイノミガイ					○	○	○	○			●			
255	ハマシイノミガイ					○	○	○	○						
256	コクトウハマシイノミガイ					○	○	○	○						
257	フネガイ目					○	○	○	○						
258	フネガイ科					○									
259	フネガイ					○									
260	オオタカノハガイ					○									
261	エガイ					○	○	○	○	○					
262	オオカリガネエガイ					○	○	○	○						
263	カリガネエガイ					○	○	○	○						
264	オオミノエガイ					○	○	○							
265	ベニエガイ					○	○	○	○						
266	ハブタエエガイ							○							
267	コシロガイ								○						
268	リュウキュウサルボウ					○						●			
269	タマキガイ科					○						●			
270	ソメワケグリ					○	○	○	○						
271	イガイ目					○	○	○	○						
272	イガイ科					○	○	○	○						
273	ヒバリガイモドキ					○	○	○	○						
274	リュウキュウヒバリガイ					○	○	○	○						
275	ホソスジヒバリガイ						○	○			●	●			
276	クロシギノハシ					○									
277	ウグイスガイ目					○	○		○	○					
278	ウグイスガイ科					○									
279	ミドリアオリ					○									
280	アコヤガイ														
281	クロチョウガイ					○	○	○		○					
282	ニワトリガキ					○	○	○	○						
283	ヘリトリアオリ					○	○	○	○						
284	マクガイ					○	○	○	○						
285	シロアオリ					○			○	○					
286	カイシアオリ					○	○	○	○						
287	シュモクアオリ					○				○					
288	イタボガキ科					○	○	○	○						
289	ベッコウガキ科					○	○	○	○						
290	ハボウキガイ科							○							
291	イワカワハゴロモ														
292	クロタイラギ														
293	カグロウガイ					○	○	○							
294	ミノガイ目					○									
295	ミノガイ科					○									
296	ミノガイ					○									
297	オオユキミノ					○	○	○	○			●			
298	イタヤガイ目					○									
299	イタヤガイ科					○									
300	リュウキュウナデシコ					○									
301	シロスジナデシコ					○									
302	ウミギクモドキ					○	○	○	○						
303	ウミギク科					○									
304	メンガイ					○			○						
305	コシロトゲウミギク					○		○							
306	ミヒカリメンガイ					○									
307	ネズミノテ科								○						
308	カスリイシガキモドキ														
309	トマヤガイ目					○									
310	トマヤガイ科					○									
311	オキナガイ科							○			●	●			
312	ヒロクチソトオリガイ														
313	マルスダレガイ目					○									
314	ツキガイ科						○								
315	ウミアサガイ														
316	ヒメツキガイ					○	○	○	○						
317	ウメノハナガイ					○									
318	チヂミウメノハナ					○					●	●			
319	カブラツキガイ					○	○	○	○		●	●			
320	フタバシラガイ科					○	○	○			●	●			
321	Diplodonta sp. B					○									
322	キクサルガイ科					○	○	○	○						
323	ウナバラキサル														
324	ウロコガイ科					○									
325	ニッポンマメアゲマキ類似種					○									
326	オモナガシタリ					○	○	○	○						
327	チリハギガイ科					○					●	●			
328	ナタマメケボリガイ					○									

表-2.5.2.3(6) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種			
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
301	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	チリハギガイ科	キザミシタタリ	○									
302					セウケハチミツガイ		○	○	○	○	○	●	●		
303					ミガキシタタリ	○	○								
304					ユンタクシジミ		○						●	●	
305					ブンブクヤドリガイ科	スジホシムシヤドリガイ		○				○	●	●	
306					フナガタガイ科	フナガタガイ		○				○			
307					ザルガイ科	キヌザル		○							
308					ゴマフザル							○			
309					イレズミザル					○	○	○	●	●	
310					リュウキュウザル					○	○	○			
311					オオヒシガイ					○	○	○	○		
312					カワラガイ					○	○	○	○	●	●
313					オキナフヒシガイ					○	○	○	○	●	●
314					ハートガイ							○		●	●
315					キヌヒシガイ					○	○	○	○		
316					ボタンガイ					○	○	○	○		
317					シヤコガイ科	ヒメシヤコ				○	○	○	○		
318					ヒレシヤコ							○			
319					マルスダレガイ科	アラヌノメガイ					○				
320					スノメガイ						○				
321					カノコアサリ					○	○	○	○		
322					チリメンカノコアサリ						○				●
323					アラシゲマンガイ						○		○		
324					ホソスジイナミガイ					○	○	○	○		
325					イナミガイ						○	○			
326					ガンギハマグリ						○			●	●
327					イオウハマグリ						○			●	●
328					オミナエシハマグリ					○	○	○	○	●	●
329					サラサガイ							○			
330					ウラジロチャイロサラサ						○				
331					マルオミナエシ						○	○	○		
332					オイノカガミ					○	○	○	○	●	●
333					リュウキュウアサリ						○			●	●
334					ヒメアサリ					○	○	○	○		
335					スダレハマグリ					○		○		●	●
336					フキアゲアサリ							○			●
337					ハネマツカゼ							○			
338	ハナヤカワスレ						○								
339	フジイロハマグリ					○				●	●				
340	イワホリガイ科	セミアサリ						○							
341	ハナグモリ科	ハナグモリ				○		○		●	●				
342	フジノハナガイ科	リュウキュウナミノコ				○	○	○	○	●	●				
343	ニッコウガイ科	ヒノデガイの一種								●	●				
344	ヒメニッコウガイ					○	○		○		●				
345	トンガリペニガイ					○	○			●	●				
346	オオシマダイミョウ							○							
347	ヘラサギガイ					○	○		○	●	●				
348	ヒラセザクラ						○		○	●	●				
349	サメザラ						○		○						
350	リュウキュウシラトリ					○	○	○	○						
351	ナミノコザラ					○	○	○	○						
352	ウラキヒメザラ					○				●	●				
353	ミガキヒメザラ					○	○	○	○		●				
354	ミクニシボリザクラ					○				●	●				
355	ハスメザクラ						○	○		●	●				
356	トガリユウシオガイ					○	○	○		●	●				
357	リュウキュウザクラ					○	○	○		●	●				
358	ウスザクラ類種					○	○	○							
359	アサシガイ科	サメザラモドキ				○			○						
360	シオサザナミ科	サカライマスオ							○						
361	マスオガイ					○		○	○	●	●				
362	リュウキュウマスオ					○	○	○	○		●				
363	アシベマスオ					○	○	○	○		●				
364	マテガイ科	ダンダラマテガイ					○			●	●				
365	ボソバラマテガイ					○	○	○		●	●				
366	バカガイ科	タママキ				○	○	○	○						
367	リュウキュウバカガイ					○	○	○	○						
368	トウカイタママキ					○	○			●	●				
369	チドリマスオ科	イソハマグリ				○	○	○	○	●	●				
370	クチバガイ					○	○	○	○	●	●				
371	環形動物門	ゴカイ綱	サンバゴカイ目	ゴカイ科	カマドリゴカイ	○	○	○	○						
372					イソゴカイ			○							
373					スナイソゴカイ			○							
374					コケゴカイ			○							
375					ウミケムシ目	ウミケムシ科			○	○	○	○	○		
376					ケヤリムシ目	ケヤリムシ科									
377					カンザシゴカイ科	イバラカンザシゴカイ				○	○	○	○		
378					ユムシ動物門	ニ	キタユムシ目	キタユムシ科							
379					星口動物門	スジホシムシ綱	フクロホシムシ目	スジホシムシ科							●
380															●
381				マキガイホシムシ科	マキガイホシムシ				○						
382	サメハダホシムシ綱	サメハダホシムシ目	サメハダホシムシ科	シロスジホシムシ				○							
383	節足動物門	アゴアシ綱	有柄目	ヒメエボシガイ科	メナガオサガニハサミエボシ	○			○	●	●				
384				ミョウガイ科	カメノテ	○	○	○	○						
385				イワフジツボ科	ウチムラサキイワフジツボ	○	○	○	○						
386				クロフジツボ科	<i>Tetraclita kuroshioensis</i>	○									
387					ミナミクロフジツボ	○	○	○	○						
388				フジツボ科	タテジマフジツボ	○									
389					ヨーロッパフジツボ	○									
390					シロスジフジツボ	○	○	○	○						
391					ドロフジツボ		○								
392	軟甲綱	シヤコ目	フトユビシヤコ科	フトユビシヤコモドキ	○			○							
393				フトユビシヤコ		○	○								
394				トンガリフトユビシヤコ		○									
395				ハナシヤコ科	モンハナシヤコ					○					
396				ウニシヤコ科	ミツヤマトジョシヤコ				○	○	○	○			
397				ヒメシヤコ科	トゲヒメトラフシヤコ										
398					ヒメトラフシヤコ					○					
399					ミツツノヒメシヤコ				○	○	○	○			
400					シマトラフヒメシヤコ		○			○					

表-2.5.2.3(7) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季		
401	節足動物門	軟甲綱	シヤコ目	シヤコ科	<i>Leptosquilla schmelziji</i>	○	○	○				
402			エビ目	クルマエビ科	クルマエビ				○			
403					フトミゾエビ		○	○		○		
404					モエビ					○		
405				サクラエビ科	<i>Sicyronella inermis</i>		○		○		●	●
406				オトヒメエビ科	オトヒメエビ		○					
407				テナガエビ科	マイヒメエビ				○			
408					オオテナガエビ					○		●
409					スネナガエビ					○		
410					フトヒメエビ (ユビナガスジエビ)					○		
411					イソスジエビ		○					
412					イソギンチャクエビ				○			
413					シオダマリカクレエビ			○				
414					セイシエルヤドリエビ	○						
415					エンマカクレエビ			○				
416				テッポウエビ科	クレナイヤドカリテッポウエビ				○			
417					オトヒメテッポウエビ	○		○				
418					フタトゲテッポウエビ		○					
419					カスリテッポウエビ	○						
420					<i>Alpheus dispar</i>	○				○		
421					ゲツメンテッポウエビ				○			
422					エドワールテッポウエビ	○	○	○		○		
423					ツノナシテッポウエビ					○		
424					イソテッポウエビ	○	○	○	○	○		
425					ミドリアミメテッポウエビ	○						
426					マダラテッポウエビ	○	○	○	○	○		
427					アシボソテッポウエビ	○						
428					サブテッポウエビ	○	○					
429					サウギテッポウエビ	○		○	○	○		
430					フナフチテッポウエビ	○	○	○				
431					カワテッポウエビ		○	○	○	○		
432					モンツキテッポウエビ		○	○	○	○		
433					コマチテッポウエビ			○				
434					アシボソヨコシマムラサキエビ	○						
435				モエビ科	フシウデサンゴモエビ		○					
436				ツノメエビ科	ツノメエビ		○	○	○			
437				ロウソクエビ科	ロウソクエビ					○		
438				エビジャコ科	コソノエビジャコ	○		○				
439					ミナミエビジャコ	○		○				
440				アナエビ科	ヘンゲアナエビ				○	○		
441				スナモグリ科	ハルマンズナモグリ	○	○	○	○	○		
442					アビスナモグリ	○	○	○	○	○	●	●
443				エラガスナモグリ科	エラガスナモグリ	○	○	○	○	○		
444				オオスナモグリ	トゲスナモグリ		○				●	●
445					ミツトゲヤスナモグリ	○	○	○	○	○		
446					<i>Neocallichirus calmani</i>	○	○	○	○	○	●	●
447					<i>Neocallichirus jousseaumei</i>	○	○	○	○	○		
448				リュウグウスナモグリ科	オトヒメスナモグリ	○					●	●
449					ウラシマスナモグリ	○	○	○				
450				Strahlaxiidae	ヤハズアナエビ				○			
451				ハサミシヤコエビ科	ハサミシヤコエビ		○					
452				アナジャコ科	コブシアナジャコ	○	○	○		○	●	●
453				コシオリエビ科	ホクロコシオリエビ	○		○				
454				カニダマシ科	ミナミコブカニダマシ							
455					アジアアカハラ	○	○	○	○	○		
456					ミナミカニダマシ	○	○	○	○	○		
457					イソカニダマシ	○	○			○		
458					<i>Petrolisthes lamarckii</i>	○		○				
459					ケブカカニダマシ	○	○	○				
460					<i>Petrolisthes shanvingi</i>				○			
461					フサガカニダマシ	○						
462					<i>Petrolisthes inermis</i>	○	○	○	○			
463				クダヒゲガニ科	ヒメクダヒゲガニ	○	○	○	○	○		
464				オカヤドカリ科	オカヤドカリ	○	○	○	○	○	●	●
465					ムラサキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	●	●
466					ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	●	●
467					コムラサキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	●	●
468				ヤドカリ科	ユビワサンゴヤドカリ		○					
469					セグロサンゴヤドカリ		○			○		
470					スバスバサンゴヤドカリ	○	○	○	○	○		
471					ツマジロサンゴヤドカリ	○	○	○	○	○		
472					アカツメサンゴヤドカリ				○			
473					クリイロサンゴヤドカリ	○	○					
474					サンゴヨコバサミ	○	○	○	○	○		
475					ワカクサヨコバサミ		○	○	○	○	●	●
476					ツマキヨコバサミ	○	○	○	○	○		
477					イモガイヨコバサミ	○	○	○	○	○		
478					マダラヨコバサミ	○	○	○	○	○		
479					ツメナガヨコバサミ	○	○	○	○	○		
480					スネリウスヨコバサミ		○					
481					タテジマヨコバサミ	○	○	○	○	○		
482					アカボシヤドカリ		○					
483					カブトヤドカリ	○	○	○				
484					オイランヤドカリ	○	○	○	○			
485					コモンヤドカリ	○						
486					マルテツノヤドカリ		○	○	○	○	●	●
487					アンバルツノヤドカリ		○					
488					<i>Diogenes pallidescens</i>	○	○					
489				ホンヤドカリ科	ユビワヒメホンヤドカリ	○						
490					<i>Pagurixus haigae</i>			○				
491					オキナワホンヤドカリ	○						
492					ユビナガホンヤドカリ	○				○		
493				カイカムリ科	ミノカイカムリ	○						
494				カラッパ科	コブカラッパ		○					
495					ソデカラッパ	○	○	○	○	○		
496				キンセンガニ科	コモンガニ	○	○	○	○	○		
497					ゴウシュウコモンガニ			○				
498					キンセンガニ		○					
499				メガネオウギガニ科	メガネオウギガニ	○		○		○		
500				イワオウギガニ科	イボイワオウギガニ	○						

表-2.5.2.3(8) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種		
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季				
501	節足動物門	軟甲綱	エビ目	イワオウギガニ科	ヒメイワオウギガニ	○	○	○	○					
502					イワオウギガニ	○	○	○	○	○				
503				イソオウギガニ科	シワセビロガニ			○	○	○				
504					セビロオウギガニ	○	○	○	○	○				
505					キバオウギガニ	○	○	○	○	○				
506					イソオウギガニ	○	○	○	○	○				
507				ヤワラガニ科	ハジカサーヒメソバガラガニ	○	○							
508					ツノダシヤワラガニ	○								
509					オキナワヤワラガニ	○					○		●	
510				コブシガニ科	シワカルイシコブシ	○		○						
511					マンガルマメコブシガニ		○					●	●	
512					アマミマメコブシガニ		○		○		○	●	●	
513					クルミコブシ	○	○							
514					ヒラテコブシガニ	○						○		
515					フタメコブシ	○						○		
516					イリオモテマメコブシガニ	○		○	○			●	●	
517					サガミコブシ	○		○						
518				モガニ科	コノハガニ		○		○					
519					イッカクガニ	○	○	○	○	○				
520				クモガニ科	モクスジョイ					○				
521					クビナシアケウス	○								
522				ケアシガニ科	ノコギリガニ					○				
523					ヒラワタズガニ	○	○	○	○					
524					イソクスガニ	○		○						
525				イトアシガニ科	テナガイトアシガニ	○								
526				ヒシガニ科	クビナシヒシガニ		○							
527				ケブカガニ科	シナカイイボテガニ		○		○					
528					<i>Aniptunus vietnamicus</i>			○						
529					マルミトラノオガニ				○			○		
530					メイロケブカガニ					○		○		
531					ミナミトラノオガニ			○						
532					ニューカレドニアケブカガニ	○				○				
533					トラノオガニダマシ	○	○	○	○	○				
534					<i>Pilumnus turgidulus</i> 類似種							○		
535					ケブカガニ	○	○	○	○	○				
536					アミメノコギリガザミ	○	○	○	○	○				
537					サメハダヒメガザミ	○	○	○	○	○				
538					タイワンガザミ	○	○	○	○	○				
539					ジャノメガザミ		○							
540					ツノナシイボガザミ		○	○	○	○			●	●
541					ツノヒメガザミ		○							
542				オオメテナガヒメガザミ		○								
543				シマアシシガニ	○									
544				フタバベニツケモドキ	○	○	○	○	○					
545				チャップタルベニツケガニ	○				○					
546				ヒメフタバベニツケガニ	○	○	○	○	○					
547				ヒメベニツケガニ		○	○							
548				ゴウシュウベニツケガニ							○			
549				ミナミベニツケガニ		○	○	○	○					
550				ミナミベニツケモドキ	○	○	○	○	○					
551				ミスジベニツケガニ	○	○								
552				ヒメイソオウギガニ科	ヒメイソオウギガニ	○	○	○	○					
553				ドメシアガニ科	ドメシアガニ	○								
554				サンゴガニ科	オオアカホシサンゴガニ	○	○							
555				オウギガニ科	アラゲアワツブガニ						○			
556					ピロードアワツブガニ	○	○					○		
557					ケフサテナガオウギガニ	○				○				
558					ナギテナガオウギガニ	○	○							
559					ヒメテナガオウギガニ	○				○				
560					ヒメヒツメオウギガニ					○				
561					ヒツメオウギガニ	○	○	○						
562					キモガニ	○								
563					ヒメヒツメガニモドキ	○			○	○		○		
564					デマンヒツメガニ				○			○		
565					ヒメヒツメガニ	○	○	○	○	○				
566					ヒツメガニ		○					○		
567					シワゴイシガニ	○	○			○				
568					オウギガニ	○	○	○	○	○		○		
569					コオウギガニ	○	○	○	○	○		○		
570					ダーナオウギガニ	○	○	○	○	○		○		
571					ムツハオウギガニ	○	○	○	○	○		○		
572					キエヤマトゲオウギガニ	○		○						
573					ムラサキチリメンガニ	○								
574					ヒメベニオウギガニ	○		○						
575					ムラサキベニオウギガニ		○							
576					ヒメキンチャクガニ	○								
577					アルフォンシワオウギガニ			○						
578					ゴイシガニ					○				
579					<i>Palapedia marquesa</i>					○				
580					ヨコスゴイシガニ			○	○	○		○		
581					ヒメオウギガニ	○	○	○	○	○				
582					ツブトゲオウギガニ	○		○						
583					トゲオウギガニ	○	○	○	○	○				
584					エリアシアワツブガニ	○	○							
585				テナガヒツメガニ					○					
586				エリアシオウギガニ					○					
587				グアムエリアシオウギガニ					○		○			
588				オカガニ科	ギエヤマヒメオカガニ	○	○	○	○				●	
589				イワガニ科	オオカクレイワガニ	○	○	○						
590					カクレイワガニ		○							
591					ミナミイワガニ	○	○	○	○	○				
592					オオイワガニ	○	○	○	○	○				
593					ツブイワガニ	○								
594					ヒルギハシリイワガニ			○	○					
595					ハシリイワガニモドキ	○	○	○	○	○				
596					ヒメイワガニ					○				
597					イダテシイワガニ	○	○	○	○	○				
598					コイワガニ	○	○	○	○	○				
599				ショウジンガニ科	ショウジンガニ						○			
600					ツブイボショウジンガニ						○			

表-2.5.2.3(9) インベントリー調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種					
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季							
601	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ショウジンガニ科	イボショウジンガニ	○	○										
602				トゲアシガニ科	<i>Percon planissimum</i>	○	○		○								
603				パンケイガニ科	フジテガニ	○	○	○	○	○		●	●				
604					キノボリパンケイガニ		○										
605					イワトビパンケイガニ		○			○	○		●	●			
606					クチキヒメパンケイガニ	○	○	○			○						
607					ヒメパンケイガニ	○	○										
608					ケブカパンケイガニ	○	○			○	○						
609					パンケイガニ		○	○	○				●	●			
610					フタバカクガニ	○	○	○	○	○							
611					カクパンケイガニ	○	○	○	○	○	○						
612					ユビアカパンケイガニ	○	○	○	○	○			●	●			
613					モクズガニ科	ミナミアカイソガニ	○	○	○	○	○						
614						ヒライソガニ	○	○	○	○	○						
615				オキナフヒライソガニ		○	○	○	○	○			●	●			
616				ヒメイワガニモドキ			○	○	○								
617				コウナガイワガニモドキ		○	○			○	○			●			
618				ミナミアシハラガニ		○	○	○	○	○			●	●			
619				ケフサヒライソモドキ		○	○	○	○	○							
620				ヒメヒライソモドキ		○	○	○	○	○			●	●			
621				タイワンヒライソモドキ		○	○	○	○	○			●	●			
622				ヨツハヒライソモドキ		○	○	○	○	○			●	●			
623				ヒライソモドキ属D		○	○	○	○	○							
624				レンゲガニ			○			○			●	●			
625				ミナミヒライソモドキ		○	○	○	○	○			●	●			
626				ヒラモクズガニ								○		●			
627				オオヒライソガニ		○											
628				ムツハリアケガニ科		カワスナガニ	○	○	○				●	●			
629						ハサミカクレガニ						○		●	●		
630				コムツキガニ科		リュウキュウコムツキガニ	○	○	○	○	○						
631					ツノメチゴガニ	○	○	○	○	○							
632				オサガニ科	ヒメカクオサガニ	○	○	○	○	○			●	●			
633					タイワンヒメオサガニ			○					●	●			
634					ミナミオサガニ	○	○	○									
635					フタハオサガニ	○	○	○		○	○						
636					ミナミメナガオサガニ	○	○	○		○	○						
637					ミナミコムツキガニ科	○	○	○	○	○							
638				スナガニ科	ツノメガニ	○	○	○	○	○							
639					ナンヨウスナガニ	○	○	○	○	○							
640					オキナフハクセンシオマネキ	○	○	○	○								
641					ルリマダラシオマネキ	○	○	○	○				●				
642					ヒメシオマネキ	○	○	○	○	○							
643					カクレガニ科	クロビノ	○	○	○	○							
644				棘皮動物門	ウミユリ綱	ウミシダ目	クシウミシダ科	クラアクウミシダ	○								
645						ヒトデ綱	アカヒトデ目	コブヒトデ科	コブヒトデ	○	○						
646							ホウキボシ科	アミメジユズベリヒトデ		○			○				
647						ルソンヒトデ目	ルソンヒトデ科	ルソンヒトデ		○	○	○	○				
648					クモヒトデ綱	クモヒトデ目	トゲクモヒトデ科	ウデナガクモヒトデ	○	○		○	○				
649							フサクモヒトデ科	ゴマフクモヒトデ		○	○						
650								クロクモヒトデ					○				
651								ホニクモヒトデ				○					
652								オハグロクモヒトデ		○	○			○			
653					ウニ綱	ガンガゼ目	ガンガゼ科	アオスジガンガゼ	○	○	○	○	○				
654								トックリガンガゼモドキ	○	○	○						
655						ホンウニ目	ラッパウニ科	シラヒゲウニ		○		○					
656								ナガウニ科	ホンナガウニ	○	○	○	○	○			
657								ツマジロナガウニ	○	○	○	○	○	○			
658								ミナミタワシウニ	○	○	○	○	○				
659						タコノマクラ目	カシパン科	ミナミヨツアナカシパン	○	○	○	○	○				
660						プンプク目	オオプンプク科	オオプンプク						○			
661				ヘンゲプンプク科				ウリザネプンプク						○			
662				ナマコ綱		楯手目	クロナマコ科	フタスジナマコ		○							
663					クロナマコ			○	○	○	○						
664	モグラクロナマコ		○						○								
665	イシナマコ		○														
666		無足目	クルマナマコ科	ムラサキクルマナマコ	○	○	○	○	○								
667	脊索動物門	ホヤ綱	マメボヤ目	ウスボヤ科	チャツボボヤ	○	○	○									
668				ワングボヤ科	ワングツボヤ		○				○						
669			マボヤ目	シロボヤ科	ミナミシロボヤ	○					○						
670				モモイロボヤ			○										
671				マボヤ科	ミナミカラスボヤ	○	○	○	○	○							
出現種類数						405	398	353	328	352	92	105					

## (2) 底生動物調査（定量的調査）

### 1) 調査結果の概要

調査結果の概要を表-2.5.2.4に示します。

各調査時期における出現種類数は49～85種類、平均出現種類数は16～29種類、平均個体数は45～82個体/0.1m<sup>2</sup>、平均湿重量は1.66～13.87g/0.1m<sup>2</sup>でした。

主な出現種は、シリス亜科、*Pista*属、*Eunice*属などでした。

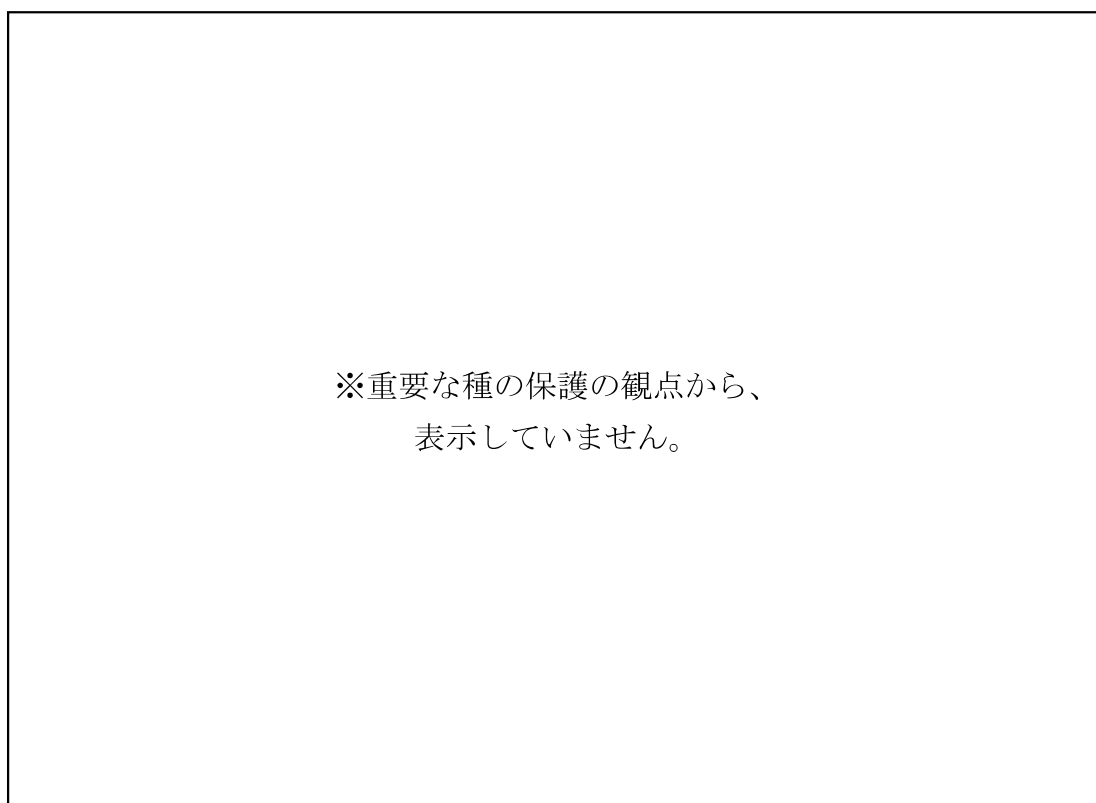


図-2.5.2.2 底生動物調査の調査地点

表-2.5.2.4 底生動物調査 結果概要

項目	令和6年度				
	春季 令和6年5月8,9日	夏季 令和6年8月26,27日	台風後 令和6年9月24,25日	秋季 令和6年10月21,22日	冬季 令和7年2月12,13日
調査年度	令和6年度				
調査時期	令和6年度				
調査地点数	4	4	4	4	4
出現種類数	85	58	58	49	55
平均出現種類数	29 (20 ~ 36)	20 (10 ~ 29)	20 (8 ~ 36)	16 (11 ~ 26)	19 (6 ~ 28)
平均個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )	82 (53 ~ 144)	48 (21 ~ 79)	45 (9 ~ 87)	48 (17 ~ 106)	47 (7 ~ 91)
平均湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )	1.66 (0.28 ~ 5.25)	4.31 (0.06 ~ 16.10)	13.87 (0.93 ~ 23.81)	2.03 (0.24 ~ 5.25)	3.53 (0.20 ~ 6.85)
軟体動物門	11.7	9.8	12.2	8.9	6.9
環形動物門	49.4	66.8	66.3	73.7	71.8
節足動物門	31.3	12.4	9.4	4.2	12.8
その他	7.7	10.9	12.2	13.2	8.5
主な出現種の平均個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )	<i>Pista</i> 属 12 <i>Eunice</i> 属 10 Corophiinae 7	<i>Pista</i> 属 8 シリス亜科 6 <i>Eunice</i> 属 4	シリス亜科 9 <i>Pista</i> 属 6	シリス亜科 16 <i>Eunice</i> 属 6 線形動物門 4	<i>Pista</i> 属 8 <i>Eunice</i> 属 5 <i>Myriochele</i> 属 4 シリス亜科 3 <i>Armandia</i> 属 3
( ) 内は組成比%	(15.0) (11.7) (8.9)	(16.1) (13.0) (7.8)	(18.8) (13.8)	(33.7) (13.2) (7.9)	(17.0) (11.2) (9.0) (6.9) (6.9)

注) 1. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均(最小値~最大値)を示します。  
 2. 個体数組成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100とはならない場合があります。  
 3. 主な出現種には、平均個体数の組成比で5%以上の上位5種を示します。

## 2) 出現種

総出現種リストを表-2.5.2.5 に示します。

出現したマクロベントスは、種まで同定されなかったものも含めて 159 種類が記録され、このうち環形動物門（54 種類）が最も多く、次いで節足動物門（45 種類）及び軟体動物門（44 種類）が多くみられました。

表-2.5.2.5(1) 底生動物調査 総出現種リスト

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季		
1	有孔虫門	有孔虫綱	有孔虫目	ソリテス科	<i>Ampisorus heprichii</i>	○						
2	海綿動物門	普通海綿綱	カタカイメン目	タマカイメン科	タマカイメン科	○						
3	刺胞動物門	花虫綱	ハナギンチャク目	ハナギンチャク科	ハナギンチャク科		○					
4			イソギンチャク目	ムシモドキギンチャク科	ムシモドキギンチャク科			○				
5					イソギンチャク目	○	○	○	○	○		
6	扁形動物門	渦虫綱	ヒラムシ目		ヒラムシ目	○			○	○		
7	紐形動物門				紐形動物門	○	○	○	○	○		
8	環形動物門				環形動物門	○		○	○	○		
9	軟体動物門	多板綱	サメハダヒザラガイ目	サメハダヒザラガイ科	シリプトヒザラガイ	○			○	○		
10			クサズリガイ目	ウスヒザラガイ科	ウスヒザラガイ科	○			○			
11				ヒゲヒザラガイ科	ヒゲヒザラガイ科	○						
12				ケハダヒザラガイ科	ケハダヒザラガイ科		○	○				
13		腹足綱	カサガイ目	ユキノカサガイ科	ユキノカサガイ科	○						
14			古腹足目	ニシキウズ科	ヒメアワビ	○						
15					アシヤガマ	○						
16					クレナイアシヤガマ					○		
17					アシヤガマ属	○						
18					ニシキウズ科		○					
19			新生腹足目	ソデボラ科	マガキガイ		○					
20				タマガイ科	シロハソアキトミガイ					○		
21					ミダレシマタマ					○		
22				ムシロガイ科	アワムシロ					○		
23				ミノムシガイ科	ハマツト					○		
24				マクラガイ科	<i>Oliva</i> 属					○		
25				イモガイ科	コモンイモ					○		
26					ゴマフイモ					○		
27				タケノコガイ科	ムシロタケ					○		
28			裸貝目		裸貝目	○						
29			真後鰓目	キセウタガイ科	キセウタガイ科		○					
30				ブドウガイ科	カイコガイ		○	○				
31					ブドウガイ科		○					
32		掘足綱	ツノガイ目	サケツノガイ科	サケツノガイ	○				○		
33					掘足綱					○		
34		二枚貝綱	フネガイ目	タマキガイ科	ソメワケグリ	○		○	○			●
35			イガイ目	イガイ科	ヒバリガイ属	○						●
36					サザナミマクラ	○	○	○	○			●
37			ウグイスガイ目	ハボウキガイ科	ハボウキガイ科	○						
38			ミノガイ目	ミノガイ科	ユキミノ属	○						
39			マルスダレガイ目	フタバシラガイ科	フタバシラガイ科	○	○					
40				ウロコガイ科	ウロコガイ科					○		
41				ザルガイ科	オオヒシガイ			○		○		
42					オキナウヒシガイ					○		●
43					オオヒシガイ属	○						●
44					キスヒシガイ					○		
45					ボタンガイ					○		
46				マルスダレガイ科	カノコアサリ			○				
47					オイノカガミ	○						●
48				ニッコウガイ科	リュウキユウサラガイ			○				●
49					コニッコウガイ			○				●
50					ヒラセザクラ	○	○	○				●
51					ミガキヒメザラ	○						●
52					ミクニシボリザクラ	○		○	○	○		●
53	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ノラリウロコムシ科	<i>Euthalenessa</i> 属	○	○	○	○			
54					ノラリウロコムシ科				○			
55				サシバゴカイ科	<i>Phylodoce</i> 属	○	○	○	○			
56					サシバゴカイ科	○	○	○	○			
57				チロリ科	<i>Glyceria</i> 属	○	○			○		
58				ニカイチロリ科	<i>Goniada</i> 属	○						
59				オトヒメゴカイ科	オトヒメゴカイ科	○		○				
60				カギゴカイ科	<i>Synelmis</i> 属	○	○					
61				シリス科	シリス亜科	○	○	○	○			
62				ゴカイ科	フタマタゴカイ	○						
63					<i>Ceratonereis</i> 属	○	○	○	○	○		
64					クマドリゴカイ	○						
65					ゴカイ科					○		
66				シロガネゴカイ科	コノハシロガネゴカイ	○	○	○	○	○		
67					ミナミノシロガネゴカイ	○	○	○	○	○		
68			ウミケムシ目	ウミケムシ科	<i>Linopherus</i> 属	○				○		
69			イソメ目	ナナテイスメ科	<i>Diopatra</i> 属	○	○	○	○			
70					ナナテイスメ科	○	○	○	○			
71				イソメ科	<i>Eunice</i> 属	○	○	○	○	○		
72					<i>Lysidice</i> 属					○		
73					<i>Nematoneis</i> 属			○	○	○		
74				ギボシイソメ科	<i>Lumbrineris</i> 属	○		○				
75					<i>Lumbrineris</i> 属	○	○		○			
76				ノリコイソメ科	<i>Dorvillea</i> 属	○						
77			ホコサキゴカイ目	ホコサキゴカイ科	<i>Scoloplos</i> 属		○					
78				ヒメエラゴカイ科	コンボウヒメエラゴカイ		○					
79					ヒメエラゴカイ科	○						
80			スピオ目	スピオ科	ケンサキスピオ	○		○				
81					ソチナガスピオ	○	○					
82					エリタテスピオ	○						
83					<i>Pseudopolydora</i> 属	○			○	○		
84					<i>Scolecopsis</i> 属	○			○	○		
85					<i>Spio</i> 属	○			○	○		
86				ミズヒキゴカイ科	<i>Cauterella</i> 属					○		
87					<i>Cirriformia</i> 属					○		
88					ミズヒキゴカイ科					○		
89			イトゴカイ目	イトゴカイ科	イトゴカイ属	○	○					
90					<i>Leiochrides</i> 属				○			
91					<i>Mediomastus</i> 属	○	○	○				
92					<i>Notomastus</i> 属	○				○		
93					イトゴカイ科					○		
94				タケフシゴカイ科	タケフシゴカイ科	○	○	○	○			
95			オフエリアゴカイ目	オフエリアゴカイ科	<i>Armandia</i> 属	○	○	○	○	○		
96					<i>Polyvonthalmus</i> 属					○		
97			チマキゴカイ目	チマキゴカイ科	<i>Mriochela</i> 属	○	○	○	○			
98			フサゴカイ目	フサゴカイ科	<i>Lysilla</i> 属	○						
99					<i>Nicolea</i> 属					○		
100					<i>Pista</i> 属					○		

表-2.5.2.5(2) 底生動物調査 総出現種リスト

No.	門	綱	目	科	和名	令和6年度					重要な種	移動対象種
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季		
101	環形動物門	ゴカイ綱	フサゴカイ目	フサゴカイ科	フサゴカイ科	○	○	○	○	○		
102				カザリゴカイ科	<i>Amphictelis</i> 属		○					
103			ケヤリムシ目	ケヤリムシ科	コクビワケヤリムシ属					○		
104					ムラクモケヤリムシ属			○				
105					オオメケヤリムシ属	○						
106					ケヤリムシ科	○	○	○	○	○		
107	星口動物門	サメハダホシムシ綱	サメハダホシムシ目	サメハダホシムシ科	イトクズホシムシ属			○				
108					星口動物門		○	○				
109	節足動物門	カイムシ綱	ウミホタル目	ウミホタル科	ウミホタル科		○	○		○		
110		軟甲綱	ジャコ目	ヒメジャコ科	トーマスヒメジャコ					○		
111			ヨコエビ目	スガメソコエビ科	スガメソコエビ属	○						
112					ニッポンスガメ	○	○		○			
113				ヒゲナガヨコエビ科	ヒゲナガヨコエビ属					○		
114				ユンボソコエビ科	<i>Lembos</i> 属	○						
115					ユンボソコエビ科					○		
116				ドロクダムシ科	<i>Coronhiinae</i>	○			○			
117					ハイハイドロクダムシ属					○		
118				カマギリヨコエビ科	カマギリヨコエビ科					○		
119				トゲヨコエビ科	トゲヨコエビ属	○						
120				フトヒゲソコエビ科	フトヒゲソコエビ科					○		
121				スナナリヨコエビ科	イソヨコエビ属	○						
122					スナナリヨコエビ属	○			○			
123					スナナリヨコエビ科		○	○		○		
124				メリタヨコエビ科	メリタヨコエビ科	○						
125				クチバシソコエビ科	サンバクソコエビ属	○				○		
126				ヒサシソコエビ科	ヒサシソコエビ科		○					
127				マルソコエビ科	マルソコエビ属	○	○	○	○	○		
128					ヨコエビ亜目	○						
129			ワラジムシ目	ウミナナフシ科	ウミナナフシ科	○						
130				スナホリムシ科	ナギサスナホリムシ属	○	○	○		○		
131					スナホリムシ科	○						
132				コツブムシ科	オナガコツブムシ属	○						
133					シリケンウミセミ属	○			○			
134			タナイス目	ホソツメタナイス科	ホソツメタナイス科	○		○		○		
135			クマ目	ナギサクマ科	ナギサクマ科	○						
136				ナンノクマ科	ナンノクマ科				○			
137			エビ目	オキエビ科	ソコエビ属		○					
138				テナガエビ科	テナガエビ科		○					
139				テッポウエビ科	テッポウエビ属	○	○	○				
140				ロウソクエビ科	<i>Processa</i> 属	○						
141				スナモグリ科	スナモグリ科					○		
142				ヤドカリ科	ツノヤドカリ属	○	○			○		
143					ヤドカリ科					○		
144				ホンヤドカリ科	ホンヤドカリ科	○	○	○	○	○		
145				カラッパ科	ソデカラッパ			○				
146				コブシガニ科	<i>Ethalia woodmasoni</i>	○		○				
147					クルマコブシ			○				
148				ワタリガニ科	オオメテナガヒメガザミ	○						
149					マルハテナガヒメガザミ				○			
150					フタハベニツケモドキ		○					
151					ヒメフタハベニツケガニ			○				
152				オウギガニ科	ヒツメガニ	○						
153					オウギガニ科					○		
154	環虫動物門	-	ホウキムシ目	ホウキムシ科	<i>Phoronis</i> 属		○			○		
155	棘皮動物門	クモヒトデ綱	-	-	クモヒトデ綱	○	○			○		
156		ウニ綱	タコノマクラ目	マメウニ科	コメツブウニ		○					
157	脊索動物門	ホヤ綱	マメボヤ目	ナツメボヤ科	ナツメボヤ科					○		
158			マボヤ目	フクロボヤ科	フクロボヤ科				○			
159		ナメクジウオ綱	ナメクジウオ目	ナメクジウオ科	オナガナメクジウオ		○	○				
出現種数						85	58	58	49	55	6	9

### (3) 潮間帯生物調査（定量的調査）

#### 1) 調査結果の概要

目視観察における地形・底質の状況と主な出現種の出現状況を図-2.5.2.4 に、刈り取り、堆積物採取の調査結果の概要を表-2.5.2.6 に示します。

底生動物の移動先近傍である L-潮 4 は大浦湾西側に位置し、調査測線は陸側に急傾斜の岩盤があり、それ以降は巨礫からなる比較的平坦な地形でした。

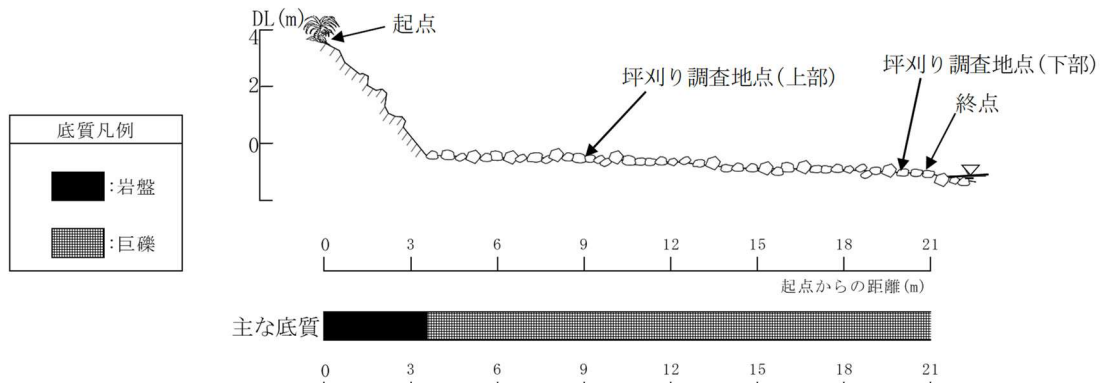
目視観察では、令和 6 年度春季から冬季にかけて、急斜面の岩盤の部分には生物はほとんどみられず、平坦な地形の部分には、植物では藍藻綱やサビ亜科（無節サンゴモ類）などが、動物ではアマオブネガイやイソカニダマシなどがみられました。

刈り取り、堆積物採取調査では、出現種類数においては、植物は 10～17 種類、動物は 22～42 種類でした。平均出現種類数においては、植物は 6～9 種類、動物は 12～22 種類でした。平均湿重量においては、植物は 0.03～0.76g/0.09m<sup>2</sup>、動物は 21.15～39.29g/0.09m<sup>2</sup> でした。平均個体数においては、動物は 58～150 個体/0.09 m<sup>2</sup> でした。

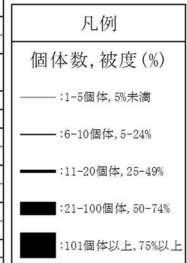
主な出現種としては、植物ではハイテングサ、ソゾ属などが、動物ではアマオブネガイ、コウダカカラマツ属などがみられました。



図-2.5.2.3 潮間帯生物調査の調査地点



調査 期日	分類	和名	
令和6年度 春季	植物	藍藻綱	-----
		サビ亜科(無節サンゴモ類)	-----
		アオサ属	-----
	動物	アマオブネガイ	-----
		イソカニダマシ	-----
		ミナミカニダマシ	-----
令和6年度 夏季	植物	藍藻綱	-----
		サビ亜科(無節サンゴモ類)	-----
		イソダンツウ	-----
	動物	アマオブネガイ	-----
		イソカニダマシ	-----
		コガモガサ	-----
令和6年度 台風後	植物	サビ亜科(無節サンゴモ類)	-----
		藍藻綱	-----
		ハイテングサ	-----
	動物	アマオブネガイ	-----
		イソカニダマシ	-----
		ミナミカニダマシ	-----
令和6年度 秋季	植物	ユレモ科	-----
		藍藻綱	-----
		サビ亜科(無節サンゴモ類)	-----
	動物	アマオブネガイ	-----
		コガモガサ	-----
		イソカニダマシ	-----
令和6年度 冬季	植物	藍藻綱	-----
		アオノリ属	-----
		サンゴモ科(無節サンゴモ類)	-----
	動物	アマオブネガイ	-----
		イソカニダマシ	-----
		シマベッコウバイ	-----



- 注) 1. 植物の主な出現種は、複数の地点で確認された種のうち、出現頻度の高い上位3種を選定し図示しました。なお、重複種が出た場合は、出現被度の高い種を選定しました。  
 2. 動物の主な出現種は、出現頻度の高い上位3種を選定し図示しました。なお、重複種が出た場合は、出現個体数の多い種を選定しました。  
 3. 植物は被度で、動物は個体数で示しました。

図-2.5.2.4 潮間帯生物調査 目視観察 地形・底質の状況と主な出現種の出現状況 (L-潮4)

表-2.5.2.6 潮間帯生物調査 刈り取り、堆積物採取 結果概要

調査年度 調査時期	令和6年度				
	春季 令和6年4月25日	夏季 令和6年8月23日	台風後 令和6年10月4日	秋季 令和6年10月29日	冬季 令和7年2月17日
出現種類数	11	10	16	16	17
平均出現種類数	(1)	(1)	(3)	(0)	(3)
平均履重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	0.76	0.07	0.10	0.03	0.65
主な出現種の 平均履重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	(0.22)	(0.00)	(0.03)	(0.00)	(0.31)
( ) 内は 組成比%	アイミドリ 0.46 ハイコナハダ 0.13 ユレモ科 0.11 ソゾ属 0.04	ハイテングサ 0.05 ヒガモ属 0.01 藍藻綱 0.01 イソダンツウ 0.01	ヒガモ属 0.04 ユレモ目 0.02 ハイテングサ 0.02 イバラノリ属 0.02 ヤナギノリ属 0.01 ヒメゴケ属 0.01 アオモグサ 0.01	ハイテングサ 0.03 (100.0)	ヒトエグサ 0.50 ソゾ属 0.06 ハイテングサ 0.05
植物					
出現種類数	31	22	42	28	37
平均出現種類数	(9)	(7)	(10)	(12)	(13)
平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	69	60	150	65	58
平均履重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	28.80	21.15	39.29	25.69	37.90
主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	(16.01)	(19.04)	(36.21)	(11.20)	(9.90)
( ) 内は 組成比%	ミナミタテホシムシ 11 イソヨコエビ属 8 アマオブネガイ 7 ヒメケハダヒザラガイ 6 ネツタイサメハダホシムシ 5	コウダカカラマツ属 17 アマオブネガイ 11 シマベッコウバイ 6 リュウキユウアオガイ 4 リトウイワフジツボ 3	コウダカカラマツ属 26 ミナミタテホシムシ 23 ゴカイ科 12 アマオブネガイ 11 シリス亜科 11	コウダカカラマツ属 17 アマオブネガイ 8 ドロココエビ属 6 ゴカイ科 5 ミナミタテホシムシ 5	アマオブネガイ 11 コウダカカラマツ属 6 メリタヨココエビ属 5 スナイソゴカイ 4 Mereis属 4
動物					

注) 1. 表中の平均は、測線に設けた2枠の平均値を示します。また、平均出現種類数、平均個体数及び平均履重量欄には、調査地点平均(最小値～最大値)を示します。

2. 主な出現種には、植物は平均履重量、動物は平均個体数の組成比で5%以上の上位5種を示します。

2) 出現種

目視観察及び刈り取り、堆積物採取における潮間帯生物の出現種リストを表-2.5.2.7に示します。

種まで同定されなかったものも含めて、植物は40種類が記録され、このうち紅色植物門(16種類)が最も多くみられました。動物は141種類が記録され、軟体動物門(70種類)が最も多く、次いで節足動物門(50種類)が多くみられました。

表-2.5.2.7(1) 潮間帯生物調査 総出現種リスト (植物)

No.	門	綱	目	科	和名	採刈り、堆積物採取					目視観察					重要な種	移動対象種	
						令和6年度					令和6年度							
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季			
1	藍色植物門	藍藻綱	ネンジュモ目	ヒゲモ科	イワソメアイモ		○	○	○			○	○	○	○			
2					ヒゲモ属		○	○	○		○	○	○	○				
3					ヒゲモ科		○	○										
4			エレモ目	エレモ科	エレモ科		○				○	○	○	○	○			
5					スチゴネマ科		○	○			○	○	○					
6					エレモ目			○	○									
7					藍藻綱			○	○			○	○	○	○			
8	紅色植物門	紅藻綱	ウミノウメ目	カサマツ科		○											●	
9				コナハダ科	コナハダ属													
10			サンゴモ目	ハバリデウム科	サビ亜科(無節サンゴモ類)		○		○		○	○	○	○	○	○		
11			テングサ目	テングサ科	ハイテングサ		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
12			パニマダラ目	パニマダラ科	パニマダラ						○	○	○	○	○			
13			スギノリ目	イソモツカ科	イソダンツウ		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
14					スギノリ科	カイノリ		○		○	○							
15					イバラノリ科	イバラノリ属				○		○						
16			イギス目	イワノカワ科	イワノカワ科			○			○	○	○	○	○			
17					イギス科	トゲイギス						○	○					
18						イギス属						○	○					
19					フジマツモ科	ヤナギノリ属				○	○							
20						クモノスヒメゴケ						○						
21						ヒメゴケ属					○							
22						ソブ属		○										
23						フジマツモ科			○	○	○		○	○	○	○		
24			不等毛植物門	褐藻綱	シオミドロ目	シオミドロ科	シオミドロ科					○						
25					イソガラ目	イソガラ科	イソガラ科		○	○			○	○				
26					クロガシラ目	クロガシラ科	クロガシラ属		○		○	○	○	○	○			
27					アミジグサ目	アミジグサ科	ハイオオギ						○	○	○	○		
28	ウミウチワ属										○	○	○	○				
29	カヤモノリ目	カヤモノリ科			セイヨウハバノリ						○							
30			セイヨウハバノリ属						○	○	○	○						
31	緑色植物門	緑藻綱	アオサ目	ヒトエグサ科	ヒトエグサ													
32					ヒトエグサ科													
33				アオサ科	アオサ属		○		○	○		○	○	○	○			
34			シオグサ目	シオグサ科	ジュズモ属					○								
35					シオグサ属				○	○	○							
36			ミドリゲ目	アオモグサ科	アオモグサ										○			
37					マカタマモ科	ミドリゲ		○										
38			ミル目	ミル科	ミル属						○							
39					ミル属										○			
40			カサノリ目	カサノリ科	カサノリ科				○									
合計種類数						11	10	16	16	17	16	16	15	15	18	1	0	

表-2.5.2.7(2) 潮間帯生物調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	和名	採集時期					目録調査				重要な種	移動対象種
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季		
1	海綿動物門	普通海綿綱	-	-	普通海綿綱											
2	刺胞動物門	花虫綱	イソギンチャク目	-	イソギンチャク目											
3	扁形動物門	渦虫綱	ヒラムシ目	-	ヒラムシ目											
4	軟体動物門	多板綱	クサズリガイ目	クサズリガイ科	クサズリガイ											
5				ウスヒガラガイ科	ウスヒガラガイ											
6				クサズリガイ科	クサズリガイ											
7				ケハダヒガラガイ科	ケハダヒガラガイ											
8		腹足綱	カサガイ目	ヨメガカサ科	ヨメガカサ											
9				ユキノカサガイ科	ユキノカサガイ											
10					リュウキュウウノアシ											
11					リュウキュウアオガイ											
12					ヒメコザラ											
13					ユカモガサ											
14					クサイロアオガイ											
15		古腹足目		ニシキウス科	クルマチダサ											
16					オキナワイシダミ											
17					ハナダタミ											
18					ヒメアワビ											
19					ウスヒメアワビ											
20		アマオブネガイ目		アマオブネガイ科	コシカアマガイ											
21					キバアマガイ											
22					フトスジアマガイ											
23					マルアマオブネ											
24					オオアマガイ											
25					アマオブネガイ											
26					リュウキュウアマガイ											
27					ニシキアマオブネ											
28					スリツギアマガイ											
29		新生腹足目		オニノツノガイ科	オニノツノガイ属											
30					カヤノミカニモリ											
31					ウミナカニモリ											
32					クワノミカニモリ											
33				ゴマフニナ科	ゴマフニナ											
34				タマキビ科	ヒメウスラタマキビ											
35					タイワタマキビ											
36					イボタマキビ											
37				ホソスジチュウジガイ科	ホソスジチュウジガイ											
38				クビキレガイ科	クビキレガイ											
39				ムカデガイ科	ムカデガイ											
40				タカラガイ科	ナツメモドキ											
41					ハナビラダカラ											
42				フトコロガイ科	ノミニナ											
43				エソバイ科	ノシガイ											
44				アッキガイ科	シマベッコウバイ											
45					ウネレイシダマシ											
46					レイシダマシ											
47					ウネシロレイシダマシ											
48					テツレイシ											
49				フデガイ科	ミダレシマヤタテ											
50				イモガイ科	マダライモ											
51		真後鰓目		ブドウガイ科	ブドウガイ											
52				アメフラシ科	ジャノメアメフラシ											
53		汎有肺目		カラマツガイ科	コウダカカラマツガイ											
54					ヒラカラマツガイ											
55					コウダカカラマツ属											
56				イソアワモチ科	イソアワモチ											
57					イソアワモチ科											
58				オカミミガイ科	ウヤハマシイノミガイ											
59		二枚貝綱		フネガイ目	フネガイ属											
60					エガイ											
61					カリガネエガイ											
62					ヒバリガイモドキ											
63					Brachidontes属											
64					ヒバリガイ属											
65					タマエガイ属											
66					ミドリアオリ											
67				ウグイスガイ目	ウグイスガイ科											
68					マクガイ科											
69					ヘリトリアオリ											
70					シロアオリ											
71					カインアオリ											
72					イタボガキ科											
73					イタヤガイ科											
74					マルスグレガイ目											
75					マツカゼガイ属											
76					ゴカイ目											
77					ウロコムシ科											
78					フサウスウロコムシ											
79					シリス科											
80					ゴカイ科											
81					Ceratonereis属											
82					Nereis属											
83					クマドリゴカイ											
84					スナイツゴカイ											
85					Perinereis属											
86					ゴカイ科											
87					イソメ科											
88					Lysidice属											
89					フサゴカイ目											
90					フサゴカイ科											
91					カンザシゴカイ科											
92					ゴカイ綱											
93					スジホシムシ科											
94					スジホシムシモドキ											
95					シロスジホシムシ											
96					ネツタイサメハダホシムシ											
97					ミナミタテホシムシ											
98					ウミグモ綱											
99					ウミグモ目											
100					イワフジツボ科											

表-2.5.2.7(3) 潮間帯生物調査 総出現種リスト (動物)

No.	門	綱	目	科	和名	採り、堆積物採取					目視観察					重要な種	移動対象種						
						令和6年度					令和6年度												
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季								
101	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	タテソコエビ科	タテソコエビ属				○				○	○									
102				ハマトビムシ科	ハマトビムシ科							○											
103																							
104			ワラジムシ目	コツムシ科	ツツオウミセミ				○														
105					コツムシ科	コツムシ科																	
106					フナムシ科	リュウキュウフナムシ							○	○	○	○							
107					フナムシ科	フナムシ科																	
108				タナイス目	ホソツメタナイス科	ホソツメタナイス科				○	○												
109			エビ目		テッポウエビ科	テッポウエビ属	テッポウエビ属			○													
110							テッポウエビ科	テッポウエビ科															
111						カナダマシ科	ミナミカナダマシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
112							イソカナダマシ	○	○				○	○	○	○	○	○					
113							<i>Petrolisthes inermis</i>	○	○	○			○										
114						オカヤドカリ科	ナキオカヤドカリ						○	○	○	○	○	○		●	●		
115							<i>Coenobita</i> 属						○										
116						ヤドカリ科	スベスベサンゴヤドカリ			○													
117							ツマキヨコバサミ			○				○				○	○				
118							マダラヨコバサミ								○				○				
119							ツノヤドカリ属								○								
120						イソオウギガニ科	セビロオウギガニ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
121							イソオウギガニ	○						○	○	○	○	○					
122						ヤワラガニ科	オキナワヤワラガニ						○								●	●	
123							ヤワラガニ科	ヤワラガニ科			○		○										
124						ケアシガニ科	ワタクスガニ属			○													
125						ケブカガニ科	ケブカガニ						○										
126							ケブカガニ科	ケブカガニ科			○												
127						ワタリガニ科	フタバニツケガニ											○					
128				ワタリガニ科	ワタリガニ科												○						
129				オウギガニ科	オウギガニ	○						○	○	○	○	○							
130					コウギガニ											○							
131					ダナオウギガニ				○														
132					ムツハオウギガニ				○	○													
133					オウギガニ科	オウギガニ科									○		○						
134					イワガニ科	ミナミイワガニ											○						
135				ヒメイワガニ					○			○	○		○	○							
136				モクスガニ科	オキナワヒライソガニ							○	○	○	○	○		●	●				
137				オサガニ科	ヒメカクオサガニ							○						●	●				
138			昆虫綱	ハエ目	ヒメガガンボ科	ヒメガガンボ科					○												
139						ユスリカ科	ユスリカ科				○												
140					棘皮動物門	クモヒトデ綱	クモヒトデ目	フサクモヒトデ科	ウデフリクモヒトデ	○				○									
141			ナマコ綱	無足目		クルマナマコ科	クルマナマコ科						○	○	○	○	○						
合計種類数						31	22	42	28	37	57	58	56	61	61	8	8						

#### (4) 浮遊生物調査（定量的調査）

##### 1) 調査結果の概要

調査結果の概要を表-2.5.2.8 に示します。

各調査時期における出現種類数は、植物プランクトンは61～74種類、動物プランクトンは27～46種類、平均出現種類数は、植物プランクトンは35～45種類、動物プランクトンは14～24種類、植物プランクトンの平均細胞数は5,438～15,998細胞/L、動物プランクトンの平均個体数は870～18,271個体/m<sup>3</sup>でした。

主な出現種は、植物プランクトンでは Peridinales、Gymnodinales などが、動物プランクトンでは *Oithona* spp. (copepodite)、Copepoda (nauplius) などがみられました。

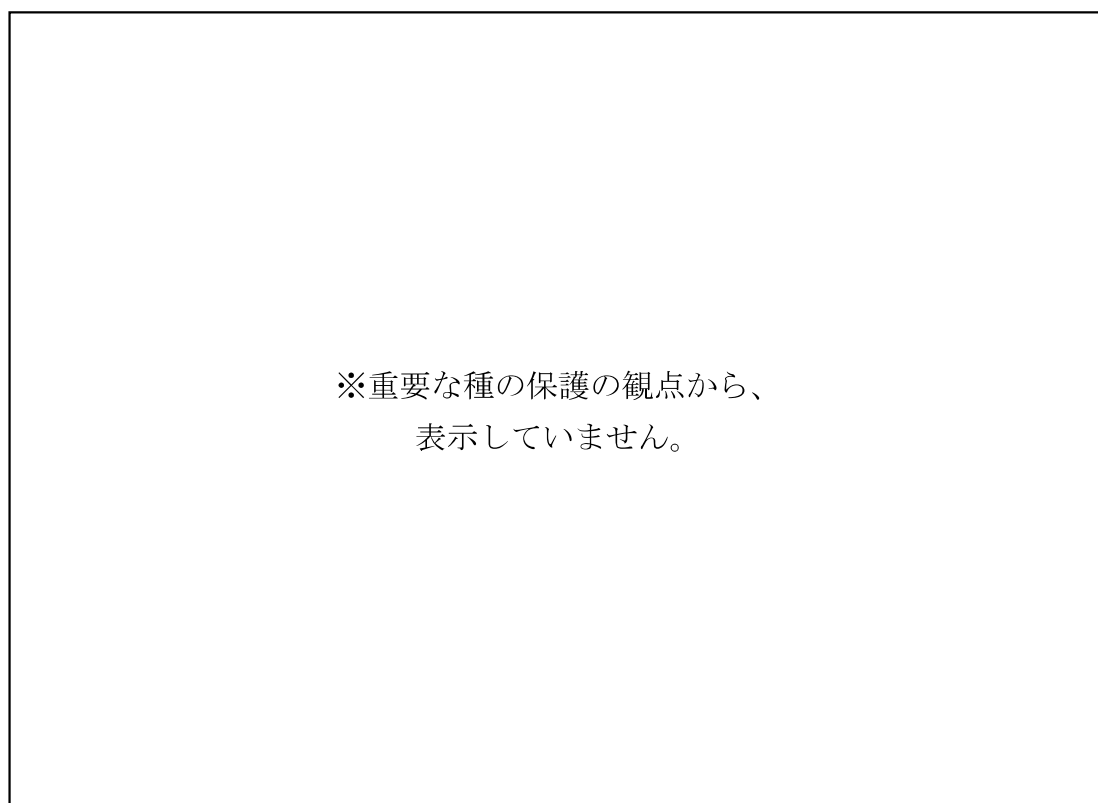


図-2.5.2.5 浮遊生物調査の調査地点

表-2.5.2.8 浮遊生物調査 結果概要

項目	調査年度		春季		夏季		秋風後		秋季		冬季	
	令和6年5月8,9日	令和6年5月8,9日	令和6年8月26,27日	令和6年8月26,27日	令和5年9月24,25日	令和5年9月24,25日	令和6年10月21,22日	令和6年10月21,22日	令和7年2月12,13日	令和7年2月12,13日	令和7年2月12,13日	令和7年2月12,13日
調査地点数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
出現種数	69	61	35	74	45	63	39	73	45	39	45	49
平均出現種数	(39)	(26)	(44)	(41)	(50)	(35)	(35)	(39)	(46)	(35)	(39)	(49)
平均細胞数 (細胞/L)	15,998	(1,560)	8,288	(9,830)	12,850	(16,990)	5,438	(3,410)	8,420	(3,800)	7,893	16,880
主な出現種の平均細胞数 (細胞/L)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 6,625 Gymnodiniales 1,648 Peridinales 1,560 <i>Heterocapsa</i> spp. 1,325 Cryptophyceae 888	(22.0) (18.3) (15.0) (11.4)	(21.3) (16.7) (10.1) (5.6) (5.2)	(21.3) (16.7) (10.1) (5.6) (5.2)	(19.5) (13.3) (13.1) (8.7) (7.0)	(19.5) (13.3) (13.1) (8.7) (7.0)	Peridinales 1,063 Gymnodiniales 725 <i>Heterocapsa</i> spp. 715 Prasinophyceae 475 <i>Gymnodinium</i> spp. 383	Laptophyceae 1,475 Euglenophyceae 835 Prasinophyceae 763 <i>Heterocapsa</i> spp. 760 Cryptophyceae 413	(18.7) (10.6) (9.7) (9.6) (5.2)	(18.7) (10.6) (9.7) (9.6) (5.2)	(18.7) (10.6) (9.7) (9.6) (5.2)	(18.7) (10.6) (9.7) (9.6) (5.2)
出現種数	27	39	21	46	24	39	17	44	20	17	20	32
平均出現種数 (個体/m <sup>3</sup> )	(12)	(16)	(16)	(18)	(24)	(18)	(7)	(13)	(27)	(7)	(13)	(32)
平均個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	(731)	(1,700)	(1,700)	(6,696)	(14,472)	(6,696)	(294)	(304)	(2,072)	(294)	(304)	(2,072)
主な出現種の平均個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 736 <i>Oithona dissimilis</i> 495 Copepoda (nauplius) 443 Bivalvia (umbo larva) 136	(33.9) (13.9) (11.9) (6.3)	(35.0) (13.9) (11.9) (5.6)	(27.9) (14.6) (14.1) (9.6) (6.0)	(27.9) (14.6) (14.1) (9.6) (6.0)	(27.9) (14.6) (14.1) (9.6) (6.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 635 <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 548 <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 331 <i>Oithona aruensis</i> 325 <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 251	Copepoda (nauplius) 305 <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 126 <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 60 <i>Oithona simplex</i> 54	(35.0) (14.5) (6.9) (6.2)	(35.0) (14.5) (6.9) (6.2)	(35.0) (14.5) (6.9) (6.2)	(35.0) (14.5) (6.9) (6.2)

注) 1. 平均出現種数及び平均細胞数には、調査地点平均 (最小値～最大値) を示します。  
 2. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示します。

## 2) 出現種

総出現種リストを表-2.5.2.9に示します。

出現した植物プランクトンは、種まで同定されなかったものも含め、139種類でした。このうち不等毛植物門（74種類）が最も多く、次いで渦鞭毛植物門（46種類）が多くみられました。

出現した動物プランクトンは、種まで同定されなかったものも含め、83種類でした。節足動物門が68種類と総出現種の大半を占め、節足動物門の中では甲殻（橈脚）綱が61種類と大半を占めていました。

表-2.5.2.9(1) 浮遊生物調査 総出現種リスト (植物プランクトン)

No.	門	綱	目	科	学名	令和6年度								
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季				
1	藍色植物門	藍藻綱	クロオコックス目	マイクロキスティス科	<i>Merismopedia</i> sp.		○							
2				クロオコックス科	<i>Chroococcus</i> sp.		○							
3				ユレモ目	ユレモ科	Oscillatoriaceae		○	○	○	○	○		
4			ナガレクダモ科		<i>Spirulina</i> sp.		○							
5			<i>Thecadinium</i> sp.								○			
6			<i>Trichodesmium erythraeum</i>			○	○	○	○	○				
7			<i>Trichodesmium</i> sp.							○				
8			<i>Trichodesmium</i> spp.			○	○	○	○	○	○			
9			ネンジュモ目	ネンジュモ科	Nostocaceae		○	○	○	○	○			
10	クリプト植物門	クリプト藻綱	—	—	Cryptophyceae	○	○	○	○	○				
11	渦鞭毛植物門	渦鞭毛藻綱	プロロケントルム目	プロロケントルム科	<i>Prorocentrum balticum</i>	○	○	○	○	○				
12					<i>Prorocentrum compressum</i>		○							
13					<i>Prorocentrum lima</i>				○			○		
14					<i>Prorocentrum mexicanum</i>		○	○	○	○	○	○		
15					<i>Prorocentrum micans</i>				○			○		
16					<i>Prorocentrum minimum</i>		○		○	○				
17					<i>Prorocentrum triestinum</i>		○	○	○	○	○	○		
18					<i>Prorocentrum</i> sp.					○	○			
19					ディノフィシス目	ディノフィシス科	<i>Dinophysis rudgei</i>		○					
20					<i>Dinophysis</i> sp.		○							
21					<i>Ornithocercus heteroporus</i>					○				
22					ギムノディニウム目	ギムノディニウム科	<i>Akashiwo sanguinea</i>		○				○	
23							<i>Amphidinium</i> spp.		○	○	○	○	○	○
24							<i>Gymnodinium</i> spp.		○	○	○	○	○	○
25							<i>Gyrodinium</i> spp.		○	○	○	○	○	○
26							<i>Karenia papilionacea</i>		○		○			
27							<i>Katodinium</i> spp.		○					
28							<i>Torodinium</i> sp.				○		○	
29							<i>Torodinium</i> spp.					○		
30			ワルノヴィア科	<i>Warnowia</i> sp.							○			
31				<i>Warnowia</i> spp.				○						
32			—	Gymnodiniales				○	○	○	○	○		
33			ノクティルカ目	ノクティルカ科	<i>Pronoctiluca spinifera</i>		○			○				
34			ゴニオラックス目	セラチウム科	<i>Ceratium bohmi</i>			○	○					
35					<i>Ceratium candelabrum</i>						○			
36					<i>Ceratium furca</i>					○				
37					<i>Ceratium fusus</i>		○							
38					<i>Ceratium teres</i>					○	○			
39					<i>Ceratium trichoceros</i>					○				
40					<i>Ceratium</i> sp.					○		○		
41					クラドピクシス科	<i>Palaeophalacroma uncinatum</i>				○	○			
42					ゴニオラックス科	<i>Alexandrium</i> sp.				○				
43						<i>Alexandrium</i> spp.					○			
44						<i>Gonvaulax</i> sp.		○						
45					Gonvaulacaceae									
46					オストレオプシス科	<i>Ostreopsis</i> sp.		○		○				
47						<i>Ostreopsis</i> spp.				○				
48					オキシトキサム科	<i>Oxytoxum scolopax</i>		○						
49			<i>Oxytoxum</i> spp.		○			○	○	○				
50			トリアディニウム科	<i>Goniodoma polyedricum</i>				○						
51	ペリディニウム目	カルキオディネラ科	<i>Scrippsiella</i> spp.		○	○	○	○						
52			<i>Heterocapsa</i> spp.		○	○	○	○	○	○				
53			<i>Peridinium quinquecorne</i>		○	○	○	○	○					
54			プロトペリディニウム科	<i>Protoperidinium bipes</i>		○	○	○	○	○				
55			<i>Protoperidinium</i> spp.		○	○	○	○	○	○				
56			—	Peridinales		○	○	○	○	○				
57	不等毛植物門	珪藻綱	円心目	タラシオシーラ科	<i>Detonula pumila</i>					○				
58					<i>Lauderia annulata</i>							○		
59					<i>Skeletonema costatum sensu lato</i>		○				○			
60					<i>Thalassiosira</i> spp.		○	○	○	○	○	○		
61					Thalassiosiraceae		○	○	○	○	○	○		
62					メロシーラ科	<i>Leptocylindrus danicus</i>		○		○		○		
63				<i>Leptocylindrus mediterraneus</i>			○		○		○			
64				<i>Melosira nummuloides</i>							○			
65				コスキノディスクス科	<i>Coscinodiscus</i> sp.		○							
66					<i>Coscinodiscus</i> spp.				○	○		○		
67				リゾソレニア科	<i>Rhizosolenia calcar avis</i>				○					
68					<i>Rhizosolenia fragilissima</i>					○		○		
69			<i>Rhizosolenia imbricata</i>						○		○			
70			<i>Rhizosolenia phuketensis</i>								○			
71			<i>Rhizosolenia setigera</i>						○	○	○			
72			<i>Rhizosolenia stolterfothii</i>						○					
73			<i>Rhizosolenia</i> spp.						○					
74			ビドゥルフィア科	<i>Cerataulina pelagica</i>				○			○			
75				<i>Eucampia cornuta</i>		○					○			
76				<i>Hemiaulus hauckii</i>							○			
77			<i>Hemiaulus sinensis</i>							○				
78			キートケロス科	<i>Bacteriastrum comosum</i>							○			
79				<i>Bacteriastrum</i> sp.							○			
80				<i>Bacteriastrum</i> spp.					○					

表-2.5.2.9(2) 浮遊生物調査 総出現種リスト (植物プランクトン)

No.	門	綱	目	科	学名	令和6年度									
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季					
81	不等毛植物門	珪藻綱	円心目	キートケロス科	<i>Chaetoceros convolutum</i>	○									
82					<i>Chaetoceros curvisetum</i>	○		○							
83					<i>Chaetoceros danicum</i>							○			
84					<i>Chaetoceros didymum</i>							○			
85					<i>Chaetoceros lorenzianum</i>						○	○			
86					<i>Chaetoceros subtilis</i>	○									
87					<i>Chaetoceros</i> sp. (single type)	○									
88					<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)						○	○			
89					<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	○	○	○	○	○	○	○			
90								リトデスミウム科	<i>Lithodesmium variable</i>				○	○	
91							羽状目	ディアトーマ科	<i>Bleakoleva notata</i>	○	○		○	○	
92									<i>Climacosphenia moniligera</i>	○		○	○	○	○
93									<i>Cyclophora tenuis</i>						○
94									<i>Fragilaria</i> sp.						○
95									<i>Licmophora</i> spp.	○	○	○	○	○	○
96									<i>Lioloma</i> sp.				○		
97									<i>Lioloma</i> spp.					○	
98									<i>Microtabella interrupta</i>			○		○	○
99									<i>Striatella unipunctata</i>	○	○	○	○	○	○
100									<i>Tabularia</i> sp.			○	○	○	
101									<i>Thalassionema nitzschioides</i>			○			
102									<i>Thalassionema</i> sp.	○				○	
103									<i>Thalassionema</i> spp.			○	○	○	○
104									Diatomaceae	○	○	○	○	○	○
105									アクナンテス科	<i>Achnanthes</i> sp.				○	
106									<i>Cocconeis</i> spp.	○	○	○	○	○	○
107									ナビキュラ科	<i>Amphora</i> sp.	○				
108									<i>Amphora</i> spp.			○	○	○	○
109									<i>Diploneis</i> spp.	○	○	○			
110									<i>Entomoneis</i> spp.			○		○	○
111									<i>Gyrosigma</i> sp.			○			
112									<i>Haslea</i> spp.						○
113									<i>Mastogloia rostrata</i>	○					○
114									<i>Navicula</i> sp. (cf. <i>cancellata</i> )						○
115									<i>Navicula</i> spp.	○	○	○	○	○	○
116									<i>Pleurosigma</i> spp.	○	○	○	○	○	○
117									<i>Stauropsis membranacea</i>	○					
118							Naviculaceae	○	○	○	○	○	○		
119							ニッチア科	<i>Bacillaria paxillifer</i>	○				○		
120							<i>Cylindrotheca closterium</i>	○	○	○	○	○	○		
121							<i>Nitzschia rectilonga</i>			○	○	○	○		
122							<i>Nitzschia reversa</i>			○			○		
123							<i>Nitzschia sigma</i>			○		○			
124							<i>Nitzschia</i> sp. (cf. <i>spathulata</i> )					○	○		
125							<i>Nitzschia</i> spp.	○	○	○	○	○	○		
126							<i>Pseudo-nitzschia pungens</i>	○							
127							<i>Pseudo-nitzschia</i> sp.					○			
128							<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	○	○	○	○	○	○		
129							Nitzschiaceae	○	○	○	○	○	○		
130							—	Pennales	○	○	○	○	○		
131					ハプト植物門	ハプト藻綱	ブリムネシウム目	ブリムネシウム科	<i>Chrysochromulina</i> sp.				○		
132							円石藻目	カルキオンレニア科	<i>Calciosolenia murravi</i>				○		
133								ハロバップス科	<i>Ophiaster hydroideus</i>				○		
134							—	—	Halopappaceae	○			○		
135							—	—	Haptophyceae	○	○	○	○		
136					ユーグレナ植物門	ユーグレナ藻綱	—	—	Euglenophyceae	○	○	○	○		
137					緑色植物門	ブラシノ藻綱	—	—	Prasinophyceae	○	○	○	○		
138						緑藻綱	クロロコックム目	セネデスムス科	<i>Scenedesmus</i> sp.	○			○		
139					不明鞭毛藻類門	—	—	—	unidentified flagellates	○	○	○	○		
合計種類数						69	61	74	63	73					

表-2.5.2.9(3) 浮遊生物調査 総出現種リスト (動物プランクトン)

No.	門	綱	目	科	学名	令和6年度				
						春季	夏季	台風後	秋季	冬季
1	肉質鞭毛虫門	顆粒根足虫綱	有孔虫目	—	Foraminifera	○				
2	刺胞動物門	ヒドロムシ綱	ヒドロムシ目	—	Hydroida	○	○	○		○
3			クダクラゲ目	—	Siphonophora				○	
4	軟体動物門	マキガイ綱	—	—	Gastropoda (larva)	○	○	○	○	○
5		ニマイガイ綱	—	—	Bivalvia (D-shaped larva)		○			
6					Bivalvia (umbo larva)	○	○	○	○	○
7	環形動物門	ゴカイ綱	—	—	Polychaeta (larva)	○	○	○	○	○
8	節足動物門	甲殻(橈脚)綱	カラヌス目	アカルチア科	<i>Acartia hispinosa</i>	○	○	○	○	○
9					<i>Acartia erythraea</i>	○	○	○	○	
10					<i>Acartia fossae</i>	○				○
11					<i>Acartia negligens</i>		○			
12					<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○
13				カラヌス科	<i>Cosmocalanus darwini</i> (copepodite)					○
14					<i>Undinula vulgaris</i>	○				
15					<i>Undinula vulgaris</i> (copepodite)				○	
16					Calanidae (copepodite)			○	○	○
17				カロカラヌス科	<i>Calocalanus pavo</i>					○
18					<i>Calocalanus pavoninus</i>			○		
19					<i>Calocalanus plumulosus</i>					○
20					<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite)			○	○	○
21				セントロパジェス科	<i>Centropages elongatus</i>				○	
22					<i>Centropages orsinii</i>	○		○		○
23					<i>Centropages</i> spp. (copepodite)	○		○		
24				クラウソカラヌス科	<i>Clausocalanus furcatus</i>					○
25					<i>Clausocalanus minor</i>					○
26					<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite)					○
27				パラカラヌス科	<i>Aerocalanus</i> spp. (copepodite)		○	○		○
28					<i>Bestiolina similis</i>		○	○		
29					<i>Delius nudus</i>					○
30					<i>Paracalanus crassirostris</i>		○	○	○	
31					<i>Paracalanus denudatus</i>	○				
32					<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○
33					Paracalanidae (copepodite)		○	○	○	○
34				ボンテラ科	<i>Calanopia elliptica</i>			○	○	
35					<i>Calanopia minor</i>				○	
36					<i>Calanopia thompsoni</i>			○		
37					<i>Calanopia</i> spp. (copepodite)		○	○		
38					<i>Labidocera</i> spp. (copepodite)			○		○
39					<i>Pontella</i> spp. (copepodite)		○			
40					<i>Pontellina</i> spp. (copepodite)					○
41					Pontellidae (copepodite)		○	○	○	
42				プセウドディアプトムス科	<i>Pseudodiaptomus</i> spp. (copepodite)					○
43				テモラ科	<i>Temora discaudata</i>			○		
44				トルタヌス科	<i>Tortanus gracilis</i>		○			
45			キクロプス目	オイトナ科	<i>Oithona aruensis</i>	○	○	○	○	
46					<i>Oithona attenuata</i>		○	○	○	
47					<i>Oithona dissimilis</i>	○	○	○	○	○
48					<i>Oithona nana</i>		○	○	○	○
49					<i>Oithona oculata</i>		○	○	○	
50					<i>Oithona plumifera</i>		○			○
51					<i>Oithona simplex</i>	○	○	○	○	○
52					<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○
53					<i>Paroithona pulla</i>			○		○
54					—				○	
55			ハルバクテクス目	エクチノソマ科	<i>Microssetella norvegica</i>			○		○
56				—	Harpacticoida				○	○
57			ボエキロストム目	コリケウス科	<i>Corycaeus agilis</i>				○	
58					<i>Corycaeus andrewsi</i>			○		
59					<i>Corycaeus concinnus</i>				○	
60					<i>Corycaeus gibbulus</i>		○		○	
61					<i>Corycaeus</i> spp. (copepodite)		○	○		○
62				オンケア科	<i>Oncaea clevei</i>				○	
63					<i>Oncaea conifera</i>			○		
64					<i>Oncaea media</i>					○
65					<i>Oncaea scottodicarloi</i>				○	○
66					<i>Oncaea venusta</i>		○			○
67					<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)			○	○	○
68			—	—	Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○
69		甲殻(橈脚)綱	フジツボ目	—	Cirripedia (nauplius)	○	○	○	○	○
70				—	Facetotecta (nauplius)	○	○			○
71		甲殻(軟甲)綱	ワラジムシ目	—	Isopoda		○	○		○
72			オキアミ目	—	Euphausiacea (calyptopis)	○			○	
73				—	Euphausiacea (furcilia)	○			○	
74			エビ目	—	Macrura (zoea)		○	○	○	
75				—	Brachyura (zoea)	○		○		○
76	毛がく動物門	ヤムシ綱	ヤムシ目	ヤムシ科	<i>Sagitta ferox</i>				○	
77					<i>Sagitta neglecta</i>	○				
78					<i>Sagitta regularis</i>		○		○	
79					<i>Sagitta</i> spp.	○	○	○	○	○
80	原索動物門	ホヤ綱	—	—	Ascidacea (tadpole larva)		○			
81		オタマボヤ綱	オタマボヤ目	オタマボヤ科	<i>Oikopleura dioica</i>		○			
82					<i>Oikopleura longicauda</i>		○	○		
83					<i>Oikopleura</i> spp.	○	○	○	○	○
合計種類数						27	39	46	39	44

## 2.6 サンゴ類（全域の状況監視）

### 2.6.1 サンゴ類の生息被度、生息状況、食害生物の出現状況等

令和6年度夏季及び冬季に実施したサンゴ類の全域の状況監視の結果を図-2.6.1.1～図-2.6.1.4に示します。

サンゴ類は、嘉陽海域では主にリーフエッジ付近において、夏季には5～75%、冬季には5～50%の比較的高い生息被度でみられました。大浦湾東部では、主に大浦湾口付近からカヌチャ前面にかけてのリーフエッジ付近において、夏季には5～75%、冬季には5～50%の比較的高い生息被度でみられました。中干瀬では主に外洋側の礁斜面において、夏季には5～75%以上、冬季には5～50%の比較的高い生息被度でみられました。豊原から潟原地先にかけての海域では、主にリーフエッジ付近において、夏季には5～75%、冬季には5～50%の比較的高い生息被度でみられました。

サンゴ類の白化は、夏季には、ほとんどの地点で確認されました。冬季には、嘉陽海域、大浦湾東部、中干瀬及び豊原から潟原地先にかけての海域において、主に生息被度5%以上のサンゴ類が確認された地点で確認されました。

サンゴ類の食害は、夏季には嘉陽海域及び豊原から潟原地先にかけての海域、冬季には嘉陽海域、大浦湾東部、中干瀬及び豊原から潟原地先にかけての海域において、主に生息被度5%以上のサンゴ類が確認された地点で確認されました。

土砂の堆積（浮泥）はみられませんでした。

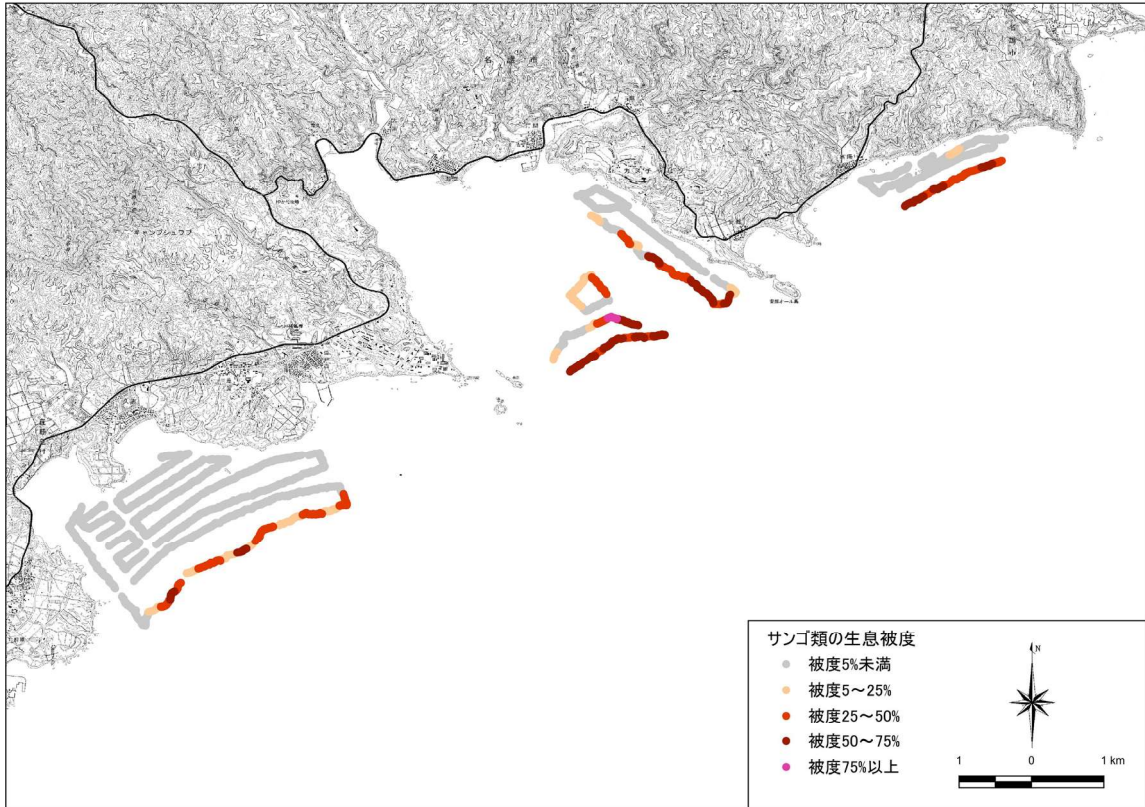


図-2.6.1.1(1) 全域の状況監視におけるサンゴ類の生息被度の状況  
(令和6年度夏季)

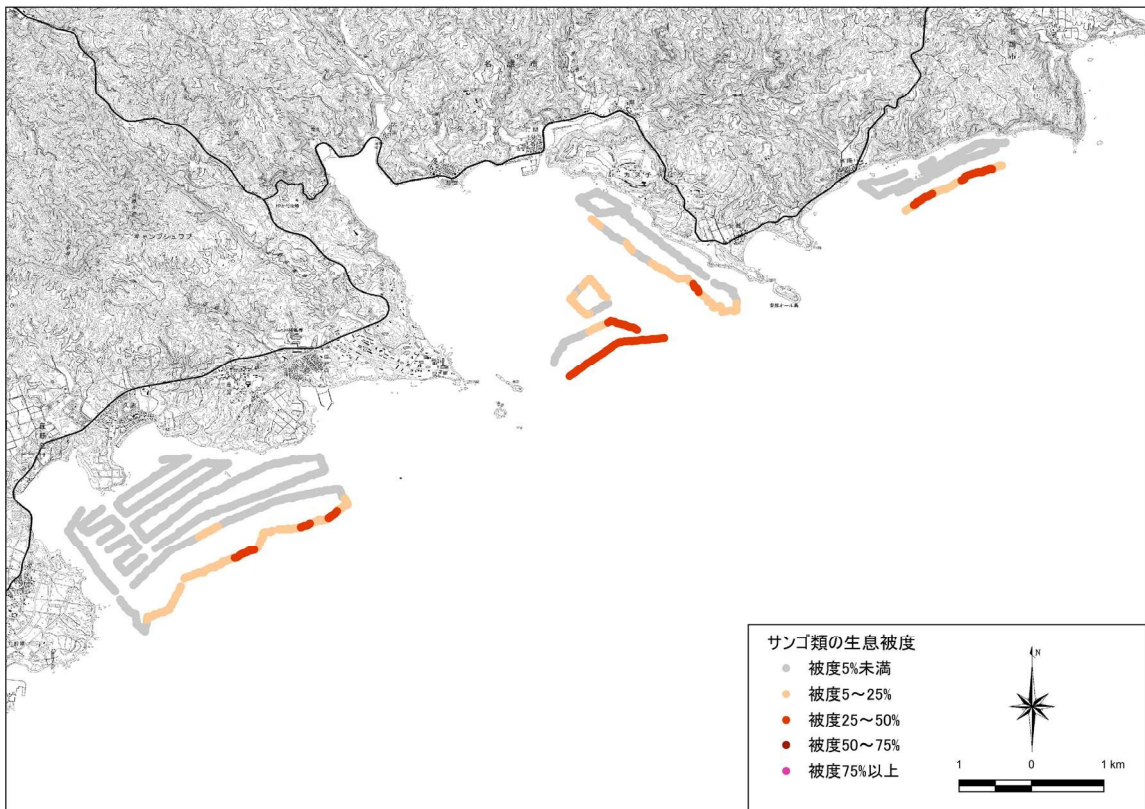


図-2.6.1.1(2) 全域の状況監視におけるサンゴ類の生息被度の状況  
(令和6年度冬季)

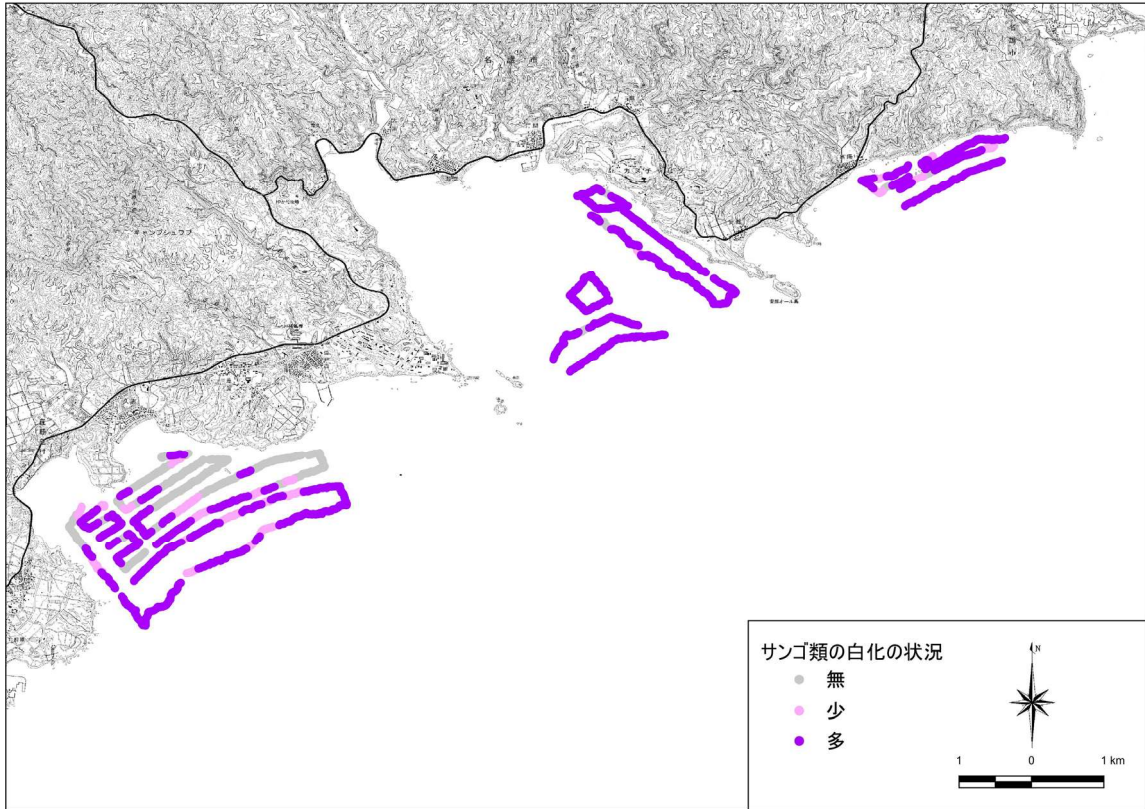


図-2.6.1.2(1) 全域の状況監視におけるサンゴ類の白化の状況  
(令和6年度夏季)

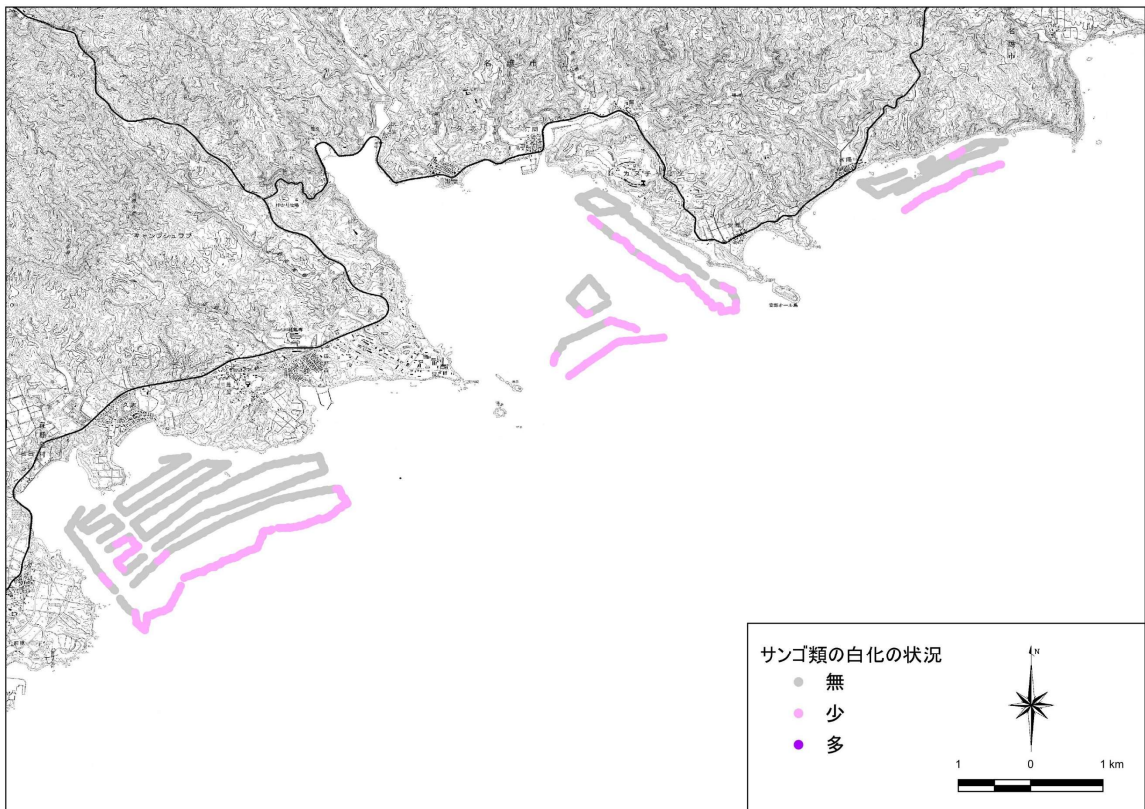


図-2.6.1.2(2) 全域の状況監視におけるサンゴ類の白化の状況  
(令和6年度冬季)

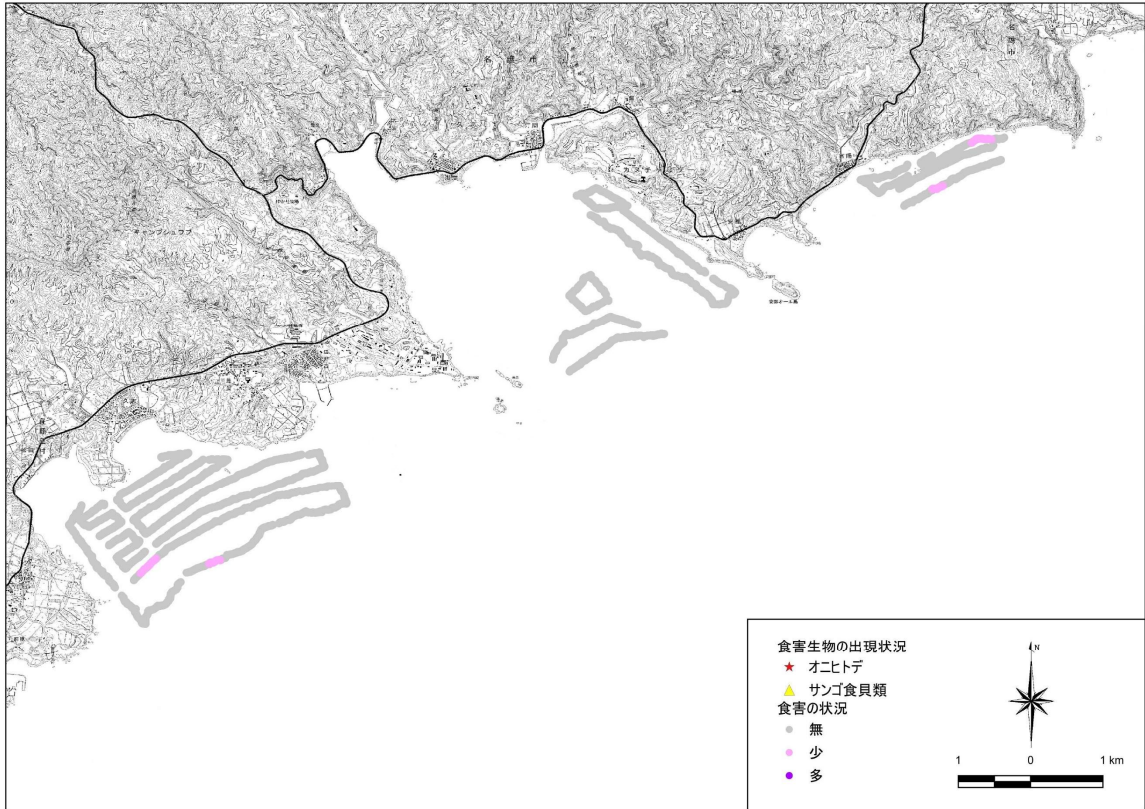


図-2.6.1.3(1) 全域の状況監視における食害生物の出現状況  
 (令和6年度夏季)

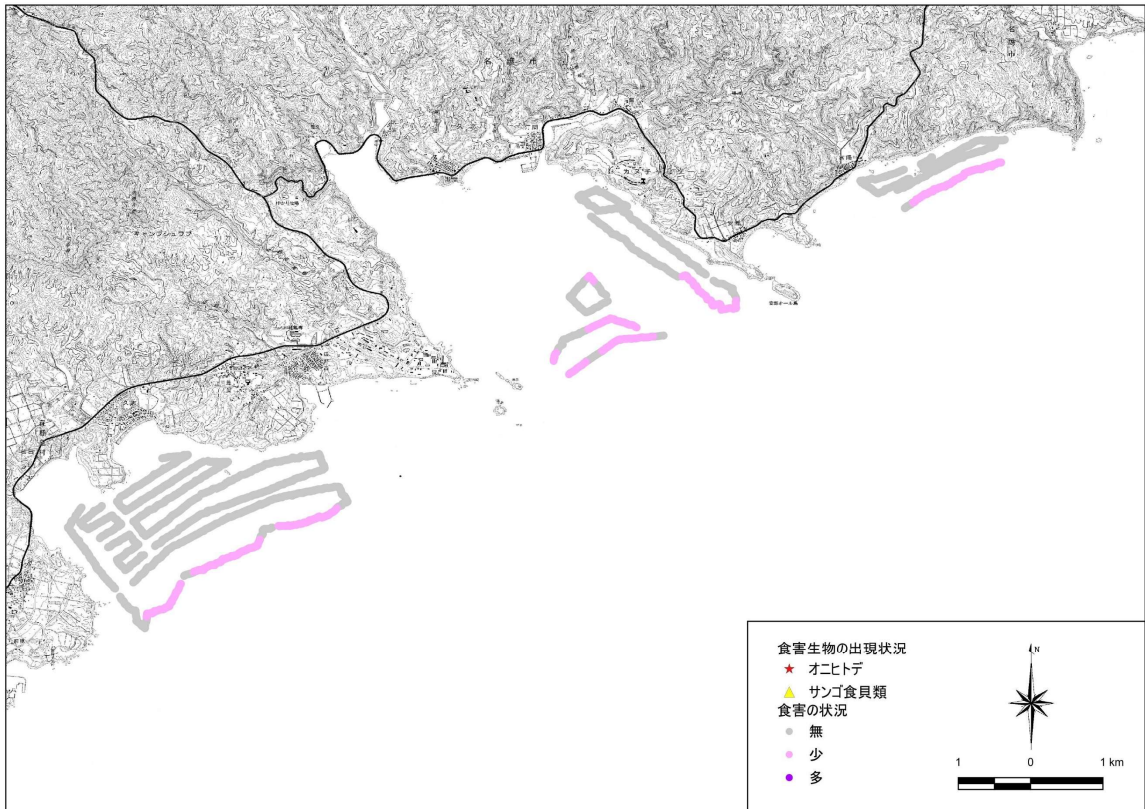


図-2.6.1.3(2) 全域の状況監視における食害生物の出現状況  
 (令和6年度冬季)

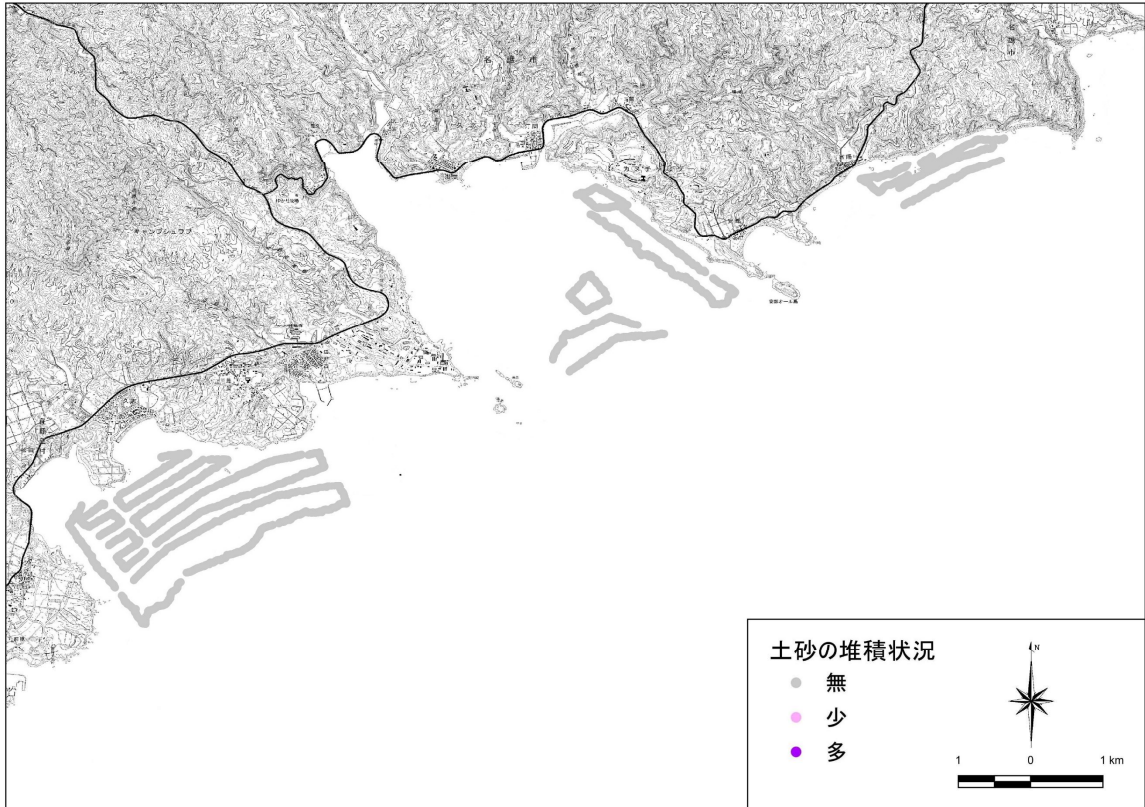


図-2.6.1.4(1) 全域の状況監視における土砂の堆積状況  
(令和6年度夏季)

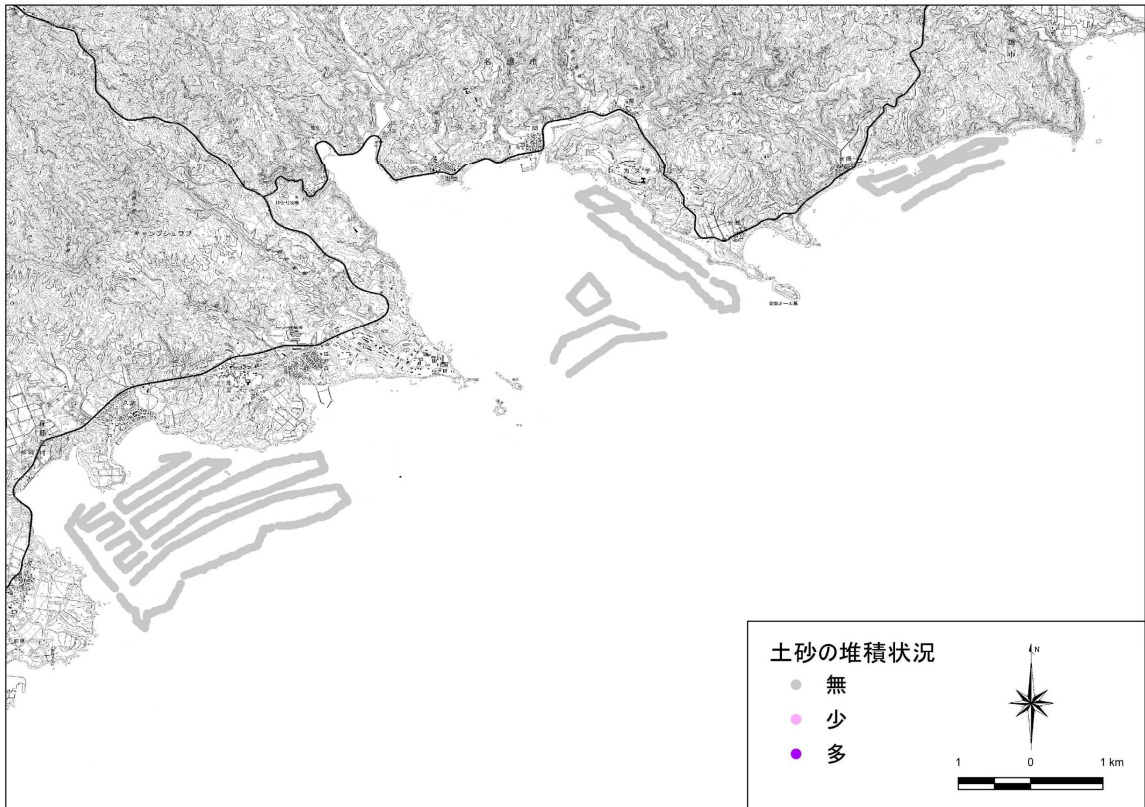


図-2.6.1.4(2) 全域の状況監視における土砂の堆積状況  
(令和6年度冬季)

## 2.7 海藻草類（全域の状況監視）

### 2.7.1 海藻草類の生育被度、生育状況

令和6年度夏季及び冬季に実施した海藻草類の全域の状況監視の結果を図-2.7.1.1～図-2.7.1.4に示します。

海草藻場は、調査海域西側の久志地先のリーフ内で、夏季には生育被度5～50%の範囲が、冬季には、生育被度5～75%の範囲が確認されました。調査海域東側の嘉陽地先、大浦湾東側及び大浦湾口部の中干瀬では、海草藻場は確認されたものの、生育被度5%以上の範囲はみられませんでした。

ホンダワラ藻場は、嘉陽地先、大浦湾東側、大浦湾口部の中干瀬及び久志地先で、夏季には生育被度5～75%以上の範囲が、冬季には生育被度5～50%の範囲が広く確認されました。

海草上の浮泥の堆積は、夏季に久志地先の岸側において、少量～多量確認されました。

海草上の付着藻類は、夏季には久志地先の岸側において、少量～多量確認され、冬季には久志地先において、少量確認されました。

海草藻場の葉枯は、冬季に久志地先において、少量確認されました。

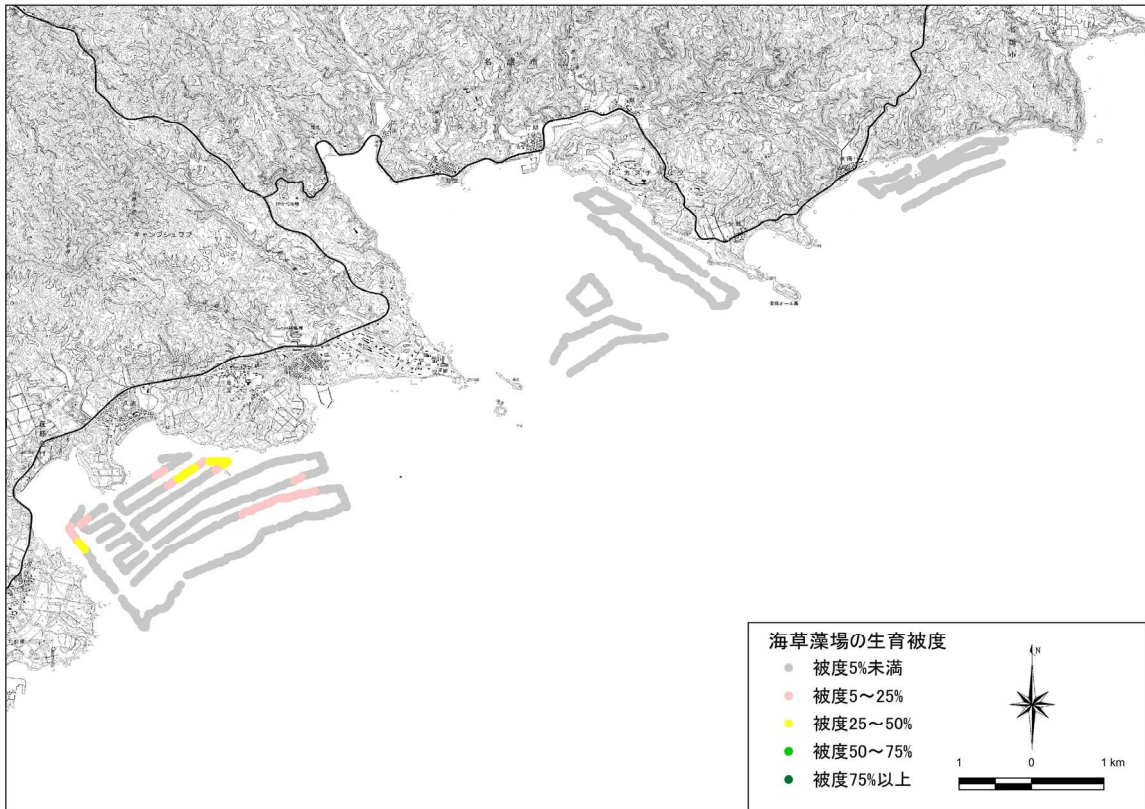


図-2.7.1.1(1) 全域の状況監視における海藻草類の生育被度の状況  
(海草藻場、令和6年度夏季)

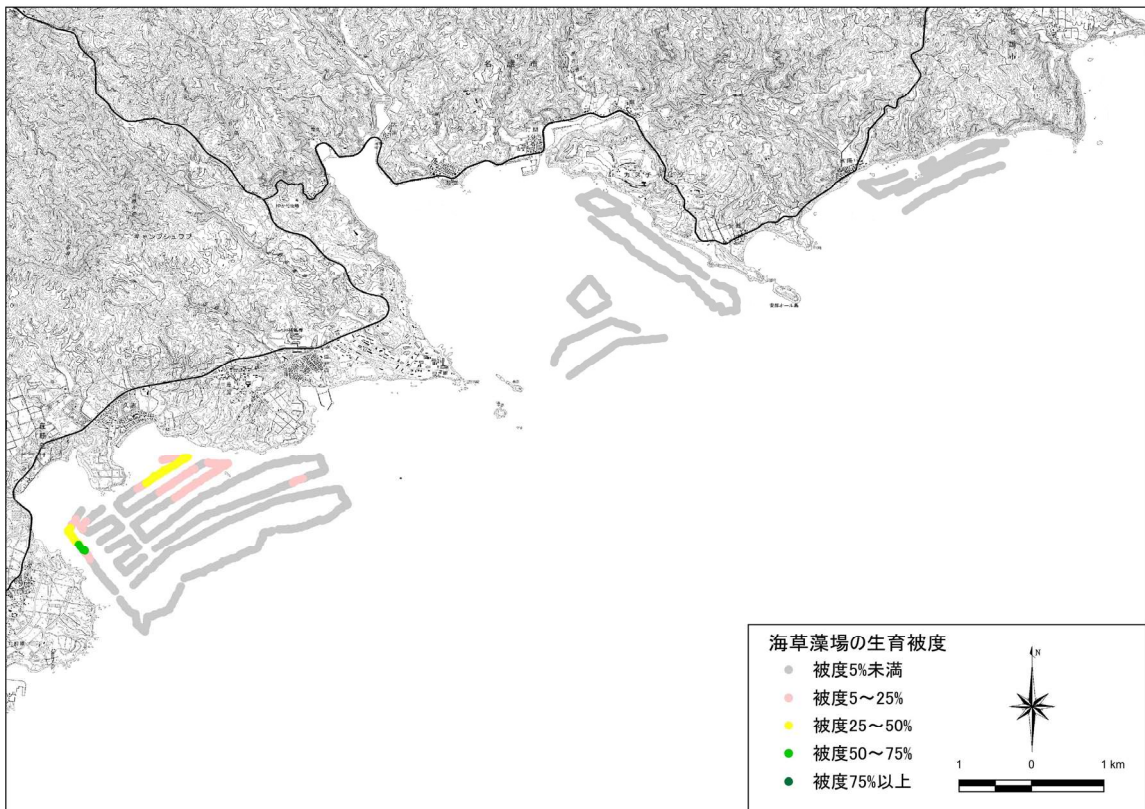


図-2.7.1.1(2) 全域の状況監視における海藻草類の生育被度の状況  
(海草藻場、令和6年度冬季)

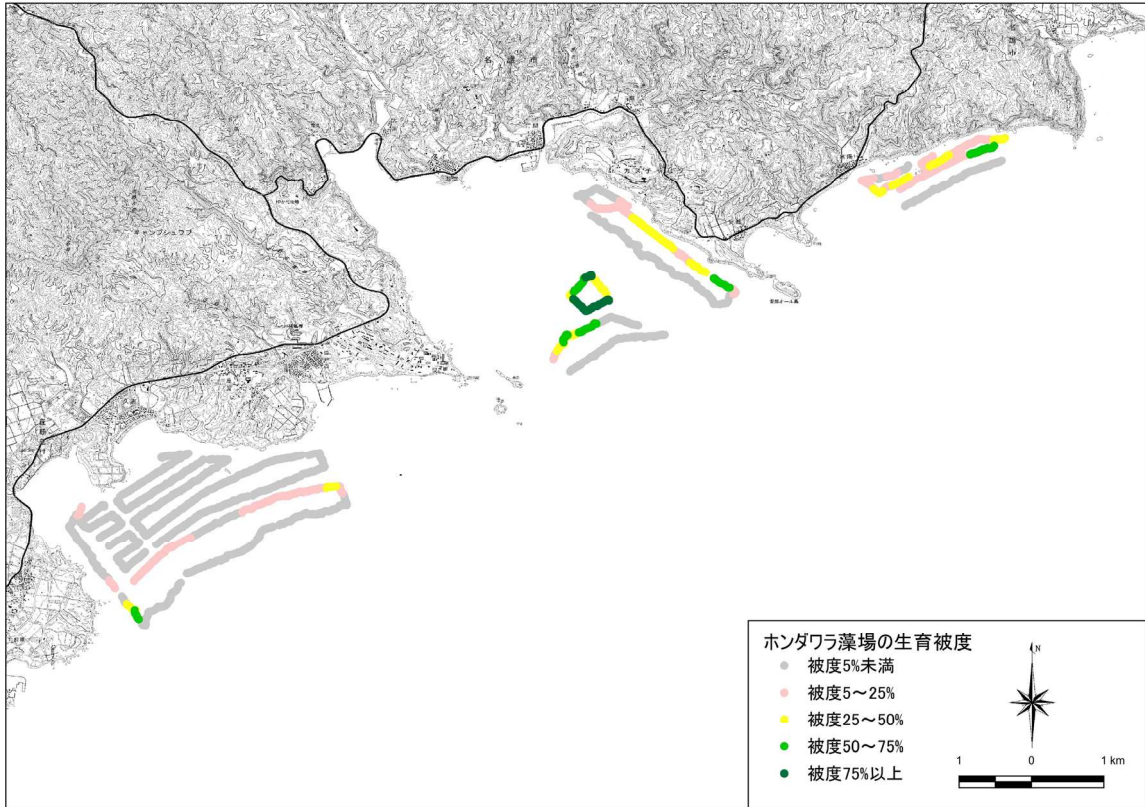


図-2.7.1.1(3) 全域の状況監視における海藻草類の生育被度の状況  
(ホンダワラ藻場、令和6年度夏季)

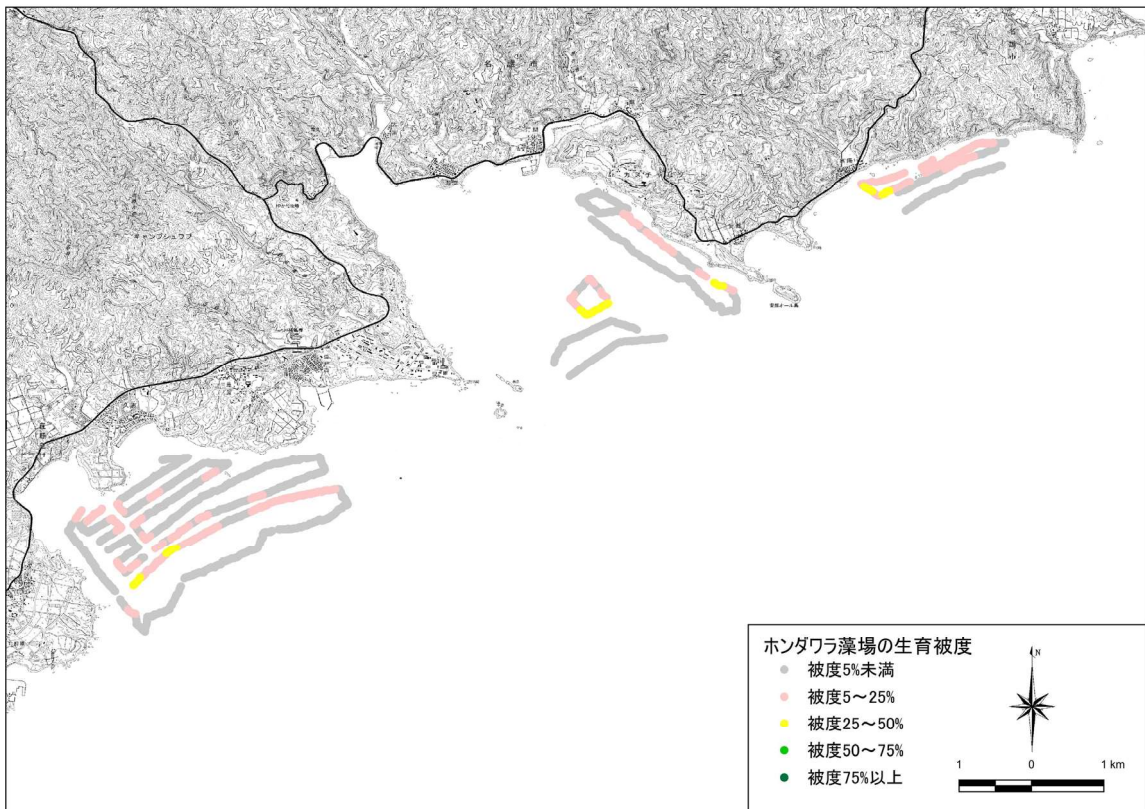


図-2.7.1.1(4) 全域の状況監視における海藻草類の生育被度の状況  
(ホンダワラ藻場、令和6年度冬季)

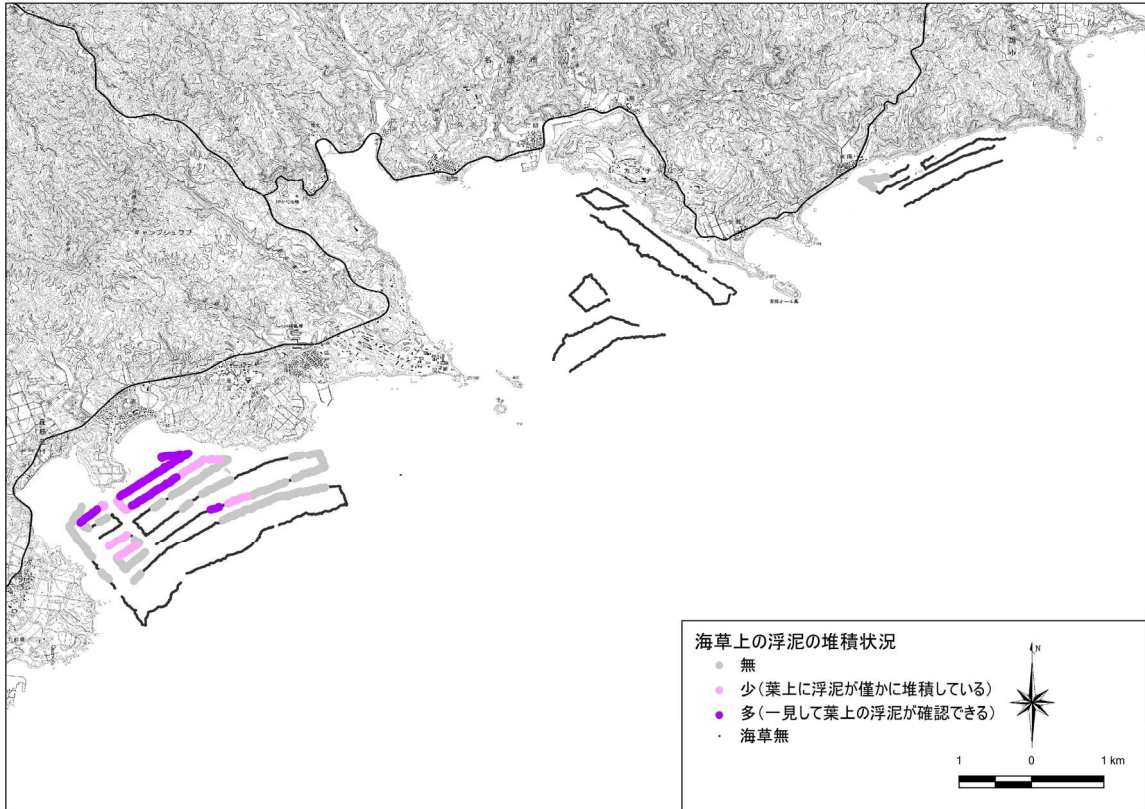


図-2.7.1.2(1) 全域の状況監視における海草上の浮泥の堆積状況  
(令和6年度夏季)

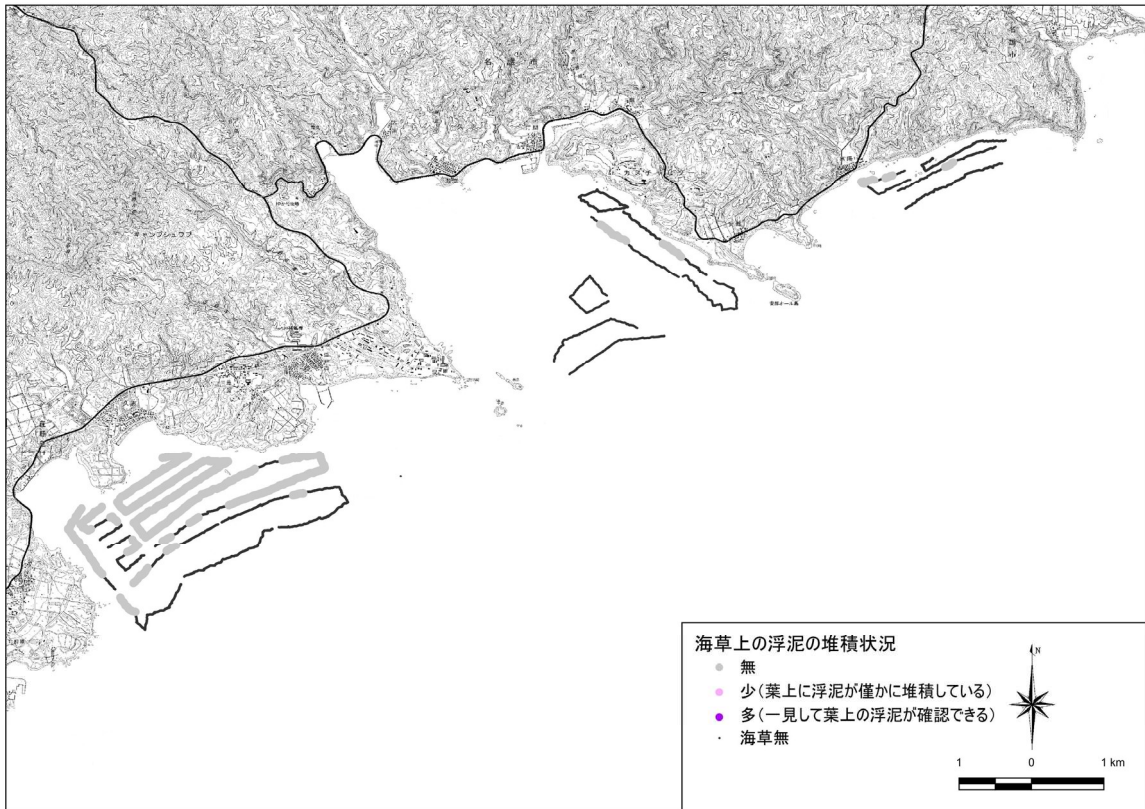


図-2.7.1.2(2) 全域の状況監視における海草上の浮泥の堆積状況  
(令和6年度冬季)

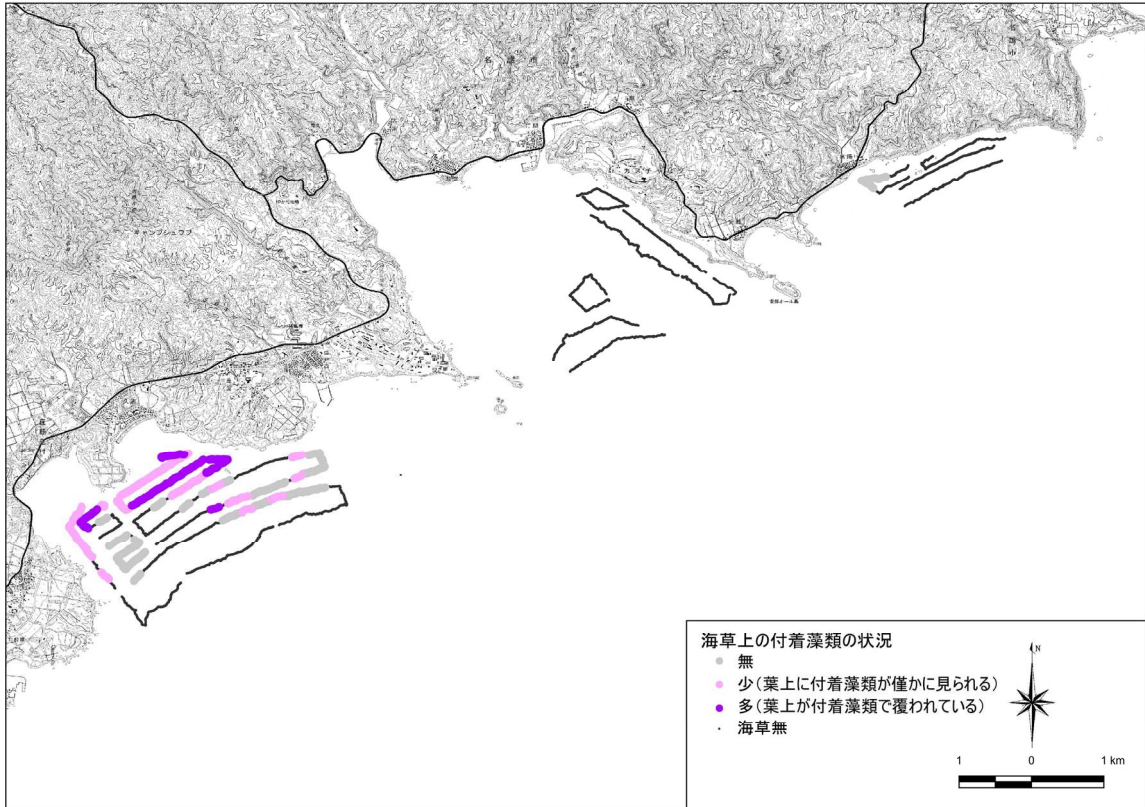


図-2.7.1.3(1) 全域の状況監視における海草上の付着藻類の状況  
(令和6年度夏季)

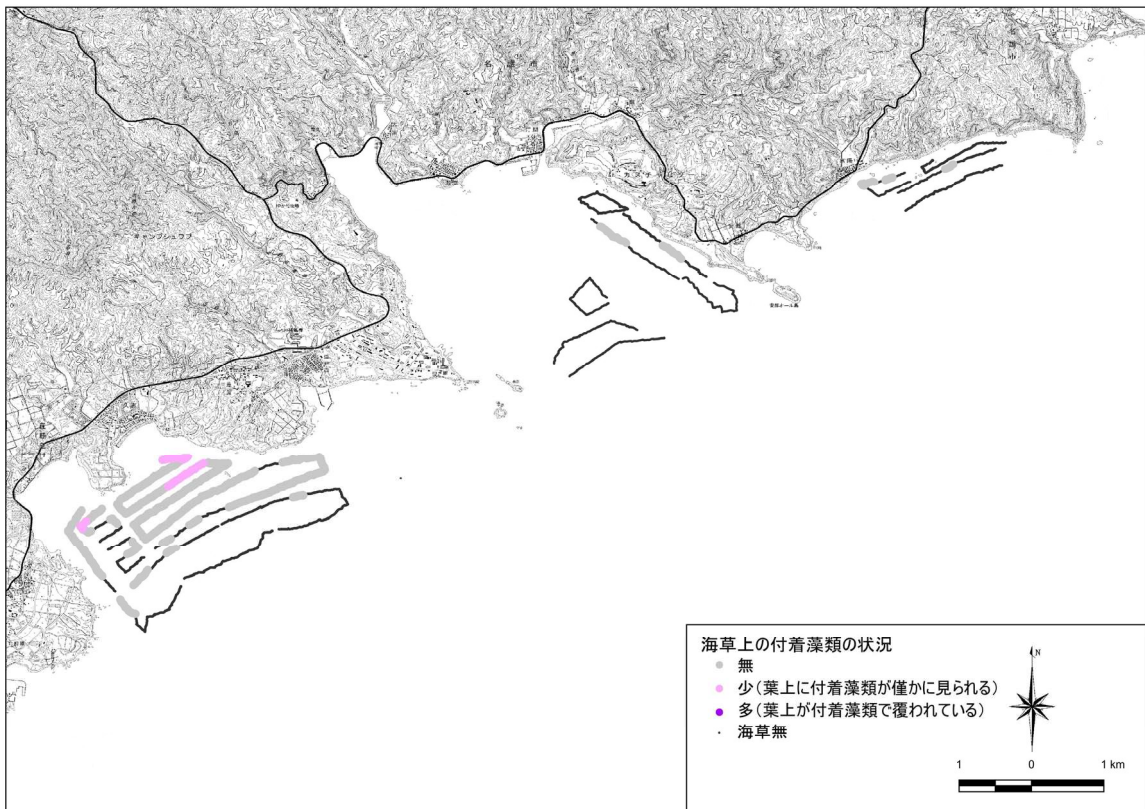


図-2.7.1.3(2) 全域の状況監視における海草上の付着藻類の状況  
(令和6年度冬季)

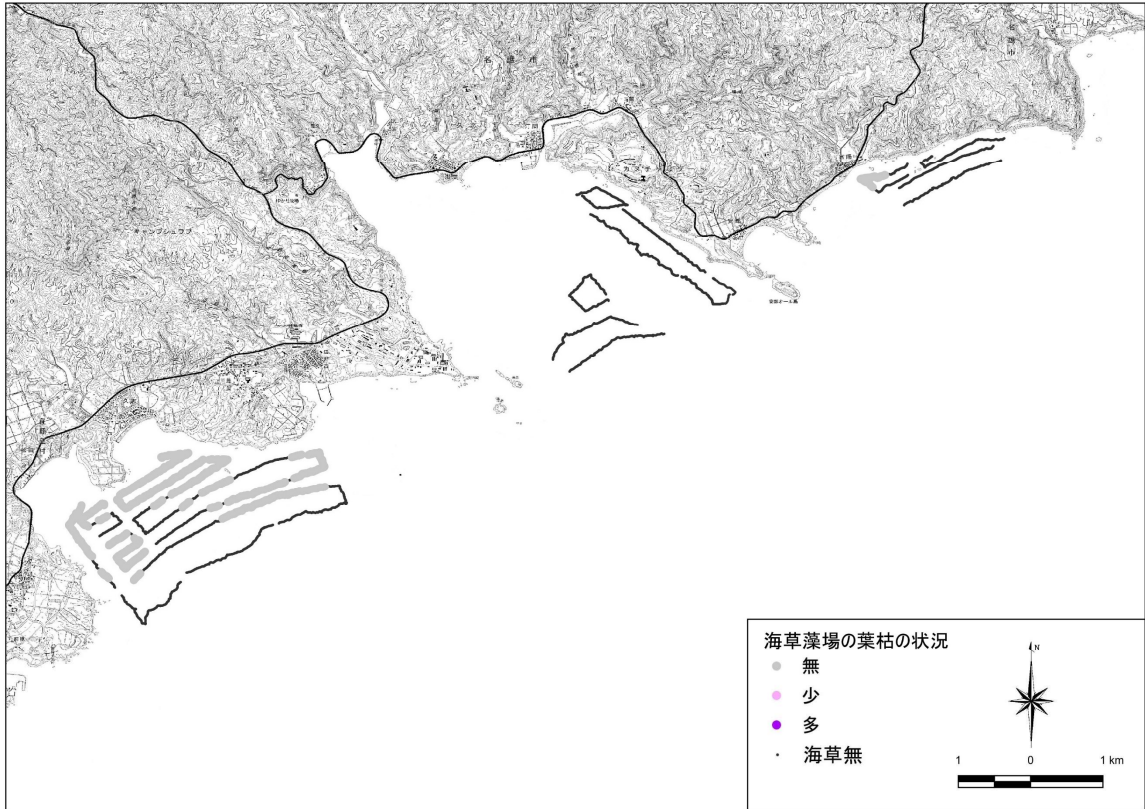


図-2.7.1.4(1) 全域の状況監視における海草藻場の葉枯の状況  
(令和6年度夏季)

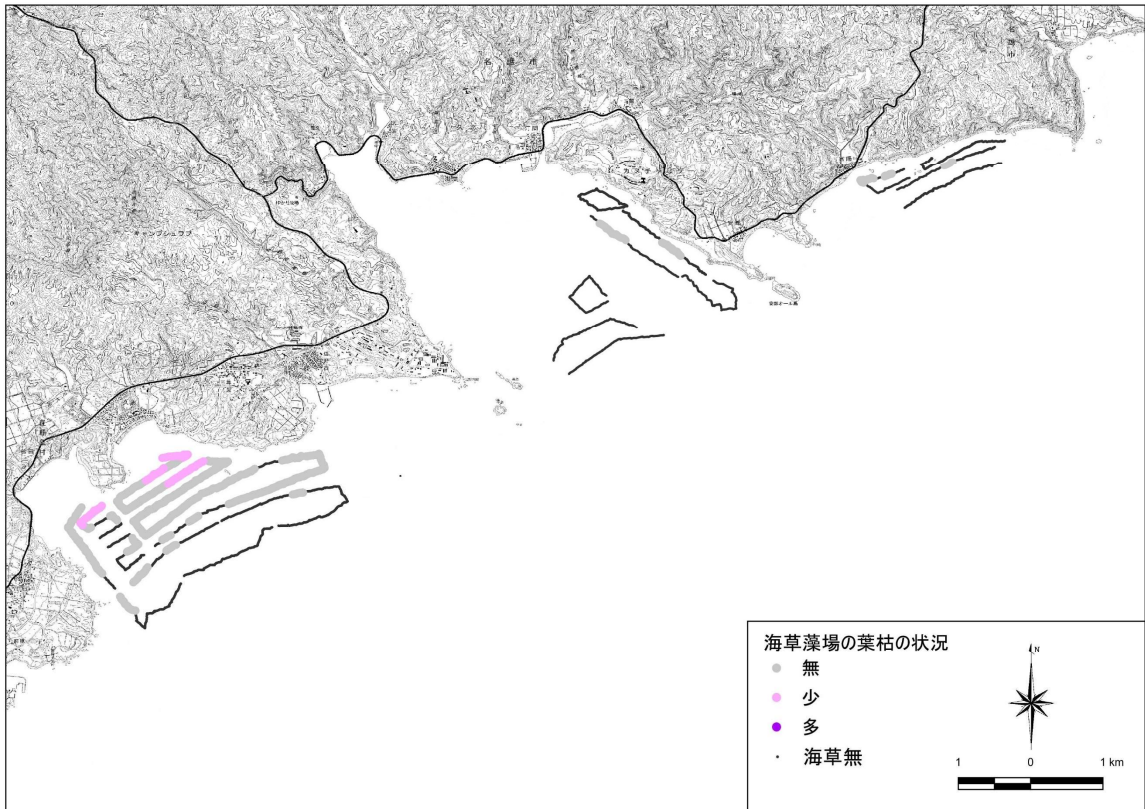


図-2.7.1.4(2) 全域の状況監視における海草藻場の葉枯の状況  
(令和6年度冬季)

## 2.7.2 クビレミドロ生育状況等

既往調査でクビレミドロの生育がみられている久志地区において、令和6年4月10、12、24日にクビレミドロの生育状況を調査した結果を図-2.7.2.1に示します。

クビレミドロは、干潟の南西側の1箇所で、直径約1cmの小規模な群落を確認されました。



注) 図中の凡例は、クビレミドロ群落の確認位置を示しており、分布面積を表していない。

図-2.7.2.1 クビレミドロの分布状況 (久志地区)



### 第 3 章 環境監視調査結果のまとめ

令和 6 年度に実施した大気質、騒音、振動、低周波音、底生動物等についての環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討を行った結果を以下に示します。

なお、サンゴ類及び海藻草類についての調査結果は、事後調査の結果を解析する際の参考とするものであり、環境監視基準との比較は行わないため、ここでは記載していません。

#### 3.1 大気質

##### 3.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質

建設機械の稼働に伴う大気汚染物質の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.1.1.1 に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )の日平均値、二酸化硫黄( $\text{SO}_2$ )の日平均値及び 1 時間値、浮遊粒子状物質(SPM)の日平均値及び 1 時間値は、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.1.1.1 建設機械の稼働に伴う大気汚染物質の評価結果

項目	地点名	区分	環境監視調査の結果				環境監視基準
			工事中				
			令和6年度春季	令和6年度夏季	令和6年度秋季	令和6年度冬季	
二酸化窒素 $\text{NO}_2$ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.003	1日平均値が 0.04~0.06ppm のゾーン内 又はそれ以下
	AT-2		0.002	0.001	0.002	0.001	
	AT-3		0.001	0.001	0.002	0.002	
	AT-8		0.001	0.003	0.004	0.003	
二酸化硫黄 $\text{SO}_2$ (ppm)	AT-1	日平均値	0.001	0.001	0.000	0.001	1日平均値が 0.04ppm以下、 かつ 1時間値が 0.1ppm以下
		1時間値	0.001	0.002	0.001	0.003	
	AT-2	日平均値	0.001	0.000	0.001	0.000	
		1時間値	0.003	0.001	0.001	0.001	
	AT-3	日平均値	0.001	0.000	0.001	0.000	
		1時間値	0.002	0.001	0.001	0.000	
	AT-8	日平均値	0.000	0.002	0.001	0.000	
		1時間値	0.001	0.003	0.001	0.001	
浮遊粒子状物質 SPM ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	AT-1	日平均値	0.020	0.020	0.030	0.017	1日平均値が 0.10 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下、 かつ 1時間値が 0.20 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下
		1時間値	0.044	0.041	0.047	0.035	
	AT-2	日平均値	0.020	0.016	0.030	0.021	
		1時間値	0.040	0.040	0.047	0.029	
	AT-3	日平均値	0.015	0.008	0.029	0.019	
		1時間値	0.039	0.013	0.044	0.038	
	AT-8	日平均値	0.017	0.013	0.029	0.019	
		1時間値	0.024	0.062	0.048	0.032	

- 注) 1. 地点名の AT-1 はカヌチャリゾート、AT-2 は大浦集落、AT-3 は二見集落、AT-8 は辺野古集落を示します。  
 2. 表中の日平均値、1 時間値は各季の調査期間中における最大値を示します。  
 3. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としています。

### 3.1.2 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質

資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.1.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、二酸化窒素( $\text{NO}_2$ )の日平均値、二酸化硫黄( $\text{SO}_2$ )の日平均値及び1時間値、浮遊粒子状物質(SPM)の日平均値及び1時間値は、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.1.2.1 資機材運搬車両等の運行に伴う大気汚染物質の評価結果

項目	地点名	区分	環境監視調査の結果				環境監視基準
			工事中				
			令和6年度春季	令和6年度夏季	令和6年度秋季	令和6年度冬季	
二酸化窒素 $\text{NO}_2$ (ppm)	TN-5	日平均値	0.003	0.003	0.008	0.004	1日平均値が 0.04~0.06ppm のゾーン内 又はそれ以下
	TN-10		0.003	0.002	0.004	0.008	
	TN-11		0.004	0.002	0.002	0.004	
二酸化硫黄 $\text{SO}_2$ (ppm)	TN-5	日平均値	0.000	0.000	0.001	0.000	1日平均値が 0.04ppm以下、 かつ 1時間値が 0.1ppm以下
		1時間値	0.001	0.001	0.002	0.001	
	TN-10	日平均値	0.001	0.001	0.001	0.001	
		1時間値	0.001	0.002	0.002	0.002	
	TN-11	日平均値	0.001	0.000	0.001	0.000	
		1時間値	0.002	0.001	0.001	0.001	
浮遊粒子状物質 SPM ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	TN-5	日平均値	0.021	0.012	0.016	0.015	1日平均値が 0.10 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下、 かつ 1時間値が 0.20 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下
		1時間値	0.040	0.035	0.041	0.034	
	TN-10	日平均値	0.022	0.019	0.022	0.022	
		1時間値	0.047	0.054	0.048	0.054	
	TN-11	日平均値	0.028	0.013	0.018	0.018	
		1時間値	0.049	0.040	0.042	0.048	

- 注) 1. 地点名の TN-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10 は世富慶集落、TN-11 は松田集落の国道 329 号沿道を示します。  
 2. 表中の日平均値、1 時間値は各季の調査期間中における最大値を示します。  
 3. 環境監視基準は環境基本法に基づく「大気汚染に係る環境基準」及び「二酸化窒素に係る環境基準」としてあります。

### 3.2 騒音

#### 3.2.1 道路交通騒音

道路交通騒音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.2.1.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準（70dB以下）を下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.2.1.1 道路交通騒音の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L <sub>Aeq</sub> )				環境監視基準
		工事中				
		令和6年度春季	令和6年度夏季	令和6年度秋季	令和6年度冬季	
TN-5	昼間	65	66	66	65	70dB以下
TN-10		66	66	66	67	
TN-11		64	65	64	64	

- 注) 1. 地点名の TN-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10 は世富慶集落、TN-11 は松田集落の国道 329 号沿道を示します。  
 2. 環境監視基準は環境基本法に基づく「騒音に係る環境基準」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値としています。  
 3. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の 6 時から 22 時までの 16 時間）における等価騒音レベルを示します。

#### 3.2.2 建設作業騒音

建設作業騒音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.2.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準（85dB以下）を下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.2.2.1 建設作業騒音の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L <sub>5</sub> )				環境監視基準
		工事中				
		令和6年度春季	令和6年度夏季	令和6年度秋季	令和6年度冬季	
EN-10	昼間	53	57	56	48	85dB以下
EN-13		60	62	61	57	

- 注) 1. 地点名の EN-10 は国立沖縄工業高等専門学校、EN-13 は辺野古集落を示します。  
 2. 環境監視基準は騒音規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」としています。  
 3. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の 6 時から 22 時までの 16 時間）において、それぞれの時間での測定値のうち、騒音レベルの 90%レンジ上端値の最大値を示します。

### 3.3 振動

#### 3.3.1 道路交通振動

道路交通振動の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.3.1.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、環境監視基準（60dB 又は 65dB 以下）を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.3.1.1 道路交通振動の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L <sub>10</sub> )				環境監視基準
		工事中				
		令和6年度春季	令和6年度夏季	令和6年度秋季	令和6年度冬季	
TV-5	昼間	<30	<30	32	<30	60dB以下
TV-10		34	38	39	41	65dB以下
TV-11		40	41	40	40	

- 注) 1. 地点名の TV-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TV-10 は世富慶集落、TV-11 は松田集落の沿道を示します。  
 2. 30dB 未満は「<30」と表示しています。  
 3. 環境監視基準は振動規制法に基づく「道路交通振動の要請限度」の第1種区相当値としています。  
 4. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時までの11時間）における振動レベルの80%レンジ上端値の最大値を示します。

#### 3.3.2 建設作業振動

建設作業振動の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.3.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において環境監視基準（75dB 以下）を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.3.2.1 建設作業振動の評価結果

単位：dB

地点名	時間区分	環境監視調査の結果(L <sub>10</sub> )				環境監視基準
		工事中				
		令和6年度春季	令和6年度夏季	令和6年度秋季	令和6年度冬季	
EV-10	昼間	<30	<30	<30	<30	75dB以下
EV-13		<30	<30	<30	<30	

- 注) 1. 地点名の EV-10 は国立沖縄工業高等専門学校、EV-13 は辺野古集落を示します。  
 2. 30dB 未満は「<30」と表示しています。  
 3. 環境監視基準は振動規制法に基づく「特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準」です。  
 4. 表中の数値は、昼間の時間区分（測定時間帯の8時から19時の11時間）において、それぞれの時間での測定値のうち、振動レベルの80%レンジ上端値の最大値を示します。

### 3.4 低周波音

#### 3.4.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音

建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.4.1.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは、環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.4.1.1 建設機械・船舶の稼働に伴う低周波音の評価結果

単位：dB

地点名	区分	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル										
			1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz	
LF-10	環境監視調査の結果	工事中	R6年度春季	39.1	38.7	38.6	39.3	39.4	39.0	39.3	39.6	42.3	42.8
			R6年度夏季	50.9	26.8	28.4	29.8	30.9	32.7	34.8	35.9	36.1	37.9
			R6年度秋季	51.8	50.1	48.5	47.5	46.9	47.1	47.1	46.7	46.0	45.8
			R6年度冬季	48.6	46.0	44.6	45.0	44.9	44.7	45.7	45.9	43.7	43.3
LF-13		R6年度春季	67.3	66.4	63.3	60.3	56.8	54.9	52.6	49.5	47.0	46.9	
		R6年度夏季	38.3	37.3	36.6	36.2	36.2	36.0	35.5	36.3	37.4	38.3	
		R6年度秋季	58.4	56.9	54.9	53.5	52.8	52.9	51.5	50.5	50.2	48.6	
		R6年度冬季	61.3	57.8	54.8	51.9	49.9	48.8	47.7	46.7	45.8	43.9	
環境監視基準		心理的	-	-	-	-	-	-	-	115	111	108	
		物的	-	-	-	-	-	-	-	70	71	72	

地点名	区分	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル										
			10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz	
LF-10	環境監視調査の結果	工事中	R6年度春季	43.9	44.4	46.0	47.5	51.3	51.9	50.5	50.8	50.7	49.1
			R6年度夏季	41.5	42.6	49.6	51.3	49.4	51.6	51.4	50.9	51.0	50.1
			R6年度秋季	46.0	46.8	46.8	52.3	51.2	52.7	53.8	53.2	55.2	53.3
			R6年度冬季	43.5	45.3	46.0	49.1	50.6	50.4	49.9	50.6	48.7	46.4
LF-13		R6年度春季	46.1	46.3	47.6	50.0	60.1	63.8	64.1	64.2	58.7	54.3	
		R6年度夏季	42.6	43.7	48.1	52.3	55.1	65.3	59.0	57.8	62.2	62.2	
		R6年度秋季	47.3	47.3	47.2	49.2	51.6	60.1	55.1	54.6	55.4	55.5	
		R6年度冬季	43.8	45.9	47.1	51.1	54.5	64.1	56.5	57.0	56.6	52.5	
環境監視基準		心理的	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84	
		物的	73	75	77	80	83	87	93	99	-	-	

注) 1. 周波数別の音圧レベルは、1時間ごとの測定値のエネルギー平均値です。

2. LF-10 は国立沖縄工業高等専門学校、LF-13 は辺野古集落を示します。

3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、物的影響に係る閾値としています。

### 3.4.2 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音

資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果は表-3.4.2.1に示すとおりです。

環境監視調査の結果と環境監視基準を比較すると、全ての調査地点、調査時期において、1/3 オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベルは環境監視基準を大きく下回っており、環境監視基準を満足する結果となりました。

表-3.4.2.1 資機材運搬車両等の運行に伴う低周波音の評価結果

単位：dB

地点名	区分	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル										
			1Hz	1.25Hz	1.6Hz	2Hz	2.5Hz	3.15Hz	4Hz	5Hz	6.3Hz	8Hz	
TN-5	環境監視調査の結果	工事中	R6年度春季	56.7	54.7	51.4	46.8	42.2	39.8	39.3	40.5	41.5	44.2
			R6年度夏季	65.5	62.5	58.0	52.4	46.5	43.1	42.2	42.5	42.4	44.5
			R6年度秋季	67.2	63.5	58.6	52.7	47.2	44.1	43.5	43.5	43.8	44.9
			R6年度冬季	70.0	66.1	60.7	54.1	48.0	45.2	43.7	43.4	43.7	45.4
TN-10			R6年度春季	65.9	61.9	56.7	51.0	46.8	45.3	45.5	46.1	47.9	49.2
			R6年度夏季	55.4	52.9	49.0	45.1	42.8	42.6	43.5	44.1	45.8	47.6
			R6年度秋季	63.0	59.4	54.9	51.1	48.1	46.8	47.0	46.7	48.2	49.9
			R6年度冬季	67.7	64.8	61.9	59.6	57.2	55.2	53.9	52.3	51.6	52.1
TN-11			R6年度春季	58.0	52.6	47.7	45.2	43.6	42.4	41.8	41.8	42.3	44.0
			R6年度夏季	62.4	59.1	55.9	53.4	51.4	49.5	47.3	45.7	44.4	44.1
			R6年度秋季	63.3	59.5	56.6	53.9	51.5	49.4	48.2	47.7	47.5	46.7
			R6年度冬季	59.8	55.0	51.2	48.6	46.5	45.6	44.3	43.9	43.6	43.6
環境監視基準		心理的	-	-	-	-	-	-	-	115	111	108	
		物的	-	-	-	-	-	-	-	70	71	72	

地点名	区分	季節	1/3オクターブバンド中心周波数毎の音圧レベル										
			10Hz	12.5Hz	16Hz	20Hz	25Hz	31.5Hz	40Hz	50Hz	63Hz	80Hz	
TN-5	環境監視調査の結果	工事中	R6年度春季	47.7	51.1	52.6	54.4	56.0	58.3	60.1	62.7	62.6	59.4
			R6年度夏季	47.7	51.0	51.9	54.8	55.3	57.5	59.2	62.6	63.1	61.0
			R6年度秋季	48.6	50.9	52.2	58.1	56.2	57.9	60.4	61.4	61.0	59.8
			R6年度冬季	48.3	51.5	53.1	55.8	58.6	59.1	60.5	62.2	61.8	59.4
TN-10			R6年度春季	50.2	53.6	54.8	55.4	60.1	59.4	60.6	59.8	61.5	61.7
			R6年度夏季	49.5	52.8	54.1	55.3	65.0	61.8	61.5	62.0	61.9	61.1
			R6年度秋季	51.5	53.9	55.9	56.1	60.2	60.3	63.1	62.6	64.5	62.2
			R6年度冬季	52.5	55.7	56.8	59.0	62.3	63.4	64.5	63.5	64.7	62.6
TN-11			R6年度春季	46.7	51.2	52.7	56.8	58.1	59.3	63.1	65.4	67.7	64.2
			R6年度夏季	46.2	50.6	53.3	57.5	57.4	60.0	62.4	65.7	67.7	64.9
			R6年度秋季	46.5	50.8	56.2	57.7	57.9	60.4	62.9	64.4	66.8	66.4
			R6年度冬季	45.1	51.1	57.7	57.3	58.4	59.6	62.6	65.5	67.2	64.2
環境監視基準		心理的	105	101	97	93	88	83	78	78	80	84	
		物的	73	75	77	80	83	87	93	99	-	-	

- 注) 1. 周波数別の音圧レベルは、1時間ごとの測定値のエネルギー平均値です。  
 2. 地点名の TN-5 は国立沖縄工業高等専門学校、TN-10 は世富慶集落、TN-11 は松田集落の国道 329 号沿道を示します。  
 3. 環境監視基準は環境省や国内外の研究機関の調査研究により得られた心理的、物的影響に係る閾値としています。

### 3.5 底生動物等（移動後の状況監視）

底生動物等（移動後の状況監視）の環境監視調査の結果と環境監視基準との比較検討の結果を以下に示します。なお環境監視基準としては、マーキングした固着性の底生動物及びウミボスについて、個体数や生育状況に顕著な減少が確認された場合、及び底生動物相、海藻草類相、浮遊生物相において、種類数や個体数等を過年度調査結果の変動範囲と比較し、顕著な減少が確認された場合に大きな変化が生じていると判断することとしています。また、令和6年度までに実施した追跡調査の移動先と調査地点は図-1.2.5.1に、重要な種の移動先と生物相調査の調査地点は巻末資料に示します。

#### 3.5.1 追跡調査

移植したウミボスの追跡調査の結果の概要を、表-3.5.1.1に示します。

平成29年度の移植では、平成30年3月28日に前原～久志地先にて1個体を移植しました。このとき、移植先の岩及びその周辺で、ウミボスの生育は確認されませんでした。その後、移植1年後である平成31年3月30日に実施した追跡調査では周辺部にウミボスが確認されたことから、移植個体が発生に寄与したと推察されました。

前原～久志地先の移植先については、移動後5年間が経過し、その間ウミボスの生育が継続して確認されており、移植後から大きな変化は生じていないと考えられます。以上のことから、移植による影響はなく、環境保全措置は適切に実施されたと考えられたことから、令和5年5月をもってモニタリングを終了しました。

令和元年度から令和6年度にかけて、大浦湾西部にて計1,350個体（令和元～2年度：95個体、令和2～3年度：37個体、令和3～4年度：345個体、令和4～5年度：270個体、令和5～6年度：603個体）を移植したところ、いずれも、移植直後、移植1ヶ月後及び繁茂期の追跡調査においてウミボスが確認されました。

令和6年度の繁茂期の追跡調査では、令和6年4月17日（令和6年繁茂期③）、5月22日（令和6年繁茂期④）、令和7年2月25日（令和7年繁茂期①）及び3月27日（令和7年繁茂期②）に追跡調査を実施したところ、全ての調査時期で移植先周辺においてウミボスが確認されました。

以上のことから、いずれの移植先においてもウミボスの生育が継続して確認されています。大浦湾西部においては、今後も追跡調査を継続して、生育状況の推移を確認していきます。



### 3.5.2 生物相調査

#### (1) インベントリー調査（定性的調査）

インベントリー調査で対象としている海藻類、海草類及び底生動物について、全地点を調査季別に整理した経年の出現種数を表-3.5.2.1 に示します。また、各地点の生息生育環境の変化について検討するために、各種レッドデータブック等において生息生育環境の情報が多く整理されており、生物相の中でも出現傾向による環境変化を推定することが可能と考えられる「重要な種」に着目し、整理を行いました。調査回ごとの重要な種の出現種数を図-3.5.2.2 に、地点別の各年度の出現種数、重要な種の種数及び重要な種の出現状況を表-3.5.2.3 に示します。なお、これらの表及び図では、平成 19 年度夏季から平成 26 年度春季の出現種数は、令和 6 年度に調査を実施した 25 地点において出現した種類を集計対象としました。また、平成 29 年度春季から平成 30 年度春季における調査地点は少ないため、これらの時期の出現種数は参考として掲載しています。

工事中の令和 6 年度春季から冬季における海藻類、海草類及び底生動物の出現種数は、いずれの調査時期においても工事前における変動範囲内かそれ以上であり、大きな変化はみられませんでした。また、各地点の環境の変化をみるために地点別の各年度で出現する重要な種を比較した結果、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられませんでした。

※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

図-3.5.2.1 インベントリー調査の調査地点

## 1) 各地点における経年結果

平成 19 年度から平成 26 年度及び平成 29 年度から令和 6 年度に実施されたインベントリー調査の各地点における底生動物及び海藻草類の総計種数、並びにそれらの重要な種数の経年結果概要を表-3.5.2.2 に示します。

令和 6 年度に実施されたインベントリー調査で確認された種数は、工事前の変動範囲内かそれ以上であり、顕著な減少はみられず、また、重要な種も工事前から継続して確認される種が多いことから、生息生育環境に大きな変化は確認されませんでした。

## 2) 海域区分ごとの調査結果

各調査地点を海域で区分し [ ] を嘉陽海域海岸部、[ ] を大浦湾海域海岸部、[ ] を久志・潟原海域海岸部、[ ] を大浦湾海域海上部、[ ] を久志・豊原海域海上部としました (図-3.5.2.1 参照)。そのうえで、各海域内の地点を相互に対照地点とみなし、海域ごとに重要な種の出現状況を整理し、工事前と工事中の比較を行いました。

底生動物及び海草類について、平成 19 年度から平成 26 年度及び平成 29 年度から令和 6 年度において、嘉陽海域海岸部では、3 地点で 110 種の重要な種が確認され、このうち 3 地点全てにおいて確認された重要な種は 18 種、2 地点以上で確認された重要な種は 54 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 56 種でした。大浦湾海域海岸部では、9 地点で 227 種の重要な種が確認され、このうち 9 地点全てにおいて確認された重要な種は 2 種、2 地点以上で確認された重要な種は 143 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 84 種でした。久志・潟原海域海岸部では、5 地点で 135 種の重要な種が確認され、このうち 5 地点全てにおいて確認された重要な種は 9 種、2 地点以上で確認された重要な種は 71 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 64 種でした。大浦湾海域海上部では、2 地点で 56 種の重要な種が確認され、このうち 2 地点全てにおいて確認された重要な種は 23 種、1 地点でのみ確認された重要な種は 33 種でした。久志・豊原海域海上部では、6 地点で 114 種の重要な種が確認され、このうち 6 地点全てにおいて確認された重要な種は 27 種、2 地点以上で確認された種は 78 種、1 地点でのみ確認された種は 36 種でした。

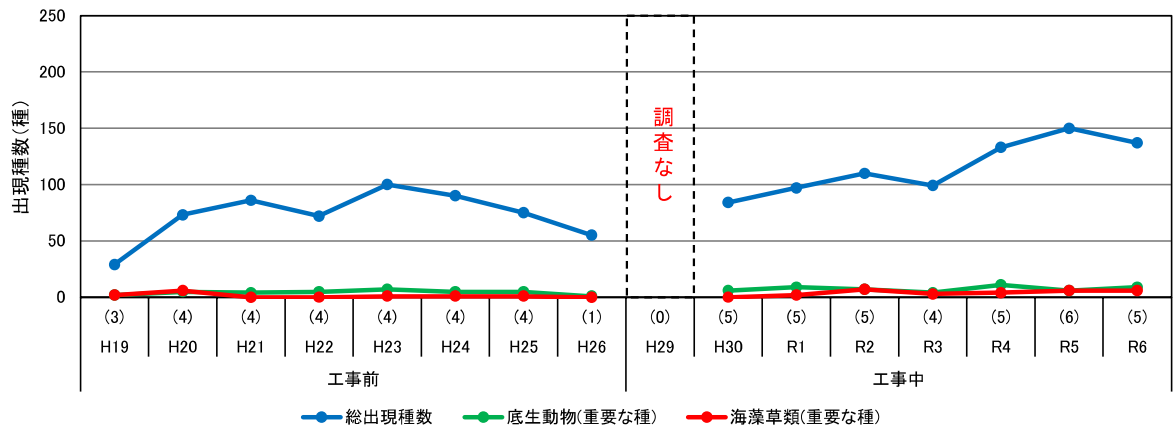
海域内の調査地点間で共通して確認されている重要な種は工事前から工事中にかけて継続的に確認されており、各海域の生息生育環境に大きな変化は確認されませんでした。

表-3.5.2.1 海藻類、海草及び底生動物の出現種数（インベントリー調査）

調査年度	工事前												H26 春季																
	H19		H20		H21		H22		H23		H24			H25															
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季										
調査地点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25										
海藻類 出現種数(種)	49	71	72	103	85	70	88	84	67	70	93	44	71	66	79	98	72	73	82	85	91	60	75	82	94				
海草類 出現種数(種)	7	8	8	11	10	11	10	11	11	8	11	5	8	9	10	10	9	9	9	10	8	8	9	10	8	8			
底生動物 出現種数(種)	303	298	293	353	344	324	298	442	443	353	394	232	307	353	413	432	332	294	352	494	349	320	319	462	304	366	301	449	
出現種数範囲	232～494																												
調査年度	44～103																												
調査時期	5～11																												
調査地点数	200～408																												
海藻類 出現種数(種)	74～134																												
海草類 出現種数(種)	8～11																												
底生動物 出現種数(種)	34～392																												
出現種数範囲	200～408																												
調査年度	工事中												R4 秋季																
	R29		R30		R31		R32		R33		R34			R35															
調査時期	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
調査地点数	1	2	15	19	21	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
海藻類 出現種数(種)	14	22	58	90	105	82	86	89	84	100	97	88	74	87	112	112	82	81	87	134	127	97	105	86	122	106	88	102	121
海草類 出現種数(種)	0	1	7	9	9	9	9	8	8	8	9	10	10	9	8	10	9	8	10	9	11	10	8	9	8	9	9	9	9
底生動物 出現種数(種)	34	93	235	392	360	311	328	379	364	363	364	361	354	314	200	347	353	396	325	330	403	344	308	333	375	408	395	396	350
出現種数範囲	14～105																												
調査年度	74～134																												
調査時期	8～11																												
調査地点数	200～408																												
海藻類 出現種数(種)	74～134																												
海草類 出現種数(種)	8～11																												
底生動物 出現種数(種)	34～392																												
出現種数範囲	200～408																												

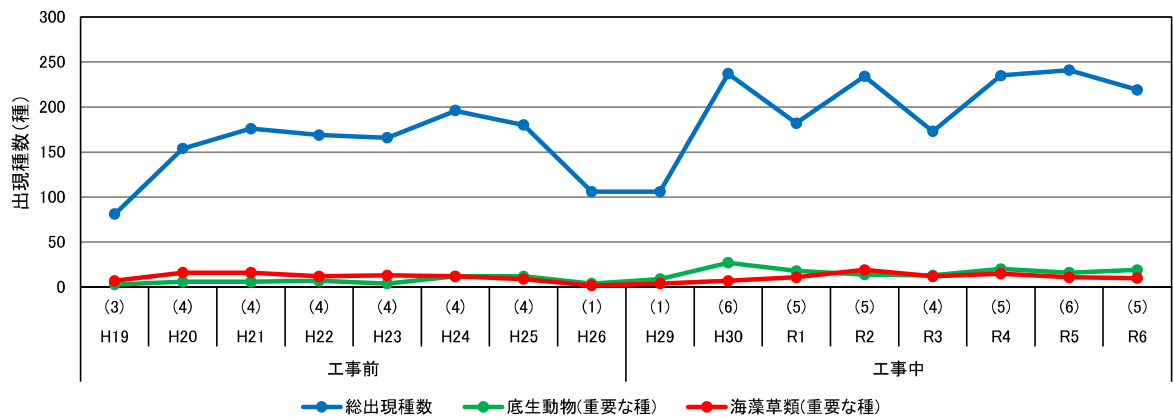
注) 1. 本環境監視調査結果（令和6年度）は、黄色の網掛けで示しています。

2. 平成29年度春季から平成30年度春季については調査地点数の関係から参考として掲載しており、工事中の出現種数範囲には含まれません。



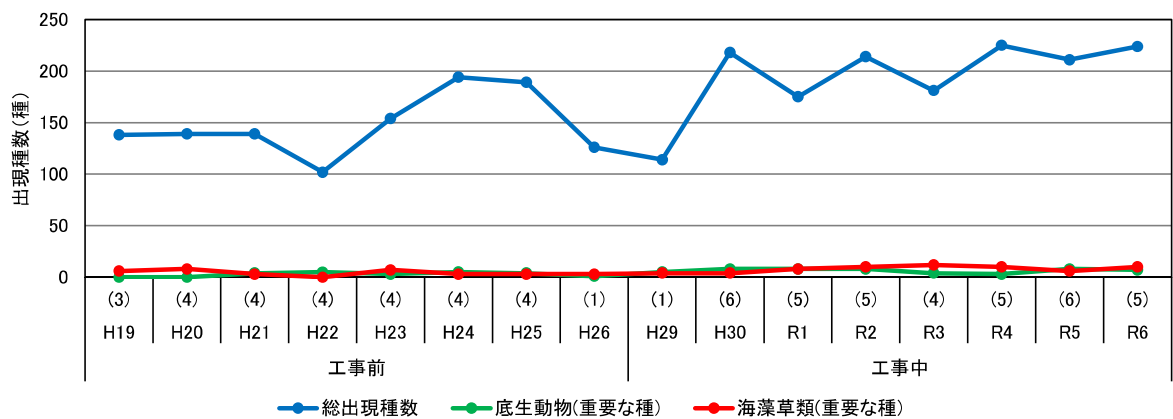
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(1) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



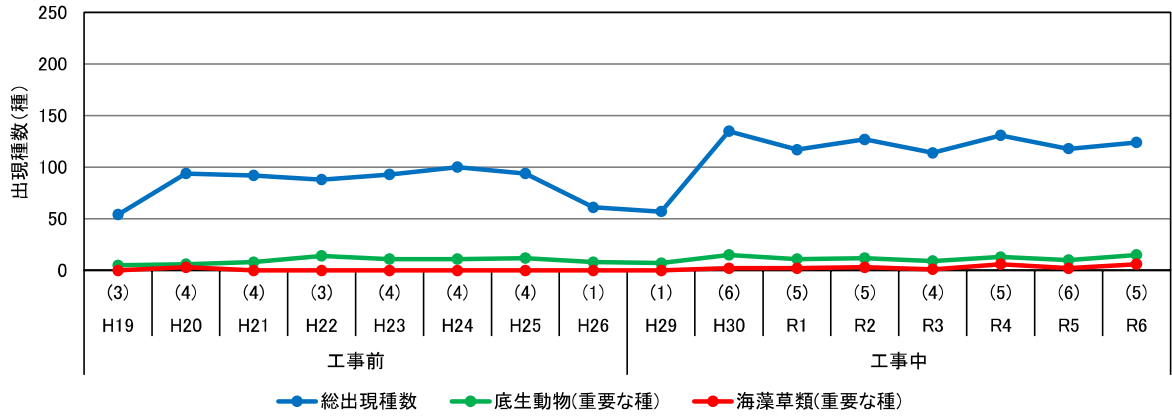
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(2) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



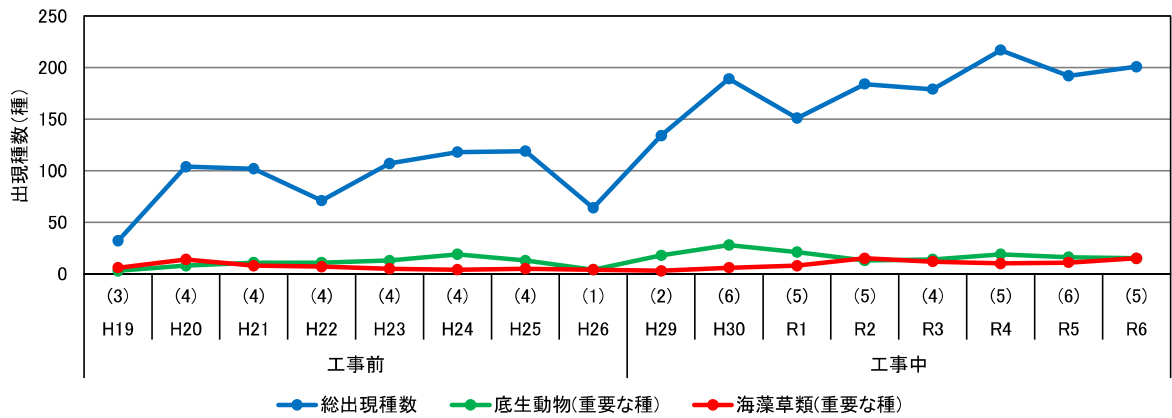
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(3) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



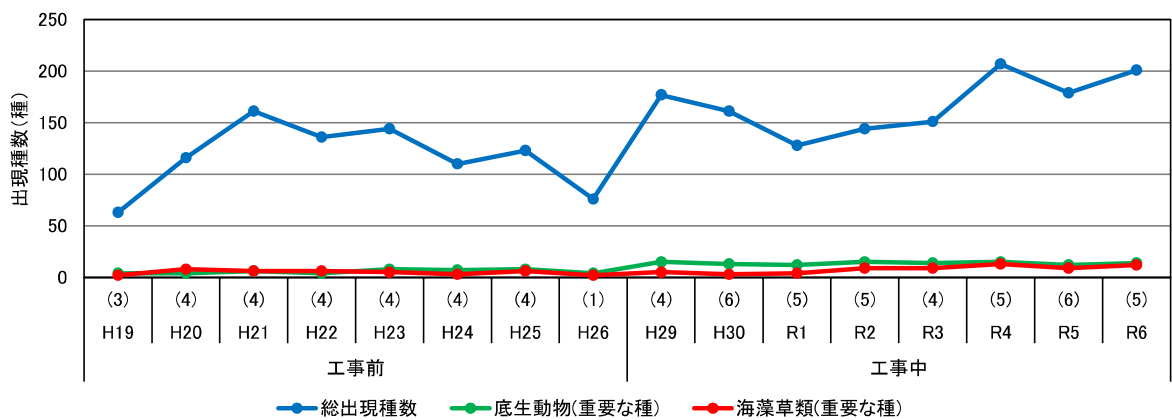
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(4) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



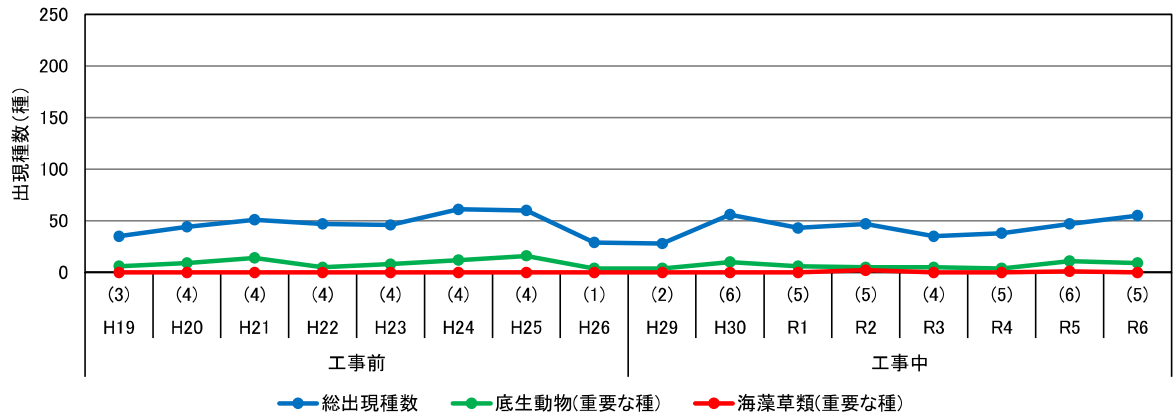
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(5) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



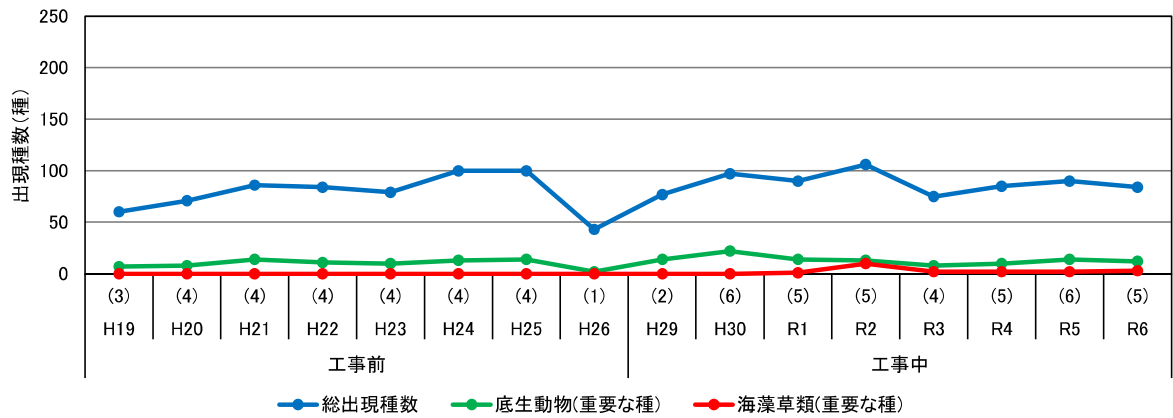
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(6) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



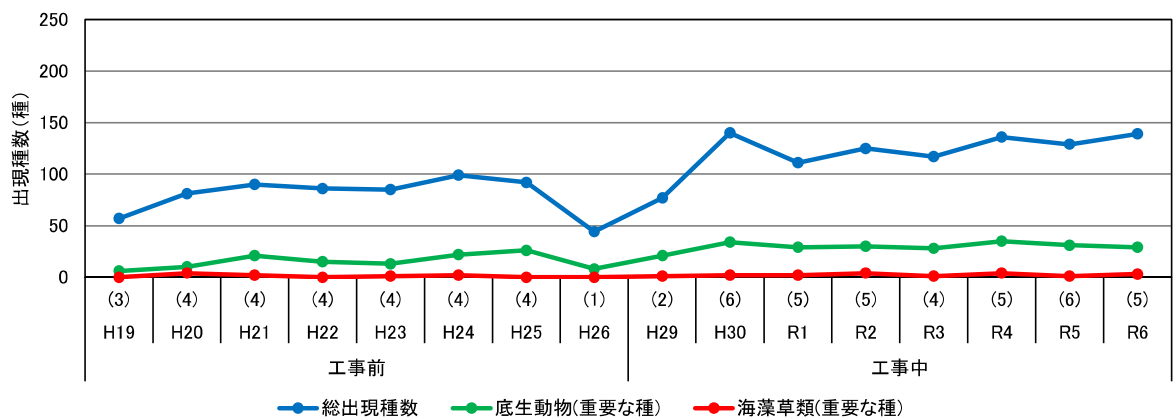
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(7) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



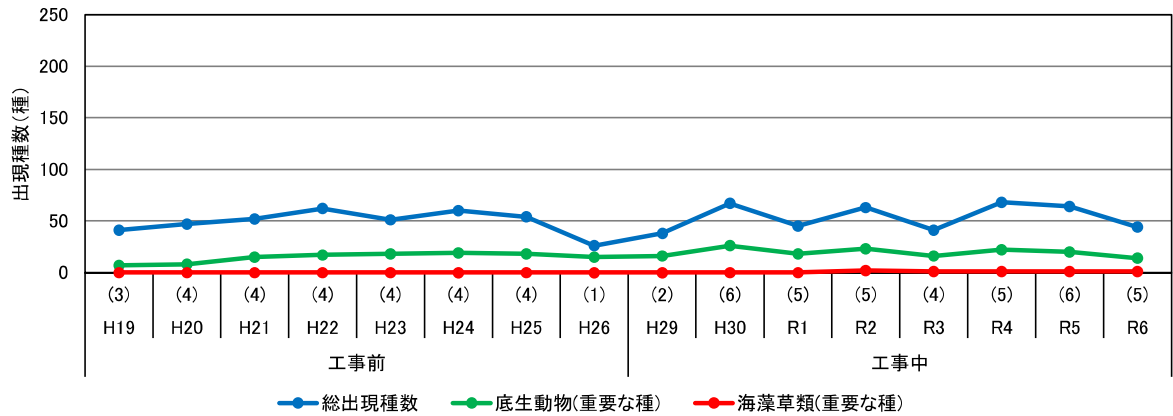
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(8) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



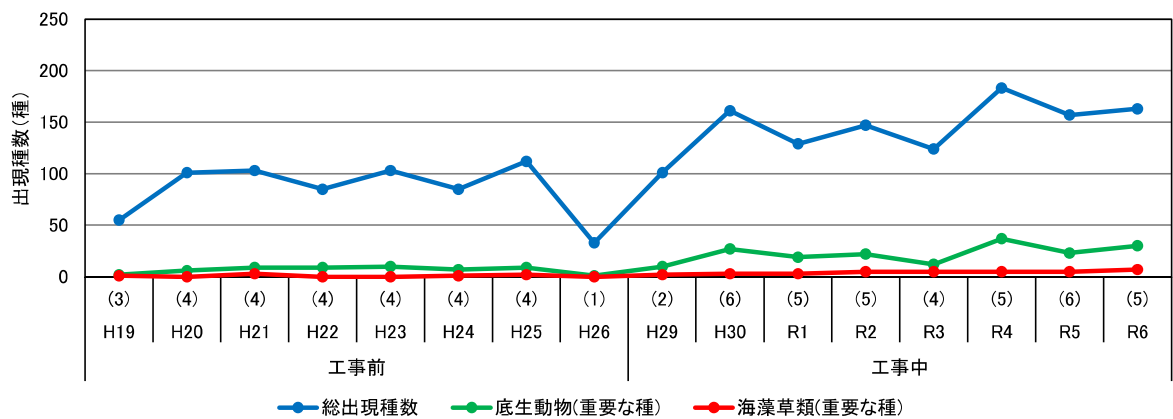
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(9) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



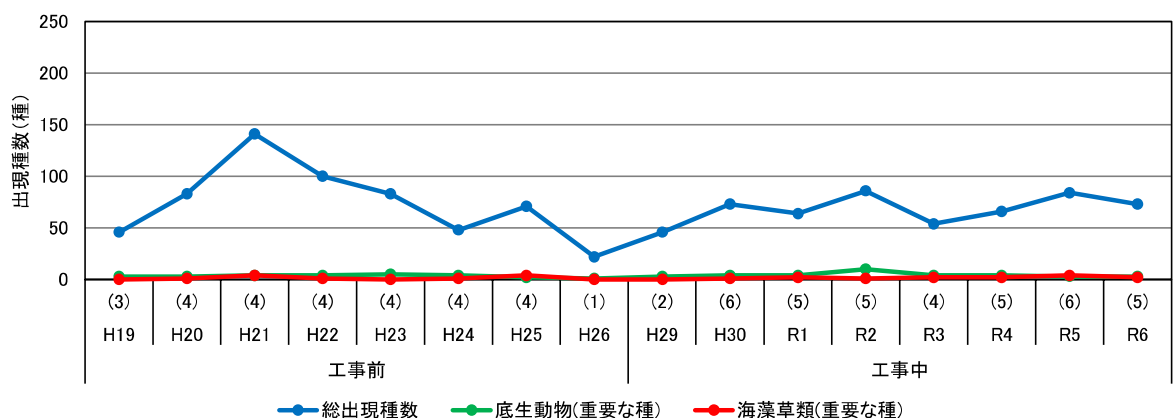
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(10) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



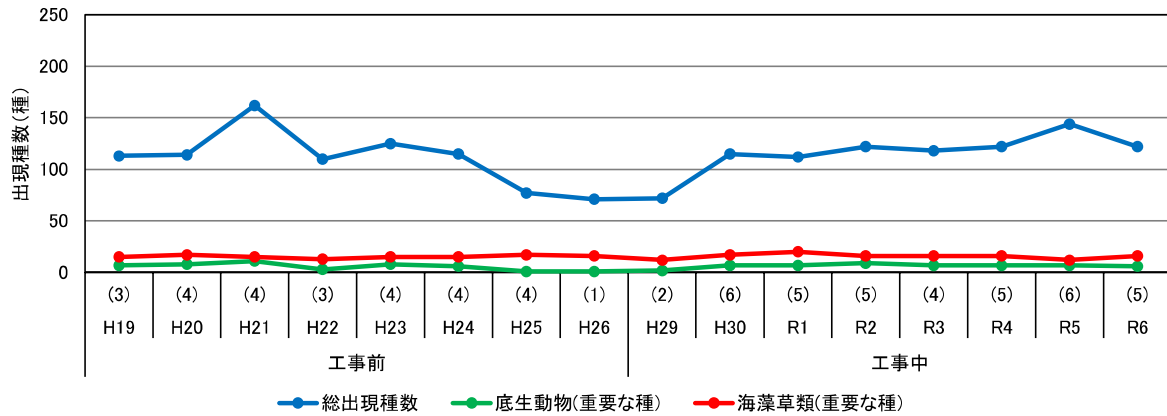
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(11) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



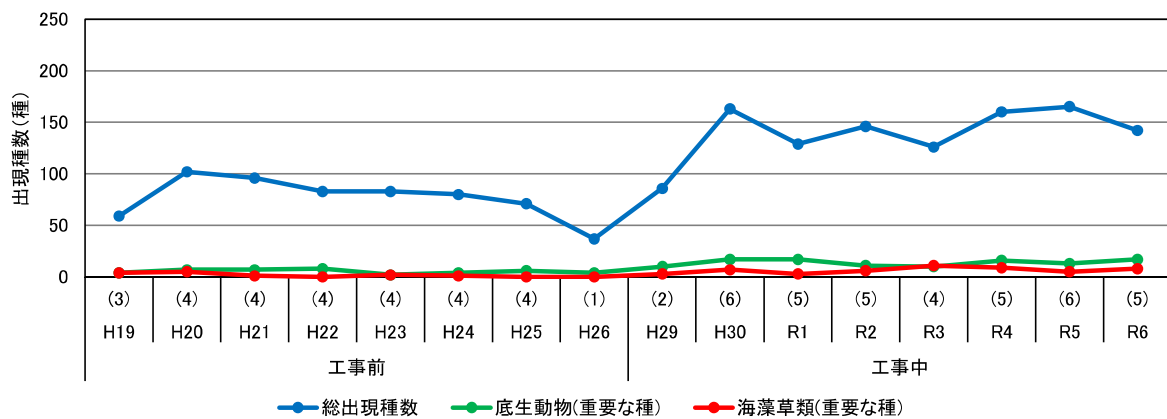
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(12) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



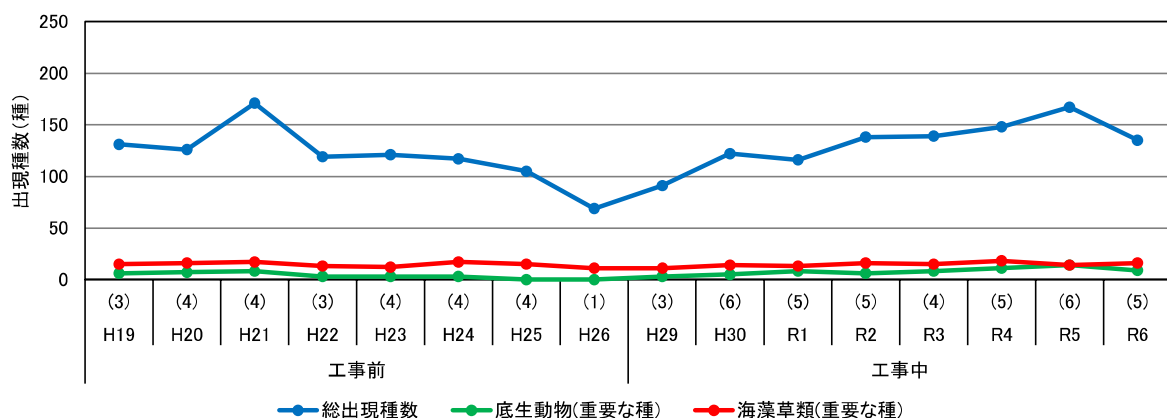
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(13) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



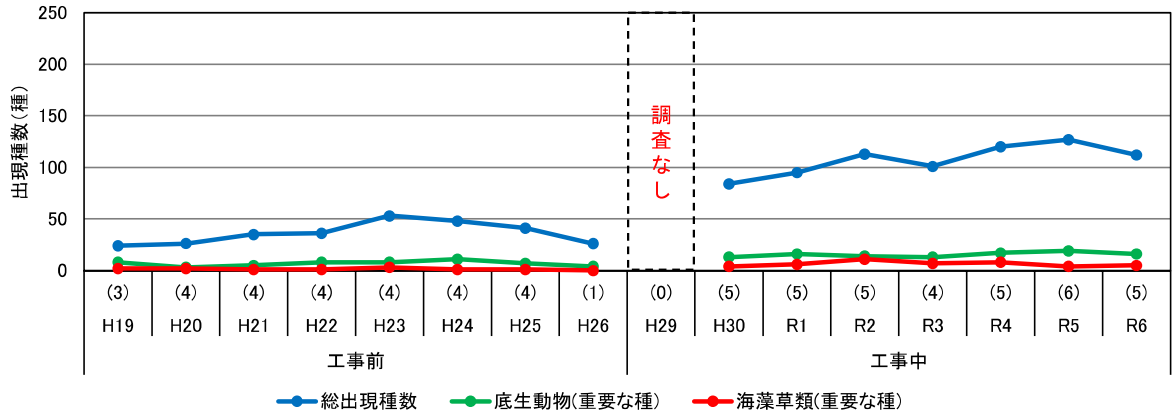
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(14) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



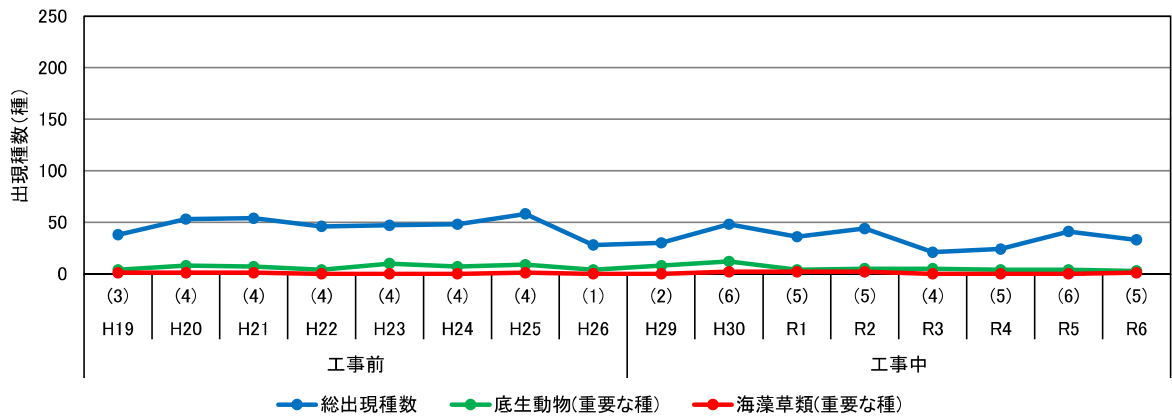
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(15) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



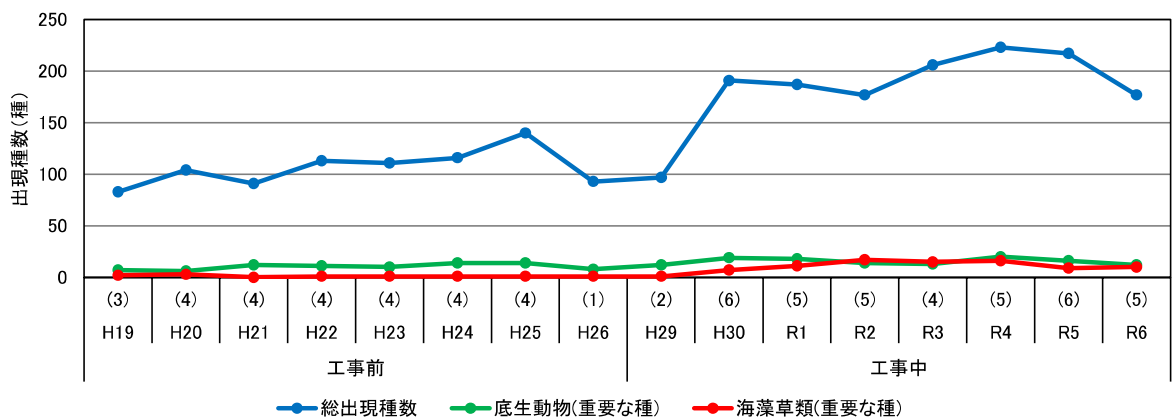
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(16) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



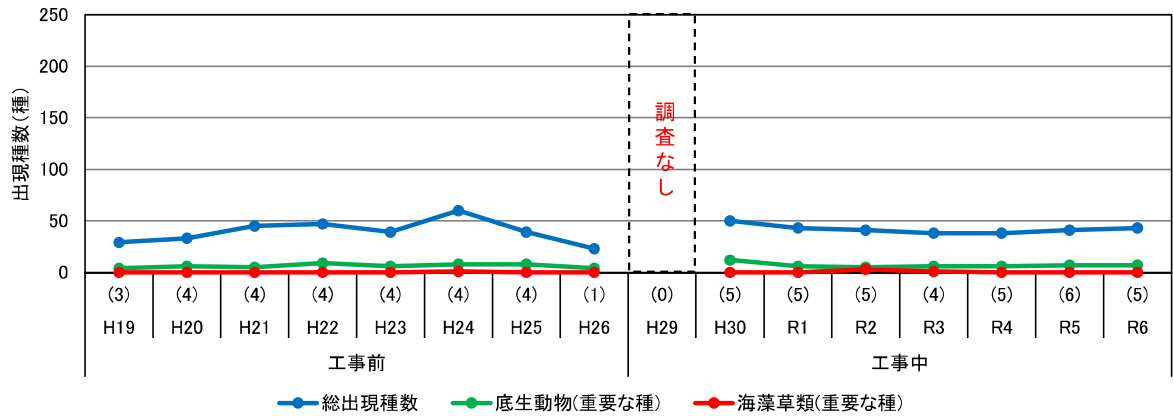
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(17) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



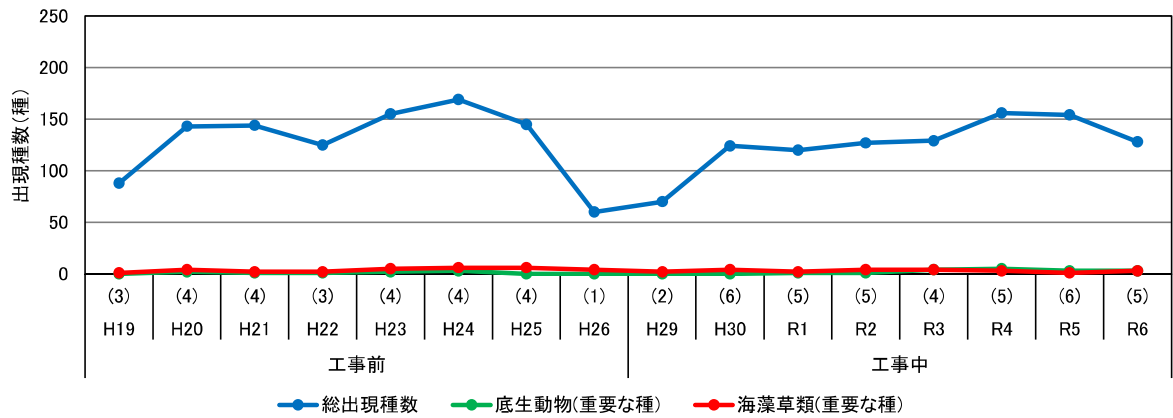
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(18) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



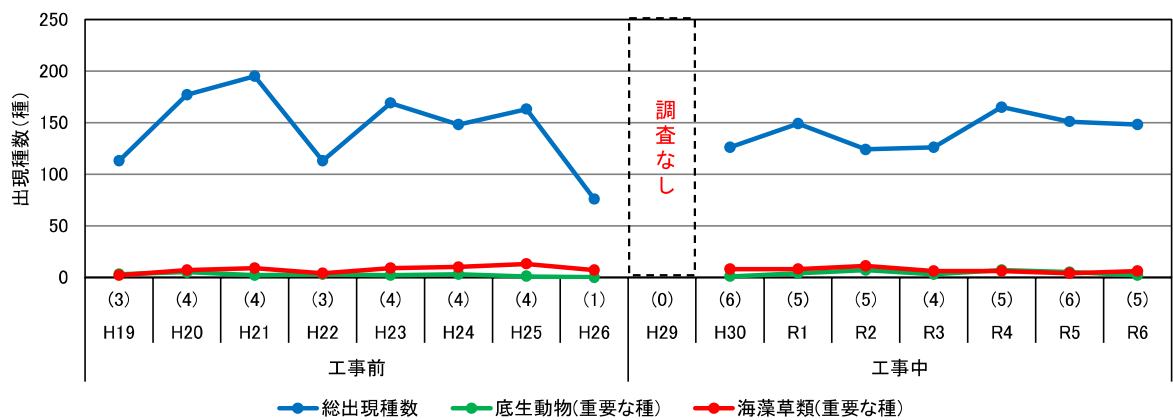
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(19) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



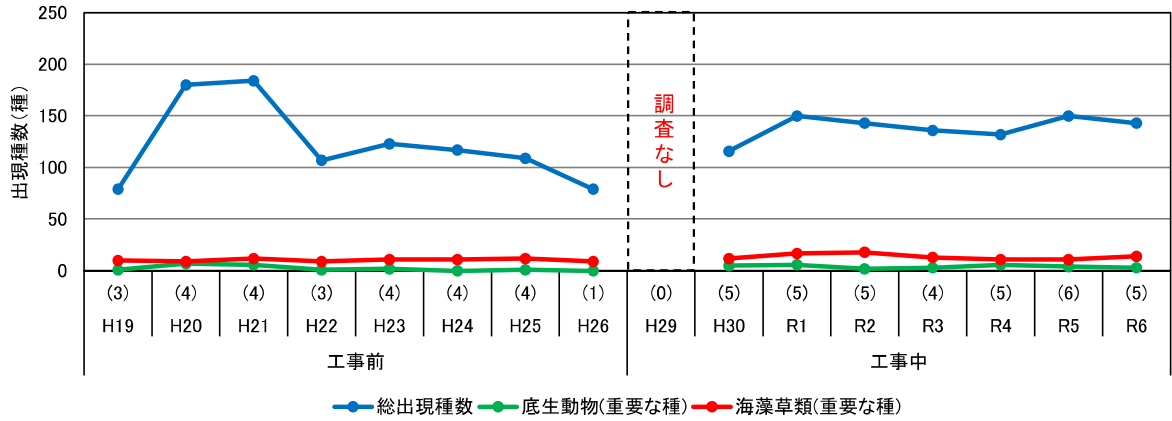
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(20) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



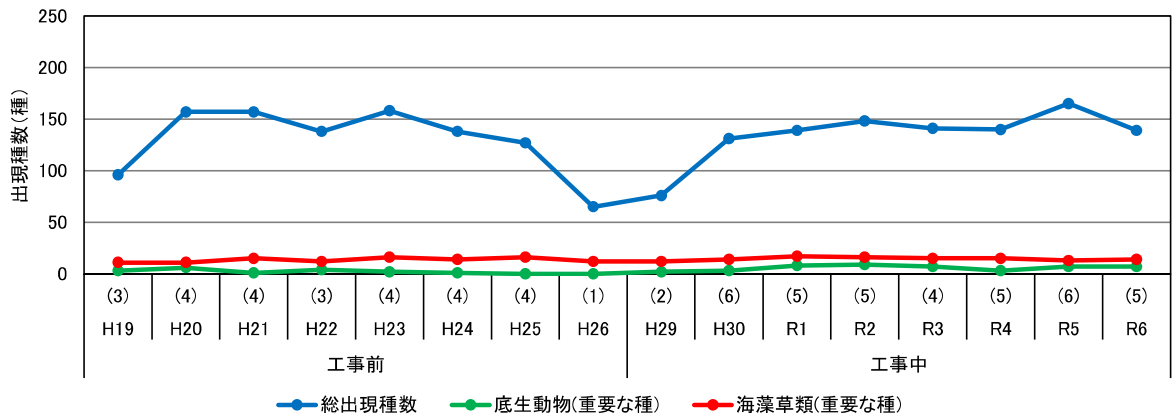
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(21) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 (■■■■)



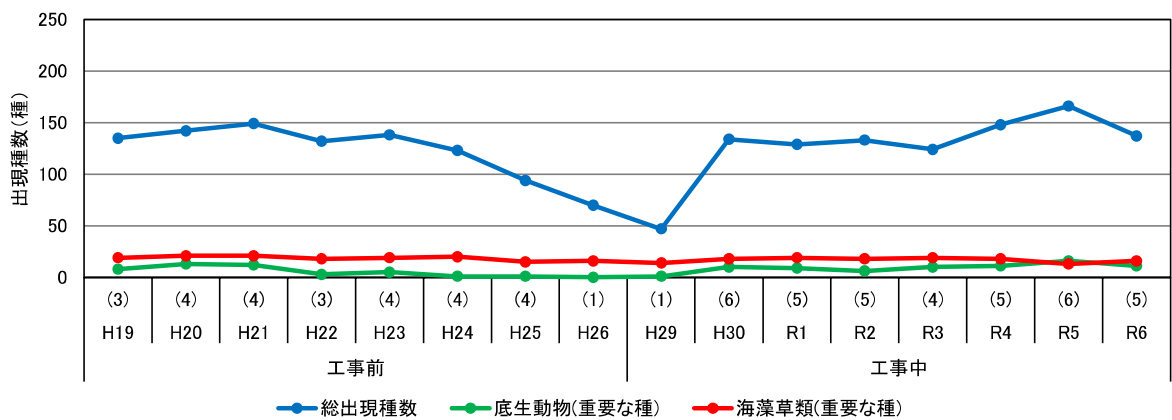
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(22) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



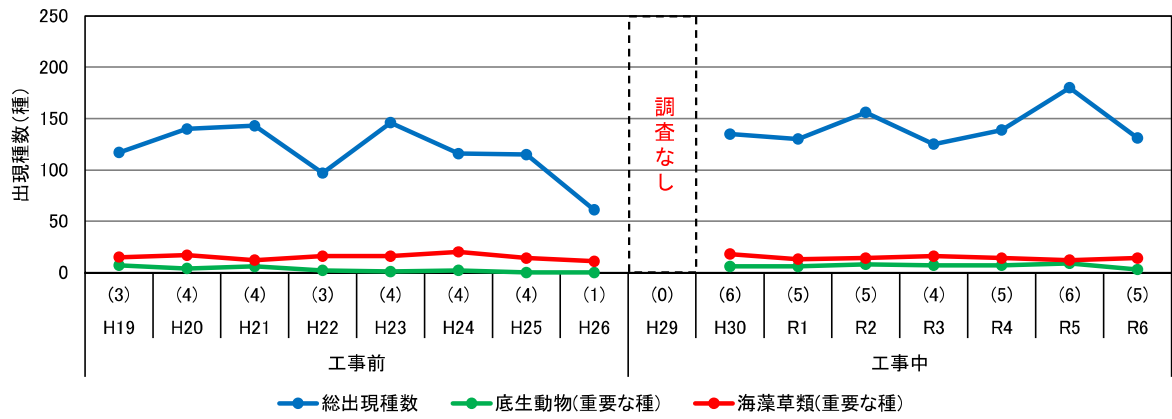
注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(23) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(24) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )



注) ()内の数字は調査回数を示しています。

図-3.5.2.2(25) 総計種数、海藻草類及び底生動物の重要な種数 ( )

表-3.5.2.2 インベントリ一調査結果概要表

	[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]	
	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中
底生動物	総計種数	90	107	161	210	169	180	89	119	108	165	124	149	58	54	96	91	93	132	
	最大値	22	73	68	90	80	104	53	54	25	122	50	101	29	26	42	66	44	69	
海藻類	重要な種数	7	11	12	27	5	8	14	15	19	28	8	15	16	11	14	22	26	35	
	最小値	1	4	3	9	0	3	7	3	13	4	4	12	4	4	2	8	6	21	
底生動物	総計種数	22	43	47	67	43	73	16	30	45	62	40	61	5	6	6	33	13	16	
	最大値	5	7	13	16	20	10	1	3	7	12	11	19	0	2	1	4	0	7	
海藻類	重要な種数	6	7	16	19	8	12	3	6	14	15	8	13	0	2	0	10	4	4	
	最小値	0	0	2	4	0	4	0	0	4	3	2	3	0	0	0	0	0	1	

	[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]	
	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中
底生動物	総計種数	59	63	101	154	103	73	104	86	81	140	112	99	43	101	52	42	130	171	
	最大値	25	35	33	91	22	42	28	22	33	72	29	41	18	70	27	19	77	86	
海藻類	重要な種数	19	26	10	37	5	10	11	9	8	17	8	14	11	19	10	12	14	20	
	最小値	7	14	1	10	1	3	1	2	2	10	0	3	3	13	4	3	6	12	
底生動物	総計種数	4	7	19	29	38	34	58	62	27	38	63	73	10	34	6	6	12	71	
	最大値	0	0	0	10	0	4	43	50	4	14	40	50	0	14	1	2	5	11	
海藻類	重要な種数	0	2	3	7	4	4	17	20	5	11	17	18	3	11	1	2	3	17	
	最小値	0	0	0	2	0	0	13	12	0	3	11	11	0	4	0	0	0	1	

	[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]		[ ]	
	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中	工事前	工事中
底生動物	総計種数	56	48	108	107	137	98	129	80	110	97	85	99	100	103					
	最大値	23	33	26	33	25	54	34	51	27	29	23	8	24	56					
海藻類	重要な種数	9	12	3	5	5	7	7	6	6	9	13	16	7	9					
	最小値	4	5	0	0	0	1	0	2	0	2	0	1	0	3					
底生動物	総計種数	4	5	61	60	69	72	59	80	63	74	68	71	65	79					
	最大値	0	0	25	37	32	56	38	65	38	47	47	39	37	65					
海藻類	重要な種数	1	3	6	4	13	11	12	18	16	17	21	19	20	18					
	最小値	0	0	1	1	2	4	9	11	11	12	15	13	11	12					

注) 調査回数が少なかった平成26年度は工事前の変動範囲から除いています。

表-3.5.2.3(1) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

調査年度	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5	6	5
出現種数	22	51	78	67	90	79	68	50	77	87	79	73	102	107	95	
重要な種数	2	5	4	5	7	5	5	1	6	9	7	4	11	6	9	
底生動物									調査なし							
オオアマガイ		○	○	○			○						○			
クサイロカノコ											○					
カヤノミカニモリ		○											○			
シチクガイ							○								○	
セウケハチミツガイ				○												
スジホシムシヤドリガイ									○							
リュウキュウナミノコ						○									○	
マスオガイ						○										
イソハマグリ						○								○		
スジホシムシモドキ			○							○		○		○		
スジホシムシモドキ属									○	○	○		○	○	○	
スジホシムシ						○				○			○	○	○	
<i>Sicyonella inermis</i>								○								
ブビエスナモグリ				○					○		○				○	
ムラサキオカヤドカリ	○								○							
ナキオカヤドカリ	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
シロサンゴヤドカリ													○			
マーグイヨコバサミ						○										
キカイホンヤドカリ										○						
オキナワヒライソガニ			○		○											
トゲアシヒライソガニモドキ														○		
ミナミヒライソモドキ		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
ヨツハヒライソモドキ					○	○				○	○		○		○	
レンゲガニ										○						
ムツハアリアケガニ		○														
ヒメカクオサガニ							○			○	○	○	○	○	○	
出現種数	7	22	8	5	10	11	7	5	7	10	31	26	31	43	42	
重要な種数	2	6	0	0	1	1	1	0	0	2	7	3	4	6	6	
海藻草類									調査なし							
ニセウシケノリ															○	
カモガシラノリ										○	○	○	○	○	○	
ハイコナハダ											○				○	
ササバアヤギス											○				○	
オオネダシグサ															○	
イチイズタ											○		○			
モツレチョウチン													○		○	
ヒロハサボテングサ		○										○				
フササボテングサ										○	○	○	○	○		
ウスガサネ	○														○	
カサノリ	○	○			○	○	○							○		
リュウキュウスガモ		○														
ウミヒルモ		○									○					
ホソバウミジグサ		○													○	
ベニアマモ		○									○			○		

表-3.5.2.3(2) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	68	109	129	137	122	161	145	87	90	210	155	167	122	175	175	161
重要な種数	3	6	6	7	4	12	12	4	9	27	18	14	13	20	16	19
ヒメケハダヒザラガイ				○												
タイワンキサゴ														○		
ヤジリスカシガイ						○				○						
オオアマガイ	○	○							○							
クサイロカノコ			○			○	○			○						
キンランカノコ			○													
カヤノミカニモリ						○							○	○	○	○
オハグロガイ										○						
フトスジムカシタモト																○
イガムシロ														○		
ヨウラクレイシダマシ														○		
シチクガイ																○
カヤノミガイ											○			○		
チビハマシイノミガイ											○					
ホソスジヒバリガイ										○						
チヂミウメノハナ									○							
カブラツキガイ							○	○	○	○	○		○			
ユンタクシジミ			○							○		○				○
スジホシムシヤドリガイ										○						○
イレズミザル												○				○
カワラガイ						○										
オキナワヒシガイ				○			○		○	○			○			
リュウキュウアオイ														○		
オミナエシハマグリ						○						○				
オイノカガミ										○						
リュウキュウアサリ																○
リュウキュウナミノコ														○	○	○
ヒメニッコウガイ										○	○					
コニッコウガイ															○	
ナミノコザラ			○													
ホシヤマナミノコザラ														○		
ミガキヒメザラ						○				○						
ミクニシボリザクラ										○						
ハスメザクラ										○				○		
ユキガイ											○					
イソハマグリ		○												○	○	○
スジホシムシモドキ							○								○	
スジホシムシモドキ属										○	○	○				○
スジホシムシ			○	○			○			○	○	○		○	○	○
<i>Sicvonnella inermis</i>				○			○			○	○	○		○	○	○
ブビエスナモグリ					○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
モバホソスナモグリ						○										
<i>Neocallichirus calmani</i>													○			
ノコバスナモグリ												○				
オトヒメスナモグリ										○						○
コブシアナジャコ															○	
オカヤドカリ										○	○					
ムラサキオカヤドカリ	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオウラムツアシガニ					○	○	○	○								
ツノナシイボガザミ																○
ヤエヤマヒメオカガニ							○		○	○	○	○	○	○	○	
ムラサキオカガニ													○			
アカクレイワガニ		○														
イワトビバンケイガニ									○	○	○	○	○	○	○	○
アシナガアカイソガニ											○					
ヨツハヒライソモドキ										○	○					○
レンゲガニ										○						
ミナミヒライソモドキ									○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメカクオサガニ		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ルリマダラシオマネキ										○		○	○	○		

底生動物

表-3.5.2.3(3) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	13	45	47	32	44	35	35	19	16	27	27	67	51	60	66	58
重要な種数	7	16	16	12	13	12	9	2	4	7	11	19	12	15	11	10
カモガシラノリ							○								○	
ハイコナハダ													○	○	○	
ササバアヤギヌ													○	○	○	
ツクシホウズキ														○		
カヤモノリ			○		○							○				
ヤバネモク		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○		○
チュラシマモク										○						
ウミフシナシミドロ												○			○	○
ホソバロニア		○			○											
オオネダシグサ												○	○	○	○	○
マガタマモ	○	○	○	○							○	○	○			
コテングノハウチワ				○		○	○									
テングノハウチワ		○														
モツレチョウチン																○
ヒロハサボテングサ			○									○				
フササボテングサ			○	○	○	○	○					○			○	○
ナガミズタマ		○	○	○	○	○										
ウスガサネ		○		○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
カサノリ		○	○	○	○	○			○			○		○		
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオウミヒルモ		○	○									○	○	○		
ヒメウミヒルモ											○	○			○	
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		○		
ホソバウミジグサ		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○			
ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウアマモ	○	○	○	○		○	○					○				
ボウバアマモ		○	○								○	○		○		

海藻類

表-3.5.2.3(4) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前									工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
調査年度																	
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5	
出現種数	105	96	105	80	130	167	169	99	104	180	139	147	119	152	143	161	
重要な種数	0	0	4	5	3	5	4	1	5	8	8	8	4	3	8	7	
底生動物	カヤノミカニモリ															○	
	ヨウラクレイシダマシ										○						
	ホソハマシイノミガイ									○	○						
	セワケハチミツガイ									○				○	○		
	ユンタクシジミ															○	
	スジホシムシヤドリガイ											○				○	
	イレズミザル											○					
	ネコジタザラ										○	○					
	ミクニシボリザクラ							○									
	ハスマザクラ									○							
	スジホシムシモドキ															○	
	アマミスジホシムシモドキ				○												
	スジホシムシモドキ属									○	○	○	○			○	○
	スジホシムシ												○			○	○
	モバホソスナモグリ						○			○							
	オカヤドカリ				○						○						
	ムラサキオカヤドカリ			○	○	○		○									
	ナキオカヤドカリ			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
	シロサンゴヤドカリ											○		○		○	
	ヤエヤマヒメオカガニ						○			○	○		○	○			
	アカカクレイワガニ			○													
イワトビベンケイガニ									○								
アシナガアカイソガニ			○	○	○	○	○			○	○						
ヒメカクオサガニ					○			○		○	○	○	○	○	○	○	
出現種数	33	43	34	22	24	27	20	27	10	38	36	67	62	73	68	63	
重要な種数	6	8	3	0	7	3	3	3	4	4	8	10	12	10	6	10	
海藻類	カモガシラノリ					○								○			
	ハイコナハダ												○	○	○		
	ケコナハダ												○	○	○		
	ヌルハダ		○														
	ササバアヤギヌ													○	○	○	
	ツクシホウズキ																○
	ヤバネモク	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○		○
	カラクサモク													○	○		○
	コバモク	○				○											
	キシウモク										○	○	○				
	チュラシマモク	○									○	○				○	
	ホソバロニア								○								
	オオネダシグサ												○	○	○	○	○
	マガタマモ	○	○	○								○	○		○		○
	ヒメミドリゲ																○
	イチイスタ																○
	モツレショウチン												○	○	○		○
	フササボテングサ																○
	ナガミズタマ		○	○		○					○	○	○	○	○	○	○
	ウスガサネ	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カサノリ		○			○					○			○				
リュウキュウスガモ	○	○			○	○	○		○		○	○					
マツバウミジグサ									○								
ベニアマモ		○			○		○										
リュウキュウアマモ						○											

表-3.5.2.3(5) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査年度																
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	53	78	82	81	87	89	87	58	54	119	103	97	95	103	94	98
重要な種数	5	6	8	14	11	11	12	8	7	15	11	12	9	13	10	15
底生動物																
オオアマガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				
レモンカノコ																○
ヌノメミヤコドリ										○						
ミヤコドリ														○		
コゲツノブエ																○
カヤノミカニモリ		○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○
イロタマキビ														○		
カブラツキガイ										○						○
セウケハチミツガイ	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○		○
ユンタクシジミ																○
スジホシムシヤドリガイ				○	○								○			
ハザクラ				○		○										
マスオガイ														○	○	○
クチバガイ							○									
スジホシムシモドキ		○	○				○									
スジホシムシモドキ属										○	○	○	○		○	○
スジホシムシ						○					○				○	○
ブビエスナモグリ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Neocallichirus calmani</i>										○		○				
オオヒロバカニダマシ										○						
オカヤドカリ											○	○				
ムラサキオカヤドカリ	○				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
マルテツノヤドカリ						○								○		
オオウラムツアシガニ							○									
アマミマメコブシガニ						○		○								
イリオモテマメコブシガニ														○		
ヤエヤマヒメオカガニ										○						
イワトビベンケイガニ				○						○						○
アシナガアカイソガニ				○	○	○	○	○			○	○				
オキナワヒライソガニ				○												
ミナミアシハラガニ				○												
コウビロヒライソモドキ										○						
ヨツハヒライソモドキ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
レンゲガニ																○
ヒメアカイソモドキ										○						
ミナミヒライソモドキ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ヒメカクオサガニ			○	○			○			○	○	○		○	○	
海藻草類																
出現種数	1	16	10	7	6	11	7	3	3	16	14	30	19	28	24	26
重要な種数	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	1	6	2	6
カモガシラノリ															○	
ハイコナハダ															○	
ヌルハダ		○														
ササバアヤギス		○													○	○
ヤバネモク												○				
キシウモク		○								○						
ウミフシナシミドロ											○	○			○	
オオネダシグサ															○	
ヒメミドリゲ																○
モツレチョウチン																○
フササボテングサ																○
ウスガサネ										○	○	○	○	○	○	○

表-3.5.2.3(6) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

調査年度	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	25	59	74	47	87	105	108	53	122	165	130	131	127	159	138	139
重要な種数	3	8	11	11	13	19	13	4	18	28	21	13	14	19	16	15
ヒメケハダヒザラガイ					○											
カヤノミカニモリ		○	○			○			○	○		○		○		○
オハグロガイ										○						
ヨウラクレイシダマシ														○		
ヤタテガイ									○							
ミノムシガイ											○					
コトツブ						○									○	○
シチクガイ										○						
リュウキュウサルボウ			○	○			○									
サンゴガキ							○									
ウミギク										○						
オオツヤウロコガイ							○									
オサガニヤドリガイ											○					
ユンタクシジミ										○	○					
スジホシムシヤドリガイ									○					○		
イレズミザル														○		
カワラガイ													○			
オキナワヒシガイ													○	○	○	○
チリメンカノコアサリ										○						
オミナエシハマグリ									○					○		
ナミノコガイ	○	○	○		○	○										
リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○			○	○		○	○	○	○	○
キュウシュウナミノコ						○				○						
ヒワズウネイチョウ			○													
ナミノコザラ											○					
ホシヤマナミノコザラ		○	○	○	○	○	○		○	○		○		○		
ウラキヒメザラ				○						○			○			
ミガキヒメザラ						○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
ミクニシボリザクラ									○							
ハスマザクラ										○				○		○
オガタザクラ		○	○		○	○									○	
ホソバラフマテガイ										○						
ナガタママキ						○	○	○	○		○					
トウカイタママキ				○	○	○	○	○		○						
オトメタママキ				○	○	○	○			○	○					
イソハマグリ				○	○	○	○				○	○			○	○
スジホシムシモドキ									○							
スジホシムシモドキ属													○	○	○	○
スジホシムシ		○			○		○		○	○	○		○	○	○	○
メナガオサガニハサミエボシ										○						
<i>Sicyonella inermis</i>							○			○						
ブビエスナモグリ			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
モバホソスナモグリ										○						
<i>Neocallichirus calmani</i>						○			○	○	○	○	○	○	○	○
オカヤドカリ										○						
ムラサキオカヤドカリ						○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
マーグイヨコバサミ											○					
マルテツノヤドカリ						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テナガツノヤドカリ		○	○													
キカイホンヤドカリ									○							
オオウラムツアシガニ				○	○	○	○							○		
アマミマメコブシガニ											○					○
ツノナシイボガザミ										○						
イワトビベンケイガニ										○						
オキナワヒライソガニ															○	
ヨツハヒライソモドキ					○											
ミナミヒライソモドキ			○							○	○	○	○		○	○
ヒメカクオサガニ				○	○	○				○	○	○	○	○	○	○
メナガオサガニ										○	○	○				
ルリマダラシオマネキ										○	○					

底生動物

表-3.5.2.3(7) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前										工事中					
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査年度																
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	7	45	28	24	20	13	11	11	12	24	21	53	52	58	54	62
重要な種数	6	14	8	7	5	4	5	4	3	6	8	15	12	10	11	15
カモガシラノリ												○	○	○	○	○
ハイコナハダ									○			○	○	○	○	○
ナンカイオゴノリ															○	
ササバアヤギヌ														○	○	
ツクシボウズキ																○
ヤバネモク		○										○	○			○
キシウモク											○		○		○	○
ウミフシナシミドロ											○	○	○	○	○	○
オオネダシグサ														○		○
キザミズタ		○														○
コテングノハウチワ										○		○				
モツレチョウチン																○
ヒロハサボテングサ		○									○					○
フササボテングサ				○							○	○	○	○	○	○
ウスガサネ		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホソエガサ																○
カサノリ			○	○	○		○	○		○	○	○	○			○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○				○				○	○	○	○	○
ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○
オオウミヒルモ		○										○				
ホソウミヒルモ			○													
コアマモ		○														
ニラウミジグサ	○	○	○	○							○		○	○		
ホソバウミジグサ		○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○
ベニアマモ	○	○														
リュウキュウアマモ	○	○	○									○				○
ボウバアマモ		○										○				

海藻  
草類

表-3.5.2.3(8) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前							工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	4	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	50	76	124	102	117	92	91	65	149	141	109	101	108	146	120	147
重要な種数	4	4	6	4	8	7	8	4	15	13	12	15	14	15	12	14
ヒメケハダヒザラガイ			○				○						○			
オオアマガイ	○				○		○		○	○						
カヤノミカニモリ								○		○				○		○
ヤタテガイ			○													
ホソハマシノミガイ											○					
クログチ		○			○											
サンゴガキ									○							
セワケハチミツガイ					○				○							○
オキナワヒシガイ																○
ナミノコガイ	○	○	○	○		○			○	○						○
リュウキュウナミノコ		○	○	○		○	○		○		○	○	○		○	○
キュウシュウナミノコ										○		○	○	○		
ナミノコザラ											○			○	○	
ホシヤマナミノコザラ										○		○	○	○	○	
リュウキュウクサビザラ														○	○	
ウラキヒメザラ													○			
ミガキヒメザラ											○	○	○	○		
アシバマスオ												○				
ナガタママキ										○	○	○	○	○		
トウカイタママキ														○		
オトメタママキ														○		
イソハマグリ												○				
スジホシムシモドキ									○							
スジホシムシモドキ属													○			○
スジホシムシ										○					○	
<i>Sicronella inermis</i>											○	○	○	○	○	○
アビスナモグリ								○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Neocallichirus calmani</i>									○	○	○	○	○	○	○	○
ムラサキオカヤドカリ	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マルテツノヤドカリ									○							○
ヤエヤマヒメオカガニ									○	○	○	○				
マルガオベンケイガニ						○										
イワトビベンケイガニ						○	○		○		○	○	○	○	○	○
アシナガアカイソガニ				○	○	○										○
オキナワヒライソガニ					○											○
ヨツハヒライソモドキ						○	○									○
レンゲガニ							○									
ミナミヒライソモドキ									○							○
ヒメカクオサガニ			○		○				○	○	○	○	○	○	○	○
出現種数	13	40	37	34	27	18	32	11	28	20	19	43	43	61	59	54
重要な種数	2	8	6	6	5	3	6	2	5	3	4	9	9	13	9	12
カモガシラノリ		○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○
ハイコナハダ				○					○	○	○	○	○	○	○	○
アケボノモズク				○												
ヌルハダ		○	○													
カタオゴノリ																○
ナンカイオゴノリ																○
ササバアヤギヌ														○	○	○
ツクシホウズキ		○				○							○	○	○	○
カヤモノリ					○											
ヤバネモク	○	○	○				○		○				○	○	○	○
コバモク					○											
キシウモク		○							○							
チュラシマモク		○														○
ウミフシナシミドロ												○		○		○
ホソバロニア				○												
オオネダシグサ												○		○	○	
マガタマモ																○
ヒメミドリゲ													○			
クビレズタ														○		
キザミズタ							○									
イチイズタ							○									
モツレチョウチン												○	○	○	○	○
ヒロハサボテングサ			○								○	○	○	○	○	○
フササボテングサ				○								○	○	○	○	○
ウスガサネ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カサノリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホソバウミジグサ														○		

表-3.5.2.3(9) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

調査年度	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	34	41	46	44	43	58	55	29	26	54	41	41	33	36	42	50
重要な種数	6	9	14	5	8	12	16	4	4	10	6	5	5	4	11	9
オオアマガイ								○								
ツバサカノコ (ヒロクチカノコ沖縄型)			○													
ミヤコドリ		○	○													
コゲツノブエ			○													
ヘナタリ		○	○													
マドモチウミニナ	○		○			○										
オイランカワザンショウ									○							
アンバルクチキレ							○			○					○	
クロヒラシイノミガイ			○													
ホソハマシイノミガイ			○													
クログチ		○	○				○									
タガソデモドキ									○							
ハナグモリ																○
ナミノコガイ		○	○			○	○			○						
リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キュウシュウナミノコ														○		
ヘラサギガイ											○					
ミクニシボリザクラ															○	
ハスメザクラ															○	
トガリリュウシオガイ	○															
リュウキュウザクラ	○						○			○						
ハザクラ		○			○	○	○									
マスオガイ						○										
アシバマスオ	○	○		○	○	○	○	○		○		○	○		○	○
イソハマグリ				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
クチバガイ						○										
クシケマスオ							○									
ブビエスナモグリ															○	
コブシアナジャコ				○												
オカヤドカリ										○						
ムラサキオカヤドカリ			○			○				○						
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ワカクサヨコバサミ							○									○
マルテツノヤドカリ							○	○								
イリオモテマメコブシガニ					○		○									
ツノナシイボガザミ															○	○
オキナワヒライソガニ		○	○		○	○	○			○		○			○	○
コウナガイワガニモドキ						○					○					
ミナミアシハラガニ					○											
ヒメヒライソモドキ											○					○
トリウミアカイソモドキ							○						○			
ヒラモクズガニ			○													
チゴイワガニ																○
ルリマダラシオマネキ						○										
出現種数	1	3	5	3	3	3	5	0	2	2	2	6	2	2	5	5
重要な種数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0
ササバアヤギス												○			○	
オオネダシグサ												○				

表-3.5.2.3(10) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	56	67	80	78	74	96	96	42	72	91	86	73	66	78	81	73
重要な種数	7	8	14	11	10	13	14	2	14	22	14	13	8	10	14	12
オオアマガイ			○	○	○	○	○									
ニセヒロクチカノコ			○	○												
ミヤコドリ										○						
コゲツノブエ						○										
カヤノミカニモリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○				○		
オハグロガイ							○									
ハブタエセキモリ										○						
リュウキュウムシロ					○											
アンバルクチキレ															○	
ドロアワモチ									○							
ゴマセンベシアワモチ			○													
ヘソアキコミミガイ													○		○	○
クログチ		○		○												
<i>Diplodonta</i> sp.B										○						
スジホシムシヤドリガイ												○				
ホシムシアケボノガイ														○		
イオウハマグリ			○													
ヤエヤマダレ		○		○	○	○	○		○		○					
スダレハマグリ			○							○						○
ハナグモリ																○
ナミノコガイ	○						○									
リュウキュウナミノコ	○				○	○	○		○			○	○	○	○	○
キュウシュウナミノコ														○		
リュウキュウサラガイ										○						
セワケハチミツガイ										○	○					
ヒメニッコウガイ														○		
スノメイチョウシラトリ			○													
ホシヤマナミノコザラ														○		
ハザクラ						○	○			○						
マスオガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
アシベマスオ			○		○	○	○									○
ユキガイ										○						
イソハマグリ															○	
クチバガイ											○				○	
スジホシムシモドキ			○	○			○									
アマミスジホシムシモドキ		○					○	○								
スジホシムシモドキ属									○	○	○	○	○	○	○	○
スジホシムシ		○	○							○		○				
ブビエスナモグリ			○						○	○	○	○				
コブシアナジャコ				○						○	○	○				
オオヒロバカニダマシ									○							
ムラサキオカヤドカリ							○									
ナキオカヤドカリ						○				○	○	○	○	○	○	○
ワカクサヨコバサミ					○	○					○	○				
オキナワヤワラガニ						○				○			○			
マンガルマメコブシガニ																○
アマミマメコブシガニ		○		○						○					○	○
イリオモテマメコブシガニ					○							○				
ツノナシイボガザミ										○	○				○	○
フジテガニ										○						○
オキナワヒライソガニ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
コウナガイワガニモドキ	○								○	○	○		○		○	
ヒメヒライソモドキ	○															
レンゲガニ												○				
トリウミアカイソモドキ									○	○	○			○		
ミナミヒライソモドキ				○					○	○		○	○		○	○
ヒラモクズガニ						○										
ハサミカクレガニ											○					
ヒメカクオサガニ										○						○
メナガオサガニ			○	○												
ルリマダラシオマネキ									○		○	○				

底生動物

表-3.5.2.3(11) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	4	4	6	6	5	4	4	1	5	6	4	33	9	7	9	11
重要な種数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	2	2	2	3
海藻 草類	カモガシラノリ											○				
	ハイコナハダ											○				
	フクロフノリ											○				
	ササバアヤギス										○	○	○	○	○	○
	ヤバネモク											○				
	ウミフシナシミドロ											○				
	オオネダシグサ											○	○	○	○	
	フササボテングサ											○				
	ウスガサネ											○				
	カサノリ											○				
ヒメウミヒルモ																○

表-3.5.2.3(12) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

調査年度	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	55	68	84	81	80	93	86	44	69	132	104	112	107	120	114	125
重要な種数	6	10	21	15	13	22	26	8	21	34	29	30	28	35	31	29
オオアマガイ	○		○				○			○						
ニセヒロクチカノコ				○												
ミヤコドリ											○					
コゲツノブエ			○							○					○	○
カヤノミカニモリ		○	○	○	○	○	○		○	○			○	○		
ミツカドカニモリ			○				○									
フトスジツノブエ		○	○	○			○		○							
フトヘナタリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○	○	○
ヘナタリ			○													
カワアイ			○											○		
イロタマキビ						○										
ガタチンナン													○			○
カニノテムシロ			○													
リュウキュウムシロ												○				
アンバルクチキレ										○				○		
ドロアワモチ									○							
ゴマセンベシアワモチ			○													
クロヒラシイノミガイ				○												
ヘソアキコミミガイ			○			○				○						
シュジュコミミガイ							○									
ホソハマシイノミガイ				○	○	○				○	○					
クログチ			○	○	○	○			○							
ヒロクチソトオリガイ												○				○
チヂミウメノハナ										○	○	○		○	○	○
Diplodonta sp.B														○	○	○
ナタマメケボリガイ													○			○
ユンタクシジミ										○	○					
スジホシムシヤドリガイ											○					
ホシムシアケボノガイ							○									
タガソデモドキ			○			○										
オキナワヒシガイ																○
イオウハマグリ			○							○						○
ヤエヤマダレ		○	○							○			○			
スダレハマグリ		○								○				○	○	○
ハナグモリ													○	○	○	○
リュウキュウナミノコ				○										○	○	
ヒメニッコウガイ														○	○	
ヘラサギガイ												○	○	○	○	○
ヒラセザクラ														○		
ヌノメイチョウシラトリ										○						
ナミノコザラ											○					○
ホシヤマナミノコザラ										○	○	○				○
リュウキュウクサビザラ										○		○				
ウラキヒメザラ								○		○						
ミガキヒメザラ							○						○	○	○	
ミクニシボリザクラ										○			○			
ハスメザクラ										○	○	○				○
トガリュウシオガイ			○			○	○	○		○	○		○	○	○	○
リュウキュウザクラ					○					○	○					○
ミナトマスオ										○						
アシベマスオ							○				○	○			○	○
リュウキュウアリソガイ													○			
ナガタママキ											○					
クチバガイ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
クシケマスオ							○									
スジホシムシモドキ												○				
アマミスジホシムシモドキ							○			○						
スジホシムシモドキ属									○	○	○	○	○	○	○	○
スジホシムシ										○	○	○			○	
メナガオサガニハサミエボシ																○
テッポウエビ							○									
マングローブテッポウエビ									○							
ブビエスナモグリ						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コブシアナジャコ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オカヤドカリ										○	○	○	○	○	○	○
ムラサキオカヤドカリ		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コムラサキオカヤドカリ									○	○	○	○	○	○	○	○
ワカクサヨコバサミ																○
マルテツノヤドカリ																○

底生動物

表-3.5.2.3(13) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

調査年度																
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
底生動物	オキナワヤワラガニ					○									○	
	アマミマメコブシガニ						○	○		○	○		○	○	○	○
	イリオモテマメコブシガニ						○	○	○		○	○	○	○	○	○
	ツノナシイボガザミ						○	○		○	○	○	○	○	○	○
	ヤエヤマヒメオカガニ				○					○		○				
	フジテガニ												○			
	イワトビベンケイガニ							○		○	○					○
	オキナワヒライソガニ		○	○		○	○			○	○	○	○		○	○
	コウナガイワガニモドキ			○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
	ミナミアシハラガニ				○	○				○	○	○	○	○	○	○
	レンゲガニ													○		
	トリウミアカイソモドキ						○	○							○	○
	ミナミヒライソモドキ	○									○				○	○
	ヒラモクズガニ	○														
	ハサミカクレガニ												○	○		
	ヒメカクオサガニ					○			○							
	チゴイワガニ		○								○		○	○	○	
	ヒメヤマトオサガニ			○												
ナカグスクオサガニ						○										
ハクセンシオマネキ									○							
ルリマダラシオマネキ							○		○			○	○	○	○	
出現種数	2	13	6	5	5	6	6	0	8	8	7	13	10	16	15	14
重要な種数	0	4	2	0	1	2	0	0	1	2	2	4	1	4	1	3
海藻類	カモガシラノリ		○													
	オゴノリ		○	○												
	ホソアヤギス														○	
	ササバアヤギス					○	○			○	○	○	○		○	○
	ウミフシナシミドロ		○								○	○	○		○	○
	クビレミドロ		○	○			○									
	オオネダシグサ												○	○	○	
	ウミヒルモ												○			
ヒメウミヒルモ															○	

表-3.5.2.3(14) インベントリ調査 地点別年度ごとの整理 ( )

調査年度	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	41	43	49	59	49	57	52	25	35	60	45	58	38	63	59	40
重要な種数	7	8	15	17	18	19	18	15	16	26	18	23	16	22	20	14
底生動物	オオアマガイ ウスベニツバサカノコ ツバサカノコ コゲツノブエ カヤノミカニモリ スノメカワニナ フトヘナタリ イロタマキビ オイランカワザンショウ ドロアワモチ マダラヒラシイノミガイ クロヒラシイノミガイ ヘソアキコミミガイ ヒゲマキシイノミミミガイ ナガオカミミガイ ホソハマシイノミガイ チビハマシイノミガイ スノメハマシイノミガイ クログチ チヂミウメノハナ リュウキユウナミノコ トガリユウシオガイ ハザクラ クチバガイ スジホシムシモドキ スジホシムシモドキ属 オオテナガエビ マングロープテッポウエビ プビエスナモグリ コブシアナジャコ オカヤドカリ ムラサキオカヤドカリ ナキオカヤドカリ コムラサキオカヤドカリ オキナワヤワラガニ マンガルマメコブシガニ イリオモテマメコブシガニ アカテノコギリガザミ ヤエヤマヒメオカガニ リュウキユウアカテガニ フジテガニ ウモレベンケイガニ イワトビベンケイガニ ユビアカベンケイガニ トガアシヒライソガニモドキ コウナガイワガニモドキ ミナミアシハラガニ アゴヒロカワガニ ヒメヒライソモドキ コウビロヒライソモドキ タイワンヒライソモドキ レンゲガニ ヒラモクスガニ カワスナガニ ヨウナシカワスナガニ チゴイワガニ ハクセンシオマネキ ルリマダラシオマネキ															
海藻	出現種数 重要な種数 ホソアヤギス ササバアヤギス															

表-3.5.2.3(15) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

調査年度	工事前							工事中								
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	52	93	84	78	95	74	101	33	91	144	117	123	102	154	129	136
重要な種数	2	6	9	9	10	7	9	1	10	27	19	22	12	37	23	30
オオアマガイ		○	○	○	○	○	○									
カヤノミカニモリ	○		○	○				○	○		○	○				○
ミノムシガイ											○					
ハイイロミノムシ					○											
チビツクシ															○	
コトツブ												○				○
アンバルクチキレ																○
クロヒラシイノミガイ										○					○	
ヒメヒラシイノミガイ														○		
ナガオカミミガイ										○				○		
ホソハマシイノミガイ			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
チビハマシイノミガイ										○						
<small>キヌメハマシイノミガイ (トリコハマシイノミガイ)</small>														○		
スノメハマシイノミガイ														○		
リュウキュウサルボウ				○												
クログチ				○												
チヂミウメノハナ															○	
カブラツキガイ										○			○	○		○
<i>Diplodonta</i> sp.B														○		
ナタマメケボリガイ																○
スジホシムシヤドリガイ						○				○						
タガソデモドキ			○													
カワラガイ																○
オキナワヒシガイ										○						○
リュウキュウアオイ														○		
イオウハマグリ																○
オイノカガミ																○
フジイロハマグリ																○
ハナグモリ																○
トンガリベニガイ																○
リュウキュウナミノコ		○	○							○						
キュウシュウナミノコ										○						
ダイミョウガイ															○	
ヘラサギガイ																○
ヒラセザクラ																○
ウネイチョウシラトリ													○			○
ホシヤマナミノコザラ										○	○	○		○	○	
リュウキュウクサビザラ											○					○
ウラキヒメザラ																○
ミガキヒメザラ										○	○	○		○	○	
ミクニシボリザクラ										○						○
ハスメザクラ										○						○
マスオガイ					○											○
ダンダラマテガイ																○
バラフマテガイ															○	
ホソバラフマテガイ							○			○	○	○		○	○	
ナガタママキ																○
オトメタママキ							○		○	○						
イソハマグリ		○													○	
クチバガイ			○	○												
スジホシムシモドキ						○	○		○							○
スジホシムシモドキ属									○	○	○	○		○	○	
スジホシムシ												○	○	○	○	
メナガオサガニハサミエボシ										○						○
<i>Sicyonella inermis</i>										○	○					○
<i>Sicyonella maldivensis</i>											○					○
ブビエスナモグリ							○		○	○	○	○	○	○	○	
トゲスナモグリ										○						
コブシアナジャコ																○
オカヤドカリ										○	○	○	○	○	○	
ムラサキオカヤドカリ		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	
コムラサキオカヤドカリ												○				○
マルテツノヤドカリ							○		○		○					○
キカイホンヤドカリ					○											
オオウラムツアシガニ							○									
アマミマメコブシガニ															○	
イリオモテマメコブシガニ											○	○		○		
ツノナシイボガザミ										○	○	○	○	○	○	
ヤエヤマヒメオカガニ																○

底生動物

表-3.5.2.3(16) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
底生動物	ムラサキオカガニ										○					
	イワトビベンケイガニ									○	○		○	○		
	ベンケイガニ															○
	ユビアカベンケイガニ							○				○				
	アシナガアカイソガニ								○							
	オキナワヒライソガニ			○		○				○	○			○	○	○
	ミナミアシハラガニ				○								○			
	ヒメヒライソモドキ												○			
	タイワンヒライソモドキ												○			
	ヨツハヒライソモドキ					○										
	レンダガニ		○													○
	ミナミヒライソモドキ									○	○	○			○	○
	ムツハアリアケガニ				○											
ヒメカクオサガニ												○	○			
ルリマダラシオマネキ														○		
出現種数	3	8	19	7	8	11	11	0	10	17	12	24	22	29	28	27
重要な種数	1	0	3	0	0	1	2	0	2	3	3	5	5	5	5	7
海藻草類	フクロフノリ											○				
	ホソアヤギス														○	○
	ササバアヤギス											○	○	○	○	○
	ウミフシナシドロ									○		○	○	○	○	○
	オオネダシグサ												○	○	○	○
	ヒロハサボテングサ										○					
	ウスガサネ						○								○	○
	リュウキュウウスガモ			○												
	ウミヒルモ			○			○			○	○	○	○	○	○	
	トゲウミヒルモ									○						
	ヒメウミヒルモ									○	○	○	○	○	○	○
	マツバウミジグサ	○		○				○								

表-3.5.2.3(17) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中								
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5	
底生動物	出現種数	37	67	103	82	72	41	47	22	42	55	48	73	42	46	50	47
	重要な種数	3	3	4	4	5	4	2	1	3	4	4	10	4	4	3	3
	ヒメケハダヒザラガイ			○									○		○	○	
	オオアマガイ	○	○		○		○	○			○			○			
	ヒメヒラシイノミガイ				○	○	○				○	○	○	○			
	スジホシムシモドキ属												○				
	スジホシムシ				○								○				
	オカヤドカリ			○							○	○	○	○	○	○	
	ムラサキオカヤドカリ	○	○	○		○				○		○	○				
	ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イリオモテマメコブシガニ												○				
	ツノナシイボガザミ												○				
	ヤエヤマヒメオカガニ									○			○				
リュウキュウアカテガニ						○											
イワトビベンケイガニ					○												
ヨツハヒライソモドキ					○												
海藻草類	出現種数	9	16	38	18	11	7	24	0	4	18	16	13	12	20	34	26
	重要な種数	0	1	4	1	0	1	4	0	0	1	2	1	2	2	4	2
	カモガシラノリ		○				○	○			○	○	○	○	○	○	
	ハイコナハダ													○	○	○	
	ビリヒバ							○									
	ツクシホウズキ											○				○	
	ヤバネモク			○													
	ホソバロニア							○									
	オオネダシグサ															○	
	キザミズタ			○				○									
	ウスガサネ			○	○												
	ウミヒルモ			○													

表-3.5.2.3(18) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査年度																
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	65	59	104	65	72	64	32	28	22	55	50	63	59	61	86	61
重要な種数	7	8	11	3	8	6	1	1	2	7	7	9	7	7	7	6
サラサダマ			○													
クサイロカノコ			○			○	○			○	○	○	○	○	○	○
キンランカノコ						○			○	○	○	○	○	○	○	○
ウミヒメカノコ											○	○				
オハグロガイ			○	○	○											
アラゴマフダマ	○															
リュウキュウサルボウ		○	○					○								
ソメワケグリ	○	○		○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
ホソスジヒバリガイ														○	○	○
スエヒロガイ			○		○											
オオユキミノ		○	○	○	○	○				○	○					
チヂミウメノハナ	○															
オサガニヤドリガイ		○			○											
カワラガイ		○	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○
オキナワヒシガイ	○	○	○		○							○	○	○	○	○
トモシラオガイ												○				
オミナエシハマグリ										○			○			
オイノカガミ	○					○				○		○	○	○	○	○
ヤエヤマスダレ												○				
ニッコウガイ											○					
コニッコウガイ			○													
ミクニシボリザクラ	○	○														
スジホシムシモドキ			○													
メナガオサガニ	○	○	○		○											
出現種数	48	55	58	45	53	51	45	43	50	60	62	59	59	61	58	61
重要な種数	15	17	15	13	15	15	17	16	12	17	20	16	16	16	12	16
スルハダ		○														
モズク	○	○	○				○	○		○	○	○	○	○		○
ウミボックス							○	○		○						
ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キシユウモク			○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
ウミフシナシミドロ										○	○					
クビレズタ		○						○		○						
キザミズタ		○														
イチイスタ			○							○						○
コテンダノハウチワ	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ソリハサボテングサ	○															
ヒロハサボテングサ		○		○	○											
フササボテングサ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナガミスタマ											○					
ウスガサネ	○	○				○	○	○			○	○	○	○	○	○
ホソエガサ	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオウミヒルモ		○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホソバウミジグサ									○	○	○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表-3.5.2.3(19) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	51	75	81	71	69	67	62	33	72	140	112	108	93	124	127	108
重要な種数	4	7	7	8	2	4	6	4	10	17	17	11	10	16	13	17
底生動物																
オオアマガイ	○	○		○												
カヤノミカニモリ	○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ヒメオリエレムシロ											○					
リュウキュウサルボウ												○				
ソメワケグリ										○	○					
クログチ		○				○										
カブラツキガイ										○						○
セワケガイ											○					
ナタマメケボリガイ											○					
セワケハチミツガイ														○		○
ユンタクシジミ										○	○					
タガソデモドキ			○													
イレズミザル														○		
オイノカガミ		○														
スタレハマグリ														○		
ナミノコガイ			○							○						
リュウキュウナミノコ	○		○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメニッコウガイ										○						
ミガキヒメザラ														○		
ハスメザクラ										○						
トガリユウシオガイ																○
イソハマグリ			○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
スジホシムシモドキ									○							
スジホシムシモドキ属										○	○	○	○	○	○	○
スジホシムシ									○	○	○	○	○	○	○	○
ブビエスナモグリ									○	○	○	○	○	○	○	○
オカヤドカリ		○		○												
ムラサキオカヤドカリ		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
ワカクサヨコバサミ																○
マーグイヨコバサミ																○
アマミマメコブシガニ																○
イワトビベンケイガニ				○												○
オキナワヒライソガニ												○				
コウナガイワガニモドキ				○												
ヨツハヒライソモドキ											○		○	○	○	○
レンゲガニ									○	○	○	○	○	○	○	○
ミナミヒライソモドキ							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメカクオサガニ								○	○	○	○	○	○	○	○	○
メナガオサガニ		○														
ルリマダラシオマネキ														○		
海藻草類																
出現種数	8	27	15	12	14	13	9	4	14	23	17	38	33	36	38	34
重要な種数	4	5	1	0	2	1	0	0	3	7	3	6	11	9	5	8
カモガシラノリ		○	○		○				○	○	○		○	○	○	○
ハイコナハダ												○	○	○	○	○
カタオゴノリ													○			
ホソアヤギス												○				
カヤモノリ									○							
ヤバネモク										○		○	○			
キシユモク											○					
ウミフシナシミドロ													○	○		○
ヒメフカミドリシオグサ														○		
オオネダシグサ													○	○	○	○
ヒメミドリゲ														○		
モツレチョウチン																○
ヒロハサボテングサ		○								○						
フササボテングサ										○			○	○		○
ウスガサネ		○										○	○	○	○	○
ホソエガサ		○										○				
カサノリ	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
ニラウミジグサ	○												○			
ホソバウミジグサ										○			○			
マツバウミジグサ	○															
リュウキュウアマモ										○						
ボウバアマモ	○															

表-3.5.2.3(20) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	84	72	112	68	65	54	55	29	41	59	66	73	66	83	99	73
重要種数	6	7	8	3	3	3	0	0	3	5	8	6	8	11	14	9
底生動物																
オオアシヤガイ		○														
クサイロカノコ											○	○				○
キンランカノコ										○	○	○	○			
マルシロネズミ			○								○					
オハグロガイ														○		
アラゴマフダマ																○
ホラガイ														○		
オキナワハナムシロ																○
ミノムシガイ														○		
クダボラ														○	○	○
リュウキュウサルボウ	○	○	○							○						○
ソメワケグリ											○	○	○	○	○	○
ホソスジヒバリガイ															○	○
スエヒロガイ						○										
オオユキミノ	○	○	○			○			○	○	○				○	○
ウラキツキガイ			○													
カブラツキガイ		○														
バライロマメアゲマキ				○												
コハクマメアゲマキ											○					
オサガニヤドリガイ	○			○	○											
イレズミザル									○							
カワラガイ	○		○			○			○		○	○	○	○	○	○
オキナワヒシガイ		○								○	○	○	○	○	○	○
ガンギハマグリ																○
オミナエシハマグリ	○		○							○					○	○
オイノカガミ		○			○							○			○	○
ヒメリュウキュウアサリ															○	
ヒメニッコウガイ		○													○	
ヒラセザクラ																○
ミガキヒメザラ																○
ミクニシボリザクラ													○			
トウカイタママキ																
ナキオカヤドカリ																
メナガオサガニ	○		○	○	○											
海藻草類																
出現種数	47	54	59	51	56	63	50	40	50	63	50	65	73	65	68	62
重要種数	15	16	17	13	12	17	15	11	11	14	13	16	15	18	14	16
ナンカイオゴノリ																○
モズク		○	○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キシユウモク	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
チュラシマモク						○	○									
ウミフシナシミドロ									○	○					○	○
ホソバロニア	○	○						○								
クダネダシグサ						○										
クビレズタ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
キザミズタ		○		○		○		○								
コテングノハウチワ			○				○	○							○	
テングノハウチワ	○															
ソリハサボテングサ	○															
ヒロハサボテングサ		○	○	○	○			○								
フササボテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウスガサネ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホソエガサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ												○	○	○	○	○
オオウミヒルモ			○									○	○	○	○	○
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○		○	○	○			○								
ベニアマモ		○										○				
リュウキュウアマモ	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○

表-3.5.2.3(21) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査年度																
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5	6	5
出現種数	20	18	30	29	43	42	38	26		70	76	79	76	93	101	91
重要な種数	8	3	5	8	8	11	7	4		13	16	14	13	17	19	16
コゲツノブエ																○
カヤノミカニモリ					○								○	○	○	
ガタチンナン											○					
ヒメオリイレムシロ	○									○						
ミノムシガイ															○	
ハイイロミノムシ														○		
コトツブ																○
ソメワケグリ											○					
カブラツキガイ																○
<i>Diplodonta</i> sp.B										○		○				
ナタマメケボリガイ											○					
エンタクシジミ															○	○
タガツデモドキ					○											
カララガイ															○	
オキナワヒシガイ							○			○	○					○
タイワンシラオガイ	○															
ユウカゲハマグリ												○				
オイノカガミ								○						○		○
ナミノコガイ	○															
リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ヌノメイチョウシラトリ				○	○											
ホシヤマナミノコザラ														○		
ウラキヒメザラ											○					
ミガキヒメザラ														○		
ハスメザクラ										○						
マスオガイ																○
イソハマグリ	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
クチバガイ						○				○						
スジホシムシモドキ属										○		○	○	○	○	○
スジホシムシ												○	○	○	○	○
<i>Sicyonella inermis</i>						○						○	○	○	○	○
ブビエスナモグリ		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
トゲスナモグリ						○		○		○	○	○	○	○	○	○
コブシアナジャコ										○	○	○	○	○	○	○
ムラサキオカヤドカリ	○		○	○		○				○	○	○				
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ワカクサヨコバサミ						○				○						
オオウラムツアシガニ					○											
アマミマメコブシガニ										○	○			○	○	
オキナワヒライソガニ								○	○						○	
コウナガイワガニモドキ						○	○									
レンゲガニ	○										○	○	○	○	○	
ミナミヒライソモドキ				○							○		○	○	○	○
ハサミカクレガニ											○					
ヒメカクオサガニ												○	○	○	○	○
ヒメヤマトオサガニ				○												
ルリマダラシオマネキ															○	
出現種数	4	8	5	7	10	6	3	0		14	19	34	25	27	26	21
重要な種数	2	2	1	1	3	1	1	0		4	6	11	7	8	4	5
ハイコナハダ														○		
ナンカイオゴノリ													○	○	○	
ヤバネモク													○	○		○
キシウモク											○	○				
ウミフシナシミドロ										○	○	○	○	○		○
リュウキュウズタ													○			
コテングノハウチワ														○		
ヒロハサボテングサ											○	○				
フササボテングサ										○	○	○	○	○	○	○
ウスガサネ						○				○	○	○	○	○	○	○
ホソエガサ																
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ														○		
ニラウミジグサ	○											○				
ホソバウミジグサ												○				
マツバウミジグサ		○			○											
ベニアマモ												○				
リュウキュウアマモ												○				

調査なし

表-3.5.2.3(22) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	34	48	51	43	43	46	52	27	27	42	32	39	19	21	35	30
重要な種数	4	8	7	4	10	7	9	4	8	12	4	5	5	4	4	3
底生動物																
オオアマガイ								○								
ミヤコドリ									○							
カヤノミカニモリ			○		○		○			○						
オキナワヒシガイ								○		○						
ナミノコガイ									○							
リュウキユウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミナトマスオ							○									
ハザクラ		○	○		○	○										
アシバマスオ		○	○		○	○	○									
イソハマグリ	○	○			○	○	○		○	○	○	○		○	○	○
クチバガイ							○		○	○						
スジホシムシ										○						
オカヤドカリ										○						
ムラサキオカヤドカリ	○		○		○			○		○			○			
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ワカクサヨコバサミ													○			
フジテガニ							○									
オキナワヒライソガニ		○				○				○			○			
コウナガイワガニモドキ		○		○	○	○	○		○	○				○	○	
アゴヒロカワガニ					○											
ヒメヒライソモドキ				○	○				○	○	○					
ミナミヒライソモドキ			○									○				
ヒメカクオサガニ		○										○				
海藻																
草類																
出現種数	4	5	3	3	4	2	6	1	3	6	4	5	2	3	6	3
重要な種数	1	1	1	0	0	0	1	0	0	2	2	2	0	0	0	1
ササバアヤギヌ																○
ヤバネモク										○						
ホソバロニア			○													
ウスガサネ		○														
ホソエガサ											○	○				
カサノリ	○						○			○	○	○				

表-3.5.2.3(23) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	77	93	86	102	101	104	130	88	86	167	164	131	159	171	146	141
重要な種数	7	6	12	11	10	14	14	8	12	19	18	14	13	20	16	12
ヒメケハダヒザラガイ											○					
ニセヒロクチカノコ			○													
ミヤコドリ		○			○				○	○						
コゲツノブエ													○		○	○
カヤノミカニモリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミツカドカニモリ														○		
ヒメオリイレムシロ											○					
リュウキュウムシロ			○		○	○				○	○	○		○		
イガムシロ								○		○			○			
ヨウラクレイシダマシ														○		
ホソハマシイノミガイ						○			○					○		
リュウキュウサルボウ	○															
チヂミウメノハナ												○				
カブラツキガイ	○						○	○		○	○	○	○	○	○	○
<i>Diplodonta</i> sp.B													○	○	○	○
ユンタクシジミ				○				○		○				○	○	
スジホシムシヤドリガイ						○								○		
ホシムシアケボノガイ							○									
イレズミザル													○			
カワラガイ						○										
オキナワヒシガイ					○					○						
チリメンカノコアサリ														○		
リュウキュウアサリ											○					
リュウキュウナミノコ													○		○	
ヒメニッコウガイ										○	○					
ネコジタザラ														○		
ミガキヒメザラ														○		
ハスメザクラ										○	○					○
マスオガイ		○	○	○		○	○					○		○	○	○
ユキガイ										○						
イソハマグリ			○												○	○
クチバガイ					○				○				○			
スジホシムシモドキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
アマミスジホシムシモドキ			○			○	○									
スジホシムシモドキ属									○	○	○	○	○	○	○	○
スジホシムシ	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ブビエスナモグリ											○					○
オトヒメスナモグリ											○			○		
ムラサキオカヤドカリ				○	○	○	○					○				
ナキオカヤドカリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マーグイヨコバサミ							○		○	○						
リュウキュウカクエンコウガニ						○	○									
アマミメコブシガニ														○		
ヤエヤマヒメオカガニ												○				
アシナガアカイソガニ						○										
オキナワヒライソガニ			○	○		○	○		○	○	○					
ロッカクイソガニ					○											
コウナガイワガニモドキ											○				○	
ヒメヒライソモドキ			○													
レンガガニ										○					○	
ミナミヒライソモドキ	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメカクオサガニ				○					○	○	○	○	○	○	○	○
ヒメヤマトオサガニ				○												
タイワンヒメオサガニ																○
ルリマダラシオマネキ			○	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○

底生動物

表-3.5.2.3(24) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	6	11	5	11	10	12	10	5	11	24	23	46	47	52	71	36
重要な種数	2	3	0	1	1	1	1	1	1	7	11	17	15	16	9	10
ニセウシケノリ																
カモガシラノリ		○									○	○	○	○		○
ハイコナハダ											○	○	○	○	○	○
ケコナハダ													○	○	○	
カタオゴノリ												○				
ツクシホウズキ												○				
モズク										○					○	
カヤモノリ											○	○			○	
ヤバネモク	○											○	○	○		
キシウモク													○			
ウミフシナシミドロ											○	○	○	○	○	○
オオネダシグサ													○			
モツレチョウチン													○	○	○	○
ヒロハサボテングサ										○	○					
フササボテングサ													○	○	○	○
ウスガサネ			○								○	○	○	○	○	○
ホソエガサ													○			
カサノリ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ										○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ												○	○	○		
ニラウミジグサ											○	○	○	○		○
ホソバウミジグサ											○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ											○	○	○			

表-3.5.2.3(25) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査年度																
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5	6	5
出現種数	29	32	42	46	36	56	39	23	48	43	36	33	37	40	42	
重要な種数	4	6	5	9	6	8	8	4	12	6	5	6	6	7	7	
底生動物									調査なし							
オオアマガイ		○														
カヤノミカニモリ			○													
イロタマキビ													○			
アンパルクチキレ				○			○	○								○
クロヒラシイノミガイ									○							
ホソハマシイノミガイ					○		○		○				○	○		
チヂミウメノハナ			○													
Diplodonta sp.B		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
オキナワヒシガイ															○	
リュウキュウナミノコ	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウクサビザラ									○							
リュウキュウザクラ				○	○											
ハザクラ		○														
アシベマスオ				○	○		○									○
トウカイタママキ															○	
イソハマグリ									○	○						
ヒガタスナホリムシ						○										
テッポウエビ						○										
ブビエスナモグリ									○	○	○					
ムラサキオカヤドカリ	○							○	○			○				
ナキオカヤドカリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ワカクサヨコバサミ							○									○
アマミマメコブシガニ				○												
フジテガニ	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ユビアカベンケイガニ						○										
オキナワヒライソガニ									○							
コウナガイワガニモドキ				○		○						○				
ヒメヤマトオサガニ				○												
メナガオサガニ		○														
海藻類																
出現種数	0	1	3	1	3	4	0	0	2	0	5	5	1	1	1	
重要な種数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	
ホソアヤギス											○					
ササバアヤギス											○					
カサノリ						○					○	○				

表-3.5.2.3(26) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	63	100	105	83	106	108	87	26	33	64	72	77	82	99	107	79
重要な種数	0	2	1	1	2	3	0	0	0	0	1	1	4	5	3	3
底生動物																
サラサダマ												○				
アラゴマフダマ																○
イワカワトキワガイ													○			
ホラガイ						○										
コガンゼキ					○										○	
リュウキュウサルボウ			○													
ソメワケグリ														○		
オオユキミノ											○		○	○		
イレズミザル		○														○
オキナワヒシガイ					○	○										
ハートガイ																○
インドアオイ						○										
チリメンカノコアサリ		○											○	○	○	
フキアゲアサリ				○									○	○	○	
ヒメニッコウガイ														○		
海藻類																
出現種数	25	43	39	42	49	61	58	34	37	60	48	50	47	57	47	49
重要な種数	1	4	2	2	5	6	6	4	2	4	2	4	4	3	1	3
コナハダモドキ										○	○		○			
ホソバノガラガラモドキ								○								
ヌルハダ		○	○	○	○											
キリンサイ												○				
ウミボッス							○									
ヤバネモク													○	○	○	
カラクサモク												○				
ホソバロニア										○	○					
クダネダシグサ						○										
クビレズタ						○				○		○	○	○		○
キザミズタ					○	○	○									
イチイズタ					○		○	○	○	○						
ニセハウチワ																○
ナガミズタマ	○	○			○	○	○	○				○	○	○		
カサノリ		○	○		○	○	○									
ウミヒルモ									○							○
オオウミヒルモ		○		○		○	○	○								

表-3.5.2.3(27) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査年度																
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	0	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	81	119	137	72	105	84	94	25	54	78	61	70	98	85	89	
重要な種数	3	5	2	3	2	3	1	0	1	4	7	3	7	5	2	
ウミヒメカノコ											○					
アラゴマフダマ											○		○			
ホラガイ					○											
クダボラ									○							
シチクガイ											○					
リュウキュウサルボウ										○				○		
ソメワケグリ	○	○										○				
オオユキミノ											○			○	○	
ウミギク					○											
イレズミザル		○	○													
カワラガイ		○														
オキナワヒシガイ											○		○			
リュウキュウアオイ													○			
チリメンカノコアサリ	○	○	○	○		○				○	○	○	○	○		
オウギカノコアサリ		○														
フキアゲアサリ	○			○		○	○			○		○	○	○		
ヒメニッコウガイ													○			
コニッコウガイ											○					
アシバマスオ										○						
トウカイタママキ						○							○	○	○	
オトメタママキ				○												
出現種数	32	58	58	41	64	64	69	51	72	71	63	56	67	66	59	
重要な種数	2	7	9	4	9	10	13	7	8	8	11	6	6	4	6	
コナハダモドキ									○	○						
ホソバノガラガラモドキ								○								
ヌルハダ	○	○	○	○	○	○	○									
エツキヒビロウド							○									
フイリグサ						○										
カラゴロモ			○			○	○				○	○				
ヒメヤハズ															○	
モズク							○	○	○		○					
カヤモノリ									○			○				
ウミボッス								○								
ヤバネモク		○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
カラクサモク											○		○			
キシユモク						○				○	○		○		○	
チュラシマモク							○				○					
ホソバロニア		○														
クビレズタ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
キザミズタ		○	○	○	○	○	○									
イチイズタ		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			
コテングノハウチワ						○	○									
フササボテングサ										○						
ハネモモドキ					○		○									
ナガミズタマ			○		○	○	○		○		○			○		
ウスガサネ										○			○		○	
カサノリ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
リュウキュウスガモ			○													
オオウミヒルモ			○	○	○						○					

調査なし

表-3.5.2.3(28) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査年度																
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	0	5	5	5	4	5	6	5
出現種数	34	125	129	56	65	58	53	41	51	70	68	68	62	80	74	
重要な種数	1	7	6	1	2	0	1	0	5	6	2	3	6	4	3	
底生動物																
オオアシヤガイ					○											
クサイロカノコ									○	○	○					
キンランカノコ									○	○		○				
ウミヒメカノコ									○							
ユキスズメ			○													
ヒメカニモリ															○	
オハグロガイ														○		
ロウイロトミガイ							○									
アラゴマフダマ		○	○													
チビツクシ														○		
ホソタマゴガイ															○	
ソメワケグリ	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○		
オオユキミノ		○														
アケボノガイ			○													
イレズミザル																○
カワラガイ														○		
オキナワヒシガイ		○	○							○		○	○	○		○
チリメンカノコアサリ			○													
オイノカガミ																○
ヒメリュウキュウアサリ										○						
フキアゲアサリ		○														
ヒノデガイの一種		○														
ヒノデガイ														○		
ヒメニッコウガイ		○														
アシバマスオ										○						
スジホシムシモドキ属									○							
海藻草類	45	55	55	51	58	59	56	38	65	80	75	68	70	70	69	
重要な種数	10	9	12	9	11	11	12	9	12	17	18	13	11	11	14	
ヌルハダ	○	○	○													
フイリグサ											○					
ナンカイオゴノリ										○	○		○			
カラゴロモ					○			○								
モズク			○				○	○		○	○	○	○	○	○	○
ウミボッサ							○	○			○	○				○
ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナガミモク									○							
カラクサモク										○			○			
キシユウモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チュラシマモク	○			○		○		○	○	○	○					
ウミフシナシミドロ															○	○
ホソバロニア		○														
クビレズタ			○													○
イチイヅタ											○	○				○
コテングノハウチワ	○		○			○	○		○	○	○	○	○			○
ヒロハサボテングサ	○		○		○											
フササボテングサ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ニセハウチワ		○								○					○	
ナガミズタマ												○				
ウスガサネ											○					
ホソエガサ										○	○					○
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ			○	○	○	○	○	○		○		○				○
オオウミヒルモ		○			○						○					
ニラウミジグサ	○			○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
ホソバウミジグサ									○	○	○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○		○	○	○	○	○	○								
ベニアマモ									○	○						
リュウキュウアマモ						○										
ボウバアマモ						○			○	○	○					

調査なし

表-3.5.2.3(29) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	54	108	110	88	95	79	66	27	29	60	66	77	67	68	97	80
重要な種数	3	6	1	4	2	1	0	0	2	3	8	9	7	3	7	7
クサイロカノコ										○		○	○			○
キンランカノコ						○							○			
ウミヒメカノコ																○
マルシロネズミ				○											○	○
ネジマガキ															○	
ハナツトガイ											○					
アラゴマフダマ												○				
ハイロミノムシ												○				
チビツクシ														○		
カヤノミガイ																○
リュウキュウサルボウ		○														
ソメワケグリ	○	○	○		○				○	○	○	○	○	○	○	
ホソスジヒバリガイ											○					
オオユキミノ		○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	
コハクマメアゲマキ												○				
オサガニヤドリガイ	○															
イレズミザル											○					○
カワラガイ											○				○	
オキナワヒシガイ		○									○	○	○		○	○
ハートガイ																○
リュウキュウアオイ				○												
インドアオイ		○														
チリメンカノコアサリ												○				
オミナエシハマグリ				○							○				○	
オイノカガミ												○	○			
ヒメニッコウガイ		○														
ミクニシボリザクラ													○			
メナガオサガニ	○															
出現種数	42	49	47	50	63	59	61	38	47	71	73	71	74	72	68	59
重要な種数	11	11	15	12	16	14	16	12	12	14	17	16	15	15	13	14
ヌルハダ						○										
ナンカイオゴノリ											○					
カラゴロモ							○									
モズク		○	○		○		○				○	○	○	○	○	
ウミボックス							○	○		○			○	○	○	○
ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カラクサモク				○							○	○				
キシユウモク	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チュラシマモク			○		○				○	○						
ウミフシナシミドロ																○
ホソバロニア		○														
クビレズタ																○
イチイズタ								○	○							
コテンノハウチワ	○		○		○	○	○	○				○		○	○	○
テンノハウチワ		○														
ヒロハサボテングサ			○		○											
フササボテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ナガミズタマ											○		○			○
ウスガサネ												○				
ホソエガサ				○	○		○				○	○	○	○	○	○
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
オオウミヒルモ	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホソバウミジグサ										○	○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベニアマモ		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○		
リュウキュウアマモ			○	○	○	○	○	○								
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		

表-3.5.2.3(30) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )

	[ ]															
	工事前										工事中					
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	1	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	79	81	85	70	70	63	47	23	8	63	60	63	54	78	99	80
重要な種数	8	13	12	3	5	1	1	0	1	10	9	6	10	11	16	11
サラサダマ											○				○	
ヤジリスカシガイ		○														
クサイロカノコ		○								○	○	○	○	○	○	○
キンランカノコ										○	○	○	○	○	○	○
ウミヒメカノコ										○						○
オハグロガイ														○		
ロウイロトミガイ				○												
アラゴマフダマ											○					
イワカワトキワガイ										○						
ハイロミノムシ															○	
カヤノミガイ																○
ホソタマゴガイ															○	
オオシノミクチキレ													○			
リュウキュウサルボウ		○	○													
ソメワケグリ	○		○				○		○	○	○	○	○	○	○	○
ホソスジヒバリガイ														○	○	○
サザナミクラ				○												
スエヒロガイ				○	○											
オオユキミノ	○	○	○	○	○					○	○			○	○	
カブラツキガイ		○														
ミナミウロコガイ		○														
バライロマメアゲマキ		○														
オサガニヤドリガイ	○		○		○											
アケボノガイ															○	
イレズミザル																○
カワラガイ			○							○	○	○	○	○	○	○
オキナワヒシガイ	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウアオイ										○						
チリメンカノコアサリ													○			
トモシラオガイ			○												○	
オミナエシハマグリ													○	○		○
オイノカガミ	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウアサリ													○			○
ヒメニッコウガイ																○
コニッコウガイ	○	○	○													
ヒラセザクラ	○									○				○	○	○
シロナノハナガイ		○														
スジホシムシモドキ		○														
メナガオサガニ	○	○	○		○											
出現種数	56	61	64	62	68	60	47	47	39	71	69	70	70	70	67	56
重要な種数	19	21	21	18	19	20	15	16	14	18	19	18	19	18	13	16
ヌルハダ		○														
ナンカイオゴノリ															○	
モズク		○	○		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○
カヤモノリ													○			
ウミボッス									○					○	○	○
ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カラクサモク	○															
キシウモク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チュラシマモク						○										
ウミフシナシミドロ									○		○	○				
ホソバロニア	○	○	○					○								
クダネダシグサ						○										
クビレズタ	○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
キザミズタ		○	○	○	○	○		○								
イチイズタ			○		○						○					
リュウキュウズタ																○
コテングノハウチワ			○	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○
テングノハウチワ	○	○														
ソリハサボテングサ	○															
ヒロハサボテングサ		○	○	○												
フササボテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウスガサネ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホソエガサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホソバウミジグサ		○								○	○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表-3.5.2.3(31) インベントリー調査 地点別年度ごとの整理 ( )


	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査年度																
調査回数	3	4	4	3	4	4	4	1	0	6	5	5	4	5	6	5
出現種数	67	75	100	49	83	57	56	24		56	61	78	59	74	103	65
重要な種数	7	4	6	2	1	2	0	0		6	6	8	7	7	9	3
底生動物																
サラサダマ										○	○	○				
クサイロカノコ										○		○				
キンランカノコ											○					
ウミヒメカノコ										○	○	○	○		○	
ネジマガキ		○														
アラゴマフダマ											○	○			○	
ハイロミノムシ	○															
リュウキュウサルボウ			○													
ソメワケグリ	○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	
ウチワガイ												○				
ホソスジヒバリガイ														○		
オオユキミノ	○	○	○									○	○	○	○	
ウミギク		○														
イレスミザル													○		○	
カララガイ													○	○	○	
オキナワヒシガイ			○			○					○	○	○	○	○	
タイワンシラオガイ			○													
オミナエシハマグリ				○												
オイノカガミ															○	
ヒノデガイの一種	○															○
ヒノデガイ										○						
ヒメニッコウガイ														○		
ヨニッコウガイ	○										○					
ナミノコザラ													○			
ミガキヒメザラ															○	
ミクニシボリザクラ	○									○						
スジホシムシモドキ属														○		
メナガオサガニ	○		○													
海藻類																
出現種数	50	65	43	48	63	59	59	37		79	69	78	66	65	77	66
重要な種数	15	17	12	16	16	20	14	11		18	13	14	16	14	12	14
コナハマモドキ										○						
ヌルハダ			○													
フイリグサ														○		
カタオゴノリ		○														
ナンカイオゴノリ											○					
カラゴロモ							○	○					○			
モズク			○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ウミボッサ										○	○	○	○	○	○	○
ヤバネモク	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ナガミモク										○						
キシユウモク	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
チュラシマモク						○				○						
ホソバロニア		○						○								
クダネダシグサ							○									
クビレズタ				○	○			○					○	○	○	○
キザミズタ		○		○	○	○		○								
コデングノハウチワ	○	○		○		○		○		○	○	○	○	○	○	○
テングノハウチワ	○	○														
ヒロハサボテングサ	○	○	○		○											
フササボテングサ	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ハネモモドキ								○								
ナガミズタマ												○	○			○
ウスガサネ	○						○			○			○			○
ケブカフデモ										○						○
ホソエガサ		○		○												○
カサノリ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
リュウキュウウスガモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
オオウミヒルモ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ニラウミジグサ	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
ホソバウミジグサ		○			○					○	○	○	○	○	○	○
マツバウミジグサ	○			○	○	○	○	○		○						
ベニアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○				○				
リュウキュウアマモ																
ボウバアマモ	○	○	○	○	○	○	○	○								

調査なし

## (2) 底生動物調査（定量的調査）

底生動物調査で対象としている底生動物（マクロベントス）について、各地点を調査季別に整理した経年の結果概要を表-3.5.2.4に、全地点を調査季別に整理した経年の出現種類数、個体数及び湿重量を表-3.5.2.5及び図-3.5.2.4に、各地点の調査季別の結果概要に示された主な出現種（組成比で5%以上の上位5種）の出現状況を年度ごとに比較した結果を表-3.5.2.6に示します。

いずれの地点においても、出現種類数、個体数及び湿重量は工事中も工事前の変動範囲内あるいはそれ以上の値でした。また、主な出現種の出現状況を比較した結果、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられませんでした。



※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

図-3.5.2.3 底生動物調査の調査地点

表-3.5.2.4(1) 結果概要 (底生動物調査 : E8 : 工事前)

調査地点		E8		
調査年度		平成19年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
項目				
出現種類数		5	9	7
個体数(個体/0.1㎡)		133	24	12
湿重量(g/0.1㎡)		0.60	0.07	0.01
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	<i>Amphisorus hemprichii</i>	68 (51.1)	9 (37.5)	5 (41.7)
	<i>Amphistegina madagascariensis</i>	40 (30.1)	7 (29.2)	2 (16.7)
	<i>Nummulites ammonoides</i>	19 (14.3)	2 (8.3)	1 (8.3)
				1 (8.3)

調査地点		E8			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		16	14	14	14
個体数(個体/0.1㎡)		35	32	28	19
湿重量(g/0.1㎡)		1.27	0.91	0.54	0.12
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	ウミホタル科	11 (31.4)	10 (31.3)	7 (25.0)	5 (26.3)
	マルスダレガイ科	4 (11.4)	4 (12.5)	3 (10.7)	2 (10.5)
	<i>Typosyllis</i> 属	3 (8.6)	3 (9.4)	2 (7.1)	1 (5.3)
	<i>Armandia</i> 属	2 (5.7)	3 (9.4)	2 (7.1)	1 (5.3)
	サカライマスオ	2 (5.7)	3 (9.4)	2 (7.1)	1 (5.3)
	マルソコエビ属	2 (5.7)	3 (9.4)	2 (7.1)	1 (5.3)
	紐形動物門	2 (5.7)		2 (7.1)	1 (5.3)
				2 (7.1)	1 (5.3)
				2 (7.1)	1 (5.3)
				2 (7.1)	1 (5.3)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(2) 結果概要 (底生動物調査 : E8 : 工事前)

調査地点		E8			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		14	7	2	7
個体数(個体/0.1㎡)		19	11	3	12
湿重量(g/0.1㎡)		0.12	0.01	0.07	0.05
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	<i>Eunice</i> 属	5 (26.3)	スナカキソコエビ属 3 (27.3)	<i>Thalenessa</i> 属 2 (66.7)	<i>Amphisorus hemprichii</i> 4 (33.3)
	<i>Nummulites ammonoides</i>	2 (10.5)	<i>Amphisorus hemprichii</i> 2 (18.2)	紐形動物門 1 (33.3)	紐形動物門 3 (25.0)
	ヒラムシ目	1 (5.3)	<i>Nummulites ammonoides</i> 2 (18.2)		<i>Leptochelia</i> 属 1 (8.3)
	アワムシロ	1 (5.3)	オフェリアゴカイ科 1 (9.1)		<i>Sorites orbiculus</i> 1 (8.3)
	マルスダレガイ科	1 (5.3)	カタナメクジウオ 1 (9.1)		ウミホタル科 1 (8.3)
	オトヒメゴカイ科	1 (5.3)	ナミノコザラ 1 (9.1)		コシオリエビ属 1 (8.3)
	<i>Typosyllis</i> 属	1 (5.3)	マルソコエビ属 1 (9.1)		ハイハイドロクダムシ属 1 (8.3)
	ウミケムシ科	1 (5.3)			
	ヒトモトイソメ	1 (5.3)			
	<i>Protodorvillea</i> 属	1 (5.3)			

調査地点		E8			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		4	23	10	13
個体数(個体/0.1㎡)		4	41	20	22
湿重量(g/0.1㎡)		0.02	0.31	1.82	0.26
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	ウミホタル科	1 (25.0)	スナクモヒトヅレ科 5 (12.2)	<i>Amphisorus hemprichii</i> 8 (40.0)	ウミホタル科 6 (27.3)
	スナカキソコエビ属	1 (25.0)	ウスヒザラガイ科 4 (9.8)	<i>Typosyllis</i> 属 2 (10.0)	<i>Armandia</i> 属 3 (13.6)
	マルソコエビ属	1 (25.0)	カマカヨコエビ属 4 (9.8)	ケハダヒザラガイ属 2 (10.0)	<i>Typosyllis</i> 属 2 (9.1)
	ムシモドキギンチャク科	1 (25.0)	コツブムシ科 3 (7.3)	マルソコエビ属 2 (10.0)	シリス亜科 2 (9.1)
			ムシモドキギンチャク科 3 (7.3)	ウメノハナガイ属 1 (5.0)	
				チリメンカノコアサリ 1 (5.0)	
				トクサモドキ 1 (5.0)	
				ヒラムシ目 1 (5.0)	
				ミツカドカタビラガイ科 1 (5.0)	
				紐形動物門 1 (5.0)	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(3) 結果概要 (底生動物調査：E8：工事前)

調査地点		E8			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		24	9	12	15
個体数(個体/0.1㎡)		66	10	14	22
湿重量(g/0.1㎡)		0.47	0.58	0.06	0.10
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		ウミホタル科 12 (18.2) ナミノコザラ 8 (12.1) <i>Armandia</i> 属 7 (10.6) スナクモヒトデ科 7 (10.6) マルソコエビ属 5 (7.6)	ウスヒザラガイ科 2 (20.0) <i>Eunice</i> 属 1 (10.0) ウミケムシ科 1 (10.0) ケハダヒザラガイ属 1 (10.0) サメハダヒメガザミ 1 (10.0) シリス亜科 1 (10.0) シリプトヒザラガイ 1 (10.0) スナカキノコエビ属 1 (10.0) ヒトモトイソメ 1 (10.0)	サンバクソコエビ属 2 (14.3) スナカキノコエビ属 2 (14.3) <i>Armandia</i> 属 1 (7.1) <i>Diplocirrus</i> 属 1 (7.1) <i>Glycera</i> 属 1 (7.1) <i>Micronephthys</i> 属 1 (7.1) <i>Typosyllis</i> 属 1 (7.1) イロアセアシヤガマ 1 (7.1) ウスヒザラガイ科 1 (7.1) スナクモヒトデ科 1 (7.1) ヒトモトイソメ 1 (7.1) 紐形動物門 1 (7.1)	紐形動物門 4 (18.2) <i>Armandia</i> 属 2 (9.1) <i>Eunice</i> 属 2 (9.1) <i>Micronephthys</i> 属 2 (9.1) <i>Schistomerings</i> 属 2 (9.1)

調査地点		E8			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		14	10	5	12
個体数(個体/0.1㎡)		42	15	11	18
湿重量(g/0.1㎡)		0.11	0.46	0.45	0.01
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		マルソコエビ属 11 (26.2) <i>Armandia</i> 属 9 (21.4) ハイハイドロクダムシ属 5 (11.9) ウミホタル科 3 (7.1) ナギサスナホリムシ属 3 (7.1) マルスダレガイ科 3 (7.1)	<i>Armandia</i> 属 3 (20.0) <i>Typosyllis</i> 属 2 (13.3) チリメンカノコアサリ 2 (13.3) フキアゲアサリ 2 (13.3) ウスヒザラガイ科 1 (6.7) ウミホタル科 1 (6.7) タテホシムシ属 1 (6.7) マキガイホシムシ属 1 (6.7) ミクニシボリザクラ 1 (6.7) 紐形動物門 1 (6.7)	マルソコエビ属 5 (45.5) <i>Thalenessa</i> 属 2 (18.2) アサセクマ属 2 (18.2) <i>Armandia</i> 属 1 (9.1) スナカキノコエビ属 1 (9.1)	ハイハイドロクダムシ属 5 (27.8) サイソチクマ属 2 (11.1) サンバクソコエビ属 2 (11.1) <i>Armandia</i> 属 1 (5.6) <i>Cauleriella</i> 属 1 (5.6) <i>Typosyllis</i> 属 1 (5.6) スナカキノコエビ属 1 (5.6) ナギサスナホリムシ属 1 (5.6) マルソコエビ属 1 (5.6) ミズヒキゴカイ科 1 (5.6) メリタヨコエビ科 1 (5.6) 紐形動物門 1 (5.6)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(4) 結果概要（底生動物調査：E8：工事前）

調査地点		E8			
調査年度		平成25年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		18	10	8	16
個体数(個体/0.1㎡)		52	17	18	35
湿重量(g/0.1㎡)		2.65	1.41	0.89	3.42
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		フキアゲアサリ 16 (30.8) スナカキソコエビ属 8 (15.4) ウミホタル科 5 (9.6) <i>Armandia</i> 属 3 (5.8) <i>Typosyllis</i> 属 3 (5.8) サイツチクーマ属 3 (5.8) ヒトモトイソメ 3 (5.8)	ウミホタル科 4 (23.5) <i>Armandia</i> 属 2 (11.8) オボコスガメ属 2 (11.8) スジホシムシ 2 (11.8) 紐形動物門 2 (11.8)	フキアゲアサリ 7 (38.9) <i>Heterostegina depressa</i> 4 (22.2) マルソコエビ属 2 (11.1) <i>Chaetozone</i> 属 1 (5.6) <i>Typosyllis</i> 属 1 (5.6) ウミホタル科 1 (5.6) オフェリアゴカイ科 1 (5.6) ハマチドリガイ 1 (5.6)	フキアゲアサリ 16 (45.7) チリメンカノコアサリ 4 (11.4) 紐形動物門 2 (5.7)

調査地点		E8	
調査年度		平成26年度	
調査時期		春季	
項目			
出現種類数		19	
個体数(個体/0.1㎡)		63	
湿重量(g/0.1㎡)		2.31	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		フキアゲアサリ 29 (46.0) アデヤカヒメカノコアサリ 9 (14.3) ウミホタル目 4 (6.3)	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(5) 結果概要 (底生動物調査：E8：工事中)

調査地点		ES	
調査年度		平成29年度	
項目	調査時期		
	秋季	冬季	
出現種数	9	32	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	31	52	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	0.04	0.44	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	シリス亜科		<i>Eunice</i> 属 9 (17.3)
	紐形動物門		<i>Linopherus</i> 属 3 (5.8)
	<i>Amphistegina madagascariensis</i>	5 (16.1)	シリス亜科 3 (5.8)
	<i>Ophelina</i> 属	4 (12.9)	
	ナンノクーマ科	4 (12.9)	
	2 (6.5)		

調査地点		ES					
調査年度		平成30年度					
項目	調査時期			調査時期			
	春季	台風後①		夏季	台風後②		
出現種数	41	9	6	12	12	17	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	90	14	9	27	43	41	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	32.18	0.05	17.02	0.18	0.36	0.06	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	マルスマダガイ科		シリス亜科		<i>Amphisorus hemprichii</i>	<i>Amphisorus hemprichii</i>	<i>Pisanoa</i> 属
	7 (7.8)	4 (28.6)	3 (33.3)	12 (44.4)	20 (46.5)	8 (19.5)	
	スナナリヨコエビ属		<i>Amphisorus hemprichii</i>		<i>Linopherus</i> 属	<i>Linopherus</i> 属	
	6 (6.7)	3 (21.4)	2 (22.2)	3 (11.1)	10 (23.3)	7 (17.1)	
	アデヤカヒメカノコアサリ		紐形動物門		<i>Linopherus</i> 属	シリス亜科	
	6 (6.7)	1 (7.1)	1 (11.1)	2 (7.4)		6 (14.6)	
	Corophiinae		イソギンチャク目		マルソコエビ属	Corophiinae	
	5 (5.6)	1 (7.1)	1 (11.1)	2 (7.4)		4 (9.8)	
		<i>Schistomerings</i> 属	カネコマクラ				
		1 (7.1)	1 (11.1)				
		ミナミタテホシムシ	<i>Lumbrinerides</i> 属				
		1 (7.1)	1 (11.1)				
		<i>Lumbrinerides</i> 属					
		1 (7.1)					
		<i>Ophelia</i> 属					
	1 (7.1)						
	コツブムシ科						
	1 (7.1)						

調査地点		ES				
調査年度		令和元年度				
項目	調査時期			調査時期		
	春季	夏季		台風後	秋季	
出現種数	25	12	20	17	25	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	38	22	34	46	86	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	0.14	0.45	0.18	0.42	0.19	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	マルソコエビ属		ウシヒザラガイ科		<i>Amphisorus hemprichii</i>	シリス亜科
	5 (13.2)	5 (22.7)	6 (17.6)	8 (17.4)	18 (20.9)	
	ホツツメタナイス科		<i>Lumbrineris</i> 属		ハマチドリ	Corophiinae
	4 (10.5)	3 (13.6)	3 (8.8)	8 (17.4)	7 (8.1)	
	Corophiinae		スナナリヨコエビ属		<i>Heterostegina depressa</i>	ナンノクーマ科
	3 (7.9)	3 (13.6)	2 (5.9)	5 (10.9)	7 (8.1)	
	スナナリヨコエビ属		<i>Linopherus</i> 属		<i>Vannulites ammonoides</i>	紐形動物門
	3 (7.9)	2 (9.1)	2 (5.9)	4 (8.7)	6 (7.0)	
	ヒゲナガヨコエビ属		スナクモヒトデ科		シリス亜科	<i>Armandia</i> 属
	2 (5.3)	2 (9.1)	2 (5.9)	4 (8.7)	6 (7.0)	
	ゾコエビ属		<i>Armandia</i> 属		ウミホタル科	クモヒトデ綱
	2 (5.3)		2 (5.9)	4 (8.7)	6 (7.0)	
			<i>Thoracophelia</i> 属		2 (5.9)	
			ヒサシソコエビ科		2 (5.9)	
			マルソコエビ属		2 (5.9)	
		2 (5.9)				

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(6) 結果概要 (底生動物調査：E8：工事中)

調査地点		E8				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数		31	42	23	10	17
個体数(個体/0.1㎡)		62	99	72	11	41
湿重量(g/0.1㎡)		0.20	5.03	0.35	0.08	0.22
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		マルソコエビ属 9 (14.5) サンバクソコエビ属 5 (8.1) ヒサシソコエビ科 5 (8.1) シリス亜科 4 (6.5)	ウミホタル科 12 (12.1) ウスヒザラガイ科 8 (8.1) <i>Armandia</i> 属 7 (7.1) <i>Linopherus</i> 属 6 (6.1) ケハダヒザラガイ科 5 (5.1) ケンサキシピオ 5 (5.1)	ケハダヒザラガイ科 17 (23.6) シリス亜科 11 (15.3) 縋形動物門 10 (13.9) ウミホタル目 7 (9.7)	ヒラムシ目 2 (18.2) 紐形動物門 1 (9.1) マルスダレガイ科 1 (9.1) リュウキュウクサビザラ 1 (9.1) シリス亜科 1 (9.1) ゴカイ科 1 (9.1) ナナテイソメ科 1 (9.1) <i>Lumbrineris</i> 属 1 (9.1) ケンサキシピオ 1 (9.1) スガメソコエビ属 1 (9.1)	ハイハイドロクダムシ属 16 (39.0) マルソコエビ属 4 (9.8) メリタヨコエビ科 3 (7.3)

調査地点		E8			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		16	29	38	19
個体数(個体/0.1㎡)		21	80	81	35
湿重量(g/0.1㎡)		0.22	1.60	0.60	0.52
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		ナナテイソメ科 3 (14.3) シリス亜科 2 (9.5) <i>Linopherus</i> 属 2 (9.5) ミノムシガイ科 2 (9.5)	ウミホタル科 14 (17.5) <i>Linopherus</i> 属 12 (15.0) シリス亜科 6 (7.5) スナナリヨコエビ属 6 (7.5) <i>Lembos</i> 属 5 (6.3)	ホソツメタナイス科 15 (18.5) シリス亜科 12 (14.8)	ウスヒザラガイ科 6 (17.1) アシヤガマ 4 (11.4) シリプトヒザラガイ 3 (8.6) <i>Armandia</i> 属 3 (8.6) ヒメフタハベニツケガニ 3 (8.6)

調査地点		E8				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数		31	45	19	31	46
個体数(個体/0.1㎡)		54	105	40	74	162
湿重量(g/0.1㎡)		0.26	3.08	0.68	1.35	1.98
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		ニッポンソガメ 5 (9.3) Corophiinae 4 (7.4) ウスヒザラガイ科 3 (5.6) <i>Linopherus</i> 属 3 (5.6) <i>Notomastus</i> 属 3 (5.6) マルソコエビ属 3 (5.6) ホンヤドカリ科 3 (5.6)	ウスヒザラガイ科 13 (12.4) シリス亜科 8 (7.6) <i>Linopherus</i> 属 8 (7.6) 縋形動物門 7 (6.7) シリプトヒザラガイ 6 (5.7)	ウスヒザラガイ科 6 (15.0) ケハダヒザラガイ属 5 (12.5) シリス亜科 4 (10.0) <i>Amphisorus hemprichii</i> 3 (7.5) <i>Nematoneis</i> 属 3 (7.5)	サンショウウウニ科 13 (17.6) ウスヒザラガイ科 10 (13.5) コシオリエビ属 5 (6.8)	ウスヒザラガイ科 23 (14.2) クダオソコエビ属 21 (13.0) ホソツメタナイス科 15 (9.3) スソケレガイ 12 (7.4) ホソヨコエビ属 9 (5.6)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(7) 結果概要（底生動物調査：E8：工事中）

調査地点		E8					
調査年度		令和5年度					
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
出現種数	53	11	12	11	13	16	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	152	17	15	26	22	28	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	1.15	0.43	0.17	0.65	0.91	0.27	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	ホソツメタナイス科		紐形動物門	イトゴカイ科	<i>Linopherus</i> 属	ナナティンメ科	ハマチドリ
	35 (23.0)		3 (17.6)	3 (20.0)	8 (30.8)	5 (22.7)	8 (28.6)
	クダオソコエビ属		ウスヒザラガイ科	シリス亜科	<i>Synelmis</i> 属	シリス亜科	マルスダレガイ科
	12 (7.9)		3 (17.6)	2 (13.3)	5 (19.2)	4 (18.2)	4 (14.3)
	スソキレガイ		<i>Linopherus</i> 属	ハマヅト	<i>Lysidice</i> 属	紐形動物門	スイフガイ科
	8 (5.3)		2 (11.8)	1 (6.7)	3 (11.5)	2 (9.1)	2 (7.1)
			<i>Eunice</i> 属	コボレウメノハナ	蕨形動物門	<i>Linopherus</i> 属	コメツブウニ
			2 (11.8)	1 (6.7)	2 (7.7)	2 (9.1)	2 (7.1)
			クレナイアシヤガマ	<i>Phyllodoce</i> 属	シリス亜科		
			1 (5.9)	1 (6.7)	2 (7.7)		
			スソキレガイ	<i>Lysidice</i> 属			
			1 (5.9)	1 (6.7)			
			ハマヅト	<i>Lumbrineris</i> 属			
			1 (5.9)	1 (6.7)			
			チリメンカノコアサリ	<i>Lumbrineris</i> 属			
		1 (5.9)	1 (6.7)				
		シリス亜科	カザリゴカイ科				
		1 (5.9)	1 (6.7)				
		<i>Micronophrys</i> 属	イトクスホシムシ属				
		1 (5.9)	1 (6.7)				
			ナギサクマ科				
			ワタリガニ科				
			1 (6.7)				

調査地点		E8				
調査年度		令和6年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種数	27	29	20	11	20	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	53	67	36	30	39	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	0.33	0.06	23.81	0.24	0.20	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	ニッポンスガメ	シリス亜科	シリス亜科	シリス亜科	<i>Eunice</i> 属	
	6 (11.3)	11 (16.4)	7 (19.4)	19 (63.3)	7 (17.9)	
	<i>Eunice</i> 属	キセワタガイ科	ミナミシロガネゴカイ	<i>Armandia</i> 属	シリス亜科	
	5 (9.4)	5 (7.5)	5 (13.9)	2 (6.7)	5 (12.8)	
	ヒメアロビ	ナナティンメ科	<i>Linopherus</i> 属		紐形動物門	
	4 (7.5)	4 (6.0)	3 (8.3)		4 (10.3)	
	ホソツメタナイス科	<i>Spio</i> 属	イソギンチャク目		ナナティンメ科	
	4 (7.5)	4 (6.0)	2 (5.6)		4 (10.3)	
	アシヤガマ属	星口動物門	紐形動物門		コンボウヒメエラゴカイ	
	3 (5.7)	4 (6.0)	2 (5.6)		2 (5.1)	
スソナリヨコエビ属		<i>Eunice</i> 属		<i>Caulierella</i> 属		
3 (5.7)		2 (5.6)		2 (5.1)		
ヒツメガニ属		ホソツメタナイス科		<i>Armandia</i> 属		
3 (5.7)		2 (5.6)		2 (5.1)		

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(8) 結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点		E25		
調査年度		平成19年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
項目				
出現種類数		10	18	10
個体数(個体/0.1㎡)		11	30	12
湿重量(g/0.1㎡)		0.03	0.00	2.41
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		シリス亜科 2 (18.2) <i>Armandia</i> 属 1 (9.1) <i>Laonice</i> 属 1 (9.1) <i>Mediomastus</i> 属 1 (9.1) <i>Poecilochaetus</i> 属 1 (9.1) オウギガニ科 1 (9.1) テンボウエビ属 1 (9.1) テナガエビ科 1 (9.1) ヒメフタバベニツケガニ 1 (9.1) ユキミノ属 1 (9.1)	<i>Typosyllis</i> 属 10 (33.3) <i>Notomastus</i> 属 2 (6.7) <i>Scolecopsis</i> 属 2 (6.7) ゴカイ科 2 (6.7)	オボコスガメ属 3 (25.0) <i>Aonides</i> 属 1 (8.3) <i>Pista</i> 属 1 (8.3) イソギンチャク目 1 (8.3) ウミホタル科 1 (8.3) ソデカラップ 1 (8.3) テナガヒメガザミ 1 (8.3) ヒラムシ目 1 (8.3) メリタヨコエビ科 1 (8.3) 紐形動物門 1 (8.3)

調査地点		E25			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		23	21	23	23
個体数(個体/0.1㎡)		38	62	36	37
湿重量(g/0.1㎡)		5.97	0.58	3.80	0.21
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		<i>Cypridina</i> 属 4 (10.5) <i>Typosyllis</i> 属 4 (10.5) ナミノコザラ 4 (10.5) <i>Micronephthys</i> 属 2 (5.3) <i>Notomastus</i> 属 2 (5.3) <i>Thalenessa</i> 属 2 (5.3) ウミケムシ科 2 (5.3) スナクモヒトデ科 2 (5.3) マルソコエビ属 2 (5.3)	シリス亜科 17 (27.4) <i>Leptochelia</i> 属 13 (21.0) ヒトモトイソメ 8 (12.9)	シリス亜科 11 (30.6) <i>Thalenessa</i> 属 2 (5.6) ギボシイソメ科 2 (5.6) テナガヒメガザミ 2 (5.6)	<i>Typosyllis</i> 属 8 (21.6) ヒトモトイソメ 5 (13.5) <i>Eunice</i> 属 2 (5.4) オナガナメクジウオ 2 (5.4) キレコミゴカイ 2 (5.4)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(9) 結果概要 (底生動物調査 : E25 : 工事前)

調査地点		E25			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		20	7	16	10
個体数(個体/0.1㎡)		44	8	31	19
湿重量(g/0.1㎡)		0.22	0.33	3.89	0.08
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	<i>Cypridina</i> 属		シリス亜科	<i>Typosyllis</i> 属	<i>Typosyllis</i> 属
	シリス亜科	9 (20.5)	2 (25.0)	10 (32.3)	8 (42.1)
			<i>Glycera</i> 属	紐形動物門	ヒツメガニ属
	シリス亜科	5 (11.4)	1 (12.5)	4 (12.9)	2 (10.5)
	紐形動物門	4 (9.1)	1 (12.5)	オナガナメクジウオ	ヒトモトイソメ
	<i>Notomastus</i> 属	3 (6.8)	1 (12.5)	2 (6.5)	2 (10.5)
	<i>Pista</i> 属	3 (6.8)	1 (12.5)	ヒトモトイソメ	<i>Eunice</i> 属
	ムシモドキギンチャク科	3 (6.8)	1 (12.5)	2 (6.5)	1 (5.3)
			テナガヒメガザミ	2 (6.5)	<i>Pisione</i> 属
			ホンヤドカリ科		1 (5.3)
				イカリナマコ科	
				1 (5.3)	
				オボコスガメ属	
				1 (5.3)	
				ヒラムシ目	
				1 (5.3)	
				ホンヤドカリ科	
				1 (5.3)	
				異紐虫目	
				1 (5.3)	

調査地点		E25			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		26	17	17	29
個体数(個体/0.1㎡)		49	37	30	49
湿重量(g/0.1㎡)		2.17	7.83	4.50	3.03
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	<i>Cypridina</i> 属		メリタヨコエビ科	<i>Eunice</i> 属	<i>Eunice</i> 属
	オボコスガメ属	7 (14.3)	10 (27.0)	7 (23.3)	9 (18.4)
	マルソコエビ属	7 (14.3)	<i>Leptochelia</i> 属	シリス亜科	<i>Typosyllis</i> 属
	マルソコエビ属	5 (10.2)	ヤドカリ科	4 (13.3)	4 (8.2)
	マルソコエビ属	5 (10.2)	3 (8.1)	トダハマヅト	<i>Leptochelia</i> 属
	マルソコエビ属	5 (10.2)	シリス亜科	4 (13.3)	3 (6.1)
	マルソコエビ属	3 (6.1)	2 (5.4)	アワムシロ	
			2 (5.4)	2 (6.7)	
			マキザサ		
			2 (5.4)		
		マルソコエビ属			
		2 (5.4)			

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(10) 結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点		E25			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		22	22	17	24
個体数(個体/0.1㎡)		34	52	60	50
湿重量(g/0.1㎡)		0.74	1.44	2.47	1.88
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	<i>Typosyllis</i> 属	6 (17.6)	11 (21.2)	17 (28.3)	9 (18.0)
	ウスヒザラガイ科	3 (8.8)	9 (17.3)	16 (26.7)	7 (14.0)
	紐形動物門	3 (8.8)	6 (11.5)	8 (13.3)	4 (8.0)
	<i>Nephtys</i> 属	2 (5.9)	3 (5.8)	3 (5.0)	3 (6.0)
	<i>Pelogenia</i> 属	2 (5.9)			3 (6.0)
	ハイハイドロクダムシ属	2 (5.9)			3 (6.0)
					3 (6.0)

調査地点		E25			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		30	11	8	19
個体数(個体/0.1㎡)		80	35	25	31
湿重量(g/0.1㎡)		4.16	0.16	0.03	0.14
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	<i>Eunice</i> 属	18 (22.5)	18 (51.4)	16 (64.0)	4 (12.9)
	<i>Leptochelia</i> 属	12 (15.0)	4 (11.4)	2 (8.0)	3 (9.7)
	メリタヨコエビ科	5 (6.3)	3 (8.6)	2 (8.0)	3 (9.7)
	ヤドカリ科	5 (6.3)	2 (5.7)		2 (6.5)
	紐形動物門	5 (6.3)	2 (5.7)		2 (6.5)
					2 (6.5)
					2 (6.5)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(11) 結果概要（底生動物調査：E25：工事前）

調査地点		E25			
調査年度		平成25年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		37	22	8	10
個体数(個体/0.1㎡)		70	76	13	13
湿重量(g/0.1㎡)		9.54	2.90	3.08	3.22
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		コキノカサガイ科 7 (10.0) <i>Leptocheilia</i> 属 6 (8.6) メリタヨコエビ科 5 (7.1) <i>Armandia</i> 属 4 (5.7) <i>Eunice</i> 属 4 (5.7)	<i>Eunice</i> 属 13 (17.1) オボコスガメ属 11 (14.5) ヒトモトイソメ 11 (14.5) <i>Typosyllis</i> 属 8 (10.5) <i>Leptocheilia</i> 属 6 (7.9)	<i>Typosyllis</i> 属 6 (46.2) ガザミ属 1 (7.7) カザリカニモリ 1 (7.7) シリス亜科 1 (7.7) タナイス目 1 (7.7) テッポウエビ属 1 (7.7) ムシロタケ 1 (7.7) ユンボソコエビ科 1 (7.7)	<i>Aricidea</i> 属 2 (15.4) <i>Spio</i> 属 2 (15.4) シリス亜科 2 (15.4) <i>Armandia</i> 属 1 (7.7) イソギンチャク目 1 (7.7) キバタケ 1 (7.7) ナミノコザラ 1 (7.7) マルソコエビ属 1 (7.7) ムシボタル 1 (7.7) 紐形動物門 1 (7.7)

調査地点		E25	
調査年度		平成26年度	
調査時期		春季	
項目			
出現種類数		19	
個体数(個体/0.1㎡)		68	
湿重量(g/0.1㎡)		0.20	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		<i>Nummulites ammonoides</i> 25 (36.8) ヒサシソコエビ科 11 (16.2) <i>Amphistegina madagascariensis</i> 8 (11.8)	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(12) 結果概要 (底生動物調査：E25：工事中)

調査地点		E25	
調査年度		平成29年度	
項目	調査時期		
	秋季	冬季	
出現種数	27	32	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	65	152	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	5.34	4.91	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	シリス亜科		ホソメタナイス科
	19 (29.2)		43 (28.3)
	クシガタインメ		シリス亜科
	9 (13.8)		27 (17.8)
	<i>Parvurythoe</i> 属		<i>Eunice</i> 属
	4 (6.2)		15 (9.9)
			<i>Amphisorus heuprichii</i>
			10 (6.6)

調査地点		E25									
調査年度		令和元年度									
項目	調査時期		令和元年度		令和元年度						
	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季					
出現種数	26	15	19	28	23	14					
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	48	34	67	149	49	28					
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	1.05	77.76	0.36	0.52	0.03	0.10					
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	シリス亜科	9 (18.8)	シリス亜科	9 (26.5)	シリス亜科	36 (24.2)	線形動物門	11 (22.4)	シリス亜科	9 (32.1)	
	イソカクシゴカイ	6 (12.5)	<i>Linopherus</i> 属	7 (20.6)	線形動物門	5 (7.5)	<i>Eunice</i> 属	25 (16.8)	シリス亜科	5 (10.2)	
	ホソメタナイス科	4 (8.3)	<i>Eunice</i> 属	6 (17.6)	線形動物門	18 (12.1)	<i>Linopherus</i> 属	18 (12.1)	ミミズ綱	5 (10.2)	
			タケフシゴカイ科	3 (8.8)	イトゴカイ科	15 (10.1)	イトゴカイ科	9 (6.0)	線形動物門	3 (6.1)	
								マルソコエビ属	3 (6.1)		
										スナナリヨコエビ属	3 (10.7)
										<i>Notomastus</i> 属	3 (10.7)
										Corophiinae	2 (7.1)
										キレコミゴカイ	2 (7.1)

調査地点		E25							
調査年度		令和元年度							
項目	調査時期		令和元年度						
	春季	夏季	台風後	秋季	冬季				
出現種数	10	25	18	12	44				
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	16	37	25	82	171				
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	0.16	1.37	1.48	0.03	0.23				
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	紐形動物門	4 (25.0)	ウスヒザラガイ科	8 (21.6)	シリス亜科	15 (28.8)	シリス亜科	41 (24.0)	
	ナラワロコムシ科	2 (12.5)	<i>Pista</i> 属	3 (8.1)	<i>Linopherus</i> 属	8 (8.0)	<i>Eunice</i> 属	25 (14.6)	
	ミナミノガネゴカイ	2 (12.5)	ケヤリムシ科	2 (5.4)	ハマツト	2 (8.0)	<i>Linopherus</i> 属	7 (13.5)	
			テッポウエビ属	2 (5.4)	ホタルガイ属	2 (8.0)	オフェリアゴカイ科	6 (11.5)	
	<i>Notomastus</i> 属	2 (12.5)	サンカクヒシガニ	2 (5.4)	<i>Eunice</i> 属	2 (8.0)	線形動物門	6 (11.5)	
	マルソコエビ属	1 (6.3)						Corophiinae	10 (5.8)
	スナナリヨコエビ属	1 (6.3)							10 (5.8)
	ナナアイソメ科	1 (6.3)							
	<i>Pista</i> 属	1 (6.3)							
	<i>Pseudophilyra</i> 属	1 (6.3)							
	ガザミ属	1 (6.3)							

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(13) 結果概要 (底生動物調査: E25: 工事中)

調査地点		E25				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数		19	19	15	20	11
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		25	43	43	25	16
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.98	0.20	0.73	3.66	0.73
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%		<i>Praxillella</i> 属 3 (12.0) マルハサミヨコエビ属 3 (12.0) ユキミノ属 2 (8.0) <i>Pista</i> 属 2 (8.0)	シリス亜科 18 (41.9) Corophiinae 4 (9.3)	シリス亜科 23 (53.5) ハブタエアシガイ 3 (7.0)	シリス亜科 4 (16.0) <i>Ceratonereis</i> 属 2 (8.0) <i>Armandia</i> 属 2 (8.0)	シリス亜科 4 (25.0) <i>Micropodarke</i> 属 2 (12.5) <i>Caulerielia</i> 属 2 (12.5) ミクニシボリザクラ 1 (6.3) サンバゴカイ科 1 (6.3) ミナミシロガネゴカイ 1 (6.3) <i>Mageiona</i> 属 1 (6.3) <i>Notomastus</i> 属 1 (6.3) <i>Pista</i> 属 1 (6.3) ニッポンスガメ 1 (6.3)

調査地点		E25			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		24	19	15	27
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		62	35	25	63
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.89	8.89	0.82	3.06
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%		シリス亜科 11 (17.7) <i>Linopherus</i> 属 7 (11.3) 縋形動物門 6 (9.7) タケフシゴカイ科 6 (9.7) ホソツメタナイス科 5 (8.1)	<i>Eunice</i> 属 9 (25.7) タケフシゴカイ科 5 (14.3) <i>Amphisorus homprichii</i> 2 (5.7) ハスメザクラ 2 (5.7) <i>Eteone</i> 属 2 (5.7) ウミナナフシ科 2 (5.7)	フタマタゴカイ 5 (20.0) <i>Micropodarke</i> 属 3 (12.0) シリス亜科 3 (12.0) 縋形動物門 2 (8.0) <i>Pista</i> 属 2 (8.0)	ユキミノ属 17 (27.0) <i>Eunice</i> 属 10 (15.9) タケフシゴカイ科 4 (6.3) ニッポンスガメ 4 (6.3)

調査地点		E25				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種類数		36	54	13	16	7
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		106	240	28	20	15
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.97	1.58	0.04	1.42	3.54
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%		ホソツメタナイス科 13 (12.3) シリス亜科 12 (11.3) ソコエビ属 8 (7.5) <i>Armandia</i> 属 7 (6.6)	ホソツメタナイス科 70 (29.2) シリス亜科 23 (9.6) ソコエビ属 14 (5.8)	縋形動物門 6 (21.4) シリス亜科 5 (17.9) <i>Pista</i> 属 5 (17.9) <i>Lysilla</i> 属 2 (7.1) オトヒメゴカイ科 2 (7.1)	シリス亜科 3 (15.0) ウスヒザラガイ科 2 (10.0) <i>Notomastus</i> 属 2 (10.0) ピロウドヒザラガイ 1 (5.0) ヒトスジツノクダマキ 1 (5.0) カノコアサリ 1 (5.0) キレコミゴカイ 1 (5.0) ミナミシロガネゴカイ 1 (5.0) <i>Nematonereis</i> 属 1 (5.0) フタバベニツケガニ属 1 (5.0)	縋形動物門 4 (26.7) <i>Pista</i> 属 3 (20.0) オオヒシガイ 2 (13.3) シリス亜科 2 (13.3) <i>Ceratonereis</i> 属 2 (13.3)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(14) 結果概要（底生動物調査：E25：工事中）

調査地点		E25					
調査年度		令和5年度					
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
項目	出現種数	22	29	12	29	16	27
	個体数(個体/0.1㎡)	44	75	23	70	32	57
	湿重量(g/0.1㎡)	0.09	2.26	1.32	0.24	2.14	15.29
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	シリス亜科	7 (15.9)	<i>Pista</i> 属 14 (18.7)	シリス亜科 7 (30.4)	<i>Nematoneireis</i> 属 16 (22.9)	<i>Geratoneireis</i> 属 5 (15.6)	シリス亜科 12 (21.1)
	タケフシゴカイ科	4 (9.1)	マルソコエビ属 8 (10.7)	タケフシゴカイ科 4 (17.4)	シリス亜科 11 (15.7)	サケツノガイ 4 (12.5)	紐形動物門 5 (8.8)
	<i>Pista</i> 属	3 (6.8)	紐形動物門 6 (8.0)	紐形動物門 3 (13.0)	タケフシゴカイ科 5 (7.1)	オナガナメクジウオ 4 (12.6)	マルソコエビ属 4 (7.0)
	ニッポンスガメ	3 (6.8)	ニッポンスガメ 6 (8.0)		コクビワケヤリムシ属 5 (7.1)	ミナミシロガネゴカイ 3 (9.4)	タケフシゴカイ科 4 (7.0)
	マルソコエビ属	3 (6.8)	シリス亜科 4 (5.3)			ハマヅツ 2 (6.3)	<i>Notomastus</i> 属 3 (5.3)
	スナナリヨコエビ属	3 (6.8)	タケフシゴカイ科 4 (5.3)			キセワタガイ科 2 (6.3)	<i>Pista</i> 属 3 (5.3)
						ヒノデガイの一種 2 (6.3)	ニッポンスガメ 3 (5.3)
						ケヤリムシ科 2 (6.3)	

調査地点		E25				
調査年度		令和6年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目	出現種数	20	10	17	13	22
	個体数(個体/0.1㎡)	59	26	49	37	51
	湿重量(g/0.1㎡)	0.79	0.25	8.01	0.46	6.85
主な出現種の個体数 (個体/㎡) ( )内は組成比%	<i>Eunice</i> 属	21 (35.6)	シリス亜科 6 (23.1)	シリス亜科 16 (32.7)	シリス亜科 18 (48.6)	<i>Pista</i> 属 11 (21.6)
	シリス亜科	9 (15.3)	タケフシゴカイ科 6 (23.1)	<i>Eunice</i> 属 4 (8.2)	<i>Eunice</i> 属 3 (8.1)	<i>Eunice</i> 属 10 (19.6)
	ユキノカサガイ科	3 (5.1)	<i>Eunice</i> 属 4 (15.4)	<i>Pista</i> 属 4 (8.2)	タケフシゴカイ科 3 (8.1)	シリス亜科 5 (9.8)
	ヒメアワビ	3 (5.1)	<i>Pista</i> 属 4 (15.4)	紐形動物門 3 (6.1)	紐形動物門 2 (5.4)	
	オトヒメゴカイ科	3 (5.1)		<i>Armandia</i> 属 3 (6.1)	オトヒメゴカイ科 2 (5.4)	
	<i>Linopherus</i> 属	3 (5.1)		タケフシゴカイ科 3 (6.1)	<i>Nematoneireis</i> 属 2 (5.4)	
				オナガナメクジウオ 3 (6.1)		

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(15) 結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点		E27		
調査年度		平成19年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
項目				
出現種数		12	25	16
個体数(個体/0.1㎡)		15	85	27
湿重量(g/0.1㎡)		0.06	5.83	11.20
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	ウミケムシ科		<i>Typosyllis</i> 属	<i>Leptocheilia</i> 属
		2 (13.3)	22 (25.9)	9 (33.3)
	ヒトモトイソメ		<i>Eunice</i> 属	ウスヒザラガイ科
		2 (13.3)	14 (16.5)	2 (7.4)
	ヒメフタハベニツケガニ		<i>Notomastus</i> 属	オウギガニ科
		2 (13.3)	8 (9.4)	2 (7.4)
	<i>Eunice</i> 属		オトヒメゴカイ科	スナクモヒトデ科
		1 (6.7)	6 (7.1)	2 (7.4)
	<i>Notomastus</i> 属		シリス亜科	
		1 (6.7)	5 (5.9)	
	<i>Phoronis</i> 属			
		1 (6.7)		
	<i>Pista</i> 属			
		1 (6.7)		
キレコミゴカイ				
	1 (6.7)			
シリス亜科				
	1 (6.7)			
テナガエビ科				
	1 (6.7)			
ミナミメナガオサガニ				
	1 (6.7)			
紐形動物門				
	1 (6.7)			

調査地点		E27			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種数		21	20	22	23
個体数(個体/0.1㎡)		32	34	51	30
湿重量(g/0.1㎡)		0.47	1.25	9.54	2.26
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	ウミケムシ科		<i>Typosyllis</i> 属	シリス亜科	<i>Leptocheilia</i> 属
		4 (12.5)	5 (14.7)	7 (13.7)	3 (10.0)
	オボコスガメ属		<i>Eunice</i> 属	ヒトモトイソメ	オウギガニ科
		4 (12.5)	4 (11.8)	7 (13.7)	3 (10.0)
	<i>Eunice</i> 属		<i>Leptocheilia</i> 属	<i>Marphysa</i> 属	<i>Eunice</i> 属
		3 (9.4)	4 (11.8)	4 (7.8)	2 (6.7)
	<i>Leptocheilia</i> 属		ヒツメガニ属	ケヤリムシ科	<i>Typosyllis</i> 属
		2 (6.3)	3 (8.8)	4 (7.8)	2 (6.7)
	ミクニシボリザクラ		ハマヅト	紐形動物門	アワムシロ
		2 (6.3)	2 (5.9)	4 (7.8)	2 (6.7)
	ヤドカリ科		ヒメアワビ		
		2 (6.3)	2 (5.9)		

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(16) 結果概要 (底生動物調査：E27：工事前)

調査地点		E27			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		31	18	11	24
個体数(個体/0.1㎡)		70	47	19	37
湿重量(g/0.1㎡)		0.28	0.68	0.17	57.08
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		<i>Leptocheilia</i> 属 10 (14.3) <i>Amphisorus hemprichii</i> 8 (11.4) ヒツメガニ属 8 (11.4) ユキノカサガイ科 5 (7.1) メリタヨコエビ科 4 (5.7)	コシオリエビ属 13 (27.7) オウギガニ科 6 (12.8) ヒツメガニ属 5 (10.6) ホンヤドカリ科 5 (10.6)	オウギガニ科 5 (26.3) <i>Typosyllis</i> 属 3 (15.8) <i>Prionospio</i> 属 2 (10.5) ウミケムシ科 2 (10.5) <i>Processa</i> 属 1 (5.3) カスリオフェリア 1 (5.3) シリス亜科 1 (5.3) ヒメアワビ 1 (5.3) ヒメフタハベニツケガニ 1 (5.3) ホシムシ目 1 (5.3) 紐形動物門 1 (5.3)	<i>Leptocheilia</i> 属 4 (10.8) <i>Pista</i> 属 4 (10.8) <i>Notomastus</i> 属 3 (8.1) <i>Eunice</i> 属 2 (5.4) <i>Platynereis</i> 属 2 (5.4) シリス亜科 2 (5.4) ヒツメガニ属 2 (5.4) 紐形動物門 2 (5.4)

調査地点		E27			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		22	17	26	31
個体数(個体/0.1㎡)		32	28	38	64
湿重量(g/0.1㎡)		11.66	2.05	3.46	9.43
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%		ムシモドキギンチャク科 4 (12.5) <i>Typosyllis</i> 属 3 (9.4) <i>Axiiothella</i> 属 2 (6.3) <i>Eunice</i> 属 2 (6.3) <i>Notomastus</i> 属 2 (6.3) <i>Pista</i> 属 2 (6.3) ヒトモトイソメ 2 (6.3)	<i>Axiiothella</i> 属 4 (14.3) <i>Cypridina</i> 属 4 (14.3) アワムシロ 2 (7.1) オボコスガメ属 2 (7.1) ハマヅト 2 (7.1) ヒトモトイソメ 2 (7.1) マルハサミヨコエビ属 2 (7.1)	ウスヒザラガイ科 7 (18.4) ヒツメガニ属 4 (10.5) <i>Typosyllis</i> 属 3 (7.9) オウギガニ科 2 (5.3)	<i>Leptocheilia</i> 属 9 (14.1) コシオリエビ属 9 (14.1) <i>Eunice</i> 属 4 (6.3) ヒメアワビ 4 (6.3)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(17) 結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点		E27			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		42	21	30	26
個体数(個体/0.1㎡)		78	36	47	47
湿重量(g/0.1㎡)		3.07	0.22	1.35	1.49
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	<i>Pista</i> 属	10 (12.8)	<i>Eunice</i> 属 4 (11.1)	<i>Armandia</i> 属 6 (12.8)	<i>Typosyllis</i> 属 7 (14.9)
	<i>Pelogenia</i> 属	7 (9.0)	ウスヒザラガイ科 4 (11.1)	<i>Typosyllis</i> 属 4 (8.5)	<i>Eunice</i> 属 5 (10.6)
	<i>Leptochelia</i> 属	5 (6.4)	ヒメゴカイ 4 (11.1)	<i>Axiothella</i> 属 3 (6.4)	<i>Leptochelia</i> 属 3 (6.4)
	ケヤリムシ科	4 (5.1)	<i>Lumbrinerides</i> 属 2 (5.6)	<i>Pista</i> 属 3 (6.4)	ヒメフタハベニツケガニ 3 (6.4)
	紐形動物門	4 (5.1)	アサセクーマ属 2 (5.6)	ムシモドキギンチャク科 3 (6.4)	
			コシオリエビ属 2 (5.6)		
			ヒツメガニ属 2 (5.6)		
			ヒトモトイソメ 2 (5.6)		
			ムシモドキギンチャク科 2 (5.6)		

調査地点		E27			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		34	26	20	30
個体数(個体/0.1㎡)		77	56	27	51
湿重量(g/0.1㎡)		8.23	3.41	0.07	0.26
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	ユキノカサガイ科	19 (24.7)	ヒツメガニ属 7 (12.5)	<i>Amphisorus hemprichii</i> 3 (11.1)	<i>Eunice</i> 属 5 (9.8)
	ヒツメガニ属	10 (13.0)	ヒトモトイソメ 5 (8.9)	イッカクガニ 3 (11.1)	ウミケムシ科 5 (9.8)
	シリス亜科	6 (7.8)	<i>Eunice</i> 属 4 (7.1)	<i>Pelogenia</i> 属 2 (7.4)	<i>Leptochelia</i> 属 4 (7.8)
			紐形動物門 4 (7.1)	ヒトモトイソメ 2 (7.4)	<i>Pista</i> 属 4 (7.8)
			シリス亜科 3 (5.4)	マルソコエビ属 2 (7.4)	<i>Typosyllis</i> 属 3 (5.9)
			ブドウガイ科 3 (5.4)		キレコミゴカイ 3 (5.9)
			ムシモドキギンチャク科 3 (5.4)		

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(18) 結果概要（底生動物調査：E27：工事前）

調査地点		E27										
調査年度		平成25年度										
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季							
項目												
出現種数		18	23	14	54							
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		29	55	23	277							
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.66	0.45	5.94	4.31							
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Eunice</i> 属	5	(17.2)	<i>Leptochelia</i> 属	8	(14.5)	<i>Typosyllis</i> 属	3	(13.0)	<i>Sorites orbiculus</i>	107	(38.6)
	ウスヒザラガイ科			オボコスガメ属	7	(12.7)	<i>Pista</i> 属	2	(8.7)	<i>Pista</i> 属	28	(10.1)
		3	(10.3)		6	(10.9)	<i>Prionospio</i> 属	2	(8.7)	タケフシゴカイ科	25	(9.0)
	<i>Typosyllis</i> 属	2	(6.9)	<i>Eunice</i> 属	4	(7.3)	イトゴカイ科	2	(8.7)	<i>Notomastus</i> 属	19	(6.9)
	イソギンチャク目	2	(6.9)	<i>Pista</i> 属	4	(7.3)	クモヒトデ綱	2	(8.7)			
	ウミナナフシ科	2	(6.9)	スナクモヒトデ科	4	(7.3)	キノヒシガイ	2	(8.7)			
	ケヤリムシ科	2	(6.9)				クモヒトデ綱	2	(8.7)			
	シリス亜科	2	(6.9)				ゴカイ科	2	(8.7)			
		2	(6.9)				マルソコエビ属	2	(8.7)			
								2	(8.7)			

調査地点		E27	
調査年度		平成26年度	
調査時期		春季	
項目			
出現種数		33	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		93	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.75	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Nummulites ammonoides</i>	20	(21.5)
	サクラガイ属	13	(14.0)
	マキガイホシムシ科	6	(6.5)
	ミガキヒメザラ	5	(5.4)
	ミナミヨツアナカシバン	5	(5.4)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(19) 結果概要（底生動物調査：E27：工事中）

調査地点		E27		
調査年度		平成29年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
項目	出現種数	17	40	46
	個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	28	129	112
	湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	1.08	2.91	17.64
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	イトゴカイ科		シリス亜科	<i>Aphisorus hemprichii</i>
	4 (14.3)	25 (19.4)	23 (20.5)	
	<i>Maldanella</i> 属		<i>Myriochele</i> 属	<i>Pista</i> 属
	3 (10.7)	23 (17.8)	10 (8.9)	
	テッポウエビ属		<i>Aphisorus hemprichii</i>	ヒツメガニ属
	3 (10.7)	14 (10.9)	8 (7.1)	
	<i>Megalocoma</i> 属		<i>Myriochele</i> 属	
	2 (7.1)		6 (5.4)	
<i>Pista</i> 属			シリス亜科	
2 (7.1)			6 (5.4)	
アワムシロ				
2 (7.1)				
ヒメフタバベニツケガニ				
2 (7.1)				

調査地点		E27										
調査年度		平成30年度										
調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季					
項目	出現種数	35	28	24	20	25	26					
	個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	128	90	84	33	62	65					
	湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	2.56	11.85	4.78	1.36	0.12	0.61					
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Pista</i> 属	39 (30.5)	<i>Pista</i> 属	23 (25.6)	<i>Pista</i> 属	17 (20.2)	シリス亜科	6 (18.2)	シリス亜科	16 (25.8)	シリス亜科	13 (20.0)
	<i>Myriochele</i> 属	11 (8.6)	シリス亜科	9 (10.0)	シリス亜科	15 (17.9)	イソギンチャク目	4 (12.1)	線形動物門	12 (19.4)	スナナリヨコエビ属	6 (9.2)
	<i>Notomastus</i> 属	10 (7.8)	<i>Aphisorus hemprichii</i>	9 (10.0)	<i>Notomastus</i> 属	11 (13.1)	<i>Jambineris</i> 属	3 (9.1)	組形動物門	6 (9.7)	ツノヤドカリ属	5 (9.2)
	シリス亜科	9 (7.0)	タケフシゴカイ科	7 (7.8)	<i>Aphisorus hemprichii</i>	7 (8.3)	サシバゴカイ科	2 (6.1)	Corophiinae	5 (7.7)	Corophiinae	5 (7.7)
	Corophiinae	7 (5.5)	<i>Notomastus</i> 属	6 (6.7)	<i>Eunice</i> 属	5 (6.0)	<i>Aphisorus hemprichii</i>	2 (6.1)	線形動物門	5 (7.7)	線形動物門	5 (7.7)
							<i>Pista</i> 属	2 (6.1)				

調査地点		E27								
調査年度		令和元年度								
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季				
項目	出現種数	21	28	23	39	48				
	個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	29	56	54	131	142				
	湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	0.70	6.75	0.38	0.17	6.16				
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	フクロボヤ科		<i>Pista</i> 属	13 (23.2)	<i>Pista</i> 属	15 (27.8)	線形動物門		シリス亜科	17 (12.0)
	5 (17.2)	タケフシゴカイ科	5 (8.9)	ミナミノシロガネゴカイ	4 (7.4)	シリス亜科	32 (24.4)	<i>Eunice</i> 属	12 (8.5)	
	シリス亜科	3 (10.3)	<i>Eunice</i> 属	4 (7.1)	ナガオタケフシゴカイ	3 (5.6)	<i>Eunice</i> 属	16 (12.2)	<i>Megalocoma</i> 属	11 (7.7)
	ニッポンスガメ	2 (6.9)	組形動物門	3 (5.4)	ケヤリムシ科	3 (5.6)		3 (6.1)	ホソツメタナイス科	9 (6.3)
	<i>Eunice</i> 属	2 (6.9)			組形動物門	3 (5.6)		3 (6.1)	タケフシゴカイ科	8 (5.6)
					線形動物門	3 (5.6)		3 (6.1)		
					<i>Myriochele</i> 属	3 (5.6)		3 (6.1)		

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(20) 結果概要 (底生動物調査：E27：工事中)

調査地点		E27				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目	出現種類数	35	27	16	20	47
	個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	153	95	24	39	138
	湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	3.29	5.16	2.37	3.46	12.93
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Eunice</i> 属	42 (27.5)	<i>Pista</i> 属 30 (31.6)	<i>Eunice</i> 属 4 (16.7)	<i>Pista</i> 属 7 (17.9)	<i>Pista</i> 属 28 (20.3)
	マルソコエビ属	28 (18.3)	シリス亜科 9 (9.5)	<i>Pista</i> 属 4 (16.7)	シリス亜科 6 (15.4)	<i>Myriochele</i> 属 15 (10.9)
	ユキミノ属	12 (7.8)	ニッポンスガメ 9 (9.5)	ケハダヒザラガイ科 2 (8.3)	ミナミシロガネゴカイ 6 (15.4)	ユキミノ属 12 (8.7)
	ホソツメタナイス科	9 (5.9)	<i>Eunice</i> 属 6 (6.3)	ハマツト 2 (8.3)	<i>Podarkeopsis</i> 属 2 (5.1)	ミナミシロガネゴカイ 7 (5.1)
	<i>Pista</i> 属	8 (5.2)	マルソコエビ属 5 (5.3)		<i>Ceratonereis</i> 属 2 (5.1)	
					ホンヤドカリ科 2 (5.1)	

調査地点		E27			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目	出現種類数	34	12	22	32
	個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	107	21	51	109
	湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	1.34	18.94	0.79	2.93
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	シリス亜科	12 (11.2)	<i>Pista</i> 属 5 (23.8)	<i>Pista</i> 属 12 (23.5)	ホソツメタナイス科 25 (22.9)
	<i>Eunice</i> 属	10 (9.3)	ナガオタケフシゴカイ 4 (19.0)	<i>Myriochele</i> 属 5 (9.8)	シリス亜科 10 (9.2)
	メリタヨコエビ属	9 (8.4)	<i>Eunice</i> 属 3 (14.3)	紐形動物門 3 (5.9)	<i>Pista</i> 属 8 (7.3)
	ホソツメタナイス科	7 (6.5)		シリス亜科 3 (5.9)	
	<i>Linopherus</i> 属	6 (5.6)		<i>Ceratonereis</i> 属 3 (5.9)	
	ウミホタル科	6 (5.6)		ケヤリムシ科 3 (5.9)	
				ニッポンスガメ 3 (5.9)	

調査地点		E27				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目	出現種類数	34	50	27	19	35
	個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	132	155	69	66	93
	湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	0.94	7.54	8.96	14.90	1.64
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Pista</i> 属	28 (21.2)	ホソツメタナイス科 19 (12.3)	<i>Pista</i> 属 9 (13.0)	キレコミゴカイ 21 (31.8)	ニッポンスガメ 9 (9.7)
	<i>Myriochele</i> 属	26 (19.7)	コクビワケヤリムシ属 10 (6.5)	タケフシゴカイ科 8 (11.6)	<i>Pista</i> 属 12 (18.2)	<i>Pista</i> 属 8 (8.6)
	ホソツメタナイス科	13 (9.8)	<i>Pista</i> 属 10 (6.5)	<i>Myriochele</i> 属 6 (8.7)	タケフシゴカイ科 6 (9.1)	ケヤリムシ科 6 (6.5)
	マルソコエビ属	9 (6.8)	シリス亜科 8 (5.2)	シリス亜科 5 (7.2)	<i>Phoronis</i> 属 6 (9.1)	ホソツメタナイス科 6 (6.5)
	紐形動物門	8 (6.1)	<i>Notomastus</i> 属 8 (5.2)	キレコミゴカイ 5 (7.2)	ケヤリムシ科 4 (6.1)	シリス亜科 5 (5.4)
			<i>Myriochele</i> 属 8 (5.2)	ミナミシロガネゴカイ 5 (7.2)		
			ケヤリムシ科 8 (5.2)			

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(21) 結果概要（底生動物調査：E27：工事中）

調査地点		E27					
調査年度		令和5年度					
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
出現種数		26	48	19	20	28	30
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		84	162	66	47	47	82
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.33	3.50	0.12	2.31	0.96	0.76
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	ホソツメタナイス科		<i>Eunice</i> 属	シリス亜科	<i>Eunice</i> 属	<i>Eunice</i> 属	ミナミシロガネゴカイ
	38	(45.2)	19 (11.7)	15 (22.7)	10 (21.3)	7 (14.9)	13 (15.9)
	マルソコエビ属		シリス亜科	<i>Pista</i> 属	シリス亜科	ソメワケグリ	<i>Armandia</i> 属
	7	(8.3)	16 (9.9)	10 (15.2)	6 (12.8)	3 (6.4)	13 (15.9)
	<i>Pista</i> 属		<i>Pista</i> 属	線形動物門	<i>Pista</i> 属	シリス亜科	<i>Pista</i> 属
	6	(7.1)	14 (8.6)	8 (12.1)	6 (12.8)	3 (6.4)	11 (13.4)
	ニッポンスガメ		ホソツメタナイス科	<i>Linopherus</i> 属	<i>Nematoneireis</i> 属	<i>Ceratonereis</i> 属	キレコモゴカイ
	5	(6.0)	13 (8.0)	6 (9.1)	4 (8.5)	3 (6.4)	7 (8.5)
			マルソコエビ属	<i>Mediomastus</i> 属		ミナミシロガネゴカイ	ケヤリムシ科
			10 (6.2)	4 (6.1)		3 (6.4)	5 (6.1)
			<i>Notomastus</i> 属				
			4 (6.1)				
			タケフソゴカイ科				
			4 (6.1)				

調査地点		E27				
調査年度		令和6年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種数		36	24	36	26	28
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		144	79	87	106	91
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		5.25	0.82	22.74	2.15	6.13
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Pista</i> 属		<i>Pista</i> 属	<i>Pista</i> 属	シリス亜科	<i>Pista</i> 属
	42	(29.2)	27 (34.2)	21 (24.1)	27 (25.5)	21 (23.1)
	Corophiinae		<i>Eunice</i> 属	シリス亜科	<i>Eunice</i> 属	<i>Myriochele</i> 属
	16	(11.1)	9 (11.4)	11 (12.6)	19 (17.9)	17 (18.7)
	マルソコエビ属		シリス亜科	星口動物門	線形動物門	<i>Armandia</i> 属
	13	(9.0)	8 (10.1)	6 (6.9)	12 (11.3)	8 (8.8)
	<i>Eunice</i> 属		イソギンチャク目	<i>Ceratonereis</i> 属	<i>Pista</i> 属	ケヤリムシ科
	12	(8.3)	4 (5.1)	5 (5.7)	6 (5.7)	8 (8.8)
	紐形動物門					
	10	(6.9)				

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(22) 結果概要 (底生動物調査: E37: 工事前)

調査地点		E37			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数	15	11	10	13	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	29	16	10	15	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	0.10	0.46	0.14	0.14	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	ニシキウズガイ科 5 (17.2) <i>Armandia</i> 属 4 (13.8) ハイハイドロクダムシ属 4 (13.8) <i>Phyllococe</i> 属 2 (6.9) <i>Processa</i> 属 2 (6.9) ホソヨコエビ属 2 (6.9) マルソコエビ属 2 (6.9)	オボコスガメ属 4 (25.0) オウギガニ科 3 (18.8) <i>Schistomeringos</i> 属 1 (6.3) <i>Sthenelais</i> 属 1 (6.3) イシクヨコエビ科 1 (6.3) ウミケムシ科 1 (6.3) スナモグリ属 1 (6.3) ハマツト 1 (6.3) ヒメアワビ 1 (6.3) メリタヨコエビ属 1 (6.3) 紐形動物門 1 (6.3)	<i>Clymenella</i> 属 1 (10.0) <i>Laonice</i> 属 1 (10.0) <i>Lumbrineris</i> 属 1 (10.0) <i>Magelona</i> 属 1 (10.0) <i>Sthenelais</i> 属 1 (10.0) ウミクワガタ科 1 (10.0) コシオリエビ属 1 (10.0) テナガヒメガザミ 1 (10.0) ヒメフタハベニツケガニ 1 (10.0) ムシロガイ科 1 (10.0)	オウギガニ科 2 (13.3) ユンボソコエビ科 2 (13.3) <i>Glycera</i> 属 1 (6.7) <i>Scolelepis</i> 属 1 (6.7) イソヨコエビ属 1 (6.7) イッカクガニ 1 (6.7) キレコミゴカイ 1 (6.7) クーマ属 1 (6.7) スナクモヒトヅ科 1 (6.7) ソデカラッパ 1 (6.7) テナガヒメガザミ 1 (6.7) マメコブシガニ属 1 (6.7) ミナミシロガネゴカイ 1 (6.7)	

調査地点		E37			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数	21	13	16	2	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	36	15	26	2	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	8.62	1.04	14.68	0.56	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	ハイハイドロクダムシ属 12 (33.3) マルソコエビ属 3 (8.3) <i>Processa</i> 属 2 (5.6) アコヤガイ属 2 (5.6)	ソノヤドカリ属 3 (20.0) <i>Armandia</i> 属 1 (6.7) <i>Glycera</i> 属 1 (6.7) <i>Leptochelia</i> 属 1 (6.7) <i>Nephtys</i> 属 1 (6.7) <i>Phyllococe</i> 属 1 (6.7) <i>Spio</i> 属 1 (6.7) カノコセワタガイ科 1 (6.7) ゴカイ科 1 (6.7) シリス亜科 1 (6.7) マガキガイ 1 (6.7) ヤドカリ科 1 (6.7) 紐形動物門 1 (6.7)	コツブムシ科 5 (19.2) <i>Glycera</i> 属 3 (11.5) イッカクガニ 2 (7.7) コシオリエビ属 2 (7.7) ハマツト 2 (7.7) マガキガイ 2 (7.7)	<i>Thalenessa</i> 属 1 (50.0) アワムシロ 1 (50.0)	

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(23) 結果概要（底生動物調査：E37：工事前）

調査地点		E37			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		17	20	23	14
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		78	29	36	22
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		6.33	64.24	5.04	0.14
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%		ウスヒザラガイ科 28 (35.9) <i>Notomastus</i> 属 15 (19.2) ウスヒメアワビ 5 (6.4) ユキノカサガイ科 5 (6.4) 異組虫目 4 (5.1)	マガキガイ 5 (17.2) <i>Armandia</i> 属 2 (6.9) <i>Processa</i> 属 2 (6.9) ウスヒザラガイ科 2 (6.9) オウギガニ科 2 (6.9) マメコブシガニ属 2 (6.9)	ゴカイ科 3 (8.3) ツマジロサンゴヤドカリ 3 (8.3) ムシモドキギンチャク科 3 (8.3) <i>Armandia</i> 属 2 (5.6) <i>Pseudopolydora</i> 属 2 (5.6) オウギガニ科 2 (5.6) ダンゴクモヒトデ 2 (5.6) トゲハマツト 2 (5.6) ヘソアキトミガイ 2 (5.6) ホソスジジョウジガイ 2 (5.6)	ヤドカリ科 7 (31.8) ウミグモ目 3 (13.6)

調査地点		E37			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		25	8	7	10
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		45	9	20	43
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.36	0.33	0.10	0.03
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%		ムシモドキギンチャク科 7 (15.6) スナクモヒトデ科 4 (8.9) <i>Armandia</i> 属 3 (6.7) イカリナマコ科 3 (6.7) ヒゲナガヨコエビ属 3 (6.7) ヤドカリ科 3 (6.7)	ヤドカリ科 2 (22.2) <i>Glycera</i> 属 1 (11.1) イトクズホシムシ属 1 (11.1) コブシガニ科 1 (11.1) ゴマフカニモリ 1 (11.1) ツクシガイ科 1 (11.1) ナナテイソメ科 1 (11.1) ホシムシ目 1 (11.1)	<i>Armandia</i> 属 6 (30.0) カンフーソコエビ属 4 (20.0) ハイハイドロクダムシ属 4 (20.0) <i>Sthenelais</i> 属 2 (10.0) ナギサスナホリムシ属 2 (10.0)	ハイハイドロクダムシ属 22 (51.2) マルソコエビ属 9 (20.9) カンフーソコエビ属 4 (9.3)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(24) 結果概要（底生動物調査：E37：工事前）

調査地点		E37			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		10	17	12	7
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		17	24	28	22
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.12	1.16	0.04	0.04
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%		マルソコエビ属 5 (29.4) <i>Nephtys</i> 属 4 (23.5) <i>Spio</i> 属 1 (5.9) アサセクーマ属 1 (5.9) ウミケムシ科 1 (5.9) オボコスガメ属 1 (5.9) シリス亜科 1 (5.9) ナギサスナホリムシ属 1 (5.9) ニッコウガイ属 1 (5.9) ヒツメガニ属 1 (5.9)	オウギガニ科 4 (16.7) <i>Ceratonereis</i> 属 2 (8.3) マルソコエビ属 2 (8.3) ミナミシロガネゴカイ 2 (8.3) 紐形動物門 2 (8.3)	マルソコエビ属 13 (46.4) アサセクーマ属 3 (10.7) ハイハイドロクダムシ属 2 (7.1) 紐形動物門 2 (7.1)	マルソコエビ属 11 (50.0) ナギサスナホリムシ属 4 (18.2) ブドウガイ科 3 (13.6)

調査地点		E37			
調査年度		平成25年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種類数		17	8	7	32
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		29	11	7	110
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.07	0.53	1.91	6.27
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%		マルソコエビ属 4 (13.8) ニシキウズガイ科 3 (10.3) 紐形動物門 3 (10.3) <i>Prionospio</i> 属 2 (6.9) サンバクソコエビ属 2 (6.9) フサゴカイ科 2 (6.9) ホンヤドカリ科 2 (6.9) ミナミシロガネゴカイ 2 (6.9)	オボコスガメ属 2 (18.2) スジホシムシ 2 (18.2) ニシキウズガイ科 2 (18.2) <i>Notomastus</i> 属 1 (9.1) <i>Poecilochaetus</i> 属 1 (9.1) <i>Scoloplos</i> 属 1 (9.1) ケハダヒザラガイ属 1 (9.1) ミクニンポリザクラ 1 (9.1)	アサセクーマ属 1 (14.3) サツマビナ 1 (14.3) ナギサスナホリムシ属 1 (14.3) ヒゲナガヨコエビ属 1 (14.3) マルソコエビ属 1 (14.3) ミナミシロガネゴカイ 1 (14.3) エンボソコエビ科 1 (14.3)	マルソコエビ属 36 (32.7) ハイハイドロクダムシ属 20 (18.2) ナギサスナホリムシ属 6 (5.5)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(25) 結果概要（底生動物調査：E37：工事前、工事中）

調査地点	E37	
調査年度	平成26年度	
調査時期	春季	
項目		
出現種類数	67	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	201	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	12.98	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	ウスヒザラガイ科 33 (16.4)	
	スナクモヒトデ科 17 (8.5)	
	リュウキュウシボリガイ 15 (7.5)	

調査地点	E37			
調査年度	平成29年度			
調査時期	秋季		冬季	
項目				
出現種類数	15		22	
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )	29		42	
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )	1.71		0.41	
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	アラムシロ 5 (17.2)		線形動物門 8 (19.0)	
	線形動物門 5 (17.2)		<i>Amphisorus hemprichii</i> 4 (9.5)	
	<i>Euthalenessa</i> 属 3 (10.3)		<i>Glycera</i> 属 3 (7.1)	
	<i>Glycera</i> 属 2 (6.9)		<i>Scolecopsis</i> 属 3 (7.1)	
	<i>Pisione</i> 属 2 (6.9)		紐形動物門 3 (7.1)	
	ヒメゴカイ 2 (6.9)			
	ミクニシボリザクラ 2 (6.9)			

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(26) 結果概要 (底生動物調査：E37：工事中)

調査地点		E37					
調査年度		平成30年度					
調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
出現種数	29	24	20	34	31	35	
個体数(個体/0.1㎡)	59	82	64	67	116	165	
産重量(g/0.1㎡)	0.40	0.01	<0.01	4.58	8.39	0.80	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	<i>Myriochele</i> 属	6 (10.2)	線形動物門 45 (54.9)	Corophiinae 16 (25.0)	線形動物門 14 (20.9)	Corophiinae 36 (31.0)	Corophiinae 46 (27.9)
	線形動物門	5 (8.5)		ツノヤドカリ属 14 (21.9)	<i>Ethalenessa</i> 属 6 (9.0)	線形動物門 20 (17.2)	タナイス科 25 (15.2)
	アラムシロ	5 (8.5)		線形動物門 12 (18.8)	ヒラムシ目 5 (7.5)	<i>Pisione</i> 属 20 (17.2)	換形動物門 23 (13.9)
	紐形動物門	4 (6.8)		ニッポンスガメ 4 (6.3)			ニッポンスガメ 9 (5.5)
	ニッポンスガメ	4 (6.8)					
	ホンヤドカリ科	4 (6.8)					
	クモヒトデ綱	4 (6.8)					

調査地点		E37				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種数	31	25	24	16	34	
個体数(個体/0.1㎡)	104	46	47	45	57	
産重量(g/0.1㎡)	0.09	0.19	0.37	<0.01	0.07	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	Corophiinae 31 (29.8)	ニッポンスガメ 9 (19.6)	線形動物門 12 (25.5)	線形動物門 18 (40.0)	ニッポンスガメ 8 (14.0)	
	ニッポンスガメ 14 (13.5)	ホンヤドカリ科 4 (8.7)	Corophiinae 5 (10.6)	Corophiinae 10 (22.2)	ホンヤドカリ科 6 (10.5)	
	線形動物門 10 (9.6)	線形動物門 3 (6.5)	<i>Linopherus</i> 属 3 (6.4)	<i>Prionospio</i> 属 3 (6.7)	線形動物門 3 (5.3)	
	Pagurapseudidae 9 (8.7)	<i>Linopherus</i> 属 3 (6.5)	<i>Dispio</i> 属 3 (6.4)		<i>Amphistegina madagascariensis</i> 3 (5.3)	
		シリプトヒザラガイ 3 (6.5)	<i>Pseudopolydora</i> 属 3 (6.4)		<i>Glycera</i> 属 3 (5.3)	
					ベニスビオ 3 (5.3)	

調査地点		E37				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
出現種数	8	34	23	20	21	
個体数(個体/0.1㎡)	14	82	56	53	32	
産重量(g/0.1㎡)	0.04	7.16	3.56	5.73	0.80	
主な出現種の個体数 (個体/0.1㎡) ( )内は組成比%	Corophiinae 4 (28.6)	線形動物門 21 (25.6)	Corophiinae 16 (28.6)	線形動物門 17 (32.1)	シリプトヒザラガイ 5 (15.6)	
	ワルソコエビ属 3 (21.4)	線形動物門 5 (6.1)	線形動物門 6 (10.7)	イソギンチャク目 7 (13.2)	ナギサクマ科 5 (15.6)	
	キセウタガイ科 2 (14.3)	メリタヨコエビ科 5 (6.1)	ケンサキスビオ 4 (7.1)	<i>Notomastus</i> 属 5 (9.4)	ホンヤドカリ科 3 (9.4)	
	ウスヒザラガイ科 1 (7.1)	ヤドカリ科 5 (6.1)	<i>Glycera</i> 属 3 (5.4)	<i>Processa</i> 属 3 (5.7)	<i>Amphisorus hemprichii</i> 2 (6.3)	
	Linopherus 属 1 (7.1)		ホンツメタナイス科 3 (5.4)	クモヒトデ綱 3 (5.7)		
	Scolecipis 属 1 (7.1)		クモヒトデ綱 3 (5.4)			
	サンバクソコエビ属 1 (7.1)					
	オナガナメクジウオ 1 (7.1)					

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(27) 結果概要 (底生動物調査：E37：工事中)

調査地点		E37			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
出現種数		27	8	23	27
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		128	11	39	54
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.37	0.05	0.44	4.55
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	線形動物門	51 (39.8)	2 (18.2)	8 (20.5)	<i>Pista</i> 属 9 (16.7)
	ニッポンスガメ		ホンヤドカリ科	イソギンチャク目	<i>Armandia</i> 属 8 (14.8)
	32 (25.0)	2 (18.2)	3 (7.7)	線形動物門	5 (9.3)
	<i>Myriochela</i> 属	2 (18.2)	3 (7.7)	イソギンチャク目	3 (5.6)
	10 (7.8)	ナガオタケフシゴカイ	<i>Euthalenessa</i> 属	<i>Glyceru</i> 属 3 (5.6)	
		1 (9.1)	2 (5.1)		
		ミガキヒメザラ	<i>Linopherus</i> 属		
		1 (9.1)	2 (5.1)		
		ワタリガニ科	ゾゲナガスヒオ		
		1 (9.1)	2 (5.1)		
	ミナミシロガネゴカイ	<i>Myriochela</i> 属			
	1 (9.1)	2 (5.1)			
	<i>Armandia</i> 属	1 (9.1)			

調査地点		E37				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種数		8	27	11	32	17
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		11	165	16	50	46
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.13	15.22	2.84	0.36	0.17
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	線形動物門	3 (27.3)	115 (69.7)	4 (25.0)	4 (8.0)	<i>Armandia</i> 属 20 (43.5)
	<i>Pistone</i> 属	2 (18.2)	14 (8.5)	2 (12.5)	3 (6.0)	<i>Prionospio</i> 属 6 (13.0)
	線形動物門	1 (9.1)		2 (12.5)	3 (6.0)	
	<i>Euthalenessa</i> 属	1 (9.1)		1 (6.3)	3 (6.0)	
	オトヒメゴカイ科	1 (9.1)		1 (6.3)	3 (6.0)	
	<i>Sphaerosyllis</i> 属	1 (9.1)		1 (6.3)	3 (6.0)	
	ケンサキスピオ	1 (9.1)		1 (6.3)	3 (6.0)	
	ナギサクマ科	1 (9.1)		1 (6.3)	3 (6.0)	
				1 (6.3)		
				1 (6.3)		

調査地点		E37					
調査年度		令和5年度					
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
項目							
出現種数		32	21	27	26	18	27
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		56	34	45	87	27	53
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		6.80	5.70	13.86	2.92	0.10	0.19
主な出現種の個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	ホソツメタナイス科	16 (28.6)	8 (23.5)	5 (11.1)	39 (44.8)	5 (18.5)	8 (15.1)
	ホンヤドカリ科	6 (10.7)	3 (8.8)	5 (11.1)	7 (8.0)	2 (7.4)	5 (9.4)
			3 (8.8)	4 (8.9)	6 (6.9)	2 (7.4)	4 (7.5)
			2 (5.9)	3 (6.7)		2 (7.4)	3 (5.7)
			2 (5.9)	3 (6.7)		2 (7.4)	3 (5.7)
						2 (7.4)	3 (5.7)
						2 (7.4)	3 (5.7)
						2 (7.4)	3 (5.7)
						2 (7.4)	3 (5.7)
						2 (7.4)	3 (5.7)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.4(28) 結果概要 (底生動物調査: E37: 工事中)

調査年度		E37 令和6年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
出現種数		32	17	8	12	6
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		70	21	9	17	7
湿重量(g/0.1m <sup>2</sup> )		0.28	16.10	0.93	5.25	0.92
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>2</sup> ) ( )内は組成比%	Corophiinae		<i>Ceratonereis</i> 属	ケンサキシビオ	線形動物門	ミクニシボリザクラ
	11 (15.7)	3 (14.3)	2 (22.2)	3 (17.6)	2 (28.6)	
	<i>Armandia</i> 属		ハナギンチャク科	ミダレシマタマ	<i>Eunice</i> 属	<i>Glycera</i> 属
	7 (10.0)	2 (9.5)	1 (11.1)	3 (17.6)	1 (14.3)	
	<i>Pista</i> 属		ケハダヒザラガイ科	ミクニシボリザクラ	ミクニシボリザクラ	ゴカイ科
	6 (8.6)	2 (9.5)	1 (11.1)	2 (11.8)	1 (14.3)	
	フタマタゴカイ			<i>Cirrifarmia</i> 属	シリプトヒザラガイ	<i>Armandia</i> 属
	4 (5.7)			1 (11.1)	1 (5.9)	1 (14.3)
	ホソツメタナイス科			<i>Mediomastus</i> 属	ウスヒザラガイ科	ハイハイドロクダムシ属
	4 (5.7)			1 (11.1)	1 (5.9)	1 (14.3)
				イトクズホシムシ属	アワムシロ	ホンヤドカリ科
				1 (11.1)	1 (5.9)	1 (14.3)
				テッポウエビ属	<i>Oliva</i> 属	
			1 (11.1)	1 (5.9)		
			<i>Ebalia woodmasoni</i>	ムシロタケ		
			1 (11.1)	1 (5.9)		
				ウロコガイ科		
				1 (5.9)		
				<i>Lumbrineris</i> 属		
				1 (5.9)		
				<i>Scolecipis</i> 属		
				1 (5.9)		
				シリケンウミセミ属		
				1 (5.9)		

表-3.5.2.5(1) 底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量 (底生動物調査：E8)

調査地点	E8																											
	工事前																											
	H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26													
調査年度	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季					
調査時期	5	9	7	16	14	14	14	14	7	2	7	4	23	10	13	24	9	12	15	14	10	5	12	18	16	19		
出現種類数 (種類)	133	24	12	35	32	28	19	19	11	3	12	4	41	20	22	66	10	14	22	42	15	11	18	52	17	18	63	
出現種類数範囲	2~24																											
個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )	3~133																											
個体数範囲	0.60~0.07																											
湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )	0.01~3.42																											
湿重量範囲	0.01~3.42																											
調査地点	E8																											
工事	工事中																											
調査年度	H29		H30		R1		R2		R3		R4																	
調査時期	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季
調査時期	9	32	41	9	6	12	12	17	25	12	20	17	25	31	42	23	10	17	16	29	38	19	31	45	19	31	46	
出現種類数 (種類)	31	52	90	14	9	27	43	41	38	22	34	46	86	62	99	72	11	41	21	80	81	35	54	105	40	74	162	
出現種類数範囲	6~53																											
個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )	9~162																											
個体数範囲	0.04~0.44																											
湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )	0.01~32.18																											
湿重量範囲	0.01~32.18																											
調査地点	E8																											
工事	工事中																											
調査年度	R5		R6																									
調査時期	春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季				
調査時期	53	11	12	11	13	16	27	29	20	11	20	152	17	15	26	22	28	53	67	36	30	39						
出現種類数 (種類)	6~53																											
出現種類数範囲	9~162																											
個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )	0.01~32.18																											
個体数範囲	0.01~32.18																											
湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )	0.01~32.18																											
湿重量範囲	0.01~32.18																											

注) 本環境監視調査結果 (令和6年度) は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.5(2) 底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量 (底生動物調査：E25)

調査地点		E25																															
		工事前																															
調査年度		H19				H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26			
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
出現種類数 (種類)		10	18	10	23	21	23	23	20	7	16	10	26	17	17	29	22	22	17	24	30	11	8	19	37	22	8	10	19	22	8	10	19
出現種類数範囲		7~37																															
個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )		11	30	12	38	62	36	37	44	8	31	19	49	37	30	49	34	52	60	50	80	35	25	31	70	76	13	13	68	76	13	13	68
個体数範囲		8~80																															
湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )		0.03	0.00	2.41	5.97	0.58	3.80	0.21	0.22	0.33	3.89	0.08	2.17	7.83	4.50	3.03	0.74	1.44	2.47	1.88	4.16	0.16	0.03	0.14	9.54	2.90	3.08	3.22	3.22	2.90	3.08	3.22	3.22
湿重量範囲		0.00~9.54																															
調査地点		E25																															
		工事中																															
調査年度		H29				H30				R1				R2				R3				R4											
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季				
出現種類数 (種類)		27	32	26	13	19	28	23	14	10	25	18	12	44	19	19	15	20	11	24	19	15	27	36	54	13	16	7	7				
出現種類数範囲		7~54																															
個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )		65	182	48	34	67	149	49	28	16	37	25	62	171	25	43	43	25	16	62	35	25	63	106	240	28	20	15	15				
個体数範囲		15~240																															
湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )		5.34	4.91	1.05	77.76	0.36	0.52	0.03	0.1	0.16	1.37	1.48	0.03	0.23	0.398	0.20	0.73	3.66	0.73	0.89	3.89	0.82	3.06	0.97	1.58	0.04	1.42	3.54	3.54				
湿重量範囲		0.03~77.76																															
調査地点		E25																															
		工事中																															
調査年度		R5				R6																											
調査時期		春季	夏季	秋季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季																
出現種類数 (種類)		22	29	12	29	16	27	20	10	17	13	22	22	7~54	7~54	7~54	7~54																
出現種類数範囲		7~54																															
個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )		44	75	23	70	32	57	59	26	49	37	51	51	15~240	15~240	15~240	15~240																
個体数範囲		0.03~77.76																															
湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )		0.09	2.26	1.32	0.24	2.14	15.29	0.79	0.25	8.01	0.46	6.85	6.85	0.03~77.76	0.03~77.76	0.03~77.76	0.03~77.76																
湿重量範囲		0.03~77.76																															

注) 本環境監視調査結果 (令和6年度) は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.5(3) 底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量 (底生動物調査：E27)

調査地点	E27																														
	工事前												工事中																		
	H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26																
調査年度	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季								
出現種類数 (種類)	12	25	16	21	20	22	23	31	18	11	18	17	26	31	26	42	21	30	26	34	26	20	30	18	23	14	54	33			
出現種類数範囲	11~54																														
個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )	15	85	27	32	34	51	30	70	47	19	37	32	38	64	78	36	47	47	77	56	27	51	29	55	23	277	93				
個体数範囲	15~277																														
湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )	0.06	5.83	11.20	0.47	1.25	9.54	2.26	0.28	0.68	0.17	57.08	11.66	2.05	3.46	9.43	3.07	0.22	1.35	1.49	8.23	3.41	0.07	0.26	0.66	0.45	5.94	4.31	0.75			
湿重量範囲	0.06~57.08																														
調査地点	E27																														
工事	工事中																														
調査年度	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数 (種類)	17	40	46	35	28	24	20	25	26	21	28	23	39	48	35	27	16	20	47	34	12	22	32	34	50	27	19	35	35		
出現種類数範囲	12~50																														
個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )	28	129	112	128	90	84	33	62	65	29	56	64	131	142	153	95	24	39	138	107	21	51	109	132	155	69	66	93	93		
個体数範囲	21~165																														
湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )	1.08	2.91	17.64	3.56	11.83	4.78	1.36	0.12	0.61	0.70	6.75	0.38	0.17	6.46	3.29	5.16	2.37	3.46	12.83	1.34	18.94	0.79	2.39	0.94	7.54	8.96	14.90	1.64	1.64		
湿重量範囲	0.12~22.74																														
調査地点	E27																														
工事	工事中																														
調査年度	春季	台風後①	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
出現種類数 (種類)	26	48	19	20	28	30	36	24	36	26	28	28	36	24	36	26	28	28	36	24	36	26	28	28	36	24	36	26	28		
出現種類数範囲	12~50																														
個体数 (個体/0.1m <sup>2</sup> )	84	162	66	47	47	82	144	79	87	106	91	91	106	87	87	106	91	91	106	87	87	106	91	91	106	87	87	106	91		
個体数範囲	21~165																														
湿重量 (g/0.1m <sup>2</sup> )	0.33	3.50	0.12	2.31	0.96	0.76	5.25	0.82	22.74	2.15	6.13	6.13	6.13	22.74	2.15	6.13	6.13	6.13	22.74	2.15	6.13	6.13	6.13	22.74	2.15	6.13	6.13	6.13	6.13		
湿重量範囲	0.12~22.74																														

注) 本環境監視調査結果 (令和6年度) は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.5(4) 底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量 (底生動物調査：E37)

調査地点		E37																															
工事		工事前																															
調査年度		H20				H21				H22				H23				H24				H25				H26							
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
出現種類数(種類)		15	11	10	13	21	13	16	2	17	20	23	14	25	8	7	10	10	17	12	7	17	8	7	8	7	32	67					
出現種類数範囲		2~67																															
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		29	16	10	15	36	15	26	2	78	29	36	22	45	9	20	43	17	24	28	22	29	11	7	110	201							
個体数範囲		2~201																															
湿重量(μg/0.1m <sup>2</sup> )		0.10	0.46	0.14	0.14	8.62	1.04	14.68	0.56	6.33	64.24	5.04	0.14	0.36	0.33	0.10	0.03	0.12	1.16	0.04	0.04	0.07	0.53	1.91	6.27	12.98							
湿重量範囲		0.03~64.24																															
調査地点		E37																															
工事		工事中																															
調査年度		H29				H30				R1				R2				R3				R4											
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季		
出現種類数(種類)		15	22	29	24	20	34	31	35	31	25	24	16	34	8	34	23	20	21	27	8	23	27	8	27	8	23	8	27	11	32	17	
出現種類数範囲		6~35																															
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		29	42	59	82	64	67	116	165	104	46	47	45	57	14	82	56	53	32	128	11	39	54	11	165	16	50	46					
個体数範囲		7~165																															
湿重量(μg/0.1m <sup>2</sup> )		1.71	0.41	0.40	0.01	<0.01	4.58	8.39	0.50	0.09	0.19	0.37	<0.01	0.07	0.04	7.16	5.56	5.73	0.90	0.37	0.05	0.44	4.55	0.13	15.22	2.84	0.36	0.17					
湿重量範囲		<0.01~16.10																															

調査地点		E37												
工事		工事中												
調査年度		R5				R6				R6				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
出現種類数(種類)		32	21	27	26	26	18	18	27	32	17	8	12	6
出現種類数範囲		6~35												
個体数(個体/0.1m <sup>2</sup> )		56	34	45	87	27	53	70	21	9	17	7	7	
個体数範囲		7~165												
湿重量(μg/0.1m <sup>2</sup> )		6.80	5.70	13.86	2.92	0.10	0.19	0.28	16.10	0.93	5.25	0.92	0.92	
湿重量範囲		<0.01~16.10												

注) 本環境監視調査結果(令和6年度)は、黄色色の網掛けで示しています。

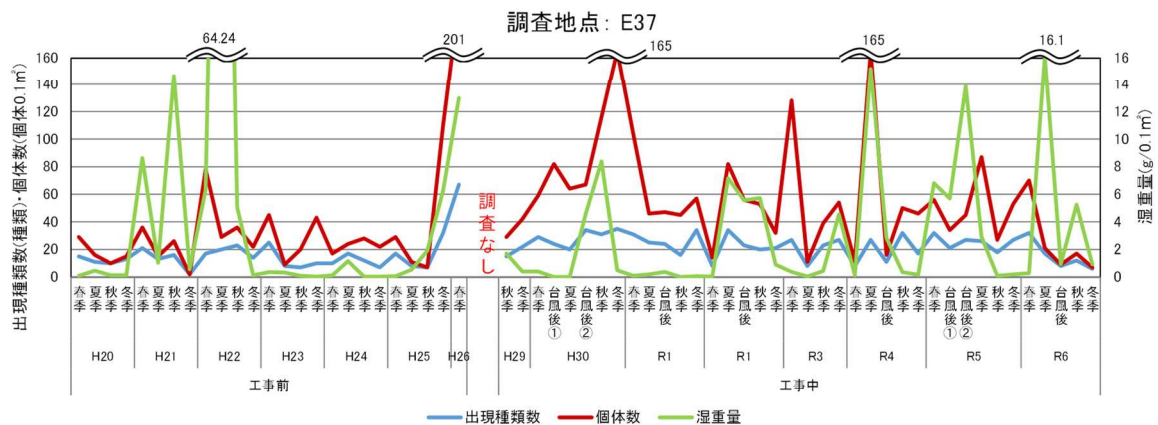
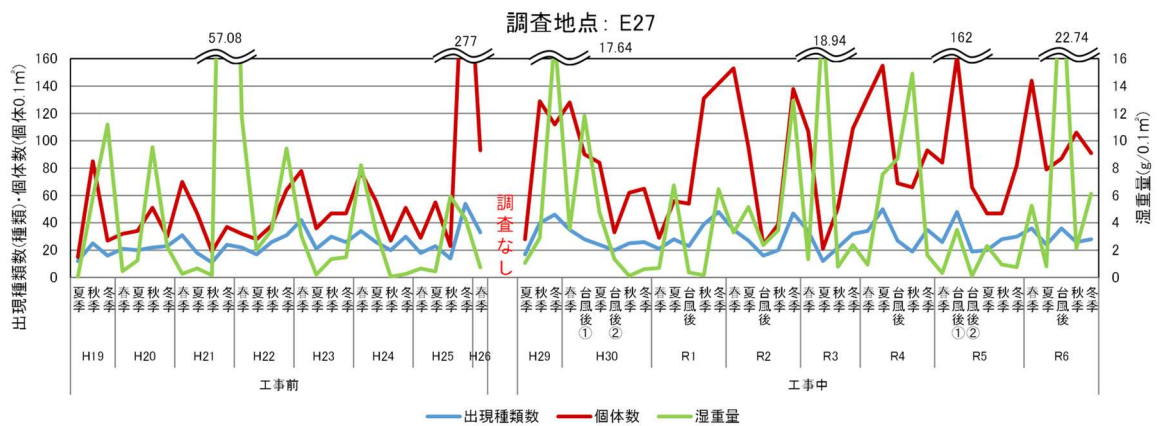
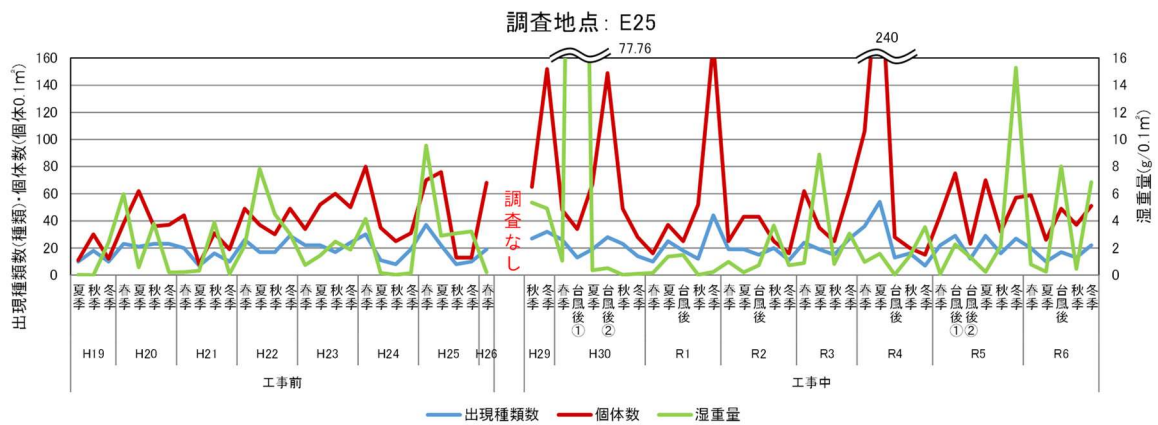
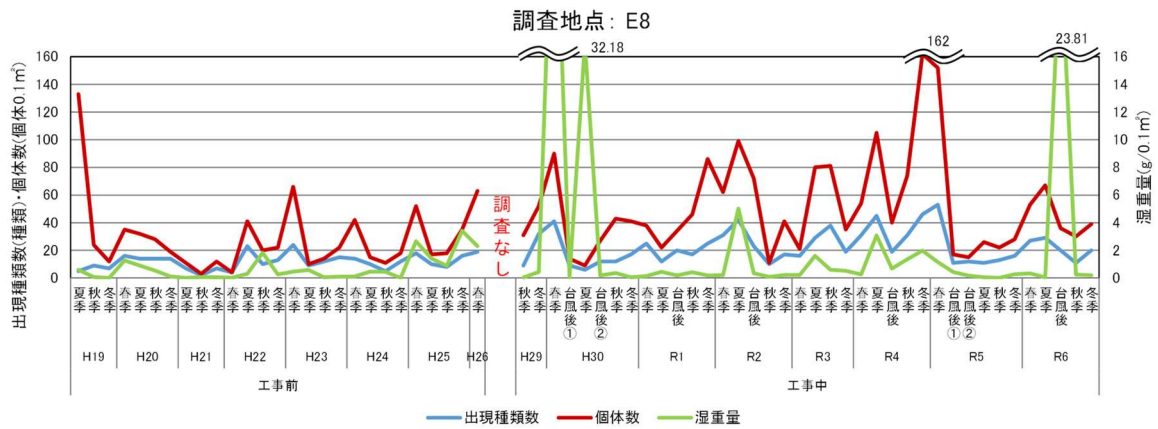


図-3.5.2.4 底生動物の出現種類数、個体数及び湿重量（底生動物調査）

表-3.5.2.6(1) 底生動物の主な出現種の経年比較(E8)

	E8															
	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>																

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(2) 底生動物の主な出現種の経年比較(E8)

	E8															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査年度																
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>																

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(3) 底生動物の主な出現種の経年比較(E25)

	E25															
	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>																

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(4) 底生動物の主な出現種の経年比較(E25)

調査年度	E25															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>																

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(5) 底生動物の主な出現種の経年比較(E27)

	E27															
	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5	6	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>																

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(6) 底生動物の主な出現種の経年比較(E27)

	E27															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5	6	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>																

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(7) 底生動物の主な出現種の経年比較(E37)

	E37															
	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	0	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>																

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(8) 底生動物の主な出現種の経年比較(E37)

	E37															
	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	0	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>																

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.6(9) 底生動物の主な出現種の経年比較(E37)

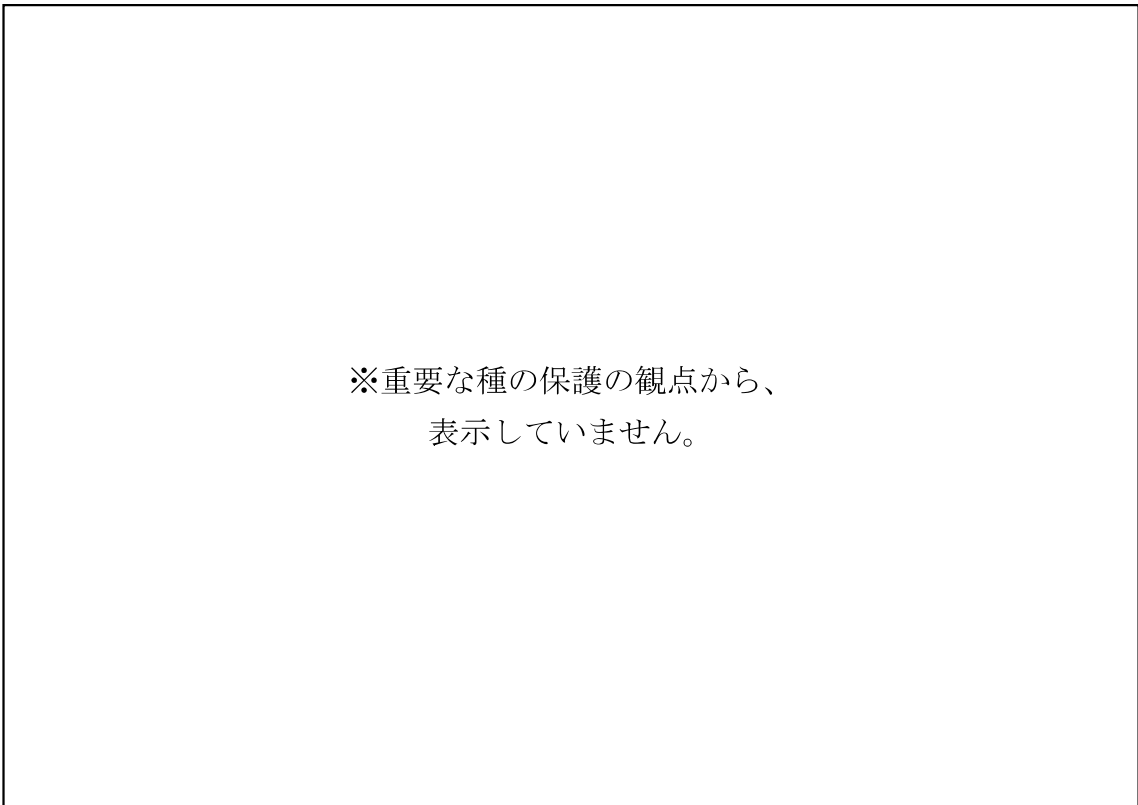
	E37															
	工事前								工事中							
調査年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	0	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
<p>※重要な種の保護の観点から、 表示していません。</p>																

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.4 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

### (3) 潮間帯生物調査（定量的調査）

目視観察における主な出現種（植物及び動物毎の出現頻度の高い上位3種）の経年出現状況を表-3.5.2.7に示します。植物では、主な出現種である藍藻綱、サビ亜科（無節サンゴモ類）及びハイテングサは、春季調査のみを実施した平成26年度を除くと、工事前から工事中を通して、全ての年度でいずれかの季節で確認されています。動物では、主な出現種であるリュウキュウアオガイ、オキナワイシダタミ及びアマオブネガイは、工事前から工事中を通して、全ての年度でいずれかの季節で確認されています。

刈り取り、堆積物採取における、経年の結果概要を表-3.5.2.8に、動植物の経年の平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量を表-3.5.2.9、図-3.5.2.6及び図-3.5.2.7に示します。調査を実施した地点（L-潮4）において、動植物の経年の平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量は、植物の平均湿重量において、一時的に工事前の変動範囲を下回る時期もみられましたが、それ以外の項目では、概ね工事前における変動範囲内でした。また、主な出現種についても工事前と比較して大きな変化はみられませんでした。



※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

図-3.5.2.5 潮間帯生物調査の調査地点

表-3.5.2.7 目視観察 主な出現種の出現状況（潮間帯生物調査）

調査地点		L-潮4																											
工事		工事前																											
調査年度		H19			H20			H21			H22			H23			H24			H25			H26						
調査時期		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季
植物	藍藻綱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ハイテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動物	リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

工事		工事中																											
調査年度		H29		H30				R1				R2				R3				R4									
調査時期		秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	藍藻綱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ハイテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動物	リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

工事		工事中										
調査年度		R5					R6					
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	藍藻綱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	サビ亜科（無節サンゴモ類）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ハイテングサ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動物	リュウキュウアオガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オキナワイシダタミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	アマオブネガイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注）本環境監視調査結果（令和6年度）は、黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.8(1) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4		
調査年度		平成19年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
項目				
植物	出現種類数	5	6	14
	平均出現種類数	3 (1 ~ 4)	5 (3 ~ 6)	8 (5 ~ 11)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.35 (0.20 ~ 0.50)	0.20 (0.00 ~ 0.40)	1.60 (0.20 ~ 3.00)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ヒメハモク 0.25 (71.4) ハイテングサ 0.10 (28.6)	ハイテングサ 0.20 (100.0)	ヒメテングサ 1.50 (93.8) ヒトエグサ 0.10 (6.3)
	( ) 内は組成比%			
動物	出現種類数	23	27	21
	平均出現種類数	16 (12 ~ 19)	17 (14 ~ 20)	14 (10 ~ 18)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	65 (34 ~ 96)	60 (55 ~ 64)	50 (36 ~ 64)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	35.05 (33.95 ~ 36.15)	37.84 (29.74 ~ 45.94)	23.77 (18.94 ~ 28.59)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 16 (23.8) アマオブネガイ 7 (10.8) クマドリゴカイ 6 (8.5) モクズヨコエビ属 5 (7.7) マダラヨコバサミ 4 (6.2)	アマオブネガイ 10 (16.8) ヤッコカンザシゴカイ 8 (13.4) マダラヨコバサミ 7 (10.9) イソカニダマシ属 6 (10.1) サメハダホシムシ属 5 (7.6)	アマオブネガイ 8 (15.0) イソカニダマシ属 7 (14.0) オキナワイシダタミ 7 (13.0) Nipponacmea属 6 (12.0) ヤッコカンザシゴカイ 5 (9.0)
( ) 内は組成比%				

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(2) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	9	7	12	14
	平均出現種類数	5 (2 ~ 7)	5 (4 ~ 5)	9 (8 ~ 10)	8 (1 ~ 14)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	0.15 (0.00 ~ 0.30)	0.20 (0.00 ~ 0.40)	12.55 (6.00 ~ 19.10)	1.10 (0.00 ~ 2.20)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	ハイテングサ 0.15 (100.0)	ヒメテングサ 0.10 (50.0) ハイテングサ 0.10 (50.0)	ハイテングサ 9.25 (73.7) ヒトエグサ 2.75 (21.9)	ハイテングサ 0.45 (40.9) マクリ 0.45 (40.9) ヒメテングサ 0.10 (9.1)
	( ) 内は組成比%				
動物	出現種類数	37	30	21	28
	平均出現種類数	22 (11 ~ 32)	18 (16 ~ 20)	13 (10 ~ 16)	17 (9 ~ 25)
	平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	146 (45 ~ 247)	67 (53 ~ 80)	44 (41 ~ 47)	67 (48 ~ 86)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	52.13 (32.11 ~ 72.14)	47.49 (39.32 ~ 55.66)	24.79 (24.20 ~ 25.37)	43.09 (42.09 ~ 44.08)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	ヤッコカンザシゴカイ 68 (46.2) ミナミカナダマン 12 (8.2) アマオブネガイ 10 (6.8)	イソカナダマン属 15 (22.6) <i>Nipponacmea</i> 属 9 (13.5) アマオブネガイ 9 (13.5) シマベッコウバイ 6 (9.0) サメハダホシムシ属 4 (5.3)	イソカナダマン属 11 (25.0) アマオブネガイ 11 (23.9) <i>Nipponacmea</i> 属 8 (17.0)	アマオブネガイ 12 (17.9) <i>Nipponacmea</i> 属 10 (14.2) オキナワイシダタミ 7 (10.4) イソカナダマン属 6 (9.0) シマベッコウバイ 4 (6.0)
( ) 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(3) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	7	12	12	12
	平均出現種類数	4 (2 ~ 6)	6 (2 ~ 10)	10 (9 ~ 10)	9 (6 ~ 11)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	0.30 (0.00 ~ 0.60)	0.40 (0.00 ~ 0.80)	4.80 (4.60 ~ 5.00)	1.45 (0.50 ~ 2.40)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	ハイテングサ 0.30 (100.0)	ハイテングサ 0.40 (100.0)	ヒトエグサ 2.40 (50.0) イソダンツウ 1.60 (33.3) ハイテングサ 0.80 (16.7)	ヒトエグサ 0.90 (62.1) ヒメテングサ 0.40 (27.6) ハイテングサ 0.15 (10.3)
	( ) 内は組成比%				
動物	出現種類数	23	20	27	24
	平均出現種類数	15 (13 ~ 17)	11 (5 ~ 17)	17 (13 ~ 21)	16 (15 ~ 17)
	平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	78 (59 ~ 97)	61 (47 ~ 74)	62 (57 ~ 66)	55 (45 ~ 65)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	73.54 (72.79 ~ 74.29)	51.15 (39.98 ~ 62.32)	35.56 (29.78 ~ 41.34)	41.34 (31.25 ~ 51.43)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	アマオブネガイ 32 (41.0) イソカニダマシ属 11 (14.1) <i>Nipponacmea</i> 属 7 (8.3) オキナワイシダタミ 7 (8.3) オオシマカニモリ 4 (5.1) ムラサキクルマナマコ 4 (5.1)	アマオブネガイ 21 (34.7) オキナワイシダタミ 13 (21.5) <i>Nipponacmea</i> 属 7 (11.6) サメハダホシムシ属 3 (5.0)	イソカニダマシ属 14 (22.0) アマオブネガイ 10 (16.3) シマベッコウバイ 5 (7.3) <i>Nipponacmea</i> 属 4 (5.7) オキナワイシダタミ 4 (5.7) ヒヅメガニ 4 (5.7)	アマオブネガイ 17 (30.9) イソカニダマシ属 6 (10.0) オキナワイシダタミ 4 (7.3) シマベッコウバイ 4 (7.3) <i>Nipponacmea</i> 属 3 (5.5)
( ) 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(4) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	3	2	12	19
	平均出現種類数	2 (1 ~ 2)	1 (0 ~ 2)	7 (5 ~ 9)	10 (3 ~ 16)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	0.50 (0.00 ~ 1.00)	0.15 (0.00 ~ 0.30)	8.45 (5.70 ~ 11.20)	3.55 (0.80 ~ 6.30)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	テングサ科 0.50 (100.0)	ハイテングサ 0.15 (100.0)	ヒトエグサ 2.85 (33.7) ハイテングサ 2.35 (27.8) シマテングサ 2.30 (27.2) イソダンツウ 0.50 (5.9)	ハイテングサ 3.05 (85.9) クダモ属 0.30 (8.5)
	( ) 内は組成比%				
動物	出現種類数	42	32	31	37
	平均出現種類数	24 (14 ~ 34)	19 (15 ~ 22)	17 (11 ~ 23)	22 (16 ~ 27)
	平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	145 (47 ~ 243)	90 (50 ~ 129)	74 (42 ~ 106)	299 (49 ~ 549)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	55.11 (42.58 ~ 67.63)	27.19 (15.70 ~ 38.68)	23.88 (14.96 ~ 32.79)	20.74 (13.48 ~ 28.00)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	タテホシムシ属 60 (41.4) イソカニダマシ属 9 (6.2) アマオブネガイ 9 (5.9)	ヤッコカンザシゴカイ 24 (26.8) イソカニダマシ属 20 (22.3) アマオブネガイ 13 (14.0) シマベッコウバイ 5 (5.6)	イソカニダマシ属 16 (20.9) ヤッコカンザシゴカイ 16 (20.9) シロスジフジツボ 7 (8.8) アマオブネガイ 6 (8.1)	ヤッコカンザシゴカイ 238 (79.6)
( ) 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(5) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	4	15	16	14
	平均出現種類数	2 (1 ~ 3)	8 (4 ~ 12)	9 (4 ~ 14)	8 (5 ~ 11)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.55 (0.00 ~ 1.10)	2.90 (0.30 ~ 5.50)	19.65 (10.80 ~ 28.50)	11.45 (0.80 ~ 22.10)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ 0.55 (100.0)	ハイテングサ 2.75 (94.8) クダモ属 0.15 (5.2)	ヒトエグサ 14.25 (72.5) ハイテングサ 4.50 (22.9)	ハイテングサ 7.60 (66.4) テングサ科 3.25 (28.4)
	( ) 内は組成比%				
動物	出現種類数	42	25	58	56
	平均出現種類数	22 (11 ~ 33)	15 (12 ~ 18)	36 (25 ~ 46)	33 (24 ~ 42)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	176 (21 ~ 331)	40 (35 ~ 44)	387 (301 ~ 473)	225 (82 ~ 368)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	16.07 (8.45 ~ 23.68)	18.05 (13.06 ~ 23.04)	75.64 (70.02 ~ 81.25)	50.34 (47.01 ~ 53.67)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 121 (68.5)	ヤッコカンザシゴカイ 9 (22.8) オキナワイシダタミ 4 (8.9) <i>Nipponacmea</i> 属 3 (7.6) ゴマフニナ 3 (7.6) アマオブネガイ 3 (6.3)	ヤッコカンザシゴカイ 225 (58.1) イソカニダマシ属 25 (6.5)	ヤッコカンザシゴカイ 134 (59.6)
( ) 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(6) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	12	4	12	9
	平均出現種類数	7 (2 ~ 12)	2 (0 ~ 4)	6 (2 ~ 10)	5 (1 ~ 9)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	5.70 (3.80 ~ 7.60)	0.25 (0.00 ~ 0.50)	8.50 (3.40 ~ 13.60)	2.75 (0.20 ~ 5.30)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	ハイテングサ 4.55 (79.8) ヒメテングサ 0.75 (13.2)	テングサ科 0.20 (80.0) フジマツモ科 0.05 (20.0)	ハイテングサ 6.70 (78.8) ヒトエグサ 1.40 (16.5)	ヒメテングサ 1.20 (43.6) ヒトエグサ 0.50 (18.2) ユレモ科 0.45 (16.4) アオノリ属 0.30 (10.9) ハイテングサ 0.25 (9.1)
	( ) 内は組成比%				
動物	出現種類数	35	71	24	26
	平均出現種類数	23 (19 ~ 27)	45 (33 ~ 56)	15 (12 ~ 17)	15 (7 ~ 23)
	平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	70 (46 ~ 94)	433 (291 ~ 575)	38 (26 ~ 49)	53 (18 ~ 88)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	26.24 (17.08 ~ 35.40)	44.20 (30.32 ~ 58.08)	32.30 (32.07 ~ 32.52)	11.94 (10.84 ~ 13.03)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	アマオブネガイ 10 (13.6) ヤッコカンザシゴカイ 9 (12.1) ツマキヨコバサミ 6 (7.9) Nipponacmea属 5 (7.1) イソカナダマシ属 5 (7.1)	ヤッコカンザシゴカイ 151 (34.9) タテホシムシ属 106 (24.4) ヒバリガイモドキ 38 (8.8)	アマオブネガイ 6 (16.0) オキナワイシダタミ 6 (14.7) イソカナダマシ属 5 (13.3) ニシキアマオブネ 3 (8.0) ツマキヨコバサミ 2 (5.3)	ヤッコカンザシゴカイ 13 (23.6) Perinereis属 6 (11.3) Nereis属 5 (8.5) Nipponacmea属 4 (7.5) アマオブネガイ 3 (5.7) オキナワイシダタミ 3 (5.7)
( ) 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(7) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4			
調査年度		平成25年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	8	13	15	8
	平均出現種類数	5 (3 ~ 7)	7 (1 ~ 12)	8 (4 ~ 11)	6 (4 ~ 7)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.69 (0.00 ~ 1.38)	2.15 (0.00 ~ 4.30)	5.40 (4.70 ~ 6.10)	1.78 (0.29 ~ 3.27)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ 0.69 (100.0)	ハイテングサ 1.76 (81.6) ソゾ属 0.39 (17.9)	ヒトエグサ 2.34 (43.3) ハイテングサ 2.24 (41.4) トゲイギス 0.29 (5.3)	ヒメテングサ 0.79 (44.1) ハイテングサ 0.73 (40.7) クダモ属 0.26 (14.6)
	( ) 内は組成比%				
動物	出現種類数	40	21	27	30
	平均出現種類数	21 (10 ~ 32)	13 (7 ~ 18)	16 (10 ~ 21)	19 (15 ~ 23)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	66 (27 ~ 105)	46 (18 ~ 73)	85 (36 ~ 134)	163 (43 ~ 282)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	25.89 (14.81 ~ 36.97)	23.85 (23.07 ~ 24.62)	33.72 (12.47 ~ 54.96)	32.96 (31.53 ~ 34.39)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 15 (22.7) ウスヒザラガイ科 11 (15.9) アマオブネガイ 7 (9.8) オキナワイシダタミ 4 (6.1)	ヤッコカンザシゴカイ 9 (19.8) <i>Nipponacmea</i> 属 7 (14.3) イソカニダマシ属 6 (13.2) オキナワイシダタミ 5 (9.9) アマオブネガイ 4 (7.7)	ヤッコカンザシゴカイ 37 (43.5) タテホシムシ属 12 (14.1) イソカニダマシ属 7 (8.2) オキナワイシダタミ 7 (8.2)	ヤッコカンザシゴカイ 112 (68.6) アマオブネガイ 9 (5.5)
( ) 内は組成比%					

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(8) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事前)

調査地点		L-潮4
調査年度		平成26年度
調査時期		春季
植物	出現種類数	7
	平均出現種類数	4 (1 ~ 7)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	1.75 (1.27 ~ 2.22)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	ハイテングサ 1.06 (60.5) ヒトエグサ 0.64 (36.7)
	( ) 内は組成比%	
動物	出現種類数	27
	平均出現種類数	17 (13 ~ 20)
	平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	57 (35 ~ 78)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	19.93 (17.22 ~ 22.64)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	ヤッコカンザシゴカイ 9 (15.0) オキナワイシダタミ 8 (14.2) タテホシムシ属 8 (14.2) イソカニダマシ属 5 (8.8) イソヨコエビ属 5 (8.8)
( ) 内は組成比%		

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(9) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4	
調査年度		平成29年度	
調査時期		秋季	冬季
項目			
植物	出現種類数	6	14
	平均出現種類数	3 (0 ~ 6)	9 (6 ~ 12)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	1.31 (0.00 ~ 2.61)	6.80 (0.67 ~ 12.92)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	テングサ科 1.30 (99.6)	テングサ科 5.35 (78.7) スギノリ属 0.70 (10.2)
	( ) 内は組成比%		
動物	出現種類数	31	42
	平均出現種類数	17 (13 ~ 20)	27 (19 ~ 34)
	平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	87 (37 ~ 136)	220 (146 ~ 293)
	平均湿重量 (g/0.09m <sup>2</sup> )	18.04 (9.58 ~ 26.50)	45.88 (18.35 ~ 73.41)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09m <sup>2</sup> )	ヤッコカンザシゴカイ 67 (38.7) コウダカカラマツ属 25 (14.5) オキナワイシダタミ 16 (9.2) タテホシムシ属 11 (6.4)	ヤッコカンザシゴカイ 182 (41.5) ミナミタテホシムシ 67 (15.3) <i>Perinereis</i> 属 25 (5.7) イソギンチャク目 22 (5.0)
( ) 内は組成比%			

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(10) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点 調査年度		L-潮4 平成30年度					
調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
植物	出現種類数	18	4	5	4	10	9
	平均出現種類数	10 (9 ~ 11)	2 (0 ~ 4)	3 (2 ~ 4)	2 (1 ~ 3)	6 (3 ~ 8)	6 (3 ~ 8)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	3.00 (2.51 ~ 3.49)	2.45 (0.00 ~ 4.89)	0.09 (0.00 ~ 0.18)	0.05 (0.00 ~ 0.09)	0.06 (0.03 ~ 0.09)	0.97 (0.11 ~ 1.83)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	ハイテングサ 1.41 (46.8) ホンダワラ属 0.48 (15.8) スギノリ属 0.33 (10.8) トダイギス 0.32 (10.5) ヒメテングサ 0.27 (9.0)	ヒメテングサ 2.40 (98.0)	ヒメテングサ 0.09 (94.4) サビ亜科(無節サンゴモ類) 0.01 (5.6)	テングサ科 0.03 (55.6) ハイテングサ 0.02 (44.4)	カイノリ 0.02 (33.3) ユレモ科 0.02 (25.0) テングサ科 0.01 (16.7) ウミウチワ属 0.01 (16.7) トダイギス 0.01 (8.3)	フクロノリ 0.52 (53.1) ヒトエグサ 0.35 (36.1) ヒトエグサ 0.05 (5.2)
	( ) 内は組成比%						
	出現種類数	68	21	25	30	28	16
	平均出現種類数	41 (30 ~ 51)	11 (4 ~ 18)	14 (13 ~ 15)	19 (14 ~ 23)	16 (9 ~ 22)	10 (10 ~ 10)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	313 (261 ~ 361)	77 (16 ~ 137)	70 (70 ~ 70)	170 (36 ~ 301)	87 (27 ~ 146)	47 (34 ~ 60)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	36.11 (26.77 ~ 45.45)	19.70 (18.40 ~ 20.99)	34.21 (17.27 ~ 51.14)	21.41 (20.26 ~ 22.56)	12.92 (7.86 ~ 17.97)	23.69 (17.40 ~ 29.98)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ヤッコカンザシゴカイ 206 (65.8)	ヤッコカンザシゴカイ 29 (37.9) アマオブネガイ 13 (17.0) コウダカカラマツ属 8 (9.8) <i>Petrolisthes inermis</i> 4 (5.2) クマドリゴカイ 4 (5.2)	ヤッコカンザシゴカイ 22 (31.4) アマオブネガイ 16 (22.9) オキナワイシダタミ 5 (7.1) コウダカカラマツ属 5 (6.4)	ヤッコカンザシゴカイ 98 (57.6) サメハダホシムシ属 22 (12.6)	ヤッコカンザシゴカイ 33 (37.6) タテホシムシ属 19 (21.4) アマオブネガイ 5 (5.8) サメハダホシムシ属 5 (5.8) リュウキュウアオガイ 5 (5.8)	ヤッコカンザシゴカイ 13 (26.6) アマオブネガイ 11 (23.4) オキナワイシダタミ 5 (9.6) リュウキュウアオガイ 4 (8.5) ミナミタテホシムシ 3 (6.4)
( ) 内は組成比%							

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均(最小値~最大値)を示しています。  
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(11) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4					
調査年度		令和元年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
項目							
植物	出現種類数	10	9	2	15	17	
	平均出現種類数	6 (3 ~ 8)	5 (1 ~ 8)	1 (0 ~ 2)	8 (2 ~ 14)	9 (0 ~ 17)	
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.70 (0.25 ~ 1.14)	0.12 (0.00 ~ 0.23)	0.49 (0.00 ~ 0.98)	0.38 (0.01 ~ 0.74)	1.12 (0.00 ~ 2.23)	
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	カキノリ	0.29 (41.0)	0.08 (69.6)	0.49 (100.4)	0.25 (65.3)	0.35 (30.9)
		クダモ属	0.13 (18.0)	0.02 (13.0)		0.06 (14.7)	0.28 (24.7)
		ヒメテングサ	0.11 (15.1)	0.01 (8.7)		0.05 (12.0)	0.22 (19.3)
		ハイテングサ	0.09 (12.9)				0.14 (12.6)
		アオノリ属	0.08 (11.5)				0.08 (6.7)
	( ) 内は組成比%						
	動物	出現種類数	34	40	26	19	41
平均出現種類数		20 (12 ~ 27)	23 (10 ~ 35)	14 (5 ~ 22)	10 (6 ~ 14)	22 (14 ~ 29)	
平均個体数 (個体/0.09㎡)		115 (25 ~ 205)	195 (33 ~ 357)	155 (15 ~ 294)	67 (18 ~ 115)	83 (56 ~ 109)	
平均湿重量 (g/0.09㎡)		42.38 (30.61 ~ 54.15)	39.87 (34.17 ~ 45.56)	19.73 (13.43 ~ 26.03)	13.66 (6.33 ~ 20.99)	29.12 (25.98 ~ 32.26)	
主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)		ヤッコカンザシゴカイ	45 (39.1)	64 (32.8)	43 (27.5)	33 (48.9)	12 (14.5)
		コウダカカラマツ属	11 (9.1)	41 (20.8)	43 (27.5)	7 (10.5)	7 (8.5)
		アマオブネガイ	10 (8.7)	13 (6.4)	12 (7.4)	6 (8.3)	7 (7.9)
		イソヨコエビ属	9 (7.8)		9 (5.5)	4 (6.0)	6 (6.7)
		ミナミタテホシムシ	7 (6.1)			4 (5.3)	5 (6.1)
( ) 内は組成比%							

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(12) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
植物	出現種類数	15	9	9	7	16
	平均出現種類数	8 (2 ~ 13)	5 (1 ~ 9)	5 (1 ~ 8)	4 (1 ~ 6)	9 (3 ~ 15)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	2.92 (0.27 ~ 5.57)	1.68 (0.11 ~ 3.25)	1.42 (0.06 ~ 2.77)	0.11 (0.09 ~ 0.12)	0.32 (0.03 ~ 0.60)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)  ( )内は組成比%	ハイテングサ 1.47 (50.3)	ハイテングサ 1.23 (73.2)	ハイテングサ 1.15 (80.9)	スギノリ属 0.05 (47.6)	ハイテングサ 0.25 (77.8)
		アイミドリ 0.90 (30.8)	ユレモ科 0.19 (11.3) アイミドリ 0.17 (10.1)	テングサ科 0.21 (14.8)	クダモ属 0.05 (42.9)	フジマツモ科 0.03 (9.5)
動物	出現種類数	45	28	46	29	33
	平均出現種類数	24 (10 ~ 38)	15 (5 ~ 25)	28 (20 ~ 36)	16 (7 ~ 24)	18 (8 ~ 28)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	103 (28 ~ 178)	95 (26 ~ 163)	246 (76 ~ 415)	71 (39 ~ 103)	80 (32 ~ 127)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	20.96 (25.66 ~ 16.25)	28.97 (31.38 ~ 26.55)	32.88 (46.74 ~ 19.02)	18.37 (9.89 ~ 26.84)	19.27 (17.12 ~ 21.41)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)  ( )内は組成比%	ミナミタテホシムシ 12 (11.2)	コウダカカラマツ属 49 (51.9)	コウダカカラマツ属 81 (33.0)	コウダカカラマツ属 10 (14.1)	コウダカカラマツガイ 19 (23.3)
ケハダヒザラガイ属 10 (9.7)		アマオブネガイ 12 (12.2)	リトウイワフジツボ 73 (29.7)	ミナミタテホシムシ 10 (14.1)	スナイソゴカイ 11 (13.2)	
	<i>Perinereis</i> 属 10 (9.7)	リュウキュウアオガイ 5 (5.3)	アマオブネガイ 14 (5.5)	アマオブネガイ 8 (11.3)	アマオブネガイ 6 (6.9)	
	アマオブネガイ 7 (6.8)	ミナミカニダマシ 5 (5.3)		オキナワイシダタミ 7 (9.9)	オニノツノガイ科 6 (6.9)	
	コウダカカラマツ属 7 (6.8)			ウスヒメアワビ 6 (7.7)	リュウキュウアオガイ 4 (5.0)	
					ミナミカニダマシ 4 (5.0)	

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(13) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物	出現種類数	24	10	14	14
	平均出現種類数	14 (4 ~ 24)	5 (0 ~ 10)	8 (1 ~ 14)	7 (2 ~ 12)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.91 (0.24 ~ 1.57)	0.90 (0.00 ~ 1.79)	0.43 (0.08 ~ 0.78)	0.98 (0.71 ~ 1.24)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	アイミドリ 0.24 (26.5) 藍藻綱 0.24 (26.0) ハイテングサ 0.16 (17.7) イソダンツウ 0.12 (12.7) ユレモ目 0.05 (5.5)	ハイテングサ 0.89 (99.4)	ハイテングサ 0.31 (72.1) 藍藻綱 0.05 (11.6) ユレモ科 0.04 (9.3)	コナハダ属 0.41 (41.5) ユレモ目 0.35 (35.4) ハイテングサ 0.12 (11.8) セイヨウハバノリ 0.06 (6.2)
	( ) 内は組成比%				
動物	出現種類数	39	37	26	46
	平均出現種類数	23 (14 ~ 31)	22 (14 ~ 30)	16 (9 ~ 22)	25 (13 ~ 36)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	159 (94 ~ 223)	88 (45 ~ 130)	54 (38 ~ 70)	124 (44 ~ 204)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	28.72 (17.07 ~ 40.37)	23.32 (22.63 ~ 24.00)	27.63 (18.64 ~ 36.62)	26.43 (24.94 ~ 27.91)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	シリケンウミセミ属 24 (14.8) コウダカカラマツ属 18 (11.0) アマオブネガイ 12 (7.3) シリス亜科 11 (6.9) ムカデガイ科 10 (6.0)	コウダカカラマツ属 18 (20.0) リュウキュウアオガイ 14 (16.0) アマオブネガイ 9 (10.3)	アマオブネガイ 13 (24.1) オキナワイシダタミ 6 (11.1) コウダカカラマツ属 6 (11.1) リュウキュウアオガイ 4 (7.4) ヤッコカンザシゴカイ 4 (7.4)	ミナミタテホシムシ 20 (15.7) コウダカカラマツ属 16 (12.5) タテジワミドリガイ 10 (8.1) アマオブネガイ 8 (6.5) コツブムシ科 7 (5.2)
	( ) 内は組成比%				

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(14) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4					
調査年度		令和4年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
項目							
植物	出現種類数	18	14	10	12	17	
	平均出現種類数	11 (6 ~ 16)	8 (1 ~ 14)	6 (1 ~ 10)	8 (3 ~ 12)	9 (2 ~ 15)	
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	1.42 (0.27 ~ 2.57)	1.36 (0.06 ~ 2.66)	0.64 (0.00 ~ 1.28)	0.88 (0.54 ~ 1.22)	2.55 (1.45 ~ 3.64)	
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	アイミドリ	0.67 (47.2)	ハイテングサ 1.25 (91.9)	ハイテングサ 0.58 (90.6)	藍藻綱 0.40 (45.5)	セイヨウハバノリ 0.99 (38.7)
		ハイテングサ	0.22 (15.1)		ソゾ属 0.05 (7.0)	ユレモ目 0.40 (44.9)	ユレモ科 0.72 (28.3)
		カイノリ	0.22 (15.1)			ハイテングサ 0.07 (7.4)	フクロノリ属 0.29 (11.4)
		イソダンツウ	0.11 (7.4)				カイノリ 0.22 (8.6)
		ユレモ科	0.08 (5.6)				ウミウチワ属の1種 0.15 (5.7)
	( ) 内は組成比%						
	動物	出現種類数	40	29	30	37	39
平均出現種類数		21 (11 ~ 31)	15 (5 ~ 25)	16 (7 ~ 24)	23 (18 ~ 27)	24 (8 ~ 39)	
平均個体数 (個体/0.09㎡)		106 (46 ~ 165)	95 (20 ~ 169)	65 (29 ~ 100)	77 (61 ~ 93)	118 (31 ~ 205)	
平均湿重量 (g/0.09㎡)		32.01 (24.54 ~ 39.47)	25.22 (16.20 ~ 34.24)	14.73 (11.30 ~ 18.15)	35.73 (31.88 ~ 39.57)	22.33 (20.64 ~ 24.02)	
主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)		コウダカカラマツ属	18 (16.6)	コウダカカラマツ属 22 (23.3)	<i>Petrolisthes inermis</i> 13 (19.4)	ミナミカニダマシ 14 (17.5)	ミナミタテホシムシ 20 (16.9)
		アマオブネガイ	12 (11.4)	アマオブネガイ 9 (9.5)	ミナミカニダマシ 8 (12.4)	アマオブネガイ 11 (14.3)	ゴカイ科 12 (10.2)
		ウスヒザラガイ科	11 (10.0)	<i>Perinereis</i> 属 9 (9.5)	ミナミタテホシムシ 8 (11.6)	イソギンチャク目 8 (10.4)	イソヨコエビ属 9 (7.6)
		リュウキュウアオガイ	7 (6.6)	ミナミタテホシムシ 7 (7.4)	アマオブネガイ 5 (7.0)	リュウキュウアオガイ 5 (6.5)	オニツノガイ科 9 (7.2)
		ヒメケハダヒザラガイ	7 (6.2)	ウスヒザラガイ科 7 (6.9)	クマドリゴカイ 5 (7.0)	ミナミタテホシムシ 5 (6.5)	ムカデガイ科 6 (5.1)
( ) 内は組成比%			<i>Petrolisthes inermis</i> 7 (6.9)			コウダカカラマツ属 6 (5.1)	

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(15) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4					
調査年度		令和5年度					
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
項目							
植物	出現種類数	15	17	14	9	15	10
	平均出現種類数	8 (3 ~ 13)	10 (3 ~ 17)	7 (0 ~ 14)	6 (3 ~ 8)	10 (5 ~ 14)	5 (1 ~ 9)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.18 (0.06 ~ 0.29)	1.12 (0.03 ~ 2.21)	0.14 (0.00 ~ 0.27)	0.01 (0.00 ~ 0.01)	0.10 (0.07 ~ 0.13)	0.89 (0.00 ~ 1.77)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	カイノリ 0.06 (34.3) アイミドリ 0.02 (11.4) ハイテングサ 0.02 (11.4) イソダンツウ 0.02 (11.4) ( ) 内は組成比%	ハイテングサ 0.55 (48.7) アイミドリ 0.47 (42.5)	フシクレノリ 0.12 (85.2) ハイテングサ 0.01 (7.4)	ハイテングサ 0.01 (100.0)	ユレモ科 0.07 (65.0) ハイテングサ 0.02 (15.0) キッコウグサ 0.01 (10.0) アイミドリ 0.01 (5.0) クロガシラ属 0.01 (5.0)	セイヨウハバノリ 0.45 (50.8) アオノリ属 0.18 (20.3) ハイテングサ 0.18 (19.8) フクロノリ 0.06 (6.8)
	ユレモ目 0.02 (8.6)						
動物	出現種類数	36	34	22	26	39	13
	平均出現種類数	20 (9 ~ 31)	18 (7 ~ 29)	12 (6 ~ 18)	15 (5 ~ 24)	23 (11 ~ 35)	8 (5 ~ 10)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	77 (25 ~ 129)	85 (27 ~ 143)	72 (40 ~ 103)	69 (31 ~ 106)	82 (32 ~ 132)	34 (32 ~ 36)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	16.70 (14.67 ~ 18.73)	28.04 (19.60 ~ 36.48)	28.86 (27.92 ~ 29.80)	29.28 (15.58 ~ 42.97)	30.22 (24.20 ~ 36.27)	33.87 (28.52 ~ 39.21)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	アマオブネガイ 7 (8.4) コウダカカラマツ属 7 (8.4) ミナミタテホシムシ 7 (8.4) イソヨコエビ属 7 (8.4) ( ) 内は組成比%	コウダカカラマツ属 31 (35.9) アマオブネガイ 10 (11.2) <i>Petrolisthes inermis</i> 8 (9.4)	コウダカカラマツ属 22 (30.8) アマオブネガイ 12 (16.8) リュウキュウアオガイ 6 (7.7) ミナミタテホシムシ 4 (5.6)	アマオブネガイ 13 (19.0) <i>Petrolisthes inermis</i> 12 (16.8) リュウキュウアオガイ 5 (7.3) ミナミカニダマシ 5 (6.6) ウスヒザラガイ科 4 (5.8) オキナワイシダタミ 4 (5.8) ミナミタテホシムシ 4 (5.8)	ミナミカニダマシ 10 (11.6) ミナミタテホシムシ 8 (9.8) アマオブネガイ 7 (7.9) ネットアイサメハダホシムシ 6 (7.3) イソギンチャク目 5 (6.1) ヒメイワガニ 5 (6.1)	アマオブネガイ 19 (54.4) ウスヒメアワビ 4 (11.8) リュウキュウアオガイ 3 (7.4) ミナミカニダマシ 2 (5.9) <i>Petrolisthes inermis</i> 2 (5.9)

注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均(最小値~最大値)を示しています。  
3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.8(16) 坪刈り、堆積物採取 結果概要  
(潮間帯生物調査：L-潮4：工事中)

調査地点		L-潮4 令和6年度				
調査年度						
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
植物	出現種類数	11	10	16	16	17
	平均出現種類数	6 (1 ~ 10)	6 (1 ~ 10)	10 (3 ~ 14)	8 (0 ~ 16)	9 (3 ~ 14)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	0.76 (0.22 ~ 1.30)	0.07 (0.00 ~ 0.13)	0.10 (0.03 ~ 0.17)	0.03 (0.00 ~ 0.05)	0.65 (0.31 ~ 0.99)
	主な出現種の 平均湿重量 (g/0.09㎡)	アイミドリ 0.46 (60.5) ハイコナハダ 0.13 (16.4) ユレモ科 0.11 (14.5) ソゾ属 0.04 (5.3)	ハイテングサ 0.05 (76.9) ヒゲモ属 0.01 (7.7) 藍藻綱 0.01 (7.7) イソダソツウ 0.01 (7.7)	ヒゲモ属 0.04 (40.0) ユレモ目 0.02 (15.0) ハイテングサ 0.02 (15.0) イバラノリ属 0.02 (15.0) ヤナギノリ属 0.01 (5.0) ヒメゴケ属 0.01 (5.0) アオモグサ 0.01 (5.0)	ハイテングサ 0.03 (100.0)	ヒトエグサ 0.50 (76.2) ソゾ属 0.06 (9.2) ハイテングサ 0.05 (7.7)
	( )内は組成比%					
	出現種類数	31	22	42	28	37
	平均出現種類数	17 (9 ~ 24)	12 (7 ~ 17)	22 (10 ~ 34)	16 (12 ~ 19)	21 (13 ~ 28)
	平均個体数 (個体/0.09㎡)	69 (30 ~ 107)	60 (19 ~ 101)	150 (41 ~ 258)	65 (37 ~ 92)	58 (36 ~ 79)
	平均湿重量 (g/0.09㎡)	28.80 (16.01 ~ 41.58)	21.15 (19.04 ~ 23.26)	39.29 (36.21 ~ 42.36)	25.69 (11.20 ~ 40.17)	37.90 (9.90 ~ 65.90)
	主な出現種の 平均個体数 (個体/0.09㎡)	ミナミタテホシムシ 11 (16.1) イソヨコエビ属 12 (10.9) アマオブネガイ 7 (10.2) ヒメケハダヒザラガイ 6 (8.8) ネットタイサメハダホシムシ 5 (6.6)	コウダカカラマツ属 17 (27.5) アマオブネガイ 11 (18.3) シマベッコウバイ 6 (9.2) リュウキユウアオガイ 4 (6.7) リトウイワフジツボ 3 (5.0)	コウダカカラマツ属 26 (17.4) ミナミタテホシムシ 23 (15.4) ゴカイ科 12 (7.7) アマオブネガイ 11 (7.4) シリス亜科 11 (7.4)	コウダカカラマツ属 17 (26.4) アマオブネガイ 8 (11.6) ドロソコエビ属 6 (8.5) ゴカイ科 5 (7.0) ミナミタテホシムシ 5 (7.0)	アマオブネガイ 11 (18.3) コウダカカラマツ属 6 (9.6) メリタヨコエビ属 5 (7.8) スナイソゴカイ 4 (7.0) Nereis属 4 (6.1)
( )内は組成比%						

- 注) 1. 本表中の平均は測線に各枠ずつ設けた枠の平均値を示しています。  
 2. 平均出現種類数、平均個体数及び平均湿重量欄には、調査地点平均（最小値～最大値）を示しています。  
 3. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

表-3.5.2.9 坪刈り、堆積物採取 平均種出現種類数、平均個体数及び平均湿重量 (潮間帯生物調査)

調査地点	I-潮4																											
	工事中																											
調査年度	H19			H20			H21			H22			H23			H24			H25			H26						
調査時期	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
植物	3	5	8	4	5	9	8	9	6	10	9	2	2	8	9	2	8	7	6	5	7	6	5	8	7	6	4	
平均出現種類数(種類)	0.35	0.20	1.60	0.15	0.20	12.55	1.10	4.80	0.40	4.80	1.45	0.50	0.15	8.45	3.55	2.90	19.65	11.45	5.70	0.25	8.50	2.75	0.69	2.15	5.40	1.78	1.75	
平均湿重量(g/0.09m <sup>2</sup> )														1~10	0.15~19.65													
動物	16	17	14	22	18	13	17	15	11	17	16	24	19	17	22	22	15	36	33	23	45	15	21	13	16	19	17	
平均出現種類数(種類)	65	60	50	146	67	44	67	78	61	62	55	145	90	74	299	176	40	387	225	70	433	38	53	66	46	85	163	57
平均個体数(個体/0.09m <sup>2</sup> )	35.05	37.84	23.77	52.13	47.49	24.79	43.09	73.54	51.15	35.56	41.34	55.11	27.19	23.88	20.74	16.07	18.05	75.64	50.34	26.24	44.20	32.30	11.94	25.89	23.85	33.72	32.96	19.93
平均湿重量(g/0.09m <sup>2</sup> )														11.94~75.64														

調査地点	I-潮4																										
	工事中																										
調査年度	H29			H30			R1			R2			R3			R4											
調査時期	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	台風後	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	夏季	台風後	秋季	冬季	
植物	3	9	10	2	3	2	6	6	6	5	1	8	9	8	5	5	14	9	4	5	8	7	11	8	6	8	9
平均出現種類数(種類)	1.31	6.80	3.00	2.45	0.09	0.05	0.06	0.97	0.70	0.12	0.49	0.38	1.12	2.92	1.68	1.42	0.11	0.32	0.91	0.90	0.43	0.98	1.42	1.36	0.64	0.88	2.55
平均湿重量(g/0.09m <sup>2</sup> )														0.01~6.80													
動物	17	27	41	11	14	19	16	10	20	23	14	10	22	24	15	28	16	18	23	22	16	25	21	15	16	23	24
平均出現種類数(種類)	87	220	313	77	70	170	87	47	115	195	155	67	83	103	95	246	71	80	159	88	54	124	106	95	65	77	118
平均個体数(個体/0.09m <sup>2</sup> )	18.04	45.88	36.11	19.70	34.21	21.41	12.92	23.69	42.38	39.87	19.73	13.66	29.12	20.96	28.97	32.88	18.37	19.27	28.72	23.32	27.63	26.43	32.01	25.22	14.73	35.73	22.33
平均湿重量(g/0.09m <sup>2</sup> )														12.92~45.88													

調査地点	I-潮4											
	工事中											
調査年度	R5			R6								
調査時期	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	台風後	夏季	台風後	秋季	冬季
植物	8	10	7	6	10	5	6	6	10	8	8	9
平均出現種類数(種類)	0.18	1.12	0.14	0.01	0.10	0.89	0.76	0.07	0.10	0.03	0.65	0.65
平均湿重量(g/0.09m <sup>2</sup> )												0.01~6.50
動物	20	18	12	15	23	8	17	12	22	16	21	21
平均出現種類数(種類)	77	85	72	69	82	34	69	60	150	65	58	58
平均個体数(個体/0.09m <sup>2</sup> )	16.70	28.04	28.86	29.28	30.22	33.87	28.80	21.15	39.29	25.69	37.90	37.90
平均湿重量(g/0.09m <sup>2</sup> )												12.92~45.88

注) 本環境監視調査結果(令和6年度)は黄色の網掛けで示しています。

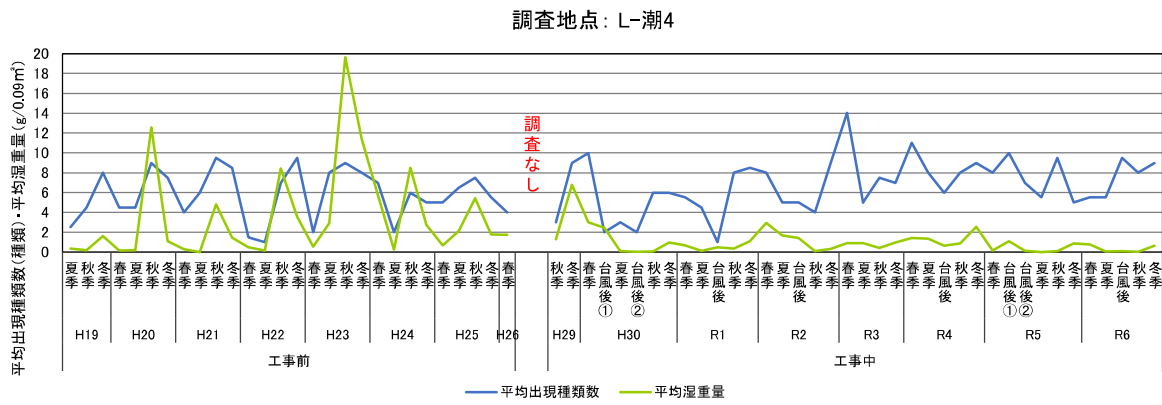


図-3.5.2.6 坪刈り、堆積物採取 植物の平均出現種類数及び平均湿重量 (潮間帯生物調査)

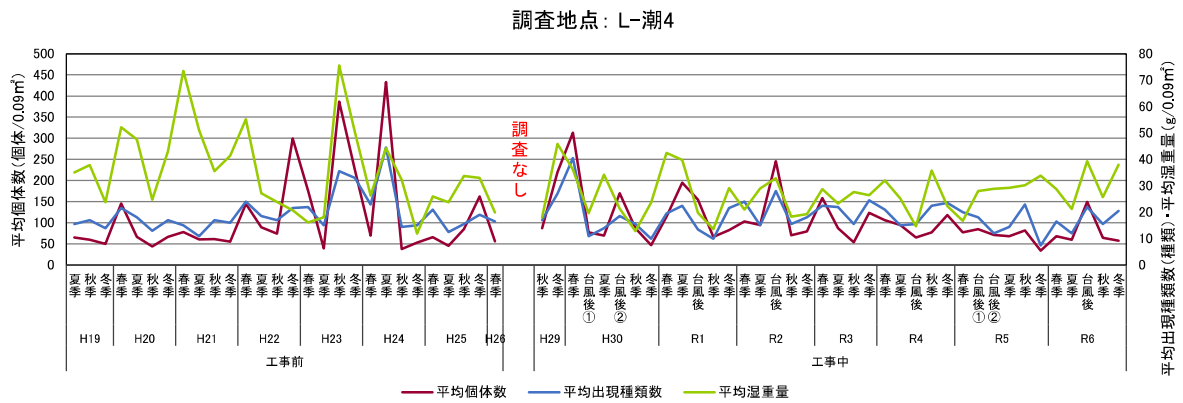


図-3.5.2.7 坪刈り、堆積物採取 動物の平均個体数、平均出現種類数及び平均湿重量 (潮間帯生物調査)


#### (4) 浮遊生物調査（定量的調査）

浮遊生物調査で対象としている植物プランクトン、動物プランクトンについて、各地点を調査季別に整理した経年の結果概要を表-3.5.2.10 に、全地点を調査季別に整理した経年の出現種類数・細胞数及び個体数を表-3.5.2.11、図-3.5.2.9 及び図-3.5.2.10 に、各地点の調査季別の結果概要に示された主な出現種（組成比率5%以上）の出現状況を年度ごとに比較した結果を表-3.5.2.12 に示します。

植物プランクトンの結果は、地点によっては一時的に工事前における変動範囲を下回る時期もみられましたが、調査期間を通じて概ね工事前における変動範囲内でした。主な出現種（組成比率5%以上）については、工事前と比較して顕著な減少はみられず、また、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられないことから、環境の大きな変化は確認されませんでした。

動物プランクトンの結果は、地点によっては一時的に工事前における変動範囲を下回る時期もみられましたが、調査期間を通じて概ね工事前における変動範囲内でした。主な出現種については、工事前と比較して顕著な減少はみられず、また、工事前から工事中も継続して出現しているものが多く、大きな変化はみられないことから、環境の大きな変化は確認されませんでした。

浮遊生物調査は水質変化の指標として取り扱っており、今後も継続して調査を行うとともに比較していきます。



※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

図-3.5.2.8 浮遊生物調査の調査地点図

表-3.5.2.10(1) 結果概要 (浮遊生物調査: E8: 工事前)

調査地点		E8			
調査年度		平成19年度			
調査時期		夏季	秋季	冬季	
植物 プランク トン	出現種類数	13	34	25	
	細胞数 (細胞/L)	16,580	5,250	3,290	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type)	6,800 (41.0)	unidentified flagellates 800 (15.2)	Peridinales 560 (17.0)
		Prasinophyceae	2,880 (17.4)	<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 480 (14.6)
		Gymnodinales	2,560 (15.4)	Peridinales	<i>Cylindrotheca closterium</i> 360 (10.9)
		Haptophyceae	1,440 (8.7)	480 (9.1)	<i>Bacteriastrum minus</i> 200 (6.1)
		unidentified flagellates	1,280 (7.7)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 400 (7.6)	Cryptophyceae 200 (6.1)
				<i>Bleakeleya notata</i> 280 (5.3)	Euglenophyceae 200 (6.1)
				Cryptophyceae 280 (5.3)	
出現種類数	27	28	34		
個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	87,658	9,884	4,969		
動物 プランク トン	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	
		18,574 (21.2)	2,052 (20.8)	1,277 (25.7)	
		Bivalvia (umbo larva)	Copepoda (nauplius)	Copepoda (nauplius)	
		12,318 (14.1)	1,865 (18.9)	1,108 (22.3)	
		Gastropoda (larva)	<i>Oithona simplex</i>	<i>Oithona simplex</i>	
		10,167 (11.6)	839 (8.5)	423 (8.5)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oikopleura</i> spp.	
		10,167 (11.6)	793 (8.0)	254 (5.1)	
<i>Oithona aruensis</i>	Gastropoda (larva)	<i>Bestiolina similis</i>			
8,798 (10.0)	653 (6.6)	246 (5.0)			

調査地点		E8				
調査年度		平成20年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
植物 プランク トン	出現種類数	53	27	23	34	
	細胞数 (細胞/L)	14,330	11,520	11,300	14,730	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	Prasinophyceae	4,750 (33.1)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 6,800 (59.0)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 2,240 (19.8)	unidentified flagellates 3,760 (25.5)
		Cryptophyceae	2,500 (17.4)	Haptophyceae	Peridinales	Haptophyceae
		unidentified flagellates	2,500 (17.4)	1,080 (9.4)	1,680 (14.9)	2,320 (15.8)
				800 (6.9)	unidentified flagellates	Prasinophyceae
					1,680 (14.9)	2,120 (14.4)
					<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 1,520 (13.5)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 1,800 (12.2)
					Cryptophyceae 1,200 (10.6)	
出現種類数	19	29	27	20		
個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	10,696	14,511	6,110	704		
動物 プランク トン	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona simplex</i>	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Copepoda (nauplius)	
		5,474 (51.2)	6,627 (45.7)	1,438 (23.5)	229 (32.5)	
		Copepoda (nauplius)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Copepoda (nauplius)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	
		2,421 (22.6)	2,651 (18.3)	846 (13.8)	91 (12.9)	
		<i>Oithona dissimilis</i>	Copepoda (nauplius)	<i>Oithona aruensis</i>	<i>Oithona simplex</i>	
		1,684 (15.7)	1,704 (11.7)	507 (8.3)	74 (10.5)	
			<i>Oithona nana</i>	<i>Oithona simplex</i>	Bivalvia (D-shaped larva)	
			757 (5.2)	507 (8.3)	46 (6.5)	
				Bivalvia (D-shaped larva)		
				423 (6.9)		
		<i>Oithona dissimilis</i> 423 (6.9)				

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(2) 結果概要 (浮遊生物調査: E8: 工事前)

調査地点		E8				
調査年度		平成21年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物プランクトン	出現種類数	23	26	52	43	
	細胞数 (細胞/L)	24,300	4,060	5,800	4,640	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	unidentified flagellates	9,600 (39.5)	unidentified flagellates	<i>Cylindrotheca closterium</i>	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.
		Haptophyceae	3,600 (14.8)	Cryptophyceae	1,010 (17.4)	1,400 (30.2)
		Prasinophyceae	2,720 (11.2)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	630 (10.9)	<i>Cylindrotheca closterium</i>
		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	2,480 (10.2)	Haptophyceae	460 (7.9)	230 (5.0)
動物プランクトン	出現種類数	26	26	27	33	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	15,602	14,654	1,117	1,782	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	5,014 (32.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Copepoda (nauplius)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)
		Copepoda (nauplius)	4,011 (25.7)	<i>Oithona simplex</i>	402 (36.0)	577 (32.4)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	3,295 (21.1)	<i>Paracalanus crassirostris</i>	164 (14.7)	375 (21.0)
		<i>Acartia erythraea</i>	1,003 (6.4)	<i>Oithona attenuata</i>	68 (6.1)	144 (8.1)

調査地点		E8				
調査年度		平成22年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物プランクトン	出現種類数	41	50	28	51	
	細胞数 (細胞/L)	54,110	844,160	51,190	7,580	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	22,600 (41.8)	<i>Bacteriastrum</i> spp.	unidentified flagellates	unidentified flagellates
		<i>Thalassiosira</i> spp.	14,000 (25.9)	668,800 (79.2)	35,520 (69.4)	1,800 (23.7)
		Peridinales	7,180 (13.3)	<i>Chaetoceros constrictum</i>	4,800 (9.4)	1,280 (16.9)
					4,800 (9.4)	1,040 (13.7)
動物プランクトン	出現種類数	18	20	24	28	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	6,983	13,934	36,693	10,633	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	1,176 (16.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona aruensis</i>	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	941 (13.5)	<i>Oithona aruensis</i>	10,101 (27.5)	3,152 (29.6)
		Copepoda (nauplius)	784 (11.2)	2,260 (16.2)	9,596 (26.2)	<i>Oithona simplex</i>
		<i>Paracalanus crassirostris</i>	784 (11.2)	1,695 (12.2)	5,051 (13.8)	1,212 (11.4)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(3) 結果概要 (浮遊生物調査: E8: 工事前)

調査地点		E8			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	36	42	36	53
	細胞数 (細胞/L)	4,170	7,550	6,890	7,430
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 1,280 (30.7) Haptophyceae 880 (21.1) Prasinophyceae 640 (15.3)	<i>Peridinium quinquecorne</i> 1,140 (15.1) Gymnodinales 1,120 (14.8) unidentified flagellates 960 (12.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 510 (6.8) <i>Heterocapsa</i> spp. 470 (6.2)	unidentified flagellates 3,200 (46.4) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,920 (27.9) Haptophyceae 400 (5.8)	Haptophyceae 2,880 (38.8) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 490 (6.6) <i>Leptocylindrus danicus</i> 450 (6.1) Cryptophyceae 400 (5.4)
	( ) 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	15	45	36	54
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	1,910	38,131	34,024	3,344
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	Copepoda (nauplius) 658 (34.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 547 (28.6) Gastropoda (larva) 184 (9.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 105 (5.5)	<i>Oithona dissimilis</i> 19,954 (52.3) <i>Oithona aruensis</i> 10,080 (26.4) <i>Paracalanus crassirostris</i> 3,440 (9.0)	<i>Oithona aruensis</i> 12,364 (36.3) <i>Oithona simplex</i> 4,073 (12.0) <i>Paracalanus crassirostris</i> 3,564 (10.5) <i>Oithona dissimilis</i> 3,418 (10.0) Paracalanidae (copepodite) 2,255 (6.6)	Copepoda (nauplius) 1,227 (36.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 382 (11.4) Paracalanidae (copepodite) 314 (9.4) <i>Oikopleura</i> spp. 218 (6.5) Cirripedia (nauplius) 177 (5.3)
	( ) 内は組成比%				

調査地点		E8			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	37	53	64	62
	細胞数 (細胞/L)	6,080	134,250	64,390	39,570
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Haptophyceae 1,520 (25.0) unidentified flagellates 1,200 (19.7) <i>Heterocapsa</i> spp. 800 (13.2) Prasinophyceae 480 (7.9)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 83,520 (62.2) <i>Nitzschia</i> spp. 14,400 (10.7) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 13,440 (10.0) <i>Chaetoceros lorenzianum</i> 11,520 (8.6)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 10,800 (16.8) unidentified flagellates 8,880 (13.8) <i>Nitzschia</i> spp. 8,640 (13.4) Haptophyceae 8,000 (12.4) <i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 6,720 (10.4)	Prasinophyceae 5,520 (13.9) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 5,480 (13.8) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 4,060 (10.3) <i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 3,810 (9.6) Euglenophyceae 2,670 (6.7)
	( ) 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	45	24	51	32
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	15,332	26,295	9,300	11,907
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	<i>Oithona simplex</i> 7,822 (51.0) Paracalanidae (copepodite) 1,521 (9.9) <i>Oithona dissimilis</i> 1,146 (7.5) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 1,037 (6.8) Copepoda (nauplius) 968 (6.3)	Copepoda (nauplius) 5,059 (19.2) <i>Oithona aruensis</i> 4,118 (15.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 4,059 (15.4) <i>Oithona dissimilis</i> 2,882 (11.0) <i>Fritillaria</i> spp. 2,588 (9.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,462 (26.5) <i>Oithona simplex</i> 1,593 (17.1) <i>Oithona aruensis</i> 938 (10.1) Copepoda (nauplius) 869 (9.3) <i>Paracalanus crassirostris</i> 828 (8.9)	Copepoda (nauplius) 5,462 (45.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,585 (21.7) <i>Oithona dissimilis</i> 1,077 (9.0) Paracalanidae (copepodite) 785 (6.6)
	( ) 内は組成比%				

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3. 5. 2. 10(4) 結果概要 (浮遊生物調査 : E8 : 工事前)

調査地点		E8				
調査年度		平成25年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	51	34	51	33	
	細胞数 (細胞/L)	10,550	49,220	47,350	27,990	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	unidentified flagellates	2,240 (21.2)	<i>Heterocapsa</i> spp. 29,280 (59.5)	unidentified flagellates 27,600 (58.3)	Euglenophyceae 6,880 (24.6)
		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	1,620 (15.4)	unidentified flagellates	<i>Heterocapsa</i> spp. 8,880 (18.8)	Cryptophyceae 5,360 (19.1)
		Cryptophyceae	880 (8.3)	Cryptophyceae	Cryptophyceae 3,280 (6.9)	unidentified flagellates 5,200 (18.6)
		Haptophyceae	720 (6.8)			<i>Heterocapsa</i> spp. 4,920 (17.6)
		<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	710 (6.7)			Prasinophyceae 2,400 (8.6)
動物 プランク トン	出現種類数	28	40	34	19	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	13,505	16,974	7,619	1,516	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	Copepoda (nauplius)	9,669 (71.6)	Copepoda (nauplius) 5,179 (30.5)	Copepoda (nauplius) 1,745 (22.9)	Copepoda (nauplius) 827 (54.6)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	1,246 (9.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,411 (20.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,673 (22.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 291 (19.2)
		<i>Oithona dissimilis</i>	1,177 (8.7)	<i>Oithona aruensis</i> 2,021 (11.9)	Paracalanidae (copepodite) 945 (12.4)	
				Paracalanidae (copepodite) 1,389 (8.2)	<i>Oithona simplex</i> 764 (10.0)	
				<i>Oithona dissimilis</i> 1,137 (6.7)	<i>Oithona aruensis</i> 509 (6.7)	

調査地点		E8	
調査年度		平成26年度	
調査時期		春季	
項目			
植物 プランク トン	出現種類数	36	
	細胞数 (細胞/L)	22,480	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	unidentified flagellates	10,240 (45.6)
		<i>Heterocapsa</i> spp.	7,120 (31.7)
		<i>Prorocentrum triestinum</i>	2,240 (10.0)
動物 プランク トン	出現種類数	28	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	5,362	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	<i>Oithona dissimilis</i>	1,257 (23.4)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	971 (18.1)
		Copepoda (nauplius)	762 (14.2)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	552 (10.3)
		<i>Acartia hispinosa</i>	343 (6.4)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(5) 結果概要 (浮遊生物調査: E8: 工事中)

調査地点		E8	
調査年度		平成29年度	
調査時期		秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	57	33
	細胞数 (細胞/L)	8,850	2,220
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 2,480 (28.0)	<i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 490 (22.1)
	( ) 内は組成比%	<i>Heterocapsa</i> sp. (9.3) unidentified flagellates 760 (8.6) Gymnodinales 540 (6.1) Peridinales 450 (5.1)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 470 (21.2) <i>Navicula</i> sp. 160 (7.2)
	出現種数	22	22
動物プランクトン	個体数 (個体/m)	4,650	1,128
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 2,339 (50.3) <i>Oithona simplex</i> 548 (11.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 419 (9.0) Paracalanidae (copepodite) 274 (5.9)	Copepoda (nauplius) 440 (39.0) <i>Oncaca</i> spp. (copepodite) 176 (15.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 96 (8.5) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 56 (5.0) Paracalanidae (copepodite) 56 (5.0)

調査地点		E8					
調査年度		平成30年度					
調査時期		春分	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	47	33	45	38	41	40
	細胞数 (細胞/L)	3,370	1,350	2,990	5,830	2,330	3,450
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Gymnodinales 190 (13.7) Peridinales 430 (12.0) <i>Heterocapsa</i> spp. 290 (8.1) <i>Prorocentrum triestinum</i> 240 (6.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 220 (6.2)	Gymnodinales 220 (16.3) Peridinales 180 (13.3) <i>Gymnodinium</i> spp. 110 (8.1) <i>Cylindrotheca closterium</i> 90 (6.7) <i>Gyrodinium</i> spp. 80 (5.9)	Peridinales 180 (16.1) <i>Cylindrotheca closterium</i> 290 (9.7) <i>Protoperidinium</i> spp. 280 (9.4) <i>Gyrodinium</i> spp. 190 (6.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 180 (6.0)	Prasinophyceae 2,290 (39.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 700 (12.0) <i>Cylindrotheca closterium</i> 460 (7.9) Gymnodinales 440 (7.5) unidentified flagellates 340 (5.8)	Gymnodinales 380 (16.3) <i>Cylindrotheca closterium</i> 210 (9.0) Peridinales 170 (7.3) unidentified flagellates 170 (7.3) <i>Prorocentrum triestinum</i> 160 (6.9)	Gymnodinales 330 (16.3) Peridinales 340 (9.8) <i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 250 (7.2) unidentified flagellates 240 (6.9) <i>Prorocentrum triestinum</i> 210 (6.0)
	出現種数	15	20	19	26	22	7
	個体数 (個体/m)	12,977	8,977	45,339	14,050	5,354	634
動物プランクトン	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 7,059 (54.4) <i>Oithona dissimilis</i> 4,706 (36.3) Copepoda (nauplius) 889 (6.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,765 (41.9) Copepoda (nauplius) 1,971 (22.0) <i>Oikopleura</i> spp. 847 (7.2) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 618 (6.9)	<i>Oithona arvensis</i> 19,088 (42.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 15,719 (34.7) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 3,939 (8.7)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 3,357 (23.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,888 (13.4) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,538 (10.9) Copepoda (nauplius) 1,210 (8.6) <i>Oithona simplex</i> 1,168 (8.3)	Gastropoda (larva) 1,549 (28.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,212 (22.6) Copepoda (nauplius) 532 (9.9) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 303 (5.7) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 303 (5.7)	Copepoda (nauplius) 463 (73.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 73 (11.5) <i>Galacalanus</i> spp. (copepodite) 41 (6.5) Polychaeta (larva) 33 (5.2)

調査地点		E8				
調査年度		令和元年度				
調査時期		春分	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	37	50	31	40	28
	細胞数 (細胞/L)	6,290	8,270	1,480	1,510	2,790
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Euglenophyceae 3,570 (56.8) Gymnodinales 590 (9.4) Peridinales 460 (7.3) <i>Prorocentrum triestinum</i> 350 (5.6)	<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type) 1,320 (16.0) <i>Protoperidinium</i> sp. 920 (11.1) Diatomaceae 820 (9.9) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 720 (8.7) <i>Prorocentrum triestinum</i> 580 (7.0)	Peridinales 290 (19.9) <i>Heterocapsa</i> spp. 210 (14.4) Gymnodinales 170 (11.6) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 140 (9.6) <i>Cylindrotheca closterium</i> 110 (7.5) Euglenophyceae 110 (7.5)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 160 (10.6) Peridinales 150 (9.9) <i>Navicula</i> sp. 120 (7.9) <i>Nitzschia</i> spp. 120 (7.9) <i>Leptocylindrus danicus</i> 80 (5.3)	Euglenophyceae 1,470 (52.7) <i>Cylindrotheca closterium</i> 200 (7.2) <i>Navicula</i> sp. 150 (5.4) <i>Nitzschia</i> sp. 150 (5.4)
	出現種数	21	20	13	26	15
	個体数 (個体/m)	963	11,525	10,657	3,189	958
動物プランクトン	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 315 (32.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 151 (15.7) Gastropoda (larva) 123 (12.8) <i>Oikopleura</i> spp. 55 (5.7) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 48 (5.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 4,038 (35.0) Copepoda (nauplius) 1,721 (15.0) <i>Oithona dissimilis</i> 1,316 (11.7) <i>Oikopleura</i> spp. 962 (8.3) Calanoida (copepodite) 785 (6.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,786 (35.5) <i>Oithona arvensis</i> 2,714 (25.5) <i>Oithona dissimilis</i> 2,090 (18.8) Copepoda (nauplius) 671 (6.3)	Copepoda (nauplius) 1,429 (44.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 503 (15.8) Gastropoda (larva) 218 (6.8) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 184 (5.8) <i>Oithona attenuata</i> 184 (5.8)	Copepoda (nauplius) 443 (46.2) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 131 (13.7) Gastropoda (larva) 82 (8.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 82 (8.6)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(6) 結果概要 (浮遊生物調査: E8: 工事中)

調査地点		E8				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	39	28	38	35	32
	細胞数 (細胞/L)	10,520	887,300	145,900	2,460	4,160
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Euglenophyceae 2,480 (23.6) <i>Proocentrum triestinum</i> 2,430 (23.1) Peridinales 2,280 (21.7) Gymnodiniales 700 (6.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 741,000 (83.5) <i>Peridinium quinquecorne</i> 110,000 (12.4)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 71,600 (49.1) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 9,600 (6.6) unidentified flagellates 9,200 (6.3) <i>Chaetoceros constrictum</i> 8,600 (5.9) <i>Cylindrotheca closterium</i> 8,600 (5.9)	Pennales 390 (15.9) <i>Nitzschia</i> spp. 350 (14.2) <i>Skeletonema costatum</i> sensu lato 280 (11.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 160 (6.5) <i>Cyclophora tenuis</i> 150 (6.1) unidentified flagellates 150 (6.1)	Euglenophyceae 1,280 (30.8) <i>Cylindrotheca closterium</i> 640 (15.4) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 300 (7.2) Haptophyceae 240 (5.8) Prasinophyceae 240 (5.8)
	出現種類数	13	18	26	11	11
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	958	5,768	3,442	705	1,286
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	Copepoda (nauplius) 494 (51.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 235 (24.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,960 (34.0) <i>Oithona aruensis</i> 1,457 (25.3) <i>Oithona dissimilis</i> 543 (9.4) Paracalanidae (copepodite) 430 (7.5) Copepoda (nauplius) 417 (7.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 966 (28.1) Copepoda (nauplius) 875 (25.4) <i>Oithona aruensis</i> 234 (6.8) Paracalanidae (copepodite) 211 (6.1) <i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 181 (5.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 172 (24.4) Copepoda (nauplius) 163 (23.1) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 109 (15.5) Cirripedia (nauplius) 90 (12.8) <i>Oithona oculata</i> 45 (6.4)	Copepoda (nauplius) 629 (48.9) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 245 (19.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 79 (6.1) <i>Oithona dissimilis</i> 70 (5.4)	

調査地点		E8			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種類数	46	31	37	49
	細胞数 (細胞/L)	8,080	12,470	4,510	5,100
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 1,580 (19.6) Gymnodiniales 1,150 (14.2) Peridinales 770 (9.5) Cryptophyceae 630 (7.8) <i>Heterocapsa</i> spp. 420 (5.2)	unidentified flagellates 3,920 (31.4) <i>Heterocapsa</i> spp. 3,360 (26.9) Gymnodiniales 3,110 (24.9) Peridinales 650 (5.2)	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,450 (32.2) unidentified flagellates 1,250 (27.7) Prasinophyceae 450 (10.0)	unidentified flagellates 850 (16.7) Cryptophyceae 550 (10.8) Euglenophyceae 400 (7.8) Gymnodiniales 300 (5.9) Prasinophyceae 300 (5.9)
	出現種類数	18	15	22	24
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	2,343	10,656	381	1,464
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 700 (29.9) Copepoda (nauplius) 536 (22.9) <i>Bestiolina similis</i> 193 (8.2) Gastropoda (larva) 171 (7.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 4,131 (38.8) <i>Oithona dissimilis</i> 2,361 (22.2) <i>Oithona simplex</i> 948 (8.6) Gastropoda (larva) 721 (6.8)	Copepoda (nauplius) 196 (51.4) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 29 (7.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 25 (6.6)	Copepoda (nauplius) 616 (42.1) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 128 (8.7) <i>Microsetella rosea</i> 112 (7.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 104 (7.1) <i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 88 (6.0)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(7) 結果概要 (浮遊生物調査 : E8 : 工事中)

調査地点		E8				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランクトン	出現種数	34	67	32	32	40
	細胞数 (細胞/L)	9,920	1,522,890	4,910	1,690	7,220
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> spp. 3,900 (39.3) unidentified flagellates 1,490 (15.0) Prasinophyceae 1,030 (10.4) <i>Prorocentrum triestinum</i> 880 (8.9) Peridinales 660 (6.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,373,550 (90.2) <i>Skeletonema costatum</i> sensu lato 81,600 (5.4)	<i>Heterocapsa</i> spp. 930 (18.9) Gymnodinales 810 (16.5) Peridinales 790 (16.1) unidentified flagellates 370 (7.5) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 260 (5.3)	<i>Heterocapsa</i> spp. 250 (14.8) <i>Gymnodinium</i> spp. 240 (14.2) Gymnodinales 210 (12.4) unidentified flagellates 200 (11.8) <i>Oxytoxum</i> spp. 120 (7.1) Peridinales 120 (7.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 2,400 (33.2) unidentified flagellates 1,200 (16.6) Euglenophyceae 560 (7.8) Prasinophyceae 500 (6.9) Cryptophyceae 400 (5.5)
	出現種数	11	14	18	20	19
	個体数 (個体/m)	3,940	1,238	3,800	4,157	1,512
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona dissimilis</i> 1,480 (37.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,220 (31.0) Copepoda (nauplius) 680 (17.3)	Copepoda (nauplius) 520 (42.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 413 (33.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,450 (38.2) Copepoda (nauplius) 830 (21.8) <i>Oithona arvensis</i> 260 (6.8) <i>Oithona simplex</i> 230 (6.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,581 (38.0) Copepoda (nauplius) 800 (19.2) <i>Oithona arvensis</i> 670 (16.1) <i>Oithona simplex</i> 316 (7.6)	<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 424 (28.0) Copepoda (nauplius) 328 (21.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 208 (13.8) Paracalanidae (copepodite) 136 (9.0)

調査地点		E8					
調査年度		令和5年度					
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
植物 プランクトン	出現種数	41	41	53	40	40	41
	細胞数 (細胞/L)	3,830	4,610	38,680	17,750	4,990	3,680
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Peridinales 550 (14.4) unidentified flagellates 450 (11.7) <i>Skeletonema costatum</i> sensu lato 360 (9.4) <i>Heterocapsa</i> spp. 280 (7.3) <i>Bleakeleya notata</i> 240 (6.3)	Peridinales 1,400 (30.4) <i>Protoperdinium</i> spp. 480 (10.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 480 (10.4) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 430 (9.3) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 280 (6.1)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 11,130 (28.8) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 10,600 (27.4) Diatomaceae 3,650 (9.4) Peridinales 5,000 (13.0) <i>Cylindrotheca closterium</i> 2,430 (6.3)	Gymnodinales 4,720 (26.6) Peridinales 4,450 (25.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 2,600 (14.6) Peridinales 1,260 (7.1) unidentified flagellates 1,050 (5.9)	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,450 (29.1) Peridinales 1,050 (21.0) Gymnodinales 320 (6.4)	<i>Heterocapsa</i> spp. 650 (17.7) <i>Bleakeleya notata</i> 440 (12.0) <i>Cylindrotheca closterium</i> 280 (7.6) Peridinales 270 (7.3) Diatomaceae 250 (6.8)
	出現種数	9	15	22	20	20	23
	個体数 (個体/m)	9,880	240	20,056	9,848	1,639	851
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 7,360 (74.5) Copepoda (nauplius) 1,260 (12.8) <i>Oithona dissimilis</i> 880 (8.9)	Copepoda (nauplius) 64 (26.7) Polychaeta (larva) 24 (10.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 24 (10.0) Paracalanidae (copepodite) 24 (10.0) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 15 (6.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 16 (6.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 7,920 (39.5) Copepoda (nauplius) 3,840 (19.1) <i>Oithona arvensis</i> 2,240 (11.2) <i>Oithona simplex</i> 1,840 (9.2) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,680 (8.4)	<i>Oithona dissimilis</i> 3,920 (39.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,040 (30.9) <i>Oithona arvensis</i> 664 (6.7) <i>Oikopleura</i> spp. 107 (6.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 553 (33.7) Copepoda (nauplius) 360 (22.0) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 213 (13.0) <i>Oithona simplex</i> 80 (9.4)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(8) 結果概要 (浮遊生物調査 : E8 : 工事中)

調査地点		E8				
調査年度		令和6年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種数	40	26	42	38	49
	細胞数 (細胞/L)	8,290	1,560	9,830	3,800	5,430
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,250 (15.1)	Peridinales 260 (16.7)	Peridinales 1,730 (17.6)	Gymnodinales 730 (19.2)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 490 (9.0)
	( ) 内は組成比%	Peridinales 1,170 (14.1)	unidentified flagellates 200 (12.8)	Gymnodinales 1,500 (15.3)	<i>Heterocapsa</i> spp. 570 (15.0)	Euglenophyceae 480 (8.8)
		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,110 (13.4)	Diatomaceae 180 (11.5)	Haptophyceae 1,030 (10.5)	Peridinales 530 (13.9)	Haptophyceae 400 (7.4)
		Gymnodinales 980 (11.8)	Pennales 130 (8.3)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 860 (8.7)	Cryptophyceae 270 (7.1)	<i>Cyclophora tenuis</i> 390 (7.2)
		<i>Protoperdinium</i> spp. 700 (8.4)	Cryptophyceae 100 (6.4)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 820 (8.3)	<i>Gymnodinium</i> spp. 270 (7.1)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 380 (7.0)
動物 プランク トン	出現種数	16	20	25	21	14
	個体数 (個体/m)	3,224	1,700	39,261	10,170	640
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona dissimilis</i> 1,125 (34.9)	Copepoda (nauplius) 633 (37.2)	Bivalvia (umbo larva) 18,585 (47.3)	<i>Oithona simplex</i> 2,300 (22.6)	Copepoda (nauplius) 481 (75.2)
	( ) 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,000 (31.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 450 (26.5)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 5,908 (15.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,600 (15.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 41 (6.4)
		Copepoda (nauplius) 458 (14.2)	<i>Oithona simplex</i> 100 (5.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 4,677 (11.9)	<i>Oithona arvensis</i> 1,300 (12.8)	
			<i>Oithona dissimilis</i> 92 (5.4)	<i>Oithona dissimilis</i> 4,185 (10.7)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 1,200 (11.8)	
					<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 950 (9.3)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(9) 結果概要 (浮遊生物調査：E12：工事前)

調査地点		E12			
調査年度		平成19年度			
調査時期		夏季	秋季	冬季	
項目					
植物 プランク トン	出現種類数	17	25	28	
	細胞数 (細胞/L)	5,770	5,470	5,890	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	unidentified flagellates		<i>Cylindrotheca closterium</i>	<i>Cylindrotheca closterium</i>
		1,120 (19.4)		1,200 (21.9)	1,200 (20.4)
		Gymnodinales		<i>Nitzschia</i> spp.	Prasinophyceae
		1,040 (18.0)		720 (13.2)	1,080 (18.3)
		<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type)		unidentified flagellates	Peridinales
		800 (13.9)		720 (13.2)	800 (13.6)
		Prasinophyceae		<i>Bleakuleya notata</i>	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.
		800 (13.9)		560 (10.2)	520 (8.8)
Haptophyceae		<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type)	unidentified flagellates		
640 (11.1)		320 (5.9)	360 (6.1)		
		Diatomaceae			
		320 (5.9)			
		<i>Navicula</i> spp.			
		320 (5.9)			
出現種類数	29	31	27		
個体数 (個体/m)	95,633	30,696	15,279		
動物 プランク トン	主な出現種の個体数 (個体/m) ( )内は組成比%	<i>Paracalanus crassirostris</i>	Copepoda (nauplius)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	
		27,873 (29.1)	6,748 (22.0)	3,840 (25.1)	
		<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Copepoda (nauplius)	
		20,511 (21.4)	6,639 (21.6)	3,456 (22.6)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona simplex</i>	
		14,726 (15.4)	5,878 (19.1)	3,072 (20.1)	
		<i>Oithona aruensis</i>	<i>Oikopleura</i> spp.	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	
		9,729 (10.2)	2,286 (7.4)	1,280 (8.4)	
<i>Oithona simplex</i>	<i>Oithona simplex</i>	<i>Oikopleura</i> spp.			
6,574 (6.9)	2,068 (6.7)	896 (5.9)			

調査地点		E12			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物 プランク トン	出現種類数	40	25	24	19
	細胞数 (細胞/L)	23,925	10,010	109,370	940
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	Prasinophyceae	Haptophyceae	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	unidentified flagellates
		5,500 (23.0)	2,000 (20.0)	80,400 (73.5)	160 (17.0)
		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	<i>Cylindrotheca closterium</i>
		3,600 (15.0)	1,920 (19.2)	9,600 (8.8)	120 (12.8)
		<i>Cylindrotheca closterium</i>	Gymnodinales	<i>Cylindrotheca closterium</i>	Prasinophyceae
		3,500 (14.6)	1,440 (14.4)	8,320 (7.6)	120 (12.8)
		Euglenophyceae	Peridinales		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)
		1,400 (5.9)	1,200 (12.0)		80 (8.5)
	Prasinophyceae		Gymnodinales		
	1,040 (10.4)		80 (8.5)		
			<i>Rhizosolenia fragilissima</i>		
			80 (8.5)		
出現種類数	23	27	33	31	
個体数 (個体/m)	13,594	30,382	19,950	6,626	
動物 プランク トン	主な出現種の個体数 (個体/m) ( )内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona simplex</i>	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Copepoda (nauplius)
		7,846 (57.7)	9,191 (30.3)	4,306 (21.6)	1,772 (26.7)
		<i>Oithona dissimilis</i>	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Copepoda (nauplius)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)
		2,308 (17.0)	3,356 (11.0)	3,333 (16.7)	886 (13.4)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	<i>Bestiolina similis</i>	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Paracalanus crassirostris</i>
		769 (5.7)	2,188 (7.2)	2,500 (12.5)	591 (8.9)
		<i>Oithona simplex</i>	Copepoda (nauplius)	Gastropoda (larva)	<i>Oithona aruensis</i>
		769 (5.7)	2,043 (6.7)	2,361 (11.8)	472 (7.1)
	<i>Paracalanus crassirostris</i>	<i>Oithona simplex</i>	Gastropoda (larva)		
	2,043 (6.7)	1,806 (9.1)	413 (6.2)		
			<i>Oithona</i> spp. (copepodite)		
			413 (6.2)		

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m～表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(10) 結果概要 (浮遊生物調査: E12: 工事前)

調査地点		E12			
調査年度		平成21年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	22	32	35	57
	細胞数 (細胞/L)	32,380	9,640	5,130	4,640
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 19,040 (58.8) Haptophyceae 4,240 (13.1) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 2,480 (7.7) Gymnodiniales 2,320 (7.2) <i>Cylindrotheca closterium</i> 1,680 (5.2)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 5,950 (61.7) unidentified flagellates 1,100 (11.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 520 (5.4)	unidentified flagellates 1,300 (25.3) Haptophyceae 570 (11.1) Prasinophyceae 550 (10.7) Peridinales 540 (10.5) Cryptophyceae 350 (6.8)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 840 (18.1) <i>Cyclophora tenuis</i> 360 (7.8) <i>Bacteriastrium</i> spp. 250 (5.4) Pennales 250 (5.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 240 (5.2)
	( ) 内は組成比%				
	出現種類数	24	30	42	32
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	24,135	55,390	15,751	4,565
動物プランクトン	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	Copepoda (nauplius) 7,164 (29.7) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 6,269 (26.0) <i>Oithona simplex</i> 3,134 (13.0) <i>Oikopleura longicauda</i> 1,940 (8.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,791 (7.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 11,872 (21.4) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 10,046 (18.1) Copepoda (nauplius) 5,023 (9.1) <i>Paracalanus crassirostris</i> 5,023 (9.1) <i>Oithona simplex</i> 4,338 (7.8)	<i>Paracalanus crassirostris</i> 3,059 (19.4) Copepoda (nauplius) 2,600 (16.5) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,294 (14.6) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 1,530 (9.7) <i>Oithona aruensis</i> 1,071 (6.8)	Copepoda (nauplius) 1,157 (25.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 801 (17.5) <i>Oithona simplex</i> 534 (11.7) <i>Oikopleura longicauda</i> 267 (5.8)
( ) 内は組成比%					

調査地点		E12			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	36	44	42	47
	細胞数 (細胞/L)	227,630	627,210	37,440	10,970
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 116,000 (51.0) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 44,800 (19.7) <i>Thalassiosira</i> spp. 36,800 (16.2) Peridinales 12,260 (5.4)	<i>Bacteriastrium</i> spp. 554,400 (88.4)	unidentified flagellates 18,880 (50.4) <i>Heterocapsa</i> spp. 6,720 (17.9) Haptophyceae 2,960 (7.9) <i>Nitzschia</i> spp. 2,320 (6.2)	unidentified flagellates 3,920 (35.7) Prasinophyceae 1,360 (12.4) Cryptophyceae 1,320 (12.0) Gymnodiniales 1,240 (11.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 840 (7.7)
	( ) 内は組成比%				
	出現種類数	20	19	28	30
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	13,094	72,643	15,707	21,346
動物プランクトン	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,039 (38.5) <i>Oithona simplex</i> 2,730 (20.8) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 1,470 (11.2) <i>Oithona dissimilis</i> 840 (6.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 28,246 (38.9) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 15,490 (21.3) <i>Oithona aruensis</i> 10,023 (13.8) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 6,378 (8.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,768 (24.0) <i>Oithona aruensis</i> 3,478 (22.1) <i>Paracalanus crassirostris</i> 2,899 (18.5) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 870 (5.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 8,589 (40.2) <i>Oithona simplex</i> 2,442 (11.4) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 1,600 (7.5) <i>Oithona dissimilis</i> 1,263 (5.9) Copepoda (nauplius) 1,179 (5.5)
( ) 内は組成比%					

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(11) 結果概要 (浮遊生物調査: E12: 工事前)

調査地点		E12			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	42	44	29	60
	細胞数 (細胞/L)	10,790	16,760	8,380	19,210
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 3,920 (36.3) Haptophyceae 2,160 (20.0) Gymnodiniales 1,280 (11.9) Cryptophyceae 1,040 (9.6)	unidentified flagellates 8,000 (47.7) Gymnodiniales 1,840 (11.0) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,680 (10.0) Prasinophyceae 1,280 (7.6)	unidentified flagellates 2,800 (33.4) Haptophyceae 2,400 (28.6) Prasinophyceae 720 (8.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 560 (6.7)	Haptophyceae 13,280 (69.1) unidentified flagellates 1,680 (8.7)
	( ) 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	26	38	42	60
	個体数 (個体/m)	41,464	28,334	33,660	31,020
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 14,851 (35.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 6,931 (16.7) Copepoda (nauplius) 4,158 (10.0) <i>Oikopleura</i> spp. 2,970 (7.2)	<i>Paracalanus crassirostris</i> 7,595 (26.8) <i>Oithona aruensis</i> 5,571 (19.7) <i>Oithona simplex</i> 4,810 (17.0) <i>Oithona dissimilis</i> 4,333 (15.3) Copepoda (nauplius) 1,452 (5.1)	<i>Oithona simplex</i> 8,475 (25.2) <i>Oithona aruensis</i> 7,050 (20.9) <i>Bestiolina similis</i> 5,025 (14.9) <i>Paracalanus crassirostris</i> 4,050 (12.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,025 (6.0)	<i>Oithona simplex</i> 8,777 (28.3) Paracalanidae (copepodite) 6,034 (19.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,623 (18.1) Copepoda (nauplius) 3,223 (10.4) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,714 (5.5)
	( ) 内は組成比%				

調査地点		E12			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	32	50	56	69
	細胞数 (細胞/L)	13,970	17,100	22,570	47,270
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> spp. 5,440 (38.9) Cryptophyceae 4,000 (28.6) Prasinophyceae 1,280 (9.2) unidentified flagellates 720 (5.2)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 3,520 (20.6) unidentified flagellates 3,520 (20.6) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 1,900 (11.1) Cryptophyceae 1,600 (9.4) <i>Nitzschia</i> spp. 1,190 (7.0)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 6,800 (30.1) <i>Nitzschia</i> spp. 2,960 (13.1) <i>Cylindrotheca closterium</i> 2,420 (10.7) <i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 2,420 (10.7)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 8,000 (16.9) <i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 7,520 (15.9) <i>Skeletonema</i> spp. 5,820 (12.3) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 4,360 (9.2) <i>Chaetoceros curvisetum</i> 2,690 (5.7)
	( ) 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	35	27	49	33
	個体数 (個体/m)	3,558	19,125	5,844	8,981
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 1,037 (29.1) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 665 (18.7) <i>Oithona dissimilis</i> 597 (16.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 349 (9.8) <i>Oithona simplex</i> 208 (5.8)	<i>Fritillaria</i> spp. 4,900 (25.6) Paracalanidae (copepodite) 3,550 (18.6) <i>Oithona simplex</i> 3,500 (18.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,850 (9.7) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,725 (9.0)	Copepoda (nauplius) 1,067 (18.3) <i>Oithona simplex</i> 982 (16.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 970 (16.6) Paracalanidae (copepodite) 764 (13.1) <i>Oithona aruensis</i> 479 (8.2)	Copepoda (nauplius) 2,028 (22.6) <i>Oithona simplex</i> 2,028 (22.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,614 (18.0) Paracalanidae (copepodite) 1,117 (12.4) <i>Oikopleura</i> spp. 538 (6.0)
	( ) 内は組成比%				

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(12) 結果概要 (浮遊生物調査: E12: 工事前)

調査地点		E12				
調査年度		平成25年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物 プランク トン	出現種類数	72	35	44	36	
	細胞数 (細胞/L)	24,340	19,460	22,000	19,770	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.		unidentified flagellates	unidentified flagellates	unidentified flagellates
		Cryptophyceae	3,680 (15.1)	12,240 (62.9)	6,080 (27.6)	6,080 (30.8)
		unidentified flagellates	1,920 (7.9)	Cryptophyceae	5,520 (25.1)	Cryptophyceae
		<i>Nitzschia</i> spp.	1,840 (7.6)	3,600 (18.5)	Cryptophyceae	Prasinophyceae
		<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	1,520 (6.2)		Haptophyceae	Euglenophyceae
		1,360 (5.6)		1,680 (7.6)	2,160 (10.9)	
				<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	<i>Heterocapsa</i> spp.	
				1,350 (6.1)	1,560 (7.9)	
動物 プランク トン	出現種類数	38	53	41	36	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	21,063	39,319	6,394	9,544	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	Copepoda (nauplius)	6,188 (29.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Copepoda (nauplius)	Copepoda (nauplius)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	4,238 (20.1)	6,556 (16.7)	1,047 (16.4)	4,770 (50.0)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	3,038 (14.4)	<i>Paracalanus crassirostris</i>	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)
		<i>Oithona simplex</i>	2,288 (10.9)	6,556 (16.7)	844 (13.2)	2,074 (21.7)
				Paracalanidae (copepodite)	<i>Oithona simplex</i>	Gastropoda (larva)
			4,683 (11.9)	756 (11.8)	681 (7.1)	
			<i>Oithona simplex</i>	Paracalanidae (copepodite)		
			3,746 (9.5)	698 (10.9)		
		Copepoda (nauplius)	<i>Oithona aruensis</i>			
		3,434 (8.7)	640 (10.0)			

調査地点		E12	
調査年度		平成26年度	
調査時期		春季	
項目			
植物 プランク トン	出現種類数	31	
	細胞数 (細胞/L)	23,220	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	unidentified flagellates	16,080 (69.3)
		Prasinophyceae	2,720 (11.7)
		Cryptophyceae	1,520 (6.5)
動物 プランク トン	出現種類数	28	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	64,892	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Oithona simplex</i>	42,741 (65.9)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	8,593 (13.2)
		<i>Paracalanus crassirostris</i>	5,037 (7.8)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(13) 結果概要 (浮遊生物調査: E12: 工事中)

調査地点		E12	
調査年度		平成29年度	
調査時期		秋季	冬季
項目			
植物プランクトン	出現種数	53	46
	細胞数 (細胞/l)	4,230	2,380
	主な出現種の細胞数 (細胞/l)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 650 (15.4) unidentified flagellates 620 (14.7)	Euglenophyceae 320 (13.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 210 (13.0)
	( ) 内は組成比%	Gymnodinales 480 (11.3) Peridinales 240 (5.7)	Gymnodinales 130 (5.5) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. 130 (5.5) <i>Heterocapsa</i> sp. 120 (5.0)
	出現種数	23	23
動物プランクトン	個体数 (個体/m)	8,836	1,723
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona simplex</i> 4,848 (54.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,391 (18.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 308 (5.7) Copepoda (nauplius) 455 (5.1)	Copepoda (nauplius) 800 (46.4) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 189 (11.0) <i>Oithona dissimilis</i> 156 (9.1) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 142 (8.2) <i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 95 (5.5)

調査地点		E12					
調査年度		平成30年度					
調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
項目							
植物プランクトン	出現種数	39	25	53	39	38	34
	細胞数 (細胞/l)	2,360	910	6,940	3,430	5,520	1,250
	主な出現種の細胞数 (細胞/l)	Gymnodinales 380 (16.1) Peridinales 280 (11.9) Euglenophyceae 270 (11.4) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 140 (5.9) <i>Nitzschia</i> spp. 140 (5.9)	Gymnodinales 150 (16.5) <i>Gyrodinium</i> spp. 80 (8.8) <i>Amphidinium</i> spp. 70 (7.7) Peridinales 60 (6.6) <i>Gymnodinium</i> spp. 60 (6.6) <i>Oxytorax</i> spp. 60 (6.6) unidentified flagellates 60 (6.6)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 3,660 (52.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,971 (20.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,343 (16.2) Copepoda (nauplius) 1,913 (13.5) <i>Oithona simplex</i> 1,371 (9.5) <i>Oithona arvensis</i> 867 (6.7)	Gymnodinales 940 (19.2) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 490 (14.3) unidentified flagellates 370 (10.8) <i>Cylindrotheca closterium</i> 250 (7.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 240 (7.0)	Peridinales 940 (17.0) <i>Heterocapsa</i> spp. 860 (15.6) unidentified flagellates 500 (9.1) Euglenophyceae 490 (8.9) unidentified flagellates 370 (6.7)	<i>Bacteriastrium</i> spp. 230 (18.4) <i>Leptocylindrus danicus</i> 100 (8.0) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 100 (8.0) <i>Nitzschia</i> spp. 70 (5.6)
	( ) 内は組成比%						
	出現種数	20	27	30	24	21	19
個体数 (個体/m)	5,486	13,025	14,434	6,222	6,855	1,832	
動物プランクトン	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona dissimilis</i> 2,358 (43.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,397 (25.5) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 961 (17.5) Copepoda (nauplius) 367 (6.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,467 (26.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,467 (18.9) <i>Oithona arvensis</i> 1,267 (9.7) Copepoda (nauplius) 1,200 (9.2) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 867 (6.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,971 (20.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,343 (16.2) Copepoda (nauplius) 1,913 (13.5) <i>Oithona simplex</i> 1,371 (9.5) <i>Oithona arvensis</i> 867 (6.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,932 (31.1) <i>Oithona simplex</i> 785 (12.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 684 (11.0) <i>Oikopleura</i> spp. 601 (9.7) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 394 (6.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,266 (38.7) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,968 (18.2) Copepoda (nauplius) 588 (10.0) <i>Oithona simplex</i> 479 (8.2) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 344 (5.9)	Copepoda (nauplius) 884 (48.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 252 (13.8) <i>Oithona simplex</i> 225 (12.3)

調査地点		E12				
調査年度		令和元年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目						
植物プランクトン	出現種数	42	35	30	36	44
	細胞数 (細胞/l)	10,590	70,850	2,380	2,310	2,940
	主な出現種の細胞数 (細胞/l)	Euglenophyceae 8,950 (84.7) Peridinales 900 (8.5) <i>Prorocentrum triestinum</i> 710 (6.7) Gymnodinales 610 (5.8)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 56,500 (79.7)	Peridinales 330 (13.9) Gymnodinales 330 (13.9) Euglenophyceae 320 (13.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 250 (10.5) <i>Protopteridinium</i> spp. 170 (7.1)	Gymnodinales 460 (19.9) Peridinales 300 (13.0) unidentified flagellates 220 (9.5) <i>Diatoma</i> sp. 200 (8.7) <i>Prorocentrum triestinum</i> 140 (6.1)	Euglenophyceae 590 (20.1) Gymnodinales 400 (13.6) Peridinales 330 (11.2)
	( ) 内は組成比%					
	出現種数	15	23	25	25	19
個体数 (個体/m)	428	19,823	7,903	5,208	7,008	
動物プランクトン	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 130 (30.2) Gastropoda (larva) 86 (20.1) Copepoda (nauplius) 68 (15.9) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 38 (8.9) <i>Oithona simplex</i> 27 (6.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 7,573 (38.2) 4,111 (20.7) <i>Oithona dissimilis</i> 1,824 (9.2) Copepoda (nauplius) 1,731 (8.7) Bivalvia (umbo larva) 1,298 (6.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,469 (43.9) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,088 (13.8) <i>Oithona simplex</i> 850 (10.8) Copepoda (nauplius) 541 (6.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,464 (28.1) <i>Oithona arvensis</i> 967 (18.6) <i>Oithona simplex</i> 758 (14.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 519 (10.5) Copepoda (nauplius) 314 (6.0)	Copepoda (nauplius) 2,331 (33.3) <i>Oithona simplex</i> 1,759 (25.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,677 (23.9)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(14) 結果概要 (浮遊生物調査: E12: 工事中)

調査地点		E12					
調査年度		令和2年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
植物 プランク トン	出現種類数	39	27	33	45	47	
	細胞数 (細胞/L)	5,710	576,500	38,600	3,600	16,130	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	Euglenophyceae	820 (14.4)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	unidentified flagellates	<i>Aulacoseira</i> spp.	<i>Peridinium quinquecorne</i>
		Peridinales	770 (13.5)	536,000 (93.0)	8,300 (21.5)	390 (10.8)	10,480 (65.0)
		Gymnodinales	730 (12.8)		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	Gymnodinales	<i>Cylindrotheca closterium</i>
		<i>Heterocapsa</i> sp.	730 (12.8)		5,500 (14.2)	320 (8.9)	990 (6.1)
		Cryptophyceae	370 (6.5)		<i>Chaetoceros constrictum</i>	Peridinales	
				5,000 (13.0)	300 (8.3)		
				<i>Cylindrotheca closterium</i>	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)		
				3,400 (8.8)	260 (7.2)		
			<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	unidentified flagellates			
			2,600 (6.7)	240 (6.7)			
動物 プランク トン	出現種類数	22	22	24	15	22	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	20,265	9,666	10,658	4,189	476	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	7,544 (37.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona simplex</i>	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)
		<i>Oithona arvensis</i>	6,916 (34.1)	4,109 (42.5)	1,777 (16.7)	1,003 (23.9)	124 (26.1)
		Copepoda (nauplius)	2,515 (12.4)	<i>Oithona arvensis</i>	Copepoda (nauplius)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	Gastropoda (larva)
				3,046 (31.5)	1,700 (16.0)	498 (11.9)	109 (22.9)
				<i>Oithona simplex</i>	<i>Oithona simplex</i>	Copepoda (nauplius)	Copepoda (nauplius)
			534 (5.5)	1,623 (15.2)	482 (11.5)	39 (8.2)	
				<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oikopleura</i> spp.	<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	
				1,391 (13.1)	377 (9.0)	36 (7.6)	
			<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Paracalanidae</i> (copepodite)	<i>Oncaea media</i>		
			1,198 (11.2)	361 (8.6)	30 (6.3)		

調査地点		E12				
調査年度		令和3年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
植物 プランク トン	出現種類数	16	37	30	54	
	細胞数 (細胞/L)	7,980	14,010	15,670	7,500	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	unidentified flagellates	7,300 (91.5)	<i>Heterocapsa</i> spp.	<i>Heterocapsa</i> spp.	unidentified flagellates
				3,200 (22.8)	4,400 (28.1)	1,150 (15.3)
				Prasinophyceae	unidentified flagellates	Gymnodinales
				2,960 (21.1)	3,200 (20.4)	900 (12.0)
				unidentified flagellates	Gymnodinales	Prasinophyceae
			2,800 (20.0)	2,800 (17.9)	800 (10.7)	
			Cryptophyceae	Prasinophyceae	<i>Heterocapsa</i> spp.	
			1,240 (8.9)	1,850 (11.8)	650 (8.7)	
		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	Cryptophyceae	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.		
		950 (6.8)	1,350 (8.6)	490 (6.5)		
				Euglenophyceae		
				490 (6.5)		
動物 プランク トン	出現種類数	22	28	31	22	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	6,730	33,308	4,536	473	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	1,833 (27.2)	<i>Oithona simplex</i>	Copepoda (nauplius)	Copepoda (nauplius)
		Copepoda (nauplius)	1,350 (20.1)	9,376 (28.1)	1,204 (26.5)	101 (21.4)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	804 (11.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Bestiolina similis</i>	<i>Acartia</i> spp. (copepodite)
		<i>Oithona simplex</i>	821 (9.2)	8,637 (25.9)	602 (13.3)	77 (16.3)
		<i>Bestiolina similis</i>	601 (8.9)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)
			3,741 (11.2)	497 (11.0)	56 (11.8)	
			Copepoda (nauplius)	<i>Oithona simplex</i>	<i>Oncaea media</i>	
			2,679 (8.0)	455 (10.0)	35 (7.4)	
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite)			
		2,587 (7.8)	429 (9.5)			

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(15) 結果概要 (浮遊生物調査: E12: 工事中)

調査地点		E12				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランクトン	出現種数	47	65	37	28	35
	細胞数 (細胞/L)	11,650	867,630	16,930	2,330	7,830
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Prasinophyceae 3,090 (26.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 2,400 (20.6) unidentified flagellates 1,860 (16.0) Cryptophyceae 1,490 (12.8)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 772,550 (89.0)	Haptophyceae 8,800 (52.0) Peridinales 2,730 (16.1) Gymnodinales 1,300 (7.7) unidentified flagellates 1,070 (6.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 970 (5.7)	Gymnodinales 510 (21.9) <i>Skeletonema costatum</i> sensu lato 360 (15.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 200 (8.6) Peridinales 190 (8.2) <i>Gymnodinium</i> spp. 150 (6.4) unidentified flagellates 150 (6.4)	Euglenophyceae 2,200 (28.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,550 (19.8) unidentified flagellates 1,100 (14.0) Peridinales 600 (7.7)
	出現種数	15	24	26	17	28
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	4,008	38,600	10,312	6,471	1,787
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	Copepoda (nauplius) 1,080 (26.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 896 (22.4) <i>Oithona dissimilis</i> 576 (14.4) <i>Oithona simplex</i> 528 (13.2) <i>Oikopleura</i> spp. 288 (7.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 9,467 (24.5) Copepoda (nauplius) 8,133 (21.1) <i>Oithona simplex</i> 4,933 (12.8) <i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 3,200 (8.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,113 (49.6) <i>Oithona simplex</i> 1,600 (15.5) <i>Paracalanus crassirostris</i> 1,461 (14.2) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 765 (7.4) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 661 (6.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,831 (43.7) <i>Oithona simplex</i> 2,338 (36.1) Copepoda (nauplius) 418 (6.5)	Copepoda (nauplius) 452 (25.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 421 (23.6) <i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite) 122 (6.8)	

調査地点		E12					
調査年度		令和5年度					
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
植物 プランクトン	出現種数	42	48	49	32	27	40
	細胞数 (細胞/L)	7,600	90,460	73,260	10,210	3,890	6,150
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,750 (23.0) Peridinales 870 (11.4) Prasinophyceae 800 (10.5) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 690 (9.1) unidentified flagellates 650 (8.6)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 50,000 (55.3) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 22,400 (24.8) <i>Skeletonema</i> sp. 7,900 (8.7)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 34,200 (46.7) Diatomeae 11,300 (15.4) Gymnodinales 8,900 (12.1) Peridinales 6,600 (9.0)	Cryptophyceae 2,350 (23.0) Gymnodinales 1,780 (17.4) Peridinales 1,150 (11.3) Prasinophyceae 900 (8.8) unidentified flagellates 850 (8.3)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 1,010 (26.0) Gymnodinales 590 (15.2) Gymnodinales 550 (11.1) <i>Gymnodinium</i> spp. 350 (9.0) Cryptophyceae 300 (7.7)	Peridinales 950 (15.4) Haptophyceae 900 (14.6) Gymnodinales 750 (12.2) <i>Heterocapsa</i> spp. 550 (8.9) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 480 (7.8)
	出現種数	15	16	20	26	30	21
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	2,060	13,342	6,871	24,313	9,778	1,188
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	Copepoda (nauplius) 617 (30.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 600 (29.1) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 317 (15.4) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 113 (5.5) <i>Bivalvia</i> (umbo larva) 107 (5.2)	<i>Oithona dissimilis</i> 3,022 (22.7) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 2,356 (17.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,311 (17.3) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,511 (11.3) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 1,022 (7.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,533 (36.9) <i>Oithona arvensis</i> 658 (9.6) <i>Oithona simplex</i> 813 (8.9) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 578 (8.4) <i>Paracalanus crassirostris</i> 409 (6.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 9,448 (38.9) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 3,962 (16.3) <i>Paracalanus crassirostris</i> 2,438 (10.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,133 (8.8) Copepoda (nauplius) 1,752 (7.2)	<i>Oithona arvensis</i> 2,836 (29.0) <i>Oithona simplex</i> 2,218 (22.7) Copepoda (nauplius) 1,164 (11.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,018 (10.4) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 655 (6.7)	<i>Oithona simplex</i> 382 (32.2) Copepoda (nauplius) 369 (31.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 160 (13.5)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(16) 結果概要 (浮遊生物調査 : E12 : 工事中)

調査地点		E12				
調査年度		令和6年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種類数	44	29	48	35	46
	細胞数 (細胞/L)	35,210	6,600	14,300	8,420	16,880
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 25,000 (71.0)	Gymnodiniales 1,500 (22.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,170 (17.7) Peridinales 1,030 (15.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 830 (12.6) <i>Gymnodinium</i> spp. 530 (8.0)	Gymnodiniales 3,230 (22.6) Peridinales 2,330 (16.3) <i>Cylindrotheca closterium</i> 1,620 (11.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,270 (8.9)	Peridinales 2,270 (27.0) Prasinophyceae 1,170 (13.9) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,130 (13.4) <i>Gymnodinium</i> spp. 930 (11.0) unidentified flagellates 670 (8.0)	Haptophyceae 2,800 (16.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 2,550 (15.1) Euglenophyceae 2,470 (14.6) Prasinophyceae 2,300 (13.6) Gymnodiniales 1,110 (6.6)
	出現種類数	12	24	34	27	32
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	2,262	8,122	15,448	1,664	2,072
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 873 (38.6) <i>Oithona dissimilis</i> 673 (29.8) Copepoda (nauplius) 364 (16.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,974 (36.6) <i>Oithona simplex</i> 1,744 (21.5) <i>Oithona aruensis</i> 821 (10.1) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 513 (6.3) Copepoda (nauplius) 513 (6.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,200 (20.7) <i>Oithona simplex</i> 2,836 (18.4) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,891 (12.2) Copepoda (nauplius) 1,418 (9.2) Bivalvia (umbo larva) 1,273 (8.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 473 (28.4) Copepoda (nauplius) 276 (16.6) <i>Oithona simplex</i> 240 (14.4) <i>Oikopleura</i> spp. 105 (6.3) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 102 (6.1)	Copepoda (nauplius) 440 (21.2) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 368 (17.8) <i>Oithona simplex</i> 216 (10.4) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 204 (9.8) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 152 (7.3)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(17) 結果概要 (浮遊生物調査: E25: 工事前)

調査地点		E25			
調査年度		平成19年度			
調査時期		夏季	秋季	冬季	
項目					
植物プランクトン	出現種類数	18	22	19	
	細胞数 (細胞/L)	6,030	2,120	2,220	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type)	3,200 (53.1)	<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type)	480 (21.6)
		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	800 (13.3)	Diatomaceae	400 (18.0)
		<i>Cylindrotheca closterium</i>	360 (6.0)	<i>Navicula</i> spp.	320 (14.4)
		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	360 (6.0)	<i>Licmophora</i> spp.	160 (7.2)
		Haptophyceae	320 (5.3)	<i>Cylindrotheca closterium</i>	120 (5.7)
			160 (7.2)		
動物プランクトン	出現種類数	27	33	21	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	17,668	5,544	324	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	4,551 (25.8)	Copepoda (nauplius)	45 (13.9)
		Copepoda (nauplius)	3,626 (20.5)	Gastropoda (larva)	27 (8.3)
		<i>Oithona aruensis</i>	1,697 (9.6)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	27 (8.3)
		<i>Oithona simplex</i>	1,697 (9.6)	<i>Oithona simplex</i>	812 (14.6)
		<i>Paracalanus crassirostris</i>	1,620 (9.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	609 (11.0)
			27 (8.3)		
			27 (8.3)		

調査地点		E25						
調査年度		平成20年度						
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季			
項目								
植物プランクトン	出現種類数	26	24	22	24			
	細胞数 (細胞/L)	7,000	10,560	8,080	4,410			
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	<i>Navicula</i> spp.	1,750 (25.0)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	2,320 (28.7)	<i>Cylindrotheca closterium</i>	680 (15.4)	
		Gymnodiniales	1,000 (14.3)	7,200 (68.2)	<i>Cylindrotheca closterium</i>	960 (11.9)	unidentified flagellates	680 (15.4)
		Euglenophyceae	850 (12.1)		unidentified flagellates	880 (10.9)	Prasinophyceae	480 (10.9)
		Prasinophyceae	700 (10.0)		<i>Amphora</i> spp.	720 (8.9)	<i>Amphora</i> spp.	360 (8.2)
		unidentified flagellates	550 (7.9)		Peridinales	560 (6.9)	<i>Cocconeis</i> spp.	320 (7.3)
動物プランクトン	出現種類数	25	24	26	25			
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	3,218	2,600	3,229	2,422			
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	Copepoda (nauplius)	1,382 (42.9)	Copepoda (nauplius)	563 (21.7)	Copepoda (nauplius)	534 (22.0)	
		Gastropoda (larva)	654 (20.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	282 (10.8)	Gastropoda (larva)	305 (12.6)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	429 (13.3)	<i>Centropages</i> spp. (copepodite)	235 (9.0)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	305 (12.6)	
				Gastropoda (larva)	235 (9.0)	Cirripedia (nauplius)	229 (9.5)	
				<i>Oithona simplex</i>	235 (9.0)	<i>Delius nudus</i>	153 (6.3)	
				<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)	153 (6.3)			

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(18) 結果概要 (浮遊生物調査: E25: 工事前)

調査地点		E25				
調査年度		平成21年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
項目						
植物プランクトン	出現種類数	20	42	41	34	
	細胞数 (細胞/L)	9,360	8,150	3,590	1,970	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	unidentified flagellates		Peridinales	Pennales	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.
		2,480 (26.5)	890 (10.9)	540 (15.0)	360 (18.3)	
		<i>Achnanthes</i> spp.	<i>Cylindrotheca closterium</i>	unidentified flagellates	<i>Cylindrotheca closterium</i>	
		2,160 (23.1)	770 (9.4)	520 (14.5)	340 (17.3)	
Haptophyceae		<i>Nitzschia</i> spp.	Peridinales	<i>Leptocylindrus danicus</i>		
1,440 (15.4)	750 (9.2)	340 (9.5)	280 (14.2)			
Prasinophyceae	Gymnodinales	<i>Cylindrotheca closterium</i>	<i>Chaetoceros compressum</i>			
720 (7.7)	730 (9.0)	270 (7.5)	130 (6.6)			
Peridinales	unidentified flagellates	Gymnodinales				
640 (6.8)	700 (8.6)	230 (6.4)				
動物プランクトン	出現種類数	29	23	16	19	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	4,150	5,066	1,909	859	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	Copepoda (nauplius)	Copepoda (nauplius)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	
		1,854 (44.7)	1,515 (29.9)	387 (20.3)	255 (29.7)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Paracalanidae (copepodite)	<i>Oithona simplex</i>	Copepoda (nauplius)	
		390 (9.4)	707 (14.0)	363 (19.0)	240 (27.9)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	Cirripedia (nauplius)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)		
	606 (12.0)	242 (12.7)	96 (11.2)			
	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	Paracalanidae (copepodite)	Paracalanidae (copepodite)			
	505 (10.0)	242 (12.7)	64 (7.5)			
	<i>Oithona simplex</i>	Copepoda (nauplius)				
	404 (8.0)	145 (7.6)				
		<i>Oithona attenuata</i>				
		145 (7.6)				
		<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)				
		145 (7.6)				

調査地点		E25			
調査年度		平成22年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	42	43	36	45
	細胞数 (細胞/L)	34,380	169,500	19,870	6,480
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	<i>Thalassiosira</i> spp.	unidentified flagellates	<i>Heterocapsa</i> spp.	Prasinophyceae
		11,800 (34.3)	60,800 (35.9)	4,960 (25.0)	1,320 (20.4)
		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	<i>Bacteriastrium</i> spp.	unidentified flagellates	unidentified flagellates
		9,840 (28.6)	52,800 (31.2)	4,800 (24.2)	1,280 (19.8)
unidentified flagellates		<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	Prasinophyceae	Haptophyceae	
7,200 (20.9)	11,200 (6.6)	4,000 (20.1)	1,120 (17.3)		
Gymnodinales	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	Haptophyceae			
2,280 (6.6)	11,200 (6.6)	2,000 (10.1)			
		Cryptophyceae			
		1,840 (9.3)			
動物プランクトン	出現種類数	34	22	25	25
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	2,818	2,843	3,899	8,036
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	Copepoda (nauplius)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)
		432 (15.3)	658 (23.1)	812 (20.8)	2,709 (33.7)
		Gastropoda (larva)	<i>Oithona aruensis</i>	Gastropoda (larva)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)
		432 (15.3)	548 (19.3)	696 (17.9)	903 (11.2)
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)		Copepoda (nauplius)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	Copepoda (nauplius)	
432 (15.3)	438 (15.4)	464 (11.9)	813 (10.1)		
<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona simplex</i>	Copepoda (nauplius)	<i>Oithona simplex</i>		
247 (8.8)	274 (9.6)	464 (11.9)	542 (6.7)		
<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	<i>Oithona simplex</i>	Paracalanidae (copepodite)		
185 (6.6)	274 (9.6)	348 (8.9)	542 (6.7)		

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(19) 結果概要 (浮遊生物調査: E25: 工事前)

調査地点		E25			
調査年度		平成23年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	28	33	40	54
	細胞数 (細胞/L)	4,340	10,260	4,540	15,950
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 1,920 (44.2) Cryptophyceae 560 (12.9) <i>Navicula</i> spp. 530 (12.2) Prasinophyceae 480 (11.1)	unidentified flagellates 3,840 (37.4) Prasinophyceae 1,600 (15.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,270 (12.4) <i>Scrippsiella</i> spp. 670 (6.5) Cryptophyceae 560 (5.5)	unidentified flagellates 1,760 (38.8) <i>Cylindrotheca closterium</i> 400 (8.8) <i>Nitzschia</i> spp. 350 (7.7) <i>Bleakeleya notata</i> 260 (5.7)	Haptophyceae 9,790 (61.4) unidentified flagellates 1,360 (8.5) Prasinophyceae 880 (5.5)
	( ) 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	19	30	39	45
	個体数 (個体/m)	4,872	18,392	9,265	22,504
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,492 (30.6) Gastropoda (larva) 932 (19.1) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 932 (19.1) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 373 (7.7)	<i>Aerocalanus longicornis</i> 6,300 (34.3) <i>Oithona dissimilis</i> 3,431 (18.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,513 (13.7) <i>Oithona simplex</i> 1,463 (8.0) Brachyura (zoea) 1,031 (5.6)	<i>Bestiolina similis</i> 2,520 (27.2) <i>Oithona simplex</i> 1,560 (16.8) Copepoda (nauplius) 1,000 (10.8) <i>Oithona aruensis</i> 880 (9.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 840 (9.1)	<i>Delius nudus</i> 3,833 (17.0) Copepoda (nauplius) 3,750 (16.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,167 (14.1) Calanoida (copepodite) 2,000 (8.9) <i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 1,583 (7.0) <i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite) 1,583 (7.0) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 1,583 (7.0)
	( ) 内は組成比%				

調査地点		E25			
調査年度		平成24年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物プランクトン	出現種類数	30	44	46	45
	細胞数 (細胞/L)	4,520	12,690	12,410	17,010
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Peridiniales 1,020 (22.6) Cryptophyceae 800 (17.7) <i>Scrippsiella</i> spp. 510 (11.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 450 (10.0) <i>Prorocentrum minimum</i> 300 (6.6)	unidentified flagellates 6,320 (49.8) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,600 (12.6) <i>Nitzschia</i> spp. 630 (5.0)	unidentified flagellates 3,280 (26.4) Prasinophyceae 2,560 (20.6) Cryptophyceae 1,520 (12.2) Haptophyceae 1,120 (9.0) <i>Heterocapsa</i> spp. 650 (5.2)	unidentified flagellates 8,080 (47.5) Prasinophyceae 2,800 (16.5) Cryptophyceae 2,320 (13.6)
	( ) 内は組成比%				
動物プランクトン	出現種類数	19	21	51	33
	個体数 (個体/m)	1,900	1,030	3,532	3,654
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Undinula vulgaris</i> 831 (43.7) Gastropoda (larva) 306 (16.1) <i>Nannocalanus minor</i> 275 (14.5)	Copepoda (nauplius) 221 (21.5) Bivalvia (D-shaped larva) 186 (18.1) Cirripedia (nauplius) 179 (17.4) Gastropoda (larva) 90 (8.7) <i>Oikopleura</i> spp. 83 (8.1)	Copepoda (nauplius) 700 (19.8) <i>Oithona simplex</i> 508 (14.4) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 333 (9.4) <i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite) 250 (7.1) Cirripedia (nauplius) 183 (5.2) Paracalanidae (copepodite) 183 (5.2)	Copepoda (nauplius) 1,509 (41.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 355 (9.7) Gastropoda (larva) 291 (8.0) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 245 (6.7)
	( ) 内は組成比%				

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(20) 結果概要 (浮遊生物調査: E25: 工事前)

調査地点		E25			
調査年度		平成25年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
項目					
植物 プランク トン	出現種類数	36	47	44	26
	細胞数 (細胞/L)	4,380	38,410	15,880	6,990
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 1,520 (34.7) <i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 400 (9.1) <i>Nitzschia</i> spp. 330 (7.5) Prasinophyceae 240 (5.5)	unidentified flagellates 21,360 (55.6) Cryptophyceae 4,720 (12.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 2,440 (6.4) Prasinophyceae 2,160 (5.6) <i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 2,070 (5.4)	unidentified flagellates 5,760 (36.3) Cryptophyceae 2,560 (16.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 2,400 (15.1) Prasinophyceae 1,360 (8.6)	Prasinophyceae 2,320 (33.2) unidentified flagellates 1,840 (26.3) Cryptophyceae 1,360 (19.5)
	( ) 内は組成比%				
動物 プランク トン	出現種類数	41	34	28	13
	個体数 (個体/m)	5,576	14,619	3,385	140
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 1,478 (26.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,222 (21.9) <i>Oithona simplex</i> 778 (14.0) <i>Oithona attenuata</i> 300 (5.4) Paracalanidae (copepodite) 289 (5.2)	Copepoda (nauplius) 4,490 (30.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,974 (27.2) <i>Oithona aruensis</i> 1,445 (9.9) Paracalanidae (copepodite) 929 (6.4)	Gastropoda (larva) 631 (18.6) Copepoda (nauplius) 385 (11.4) <i>Oithona simplex</i> 385 (11.4) <i>Oikopleura</i> spp. 323 (9.5) Bivalvia (D-shaped larva) 277 (8.2)	Calanoida (copepodite) 21 (15.0) Copepoda (nauplius) 21 (15.0) Isopoda 14 (10.0) <i>Oncaea mediterranea</i> 14 (10.0) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 14 (10.0)
	( ) 内は組成比%				

調査地点		E25
調査年度		平成26年度
調査時期		春季
項目		
植物 プランク トン	出現種類数	24
	細胞数 (細胞/L)	26,630
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 18,240 (68.5) Prasinophyceae 2,160 (8.1) Cryptophyceae 2,080 (7.8)
( ) 内は組成比%		
動物 プランク トン	出現種類数	28
	個体数 (個体/m)	5,023
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Gastropoda (larva) 1,710 (34.0) Copepoda (nauplius) 1,683 (33.5)
( ) 内は組成比%		

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(21) 結果概要 (浮遊生物調査: E25: 工事中)

調査地点		E25	
調査年度		平成29年度	
調査時期		秋季	冬季
項目	出現種数	52	48
植物プランクトン	細胞数 (細胞/L)	3,270	2,810
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 560 (17.1) <i>Navicula</i> spp. 360 (11.0) <i>Bacteriastrom</i> spp. 290 (8.9) Pennales 240 (7.3)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 360 (12.8) <i>Diatoms</i> sp. 340 (12.1) Gymnodinales 320 (11.4) Pennales 180 (6.4) unidentified flagellates 180 (6.4)
	出現種数	17	13
	個体数 (個体/m)	1,350	560
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 430 (31.6) Gastropoda (larva) 90 (23.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 240 (17.6) Paracalanidae (copepodite) 100 (7.4)	Copepoda (nauplius) 250 (44.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 80 (16.1) <i>Oncaea venusta</i> 40 (7.1) Gastropoda (larva) 30 (5.4)

注) 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示す。

調査地点		E25					
調査年度		平成30年度					
調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
項目	出現種数	54	40	52	35	35	32
植物プランクトン	細胞数 (細胞/L)	28,760	2,000	25,970	5,040	1,710	2,050
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 14,500 (50.4) <i>Skeletonema costatum</i> sensu lato 4,200 (14.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 2,530 (8.8) <i>Chaetoceros</i> sp. (cf. <i>salsugineus</i> ) 2,270 (7.9)	<i>Heterocapsa</i> spp. 320 (16.0) Peridinales 240 (12.0) Gymnodinales 170 (8.5) unidentified flagellates 130 (6.5) Pennales 120 (6.0)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 20,000 (77.0) <i>Cylindrotheca closterium</i> 1,310 (5.0)	<i>Bacillaria paxillifer</i> 1,200 (23.8) <i>Cylindrotheca closterium</i> 520 (10.3) Gymnodinales 410 (8.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 390 (7.1) Peridinales 280 (5.6)	<i>Heterocapsa</i> spp. 200 (11.7) <i>Cylindrotheca closterium</i> 150 (8.2) Pennales 130 (7.6) Cryptophyceae 110 (6.4) Prasinophyceae 110 (6.4)	Euglenophyceae 460 (22.4) Peridinales 270 (13.2) <i>Protoperidinium</i> spp. 190 (9.3) unidentified flagellates 110 (5.4)
	出現種数	14	20	27	13	16	18
	個体数 (個体/m)	17,522	2,293	34,222	3,060	6,479	1,310
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona dissimilis</i> 4,735 (27.0) <i>Acartia tosae</i> 4,103 (23.4) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 3,197 (18.2) Copepoda (nauplius) 2,410 (13.8) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,436 (8.2)	Copepoda (nauplius) 569 (24.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 551 (24.0) Gastropoda (larva) 222 (9.7) Cirripedia (nauplius) 151 (6.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 116 (5.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 8,686 (25.4) <i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 3,886 (11.4) <i>Oithona simplex</i> 3,200 (9.4) <i>Oithona attenuata</i> 2,743 (8.0) Copepoda (nauplius) 2,400 (7.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,180 (38.6) Copepoda (nauplius) 840 (27.5) <i>Oithona oculata</i> 250 (8.2)	Copepoda (nauplius) 4,527 (69.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 593 (9.2) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 428 (6.6)	Copepoda (nauplius) 715 (54.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 154 (11.8) Paracalanidae (copepodite) 81 (6.2) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 72 (5.5)

調査地点		E25				
調査年度		令和元年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
項目	出現種数	36	28	30	37	37
植物プランクトン	細胞数 (細胞/L)	1,470	2,560	4,200	2,590	1,250
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Peridinales 250 (17.0) Gymnodinales 160 (10.9) <i>Navicula</i> spp. 140 (9.5) Euglenophyceae 100 (6.8) unidentified flagellates 80 (5.4)	<i>Chaetoceros</i> sp. (small chain type) 850 (33.2) <i>Protoperidinium</i> sp. 440 (17.2) <i>Prorocentrum triestinum</i> 260 (10.2) Peridinales 190 (7.4) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. 140 (5.5)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 300 (19.0) Gymnodinales 710 (16.9) <i>Chaetoceros lauderi</i> 470 (11.2) Peridinales 430 (10.2) <i>Pseudo-nitzschia</i> sp. 310 (7.4)	Gymnodinales 270 (10.4) Prasinophyceae 210 (8.1) unidentified flagellates 190 (7.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 190 (7.3) Pennales 190 (7.3) <i>Navicula</i> spp. 190 (7.3)	Gymnodinales 180 (6.6) Euglenophyceae 120 (9.6) Pennales 110 (8.8) <i>Ampora</i> sp. 90 (7.2) Peridinales 80 (6.4)
	出現種数	15	15	18	22	7
	個体数 (個体/m)	561	2,265	13,014	3,126	109
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 129 (23.0) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 99 (17.6) Gastropoda (larva) 76 (13.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 61 (10.9) Isopoda 30 (5.3) Foraminifera 30 (5.3)	Copepoda (nauplius) 319 (40.6) Gastropoda (larva) 281 (12.4) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 196 (8.7) Isopoda 187 (8.3) Paracalanidae (copepodite) 179 (7.9)	Copepoda (nauplius) 4,524 (34.8) <i>Okopileura</i> spp. 1,714 (13.2) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,667 (12.8) <i>Okopileura obovata</i> 1,274 (9.8) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,012 (7.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 728 (23.3) Copepoda (nauplius) 524 (16.8) <i>Oithona simplex</i> 243 (7.8) <i>Oithona attenuata</i> 233 (7.5) Gastropoda (larva) 223 (7.1)	Copepoda (nauplius) 29 (26.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 20 (18.3) <i>Oncaea media</i> 20 (18.3) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 10 (9.2) Cirripedia (nauplius) 10 (9.2) <i>Clauacalanus</i> spp. (copepodite) 10 (9.2) Harpacticoida 10 (9.2)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(22) 結果概要 (浮遊生物調査: E25: 工事中)

調査地点		E25				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種数	36	20	36	29	22
	細胞数 (細胞/L)	4,570	22,300	812,600	1,660	1,270
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> sp. 1,400 (30.6)	<i>Nitzschia</i> spp. 10,700 (48.0)	<i>Chaetoceros constrictum</i> 536,000 (66.0)	<i>Licmophora</i> spp. 450 (27.1)	Pennales 350 (27.6)
	( ) 内は組成比%	Peridinales 570 (12.5)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 3,900 (17.5)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 117,300 (14.4)	Pennales 270 (16.3)	Peridinales 180 (14.2)
		Gymnodinales 400 (8.8)		<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 79,300 (9.8)	unidentified flagellates 200 (12.0)	Prasinophyceae 120 (9.4)
		unidentified flagellates 400 (8.8)			<i>Nitzschia</i> spp. 140 (8.4)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 70 (5.5)
		<i>Cylindrotheca closterium</i> 300 (6.6)				<i>Nitzschia</i> spp. 70 (5.5)
動物 プランク トン	出現種数	10	16	23	8	20
	個体数 (個体/m)	1,195	1,225	16,394	226	1,011
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 623 (52.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 409 (33.4)	Copepoda (nauplius) 4,286 (26.1)	Copepoda (nauplius) 85 (37.6)	Gastropoda (larva) 314 (31.1)
	( ) 内は組成比%	Gastropoda (larva) 181 (15.1)	Copepoda (nauplius) 343 (28.0)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 2,321 (14.2)	<i>Oithona nana</i> 38 (16.8)	Copepoda (nauplius) 157 (15.5)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 101 (8.5)	Gastropoda (larva) 110 (9.0)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,143 (13.1)	Paracalanidae (copepodite) 28 (12.4)	Polychaeta (larva) 88 (8.7)
		Bivalvia (umbo larva) 80 (6.7)	<i>Oithona aruensis</i> 66 (5.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,054 (12.5)	Polychaeta (larva) 19 (8.4)	Calanoida (copepodite) 78 (7.7)
		Cirripedia (nauplius) 70 (5.9)		Paracalanidae (copepodite) 1,161 (7.1)	<i>Oithona simplex</i> 19 (8.4)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 69 (6.8)
					<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 19 (8.4)	

調査地点		E25			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種数	42	53	41	37
	細胞数 (細胞/L)	13,880	9,720	5,350	1,690
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 2,980 (21.5)	Prasinophyceae 1,080 (11.1)	unidentified flagellates 950 (17.8)	Gymnodinales 250 (14.8)
	( ) 内は組成比%	Gymnodinales 2,430 (17.5)	unidentified flagellates 1,000 (10.3)	Gymnodinales 810 (15.1)	Peridinales 150 (8.9)
		<i>Heterocapsa</i> spp. 2,430 (17.5)	Gymnodinales 790 (8.1)	<i>Skeletonema costatum</i> sensu lato 670 (12.5)	unidentified flagellates 120 (7.1)
		Peridinales 1,900 (13.7)	Diatomaceae 590 (6.1)	Cryptophyceae 450 (8.4)	<i>Oxytaum</i> spp. 100 (5.9)
		Cryptophyceae 1,130 (8.2)	Peridinales 570 (5.9)	<i>Heterocapsa</i> spp. 400 (7.5)	Cryptophyceae 90 (5.3)
				Prasinophyceae 400 (7.5)	
動物 プランク トン	出現種数	16	16	20	13
	個体数 (個体/m)	4,667	379	709	412
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 912 (19.5)	Gastropoda (larva) 79 (20.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 137 (19.3)	Copepoda (nauplius) 107 (26.0)
	( ) 内は組成比%	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 843 (18.1)	Bivalvia (umbo larva) 56 (14.8)	Gastropoda (larva) 118 (16.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (19.4)
		<i>Bestiolina similis</i> 725 (15.5)	<i>Creseis</i> spp. 45 (11.9)	Polychaeta (larva) 59 (8.3)	Gastropoda (larva) 40 (9.7)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 725 (15.5)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 34 (9.0)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 59 (8.3)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 40 (9.7)
		Paracalanidae (copepodite) 559 (12.0)	Paracalanidae (copepodite) 22 (5.8)	<i>Oithona simplex</i> 39 (5.5)	Polychaeta (larva) 27 (6.6)
			Isopoda 22 (5.8)	<i>Oikopleura</i> spp. 39 (5.5)	Cirripedia (nauplius) 27 (6.6)
			<i>Oikopleura</i> spp. 22 (5.8)		

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(23) 結果概要 (浮遊生物調査: E25: 工事中)

調査地点		E25				
調査年度		令和4年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種数	31	54	42	41	24
	細胞数 (細胞/L)	18,170	90,720	10,840	2,360	1,320
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 4,250 (23.4) Cryptophyceae 4,010 (22.1) <i>Heterocapsa</i> spp. 4,000 (22.0) Prasinophyceae 3,450 (19.0)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 53,200 (58.6) <i>Skeletonema costatum</i> sensu lato 22,400 (24.7)	Gymnodiniales 1,870 (17.3) Peridinales 1,700 (15.7) Haptophyceae 1,600 (14.8) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,210 (11.2) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,170 (10.8)	Pennales 320 (13.6) Naviculaceae 190 (8.1) unidentified flagellates 150 (6.4) <i>Licmophora</i> spp. 140 (5.9) Diatomaceae 120 (5.1) <i>Climacosphonia moniligera</i> 120 (5.1) <i>Navicula</i> spp. 120 (5.1)	unidentified flagellates 400 (30.3) <i>Cylindrotheca closterium</i> 170 (12.9) Cryptophyceae 150 (11.4) Pennales 110 (8.3) <i>Navicula</i> spp. 90 (6.8)
	出現種数	10	10	14	21	20
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	920	6,600	919	2,180	1,240
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	Copepoda (nauplius) 340 (37.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 180 (19.6) Gastropoda (larva) 120 (13.0) Polychaeta (larva) 80 (8.7) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 60 (6.5)	Copepoda (nauplius) 4,320 (65.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,320 (20.0) Bivalvia (umbo larva) 360 (5.5)	Bivalvia (umbo larva) 240 (26.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 213 (23.2) Gastropoda (larva) 80 (8.7) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 67 (7.3) <i>Oithona simplex</i> 53 (5.8) <i>Corycaeus</i> spp. (copepodite) 53 (5.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 620 (28.4) <i>Oithona simplex</i> 580 (26.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 260 (11.9) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 140 (6.4)	Copepoda (nauplius) 293 (23.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 160 (12.9) Paracalanidae (copepodite) 107 (8.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 80 (6.5) <i>Oncaca</i> spp. (copepodite) 80 (6.5)	

調査地点		E25					
調査年度		令和5年度					
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季
植物 プランク トン	出現種数	33	32	53	41	40	36
	細胞数 (細胞/L)	2,300	2,350	101,050	12,220	10,300	4,060
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 350 (15.2) Peridinales 230 (10.0) <i>Heterocapsa</i> spp. 290 (8.7) Gymnodiniales 190 (8.3)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 650 (27.7) <i>Cylindrotheca closterium</i> 250 (10.6) Cryptophyceae 250 (10.6) Peridinales 230 (9.8)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 33,400 (33.1) Diatomaceae 19,070 (18.9) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 16,270 (16.1) Peridinales 10,000 (9.9) Gymnodiniales 7,200 (7.1)	Gymnodiniales 4,750 (38.9) Peridinales 2,550 (20.9) <i>Heterocapsa</i> spp. 800 (6.5)	Peridinales 1,900 (18.4) Gymnodiniales 1,700 (16.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,700 (16.5) Prasinophyceae 1,300 (12.6) Cryptophyceae 1,200 (11.7)	Gymnodiniales 850 (20.9) Cryptophyceae 800 (19.7) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,450 (11.1) Peridinales 300 (7.4) unidentified flagellates 250 (6.2)
	出現種数	5	9	10	15	16	21
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	340	1,130	4,020	9,230	867	6,764
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	Copepoda (nauplius) 230 (67.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 50 (14.7) Gastropoda (larva) 30 (8.8) Cyclopoida (copepodite) 20 (5.9)	Paracalanidae (copepodite) 320 (28.3) Copepoda (nauplius) 170 (15.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 160 (14.2) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 160 (14.2) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 120 (10.6)	Copepoda (nauplius) 1,160 (28.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 970 (24.1) Bivalvia (umbo larva) 640 (15.9) Polychaeta (larva) 280 (7.0) Gastropoda (larva) 200 (5.0)	Copepoda (nauplius) 2,700 (29.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,100 (22.8) Gastropoda (larva) 1,360 (14.7) Bivalvia (umbo larva) 1,050 (11.4) Paracalanidae (copepodite) 470 (5.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 219 (25.3) Copepoda (nauplius) 122 (16.4) Gastropoda (larva) 77 (8.9) <i>Oikopleura</i> spp. 65 (7.5) <i>Oithona simplex</i> 52 (6.0) Bivalvia (umbo larva) 52 (6.0)	Copepoda (nauplius) 2,171 (32.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,440 (21.3) <i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 1,085 (16.1) <i>Micrasetella norvegica</i> 503 (7.4) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 400 (5.9)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(24) 結果概要 (浮遊生物調査：E25：工事中)

調査地点		E25							
調査年度		令和6年度							
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季			
植物 プランク トン	出現種類数	41	44	50	35	39			
	細胞数 (細胞/L)	7,820	18,790	16,990	5,380	5,850			
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	Gymnodiniales	1,530 (19.6)	Peridinales	4,570 (24.3)	Gymnodiniales	1,100 (20.4)	Haptophyceae	2,200 (37.6)
		Peridinales	1,420 (18.2)	<i>Heterocapsa</i> spp.	3,570 (19.0)	Peridinales	830 (15.4)	Prasinophyceae	500 (8.5)
		Cryptophyceae	1,200 (15.3)	Gymnodiniales	3,130 (16.7)	<i>Heterocapsa</i> spp.	800 (14.9)	Cryptophyceae	400 (6.8)
		<i>Heterocapsa</i> spp.	1,200 (15.3)	<i>Gymnodinium</i> spp.	2,600 (13.8)	Cryptophyceae	370 (6.9)		
						<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	1,330 (7.8)	unidentified flagellates	270 (5.0)
							1,260 (7.4)		
動物 プランク トン	出現種類数	12	24	20	7	19			
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	731	3,062	11,680	338	464			
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	Copepoda (nauplius)	217 (29.7)	Copepoda (nauplius)	827 (27.0)	Copepoda (nauplius)	4,100 (35.1)	Copepoda (nauplius)	204 (60.4)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	137 (18.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	640 (20.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	1,540 (13.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	62 (18.3)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	91 (12.4)	Gastropoda (larva)	338 (11.0)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	1,100 (9.4)	Polychaeta (larva)	27 (8.0)
		Gastropoda (larva)	80 (10.9)	<i>Oikopleura</i> spp.	302 (9.9)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite)	940 (8.0)	<i>Corycaeus concinnus</i>	18 (5.3)
		Bivalvia (umbo larva)	46 (6.3)			<i>Oithona simplex</i>	830 (7.1)		

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3. 5. 2. 10(25) 結果概要 (浮遊生物調査 : E27 : 工事前)

調査地点		E27		
調査年度		平成19年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
植物 プランクトン	出現種類数	17	27	24
	細胞数 (細胞/L)	24,160	18,940	1,800
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	<i>Chaetoceros</i> sp. (large chain type) 20,400 (84.4)	Chlorococcales 15,600 (82.4)	Haptophyceae 320 (17.8)
		<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,280 (5.3)		<i>Cocconeis</i> spp. 200 (11.1)
			<i>Navicula</i> spp. 200 (11.1)	
			unidentified flagellates 200 (11.1)	
			<i>Cylindrotheca closterium</i> 120 (6.7)	
動物 プランクトン	出現種類数	32	21	28
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	30,430	4,749	1,086
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	Copepoda (nauplius) 9,083 (29.8)	Copepoda (nauplius) 2,114 (44.5)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 320 (29.5)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,095 (16.7)	Gastropoda (larva) 545 (11.5)	Copepoda (nauplius) 152 (14.0)
	Bivalvia (D-shaped larva) 3,545 (11.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 477 (10.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 91 (8.4)	
	<i>Oithona simplex</i> 2,437 (8.0)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 409 (8.6)	<i>Oncaea media</i> 81 (7.5)	
	Gastropoda (larva) 2,215 (7.3)		<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 76 (7.0)	

調査地点		E27			
調査年度		平成20年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物 プランクトン	出現種類数	20	27	19	25
	細胞数 (細胞/L)	5,250	4,770	6,670	3,260
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	<i>Navicula</i> spp. 1,750 (33.3)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,600 (33.5)	unidentified flagellates 3,440 (51.6)	Prasinophyceae 760 (23.3)
		Prasinophyceae 950 (18.1)	Peridinales 1,080 (22.6)	Haptophyceae 800 (12.0)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 520 (16.0)
	Gymnodiniales 600 (11.4)	unidentified flagellates 320 (6.7)	Cryptophyceae 720 (10.8)	unidentified flagellates 400 (12.3)	
	Euglenophyceae 550 (10.5)	Gymnodiniales 280 (5.9)	<i>Amphora</i> spp. 400 (6.0)	Haptophyceae 360 (11.0)	
				<i>Calciosolenia murrayi</i> 240 (7.4)	
動物 プランクトン	出現種類数	30	26	14	19
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	7,966	14,690	15,277	1,001
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	Copepoda (nauplius) 2,963 (37.2)	Gastropoda (larva) 3,030 (20.6)	Copepoda (nauplius) 11,066 (72.4)	Copepoda (nauplius) 128 (12.8)
		Gastropoda (larva) 1,625 (20.4)	Copepoda (nauplius) 2,914 (19.8)	Gastropoda (larva) 1,393 (9.1)	Foraminifera 128 (12.8)
	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 828 (10.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,681 (18.3)	Bivalvia (umbo larva) 1,311 (8.6)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 128 (12.8)	
	Bivalvia (umbo larva) 510 (6.4)	<i>Oithona simplex</i> 1,865 (12.7)	Harpacticoida (copepodite) 1,148 (7.5)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 128 (12.8)	
	<i>Oithona simplex</i> 446 (5.6)			<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite) 64 (6.4)	
				Gastropoda (larva) 64 (6.4)	
				<i>Oithona simplex</i> 64 (6.4)	
				<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 64 (6.4)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(26) 結果概要 (浮遊生物調査: E27: 工事前)

調査地点		E27				
調査年度		平成21年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
植物 プランク トン	出現種類数	23	43	34	22	
	細胞数 (細胞/L)	7,820	10,350	2,610	560	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	unidentified flagellates	2,480 (31.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 4,550 (44.0)	Gymnodiniales 330 (12.6)	unidentified flagellates 80 (14.3)
		Haptophyceae	1,280 (16.4)	unidentified flagellates	Pennales 270 (10.3)	<i>Bleakeleya notata</i> 70 (12.5)
		Peridinales	1,120 (14.3)	Peridinales 930 (9.0)	Peridinales 260 (10.0)	<i>Coscinodiscus</i> spp. 50 (8.9)
		<i>Scrippsiella trochoidea</i>	640 (8.2)	Gymnodiniales 620 (6.0)	<i>Nitzschia</i> spp. 240 (9.2)	<i>Leptocylindrus danicus</i> 50 (8.9)
					<i>Cylindrotheca closterium</i> 230 (8.8)	<i>Lauderia annulata</i> 30 (5.4)
					<i>Nitzschia longissima</i> 30 (5.4)	
					Oscillatoriaceae 30 (5.4)	
	出現種類数	32	20	26	19	
個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	4,359	86,500	1,287	433		
動物 プランク トン	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	Copepoda (nauplius)	1,041 (23.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 25,000 (28.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 183 (14.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 107 (24.7)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	694 (15.9)	<i>Oithona aruensis</i> 22,000 (25.4)	Paracalanidae (copepodite) 115 (8.9)	Copepoda (nauplius) 61 (14.1)
		<i>Paracalanus parvus</i>	304 (7.0)	Copepoda (nauplius) 8,000 (9.2)	Polychaeta (larva) 115 (8.9)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 46 (10.6)
		Bivalvia (umbo larva)	260 (6.0)	<i>Oithona simplex</i> 6,000 (6.9)	Bivalvia (D-shaped larva) 92 (7.1)	<i>Oikopleura longicauda</i> 38 (8.8)
		<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	260 (6.0)	<i>Oikopleura</i> spp. 5,000 (5.8)	Cirripedia (nauplius) 92 (7.1)	<i>Oncaea venusta</i> 34 (7.9)
				<i>Oithona aruensis</i> 92 (7.1)		

調査地点		E27				
調査年度		平成22年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
植物 プランク トン	出現種類数	41	47	42	47	
	細胞数 (細胞/L)	17,880	145,700	112,490	19,600	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( )内は組成比%	<i>Peridinium quinquecorne</i>	3,840 (21.5)	unidentified flagellates 104,000 (71.4)	unidentified flagellates 67,680 (60.2)	unidentified flagellates 5,920 (30.2)
		unidentified flagellates	3,600 (20.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 11,840 (8.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 18,240 (16.2)	Cryptophyceae 5,040 (25.7)
		<i>Thalassiosira</i> spp.	2,880 (16.1)	<i>Bacteriastrium</i> spp. 9,120 (6.3)	Cryptophyceae 17,760 (15.8)	Prasinophyceae 3,760 (19.2)
		Peridinales	2,000 (11.2)			Haptophyceae 1,240 (6.3)
		<i>Heterocapsa</i> spp.	1,040 (5.8)			<i>Heterocapsa</i> spp. 1,200 (6.1)
	出現種類数	28	20	26	23	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	5,034	4,082	22,591	5,905	
	動物 プランク トン	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( )内は組成比%	Copepoda (nauplius)	1,116 (22.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,125 (27.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 6,134 (27.2)
<i>Acartia</i> spp. (copepodite)			717 (14.2)	<i>Oithona simplex</i> 772 (18.9)	<i>Oithona oculata</i> 3,578 (15.8)	<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 611 (10.3)
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)			717 (14.2)	Copepoda (nauplius) 547 (13.4)	<i>Oithona simplex</i> 1,789 (7.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 509 (8.6)
<i>Oithona simplex</i>			478 (9.5)	<i>Oithona aruensis</i> 322 (7.9)	<i>Oikopleura</i> spp. 1,534 (6.8)	Calanoida (copepodite) 407 (6.9)
Gastropoda (larva)			398 (7.9)	<i>Paracalanus crassirostris</i> 225 (5.5)	<i>Oithona aruensis</i> 1,534 (6.8)	<i>Oithona simplex</i> 407 (6.9)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(27) 結果概要 (浮遊生物調査: E27: 工事前)

調査地点		E27				
調査年度		平成23年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
植物 プランク トン	項目					
	出現種類数	31	29	43	21	
	細胞数 (細胞/L)	3,920	4,030	8,680	4,330	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	<i>Navicula</i> spp.	1,060 (27.0)	unidentified flagellates 1,760 (43.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 2,210 (25.5)	Haptophyceae 1,760 (40.6)
		unidentified flagellates	960 (24.5)	<i>Gymnodinium</i> spp. 250 (6.2)	unidentified flagellates 1,360 (15.7)	Prasinophyceae 1,600 (37.0)
		<i>Amphora</i> spp.	400 (10.2)	Peridinales 240 (6.0)	<i>Bleakeleya notata</i> 890 (10.3)	unidentified flagellates 400 (9.2)
		Prasinophyceae	240 (6.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 230 (5.7)	Cryptophyceae 720 (8.3)	
				<i>Protoperidinium</i> spp. 220 (5.5)	Gymnodinales 510 (5.9)	
	出現種類数	18	25	30	37	
個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	5,712	21,050	15,363	1,709		
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	3,450 (60.4)	<i>Acrocalanus longicornis</i> 8,012 (38.1)	Copepoda (nauplius) 5,467 (35.6)	Copepoda (nauplius) 355 (20.8)	
	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)	323 (5.7)	<i>Oithona dissimilis</i> 2,118 (10.1)	<i>Oikopleura longicauda</i> 2,489 (16.2)	Paracalanidae (copepodite) 239 (14.0)	
			Brachyura (zoea) 1,824 (8.7)	<i>Oikopleura</i> spp. 2,000 (13.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 148 (8.7)	
			<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,718 (8.2)	<i>Oithona aruensis</i> 1,067 (6.9)	Calanoida (copepodite) 129 (7.5)	
			<i>Oithona longispina</i> 1,624 (7.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 933 (6.1)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 90 (5.3)	

調査地点		E27				
調査年度		平成24年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
植物 プランク トン	項目					
	出現種類数	35	44	42	45	
	細胞数 (細胞/L)	13,440	11,940	12,570	10,030	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	Cryptophyceae	4,400 (32.7)	<i>Heterocapsa</i> spp. 3,200 (26.8)	unidentified flagellates 4,560 (36.3)	Prasinophyceae 3,200 (31.9)
		Prasinophyceae	3,440 (25.6)	unidentified flagellates 2,800 (23.5)	Prasinophyceae 2,560 (20.4)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 1,010 (10.1)
		Haptophyceae	1,360 (10.1)	<i>Navicula</i> spp. 720 (6.0)	Cryptophyceae 1,440 (11.5)	Cryptophyceae 640 (6.4)
		unidentified flagellates	1,280 (9.5)		Haptophyceae 960 (7.6)	unidentified flagellates 560 (5.6)
					<i>Heterocapsa</i> spp. 720 (5.7)	
	出現種類数	27	37	39	23	
個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	10,182	7,457	6,464	1,566		
主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	<i>Undinula vulgaris</i>	6,052 (59.4)	Copepoda (nauplius) 4,140 (55.5)	Copepoda (nauplius) 1,824 (28.2)	Copepoda (nauplius) 429 (27.4)	
	<i>Calocalanus styliremis</i>	1,409 (13.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 813 (10.9)	<i>Oithona simplex</i> 1,632 (25.2)	Gastropoda (larva) 190 (12.1)	
	Bivalvia (D-shaped larva)	835 (8.2)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 487 (6.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 992 (15.3)	Harpacticoida (copepodite) 162 (10.3)	
			Paracalanidae (copepodite) 487 (6.5)	Paracalanidae (copepodite) 328 (5.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 133 (8.5)	
					Cirripedia (nauplius) 86 (5.5)	
					<i>Microsetella norvegica</i> 86 (5.5)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(28) 結果概要 (浮遊生物調査: E27: 工事前)

調査地点		E27				
調査年度		平成25年度				
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季	
植物 プランク トン	出現種類数	41	36	59	24	
	細胞数 (細胞/L)	8,600	38,380	44,910	6,710	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	unidentified flagellates	4,720 (54.9)	24,240 (63.2)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 16,640 (37.1)	unidentified flagellates 2,400 (35.8)
		Cryptophyceae	800 (9.3)	<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 4,160 (10.8)	unidentified flagellates 9,840 (21.9)	Cryptophyceae 1,520 (22.7)
		Prasinophyceae	800 (9.3)	Cryptophyceae 2,880 (7.5)	Cryptophyceae 4,000 (8.9)	Prasinophyceae 1,440 (21.5)
			<i>Heterocapsa</i> spp. 2,720 (7.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 3,120 (6.9)		
動物 プランク トン	出現種類数	39	28	28	40	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	10,216	16,547	15,966	2,536	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	Gastropoda (larva)	2,084 (20.4)	Copepoda (nauplius) 8,114 (49.0)	Copepoda (nauplius) 9,082 (56.9)	Copepoda (nauplius) 547 (21.6)
		Copepoda (nauplius)	1,705 (16.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,029 (18.3)	Gastropoda (larva) 1,929 (12.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 360 (14.2)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	1,705 (16.7)	<i>Oikopleura</i> spp. 1,371 (8.3)		<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 333 (13.1)
Paracalanidae (copepodite)		758 (7.4)	<i>Oithona aruensis</i> 1,143 (6.9)		Isopoda 293 (11.6)	
<i>Oithona attenuata</i>		726 (7.1)			Gastropoda (larva) 280 (11.0)	

調査地点		E27		
調査年度		平成26年度		
調査時期		春季		
植物 プランク トン	出現種類数	33		
	細胞数 (細胞/L)	14,420		
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	unidentified flagellates	4,880 (33.8)	
		<i>Heterocapsa</i> spp.	3,840 (26.6)	
		Peridinales	1,140 (7.9)	
Euglenophyceae		1,060 (7.4)		
動物 プランク トン	出現種類数	26		
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	5,450		
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	Copepoda (nauplius)	2,156 (39.6)	
		Gastropoda (larva)	1,467 (26.9)	
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	489 (9.0)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(29) 結果概要 (浮遊生物調査: E27: 工事中)

調査地点		E27		
調査年度		平成29年度		
調査時期		夏季	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	53	51	35
	細胞数 (細胞/L)	16,520	5,960	1,510
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Peridinales 3,400 (20.6) <i>Heterocapsa</i> sp. 3,360 (20.3) Gymnodinales 2,960 (17.9) unidentified flagellates 2,240 (13.6)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 890 (16.0) <i>Bacillaria paxillifer</i> 510 (9.2) unidentified flagellates 510 (9.2) <i>Navicula</i> spp. 420 (7.6) Pennales 400 (7.2)	<i>Diatome</i> sp. 350 (23.2) Pennales 170 (11.3) <i>Cylindrotheca closterium</i> 120 (7.9) <i>Heteroleysa notata</i> 90 (6.0) <i>Skeletonema costatum</i> sensu lato 80 (5.3)
	( ) 内は組成比%			
動物プランクトン	出現種数	23	18	8
	個体数 (個体/m)	9,740	1,478	251
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,100 (21.6) Copepoda (nauplius) 325 (16.4) <i>Oithona arvensis</i> 1,400 (14.4) Bivalvia (umbo larva) 1,950 (10.8) <i>Paracalanus crassirostris</i> 660 (6.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 400 (27.1) Copepoda (nauplius) 325 (22.0) <i>Oithona simplex</i> 150 (10.1) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 125 (8.5)	Copepoda (nauplius) 57 (22.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 37 (22.7) Gastropoda (larva) 46 (18.3) Harpacticoida 23 (9.2) <i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 23 (9.2) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 23 (9.2)
	( ) 内は組成比%			

調査地点		E27					
調査年度		平成30年度					
調査時期		春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	46	43	48	37	34	44
	細胞数 (細胞/L)	8,030	4,670	6,760	3,140	2870	3,620
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 3,270 (40.7) <i>Heterocapsa</i> spp. 560 (7.0) Gymnodinales 450 (5.6) <i>Cylindrotheca closterium</i> 410 (5.1)	Nostocaceae 2,320 (49.7) Peridinales 300 (6.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 280 (6.0)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 6,030 (30.0) <i>Heterocapsa</i> spp. (small chain type) 1,900 (28.4) <i>Cylindrotheca closterium</i> 650 (9.6)	Gymnodinales 490 (15.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 380 (12.1) <i>Gyrodinium</i> spp. 280 (8.9) Peridinales 220 (7.0) <i>Protopeperidium</i> spp. 200 (6.4)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,030 (35.9) <i>Heterocapsa</i> spp. 190 (6.6) Gymnodinales 190 (6.6) Peridinales 180 (6.3)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 460 (12.7) <i>Chaetoceros compressum</i> 380 (10.5) <i>Bacteriaster</i> spp. 300 (8.3) <i>Leptocylindrus danicus</i> 280 (7.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 260 (7.2)
	( ) 内は組成比%						
動物プランクトン	出現種数	15	18	19	13	11	15
	個体数 (個体/m)	15,212	890	20,952	3,788	5,308	5,754
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,868 (44.4) Copepoda (nauplius) 3,952 (29.9) <i>Oithona dissimilis</i> 1,713 (13.0)	Copepoda (nauplius) 302 (33.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (9.0) Facetotecta (nauplius) 71 (8.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 71 (8.0) Gastropoda (larva) 62 (7.0)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 6,578 (31.4) <i>Oithona simplex</i> 5,867 (28.0) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 2,844 (13.6) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 1,422 (6.8) <i>Oithona attenuata</i> 1,156 (5.5)	Copepoda (nauplius) 2,587 (68.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 391 (10.3) Bivalvia (umbo larva) 357 (9.4)	Copepoda (nauplius) 4,020 (75.7) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 546 (10.3) Gastropoda (larva) 312 (5.9)	Copepoda (nauplius) 2,136 (37.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,647 (28.6) <i>Paracalanus crassirostris</i> 489 (7.7) <i>Oithona simplex</i> 380 (6.6) Gastropoda (larva) 371 (6.4)
	( ) 内は組成比%						

調査地点		E27				
調査年度		令和5年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物プランクトン	出現種数	33	30	39	36	28
	細胞数 (細胞/L)	1,050	29,000	3,470	1,910	1,030
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Peridinales 150 (40.7) Gymnodinales 120 (7.0) Euglenophyceae 3,952 (5.6) <i>Nitzschia</i> spp. 80 (5.1)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 25,600 (88.3)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 920 (26.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 300 (11.5) Gymnodinales 380 (11.0) Peridinales 330 (9.5) <i>Protopeperidium</i> spp. 210 (6.1)	Gymnodinales 280 (14.7) unidentified flagellates 220 (11.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 130 (6.8) Peridinales 130 (6.8) Cryptophyceae 130 (6.8)	Euglenophyceae 190 (18.4) Pennales 80 (7.8) <i>Amphora</i> sp. 70 (6.8) <i>Navicula</i> sp. 70 (6.8) Gymnodinales 60 (5.8)
	( ) 内は組成比%					
動物プランクトン	出現種数	11	11	12	18	9
	個体数 (個体/m)	1,618	582	18,727	986	144
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 549 (44.4) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 471 (29.9) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 157 (13.0) Gastropoda (larva) 127 (7.8) <i>Acartia fossae</i> 118 (7.3)	Copepoda (nauplius) 286 (49.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (13.7) Bivalvia (umbo larva) 45 (7.7) <i>Oithona arvensis</i> 36 (6.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 6,290 (33.4) <i>Oikopleura</i> spp. 3,512 (18.8) Copepoda (nauplius) 3,333 (17.8) <i>Oithona simplex</i> 2,262 (12.1) <i>Oikopleura dioica</i> 952 (5.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 286 (29.0) Copepoda (nauplius) 177 (18.0) <i>Oithona simplex</i> 82 (8.3) Bivalvia (umbo larva) 75 (7.6) <i>Paracalanidae</i> (copepodite) 51 (5.5) Polychaeta (larva) 54 (5.5)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 34 (23.6) Gastropoda (larva) 22 (15.3) Isopoda 22 (15.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 11 (7.6) <i>Oncaea media</i> 11 (7.6) Cirripedia (nauplius) 11 (7.6) Harpacticoida 11 (7.6) <i>Oikopleura</i> spp. 11 (7.6) Brachyura (zoen) 11 (7.6)
	( ) 内は組成比%					

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(30) 結果概要 (浮遊生物調査: E27: 工事中)

調査地点		E27				
調査年度		令和2年度				
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季
植物 プランクトン	出現種数	30	19	31	36	40
	細胞数 (細胞/L)	4,740	48,200	96,800	2,750	2,630
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> sp. 1,300 (27.4)	<i>Nitzschia</i> spp. 17,600 (36.5)	<i>Chaetoceros constrictum</i> 47,800 (49.4)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 560 (20.4)	Pennales 430 (16.3)
	( ) 内は組成比%	Peridinales 660 (13.9)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 13,900 (28.8)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 12,000 (12.4)	Pennales 550 (20.0)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 240 (9.1)
		Gymnodinales 650 (13.7)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 11,400 (23.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 11,000 (11.4)	<i>Nitzschia</i> spp. 330 (12.0)	<i>Bacteriastrum</i> spp. 180 (6.8)
		Euglenophyceae 440 (9.3)		<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type) 5,500 (5.7)	<i>Cyclophora tenuis</i> 210 (7.6)	<i>Rhizosolenia phuketensis</i> 140 (5.3)
						<i>Pseudo-nitzschia pungens</i> 140 (5.3)
動物 プランクトン	出現種数	8	21	21	6	5
	個体数 (個体/m)	639	2,726	6,451	131	119
	主な出現種の個体数 (個体/m)	Copepoda (nauplius) 373 (58.4)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,193 (43.8)	Copepoda (nauplius) 1,792 (27.8)	<i>Euterpina acutifrons</i> (copepodite) 47 (35.9)	Copepoda (nauplius) 69 (58.0)
	( ) 内は組成比%	Gastropoda (larva) 118 (18.5)	Copepoda (nauplius) 751 (27.5)	<i>Oithona simplex</i> 887 (13.7)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 38 (29.0)	Cirripedia (nauplius) 20 (16.8)
		<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 49 (7.7)	<i>Oithona simplex</i> 144 (5.3)	<i>Oikopleura</i> spp. 632 (9.8)	Copepoda (nauplius) 19 (14.5)	Gastropoda (larva) 10 (8.4)
				<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 566 (8.8)	Polychaeta (larva) 9 (6.9)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 10 (8.4)
				<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 519 (8.0)	Paracalanidae (copepodite) 9 (6.9)	Cyclopoids (copepodite) 10 (8.4)
					<i>Oithona atlantica</i> 9 (6.9)	

調査地点		E27			
調査年度		令和3年度			
調査時期		春季	夏季	秋季	冬季
植物 プランクトン	出現種数	36	46	28	37
	細胞数 (細胞/L)	8,670	11,430	12,910	3,300
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	Gymnodinales 1,920 (22.1)	Gymnodinales 1,920 (16.8)	Diatomaceae 3,730 (28.9)	Haptophyceae 650 (19.7)
	( ) 内は組成比%	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,480 (17.1)	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,800 (15.7)	unidentified flagellates 2,500 (19.4)	unidentified flagellates 500 (15.2)
		unidentified flagellates 1,280 (14.8)	unidentified flagellates 1,200 (10.5)	<i>Skeletonema costatum sensu lato</i> 2,120 (16.4)	Gymnodinales 350 (10.6)
		Cryptophyceae 950 (11.0)	Prasinophyceae 1,080 (9.4)	Gymnodinales 1,410 (10.9)	Prasinophyceae 350 (10.6)
		Peridinales 880 (10.1)	Diatomaceae 1,000 (8.7)	<i>Heterocapsa</i> spp. 800 (6.2)	Cryptophyceae 250 (7.6)
					<i>Heterocapsa</i> spp. 250 (7.6)
動物 プランクトン	出現種数	22	14	21	9
	個体数 (個体/m)	6,679	1,333	1,118	384
	主な出現種の個体数 (個体/m)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 1,528 (22.9)	Copepoda (nauplius) 314 (23.6)	Copepoda (nauplius) 375 (33.5)	Gastropoda (larva) 96 (25.0)
	( ) 内は組成比%	<i>Oithona simplex</i> 1,328 (19.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 284 (21.3)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 194 (17.4)	Polychaeta (larva) 80 (20.8)
		<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 585 (8.8)	<i>Bestiolina similis</i> 225 (16.9)	<i>Acartia fossae</i> 120 (10.7)	Copepoda (nauplius) 64 (16.7)
		<i>Bestiolina similis</i> 480 (7.2)	<i>Oithona simplex</i> 176 (13.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (7.2)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 48 (12.5)
		Gastropoda (larva) 376 (5.6)		<i>Oithona simplex</i> 74 (6.6)	Paracalanidae (copepodite) 32 (8.3)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3. 5. 2. 10(31) 結果概要 (浮遊生物調査 : E27 : 工事中)

調査地点		E27					
調査年度		令和4年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
植物プランクトン	出現種類数	36	56	38	39	30	
	細胞数 (細胞/L)	7,420	229,470	5,960	4,090	5,190	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	<i>Heterocapsa</i> spp. 2,400 (32.3) Cryptophyceae 1,490 (20.1) unidentified flagellates 1,260 (17.0) Prasinophyceae 460 (6.2)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 201,600 (87.9)	Peridinales 1,600 (26.8) Gymnodinales 820 (13.8) <i>Heterocapsa</i> spp. 700 (11.7) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 520 (8.7) Haptophyceae 300 (5.0)	unidentified flagellates 1,200 (29.3) <i>Heterocapsa</i> spp. 500 (12.2) <i>Skeletonema costatum</i> sensu lato 260 (6.4)	unidentified flagellates 1,100 (28.0) Euglenophyceae 970 (24.6) Cryptophyceae 850 (21.8) Peridinales 600 (15.4) <i>Heterocapsa</i> spp. 600 (15.4)	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	1,761	13,608	1,097	400	1,328	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	Copepoda (nauplius) 827 (47.0) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 413 (23.5) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 160 (9.1) <i>Oikopleura</i> spp. 147 (8.3)	Copepoda (nauplius) 7,656 (56.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 2,976 (21.9) Bivalvia (umbo larva) 1,152 (8.5) Gastropoda (larva) 864 (6.3)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 217 (19.8) Bivalvia (umbo larva) 160 (14.6) Copepoda (nauplius) 160 (14.6) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 149 (13.6) Paracalanidae (copepodite) 80 (7.3)	Copepoda (nauplius) 110 (27.5) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 80 (20.0) Bivalvia (umbo larva) 30 (7.5) Paracalanidae (copepodite) 30 (7.5) Polychaeta (larva) 20 (5.0) Harpacticoida 20 (5.0)	Copepoda (nauplius) 928 (69.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 160 (12.0)	

調査地点		E27						
調査年度		令和5年度						
調査時期		春季	台風後①	台風後②	夏季	秋季	冬季	
植物プランクトン	出現種類数	27	40	44	36	44	35	
	細胞数 (細胞/L)	2,890	6,350	96,410	13,500	10,050	3,790	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L)	unidentified flagellates 550 (21.2) Gymnodinales 350 (13.5) <i>Heterocapsa</i> spp. 250 (9.7) <i>Prorocentrum triestinum</i> 230 (8.9) Cryptophyceae 200 (7.7)	<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 1,960 (30.9) <i>Cylindrothoa closterium</i> 830 (31.3) unidentified flagellates 650 (10.2) Peridinales 500 (7.9) Prasinophyceae 450 (7.1)	<i>Pseudo-nitzschia</i> spp. 30,600 (31.7) Diatomeaceae 22,200 (23.0) <i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type) 18,270 (19.0) Peridinales 8,240 (8.5)	Gymnodinales 7,050 (52.2) Peridinales 2,150 (15.9) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,250 (9.3) <i>Amphidinium</i> spp. 870 (6.4)	Gymnodinales 1,900 (18.9) <i>Heterocapsa</i> spp. 1,800 (17.9) Cryptophyceae 1,500 (14.9) Peridinales 1,300 (12.9) Prasinophyceae 1,050 (10.4)	Haptophyceae 1,400 (36.9) Gymnodinales 400 (10.6) Cryptophyceae 250 (6.6) Prasinophyceae 250 (6.6) <i>Heterocapsa</i> spp. 200 (5.3)	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	1,440	530	1,160	11,500	1,450	392	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	Copepoda (nauplius) 870 (60.4) Gastropoda (larva) 210 (14.6) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 190 (13.2)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 60 (11.3) <i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 60 (11.3) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 60 (11.3) Gastropoda (larva) 40 (7.5) Paracalanidae (copepodite) 40 (7.5) <i>Oithona attenuata</i> 40 (7.5) <i>Oithona simplex</i> 40 (7.5) Copepoda (nauplius) 40 (7.5)	Copepoda (nauplius) 480 (32.9) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 370 (25.3) Bivalvia (umbo larva) 210 (14.4) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 130 (8.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 3,450 (29.7) Gastropoda (larva) 2,400 (20.7) Copepoda (nauplius) 1,220 (10.5) <i>Acartia</i> spp. (copepodite) 1,100 (9.5) Bivalvia (umbo larva) 750 (6.5)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 480 (32.9) Copepoda (nauplius) 330 (22.6) Gastropoda (larva) 180 (12.3) Bivalvia (umbo larva) 150 (10.3)	Copepoda (nauplius) 184 (31.1) <i>Oithona</i> spp. (copepodite) 96 (16.2) Polychaeta (larva) 56 (9.5) <i>Calocalanus</i> spp. (copepodite) 40 (6.8) Gastropoda (larva) 32 (5.4) Paracalanidae (copepodite) 32 (5.4) <i>Oithona simplex</i> 32 (5.4)	

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。  
 2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.10(32) 結果概要 (浮遊生物調査 : E27 : 工事中)

調査地点		E27					
調査年度		令和6年度					
調査時期		春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
植物 プランク トン	出現種数	39	40	41	46	44	
	細胞数 (細胞/L)	12,670	6,200	10,280	4,150	3,410	
	主な出現種の細胞数 (細胞/L) ( ) 内は組成比%	Gymnodiniales	2,400 (18.9)	Peridinales 1,430 (23.1)	Gymnodiniales 3,000 (29.2)	Gymnodiniales 700 (16.9)	Haptophyceae 500 (14.7)
		Peridinales	2,100 (16.6)	Gymnodiniales 1,370 (22.1)	Peridinales 1,700 (16.5)	Peridinales 650 (15.7)	Peridinales 340 (10.0)
		<i>Heterocapsa</i> spp.	1,900 (15.0)	<i>Gymnodinium</i> spp. 630 (10.2)	<i>Heterocapsa</i> spp. 1,670 (16.2)	Pennales 340 (8.2)	<i>Cylindrotheca closterium</i> 260 (7.6)
		unidentified flagellates	1,000 (7.9)	<i>Heterocapsa</i> spp. 570 (9.2)	<i>Gymnodinium</i> spp. 970 (9.4)	<i>Heterocapsa</i> spp. 330 (8.0)	<i>Heterocapsa</i> spp. 250 (7.3)
		Euglenophyceae	990 (7.8)	Diatomaceae 330 (5.3)		Prasinophyceae 230 (5.5)	Euglenophyceae 220 (6.5)
動物 プランク トン	出現種数	14	16	18	12	13	
	個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	2,460	14,472	6,696	294	304	
	主な出現種の個体数 (個体/m <sup>3</sup> ) ( ) 内は組成比%	<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	933 (37.9)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 5,520 (38.1)	<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite) 1,760 (26.3)	Copepoda (nauplius) 80 (27.2)	Copepoda (nauplius) 128 (42.1)
		Copepoda (nauplius)	733 (29.8)	<i>Oithona dissimilis</i> 3,280 (22.7)	Copepoda (nauplius) 1,280 (19.1)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 57 (19.4)	<i>Oncaea</i> spp. (copepodite) 40 (13.2)
		Bivalvia (umbo larva)	347 (14.1)	<i>Oithona simplex</i> 1,360 (9.4)	<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite) 960 (14.3)	Harpacticoida 34 (11.6)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 32 (10.5)
		<i>Oithona dissimilis</i>	160 (6.5)	Copepoda (nauplius) 1,280 (8.8)	<i>Oithona</i> spp. (copepodite) 920 (13.7)	<i>Acartia</i> spp. (copepodite) 23 (7.8)	Gastropoda (larva) 16 (5.3)
				Gastropoda (larva) 768 (5.3)	<i>Bestiolina similis</i> 608 (9.1)	<i>Oikopleura</i> spp. 23 (7.8)	<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite) 16 (5.3)
							Facetotecta (nauplius) 16 (5.3)

注) 1. 主な出現種には、組成比で5%以上の上位5種を示しています。

2. 動物プランクトンについては、各調査地点の1層(海面下10m~表層)における採取結果を示しています。

表-3.5.2.11(1) 動植物プランクトンの出現種類数・合計細胞数及び合計個体数 (浮遊生物調査：E8)

調査年度 調査時期	E8 工事前																						
	H19			H20			H21			H22			H23			H24			H25				
	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季
植物	13	34	25	53	27	23	34	41	50	28	51	36	42	53	64	37	53	64	62	51	34	51	33
出現種類数(種数)																							
細胞数(細胞/L)	16,680	5,250	3,290	14,330	11,520	11,300	14,730	4,640	844,160	51,190	7,580	4,170	7,550	6,890	134,250	64,390	39,570	10,550	49,220	47,350	27,990	22,480	
細胞数範囲																							
動物	27	28	34	19	29	27	20	26	26	27	33	15	45	36	54	45	24	51	32	28	40	34	19
出現種類数(種数)																							
細胞数(細胞/m <sup>3</sup> )	87,658	9,884	4,969	10,696	14,511	6,110	704	15,602	14,654	1,117	1,782	6,983	13,934	36,693	10,633	1,910	38,131	34,024	3,344	15,332	26,295	9,300	
個体数範囲																							

調査年度 調査時期	E8 工事中																				
	H29			H30			R1			R2			R3			R4					
	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	台風後	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	夏季	台風後	秋季	冬季	春季
植物	57	33	47	33	45	38	41	40	28	39	28	38	35	46	31	37	49	34	67	32	40
出現種類数(種数)																					
細胞数(細胞/L)	8,850	2,220	3,570	1,350	2,690	5,830	2,330	3,480	6,290	8,270	1,460	1,510	2,790	10,520	187,300	145,900	2,460	4,160	8,080	12,470	4,510
細胞数範囲																					
動物	22	22	15	20	19	26	22	7	21	20	13	26	15	13	18	26	11	14	18	15	22
出現種類数(種数)																					
細胞数(細胞/m <sup>3</sup> )	4,650	1,128	12,977	8,977	45,339	14,050	5,354	634	963	11,525	10,657	3,189	958	5,768	3,442	705	1,286	2,343	10,636	381	1,464
個体数範囲																					

調査年度 調査時期	E8 工事中											
	R5			R6								
	春季	夏季	秋季	台風後①	夏季	台風後②	春季	夏季	秋季	台風後	秋季	冬季
植物	41	41	53	40	40	41	40	26	42	38	49	
出現種類数(種数)												
細胞数(細胞/L)	3,830	4,610	48,680	17,750	4,990	3,680	8,290	1,560	9,830	3,800	5,430	
細胞数範囲												
動物	9	15	22	20	20	23	16	20	25	21	14	
出現種類数(種数)												
細胞数(細胞/m <sup>3</sup> )	9,880	240	20,056	9,848	1,639	851	3,224	1,700	39,261	10,170	640	
個体数範囲												

注) 本環境監視調査結果 (令和6年度) は黄色の網掛けで示しています。



表-3.5.2.11(3) 動植物プランクトンの出現種類数・合計細胞数及び合計個体数 (浮遊生物調査：E25)

調査地点	E25																							
	工事前																							
	H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26									
調査年度	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	
調査時期	18	22	19	26	21	22	21	20	42	41	31	42	43	36	45	28	33	40	45	46	44	46	45	
植物	出現種類数(種)																							
プランクトン	出現種類数(種)																							
	6,030	2,120	2,220	7,000	10,560	8,080	4,410	9,360	8,150	3,590	1,970	31,380	169,500	19,870	6,480	4,340	10,260	4,510	15,950	4,520	12,690	12,410	17,010	
	細胞数(細胞/L)																							
	細胞数(個体/m)																							
動物	27	33	21	25	24	26	25	29	23	16	19	34	22	25	19	30	39	45	19	21	51	33	41	
プランクトン	出現種類数(種)																							
	細胞数(細胞/L)																							
	細胞数(個体/m)																							
	17,668	5,544	324	3,218	2,600	3,229	2,422	4,150	5,065	1,909	859	2,818	2,843	3,899	8,036	4,872	18,392	9,265	22,504	1,900	1,030	3,532	3,654	
	140~22,601																							

調査地点	E25																							
	工事中																							
	H29		H30		R1		R2		R3		R4													
調査年度	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	
調査時期	52	48	54	40	52	35	35	32	36	28	30	37	37	36	20	36	22	42	53	41	37	31	41	
植物	出現種類数(種)																							
プランクトン	出現種類数(種)																							
	3,270	2,810	28,760	2,000	25,970	4,504	1,710	2,050	1,470	2,560	4,200	2,590	1,250	4,570	22,300	812,600	1,660	1,270	13,860	9,720	5,350	1,690	18,170	
	細胞数(細胞/L)																							
	細胞数(個体/m)																							
動物	17	13	14	20	27	13	16	18	15	15	18	22	7	10	16	23	8	20	16	16	20	13	10	
プランクトン	出現種類数(種)																							
	細胞数(細胞/L)																							
	細胞数(個体/m)																							
	1,360	560	17,522	2,293	34,222	3,060	6,479	1,310	561	2,265	13,014	3,126	109	1,195	1,225	16,394	226	1,011	4,667	379	709	412	920	
	109~34,222																							

調査地点	E25											
	工事中											
	R5		R6									
調査年度	春季	台風後①	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	台風後	秋季	冬季	春季	夏季
調査時期	33	32	53	41	40	36	41	44	50	35	39	39
植物	出現種類数(種)											
プランクトン	出現種類数(種)											
	2,300	2,350	101,050	12,220	10,300	4,060	7,820	18,790	16,990	5,380	5,850	5,850
	細胞数(細胞/L)											
	細胞数(個体/m)											
動物	5	9	15	15	16	21	12	24	20	7	19	19
プランクトン	出現種類数(種)											
	細胞数(細胞/L)											
	細胞数(個体/m)											
	340	1,130	4,020	9,230	867	6,764	731	3,062	11,680	338	464	464
	109~34,222											

注) 本環境監視調査結果 (令和6年度) は黄色の網掛けで示しています。

表-3.5.2.11(4) 動植物プランクトンの出現種類数・合計細胞数及び合計個体数（浮遊生物調査：E27）

調査地点		E27																											
工事		工事甲																											
調査年度	調査時期	H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26													
		夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季											
植物	出現種類数(種数)	17	27	24	20	27	19	25	41	47	42	47	31	29	43	21	45	42	44	35	47	41	36	59	24	33			
	出現種類数(細胞/L)	24,160	18,940	1,800	5,250	4,770	6,670	3,260	7,820	10,350	2,610	560	17,880	145,700	112,090	19,600	3,920	4,030	8,080	13,440	11,940	12,570	10,030	8,600	38,380	44,910	6,710	14,420	
	細胞数(個体/m)	32	21	28	30	26	14	19	32	20	26	19	28	20	26	23	30	37	27	37	37	38	23	39	28	28	40	26	
動物	出現種類数(種数)	30,430	4,749	1,086	7,965	14,690	15,277	1,001	4,359	86,500	1,287	433	5,034	4,082	22,591	5,905	5,712	21,050	15,363	1,709	10,182	7,457	6,464	1,566	10,216	16,547	15,966	2,536	5,450
	出現種類数(細胞/L)																												
	細胞数(個体/m)																												

調査地点		E27																													
工事		工事甲																													
調査年度	調査時期	H29		H30		R1		R2		R3		R4																			
		夏季	秋季	冬季	春季	台風後①	夏季	台風後②	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季	春季	台風後	秋季	冬季					
植物	出現種類数(種数)	53	51	35	46	43	48	37	34	44	33	30	39	36	28	30	19	31	36	40	36	40	36	46	28	37	36	56	38	39	30
	出現種類数(細胞/L)	16,520	5,560	1,510	8,030	4,670	6,760	3,140	2,870	3,620	1,060	29,000	3,470	1,910	1,030	4,740	48,200	96,800	2,750	2,630	8,670	11,430	12,910	3,300	7,420	229,470	5,960	4,090	5,190		
	細胞数(個体/m)																														
動物	出現種類数(種数)	23	18	8	15	18	19	13	11	15	11	11	13	18	9	8	21	21	6	5	22	14	21	9	8	11	15	17	9		
	出現種類数(細胞/L)	9,740	1,478	251	13,212	880	20,952	3,788	5,308	5,764	1,618	582	18,727	986	144	639	2,726	6,451	131	119	6,679	1,333	1,118	384	1,761	13,608	1,097	400	1,328		
	細胞数(個体/m)																														

調査地点		E27											
工事		工事甲											
調査年度	調査時期	R5		R6									
		春季	夏季	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季				
植物	出現種類数(種数)	27	40	44	36	44	38	39	40	41	46	44	
	出現種類数(細胞/L)	2,590	6,350	96,410	13,500	10,050	3,790	19,670	6,200	10,280	4,150	3,410	
	細胞数(個体/m)	8	16	14	16	13	15	14	16	18	12	13	
動物	出現種類数(種数)	1,440	530	1,460	11,600	1,460	592	2,460	14,472	6,696	294	304	
	出現種類数(細胞/L)												
	細胞数(個体/m)												

注) 本環境監視調査結果(令和6年度)は黄色の網掛けで示しています。



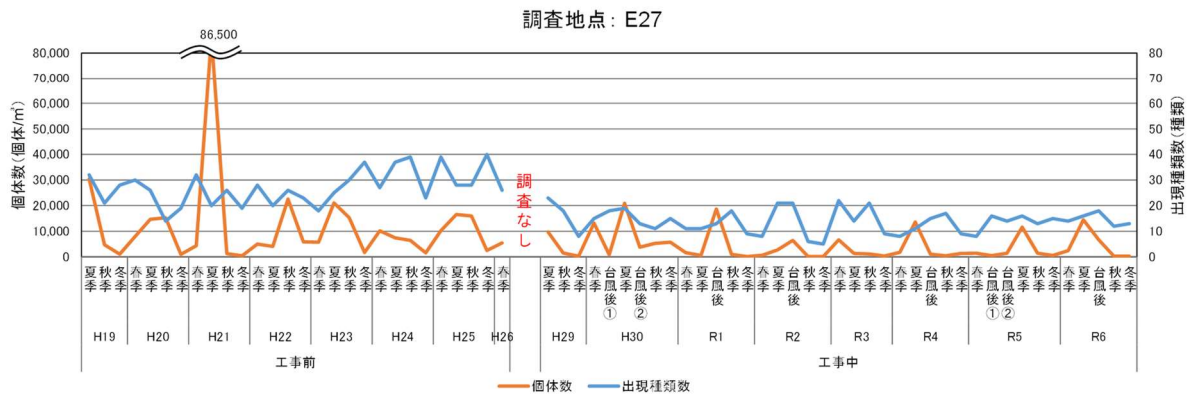
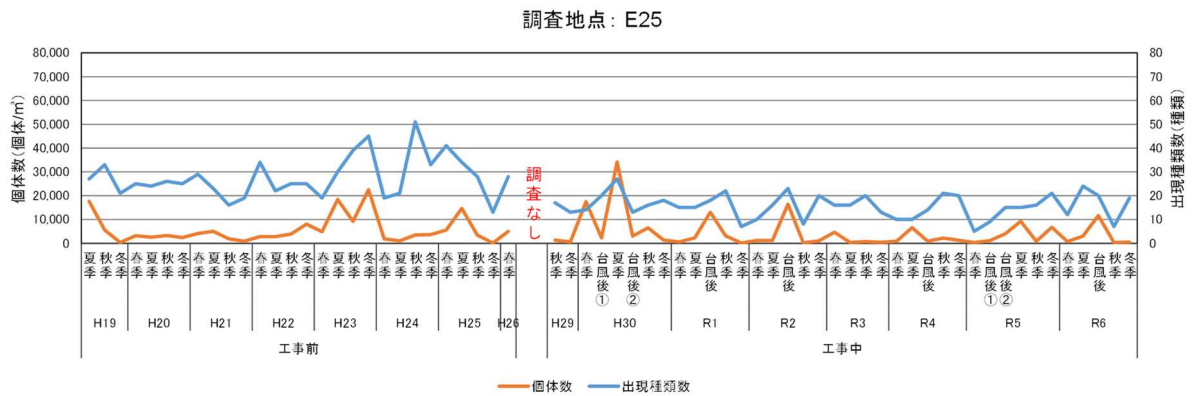
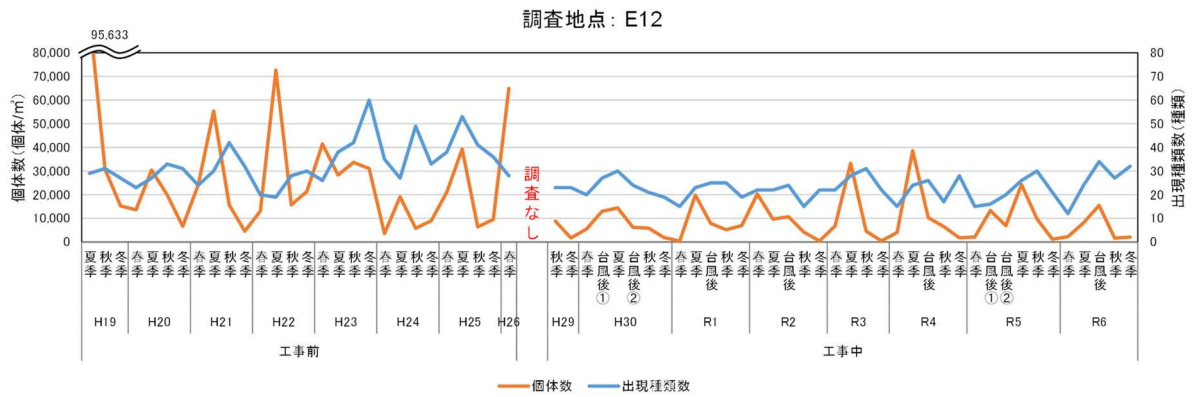
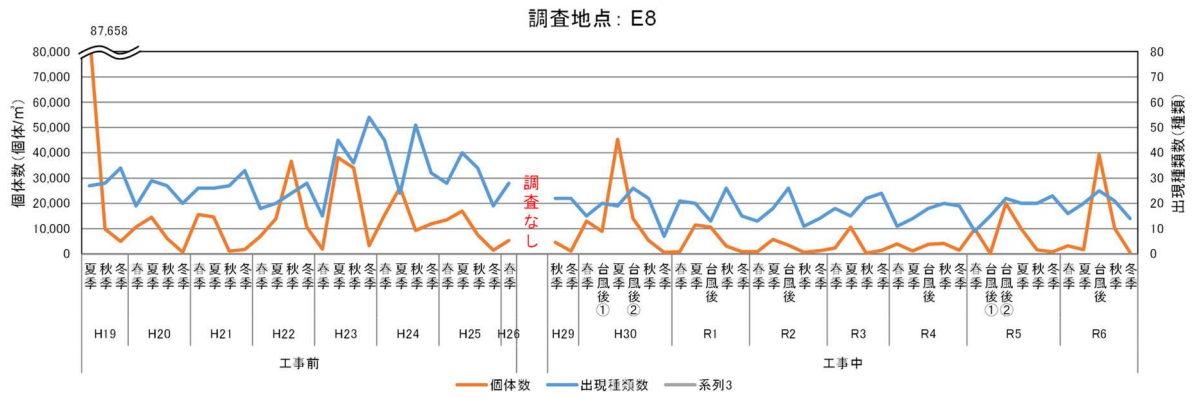


図-3.5.2.10 動物プランクトンの出現種類数及び個体数（浮遊生物調査）

表-3. 5. 2. 12(1) 植物プランクトンの主な出現種の経年比較 (E8)

調査年度	E8															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
Cryptophyceae	○	○	○	○	○		○			○			○	○		○
<i>Prorocentrum triestinum</i>								○		○	○	○		○		
<i>Gymnodinium</i> spp.										○				○		○
<i>Gyrodinium</i> spp.										○						
Gymnodiniales	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Oxytoxum</i> spp.														○		
<i>Heterocapsa</i> spp.				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Peridinium quinquecorne</i>					○							○				
<i>Protoperidinium</i> spp.										○	○				○	○
Peridinales	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Skeletonema costatum</i> sensu lato									○	○		○		○	○	
<i>Thalassiosira</i> spp.				○												
<i>Leptocylindrus danicus</i>					○						○					
<i>Paralia sulcata</i>			○													
<i>Rhizosolenia phuketensis</i>			○													
<i>Bacteriastrum minus</i>	○															
<i>Bacteriastrum</i> spp.				○												
<i>Chaetoceros constrictum</i>				○								○				
<i>Chaetoceros lorenzianum</i>						○										
<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	○				○	○	○					○				
<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	○	○	○	○						○	○	○		○	○	○
<i>Bleakeleya notata</i>	○														○	
<i>Cyclophora tenuis</i>												○				○
<i>Neodelphineis pelagica</i>			○													
Diatomaceae											○				○	○
<i>Navicula</i> spp.									○		○					
<i>Cylindrotheca closterium</i>	○	○	○						○	○	○	○			○	○
<i>Nitzschia</i> spp.						○					○	○				
<i>Pseudo-nitzschia pungens</i>						○										
<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	○	○	○		○	○	○					○			○	○
Pennales												○				○
Haptophyceae	○	○	○	○	○	○	○					○				○
Euglenophyceae	○					○	○				○	○	○	○		○
Prasinophyceae	○	○	○	○	○	○	○		○			○	○	○		○
unidentified flagellates	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○

注) 表中の主な出現種は表-3. 5. 2. 10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(2) 植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E12)

調査年度	E12															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
Cryptophyceae			○	○	○	○	○	○				○	○	○	○	
<i>Prorocentrum triestinum</i>											○					
<i>Amphidinium</i> spp.										○						
<i>Gymnodinium</i> spp.										○				○	○	○
<i>Gyrodinium</i> spp.										○						
Gymnodinales	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Oxytoxum</i> spp.										○						
<i>Heterocapsa</i> spp.				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Peridinium quinquecorne</i>												○				
<i>Protoperidinium</i> spp.											○					
Peridinales	○	○	○	○					○	○	○	○		○	○	○
<i>Skeletonema costatum</i> sensu lato														○		
<i>Skeletonema</i> sp.															○	
<i>Skeletonema</i> spp.						○										
<i>Thalassiosira</i> spp.				○												
<i>Aulacoseira</i> spp.												○				
<i>Leptocylindrus danicus</i>										○						
<i>Rhizosolenia fragilissima</i>		○														
<i>Bacteriastrium</i> spp.			○	○						○						
<i>Chaetoceros constrictum</i>												○				
<i>Chaetoceros curvisetum</i>						○										
<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	○			○		○	○					○				
<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)		○	○	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Bleakeleya notata</i>	○															
<i>Cyclophora tenuis</i>			○													
<i>Diatoma</i> sp.											○					
Diatomaceae	○														○	
<i>Navicula</i> spp.	○									○						
<i>Cylindrotheca closterium</i>	○	○	○			○			○	○	○	○				○
<i>Nitzschia</i> spp.	○			○		○	○			○						
<i>Pseudo-nitzschia pungens</i>						○										
<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	○	○	○			○	○		○	○			○		○	
Pennales			○													
Haptophyceae	○	○	○	○	○		○							○	○	○
Euglenophyceae		○					○		○	○	○	○	○	○		○
Prasinophyceae	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
unidentified flagellates	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(3) 植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E25)

調査年度	E25															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
Cryptophyceae		○		○	○	○	○	○		○			○	○	○	○
<i>Prorocentrum minimum</i>						○										
<i>Prorocentrum triestinum</i>											○					
<i>Gymnodinium</i> spp.																○
<i>Gyrodinium</i> spp.											○					
Gymnodinales		○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Oxytoxum</i> spp.													○			
<i>Scrippsiella</i> spp.					○	○										
<i>Heterocapsa</i> spp.				○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Protoperidinium</i> spp.									○	○						
Peridinales		○	○			○			○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Skeletonema costatum</i> sensu lato									○				○	○		
<i>Thalassiosira</i> spp.				○												
<i>Leptocylindrus danicus</i>			○													
<i>Bacteriastrum</i> spp.				○					○							
<i>Chaetoceros compressum</i>			○													
<i>Chaetoceros constrictum</i>												○				
<i>Chaetoceros lauderi</i>											○					
<i>Chaetoceros</i> sp. (cf. <i>salsugineum</i> )									○							
<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	○			○			○					○				
<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	○	○		○					○	○					○	○
<i>Bleakeleya notata</i>					○											
<i>Climacosphenia moniligera</i>														○		
<i>Diatoma</i> sp.									○							
<i>Licmophora</i> spp.	○											○		○		
Diatomaceae	○												○	○	○	
<i>Achnanthes</i> spp.			○													
<i>Cocconeis</i> spp.		○														
<i>Amphora</i> spp.		○									○					
<i>Navicula</i> spp.	○	○			○				○	○					○	
Naviculaceae															○	
<i>Bacillaria paxillifer</i>										○						
<i>Cylindrotheca closterium</i>	○	○	○		○				○	○	○	○			○	○
<i>Nitzschia</i> spp.			○		○	○	○				○	○				
<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.	○		○				○		○	○	○	○			○	○
Pennales			○						○	○	○	○			○	
Haptophyceae	○		○	○	○	○							○	○		○
Euglenophyceae		○							○	○						
Prasinophyceae	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
unidentified flagellates		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(4) 植物プランクトンの主な出現種の経年比較(E27)

調査年度	E27															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	3	6	5	5	4	5	6	5
Oscillatoriaceae			○													
Nostocaceae										○						
Cryptophyceae		○		○	○	○	○				○		○	○	○	
<i>Proocentrum triestinum</i>																○
<i>Amphidinium</i> spp.																○
<i>Gymnodinium</i> spp.					○											○
<i>Gyrodinium</i> spp.											○					
Gymnodiniales		○	○		○				○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Scrippsiella trochoidea</i>			○													
<i>Heterocapsa</i> spp.				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Peridinium quinquecorne</i>				○												
<i>Protoperdinium</i> spp.					○						○	○				
Peridinales		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Lauderia annulata</i>			○													
<i>Skeletonema costatum</i> sensu lato									○				○	○		
<i>Thalassiosira</i> spp.				○												
<i>Leptocylindrus danicus</i>			○							○						
<i>Coscinodiscus</i> spp.			○													
<i>Rhizosolenia phuketensis</i>												○				
<i>Bacteriastrum</i> spp.				○							○	○				
<i>Chaetoceros compressum</i>											○					
<i>Chaetoceros constrictum</i>												○				
<i>Chaetoceros</i> spp. (large chain type)	○						○					○				
<i>Chaetoceros</i> spp. (small chain type)	○	○	○		○		○			○	○	○		○	○	
<i>Bleakeleya notata</i>			○		○				○							
<i>Cyclophora tenuis</i>												○				
<i>Diatoma</i> sp.									○							
Diatomaceae													○		○	○
<i>Cocconeis</i> spp.	○															
<i>Amphora</i> spp.		○			○						○					
<i>Navicula</i> spp.	○	○			○	○			○		○					
<i>Bacillaria paxillifer</i>									○							
<i>Cylindrotheca closterium</i>	○	○	○			○			○	○		○			○	○
<i>Nitzschia longissima</i>			○													
<i>Nitzschia</i> spp.			○								○	○				
<i>Pseudo-nitzschia pungens</i>												○				
<i>Pseudo-nitzschia</i> spp.										○	○				○	
Pennales			○						○		○	○				○
<i>Calciosolenia murrayi</i>		○														
Haptophyceae	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○
Euglenophyceae		○						○			○	○				○
Prasinophyceae		○		○	○	○	○				○		○	○	○	○
Chlorococcales	○															
unidentified flagellates	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種（組成比で5%以上の上位5種）に対応します。

表-3. 5. 2. 12(5) 動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E8)

調査年度	E8															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
Gastropoda (larva)	○				○					○	○		○			
Bivalvia (D-shaped larva)		○														
Bivalvia (umbo larva)	○		○								○					○
Polychaeta (larva)										○					○	
<i>Acartia bispinosa</i>								○								
<i>Acartia erythraea</i>			○													
<i>Acartia</i> spp. (copepodite)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite)									○			○	○			
<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite)											○					
<i>Bestiolina similis</i>	○											○				
<i>Paracalanus crassirostris</i>			○	○	○	○			○					○		
<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	○		○	○					○	○				○	○	○
Paracalanidae (copepodite)			○	○	○	○	○	○			○		○	○	○	○
Calanoida (copepodite)										○						
<i>Oithona aruensis</i>	○	○		○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○
<i>Oithona attenuata</i>			○							○						
<i>Oithona dissimilis</i>		○			○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Oithona nana</i>		○														
<i>Oithona oculata</i>											○					
<i>Oithona simplex</i>	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Microsetella rosea</i>												○				
<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)			○					○				○				
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cirripedia (nauplius)					○						○					
<i>Oikopleura</i> spp.	○				○				○	○					○	
<i>Fritillaria</i> spp.						○										

注) 表中の主な出現種は表-3. 5. 2. 10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(6) 動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E12)

調査年度	E12															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
Gastropoda (larva)		○					○				○	○				
Bivalvia (umbo larva)											○				○	○
Acartia spp. (copepodite)		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○	○
Clausocalanus spp. (copepodite)														○		
Acrocalanus spp. (copepodite)									○			○		○		
Bestiolina similis		○			○								○			
Paracalanus crassirostris	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	○
Paracalanus spp. (copepodite)	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○
Paracalanidae (copepodite)			○	○	○	○	○			○		○		○	○	○
Oithona aruensis	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○			○	○
Oithona dissimilis		○		○	○	○			○	○	○			○	○	○
Oithona simplex	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Oithona spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Oncaea media												○	○			
Oncaea spp. (copepodite)									○				○			
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
Oikopleura longicauda			○													
Oikopleura spp.	○				○	○				○		○		○		○
Fritillaria spp.						○										

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(7) 動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E25)

調査年度	E25															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
Foraminifera											○					
<i>Creseis</i> spp.													○			
Gastropoda (larva)	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bivalvia (D-shaped larva)						○	○									
Bivalvia (umbo larva)												○	○	○	○	○
Polychaeta (larva)												○	○	○	○	○
<i>Acartia fossae</i>										○						
<i>Acartia</i> spp. (copepodite)				○						○	○	○	○	○	○	○
<i>Nannocalanus minor</i>						○										
<i>Undinula vulgaris</i>						○										
<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite)				○	○										○	
<i>Centropages</i> spp. (copepodite)		○														
<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite)					○	○					○					
<i>Acrocalanus longicornis</i>					○											
<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite)										○						
<i>Bestiolina similis</i>					○								○			
<i>Delius nudus</i>	○	○			○											
<i>Delius nudus</i> (copepodite)											○					
<i>Paracalanus crassirostris</i>	○															
<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○				○	○	○	○		○	○	○
Paracalanidae (copepodite)			○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
Calanoida (copepodite)					○		○				○	○				
<i>Oithona aruensis</i>	○			○	○		○					○				
<i>Oithona attenuata</i>			○				○				○	○				
<i>Oithona dissimilis</i>					○						○					
<i>Oithona nana</i>												○				
<i>Oithona oculata</i>										○						
<i>Oithona simplex</i>	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
Cyclopoida (copepodite)															○	
<i>Microsetella norvegica</i>															○	
Harpacticoida											○					
Harpacticoida (copepodite)	○															
<i>Corycaeus concinnus</i>																○
<i>Corycaeus</i> spp. (copepodite)														○		
<i>Oncaea media</i>											○					
<i>Oncaea mediterranea</i>							○									
<i>Oncaea venusta</i>									○							
<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)	○	○	○		○	○	○					○	○	○		
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cirripedia (nauplius)		○	○			○				○	○	○				
Isopoda							○				○		○			
Brachyura (zoea)					○											
<i>Oikopleura dioica</i>											○					
<i>Oikopleura</i> spp.	○					○	○				○		○		○	○

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。

表-3.5.2.12(8) 動物プランクトンの主な出現種の経年比較(E27)

調査年度	E27															
	工事前								工事中							
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
調査回数	3	4	4	4	4	4	4	1	2	6	5	5	4	5	6	5
Foraminifera		○														
Gastropoda (larva)	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Bivalvia (D-shaped larva)	○		○			○										
Bivalvia (umbo larva)		○	○						○	○	○			○	○	○
Polychaeta (larva)			○								○	○	○	○	○	
<i>Acartia fossae</i>											○		○			
<i>Acartia</i> spp. (copepodite)				○		○				○	○	○	○	○	○	○
<i>Undinula vulgaris</i>						○										
<i>Calocalanus styliremis</i>						○										
<i>Calocalanus</i> spp. (copepodite)				○											○	
<i>Clausocalanus</i> spp. (copepodite)		○														○
<i>Acrocalanus longicornis</i>					○											
<i>Acrocalanus</i> spp. (copepodite)												○				○
<i>Bestiolina similis</i>													○			○
<i>Paracalanus crassirostris</i>				○					○	○						
<i>Paracalanus parvus</i>			○													
<i>Paracalanus</i> spp. (copepodite)	○	○	○						○	○		○		○	○	○
Paracalanidae (copepodite)			○		○	○	○				○	○	○	○	○	
Calanoida (copepodite)				○	○											
<i>Oithona aruensis</i>			○	○	○		○		○		○					
<i>Oithona atlantica</i>												○				
<i>Oithona attenuata</i>							○			○					○	
<i>Oithona dissimilis</i>					○					○						○
<i>Oithona longispina</i>					○											
<i>Oithona oculata</i>				○												
<i>Oithona simplex</i>	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○		○	○
<i>Oithona</i> spp. (copepodite)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cyclopoida (copepodite)												○				
<i>Microsetella norvegica</i>						○										
<i>Euterpina acutifrons</i> (copepodite)												○				
Harpacticoida									○		○			○		○
Harpacticoida (copepodite)		○				○										
<i>Oncaea media</i>	○										○					
<i>Oncaea venusta</i>			○													
<i>Oncaea</i> spp. (copepodite)	○	○	○		○		○		○							○
Copepoda (nauplius)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Cirripedia (nauplius)			○			○					○	○				
Facetotecta (nauplius)										○						○
Isopoda							○				○					
Brachyura (zoea)					○						○					
<i>Oikopleura dioica</i>											○					
<i>Oikopleura longicauda</i>			○	○												
<i>Oikopleura</i> spp.			○	○	○		○				○	○			○	

注) 表中の主な出現種は表-3.5.2.10 に示す主な出現種 (組成比で5%以上の上位5種) に対応します。



## 卷末資料



— 目 次 —

付図-2.5.1.1	ウミボツス移植先の事前踏査結果（大浦湾西部）	資 1
付図-2.7.2.1	過年度の久志地区におけるクビレミドロ分布状況	資 2
付図-3.5.1	底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点	資 3

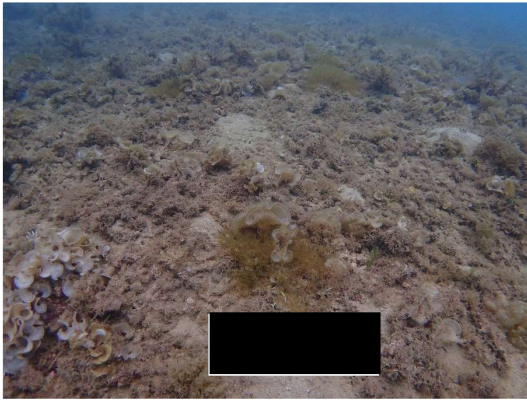







【ウミボツス移植先の事前踏査結果（大浦湾西部）】

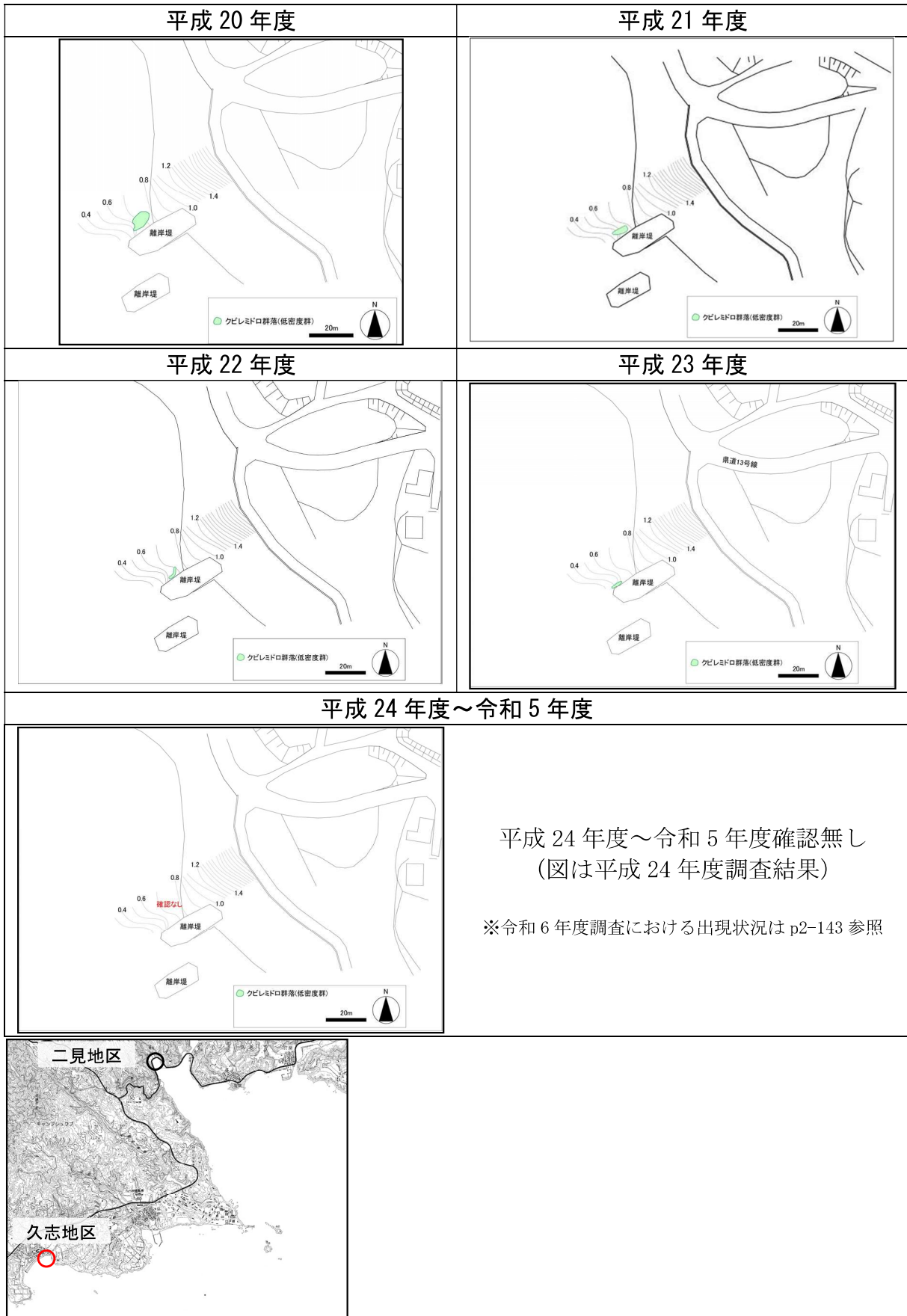
○事前踏査実施日：令和2年3月18日

○事前踏査場所：過年度にウミボツスが特に多く確認されたインベントリー調査地点  
 ■■■■■及びその近傍の■■■■■、■■■■■

○事前踏査結果

踏査地点	事前踏査時の状況	
■■■■■		 <p>・ウミボツスの生育が確認された。</p>
■■■■■		 <p>・ウミボツスの生育は確認されなかった。</p>
■■■■■		 <p>・ウミボツスの生育は確認されなかった。</p>

付図-2.5.1.1 ウミボツス移植先の事前踏査結果（大浦湾西部）



付図-2.7.2.1 過年度の久志地区におけるクビレミドロ分布状況

※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

付図-3.5.1(1) 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点（久志）

※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

付図-3.5.1(2) 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点（大浦湾）

※重要な種の保護の観点から、  
表示していません。

付図-3.5.1(3) 底生動物の重要な種の移動先と生物相調査地点（ギミ崎）